群馬県前橋市

川白田遺跡

1998

川白田遺跡調査会

粕川村出土文化財管理センター
10.11.30
第 1654 号
収受

粕川村出土文化財管理センター

群馬県前橋市

川白田遺跡
かわしろたいせき

1998

川白田遺跡調査会

序

古くには「毛野の国」とも呼ばれた群馬県は、東日本でも有数の高い文化の栄えた土地であり、とりわけ広大な赤城山麓周辺は、旧石器時代以来人々が住み着いて暮らしを営んできたところです。このため、当時の人々の暮らしを伝える数多くの遺跡が知られ、歴史的風土に富んでいます。近年まで、水田や畑が広がり、県内でも有数の農業中心地のひとつでしたが、経済活動の活発化に伴って工場の進出や住宅の建設等が急速に進んでいます。

こうした中で、群馬県企業局では、県民の生活用水の需要の増加に対応するため、県央第二水道用水供給事業を計画し、その一環として、前橋市小坂子町に用水調整のための低区調整池が建設されることとなりました。しかしながら、工事予定地には縄文時代の遺跡が存在することが明らかとなったため、建設工事実施に先立って、埋蔵文化財発掘調査を実施することとなりました。

その結果、縄文時代前期に営まれた集落の一部と思われる竪穴住居を中心とする遺構や、多数の縄文土器などの遺物が検出されました。ここに、その調査報告書を刊行するはこびとなりましたが、この成果が広く活用され、地域の歴史を解明する一助となれば幸いです。

最後に、発掘調査から整理作業を経て報告書の刊行に至るまで、御指導・御協力いただきました群馬県企業局、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、山武考古学研究所、そして、発掘・整理の作業に当たられた多くのみなさんに厚くお礼を申し上げ、序といたします。

平成10年３月

川白田遺跡調査会

会長　荒畑　大治

例　言

1．本書は、群馬県前橋市川白田遺跡の発掘調査報告書である。

2．発掘調査は群馬県県央第二水道供給事業に係る低区調整池建設に先立ち実施されたものである。

3．遺跡は群馬県前橋市小坂子町1,330番地に所在する。

4．発掘調査の面積は4,850㎡である。

5．発掘調査は平成７年８月１日より平成８年２月５日の間実施した。

6．発掘調査は群馬県企業局・群馬県教育委員会・前橋市教育委員会の三者から組織された川白田遺跡調査会が実施した。実際の発掘調査は山武考古学研究所が実施している。
調査会の組織は別表１～３の通りである。

7．発掘調査の担当者は以下の通りである。
武部　喜充　　山武考古学研究所調査研究室室長補佐
奥冨　雅之　　山武考古学研究所調査研究員
矢島　博文　　同　　上

8．本遺跡100号土坑出土獣骨の分析については国立歴史民俗博物館助教授西本豊弘氏に依頼した。

9．本遺跡に於ける火山灰の分析は古環境研究所に依頼し、第７章にその結果を掲載している。

10．発掘調査によって得られた資料はすべて前橋市教育委員会で保管している。

11．本書の執筆は以下の通りである。

第１章　第１節	斉藤和之　群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部文化財保護課主幹兼専門員
第２章　第１・２節	奥冨雅之・矢島博文　山武考古学研究所調査研究員
第２章　第３節・第３章～第６章	大賀　健　山武考古学研究所調査研究室室長
第７章	古環境研究所

12．本書の編集は山武考古学研究所が行った。

13．発掘調査から本書の刊行に至るまで下記の方々にご指導・御協力を賜った。ここに記して感謝の意を表すものである。
群馬県企業局　群馬県教育委員会　前橋市教育員会　国立歴史民俗博物館
石井寛　飯塚聡　井川達夫　駒倉秀一　篠原正　高井佳弘　谷藤保彦　丹野雅人　寺村光晴
西本豊弘　巾　隆之　古環境研究所　前橋文化財研究所　新成田総合社　東日本重機　開成測量

14．発掘調査及び整理調査の参加者は以下の通りである。
発掘調査
五十嵐幸子・糸井栄子・糸井ふみ・糸井政子・岡村秀樹・織間芳江・大野京子・大河原初枝・落合忠雄・小林教人・黒沢とき・木村玉江・斉藤吉江・桜井れい・鹿野ふく・神宮政江・関口みよ子・田中米一・田村きみ・田村よし・高橋トク子・高橋千代子・勅使河原酉造・土屋ケサミ・永島直子・中野利一・長岡裕治・根堀すみ江・蛭川富太郎・原嶋サイ・伏嶋みさを・丸山民江・松倉菊江・室田毅・室橋美智子・山田隆・矢島房江・吉岡聡・吉田新一郎・吉田とみ子・吉田芳江・横堀すみ江・渡辺武江
整理調査
石井百々子・江口弘子・伊藤順子・池田と志子・黒田宣子・総領則子・田中ふみか・別府あや子

表１　平成７年度川白田遺跡調査会組織表

区　分	職　名	氏　名	備　考
会　長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部長	林　弘二	
副会長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 参事兼文化財保護課長	荒畑　大治	
理　事	群馬県企業局　水道課長	伊原　巌	
	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　次長	轟　公之	
	前橋市教育委員会事務局　文化財保護課長	本山　卓	
監　事	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　専門委員	井川　達雄	
	前橋市教育委員会事務局 文化財保護課　埋蔵文化財係長	駒倉　秀一	
事務局長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　課長補佐兼埋蔵文化財第一係長	巾　隆之	
事務局員	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　指導主事	高井　佳弘	
	同　上　主　任	飯塚　聡	

表２　平成８年度川白田遺跡調査会組織表

区　分	職　名	氏　名	備　考
会　長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部長	林　弘二	
副会長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課長	土田　明	
理　事	群馬県企業局　水道課長	小柏　肇	
	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　次長	轟　公之	
	前橋市教育委員会事務局　文化財保護課長	川合　功	
監　事	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　主幹兼専門員	井川　達雄	
	前橋市教育委員会事務局 文化財保護課　埋蔵文化財係長	駒倉　秀一	
事務局長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　課長補佐兼埋蔵文化財第一係長	巾　隆之	
事務局員	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　主幹兼専門員	斉藤　和之	
	同　上　主　任	高島　英之	

表３　平成９年度川白田遺跡調査会組織表

区　分	職　名	氏　名	備　考
会　長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部長	荒畑　大治	
副会長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課長	土田　明	
理　事	群馬県企業局　水道課長	唐沢　和臣	
	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　次長	轟　公之	
	前橋市教育委員会事務局　文化財保護課長	川合　功	
監　事	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　主幹兼専門員	藤巻　幸男	
	前橋市教育委員会事務局 文化財保護課　埋蔵文化財係長	駒倉　秀一	
事務局長	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　課長補佐兼埋蔵文化財第一係長	巾　隆之	
事務局員	群馬県教育委員会事務局文化スポーツ部 文化財保護課　主幹兼専門員	斉藤　和之	
	同　上　主　任	高島　英之	

凡　例

1．本書に使用した第2図遺跡の位置と周辺の遺跡には『前橋市全図』4（10,000分の1）、第3図遺跡周辺の地形には『前橋市現形図』22（2,500分の1）を使用した。

2．本書に掲載した遺構・遺物実測図の縮尺は以下のとおりである。

遺構

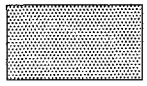
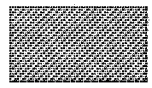
標準堆積土層図	40分の1
住居跡平面図・断面図・エレベーション図	80分の1
住居跡炉跡	40分の1

遺物

遺構出土土器	4分の1
8号住居跡出土軽石	2分の1
遺構外出土土器（早期）	2分の1
遺構外出土土器（早期以外）	4分の1
近世出土遺物（木製品・金属器）	2分の1
近世出土遺物（陶磁器）	4分の1

3．本遺跡出土石器は膨大な数に上り、整理作業の期間的制約により一部軽石を除き写真掲載にとどめた。尚、写真図版中の石器は俯瞰撮影により写真図化が可能な様に、すべて原寸2の1若しくは4分の1で掲載し各遺物横に縮尺の比率を提示した。

4．本書挿図中に貼付したスクリーントーンは以下を示している。

……赤彩・繊維土器　  ……焼土　  ……地山

5．遺物の注記はインクジェットプリンターを用い、以下の様に略号をもって行った。

川白田……61C6

住居跡……J	（1号住居跡　61C6J-1）	土坑……D	（1号土坑　61C6D-1）
溝……溝	（1号溝　61C6溝-1）	埋設土器……埋カメ	（1号埋設土器　61C6-1埋カメ）
集石……集	（1号集石　61C6集-1）	グリッド……G	（D－3グリッド　61C6D-3G）
井戸……I	（1号井戸　61C6I-1）		

本 文 目 次

序
例　言
凡　例
目　次

第１章　発掘調査に至る経緯 ……（１）
第２章　遺跡の位置と考古学的環境
　第１節　遺跡の地理的環境 ……（３）
　第２節　遺跡の歴史的環境 ……（３）
第３章　調査の方法と経過
　第１節　確認調査 ……（５）
　第２節　本調査 ……（５）
　第３節　整理調査 ……（６）
第４章　土　　層 ……（７）
第５章　検出された遺構と遺物
　第１節　縄文時代
　　第１項　住居跡 ……(11)
　　第２項　土　坑 ……(90)
　　第３項　埋設土器 ……(145)
　　第４項　集　石 ……(145)
　　第５項　遺構外出土土器・土製品 ……(147)
　　第６項　遺構内外出土石器・石製品 ……(154)
　第２節　近世以降
　　第１項　井　戸 ……(155)
　　第２項　土　坑 ……(158)
　　第３項　　溝 ……(158)
　　第４項　畑　跡 ……(158)
　　第５項　遺構外出土近世遺物 ……(160)
第６章　まとめ
　第１節　前期集落と出土土器 ……(161)
　第２節　軽石製石製品について ……(165)
第７章　自然科学分析　「川白田遺跡の火山灰分析」 ……(172)
抄　録
写真図版

挿図目次

第1図　試掘トレンチ設定図……(1)
第2図　遺跡の位置と周辺の遺跡……(2)
第3図　遺跡周辺の地形……(4)
第4図　標準堆積土層……(8)
第5図　遺跡全体図……(10)
第6図　1号住居跡・40号土坑……(12)
第7図　1号住居跡出土遺物(1)……(13)
第8図　1号住居跡出土遺物(2)……(14)
第9図　1号住居跡出土遺物(3)……(15)
第10図　1号住居跡出土遺物(4)……(16)
第11図　2号住居跡……(20)
第12図　2号住居跡炉・同住居跡出土遺物……(21)
第13図　3・13号住居跡・169・193号土坑……(22)
第14図　13号住居跡炉・3号住居跡出土遺物(1)……(23)
第15図　3号住居跡出土遺物(2)……(24)
第16図　13号住居跡出土遺物……(26)
第17図　4号住居跡……(28)
第18図　4号住居跡出土遺物……(29)
第19図　5号住居跡・123号土坑……(31)
第20図　5号住居跡出土遺物(1)……(32)
第21図　5号住居跡出土遺物(2)……(34)
第22図　6号住居跡……(35)
第23図　6号住居跡・炉……(36)
第24図　6号住居跡出土遺物(1)・7号住居跡77・102号土坑……(37)
第25図　8号住居跡……(41)
第26図　8号住居跡・炉……(42)
第27図　8号住居跡・同住居跡出土遺物(1)……(43)
第28図　8号住居跡出土遺物(2)……(44)
第29図　8号住居跡出土遺物(3)……(45)
第30図　8号住居跡出土遺物(4)……(46)
第31図　8号住居跡出土遺物(5)……(47)
第32図　8号住居跡出土遺物(6)……(48)
第33図　8号住居跡出土遺物(7)……(50)
第34図　8号住居跡出土遺物(8)……(51)
第35図　8号住居跡出土遺物(9)……(52)
第36図　8号住居跡出土遺物(10)……(53)
第37図　9号住居跡……(55)
第38図　9号住居跡・同住居跡出土遺物……(56)
第39図　10号住居跡・同住居跡出土遺物・170号土坑……(58)
第40図　11号住居跡・120～122号土坑……(60)
第41図　11号住居跡・同住居跡出土遺物(1)……(61)
第42図　11号住居跡出土遺物(2)……(62)
第43図　12号住居跡・134～136・192号土坑……(64)
第44図　12号住居跡出土遺物……(65)
第45図　14号住居跡……(66)
第46図　14号住居跡出土遺物……(67)
第47図　15号住居跡・175・184・206・207号土坑……(69)
第48図　15号住居跡炉・同住居跡出土遺物……(70)
第49図　16号住居跡・230・235・242・243・250号土坑…(71)
第50図　16号住居跡炉・同住居跡出土遺物……(72)
第51図　17号住居跡・274号土坑……(74)
第52図　17号住居跡炉・同住居跡出土遺物(1)……(75)
第53図　17号住居跡出土遺物(2)……(76)
第54図　18号住居跡・同住居跡出土遺物……(78)
第55図　19号住居跡・3号土坑……(79)
第56図　19号住居跡断面図……(80)
第57図　19号住居跡炉……(81)
第58図　19号住居跡出土遺物(1)……(83)
第59図　19号住居跡出土遺物(2)……(84)
第60図　20号住居跡・同住居跡出土遺物・249号土坑……(85)
第61図　21号住居跡・同住居跡出土遺物……(87)
第62図　22号住居跡・同住居跡出土遺物・337号土坑……(88)
第63図　1～8・10・81号土坑……(91)
第64図　9・11～14・16・65・66号土坑……(92)
第65図　15・17～20・70号土坑……(93)
第66図　21～30・34号土坑……(94)
第67図　31～33・35～39号土坑……(95)
第68図　41～45・74号土坑……(97)
第69図　46～52・67・73・338号土坑……(98)
第70図　53～60・68・69・71号土坑……(99)
第71図　61～64・72・75・76・78号土坑……(100)
第72図　77・79・80・82～87・102号土坑……(101)
第73図　88～99号土坑……(103)
第74図　100・101・105～111・125・126号土坑……(104)
第75図　112～119・124・127号土坑……(105)
第76図　128～133・137・138・162・164・165号土坑…(106)
第77図　139～147号土坑……(108)
第78図　148～151・153～155・163号土坑……(109)
第79図　152・156～161・182号土坑……(110)
第80図　166～168・171～173・177～179号土坑……(111)
第81図　174・176・180・181・183・185～188・205号土坑……(112)
第82図　189～191・194～200号土坑……(114)
第83図　201～204・208～215号土坑……(115)
第84図　216～225・227・228・236号土坑……(116)
第85図　226・229・231～234・237～241・244号土坑……(117)
第86図　245～248・251～260・262・265号土坑……(119)
第87図　261・263・264・266～273・275～284号土坑……(120)
第88図　285～296・298～310号土坑……(122)
第89図　311～314・316～334号土坑……(123)
第90図　335・336・339・340号土坑……(124)
第91図　土坑出土遺物1（1～35号土坑）……(126)
第92図　土坑出土遺物2（37～53号土坑）……(128)
第93図　土坑出土遺物3（53～78号土坑）……(129)
第94図　土坑出土遺物4（78号土坑）……(130)
第95図　土坑出土遺物5（79～92号土坑）……(132)
第96図　土坑出土遺物6（97～133号土坑）……(133)
第97図　土坑出土遺物7（135～158号土坑）……(135)
第98図　土坑出土遺物8（159～168号土坑）……(136)
第99図　土坑出土遺物9（169～196号土坑）……(137)

第100図　土坑出土遺物10（218～246号土坑）……(138)
第101図　土坑出土遺物11（246～257号土坑）……(140)
第102図　土坑出土遺物12（258～271号土坑）……(141)
第103図　土坑出土遺物13（273～308号土坑）……(142)
第104図　土坑出土遺物14（317～331号土坑）……(143)
第105図　1～3号埋設土器……(144)
第106図　1・2号集石……(146)
第107図　遺構外出土縄文土器(1)……(147)
第108図　遺構外出土縄文土器(2)……(148)
第109図　遺構外出土縄文土器(3)……(150)
第110図　1～3号井戸・1号方形土坑……(156)
第111図　3号井戸出土遺物……(157)
第112図　1・2号溝……(159)
第113図　その他の近世出土遺物……(160)
第114図　黒浜式土器集成図……(162)
第115図　有尾・諸磯a・b・吹浦・浮島式土器集成図…(163)
第116図　遺構外出土軽石製石製品(1)……(164)
第117図　遺構外出土軽石製石製品(2)……(166)
第118図　遺構外出土軽石製石製品(3)……(168)
第119図　軽石製石製品形状別分類図……(174)
第120図　川白田遺跡3号井戸・
テストピット3土層柱状図　……(174)

図版目次

図版1　航空写真（赤城山を望む）
図版2－1　航空写真（遺跡東方より西方を望む）
－2　同　（遺跡全景）
図版3－1　航空写真（8号住居跡周辺）
－2　同　（4・6号住居跡周辺）
図版4－1　北側調査状況（赤城山を望む）
－2　土層断面（1号テストピット）
－3　同　（2号テストピット）
－4　同　（3号テストピット）
－5　同　（4号テストピット）
図版5－1　土層断面（6号テストピット）
－2　同　（C－3グリッド）
－3　1号住居跡全景
－4　同　出土遺物近景
－5　同
図版6－1　1号住居跡遺物出土状況
－2　同　出土遺物近景
－3　同
－4　同
－5　同
図版7－1　2号住居跡全景
－2　同　出土遺物近景
－3　同
－4　同　炉跡近景
－5　3号住居跡遺物出土状況
図版8－1　3号住居跡全景
－2　同　出土遺物近景
－3　同
－4　同　炉跡土層断面
－5　4号住居跡出土遺物近景
図版9－1　4号住居跡全景
－2　同　遺物出土状況
図版10－1　4号住居跡出土遺物近景
－2　5号住居跡P－2完掘全景
－3　同　全景
－4　同　出土遺物近景
－5　同
図版11－1　5号住居跡出土遺物近景
－2　同
－3　同
－4　同
－5　6号住居跡全景
図版12－1　6号住居跡遺物出土状況
図版12－2　同　出土遺物近景
－3　同　炉跡
－4　8号住居跡遺物出土状況
－5　同　土層断面
図版13－1　8号住居跡全景
－2　同　遺物出土状況
－3　同　出土遺物近景
－4　同
－5　同
図版14－1　8号住居跡出土遺物近景
－2　同
－3　9号住居跡全景
－4　同　土層断面
－5　同　出土遺物近景
図版15－1　9号住居跡遺物出土状況
－2　10号住居跡全景
図版16－1　10号住居跡遺物出土状況
－2　同　出土遺物近景
－3　11号住居跡全景
－4　同　P－1・2調査状況
－5　同　出土遺物近景
図版17－1　12号住居跡全景
－2　同　遺物出土状況
－3　同　出土遺物近景
－4　同
－5　同
図版18－1　13号住居跡全景
－2　同　遺物出土状況
－3　同　炉跡
－4　同　炉跡確認状況
－5　同　出土遺物近景
図版19－1　14号住居跡全景
－2　同
－3　同　遺物出土状況
－4　同　埋設土器調査状況
－5　同　出土遺物近景
図版20－1　15号住居跡全景
－2　同　土層断面
－3　同　出土遺物近景
－4　16号住居跡遺物出土状況
－5　17号住居跡遺物出土状況
図版21－1　16号住居跡全景
－2　17号住居跡全景

図版22－1　17号住居跡炉跡
－2　同　出土遺物近景
－3　同
－4　同
－5　18号住居跡全景
図版23－1　18号住居跡遺物出土状況
－2　19号住居跡遺物出土状況
－3　同　全景
－4　同　土層断面
－5　同　炉跡
図版24－1　19号住居跡出土遺物近景
－2　同　遺物出土状況
－3　20号住居跡全景
－4　同　遺物出土状況
－5　22号住居跡遺物出土状況
図版25－1　22号住居跡全景
－2　同　出土遺物近景
－3　同
－4　1号土坑
－5　2号土坑
図版26－1　5号土坑
－2　同　出土遺物近景
－3　6・7号土坑
－4　11号土坑
－5　14号土坑土層断面
－6　同　土坑
－7　15号土坑
－8　16号土坑
図版27－1　17号土坑
－2　18号土坑
－3　同　出土遺物近景
－4　20号土坑
－5　24号土坑
－6　31号土坑土層断面
－7　同　土坑
－8　38号土坑
図版28－1　39号土坑
－2　40号土坑遺物出土状況
－3　41号土坑
－4　43号土坑土層断面
－5　47号土坑
－6　48号土坑
－7　53号土坑遺物出土状況
－8　54号土坑
図版29－1　58号土坑
－2　63号土坑
－3　72号土坑
－4　73号土坑
－5　75号土坑
－6　78号土坑
－7　86号土坑
－8　87号土坑土層断面
図版30－1　89号土坑
－2　90号土坑
－3　92号土坑
－4　100号土坑獣骨検出状況
図版30－5　106号土坑
－6　同　出土遺物近景
－7　107号土坑
－8　108号土坑
図版31－1　112号土坑
－2　113号土坑
－3　114号土坑
－4　115号土坑
－5　116号土坑
－6　118号土坑
－7　121号土坑
－8　122号土坑
図版32－1　129・130号土坑
－2　131号土坑
－3　133号土坑
－4　134号土坑
－5　135号土坑
－6　136号土坑
－7　137号土坑
－8　138号土坑
図版33－1　141号土坑
－2　142号土坑
－3　143号土坑
－4　144号土坑
－5　145号土坑
－6　146号土坑
－7　147号土坑
－8　148号土坑
図版34－1　148号土坑出土遺物近景
－2　149号土坑
－3　150号土坑
－4　151号土坑
－5　152号土坑
－6　153号土坑
－7　154号土坑
－8　155号土坑
図版35－1　156号土坑
－2　157号土坑
－3　158号土坑
－4　159号土坑
－5　160号土坑
－6　161号土坑
－7　163号土坑
－8　167号土坑
図版36－1　168号土坑土層断面
－2　同　土坑
－3　同　出土遺物近景
－4　169号土坑
－5　170号土坑
－6　172号土坑
－7　173号土坑
－8　174号土坑
図版37－1　175号土坑
－2　176号土坑
－3　177号土坑
－4　178号土坑

図版37－5　179号土坑
－6　180号土坑
－7　183号土坑
－8　185号土坑
図版38－1　186号土坑土層断面
－2　同　土坑
－3　187号土坑
－4　188号土坑
－5　189号土坑
－6　190号土坑
－7　191号土坑
－8　192号土坑
図版39－1　193号土坑
－2　194号土坑
－3　195号土坑
－4　199号土坑
－5　200号土坑
－6　201号土坑
－7　202号土坑
－8　203号土坑
図版40－1　204号土坑
－2　205号土坑
－3　206号土坑
－4　207号土坑
－5　208号土坑
－6　209号土坑
－7　210号土坑
－8　211号土坑
図版41－1　212号土坑
－2　213号土坑
－3　214号土坑
－4　215号土坑
－5　216号土坑
－6　217号土坑
－7　218号土坑
－8　219号土坑
図版42－1　220号土坑
－2　221号土坑
－3　222号土坑
－4　233号土坑
－5　234号土坑
－6　238号土坑
－7　241号土坑
－8　245号土坑
図版43－1　246号土坑
－2　247号土坑土層断面
－3　249号土坑調査状況
－4　同　土坑
－5　250号土坑
－6　251号土坑
－7　253・254・255号土坑
－8　258号土坑
図版44－1　265号土坑
－2　266号土坑
－3　270号土坑
－4　272号土坑
図版44－5　273号土坑
－6　274号土坑
－7　277号土坑
－8　278号土坑
図版45－1　281号土坑
－2　294号土坑
－3　304号土坑
－4　307号土坑
－5　308号土坑
－6　314号土坑
－7　319号土坑遺物出土状況
－8　321号土坑
図版46－1　322号土坑
－2　323号土坑
－3　325号土坑
－4　331号土坑
－5　334号土坑
－6　339号土坑
－7　340号土坑
－8　1号集石
図版47－1　2号集石
－2　3号井戸
－3　方形土坑
－4　1号溝全景
－5　畑跡
図版48　1号住居跡出土遺物(1)
図版49　1号住居跡出土遺物(2)
図版50　1号住居跡出土遺物(3)
図版51　2・3号住居跡出土遺物
図版52　3号住居跡出土遺物
図版53　3・4号住居跡出土遺物
図版54　4号住居跡出土遺物(1)
図版55　4号住居跡出土遺物(2)
図版56　5号住居跡出土遺物
図版57　5・6号住居跡出土遺物
図版58　6・8号住居跡出土遺物
図版59　8号住居跡出土遺物(1)
図版60　8号住居跡出土遺物(2)
図版61　8号住居跡出土遺物(3)
図版62　8号住居跡出土遺物(4)
図版63　8号住居跡出土遺物(5)
図版64　8・9号住居跡出土遺物
図版65　9・10号住居跡出土遺物
図版66　11号住居跡出土遺物
図版67　11・12号住居跡出土遺物
図版68　13・14号住居跡出土遺物
図版69　14～16号住居跡出土遺物
図版70　16・17号住居跡出土遺物
図版71　17・18号住居跡出土遺物
図版72　18・19号住居跡出土遺物
図版73　19号住居跡出土遺物
図版74　19～22号住居跡出土遺物
図版75　22号住居跡・2～39号土坑出土遺物
図版76　40～58号土坑出土遺物
図版77　61～89号土坑出土遺物
図版78　78号土坑出土遺物

図版79　90～152号土坑出土遺物
図版80　152～169号土坑出土遺物
図版81　169～218号土坑出土遺物
図版82　220～249号土坑出土遺物
図版83　249～265号土坑出土遺物
図版84　267～313号土坑出土遺物
図版85　314～331号土坑・1～3号埋甕出土遺物
図版86　遺構外出土遺物(1)・3号井戸出土遺物
図版87　遺構外出土遺物(2)
図版88　遺構外出土遺物(3)

表目次

表1　平成7年度川白田遺跡調査会組織表……(序)
表2　平成8年度川白田遺跡調査会組織表……(序)
表3　平成9年度川白田遺跡調査会組織表……(序)
表4　周辺遺跡一覧表……(2)
表5　1号住居跡出土石器組成表……(11)
表6　1号住居跡出土土器観察表(1)……(17)
表7　1号住居跡出土土器観察表(2)……(18)
表8　2号住居跡出土土器観察表……(19)
表9　2号住居跡出土石器組成表……(19)
表10　3号住居跡出土土器観察表……(25)
表11　3号住居跡出土石器組成表……(26)
表12　13号住居跡出土土器観察表……(27)
表13　13号住居跡出土石器組成表……(27)
表14　4号住居跡出土土器観察表……(30)
表15　4号住居跡出土石器組成表……(30)
表16　5号住居跡出土土器観察表……(33)
表17　5号住居跡出土石器組成表……(33)
表18　6号住居跡出土土器観察表……(38)
表19　6号住居跡出土石器組成表……(38)
表20　7号住居跡出土石器組成表……(38)
表21　8号住居跡出土土器観察表(1)……(39)
表22　8号住居跡出土土器観察表(2)……(40)
表23　8号住居跡出土土器観察表(3)……(48)
表24　8号住居跡出土石器組成表……(49)
表25　8号住居跡出土軽石製石製品一覧表(1)……(49)
表26　8号住居跡出土軽石製石製品一覧表(2)……(54)
表27　9号住居跡出土土器観察表(1)……(54)
表28　9号住居跡出土土器観察表(2)……(57)
表29　9号住居跡出土石器組成表……(57)
表30　10号住居跡出土土器観察表……(59)
表31　10号住居跡出土石器組成表……(59)
表32　11号住居跡出土土器観察表……(63)
表33　11号住居跡出土石器組成表……(63)
表34　12号住居跡出土土器観察表……(65)
表35　12号住居跡出土石器組成表……(65)
表36　14号住居跡出土土器観察表……(68)
表37　14号住居跡出土石器組成表……(68)
表38　15号住居跡出土土器観察表……(68)
表39　15号住居跡出土石器組成表……(70)
表40　16号住居跡出土土器観察表……(73)
表41　16号住居跡出土石器組成表……(73)
表42　17号住居跡出土土器観察表……(76)
表43　17号住居跡出土石器組成表……(77)
表44　18号住居跡出土土器観察表……(77)
表45　18号住居跡出土石器組成表……(77)
表46　19号住居跡出土土器観察表(1)……(82)
表47　19号住居跡出土土器観察表(2)……(84)
表48　19号住居跡出土石器組成表……(84)
表49　20号住居跡出土土器観察表……(85)
表50　20号住居跡出土石器組成表……(86)
表51　21号住居跡出土土器観察表……(86)
表52　21号住居跡出土石器組成表……(86)
表53　22号住居跡出土土器観察表……(89)
表54　22号住居跡出土石器組成表……(89)
表55　住居跡出土礫集計表……(89)
表56　土坑一覧表(1)……(90)
表57　土坑一覧表(2)……(96)
表58　土坑一覧表(3)……(102)
表59　土坑一覧表(4)……(107)
表60　土坑一覧表(5)……(113)
表61　土坑一覧表(6)……(118)
表62　土坑一覧表(7)……(121)
表63　土坑出土石器組成表……(124)
表64　土坑出土土器観察表(1)……(125)
表65　土坑出土土器観察表(2)……(127)
表66　土坑出土土器観察表(3)……(131)
表67　土坑出土土器観察表(4)……(134)
表68　土坑出土土器観察表(5)……(139)
表69　土坑出土土器観察表(6)……(143)
表70　埋設土器観察表……(145)
表71　遺構外出土土器・土製品観察表(1)……(149)
表72　遺構外出土土器・土製品観察表(2)……(151)
表73　遺構外出土石器組成表……(155)
表74　軽石製石製品重量別分布表……(165)
表75　遺構内外出土軽石製石製品一覧表……(168)
表76　川白田遺跡の屈折率測定結果……(173)

第１章　発掘調査に至る経緯

群馬県教育委員会文化財保護課では、群馬県関係が実施する開発事業について、平素より各課・各機関へ文書・パンフレットを送付したり定期的な打ち合わせを行い、また土地利用調整などの合議を通じてその把握に努め、必要な対応をとろうとしている。

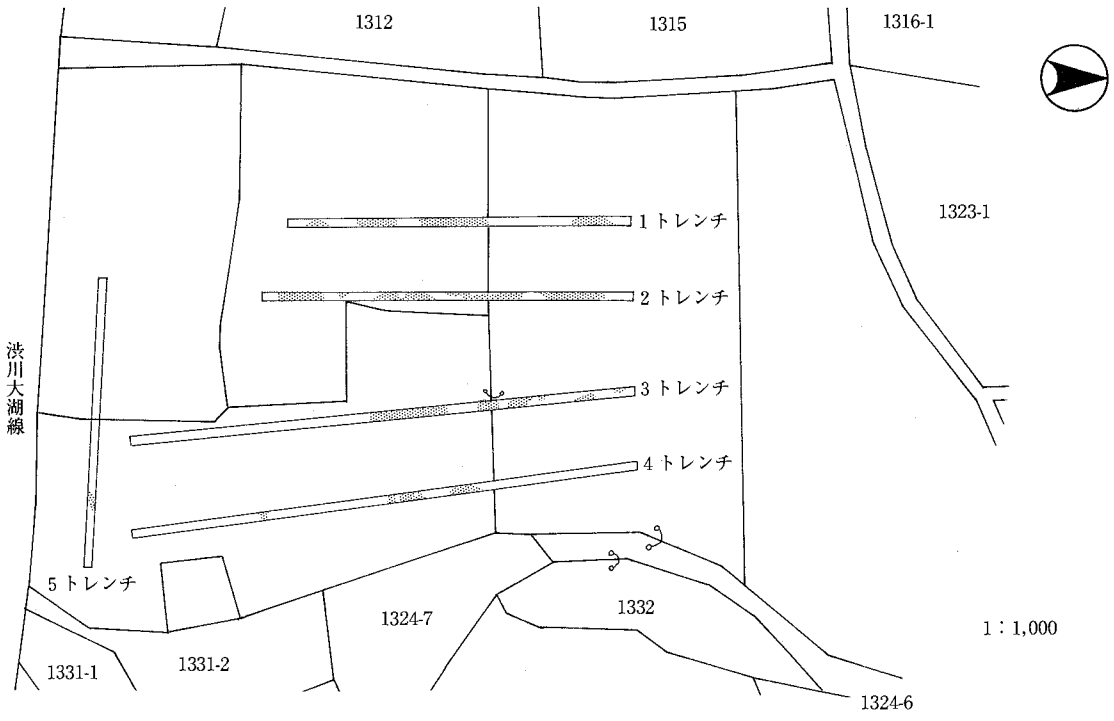
平成６年10月、群馬県企業局水道課より、県央第二水道供給事業に係る低区調整池の建設候補地について、文化財保護課あてに、当該地における埋蔵文化財の所在の有無について照会がなされた。これについて、文化財保護課では対象地が「周知の遺跡」に隣接していること、また前橋市教育委員会の踏査によっても土器等の散布が確認されていることなどから、遺跡の有無、範囲等を確認する試掘調査が必要であると判断し、その旨を回答するとともに、具体的な取扱について協議を進めることとなった。

これに伴い、県企業局より、文化財保護課あて、試掘調査が依頼されたため、平成７年５月試掘調査を実施したところ、縄文時代前期の集落の一部と想定される竪穴住居などが濃密に分布していることが確認され、遺跡であることが明らかになったため、前橋市教育委員会とも協議の上、「川白田遺跡」と命名された。

その後、県企業局と県教育委員会、及び前橋市教育委員会との間で遺跡の保存と調整池建設について調整がなされた。この結果、県央第二水道供給事業の必要性及び立地条件などから現在位置での調整池の建設は不可避であるものの、可能な限り遺跡保存に努めるとともに、やむを得ず建設工事により掘削を受けて現状保存が不可能な部分については、発掘調査を実施して記録保存の措置を取ることとなった。また、調査については群馬県教育委員会に事務局を置く調査会を組織し、実施することとした。

これを受けて、平成７年７月県企業局管理者より、群馬県教育委員会教育長を通じて、川白田遺跡調査会に調査依頼がなされることになり、同年８月１日より調査に着手することになった。

なお、出土資料及び関連記録については、前橋市教育委員会で保管活用する予定である。



第１図　試掘トレンチ設定図

第２図　遺跡の位置と周辺の遺跡

表４　周辺遺跡一覧表

	遺跡名	所在地	時期	概要	文献
1	川白田遺跡	小坂子町1330番地	縄文前期	集落跡	本書
2	東公田古墳	嶺町1834-1番地	7世紀後半	円墳	『川曲遺跡・東公田古墳』1982 群馬県教育委員会
3	オブ塚古墳	勝沢町西曲輪420	古墳時代		『オブ塚古墳発掘報告書』1952 群大尾崎研究室 他
4	オブ塚西古墳	勝沢町西久保	古墳時代	形状不明　箱式石棺状の石室	尾崎喜左雄「オブ塚西古墳」『前橋市史１』1971
5	芳賀北部団地遺跡	嶺町・勝沢町・小坂子町	縄文古墳～中世	集落跡・古墳・製鉄址	『芳賀団地遺跡群』第５巻 1990 前橋市教育委員会
6	勝沢城	勝沢町	中世	堀・帯郭	『群馬県の中世城館跡』1988 群馬県教育委員会
7	小坂子城	小坂子町	中世	堀切・土居・戸口・腰郭	『群馬県の中世城館跡』1988 群馬県教育委員会
8	芳賀東部団地遺跡	鳥取町・小坂子町・五代町	縄文古墳～中世	集落跡・古墳・城・製鉄址	『芳賀団地遺跡群』第1～3巻 1990 前橋市教育委員会
9	小神明遺跡群	勝沢町富士塚下353-2他	縄文　奈良平安	集落跡	
10	芳賀西部団地遺跡	鳥取町・小神明町・五代町	縄文～中世	集落跡・古墳	『芳賀団地遺跡群』第４巻 1991 前橋市教育委員会
11	槍峯遺跡	上泉町	古墳～平安	集落跡	
12	小坂子要害城	小坂子町	中世	堀・堀切・腰郭	『群馬県の中世城館跡』1988 群馬県教育委員会
13	倉本遺跡	鳥取町字倉本103-12他	弥生中～後期	集落跡	
14	西田遺跡	鳥取町字西田92	縄文	集落跡	

第２章　遺跡の位置と考古学的環境

第１節　遺跡の地理的環境

本遺跡は関東平野の北端に位置する赤城山南麓の斜面部小坂子町1,330番地にある。小坂子町周辺の地形は東方の寺沢川に代表される、赤城山麓の湧水を源とする無数の名もない小河川が扇状地形に沿って南下し、山麓斜面を浸食して開析谷と丘陵性の台地を造り出している。台地は南北に細長くのび、台地上には集落と畑地が構成されている。一方、台地と台地に挟まれる開析谷には水田がやはり南北に細長く延びる。

遺跡は主要地方道渋川・大胡線の北側、小坂子町福徳寺の南東150ｍに位置するもので、丘陵性台地の東側端部に立地し、調査前の地目は桑畑として利用されていた。

調査区域の標高は北側で207ｍ、南側の斜面部分で203ｍで緩やかに南方向に傾斜している。東側の谷部底面との比高は約12ｍである。

第２節　遺跡の歴史的環境

本遺跡を包括する丘陵性の台地上には、旧石器時代より中世にいたる各時代の遺跡が確認されている。芳賀団地遺跡群の報告書（1984）によれば、同地域の標高360ｍ以下の台地上の86％が遺跡であると記載されている。しかしながら、前橋市北部にあたる本遺跡周辺では、発掘調査例が他の地域に比較して少なく不明な点が多い地区でもある。

旧石器時代の資料については、富士見村や北橘村での調査例が近年報告され資料の蓄積が見られるが、資料的には少ない。

縄文時代では芳賀工業団地遺跡群で良好な資料が得られている。同遺跡では東部・西部・北部の３地区に於て凡そ40haの調査が行われ、96軒の縄文時代住居跡が検出されている。時期別に見れば前期の資料を中心に中期末より後期前半の資料がある。その他では大胡町上大屋・樋越地区遺跡群に於いてやはり前期を中心とする集落跡が検出されている。

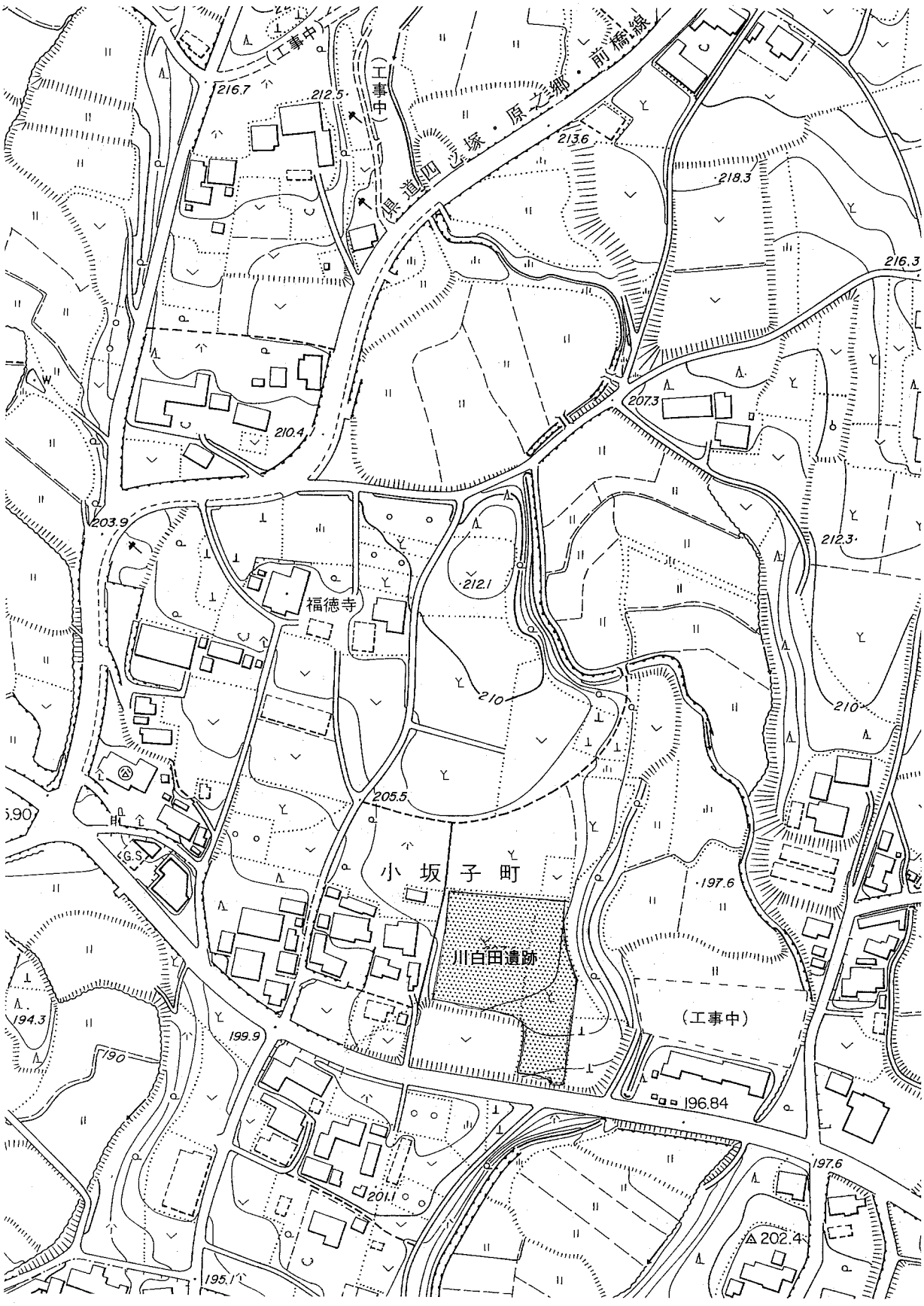
弥生時代では、遺跡南西に位置する倉本遺跡に於いて中～後期の住居跡２軒、端気遺跡に於いて方形周溝墓が検出されている程度で資料的には少ない。

古墳時代前期では芳賀工業団地遺跡群で集落跡が、西田遺跡では中期の集落跡が検出されている。

後期では昭和13年に刊行された上毛古墳総覧の調査に於て、小坂子地区で27基の古墳をはじめとして五代11基、勝沢９基、嶺７基、鳥取５基、端基４基、小神明１基が報告されており、周辺に於ける古墳群の存在は早くから知られている。発掘調査例としては芳賀西部団地遺跡で31基、嶺町の東公田古墳において７世紀後半の古墳が調査され、総覧記載以外でも、６世紀後半以降の後期から終末期にかけての古墳が多数確認されている。また該期の古墳に平行する時期の集落跡も検出されている。

奈良・平安時代では芳賀北部団地遺跡、同東部遺跡群、小神明遺跡群Ⅰ、檜峯遺跡で集落が検出されており、同時期における一核心の地であった可能性が指摘されている。

中世では北側300ｍに位置する小坂子要害城で堀切、腰郭が確認されている。西側500ｍに位置する小坂子城では、堀切、土居、戸口、腰郭が確認されている。また、本遺跡に近接する川白田の砦では堀が確認されている。



1：2,500

第3図　遺跡周辺の地形

第３章　調査の方法と経過

第１節　確認調査

平成７年５月

試掘調査は群馬県教育委員会文化財保護課によって、開発対象区域の凡そ10%に対して、任意の方向に幅１ｍのトレンチを５本設定し確認調査を実施した。この結果、各トレンチより遺構及び遺物が検出され、本調査の必要性が認められるに至った。トレンチは記録を行なった後に埋め戻した。

第２節　本調査

平成７年

７月31日　調査開始の前日、調査前現況写真撮影を実施する。写真の撮影は大形カメラによる白黒、35㎜カメラによる白黒・カラースライド撮影を遺構、遺物について随時実施した。

８月１日　重機による桑の根の抜根作業より開始する。機材の搬入及びプレハブ・トイレの設置を行う。

８月３日　テストピット４基の掘り下げを行い、堆積状況の確認を行う。これに基づき重機による表土排土を北西側より開始する。

８月17日　重機による表土除去作業を終了する。本日より作業員による遺構確認の為の精査に着手する。調査区に10ｍ方眼のメッシュを被せた。グリッドの呼称は調査区北西端部をA-2グリッドとし、南北方向に１・２・３・・・11、東西方向にＡ・Ｂ・Ｃ・・・Ｈとした。

８月22日　遺構確認作業を終了する。遺構は調査区域の中央部分を中心としてかなりの数が点在するものと思われるが、遺構覆土は地山との識別が難しく、試掘調査に於けるトレンチ最下層までの掘り下げを実施し状況の把握に努めた。

８月23日　確認された遺構の配置図を200分の１で作成する。遺構は東側斜面部を除いてほぼ全面に分布することが確認された。

尚、実測図は20分の１を基本にし炉・遺物微細図については10分の１で実施した。

８月29日　試掘調査時に設定したトレンチの掘り下げを終了する。これによって全体の遺構の配置及び遺構覆土の把握が行えた。同日より遺構（土坑・溝・井戸）の掘り下げに着手する。

９月12日　本日より１・２号住居跡及び土坑１～30号の調査を開始する。１号住居跡からは諸磯ａ式の大形の破片が出土している。尚、当初炭窯と判断していた３号井戸では、覆屋と考えられる３対の柱穴が確認されている。尚、遺構覆土が難解である為調査は土坑を先行させる事とした。

遺構の掘り下げは住居跡は16分割で行い、各地区上中下の３層を基本に行い、遺物の取りあげもこれに従った。土層の堆積状況は住居跡で２本、土坑で１本観察を実施した。

９月28日　43号までの土坑調査を進める。南側区に検出された大形の遺構（19号住居跡）の調査を開始する。遺構の覆土は地山との区別が明瞭でなく、掘り下げは慎重に進めている。

10月12日　３・４号住居跡の調査を開始する。土坑の調査は62号までを終了する。

10月23日　５号住居跡及び104号土坑までの調査に着手する。新たに３号と５号の間に６号住居の存在を確認する。４号住居跡より石製垂飾出土。

10月26日　7・8号住居跡調査開始。4号住居跡調査継続。土坑は108号まで着手しこのうち100号までをほぼ終了する。75号土坑より石皿完形品出土。

10月27日　1・2号井戸調査を終了。

11月1日　10・11号住居跡の調査を開始する。土坑は125号までの調査を継続する。

11月10日　3・6号住居跡に重複する13号住居跡を新たに確認し調査を開始する。新旧関係は新3➡13➡6旧である。

11月15日　12号住居跡調査を開始する。159号土坑まで着手する。

11月17日　19号住居跡の柱穴・炉の調査を行う。

11月22日　3号井戸の調査を井戸最下層まで重機を用いて掘り下げた。その結果、湧水付近より丸太材・板材・鉄製品・陶磁器・櫛等が出土した。

11月29日　火山灰の分析資料採取を行う。

12月1日　旧石器の試掘坑掘り下げを実施する。

平成8年

12月2日　20号住居跡・300号土坑までの調査を進める。

1月20日　午前と午後の2回に分けて現地説明会を実施する。150日の見学者があった。20～22号住居跡の調査を進める。

2月3日　遺跡全体図を作成する。また終了状況の航空写真の撮影を実施する。

2月5日　調査区の埋め戻しを行い、現地調査の全工程を終了する。

第3節　整理調査

整理調査は平成9年4月より平成10年3月まで実施した。

遺　物

水洗い・注記　全てについて水洗いを実施した。水洗い後細片を除いてインクジェットによる注記作業を行った。接合は可能な限り実施したが、修復は実測に耐え得る程度に止めてある。

修　　復　セメダインC及び樹脂材（バイサム）を用いている。彩色は施していない。

実　　測　土器については遺跡を代表する資料を選出し原寸実測を行った。
石器については一部の軽石製品のみの実測に止めた。

台　　帳　土器・土製品、石器、金属器、木器について遺構、グリッド別に集計した。

写　　真　実測図を掲載した土器については全て撮影した。石器については関係の資料を中心に実測図を掲載しなかった遺物も含め撮影を行った。撮影には大形カメラ・小形35mmで白黒撮影を実施した。

遺　構

図　　面　全ての遺構について図面修正を行い見出しを付した。

台　　帳　実測図の台帳を作成した。

報告書　　平成10年3月末日刊行

第4章　土層

本遺跡における標準堆積土層の観察については、調査開始時に設定したテストピット6基と、3号井戸の壁面に於て行っている。調査区域は南側に向かい緩やかに傾斜し、更に東側も谷に向かって急激に標高を下げている。

第Ⅰ層の表土層は北側で60～70cmを測るが、南側に向かう程堆積は薄くなる。またⅡ層は南側の6号テストピットで30cmの堆積が確認できているものの、台地中央部分では薄い堆積となり、東側では確認できていない。第Ⅲ・Ⅳ層はロームを混入する土層でローム漸移層と判断され、遺物を包含する層になっている。

遺構の確認面はⅣ層の下部に求めた。

第Ⅴ層のローム層以下の土層については、3号テストピット及び3号井戸の壁面に於て火山灰の科学分析を実施し、第7章にその結果を掲載している。これによれば、浅間板鼻褐色軽石層（As-Bp）、赤城小沼ラピリ（Ag-KLP）、榛名八崎火山灰（Hr-Ha）、北橘スコリア（HKS）、大胡火砕流堆積物の順に火山灰の堆積が確認されている。浅間B・C、榛名FA・FP、浅間板鼻黄色軽石層（YP）は確認されていない。

以下は、土層の観察結果である。

Ⅰ層　極暗褐色土　表土層で耕作による撹乱を受ける。台地上ではしまりなく柔らかく南東側ではややしまりがある。20～40㎜の白色軽石を少量混入している。

Ⅱ層　暗黄褐色土　1層よりも暗い。しまりは1層同様である。5～10㎜の白色軽石を混入する。

Ⅲ層　暗褐色土　2層よりも暗い。しまりあり。ロームブロック・5～10㎜の白色軽石を混入する。本層中には遺物を混入する。

Ⅳ層　暗褐色土　3層よりもやや明るい。しまりあり。ロームの混入量多い。ローム漸移層か。

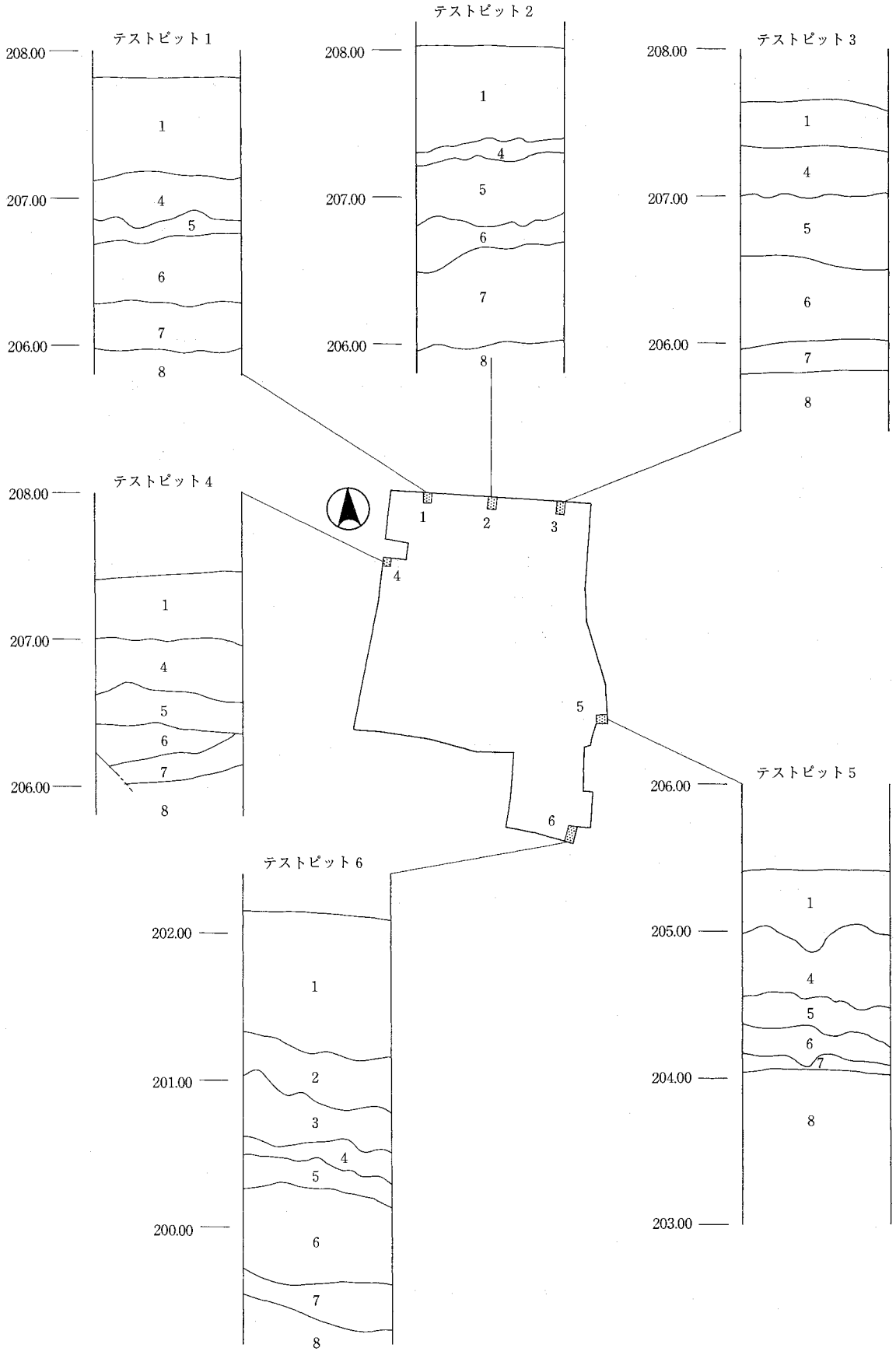
Ⅴ層　暗褐色土　しまりあり、粘性あり。白色の軽石を微量、ロームブロックを多量に混入。ローム層漸移層。

Ⅵ層　暗黄褐色土　ローム層　白色の軽石を少量混入する。

Ⅶ層　黄褐色土　ローム層　5層よりも鮮やかな黄褐色。

Ⅷ層　淡黄褐色軽石層　浅間板鼻褐色軽石層

Ⅸ層以下については科学分析の結果を参照されたい。


テストピット1
208.00
207.00
206.00
1
4
5
6
7
8
テストピット2
208.00
207.00
206.00
1
4
5
6
7
8
テストピット3
208.00
207.00
206.00
1
4
5
6
7
8
テストピット4
208.00
207.00
206.00
1
4
5
6
7
8
1
2
3
4
5
6
テストピット5
206.00
205.00
204.00
203.00
1
4
5
6
7
8
テストピット6
202.00
201.00
200.00
1
2
3
4
5
6
7
8

第4図　標準堆積土層

N
X=47460
X=47440
X=47420
X=47400
X=47380
Y=-63680
Y=-63660
Y=-63640
Y=-63620
0
20m

第5図　遺跡全体図

第５章　検出された遺構と遺物

第１節　縄文時代

本遺跡に於て検出された縄文時代の遺構は住居跡22軒、土坑338基を数える。住居跡の時代別ではいずれも前期で、中葉の黒浜・有尾期の住居跡が14軒と最も多く、後半の諸磯式ではａ・ｂ・ｃの各形式がある。土坑では、前期花積下層式・関山式が各１基、晩期に比定される１基の検出があるものの、その他は住居跡の時期とほぼ一致している。

遺跡からの採集された遺物を見れば早期大丸式、稲荷台式、押型文土器、田戸下層式、中期五領ヶ台式、阿玉台式、加曽利Ｅ式、後期堀之内式の資料も僅かながら出土しているものの、遺構の検出はない。

第１項　住居跡

１号住居跡（第６～10図、図版５・６・48～50、表５～７）

本跡はＣ・Ｄ－３・４グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の方形を呈する。規模は5.1×4.7m、確認面下の掘り込みは60㎝を測る。覆土は自然堆積で９層に分層される。床面はほぼ平坦で全体に良く踏み固めてある。柱穴は２本確認され、Ｐ－１は北壁側に位置し土坑状である。Ｐ－２は北東側コーナー部分に位置する。炉は検出されていない。

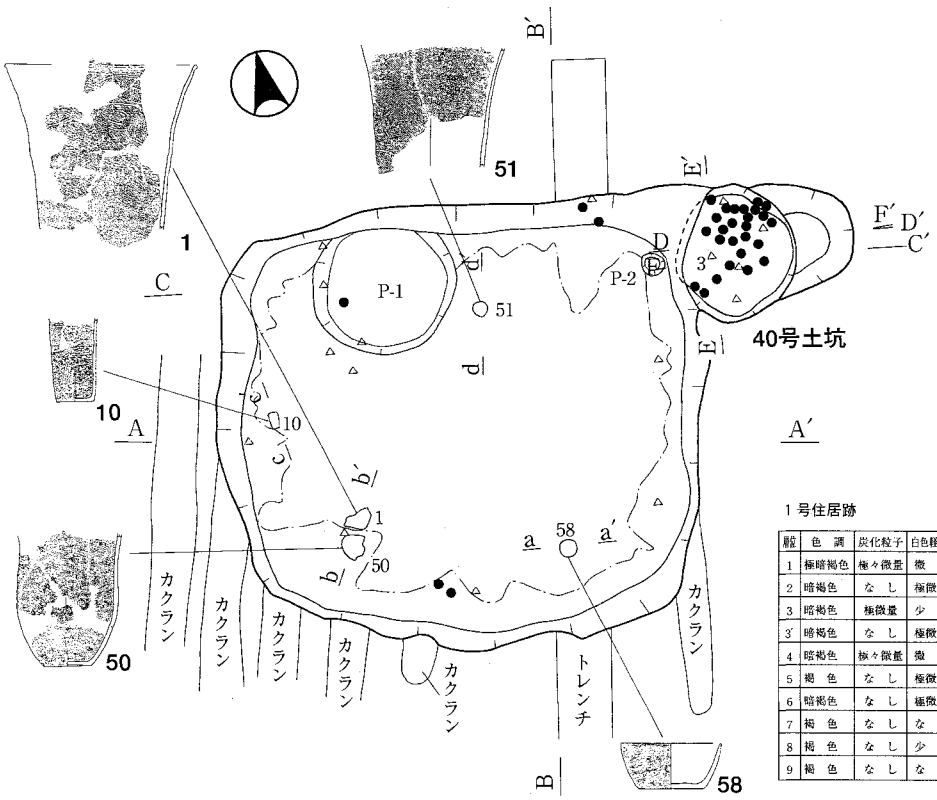
40号土坑と北東側で重複し本住居が新しい。

遺物は覆土中より大量に出土し、総量は土器68.2kg、石器557点（35.2kg）であり、このうち土器90点、石器26点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表６・７の出土土器観察表にまとめ、石器は表５の石器組成表で示した。

本住居跡からは黒浜式より吹浦式までの遺物が出土しているが、遺物の出土状況より諸磯ａ式期の所産と判断される。

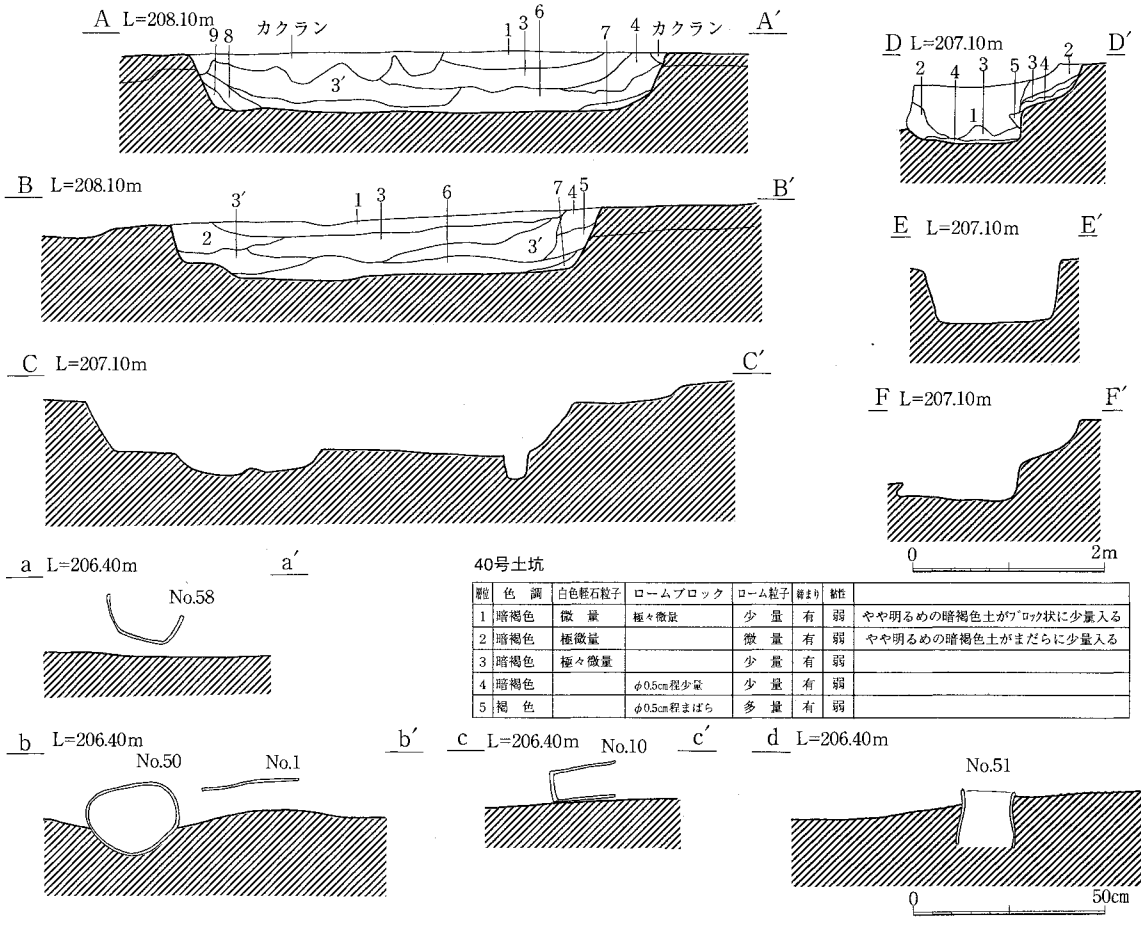
表５　１号住居跡出土石器組成表

	打斧	石鏃	石匙	錐	コア	原石	磨石	凹石	石皿	軽石	台石	叩石	多孔石	ピエス						剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩			1		9		15	5	3		1		1							17	33	85
黒色安山岩																					23	23
黒色緻密安山岩																				16		16
砂岩																				10	50	60
凝灰質砂岩	3				3															15	84	105
頁岩																				8	95	103
チャート		1	1		3															5	30	40
黒曜石		4			6	3								1						4	77	95
石英					1																	1
結晶片岩																					3	3
珪質頁岩																					1	1
流紋岩																					3	3
軽石										9												9
不明				2								1									10	13
計	3	5	2	2	22	3	15	5	3	9	1	1	1	1						75	409	557



1号住居跡

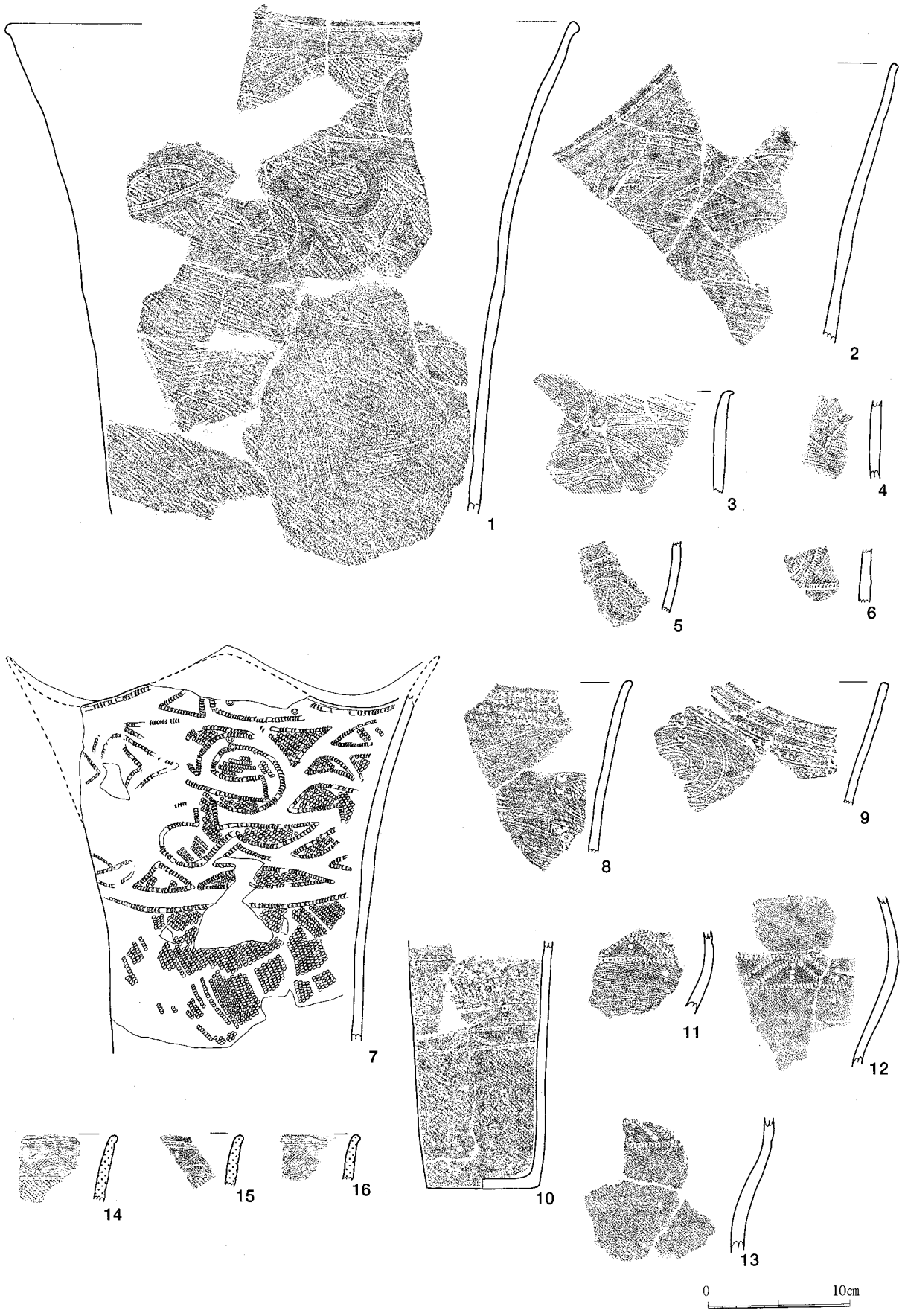
層	色　調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	極暗褐色	極々微量	微　量	ﾌﾞﾛｯｸφ1～5cm極微量	有	弱
2	暗褐色	な　し	極微量	ﾌﾞﾛｯｸφ1～7cmまばら	有	弱
3	暗褐色	極微量	少　量	ﾌﾞﾛｯｸφ1～5cm微量	有	弱
3′	暗褐色	な　し	極微量	ﾌﾞﾛｯｸφ1～3cm微量	有	弱
4	暗褐色	極々微量	微　量	微量、ﾌﾞﾛｯｸφ2～5cmまばら	有	弱
5	褐　色	な　し	極微量	多量、ﾌﾞﾛｯｸφ2～5cmまばら	有	弱
6	暗褐色	な　し	極微量		有	弱
7	褐　色	な　し	な　し	密	強	弱
8	褐　色	な　し	少　量	密	有	弱
9	褐　色	な　し	な　し	密	強	弱



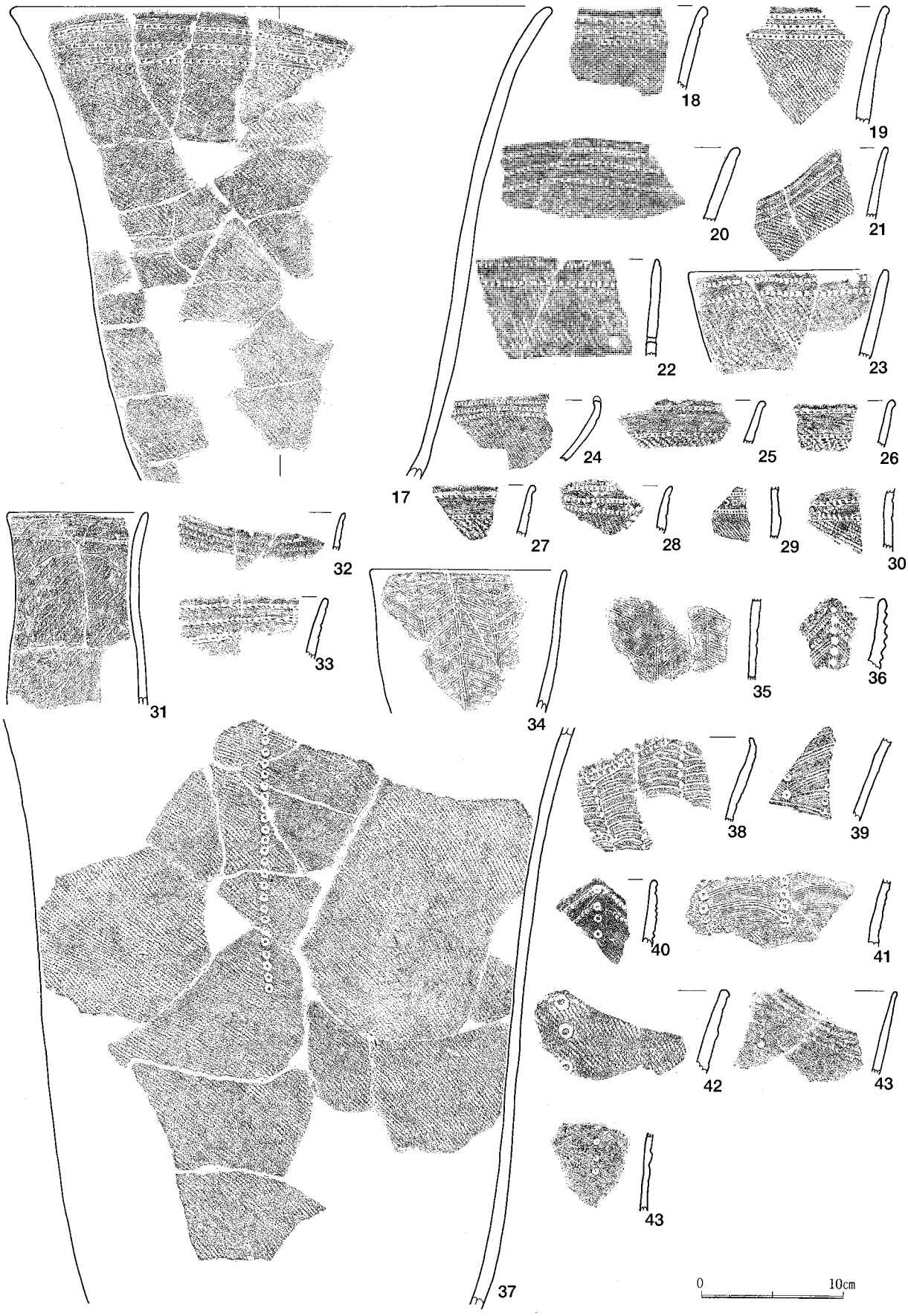
40号土坑

層	色　調	白色軽石粒子	ロームブロック	ローム粒子	締まり	粘性	
1	暗褐色	微　量	極々微量	少　量	有	弱	やや明るめの暗褐色土がﾌﾞﾛｯｸ状に少量入る
2	暗褐色	極微量		微　量	有	弱	やや明るめの暗褐色土がまだらに少量入る
3	暗褐色	極々微量		少　量	有	弱	
4	暗褐色		φ0.5cm程少量	少　量	有	弱	
5	褐　色		φ0.5cm程まばら	多　量	有	弱	

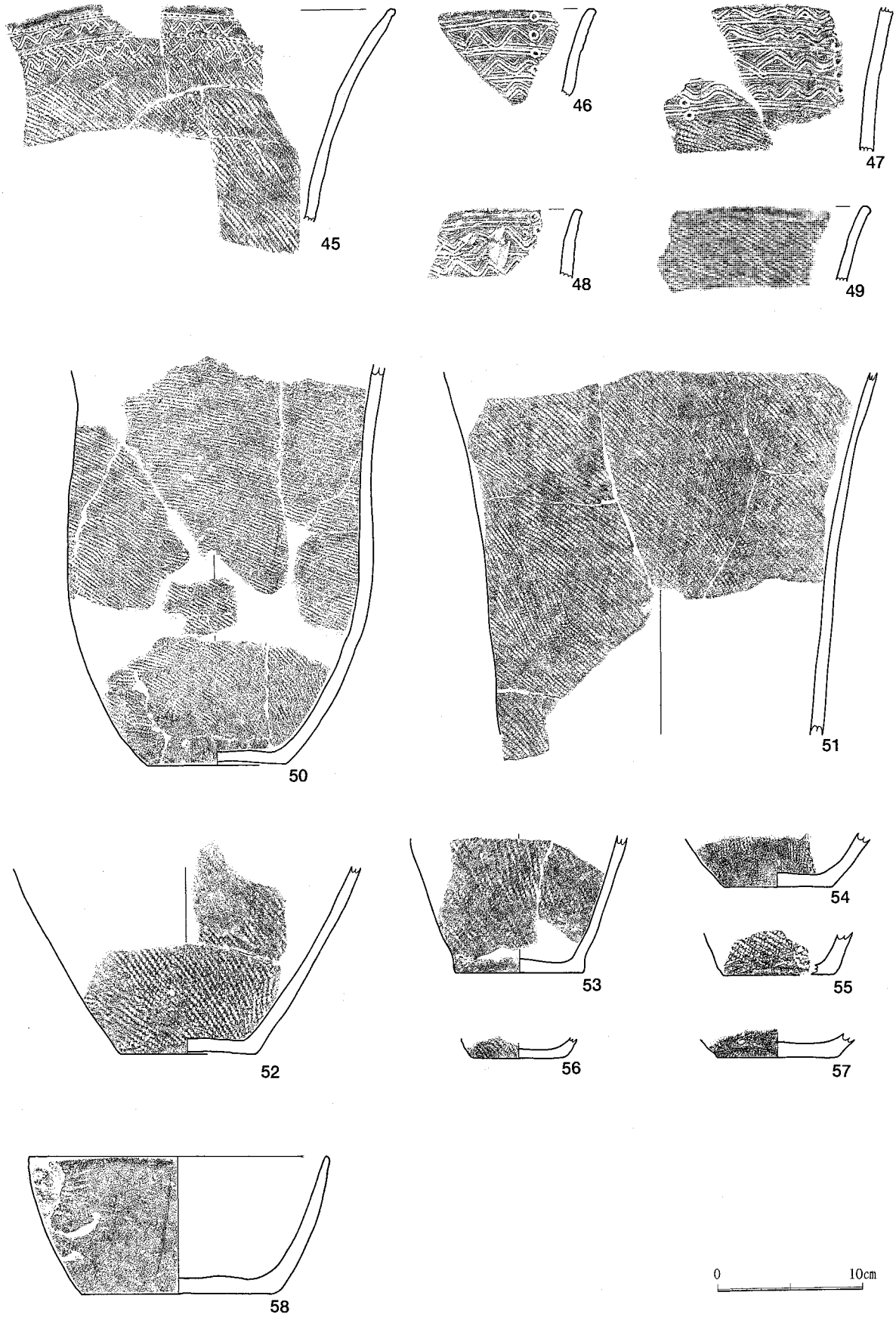
第6図　1号住居跡・40号土坑



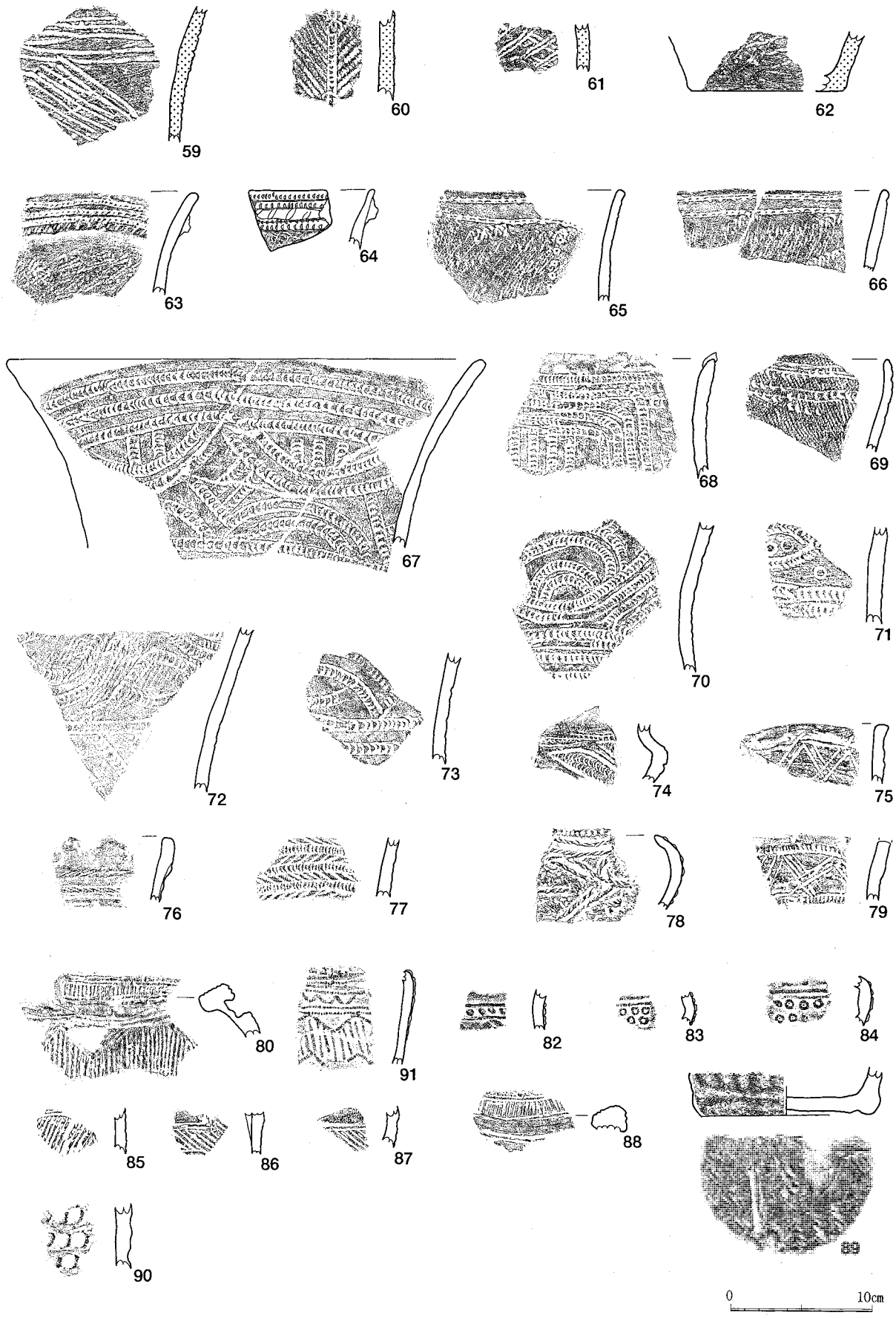
第７図　１号住居跡出土遺物（１）



第８図　１号住居跡出土遺物（２）



第９図　１号住居跡出土遺物（３）



第10図　1号住居跡出土遺物（4）

表６　１号住居跡出土土器観察表（１）

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
1	諸磯ａ	深鉢	口縁～胴下	1/4	波状口縁　木ノ葉状入組文　単節RL　第１種付加条	
2	諸磯ａ	深鉢	口縁	大型破片	波状口縁か　木ノ葉状入組文　単節RL　Ｃ爪形	
3	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	木ノ葉状入組文　単節RL	
4	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	木ノ葉状入組文　単節RL	
5	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	木ノ葉状入組文　単節RL	
6	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	木ノ葉状入組文　単節RL	
7	諸磯ａ	深鉢	口縁～胴下	2/3	４単位波状口縁　木ノ葉状入組文　単節RL　Ｃ爪形　円管刺突	
8	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	繊維混入　単節RL　半截竹管	
9	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	波状口縁　Ｃ形型　半截竹管　刺突	
10	諸磯ａ	深鉢	胴中～底部	1/2	Ｃ爪型　RL不完全　Ｃ爪型横　区画で三角連継　円管刺突	
11	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	波状口縁　単節RL　Ｃ爪形　円管刺突	
12	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	波状口縁　単節RL　Ｃ爪形　円管刺突	
13	諸磯ａ	深鉢	胴	細片	波状口縁　単節RL　Ｃ爪形　円管刺突	
14	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	繊維混入　単節RL　半截竹管	
15	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	繊維混入　単節RL　半截竹管	
16	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	繊維混入　単節RL　半截竹管	
17	諸磯ａ	深鉢	口縁～胴中	1/2	単節RL	
18	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｄ爪形　３条　単節RL	
19	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｄ爪形　３条　単節RL	
20	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
21	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	波状口縁頂部　Ｃ爪形　単節RL	
22	諸磯ａ	深鉢	口縁	大型破片	第１種付加条　竹管刺突列　補修孔あり	
23	諸磯ａ	深鉢	口縁	大型破片	第１種付加条ヵ　竹管刺突列　Ｃ爪形	
24	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	平縁小突起あり　単節RL　細縄文	
25	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
26	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
27	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
28	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
29	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	Ｃ爪形　単節RL	
30	諸磯ａ	深鉢	胴	破片	Ｃ爪形　単節RL　半截竹管	
31	諸磯ａ	深鉢	口縁～胴中	1/5	Ｃ爪形　２条　単節RL	
32	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	Ｄ爪形　単節RL　円管刺突	
33	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	平縁口縁　Ｃ爪形　単節RL	
34	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	肋骨文	
35	諸磯ａ	深鉢	胴部	細片	肋骨文	
36	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	波状口縁頂部　Ｃ爪形　１単位４条　円管刺突	
37	諸磯ａ	深鉢	胴部	大型破片	円管刺突　単節RL	
38	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	肋骨文　Ｃ爪形	
39	諸磯ａ	深鉢	胴部上	破片	肋骨文　１単位４条　円管刺突　単節RL	
40	諸磯ａ	深鉢	口縁	細片	波状口縁頂部　Ｃ爪形　円管刺突　単節RL	
41	諸磯ａ	深鉢	胴部上	破片	肋骨文　１単位４条　円管刺突　単節RL	
42	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	円管刺突　波状口縁	
43	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	円管刺突　Ｄ爪形　単節RL	
44	諸磯ａ	深鉢	胴部上	破片	円管刺突　Ｃ爪形　単節RL	
45	諸磯ａ	深鉢	口縁～胴上	大型破片	Ｃ爪形　波状文　第１種付加条	
46	諸磯ａ	深鉢	胴部上	破片	円管刺突　波状文　１単位５条の櫛描	
47	諸磯ａ	深鉢	胴部上	破片	単節RL　１単位４条の集合沈線	
48	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	平縁　円管刺突　１単位４条の波状文	
49	諸磯ａ	深鉢	口縁	破片	単節RL	
50	諸磯ａ	深鉢	胴部～底部	1/4	単節RL	
51	諸磯ａ	深鉢	胴部	大型破片	単節RL	
52	吹浦	深鉢	底部	大型破片	単節RL　有節浮線	

表７　１号住居跡出土土器観察表（２）

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　　考
53	諸磯ａ	深鉢	底部	大型破片	単節RL	
54	吹浦	深鉢	底部	破片	無文	
55	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL　繊維混入	
56	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL　繊維混入	
57	黒浜	深鉢	底部	破片	無文　繊維混入	
58	諸磯ａ	浅鉢	完形	口縁部欠	無文　内外面ナデ　外面二次焼成	
59	黒浜	深鉢	胴部	破片	半截竹管　肋骨文ヵ　繊維混入	
60	黒浜	深鉢	胴部	破片	単節RL　羽状　Ｃ爪型　繊維混入	
61	黒浜	深鉢	胴部	破片	網目状撚糸　繊維混入	
62	黒浜	深鉢	底部	破片	第２種付加条　繊維混入	
63	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	破片	第１種付加条　Ｃ爪形　凸帯	
64	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	破片	撚糸か　Ｃ爪形	
65	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	破片	第１種付加条　Ｃ爪形	
66	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	破片	第１種付加条　Ｃ爪形	
67	諸磯ｂ	深鉢	口縁	大型破片	Ｃ爪形　連弧文	
68	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　小突起　方形区画の模様	
69	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　単節RL	
70	諸磯ｂ	深鉢	胴上	破片	Ｃ爪形	
71	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　円管刺突	
72	諸磯ｂ	深鉢	胴上	破片	変形爪形と爪形　地文は撚糸ヵ　浮島Ⅱ的	
73	諸磯ｂ	深鉢	胴上	破片	Ｃ爪形	
74	諸磯ｂ	浅鉢	肩	破片	木ノ葉状入組文　Ｃ爪形	
75	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	半截竹管	
76	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	浮線　小突起２個	
77	諸磯ｂ	深鉢	胴	破片	浮線　Ｃ爪形	
78	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	浮線	
79	諸磯ｂ	深鉢	胴上	破片	Ｃ爪形	
80	十三菩提	深鉢	口縁	破片	集合沈線　三角印刻文	
81	吹浦	深鉢	口縁	破片	有節浮線	
82	吹浦	深鉢	胴	破片	有節浮線	
83	吹浦	深鉢	胴	破片	有節浮線	
84	吹浦	深鉢	胴	破片	有節浮線	
85	十三菩提	深鉢	胴	破片	集合沈線	
86	十三菩提	深鉢	胴	破片	集合沈線	
87	十三菩提	深鉢	胴	破片	集合沈線	
88	十三菩提	深鉢	口縁	破片	集合沈線　三角印刻文	
89	不明	深鉢	底部	破片	無文　底部網代	中期ヵ
90	浮島Ⅲ	深鉢	胴	破片	刺突文	

2号住居跡（第11・12図、図版7・51、表8・9）

本跡はB－5・6、C－6グリッドに於いて検出された。平面形状は南西側がやや広がる隅丸の方形呈する。規模は5.09×4.84mで、確認面下の掘り込みは60cmを測る。覆土は自然堆積で19層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴が4本確認される。その配置は3本が壁際に配置される。炉は住居跡南西壁寄りに位置し、箱形にやや深く掘り込んだ後に埋め戻し浅い皿状で使用している。火床及び掘り形の内部より僅かながら焼土の検出が見られるものの、被熱は僅かである。重複遺構はない。

遺物は覆土中よりまとまって出土し、総量は土器24kg、石器147点（12.9kg）であり、土器18点、石器19点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表8の出土土器観察表にまとめ、石器は表9の石器組成表で示した。

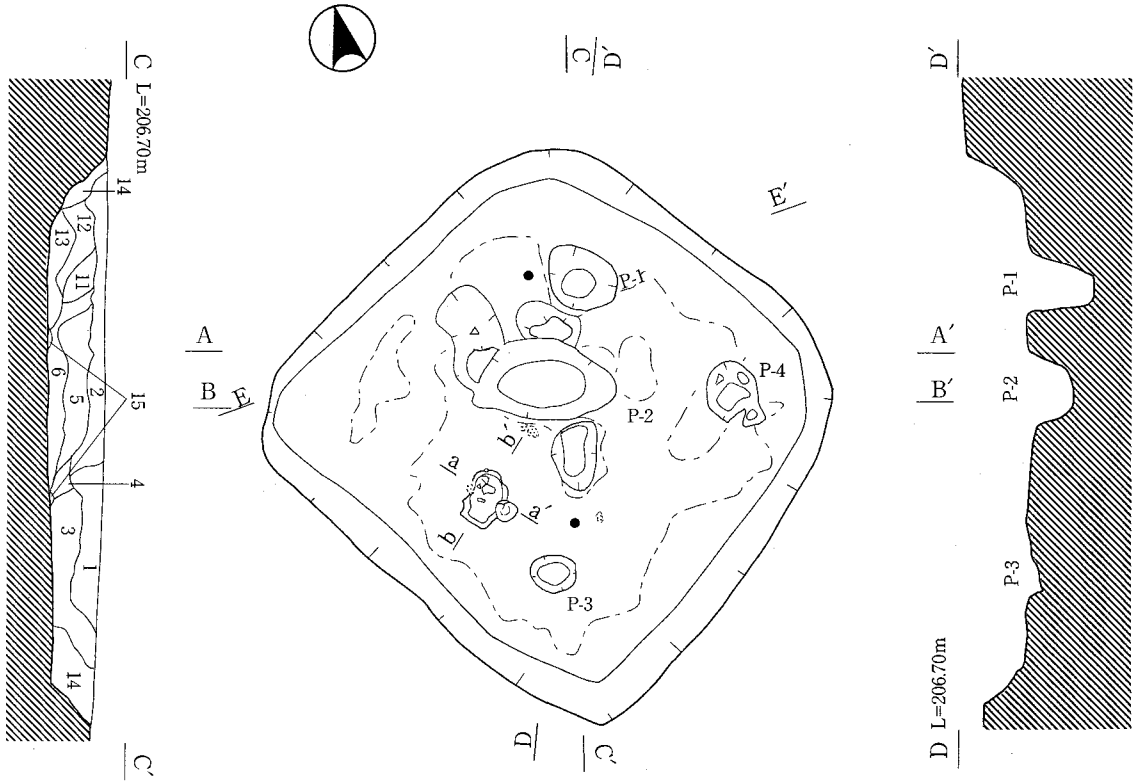
本住居跡は出土遺物より黒浜式期の所産と考えられる。

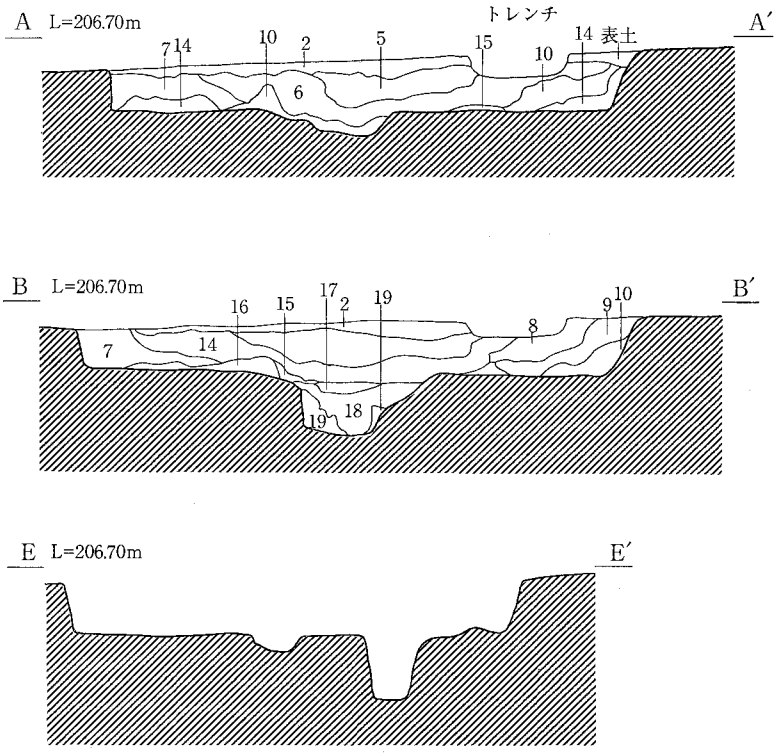
表8　2号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	半截竹管　平行線　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁	破片	半截竹管　平行線　波状口縁　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	半截竹管　平行線　C爪形　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	半截竹管　平行線　C爪形　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	半截竹管　平行線　C爪形　繊維混入	
6	黒浜	浅鉢	口縁～胴部	破片	半截竹管　平行線　C爪形　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　円管刺突　C爪形　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁	破片	波状口縁頂部　C爪形　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　C爪形　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	胴部	破片	第1種付加条　単節LR　C爪形　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	胴部	大型破片	屈曲部に隆帯　C爪形　無節L　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	胴部	大型破片	単節RL　第2種付加条の使い分け　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	単節RL　繊維混入	
14	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　口辺無文　繊維混入	
15	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RLの羽状　繊維混入	
16	黒浜	深鉢	口縁	破片	波状口縁　無文　繊維混入	
17	黒浜	深鉢	胴部～底部	破片	第1種付加条　LR　平底　繊維混入	
18	黒浜	深鉢	底部台付	破片	脚台部分　繊維混入	

表9　2号住居跡出土石器組成表

	石鏃	石匙	ヘラ	コア	スクレイパー	楔	凹石	軽石	錐										剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩							3												1	12	16
黒色緻密安山岩				1																	1
砂岩				2	2	1													4	19	28
凝灰質砂岩		1		2	5														16	25	49
頁岩			2		1				1										2	12	18
緑色岩																				5	5
チャート	1	1																	2	3	7
黒曜石	3																		1	10	14
軽石								1													1
メノウ																				1	1
片岩																				7	7
計	4	2	2	5	8	1	3	1	1										26	94	147



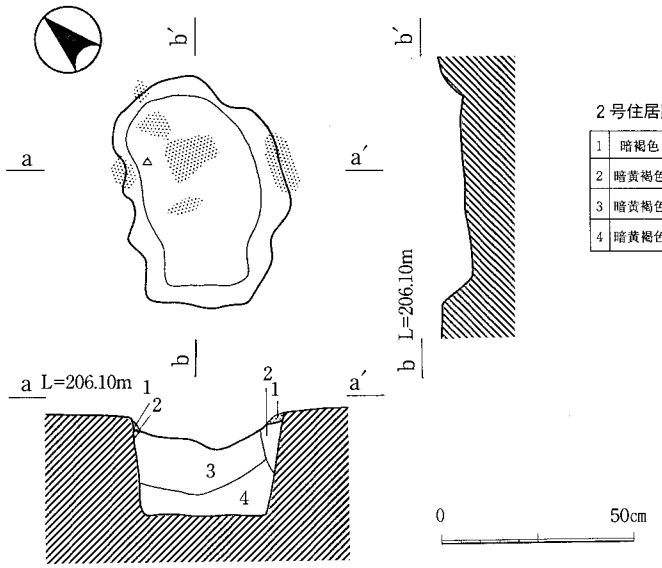


2号住居跡

層位	色調	焼化粒子	白色粒石粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	微量	極微量、φ1cm極々微量	有	弱
2	暗褐色	少量	極微量		有	弱
3	暗褐色		極々微量	まばら、φ1～2cm少量	有	弱
4	暗褐色	少量			有	弱
5	黒褐色	微量	極々微量		有	弱
6	暗褐色	少量	極々微量	微量	有	弱
7	暗褐色	まばら	極々微量	微量	有	弱
8	暗褐色	まばら	少量	礫φ3～4cm極々微量	有	弱
9	暗褐色	少量	少量		有	弱
10	暗褐色	少量	極微量	少量、φ1～3cm極微量	有	弱
11	極暗褐色	微量		φ1～2cm極々微量	有	弱
12	暗褐色	まばら	微量	φ1～2cm極微量	有	弱
13	極暗褐色	微量	少量		有	弱
14	褐色			多量	有	弱
15	暗褐色			少量、φ2～6cmまばら	有	弱
16	褐色			まばら、φ2～6cm多量	有	弱
17	暗褐色				強	有
18	褐色				有	有
19	明褐色				有	有

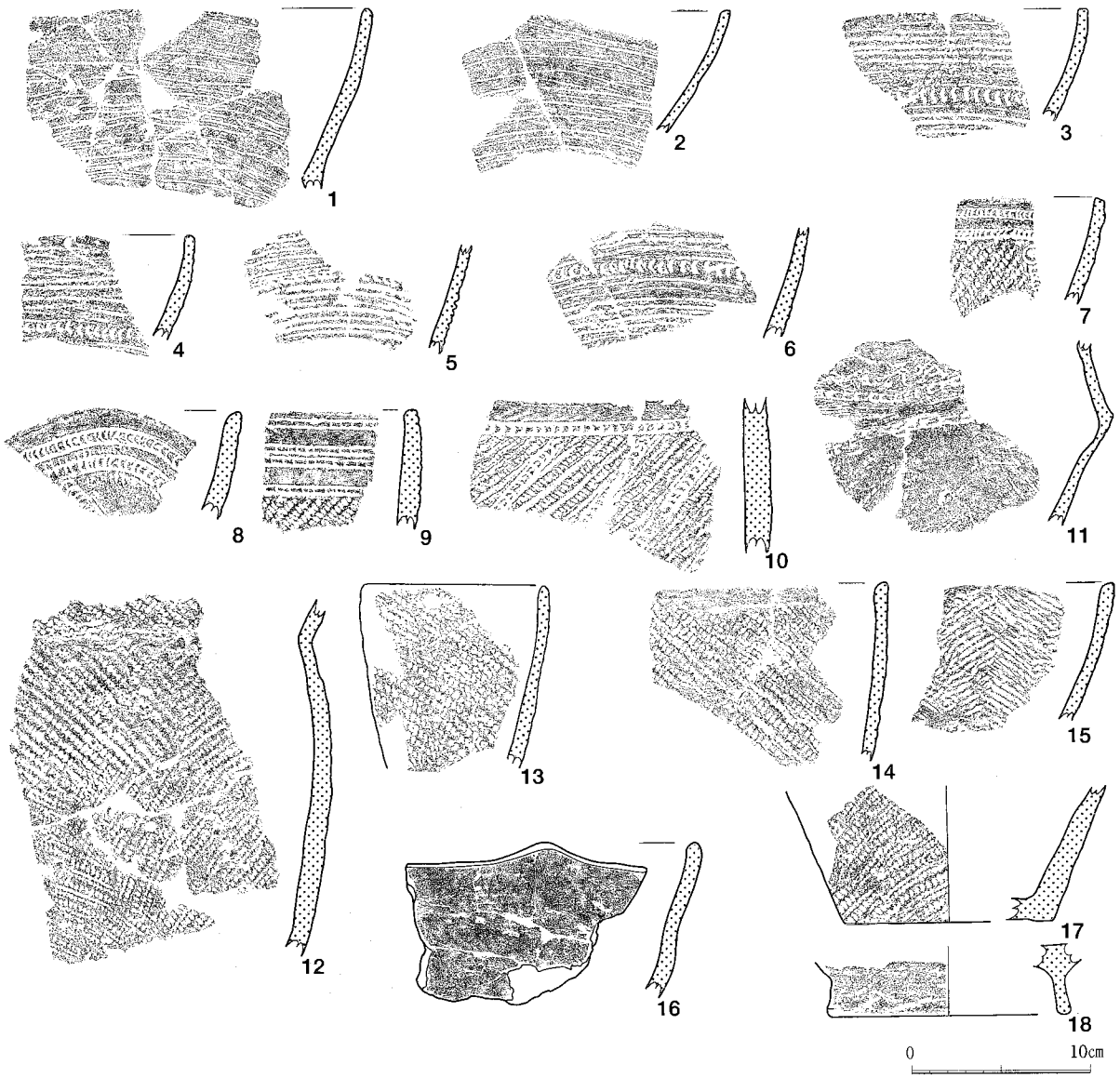
0 2m

第11図　2号住居跡

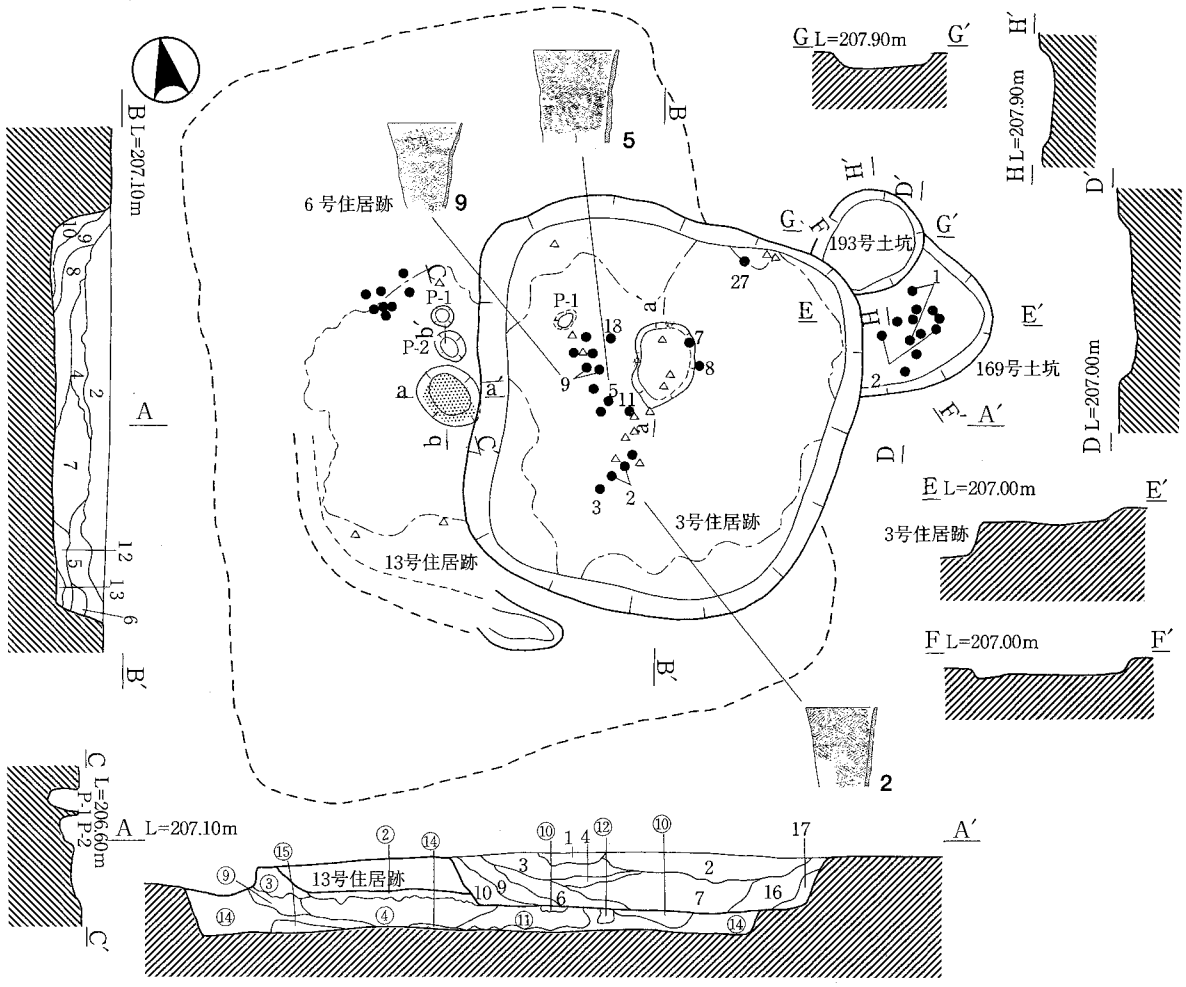


2号住居跡　炉跡

1	暗褐色	貼床が焼け硬化している。
2	暗黄褐色	貼床が粒子の粗い砂粒状のロームと突き堅めている。
3	暗黄褐色	白色軽石粒子極微量、焼土粒子極々微量。
4	暗黄褐色	白色軽石粒子極微量、焼土粒子極々微量。3より締まりが弱い。



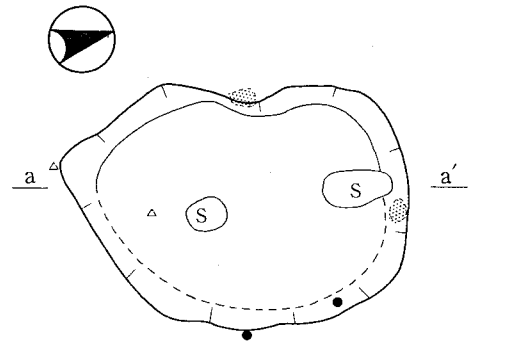
第12図　2号住居跡炉・同住居跡出土遺物



3号住居跡

層位	色　調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	微　量	ブロックφ0.5～1cm微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	まばら	ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
3	極暗褐色	極微量	少　量	極微量	有	弱
4	暗褐色	極微量	微　量	少　量	有	弱
5	暗褐色		微　量	ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
6	褐　色	極微量	微　量	多　量	有	弱
7	暗褐色	極微量	極微量		有	弱
8	極暗褐色		少　量	ブロックφ1cm極少量	有	弱
9	暗褐色	極微量	微　量	ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
10	暗褐色	極微量	微　量	ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
11	暗褐色	極微量	極微量		有	弱
12	暗褐色		極微量	ブロックφ2cm	有	弱
13	褐　色		極微量	まばら	強	弱
14	暗褐色	極微量	極微量	ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
15	暗褐色		極微量	ブロックφ1～3cm極微量	有	弱
16	暗褐色	極微量	少　量	微量	有	弱
17	暗褐色		微　量	ブロックφ0.5～1cm微量	有	弱

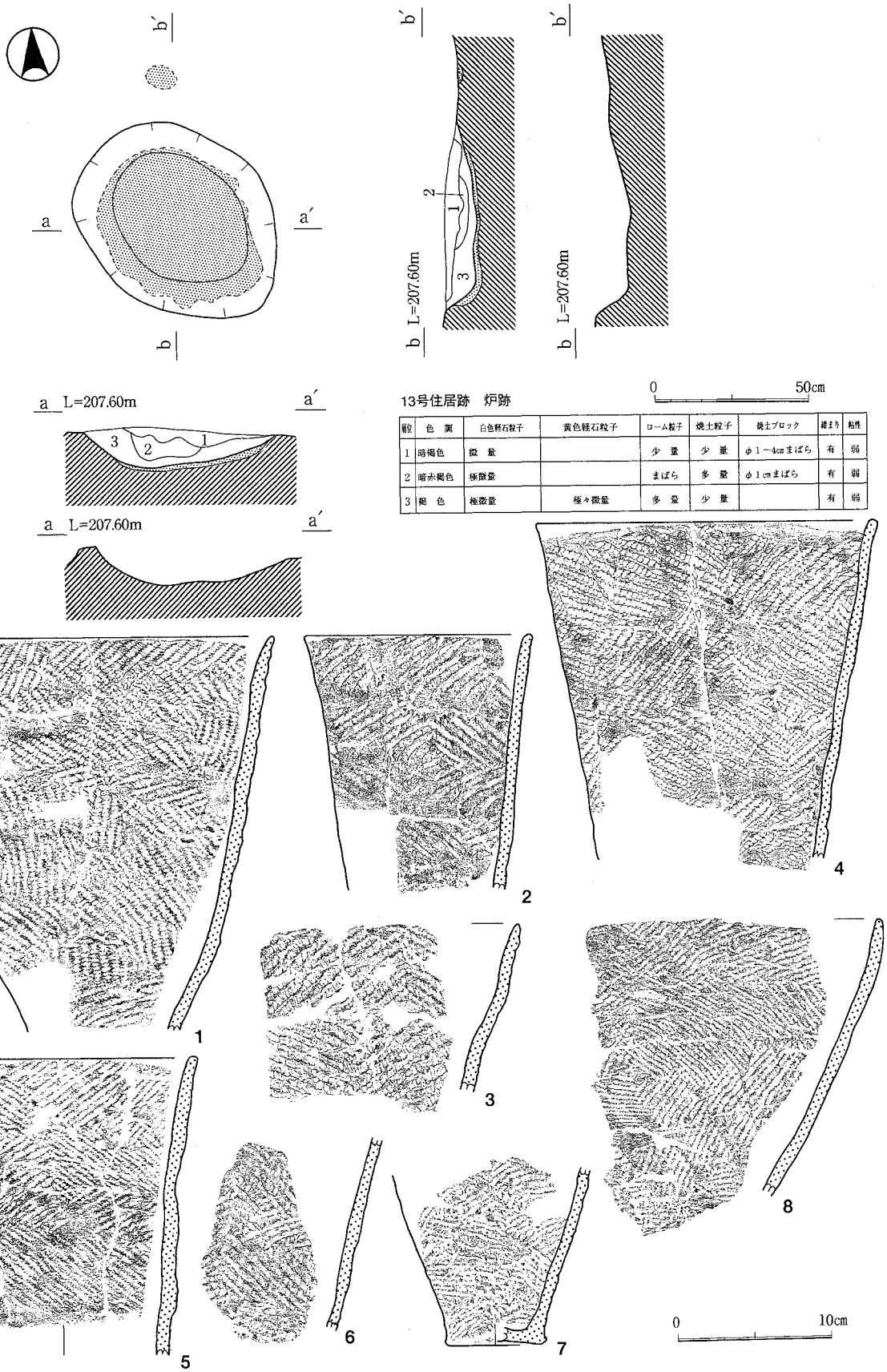
※②～⑮は6号住居跡参照



3号住居跡　炉跡

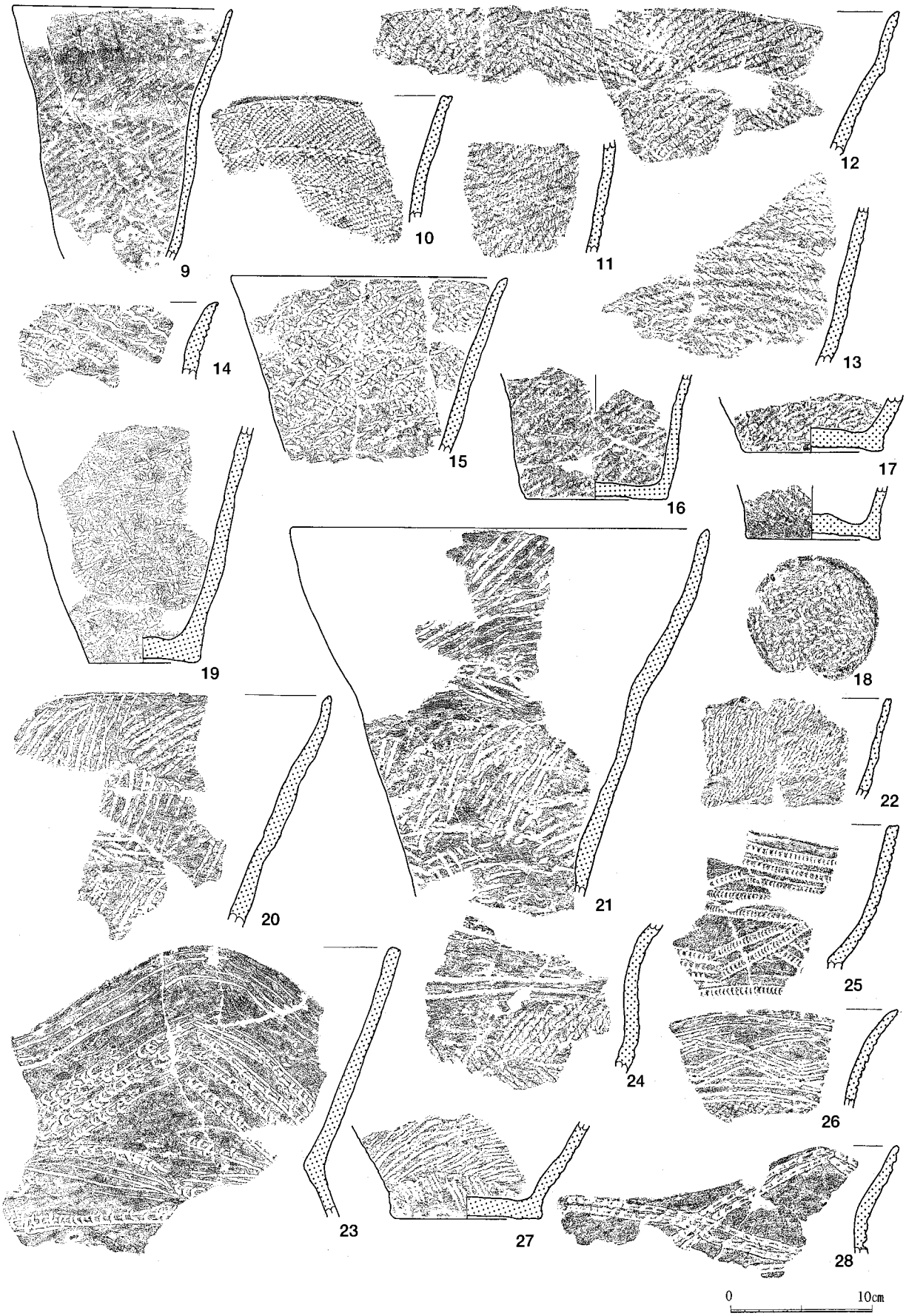
層位	色　調	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	黒褐色	少　量		有	弱
2	暗黄褐色	少　量	まだらに少量入る	有	弱
3	暗黄褐色	微　量	まだらに少量入る	有	弱

第13図　3・13号住居跡・169・193号土坑



層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	焼土粒子	焼土ブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		少量	少量	φ1～4cmまばら	有	弱
2	暗赤褐色	極微量		まばら	多量	φ1cmまばら	有	弱
3	褐色	極微量	極々微量	多量	少量		有	弱

第14図　13号住居跡炉・３号住居跡出土遺物（１）



第15図　3号住居跡出土遺物（2）

3号住居跡（第13～15図、図版7・8・51～53、表10・11）

本跡はD－4グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の方形を呈する。規模は4.38×4.00mで、確認面下の掘り込みは55cmを測る。覆土は自然堆積で17層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴1本が北西側コーナーよりで確認される。炉は住居跡中央やや北よりに位置し、鍋底状の掘り込みとなっている。北及び西側の壁よりに僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。

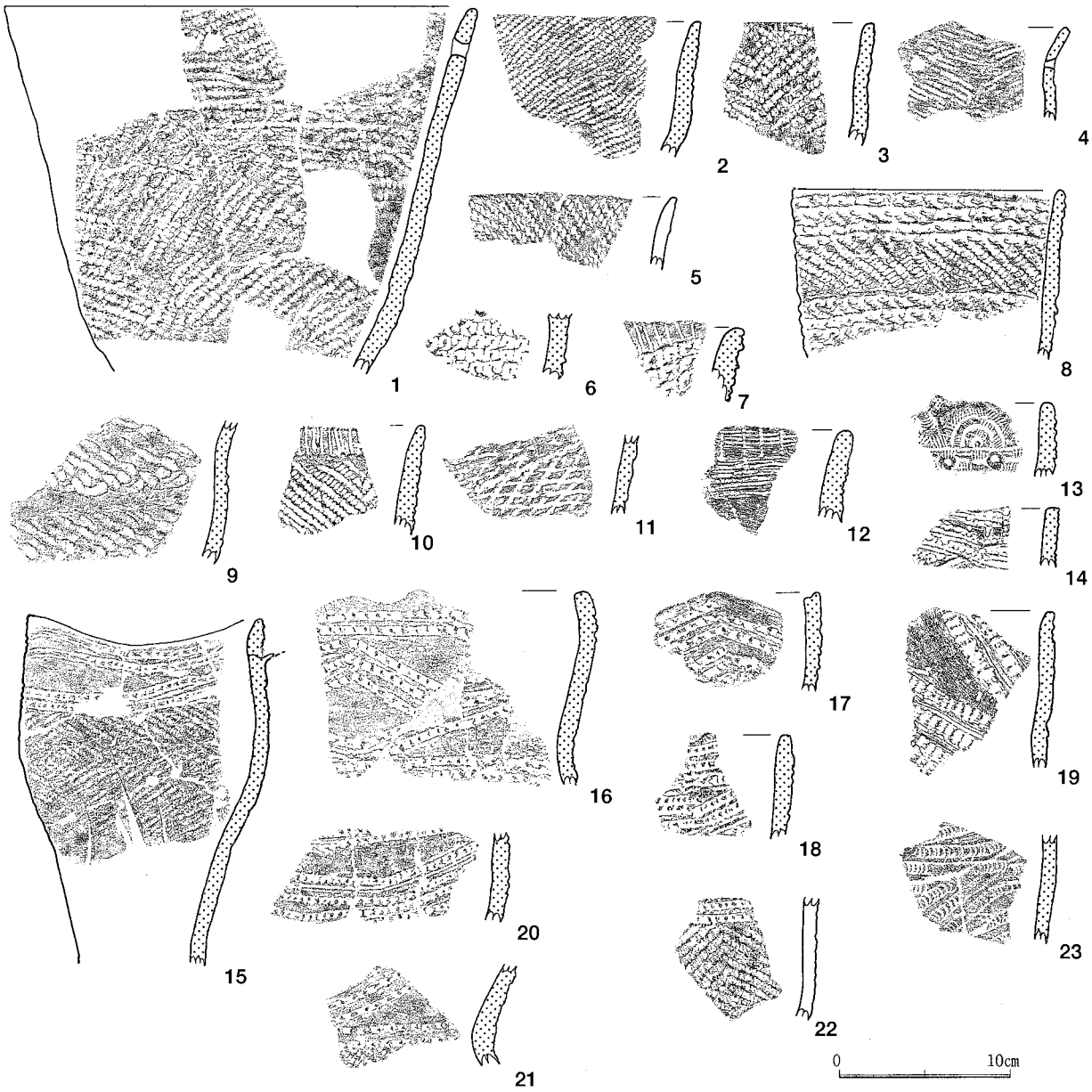
6・13号住居跡と重複するもので本住居跡が最も新しい。

遺物は覆土中より大量に出土し、総量は土器39.5kg、石器187点（18.3kg）である。この内土器28点、石器27点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表10の出土土器観察表にまとめ、石器は表11の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表10　3号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/5	口辺部単節LR　胴部単節RL　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/2	無節RとLで羽状構成　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁	破片	無節L方向転じ羽状構成　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/3	同一単節LRで羽状構成　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/3	無節Lと単節RLで羽状構成　繊維混入	
6	黒浜	浅鉢	胴部	破片	無節R方向転じ羽状構成　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	底部	破片	R撚糸　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大型破片	無節RとLで羽状構成　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/2	無節R　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	口縁	破片	LR端部はループ　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	口縁	破片	O段多条L　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	無節のLで羽状構成　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	胴部	破片	O段多状L　繊維混入	
14	黒浜	深鉢	口縁	破片	第2種付加条カ　繊維混入	
15	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	第3種付加条カ　繊維混入	
16	黒浜	深鉢	底部	破片	Lカ　繊維混入	
17	黒浜	深鉢	底部	破片	Lカ　繊維混入	
18	黒浜	深鉢	底部	破片	底にRL　胴にRL　繊維混入	
19	黒浜	深鉢	胴下～底部	1/2	編目の撚糸カ　繊維混入	
20	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	粗い撚糸　21と同一個体　繊維混入	
21	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大型破片	粗い撚糸　繊維混入	
22	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	L撚糸　繊維混入	
23	有尾	深鉢	口縁	大型破片	C爪形　菱形文構成　胴部は単節RL　繊維混入	
24	有尾	深鉢	胴部	大型破片	L　平行沈線　繊維混入	
25	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
26	有尾	深鉢	口縁	破片	胴部LR　半截竹管　菱形文構成　繊維混入	
27	黒浜	深鉢	底部	破片	R撚糸　粗い　繊維混入	
28	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	



第16図　13号住居跡出土遺物

表11　3号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	ヘラ	楔	コア	磨石	凹石	原石	石皿	軽石								剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩	1						1	7	5		1										2	17
砂岩	1		1	1			1													5	30	39
凝灰質砂岩				2	1	2														12	62	79
頁岩	3																			15	16	34
緑色岩		2																				2
チャート				1																2	3	6
結晶片岩	1																					1
軽石												8										8
不明		1																				1
計	6	3	1	4	1	2	2	7	5	0	1	8								34	113	187

13号住居跡（第13・14・16図、図版18・68、表12・13）

本跡はD－4グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の長方形を呈するものと思われるが、3号住居跡によって切られ、さらに6号住居覆土中に構築されていた為に規模形状ともに明瞭ではない。確認面下の掘り込みは35cmを測る。覆土は自然堆積で3層に分層される。床面はほぼ平坦であろうか、柱穴は検出されていない。炉は住居跡中央部付近に位置し、浅い皿状の掘り込みとなっている。火床面には焼土の分布が見られ、被熱の痕跡は明瞭である。

3・6号住居跡と重複し、切り合い関係より3号よりも古く6号よりも新しい。

遺物は覆土中より土器13.7kg、石器65点（2.9kg）が出土しており、土器23点、石器10点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表12の出土土器観察表にまとめ、石器は表13の石器組成表で示した。

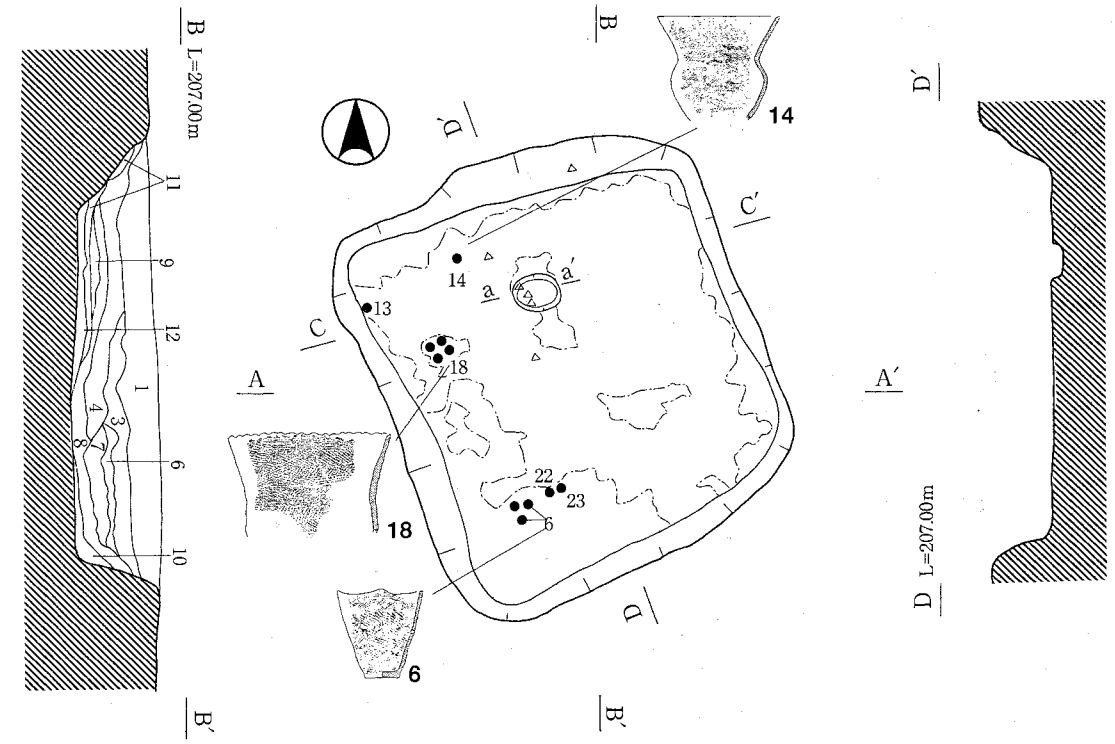
出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

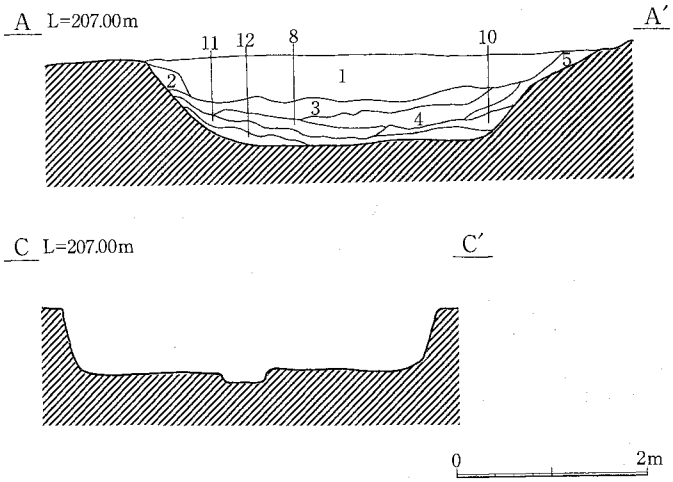
表12　13号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/3	単節LR方向転じ羽状構成　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節LR　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL・LRで羽状構成　口唇刻目　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁	破片	補修孔　波状口縁　口唇刻目	
5	諸磯a	深鉢	口縁	破片	単節RL　繊維含まず	
6	黒浜	深鉢	胴部	破片	多段ループ　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	口縁	破片	多段ループ　口唇刻目　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大型破片	単節RL　多段ループ　繊維混入	126号土坑と接合
9	黒浜	深鉢	胴部	破片	無節R	
10	有尾	深鉢	胴部	破片	単節RL・LRで羽状構成	
11	大木2a	深鉢	胴部	破片	編目状撚糸　繊維混入	
12	有尾	深鉢	口縁	破片	櫛歯刺突　同工具による条線　繊維混入	
13	関山	深鉢	口縁	破片	突起　半裁竹管　円貼付	
14	有尾	深鉢	口縁	破片	櫛歯刺突	
15	有尾	注口カ	口縁～胴部	1/2	単節RL・Lで羽状構成　2単位の波状口縁　C爪形　繊維混入	
16	有尾	深鉢	口縁～胴部	破片	小突起　D爪形　菱形文構成　繊維混入	
17	有尾	深鉢	口縁	破片	D爪形　菱形文構成　波状口縁波頂部　繊維混入	
18	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
19	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　櫛歯状連続刺突　繊維混入	
20	有尾	深鉢	胴	破片	D爪形　繊維混入	
21	有尾	深鉢	胴	破片	D爪形　繊維混入	
22	諸磯aカ	深鉢	口縁	破片	無節L・R　C爪形　繊維含まず	
23	有尾	深鉢	胴	破片	C爪形　繊維混入	

表13　13号住居跡出土石器組成表

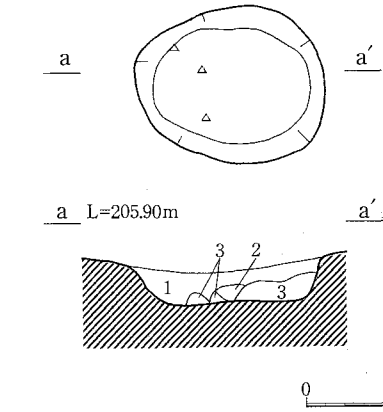
	打斧	磨斧	スクレイパー	凹石	叩石															剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩	2			2	1																2	7
砂岩			3																	1	10	14
凝灰質砂岩																				3	14	17
頁岩	1		2		1															1	10	15
緑色岩		1																				1
チャート																				2	7	9
黒曜石																					2	2
計	3	1	5	2	2															7	45	65





4号住居跡

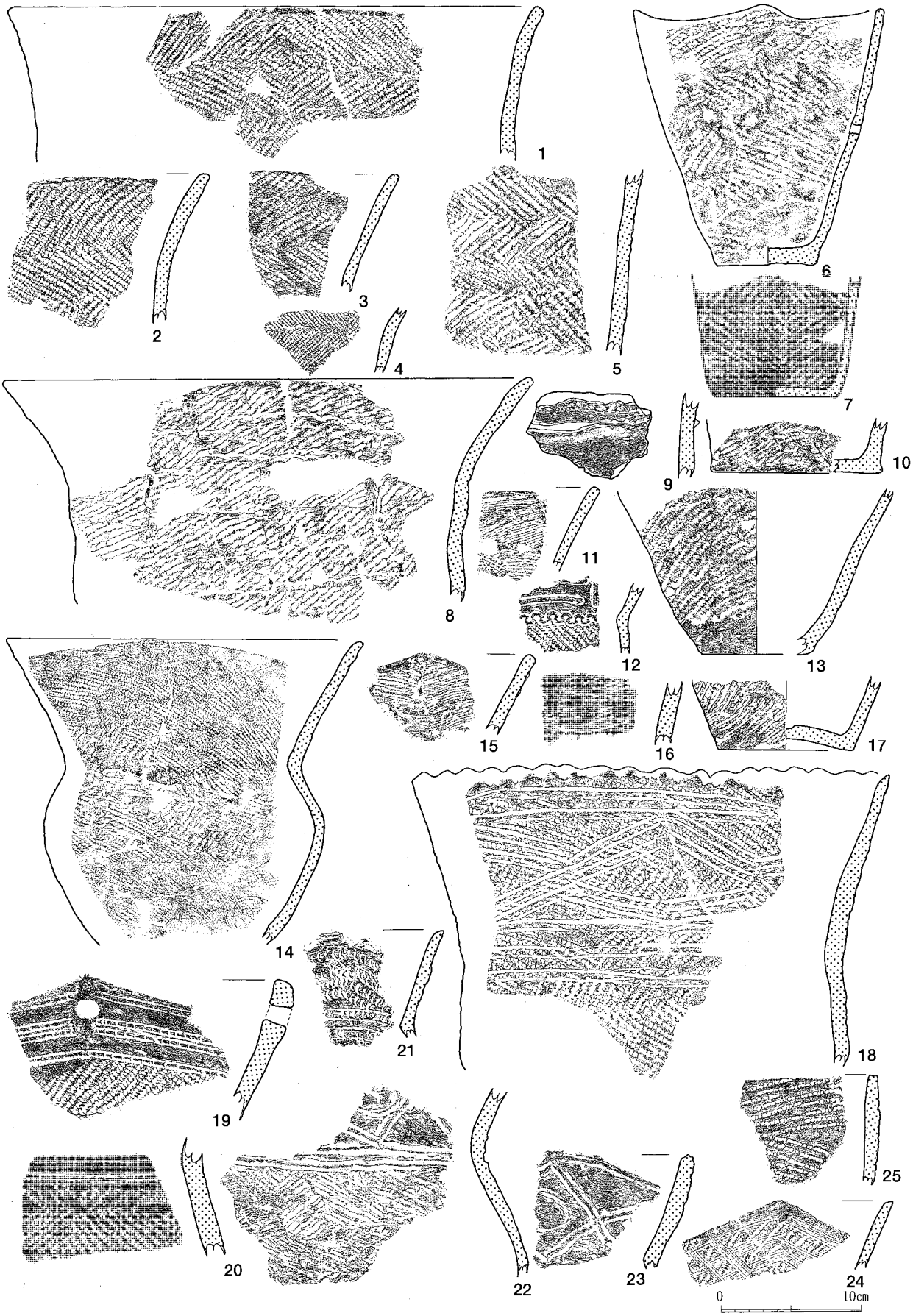
層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	φ0.5cm 極微量		有	弱
2	暗褐色		微量	少量	有	弱
3	暗褐色	極微量	極微量		有	弱
4	暗褐色		極微量		有	弱
5	暗褐色		微量	微量	有	弱
6	暗褐色		極微量	少量	有	弱
7	褐色		極微量	多量	有	弱
8	極暗褐色	少量	極微量	微量	有	弱
9	極暗褐色	少量	極微量	微量	有	弱
10	暗褐色	極微量	微量	少量	有	弱
11	3暗褐色		微量	まばら	有	弱
12	褐色		極微量	まばら	強	弱



4号住居跡　炉跡

層位	色調	ローム	黄褐軽石粒	焼土粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	微量		有	弱
2	暗褐色	まばら	微量	極微量	有	弱
3	褐色	多量	微量		有	弱

第17図　4号住居跡



第18図　4号住居跡出土遺物

4号住居跡（第17・18図、図版8～10・54・55、表14・15）

本跡はC・D－5グリッドに於いて検出された。平面形状は南西側壁がやや広くなる隅丸の不整長方形を呈する。規模は4.59×3.95mで、確認面下の掘り込みは95cmを測る。覆土は自然堆積で12層に分層される。床面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。柱穴は検出されていない。炉は住居跡中央北壁よりに位置し、浅い皿状の掘り込みとなっている。火床面には焼土の分布は見られず、覆土に極微量焼土が含まれる。

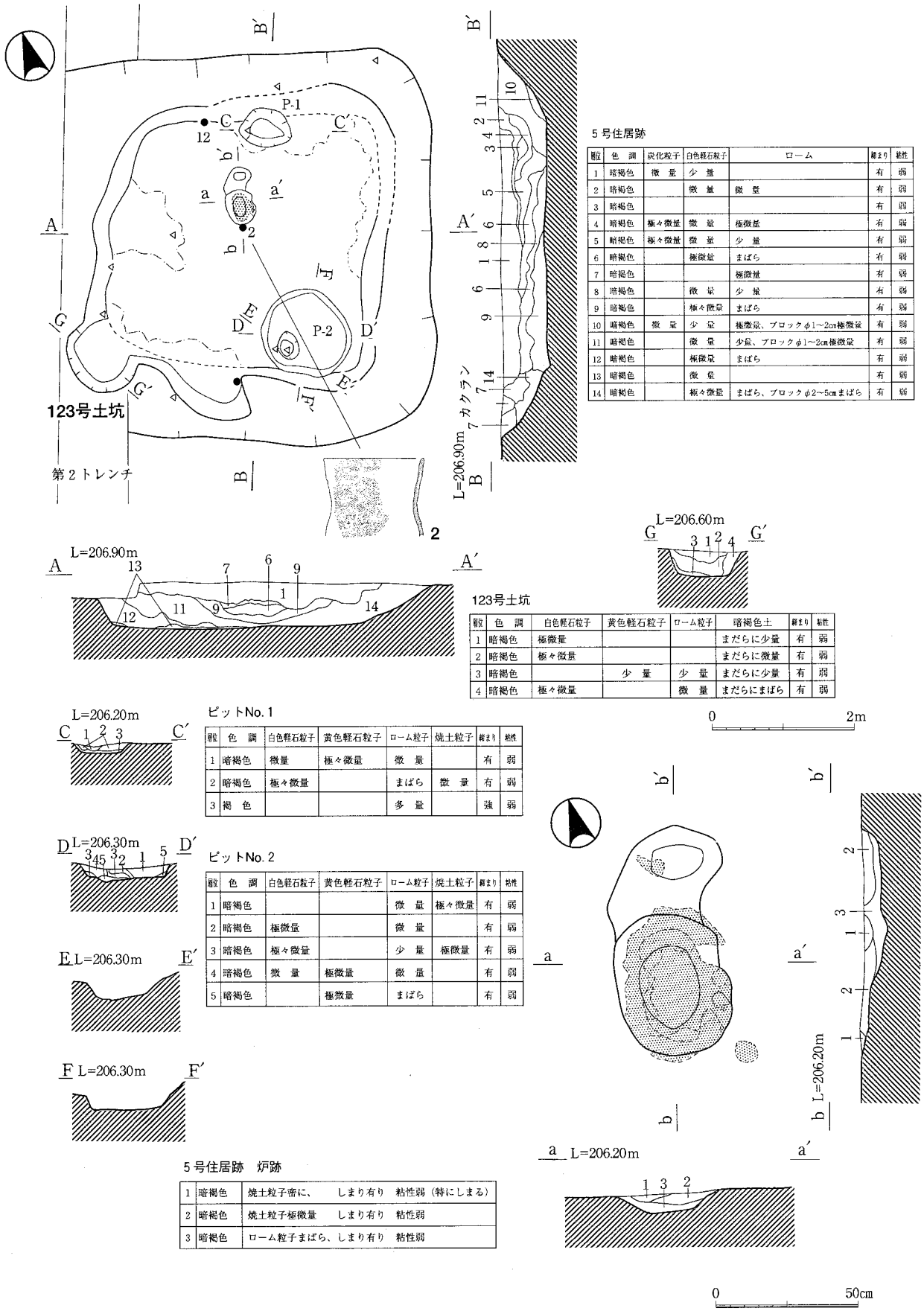
遺物は覆土中よりまとまって出土し、総量は土器36kg、石器196点（37.9kg）である。この内土器25点、石器39点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表14の出土土器観察表にまとめ、石器は表15の石器組成表で示した。出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表14　4号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	胴部	破片	第2種付加条とLRの羽状構成　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	胴部	破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
6	黒浜	浅鉢	口縁～胴部	破片	単節LRで羽状構成　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	無節のL　目縛の痕　繊維混入	
9	黒浜・関山カ	深鉢	胴部	破片	L・RL　隆帯刻目　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	底部	破片	L　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	口縁	破片	R　細かい撚糸　15と同一固体　繊維混入	
12	関山	深鉢	胴部	破片	コンパス文　平行沈線　半截竹管　単節RL　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	胴部～底部	大型破片	単節LR　目縛の痕　繊維混入	
14	黒浜	深鉢	口縁～胴下	4/5	単節RL　一部羽状構成　繊維混入	
15	黒浜	深鉢	口縁	破片	12と同一個体　細かい撚糸　棒状の隆帯　繊維混入	
16	黒浜	深鉢	胴部	破片	L無節　目縛　繊維混入	
17	黒浜	深鉢	底部	破片	第1種付加条カ　繊維混入	
18	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	単節LR　一部羽状　半截竹管で菱形構成　口縁波状突起　繊維混入	
19	黒浜	深鉢	口縁	破片	半截竹管　C爪形　22と同一　円孔　波状口縁頂部に棒状隆帯　繊維混入	
20	黒浜	深鉢	胴部	破片	単節LR・RLで羽状構成　C爪形　繊維混入	
21	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形で菱形構成　繊維混入	
22	有尾	深鉢	胴部	破片	L　半截竹管で平行沈線　19と同一固体　繊維混入	
23	黒浜	深鉢	口縁	破片	平行沈線　1/4截竹管カ　繊維混入	
24	有尾	深鉢	口縁	破片	6本1単位櫛による条線　地文RL　繊維含まず	
25	有尾	深鉢	口縁	破片	櫛歯状工具の刺突列　菱形構成	

表15　4号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	錐	スクレイパー	コア	磨石	凹石	石皿	軽石	砥石	多孔	ノッジ	ピエス	ベンガラ	玉			剥片 使用アリ	剥片 使用ナシ	計
安山岩								8	7	2		1	1							1	8	28
砂岩	1		1			3															33	38
凝灰質砂岩	1			4	1		1													6	40	53
頁岩	2					2	3							3						8	37	55
緑色岩	1	3																				4
チャート			1	1											1						6	9
結晶片岩										1												1
雲母片岩																					1	1
軽石											4											4
赤鉄鉱																1						1
不明					1												1					2
計	5	3	2	5	2	5	4	8	7	3	4	1	1	3	1	1	1			15	125	196



5号住居跡

層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	少量		有	弱
2	暗褐色		微量	微量	有	弱
3	暗褐色				有	弱
4	暗褐色	極々微量	微量	極微量	有	弱
5	暗褐色	極々微量	微量	少量	有	弱
6	暗褐色		極微量	まばら	有	弱
7	暗褐色			極微量	有	弱
8	暗褐色		微量	少量	有	弱
9	暗褐色		極々微量	まばら	有	弱
10	暗褐色	微量	少量	極微量、ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
11	暗褐色		微量	少量、ブロックφ1～2cm極微量	有	弱
12	暗褐色		極微量	まばら	有	弱
13	暗褐色		微量		有	弱
14	暗褐色		極々微量	まばら、ブロックφ2～5cmまばら	有	弱

123号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量			まだらに少量	有	弱
2	暗褐色	極々微量			まだらに微量	有	弱
3	暗褐色		少量	少量	まだらに少量	有	弱
4	暗褐色	極々微量		微量	まだらにまばら	有	弱

ピットNo. 1

層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	焼土粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	極々微量	微量		有	弱
2	暗褐色	極々微量		まばら	微量	有	弱
3	褐色			多量		強	弱

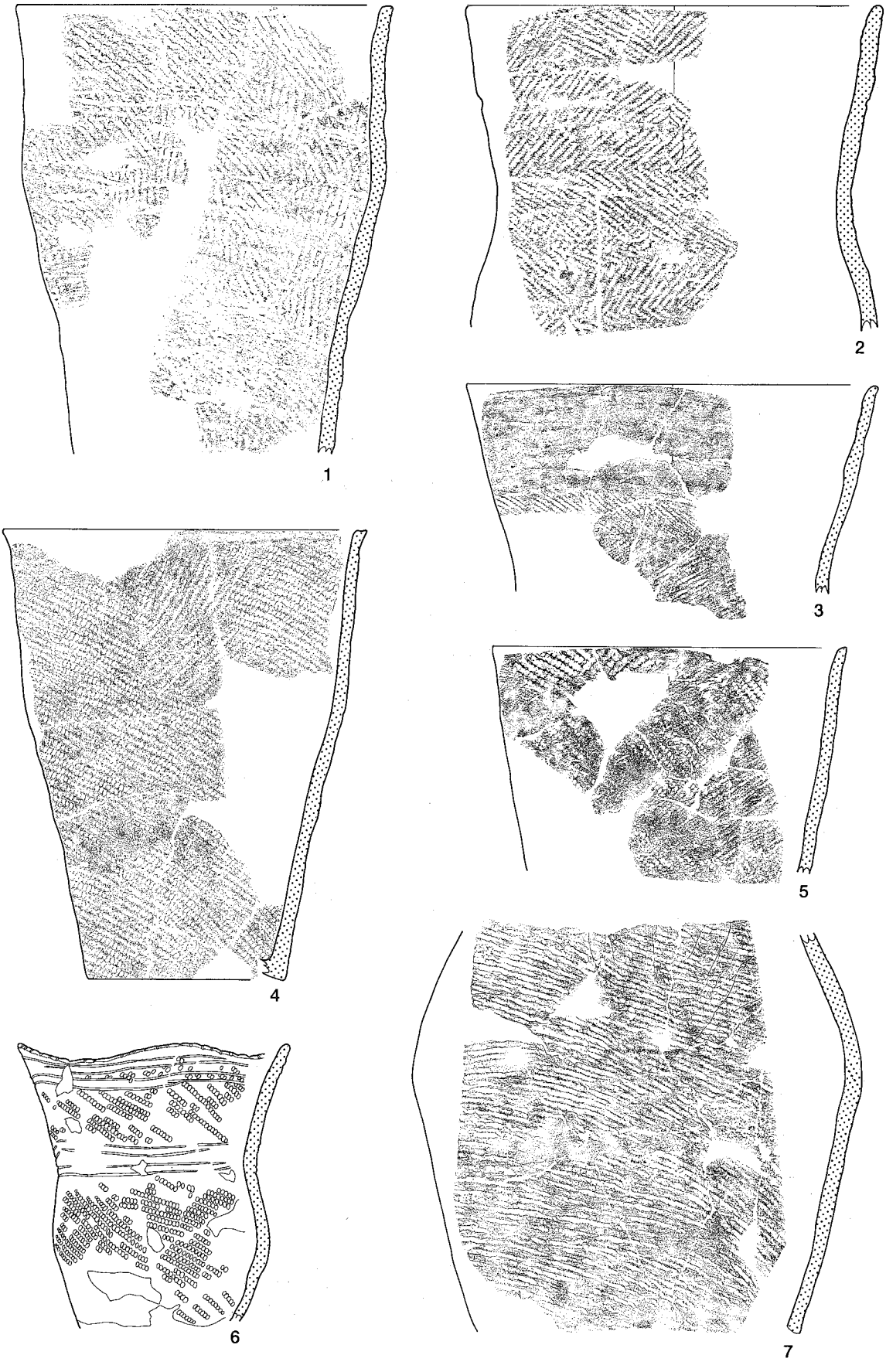
ピットNo. 2

層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	焼土粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			微量	極々微量	有	弱
2	暗褐色	極微量		微量		有	弱
3	暗褐色	極々微量		少量	極微量	有	弱
4	暗褐色	微量	極微量	微量		有	弱
5	暗褐色		極微量	まばら		有	弱

5号住居跡　炉跡

1	暗褐色	焼土粒子密に、　しまり有り　粘性弱（特にしまる）
2	暗褐色	焼土粒子極微量　しまり有り　粘性弱
3	暗褐色	ローム粒子まばら、しまり有り　粘性弱

第19図　5号住居跡・123号土坑



第20図　5号住居跡出土遺物（1）

5号住居跡（第19～21図、図版10・11・56・57、表16・17）

本跡はD－5グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の方形を呈する。規模は5.5×4.7mで、確認面下の掘り込みは65cmを測る。覆土は自然堆積で14層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴が2本確認されいずれも壁際に位置し土坑状である。炉は住居跡中央北壁よりに位置し、2基連結された浅い皿状の掘り込みとなっている。火床面には焼土の分布が見られ被熱は明瞭である。

123号土坑と重複関係にあり、いずれも黒浜期の遺構で新旧関係は不明である。

遺物は覆土中より、土器35kg、石器159点（65.1kg）が出土しており、このうち土器17点、石器23点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表16の出土土器観察表にまとめ、石器は表17の石器組成表で示した。

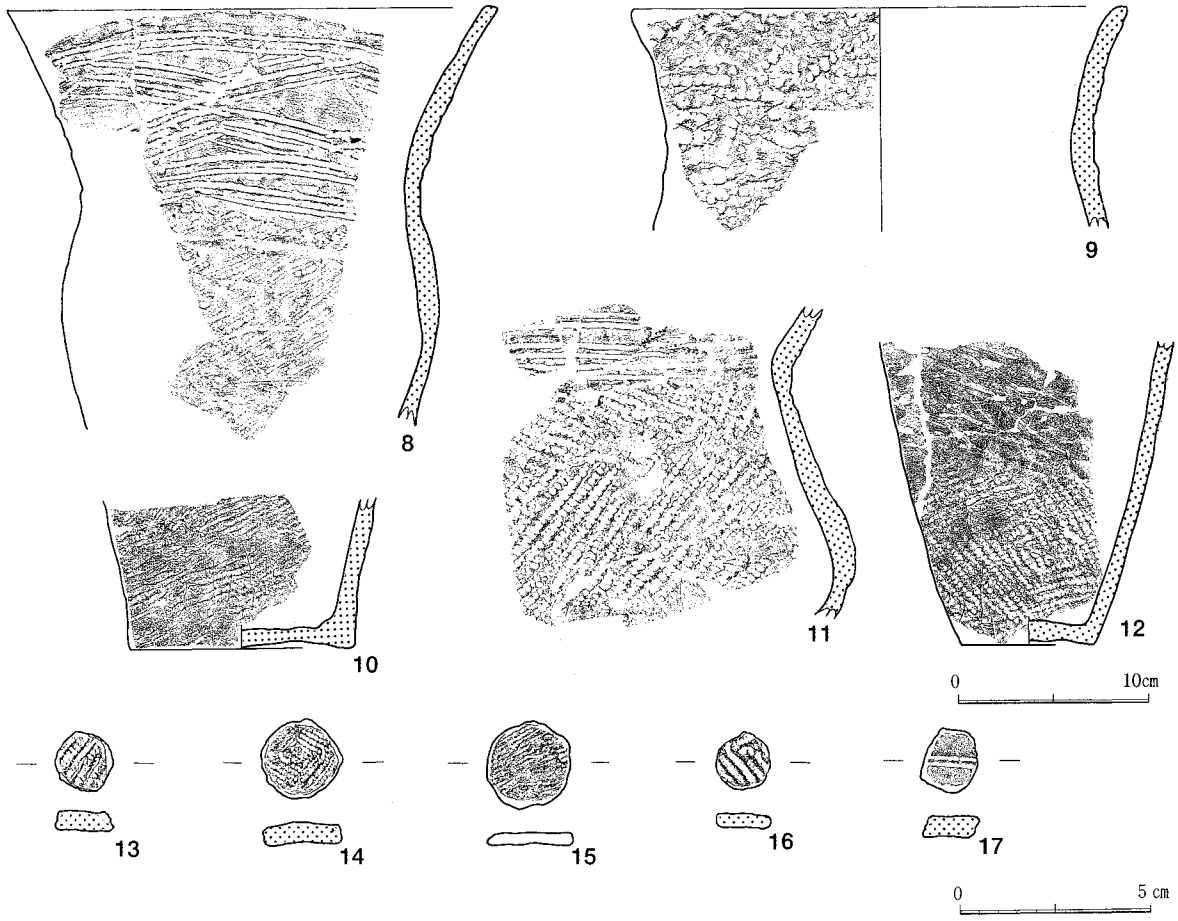
出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表16　5号住居跡出土土器一覧表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/5	L・Rで羽状構成　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	LR・RLで羽状構成　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	口縁幅広く無文帯　LR・RLで羽状構成　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁～底部	1/2	LR方向転じ羽状構成　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	口辺のみ単節LR　方向転じ羽状構成　下はRLで羽状まばら　繊維混入	
6	黒浜	浅鉢	口縁～胴下	4/5	RL　半截竹管　波状口縁　口唇部刻目　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	R無節　繊維混入	
8	黒浜・有尾	深鉢	口縁	大形破片	平行沈線　菱形文構成　胴部第2種付加条構成　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	口唇部刻目　太いLR　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	底部	大形破片	R無節　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	単節RL・LRで羽状構成　平行沈線　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	胴中～底部	大形破片	上半から中位は無文　単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
13	黒浜	土製円盤		完形	単節LR　繊維混入	
14	黒浜	土製円盤		完形	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
15	阿玉台カ	土製円盤		完形	Rカ　金雲母混入　繊維なし	
16	関山カ	土製円盤		完形	結束羽状RL・LR　繊維混入	
17	不明	土製円盤		完形	L・R原体圧痕　繊維混入	

表17　5号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	コア	磨石	スクレイパー	叩石	凹石	石皿	軽石	台石	砥石	ベンガラ						剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩			1			10			2			1	1								7	22
砂岩				1	4		4													11	31	51
凝灰質砂岩	2																			8	27	37
頁岩							3													6	17	26
緑色岩		3																				3
チャート																					2	2
黒曜石																				3		3
流紋岩													1									1
軽石											8											8
雲母片岩										2											2	4
赤鉄鉱														1								1
不明								1														1
計	2	3	1	1	4	10	7	1	2	2	8	1	2	1						28	86	159



第21図　5号住居跡出土遺物（2）

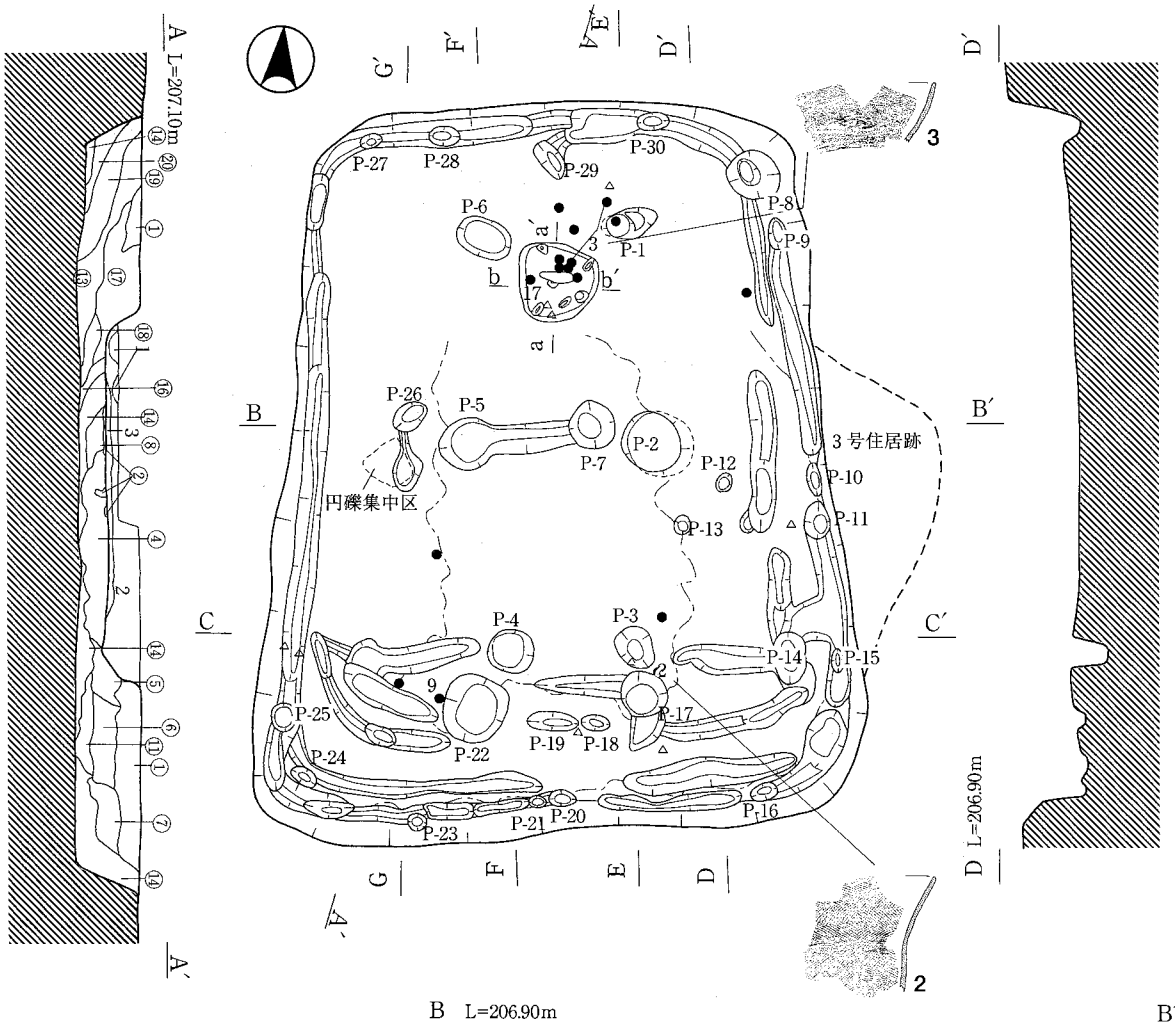
6号住居跡（第22～24図、図版11・12・57・58、表18・19）

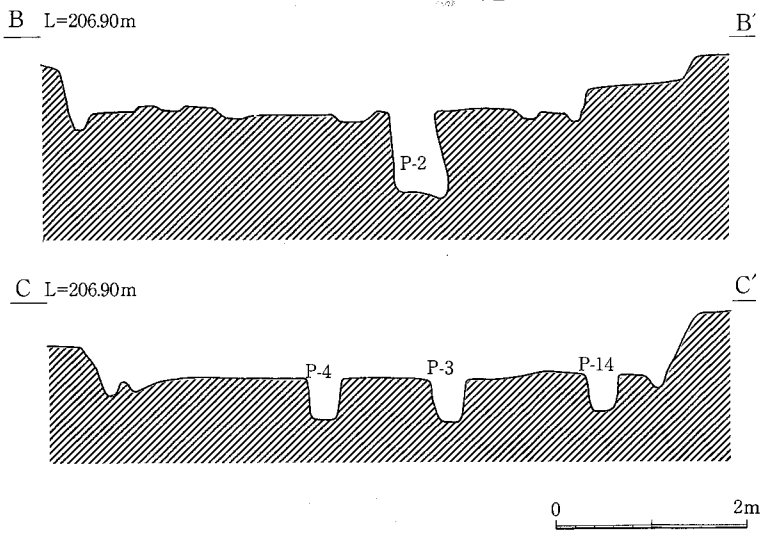
本跡はD－4・5グリッドに於いて検出された。平面形状は南側辺がやや長くなる長方形を呈する。規模は7.98×5.65mで、確認面下の掘り込みは70cmを測る。覆土は自然堆積で20層に分層される。床面はほぼ平坦である。壁溝は全体に廻るが、南壁側では3条の拡張に伴う掘り直しが確認される。さらに、中央部分には住居跡を2分するような間仕切り状の溝がP－5とP－7を連結するように検出されている。柱穴は30本確認される。その配置は住居の主柱穴となるP－1～P－6と壁際に補足的に穿たれたものの双方が見られる。炉は住居跡北壁よりに位置し、浅い皿状の掘り込みとなっている。中央部分に先端部分がやや尖る板状の石を1点横向きに立てた状態で設置している。覆土中には僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。

3・13号住居跡と重複し、本住居跡が最も古い。

遺物は覆土中より土器17.9kg、石器141点（36.6kg）が出土しており、この内土器20点、石器14点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表18の出土土器観察表にまとめ、石器は表19の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。





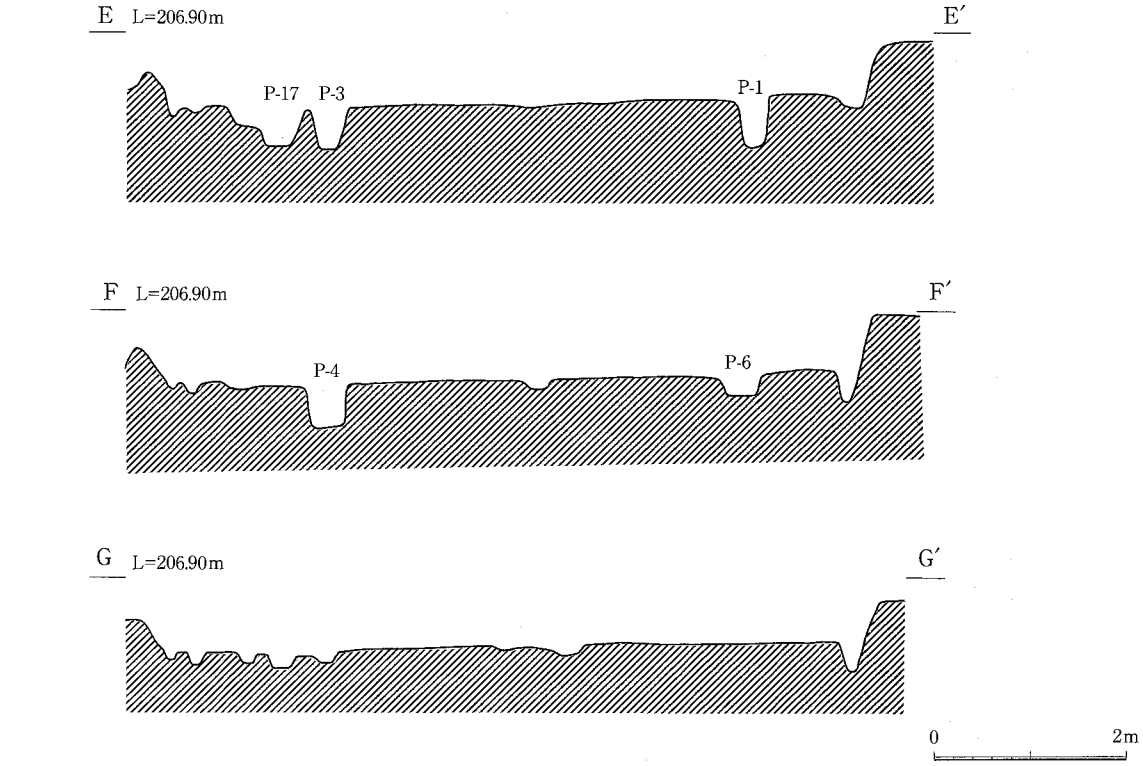
6 号住居跡

層位	色 調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
①	暗褐色	極々微量	微 量	極微量ブロックφ1～3cm極微量	有	弱
②	暗褐色			少量、ブロックφ3～6cmまばら	強	弱
③	暗褐色		微 量		有	弱
④	暗黄褐色			密	有	弱
⑤	褐 色		極微量	まばら	有	弱
⑥	暗褐色		極微量	微量	有	弱
⑦	暗褐色		極微量	微量	有	弱
⑧	褐色			まばら	有	弱
⑨	暗褐色		微 量	少量	有	弱
⑩	暗褐色			少量、ブロックφ2～4cmまばら	強	弱
⑪	暗黄褐色		極微量	密	有	弱
⑫	暗黄褐色		極微量	多量	有	弱
⑬	暗褐色		極々微量	微量	有	弱
⑭	暗褐色		極微量		有	弱
⑮	暗褐色		極微量		有	弱
⑯	暗褐色		極々微量	少量	有	弱
⑰	暗褐色			少量	有	弱
⑱	暗褐色		極々微量	まばら	有	弱
⑲	暗褐色		極微量	少量	有	弱
⑳	暗褐色		極微量	まばらブロックφ0.5～1cm少量	有	弱

13号住居跡

層	色 調	ローム粒子	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	焼土ブロック	焼土粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少 量	微量		φ1～4cmまばら	少 量	有	弱
2	暗赤褐色	まばら	極微量		φ1cmまばら	多 量	有	弱
3	褐 色	多 量	極微量	極々微量		少 量	有	弱

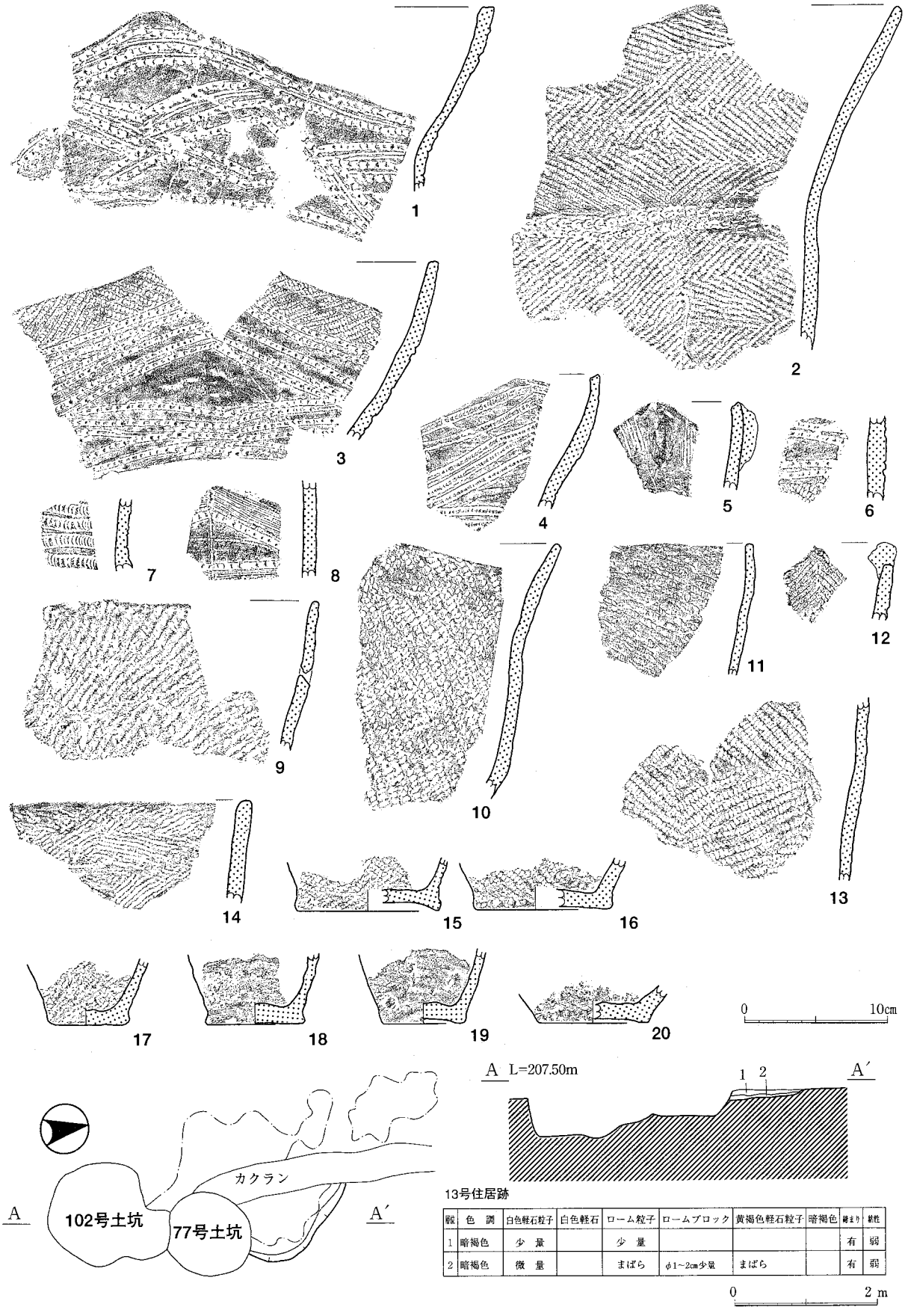
第22図　6 号住居跡



6号住居跡　炉跡

層位	色　調	
1	暗褐色	φ2～4mm大の焼土ブロック、炭を2～3%程含む。
2	暗褐色	焼土粒、炭を1%程含む。
3	褐　色	細かいロームブロックを含む。

第23図　6号住居跡・炉



13号住居跡

層	色調	白色軽石粒子	白色軽石	ローム粒子	ロームブロック	黄褐色軽石粒子	暗褐色	締まり	粘性
1	暗褐色	少量		少量				有	弱
2	暗褐色	微量		まばら	φ1~2cm少量	まばら		有	弱

第24図　6号住居跡出土遺物（1）・7号住居跡・77・102号土坑

表18　6号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	有尾	深鉢	口縁	大形破片	波状口縁　D爪形　菱形文	
2	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	0段多条のLR・RL羽状構成　C爪形　繊維混入	
3	有尾	深鉢	口縁	大形破片	C爪形　RL・LRの羽状構成　波状口縁　菱形文　繊維混入	
4	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
5	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁頂部　棒状突起　櫛歯の集合沈線　繊維混入	
6	有尾	浅鉢	口縁	破片	RL　C爪形	
7	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
8	有尾	深鉢	胴部	破片	菱形文構成　集合沈線　C爪形　櫛刺突　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	口縁	破片	平縁口縁　L　補修孔　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	単節RL　波状口縁　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	平縁口縁　R　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	口縁	破片	C爪形　波状口縁頂部　RL　方向転じ羽状　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	胴部	破片	O段多条のRL・LR羽状構成　繊維混入	
14	黒浜	深鉢	口縁	破片	撚糸による菱形文構成　繊維混入	
15	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL　繊維混入	
16	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL　繊維混入	
17	黒浜	深鉢	底部	破片	単節RL　繊維混入	
18	黒浜	深鉢	底部	破片	無文　繊維混入	
19	黒浜	小形深鉢	底部	破片	無文　繊維混入	
20	黒浜	深鉢	底部	破片	Rカ　繊維混入	

表19　6号住居跡出土石器組成表

	打斧	石匙	軽石	磨石	凹石	台石	スクレイパー	叩石											剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩				6	9	2		1											1		19
砂岩	6						1												9	25	41
凝灰質砂岩																			7	34	41
頁岩	3																		4	18	25
チャート		1																	2	6	9
黒曜石																				5	5
軽石			1																		1
計	9	1	1	6	9	2	1	1											23	88	141

7号住居跡（第24図、表20）

本跡はF－2グリッドに於いて検出された。床面の僅か一部分が確認されたもので、平面形状並びに規模は不明である。覆土は自然堆積で2層に分層される。床面はほぼ平坦で、炉は検出されていない。

77・102号土坑と重複するもので本跡が古い。

遺物は覆土中より僅かに剥片類の石器が出土したにとどまっている。総量は土器120g、石器3点（50g）であり、表20にその組成についてまとめた。掲載遺物はない。

僅かな出土遺物から判断される本住居跡の所属時期は黒浜である。

表20　7号住居跡出土石器組成表

																			剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
頁岩																				2	2
凝灰質砂岩																				1	1
計																				3	3

8号住居跡（第25～36図、図版12～14・58～64、表21～26）

本跡はE・F－5・6グリッドに於いて検出された。平面形状は円に近い隅丸方形を呈する。規模は長軸側で9.80m、短軸側で9.3mで、確認面下の掘り込みは125cmを測る。覆土は自然堆積で14層に分層される。床面はほぼ平坦で中央部分に僅かに硬質部が広がる。柱穴は22本確認され、中央部分に空白域を設け壁際に大小の柱穴が配される。炉は住居跡中央東寄りに位置し、掘り込みをほとんど持たない焼土の分布域として捉えられる。

遺物は覆土中より大量に出土し、総量は土器159kg、石器1510点（40.5kg）である。この内土器96点、石器224点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表21～23の出土土器観察表（1）～（3）にまとめ、石器は表24の石器組成表並びに表25・26の軽石製石製品一覧表（1）・（2）で示した。

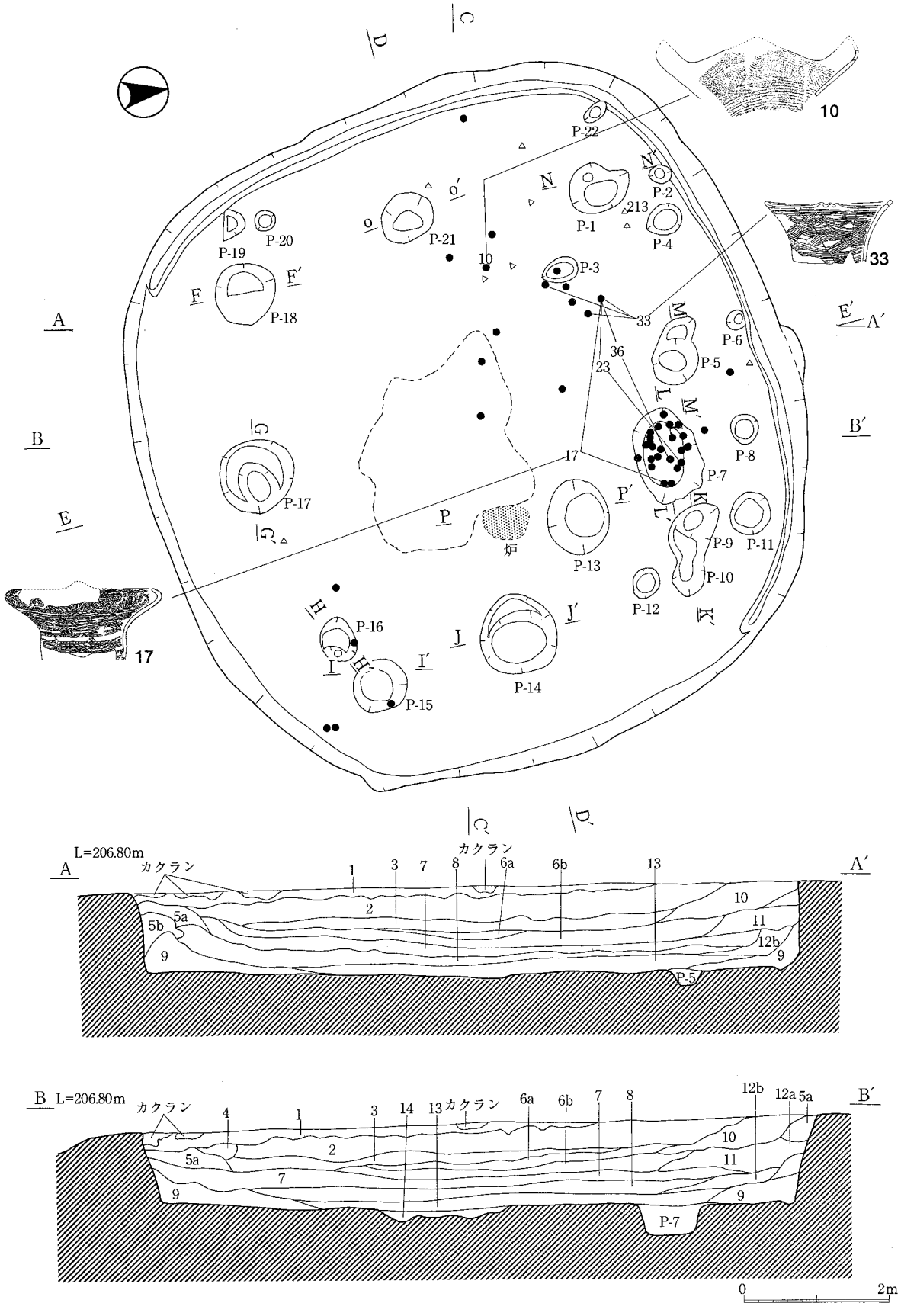
出土遺物より本住居跡は諸磯b式期の所産と判断される。

表21　8号住居跡出土土器観察表（1）

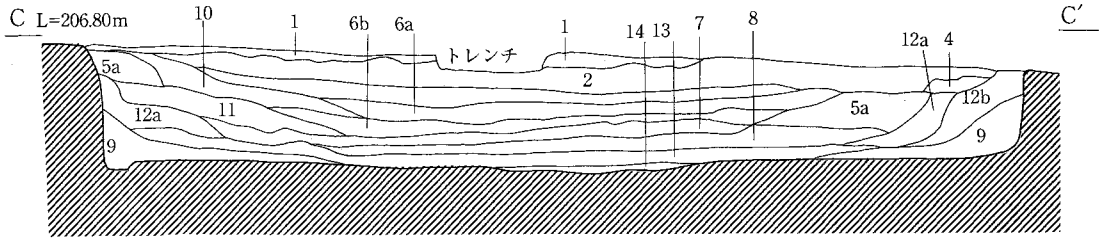
番号	型式	器種	部位	残存	模様の特長	備考
1	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　刺突文	
2	諸磯b	深鉢	口縁	大形破片	波状口縁　浮線　円形貼付文	
3	諸磯b	深鉢	口縁	大形破片	単節RL　縄文施文の浮線　口唇刻目　穿孔	
4	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	浮線	
5	諸磯b	深鉢	口縁	破片	波状口縁　浮線　円形貼付文	
6	諸磯b	浅鉢	口縁～胴	大形破片	単節RL　浮線　波状口縁　獣面デフォルメ把手	
7	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　円形貼付文　波状口縁波頂部	
8	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　波状口縁波頂部	
9	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線	
10	諸磯b	深鉢	口縁～胴上	大形破片	浮線　波状口縁	
11	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	波状口縁　獣面デフォルメ把手	
12	諸磯b	深鉢	口縁	破片	橋状の把手　浮線　円形貼付　波状口縁波頂部	
13	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　円形貼付　単節RL地文　波状口縁	
14	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	単節RL　浮線　波状口縁　獣面デフォルメ把手	
15	諸磯b	深鉢	胴上	破片	浮線　刺突文	
16	諸磯b	深鉢	口縁	大形破片	単節RL地文　浮線	
17	諸磯b	深鉢	口縁～胴上	1/2	平縁カ　浮線　単節RL地文　獣面把手	
18	諸磯b	深鉢	胴	破片	浮線　刺突列　無節R	
19	諸磯b	深鉢	胴上	破片	浮線　単節RL地文	
20	諸磯b	深鉢	胴上	破片	浮線　刺突列	
21	諸磯b	深鉢	胴上	破片	浮線　刺突列	
22	諸磯b	深鉢	胴部	大形破片	浮線　単節RL地文	
23	諸磯b	深鉢	胴下～底部	大形破片	浮線　無節R	
24	諸磯b	深鉢	口縁	破片	C爪形	
25	諸磯b	深鉢	胴～底部	大形破片	単節RL地文　浮線	
26	諸磯b	深鉢	胴部	大形破片	単節LR地文　浮線	
27	諸磯b	深鉢	胴～底部	破片	単節RL地文　浮線	
28	諸磯b	深鉢	胴～底部	破片	単節RL地文　浮線	
29	諸磯b	深鉢	胴部	破片	木ノ葉状入組文　浮線	
30	諸磯b	深鉢	口縁	破片	C爪形　肋骨文的	
31	諸磯b	深鉢	口縁	破片	C爪形　肋骨文的	
32	不明	深鉢	口縁	破片	網目状撚糸　波状口縁	
33	諸磯b	深鉢	口縁～胴上	1/2	4単位波状口縁　平行沈線　菱形　半截竹管	
34	諸磯b	深鉢	口縁～胴	1/4	単節RL地文　平行沈線	
35	諸磯b	深鉢	口縁～胴下	大形破片	単節RL地文　平行沈線	
36	諸磯b	深鉢	口縁～胴	破片	単節RL地文　平行沈線	

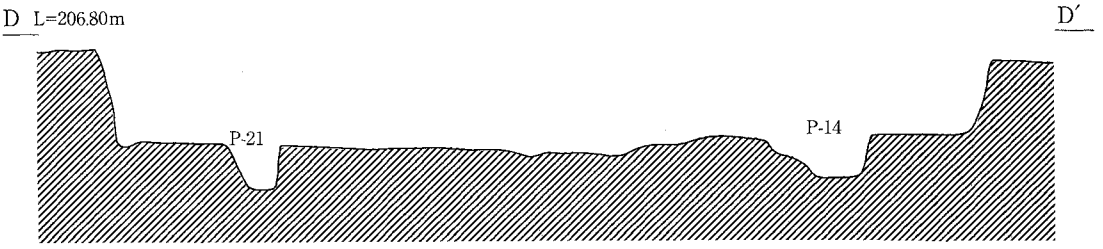
表22　8号住居跡出土土器観察表（2）

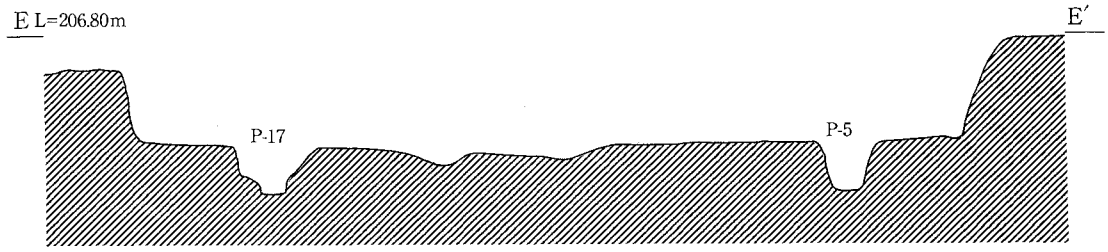
番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
37	諸磯b	深鉢	口縁	破片	平行沈線　波状口縁　円形貼付	
38	諸磯b	深鉢	口縁	破片	平行沈線　つ字貼付	
39	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	2単位小突起　平行沈線　菱形　無節L	
40	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	変形爪形　平行沈線　方形の口縁	
41	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	平行沈線　大波状口縁　貼付文	
42	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	平行沈線　大波状口縁　貼付文　41と同一	
43	諸磯b	深鉢	胴部	大形破片	平行沈線　円管刺突　単節RL	
44	諸磯b	深鉢	胴上	破片	平行沈線　低い隆帯　刻目あり	
45	諸磯b	深鉢	胴部	大形破片	単節RL　平行沈線　菱形構成	
46	諸磯b	深鉢	胴部	大形破片	単節RL　平行沈線	
47	諸磯b	深鉢	胴～底部	大形破片	平行沈線　単節RL　42と同一カ	
48	諸磯b	深鉢	口縁～胴	大形破片	波状口縁　無節L　頂部3単位突起	
49	諸磯b	深鉢	底部	破片	平行沈線に刻目　浮線的効果　単節RL	
50	諸磯b	深鉢	胴下～底部	破片	単節RL　浮線	
51	諸磯b	浅鉢	口縁	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩　有孔	
52	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩	
53	諸磯b	浅鉢	口縁	破片	C爪形　孔列　外面赤彩	
54	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	弧状模様	
55	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	C爪形　浮線	
56	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩	
57	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩	
58	諸磯b	浅鉢	胴部	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩	
59	諸磯b	浅鉢カ	胴部	破片	木ノ葉状入組文　外面赤彩	
60	諸磯b	有孔浅鉢	口縁	破片	無文　孔列	
61	諸磯b	有孔浅鉢	口縁	破片	無文　孔列	
62	諸磯b	有孔浅鉢	口縁	破片	無文　孔列	
63	諸磯b	有孔浅鉢	口縁	破片	無文　孔列	
64	諸磯b	浅鉢	台状脚部	破片	隆帯　平行沈線	
65	諸磯b	浅鉢	底部	破片	無文　円板状	
66	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪形　口唇　波状口縁波頂部	
67	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	変形爪形　平行沈線	
68	北白川下層	深鉢	口縁	破片	C爪形　口唇刻目	
69	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪形　口唇直下刺突列	
70	不明	深鉢	胴部	破片	平行沈線　C字竹管刺突	
71	不明	深鉢	胴部	破片	平行沈線　C字竹管刺突	
72	不明	深鉢	胴上	破片	C爪形	
73	不明	深鉢	胴部	破片	平行沈線　C字竹管刺突　口唇刻目	
74	不明	深鉢	胴部	破片	第1種付加条	
75	不明	深鉢	口縁	破片	単節LR　口唇刻目	
76	吹浦	深鉢	口縁～胴上	大形破片	片切口縁　有節浮線文　無節L	
77	吹浦	深鉢	口縁～胴上	破片	片切口縁　有節浮線文　無節LR	
78	吹浦	深鉢	口縁～胴上	大形破片	片切口縁　有節浮線文　無節L　91と同一	
79	吹浦	深鉢	口縁	破片	有節浮線文	
80	吹浦	深鉢	胴部	破片	片切口縁　有節浮線文　無節RL	
81	吹浦	深鉢	胴部	破片	片切口縁　有節浮線文　無節RL	
82	吹浦	深鉢	口縁～胴上	破片	片切口縁　有節浮線文　無節LR	
83	吹浦	深鉢	口縁	破片	口唇棒状貼付　有節浮線文	
84	吹浦	深鉢	胴部	破片	LRの羽状　有節浮線文	
85	十三菩提	深鉢	胴部	破片	LRの羽状　有節浮線文	
86	不明 諸磯bカ	深鉢	胴部	破片	浮線	灰色（還元色）
87	不明 諸磯bカ	深鉢	胴部	破片	浮線	灰色（還元色）
88	不明 諸磯bカ	深鉢	胴部	破片	浮線	灰色（還元色）


P-22
P-2
P-1
P-4
P-21
P-20
P-19
P-18
P-3
P-6
P-5
P-8
P-7
P-17
炉
P-13
P-9
P-11
P-10
P-12
P-16
P-15
P-14
10
33
17
213
36
23
A
A′
B
B′
C
C′
D
D′
E
E′
F
F′
G
G′
H
H′
I
I′
J
J′
K
K′
L
L′
M
M′
N
N′
O
O′
P
P′
L=206.80m
カクラン
1
2
3
4
5a
5b
6a
6b
7
8
9
10
11
12a
12b
13
14
0
2m

第25図　8号住居跡

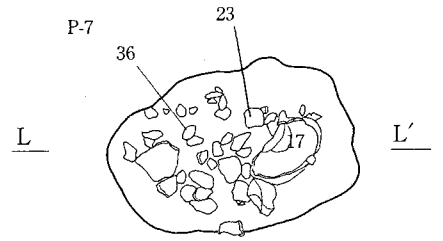


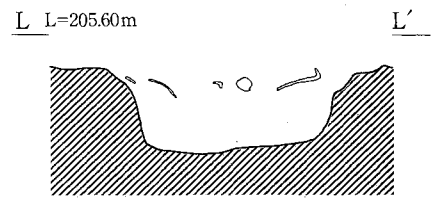


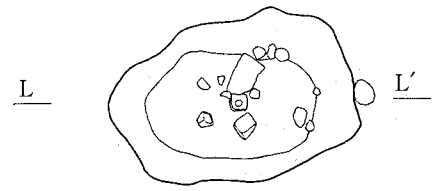


8号住居跡

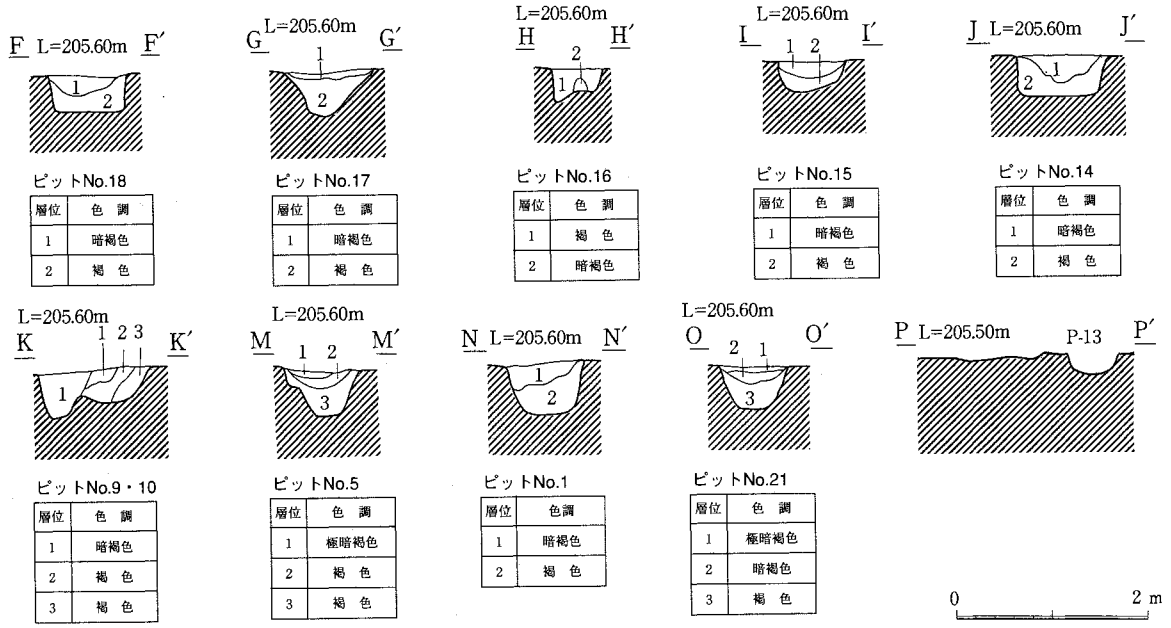
層	色調	
1	明暗褐色	
2	暗褐色	
3	黒暗褐色	
4	褐　色	
5	a褐色	
5	b褐色	
6	a極暗褐色	
6	b極暗褐色	
7	極暗褐色	細かいローム塊を2～3%、焼土粒を1%含む。本層中に多数の円礫が含まれ、恐らく投棄の物と見られる。
8	極暗褐色	細かいローム塊を2～3%、焼土粒、炭を1%含む。本層中にも7層と同様に多数の円礫が見られる。
9	暗褐色	
10	褐　色	
11	褐　色	
12	a明褐色	
12	b明褐色	
13	褐　色	
14	暗褐色	







第26図　8号住居跡・炉



ピットNo.18

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色

ピットNo.17

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色

ピットNo.16

層位	色調
1	褐色
2	暗褐色

ピットNo.15

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色

ピットNo.14

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色

ピットNo.9・10

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色
3	褐色

ピットNo.5

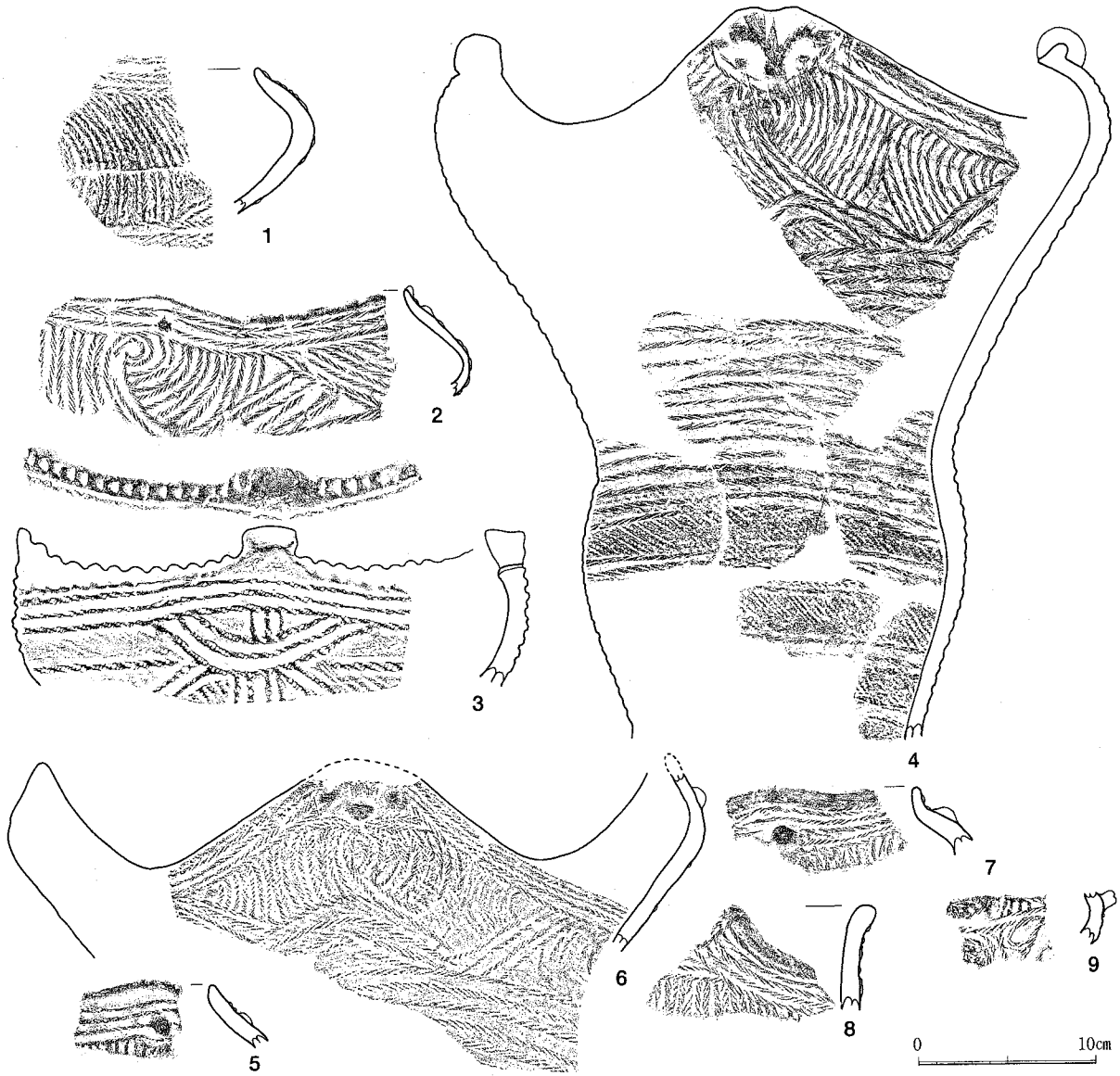
層位	色調
1	極暗褐色
2	褐色
3	褐色

ピットNo.1

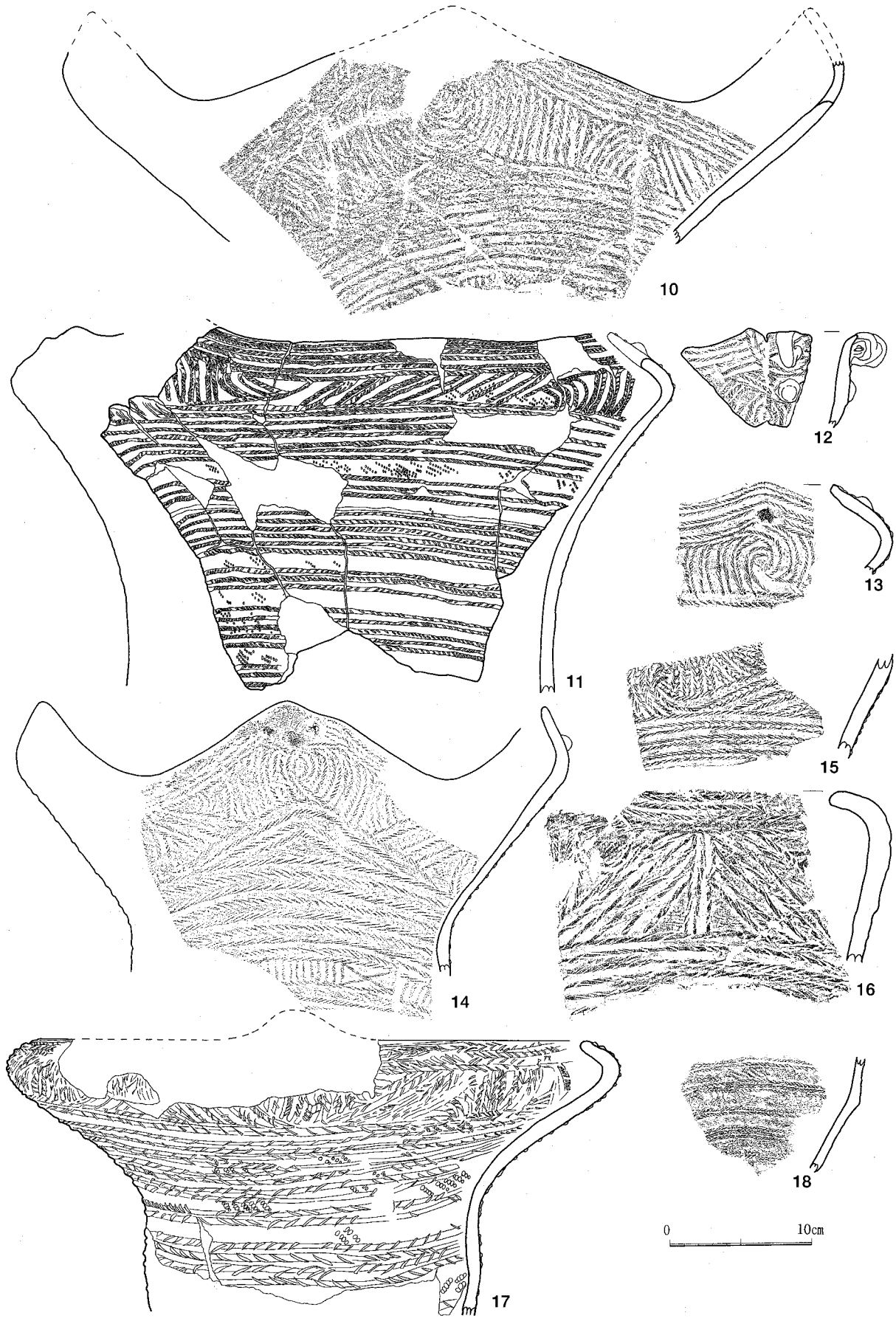
層位	色調
1	暗褐色
2	褐色

ピットNo.21

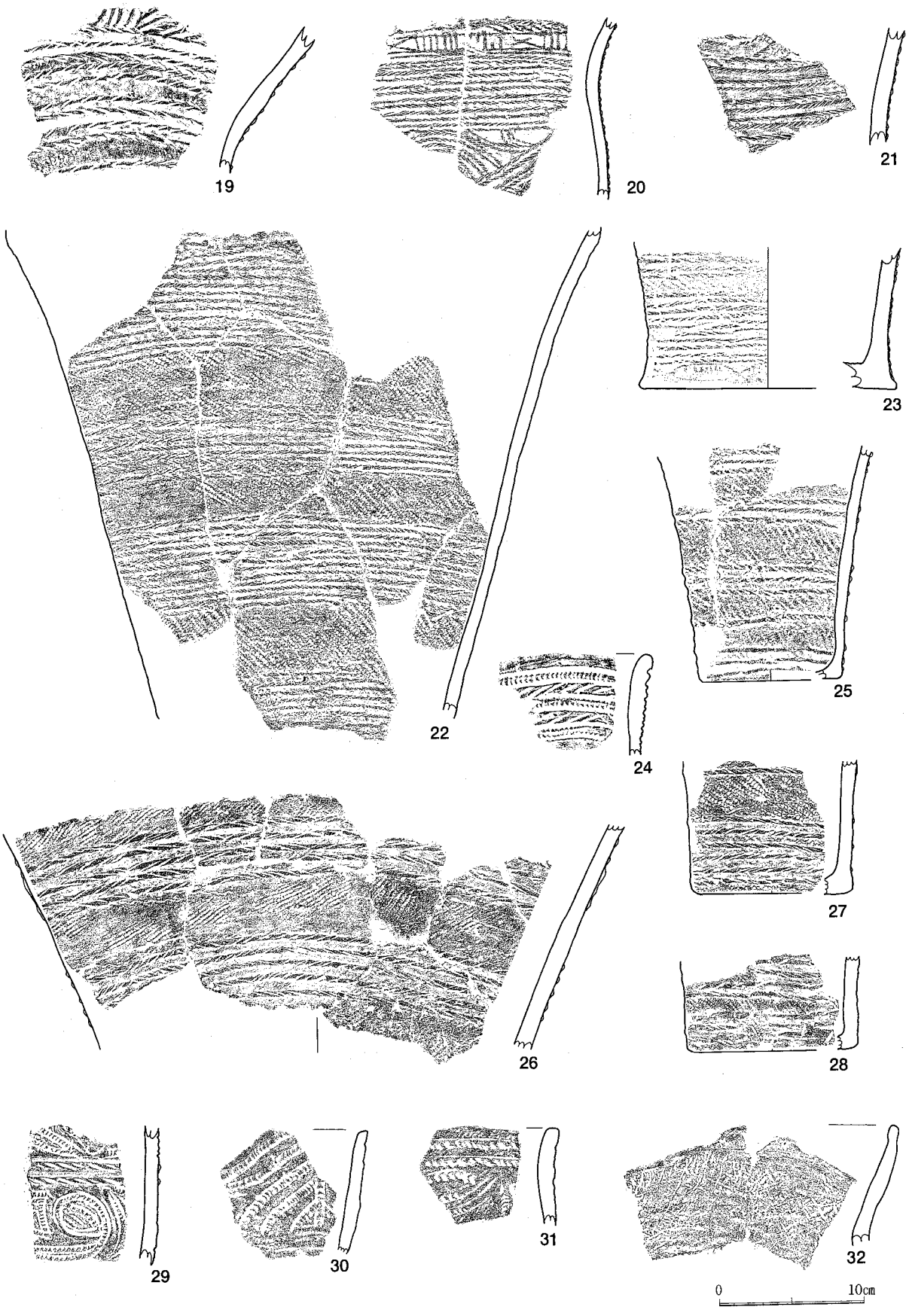
層位	色調
1	極暗褐色
2	暗褐色
3	褐色



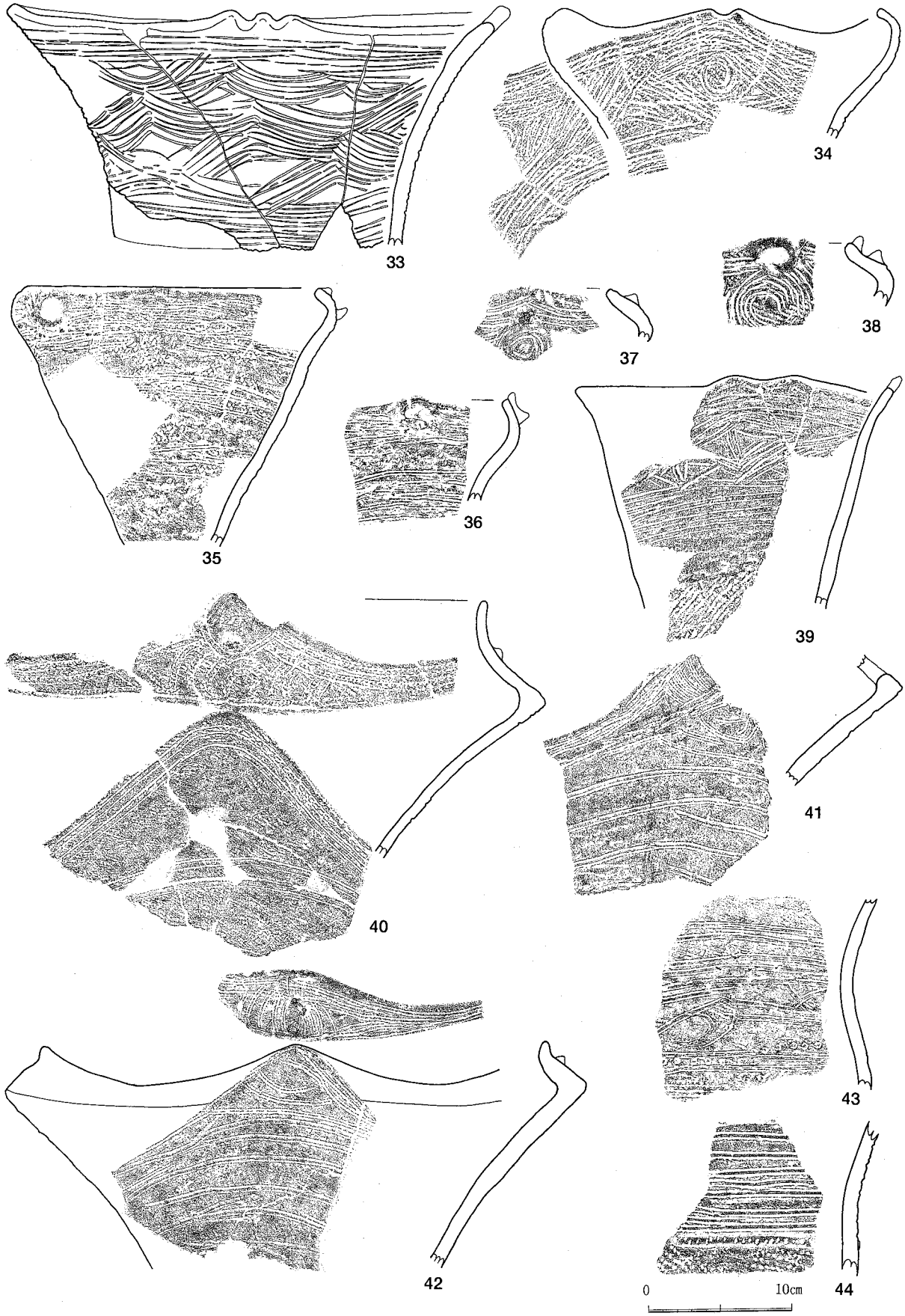
第27図　8号住居跡・同住居跡出土遺物（1）



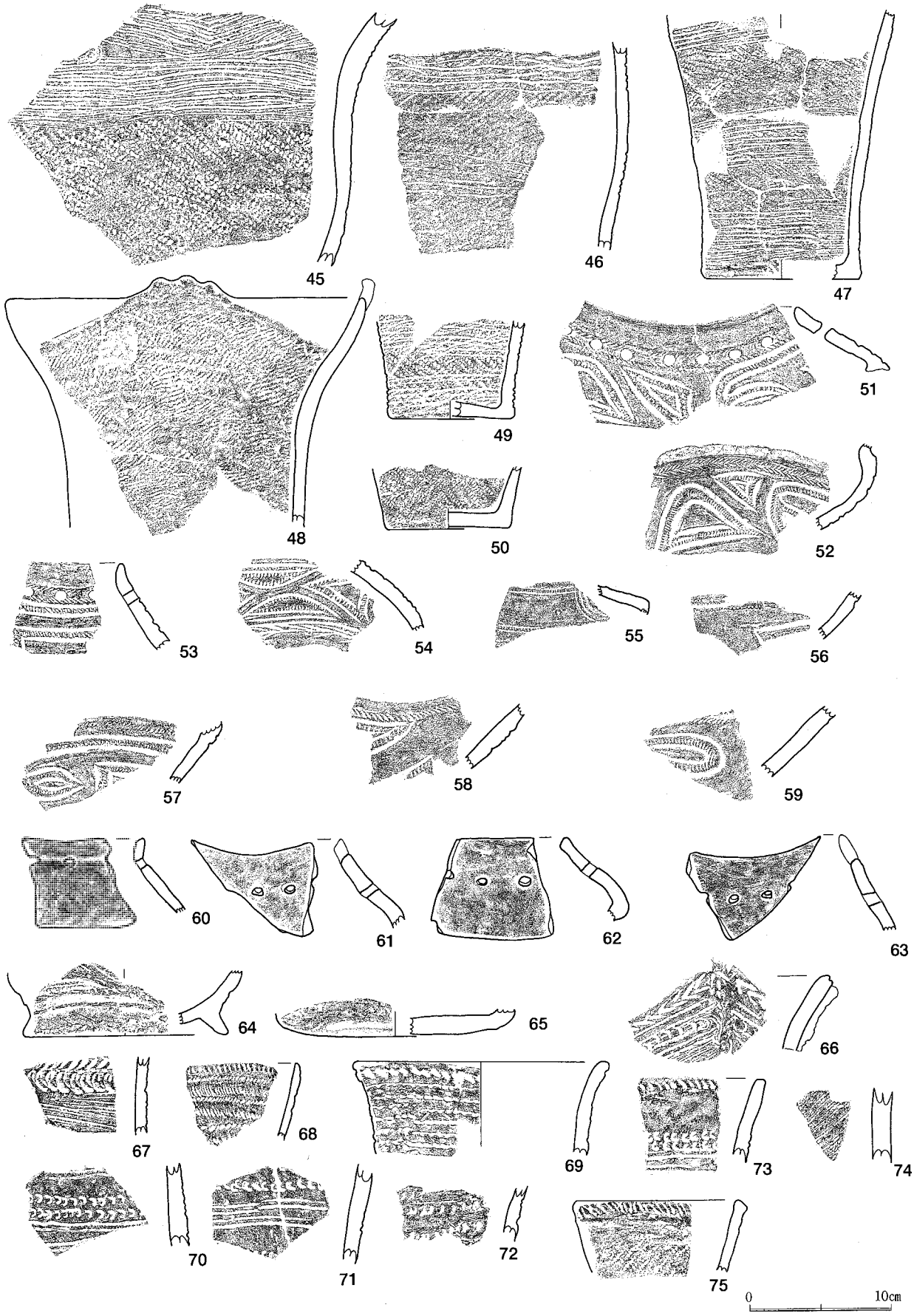
第28図　8号住居跡出土遺物（2）



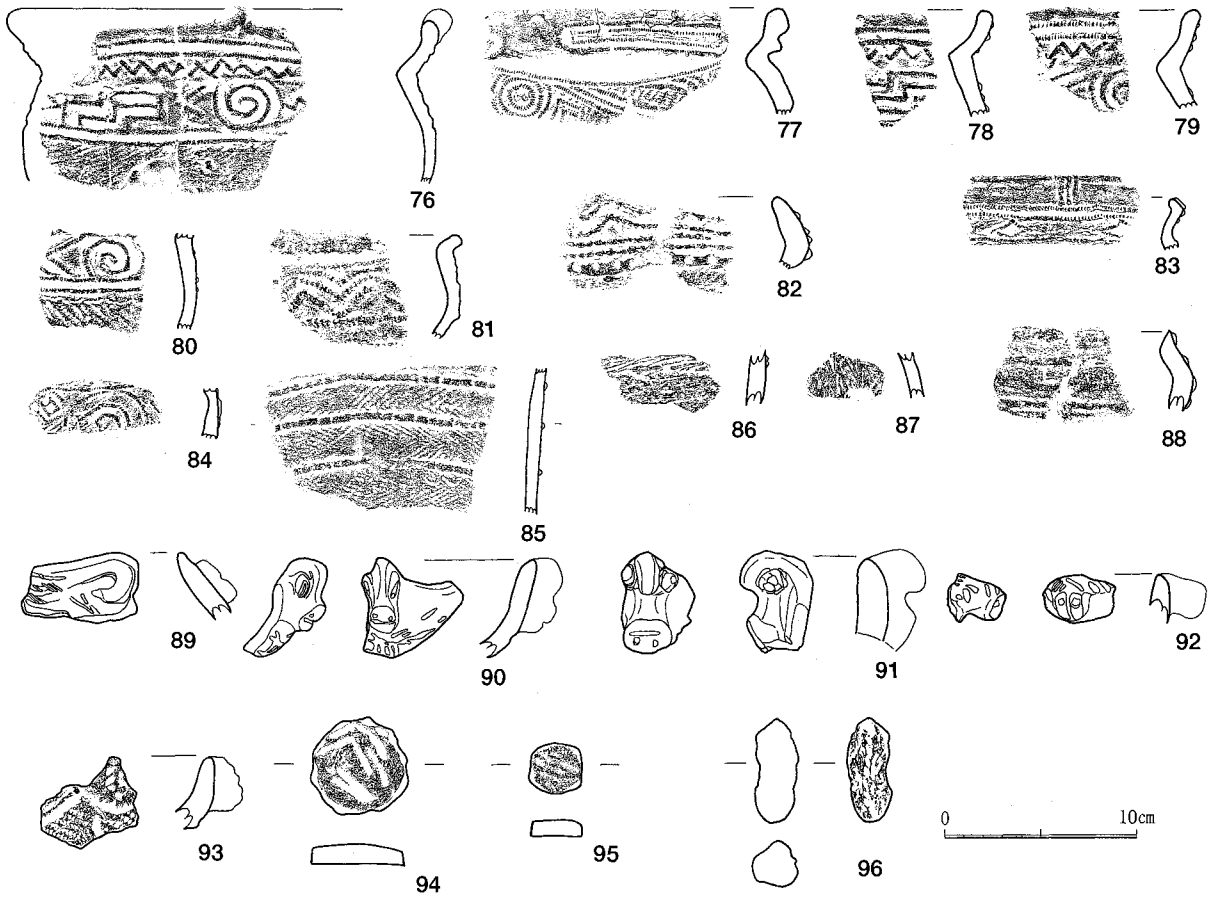
第29図　8号住居跡出土遺物（3）



第30図　8号住居跡出土遺物（4）



第31図　8号住居跡出土遺物（5）



第32図　8号住居跡出土遺物（6）

表23　8号住居跡出土土器観察表（3）

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
89	諸磯b	深鉢	口縁	破片	波状浮線　つ字貼付	
90	諸磯b	獣面把手	口縁	破片	浮線　イノシシ	
91	諸磯b	獣面把手	口縁	破片	浮線　イノシシ	
92	諸磯b	獣面把手	口縁	破片	浮線　イノシシヵ	
93	諸磯b	獣面把手	口縁	破片	浮線　単節RL	
94	不明	土製円盤	—	完形	底部片　内面指ナデ	
95	不明	土製円盤	—	完形	胴部片　無文	
96	不明	土製品	不明	不明	棒状を呈する　無節Lの原体圧痕	

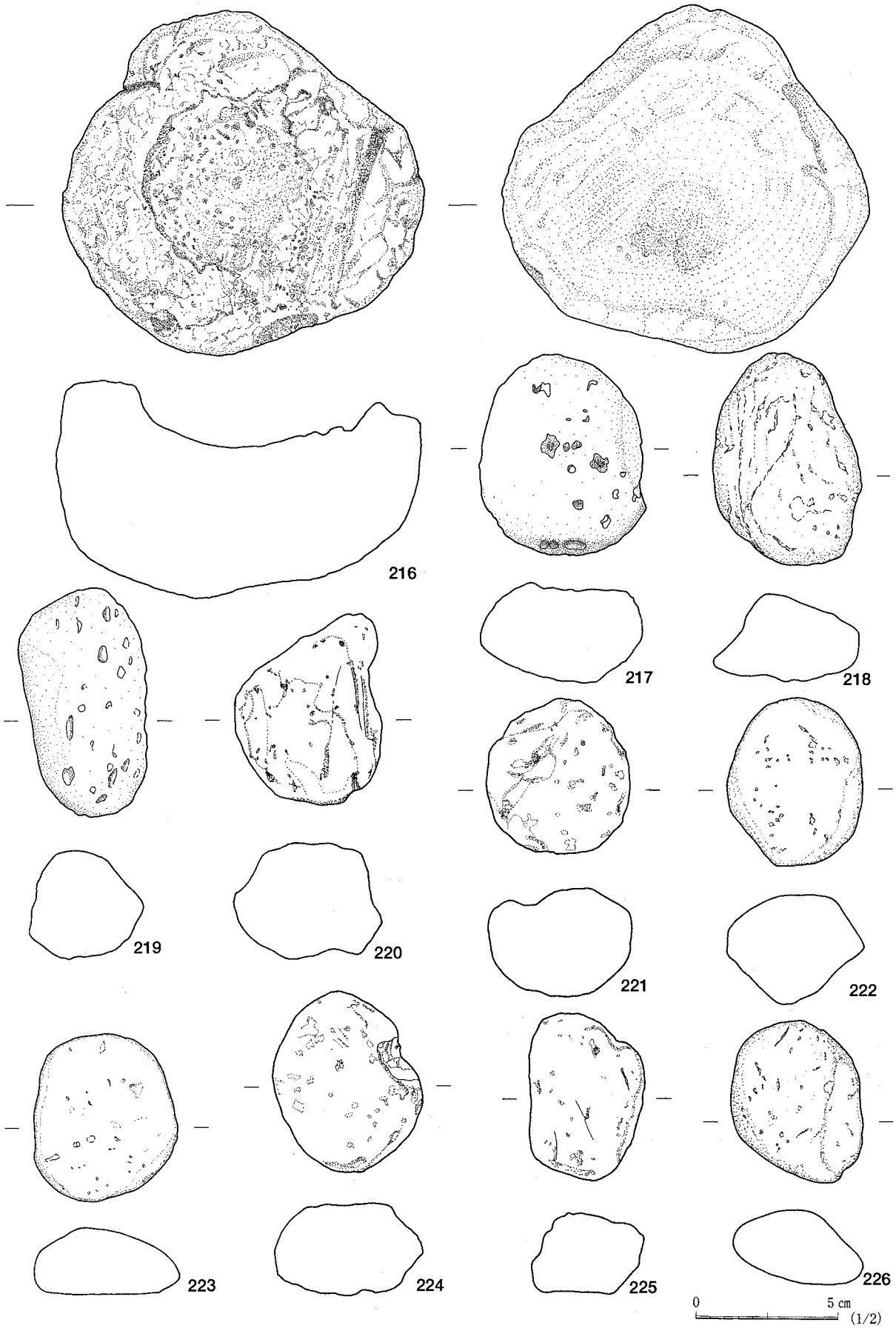
表24　8号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	錐	スクレイパー	楔	コア	礫器	磨石	凹石	石皿	軽石	砥石	多孔石	叩石	玦状耳飾			剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩			2						1	13	23	9			1	2						51
黒色安山岩								3													3	6
砂岩		1			1			3						2		17				8	137	169
凝灰質砂岩	62							6								1				28	421	518
頁岩	56				1	11	4	9								1				39	220	341
緑色岩		6																			5	11
チャート				1				5												57	1	64
黒曜石			4		1	1														27	138	171
石英																				2		2
珪質頁岩								3												3		6
流紋岩																					7	7
蛇紋岩		1																				1
軽石													150									150
滑石																	1					1
片岩																					14	14
計	118	8	6	1	3	12	4	29	1	13	23	9	150	2	1	21	1			164	946	1512

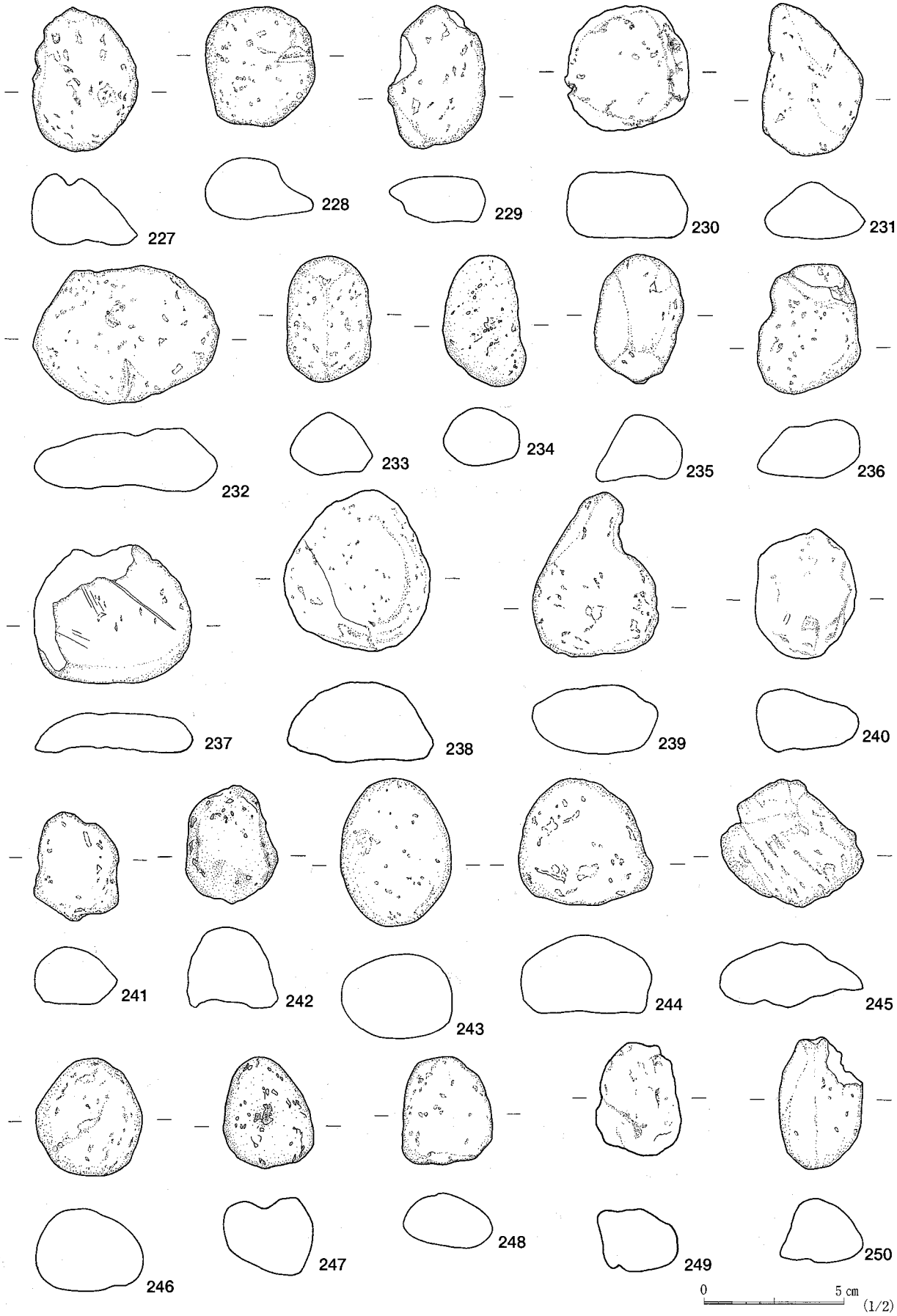
表25　8号住居跡出土軽石製石製品一覧表（1）

（g・cm）

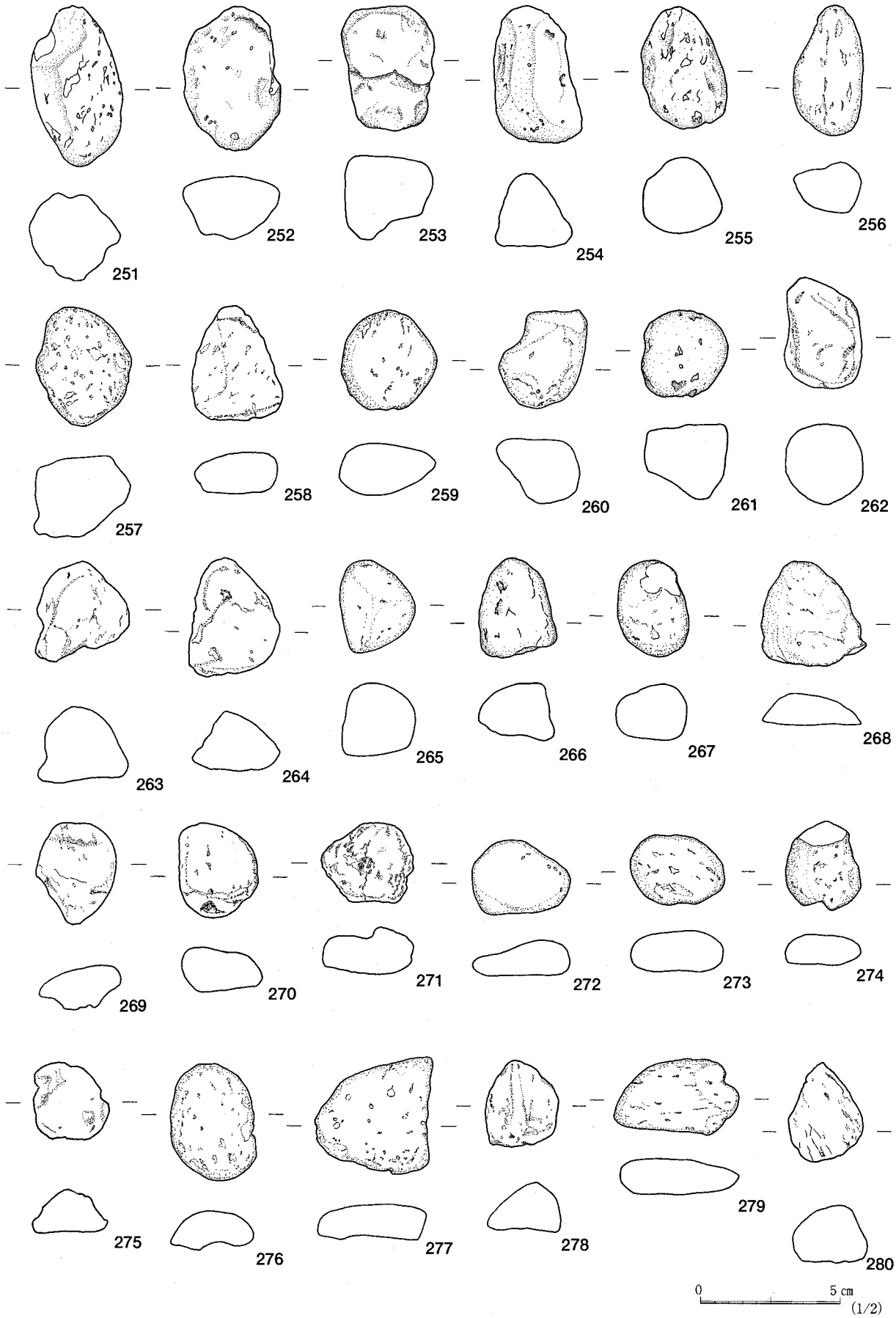
挿図・番号	注記番号	形状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備考	挿図・番号	注記番号	形状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備考
33－216	J－8	乳鉢	382	12.0	12.8	5.0	沈		34－249	J－8	楕円　球	11.5	4.0	3.0	2.3	沈	
33－217	J－8	モチ	60.4	7.1	5.7	3.3	沈		34－250	J－8	三角柱	16.5	4.7	3.0	2.3	沈	一部欠損
33－218	J－8	モチ	49.9	7.5	5.2	3.1	沈		35－251	J－8	楕円　球	16.7	5.8	3.3	3.0	沈	
33－219	23B下	楕円　球	62.0	8.1	4.1	3.8	沈		35－252	13B下5	モチ	19.0	5.2	3.5	2.2	沈	
33－220	21B下6	球　不整	82.2	6.5	5.2	4.0	沈	一部穿孔カ	35－253	33B下2	多面体	20.6	4.5	3.1	3.0	沈	
33－221	J－8	モチ	49.3	5.5	5.1	3.8	沈		35－254	4B下5	三角柱	16.5	4.9	2.7	2.6	沈	下端平坦多面体
33－222	33B下11	モチ	32.0	5.9	4.8	3.9	浮		35－255	20B下7	楕円　球	16.3	4.4	2.9	2.8	沈	
33－223	J－8	半球	28.9	5.9	5.2	2.4	沈		35－256	23B下7	楕円　球	6.1	4.7	2.5	1.7	沈	
33－224	9B下5	モチ	55.4	6.4	5.2	3.2	沈		35－257	13B下3	モチ	14.0	4.2	3.4	2.8	浮	
33－225	9B下7	楕円　球	36.3	5.7	4.0	2.8	沈		35－258	J－8	モチ	9.6	4.0	3.3	1.5	沈	
33－226	9B下	半球	30.5	5.6	4.5	2.6	沈		35－259	28B中	モチ	7.9	3.6	3.4	1.9	浮	
34－227	14B下7	半球カ	15.9	5.2	3.7	2.5	沈		35－260	20B下7	モチ	9.2	3.4	2.9	2.3	沈	破損
34－228	J－8	モチ	13.4	4.2	3.8	2.0	沈		35－261	14B下2	多面体	12.6	3.1	2.9	2.7	沈	
34－229	J－8	モチ	14.7	5.0	3.5	1.6	沈		35－262	J－8	棒	11.0	4.0	2.8	2.9	沈	破損・被熱痕
34－230	24B上	モチ	23.9	4.5	4.3	2.4	沈	厚い板状	35－263	J－8	球	11.8	3.3	3.2	2.7	沈	破損
34－231	24B下7	半球	15.1	5.4	3.5	2.0	沈		35－264	16B下7	モチ	10.4	4.1	3.1	2.1	沈	破損
34－232	14B下5	モチ	33.6	4.8	6.6	1.9	沈		35－265	19B下4	多面体	9.6	3.3	2.7	2.6	沈	
34－233	J－8	楕円　球	12.9	4.5	3.0	2.2	沈		35－266	21B下7	楕円　球	8.3	3.5	2.7	1.9	沈	破損
34－234	11B下	楕円　球	13.2	4.7	2.7	2.1	沈		35－267	10B下5	楕円　球	5.6	3.5	2.5	2.0	沈	
34－235	J－8	三角柱	18.9	4.7	3.1	2.2	沈		35－268	5B下7	板	7.0	3.8	3.6	1.1	沈	破損 半球カ
34－236	28B下2	モチ	15.3	4.5	3.6	1.9	沈	一部穿孔カ	35－269	22B下2	モチ	11.5	3.7	3.0	1.5	沈	破損
34－237	J－8	モチ	20.0	4.8	5.7	1.3	沈	破損 線状キズ	35－270	J－8	モチ	5.5	3.3	2.8	1.6	沈	
34－238	8B下4	モチ	37.1	5.7	5.3	2.9	沈	下端平坦	35－271	J－8	乳鉢　カ	6.3	2.7	3.3	1.2	沈	破損被熱痕
34－239	J－8	モチ	29.2	5.7	4.5	2.4	沈	穿孔カ	35－272	J－8	モチ	6.4	2.7	3.5	1.2	沈	
34－240	13B下2	モチ	42.2	4.5	3.5	2.1	沈	発泡弱い	35－273	J－8	モチ	4.6	2.5	3.3	1.4	沈	
34－241	J－8	モチ	9.4	3.9	3.0	2.0	沈		35－274	22B下5	モチ	12.5	3.1	2.2	1.0	沈	破損
34－242	11B下7	モチ	14.7	4.2	3.2	2.7	沈	破損	35－275	J－8	半球	5.7	2.8	2.6	1.5	沈	破損
34－243	J－8	卵	34.9	5.3	4.0	3.0	沈		35－276	10B下1	モチ	6.5	4.2	3.0	1.1	沈	
34－244	J－8	半球	27.1	4.5	4.8	2.7	沈	下端穿孔カ	35－277	9B下7	乳鉢　カ	8.5	4.0	4.0	1.1	沈	破損後研磨
34－245	J－8	不整　モチ	18.9	4.4	4.9	2.3	沈		35－278	24B上	モチ	6.4	2.6	4.3	1.2	沈	破損
34－246	J－8	半球	20.2	4.2	3.8	2.9	沈	被熱痕	35－279	J－8	板	5.0	3.0	2.5	1.6	沈	破損
34－247	13B中	球　不整	16.5	4.0	3.2	2.8	沈	一部穿孔カ	35－280	J－8	不整　球	6.5	3.5	2.6	2.1	沈	
34－248	J－8	モチ	13.2	3.8	3.2	1.9	沈		36－281	J－8	多面体	11.6	2.8	2.6	2.2	沈	



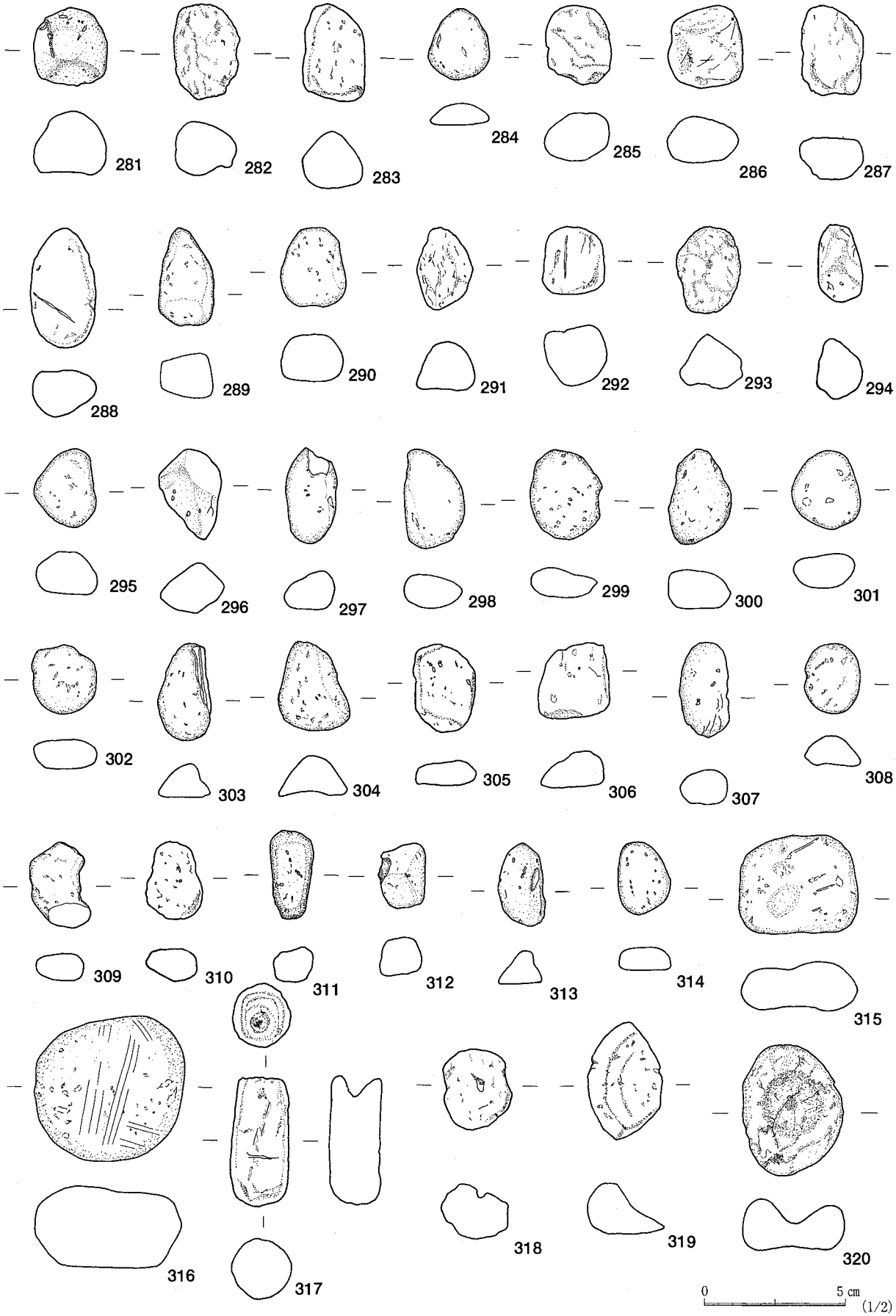
第33図　8号住居跡出土遺物（7）



第34図　8号住居跡出土遺物（8）



第35図　8号住居跡出土遺物（9）



第36図　8号住居跡出土遺物（10）

表26　8号住居跡出土軽石製石製品一覧表（2）　（g・cm）

挿図・番号	注記番号	形　状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備　考	挿図・番号	注記番号	形　状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備　考
36－282	J－8	楕円　球	5.1	3.4	2.2	1.7	沈		36－302	23B下2	モチ	2.6	2.5	2.3	1.0	沈	破損
36－283	8B下4	多面体	8.1	3.5	2.2	2.1	沈		36－303	4B下4	モチ	2.3	3.5	1.9	1.2	沈	破損
36－284	20B下	板　楕円	1.1	2.5	2.2	0.8	沈		36－304	21B下7	乳鉢カ	5.5	3.1	2.5	1.3	沈	
36－285	J－8	楕円　球	5.4	2.7	2.2	1.7	沈		36－305	J－8	板　楕円	3.0	3.2	2.2	0.9	沈	
36－286	J－8	モチ	4.8	2.7	2.6	1.6	沈		36－306	22B下4	モチ	3.9	2.6	2.5	1.2	沈	被熱痕
36－287	J－8	不整　球	4.7	3.3	2.1	1.5	沈		36－307	J－8	楕円　球	3.5	3.4	1.7	1.2	沈	
36－288	24B下	楕円　球	7.0	4.0	2.2	1.6	沈		36－308	33B下	モチ	2.0	2.5	1.9	1.0	沈	
36－289	24B上	多面体	7.0	3.5	2.0	1.5	沈	発砲弱い	36－309	J－8	板	3.1	3.0	1.8	1.0	沈	乳鉢破損カ
36－290	J－8	モチ	4.8	2.8	2.3	1.7	沈		36－310	J－8	モチ	2.2	2.8	2.0	1.2	沈	
36－291	J－8	球　不整	2.8	3.0	2.0	1.7	沈		36－311	J－8	楕円 不整	1.8	3.2	1.4	1.2	沈	
36－292	J－8	多面体	5.7	2.3	2.3	2.0	沈	線状傷	36－312	J－8	多面体	2.0	2.3	1.7	1.3	沈	
36－293	J－8	球　不整	4.0	3.0	2.2	1.6	沈		36－313	J－8	多面体	2.3	3.0	1.7	1.2	沈	
36－294	J－8	球　不整	2.7	2.8	1.6	1.7	沈	破損	36－314	4B下	板	4.2	3.0	2.3	2.0	沈	片面穿孔カ
36－295	11B下4	球　不整	4.1	2.8	2.2	1.5	沈		36－315	J－8	板　楕円	1.5	2.6	1.8	0.8	沈	
36－296	8B下5	多面体	3.7	2.2	2.2	1.8	沈		36－316	20B下6	モチ	11.4	3.5	4.3	1.4	沈	被熱一部穿孔カ
36－297	22B下	楕円　球	4.6	3.5	1.8	1.3	沈		36－317	J－8	片面穿孔棒	36.7	5.1	5.3	2.9	沈	穿孔未了
36－298	J－8	モチ	4.5	3.5	2.1	1.2	沈		36－318	J－8	楕円　球	14.2	4.7	2.1	2.2	沈	片面穿孔カ
36－299	22B下4	モチ	3.0	3.2	2.3	1.0	沈	一部穿孔カ	36－319	J－8	乳鉢	5.3	4.2	2.8	1.8	沈	破損
36－300	16B下	楕円　球	3.3	3.4	2.3	1.3	沈		36－320	J－8	乳鉢	20.0	4.7	3.6	1.7	沈	裏小孔2 被熱
36－301	J－8	モチ	4.1	2.8	2.5	1.2	沈										

9号住居跡（第37・38図、図版14・15・64・65、表27～29）

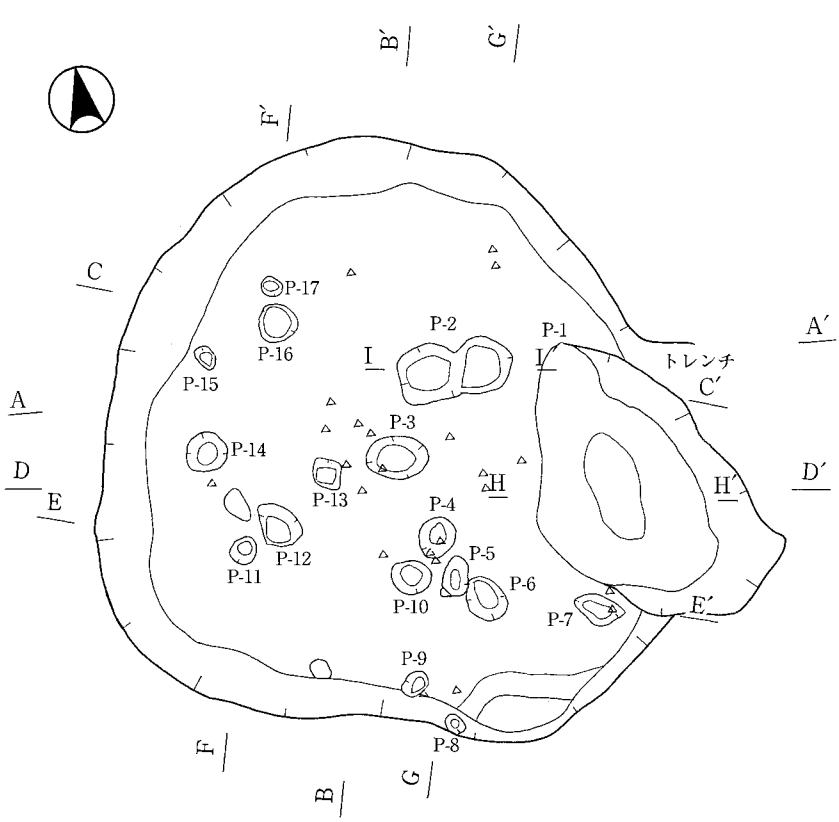
本跡はC・D－7グリッドに於いて検出された。東側は風倒木痕と重複する為に明瞭でないが、平面形状は概ね不整円形を呈するものと思われる。規模は6.5×6.1mで、確認面下の掘り込みは90cmを測る。覆土は自然堆積で22層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴が17本確認される。その配置は住居の中央部分に集中する傾向があり規則的ではない。炉は検出されていない。

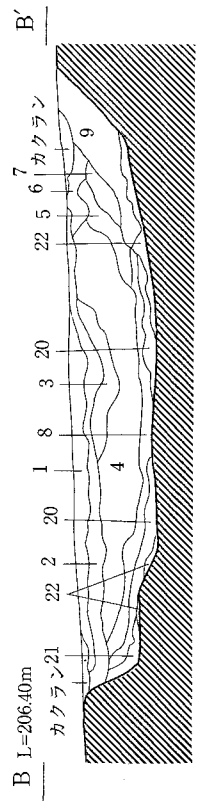
遺物は覆土中よりまとまって出土し、総量は土器24.8kg、石器385点（58kg）である。この内土器26点、石器27点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表27・28の出土土器観察表（1）・（2）に、石器は表29の石器組成表で示した。

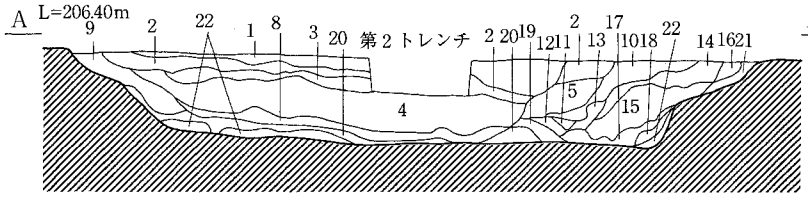
出土遺物より本住居跡は諸磯b式期の所産と判断される。

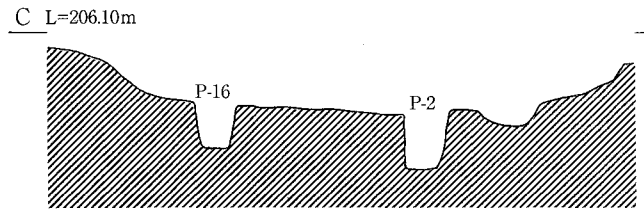
表27　9号住居跡出土土器観察表（1）

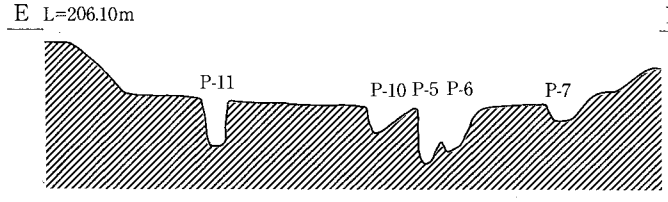
番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
1	諸磯a	深鉢	胴部	破片	円管　肋骨文　1単位6本の条線	
2	北白川下層	深鉢	胴部	破片	C爪形　メガネ状の模様　円形貼付	
3	諸磯b	浅鉢	口縁	破片	C爪形　木ノ葉状入組文	
4	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　単節RL	
5	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　波状口縁　単節RL　口唇刻目	
6	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　波状口縁　小突起	
7	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　波状口縁　単節RL	
8	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線	
9	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線	
10	吹浦	深鉢	胴部	破片	隆帯上にC字の連続刺突	
11	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線	
12	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　波状口縁　獣面把手	
13	不明	深鉢	口縁	破片	隆帯上にC字の連続刺突　単節LR	







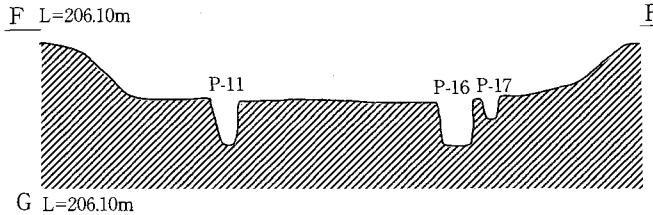


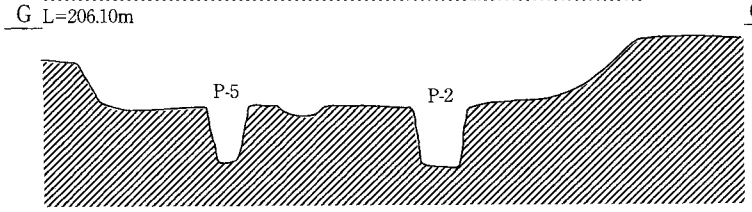


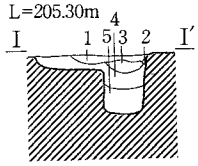
9号住居跡

層位	色　調	焼土粒子	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色		微　量			有	弱
2	極暗褐色		微　量			有	弱
3	極暗褐色	極微量	極々微量	極々微量		有	弱
4	黒褐色	極々微量	極微量	極微量		有	弱
5	暗褐色			極微量		有	弱
6	暗褐色		極微量			有	弱
7	極暗褐色		微　量			有	弱
8	黒褐色		少　量	極微量	極微量	有	弱
9	暗褐色		微　量	極微量	極微量	有	弱
10	極暗褐色		極々微量		φ1cm極微量	有	弱
11	極暗褐色		極々微量	極々微量	φ0.5cm少量	有	弱
12	暗褐色		極々微量			有	弱
13	暗褐色			極々微量	まばらφ1～3cm	強	弱
14	暗黄褐色			極微量	密	有	弱
15	暗黄褐色			少　量	密	有	弱
16	暗褐色				まだらにまばらに入る。	有	弱
17	極暗褐色		極微量	極々微量	φ1～3cm少量	有	弱
18	褐色		極微量		多　量	有	弱
19	極暗褐色			極微量	微　量	有	弱
20	暗褐色		微　量	極微量	φ0.5～1cm微量	有	弱
21	暗褐色		極々微量			有	弱
22	暗褐色			極微量	φ1～4cmまばら	有	弱

第37図　9号住居跡

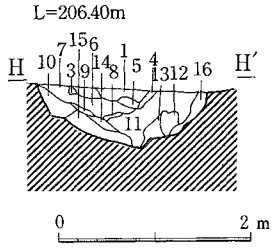






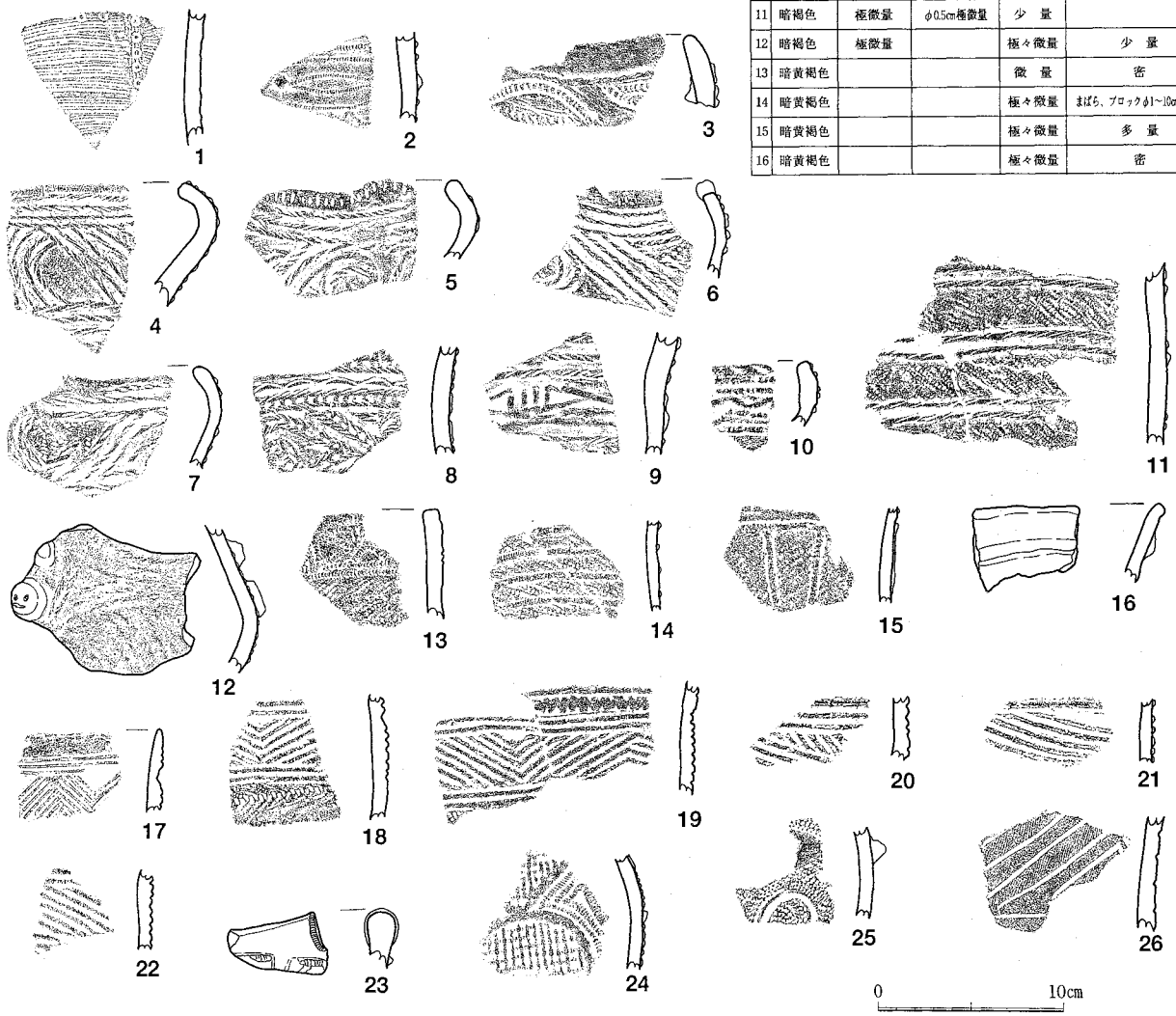
ピットNo. 2

層位	色　調	
1	暗褐色	YP-WPを1%含む。
2	明褐色	RBを主体とする。
3	極暗褐色	ローム粒を2～3%YP、WPを1%
4	暗褐色	ローム粒を2～3%
5	褐　色	RBを10～15%含む。



ピットNo. 1

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	黄軽石	ローム
1	暗黄褐色	極微量		極微量	密
2	暗黄褐色			少　量	密
3	暗黄褐色			まばら	まばら
4	褐　色			微　量	まばら
5	褐　色			微　量	まばら
6	暗黄褐色		φ1cm少量	少　量	密
7	暗黄褐色			微　量	密
8	暗褐色		φ1cm極々微量	極微量	少量、ブロックφ1～5cmまばら
9	褐　色	極々微量		極微量	多　量
10	褐　色		φ0.5cm微量	少　量	多　量
11	暗褐色	極微量	φ0.5cm極微量	少　量	
12	暗褐色	極微量		極々微量	少　量
13	暗黄褐色			微　量	密
14	暗黄褐色			極々微量	まばら、ブロックφ1～10cmまばら
15	暗黄褐色			極々微量	多　量
16	暗黄褐色			極々微量	密



第38図　9号住居跡・同住居跡出土遺物

表28　9号住居跡出土土器観察表（2）

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
14	十三菩提	深鉢	胴部	破片	隆帯上にC字の連続刺突　単節RL	
15	十三菩提	深鉢	胴部	破片	隆帯上にC字の連続刺突	
16	不明	深鉢	口縁	破片	隆帯1条	
17	十三菩提	深鉢	口縁	破片	三角印刻文	
18	十三菩提	深鉢	胴部	破片	三角印刻文　結束羽状	
19	十三菩提	深鉢	胴部	破片	三角印刻文　交互刺突	
20	十三菩提	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
21	十三菩提	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
22	十三菩提	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
23	十三菩提	深鉢	口縁	破片	片切の口縁　突起	
24	十三菩提	深鉢	胴部	破片	平行沈線格子目　隆帯上C爪連続刺突	
25	興津カ	深鉢	胴部	破片	貝殻腹縁連続刺突	
26	不明	深鉢	胴部	破片	平行沈線	

表29　9号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	スタンプ	コア	槍	磨石	凹石	石皿	軽石	多孔石	玦状耳飾							剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩								1	6			2								4	8	21
軽石											1											1
砂岩				1																2	53	56
凝灰質砂岩	3				1		1													12	112	129
頁岩	8			1		1														9	22	41
緑色岩		1																				1
チャート																				4	13	17
黒曜石			4			8														8	85	105
石英																				2		2
珪質頁岩																					2	2
流紋岩																					7	7
鉄石英				1																		1
片岩										1												1
滑岩													1									1
計	11	1	4	3	1	9	1	1	6	1	1	2	1							41	302	385

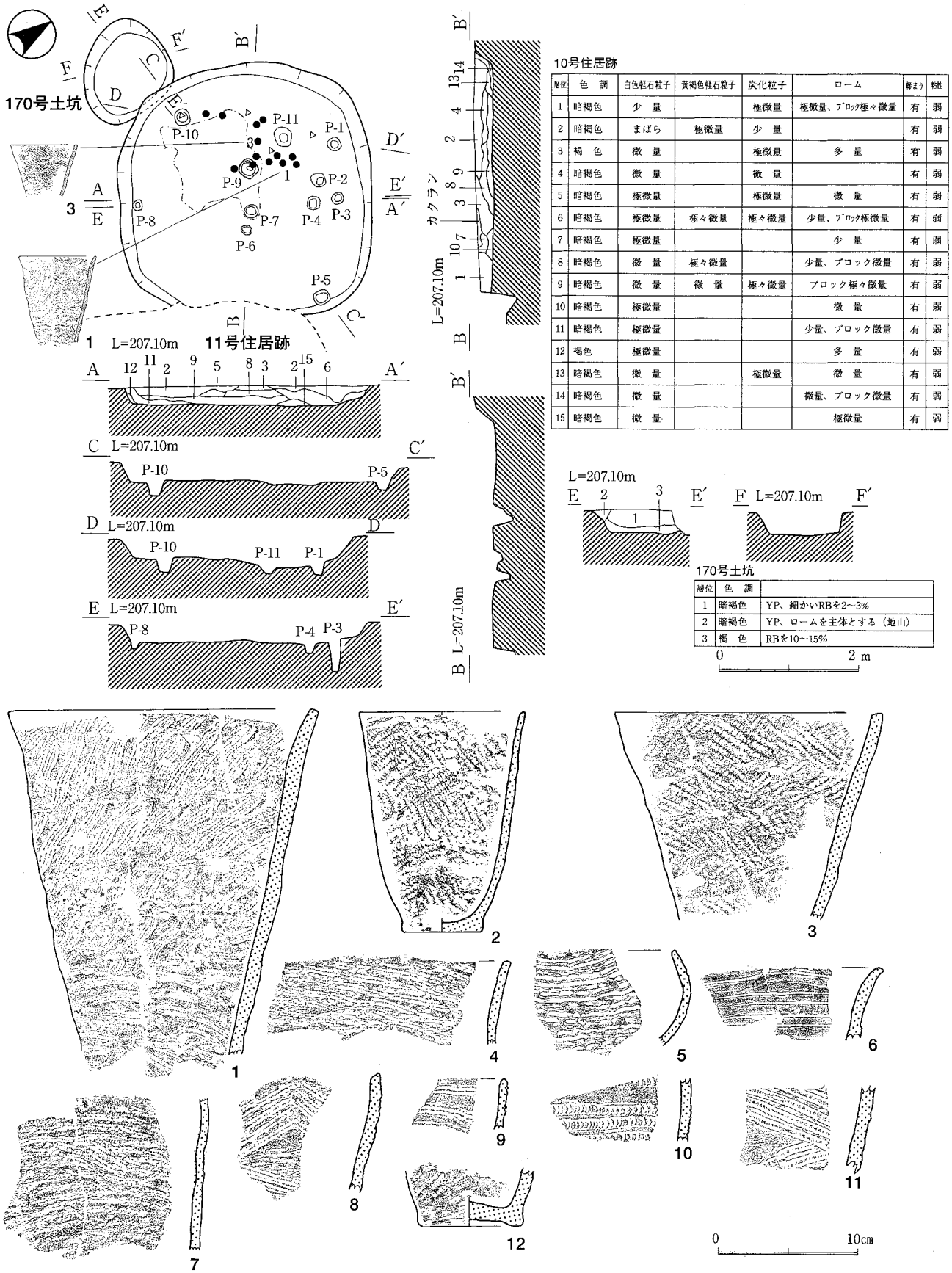
10号住居跡（第39図、図版15・16・65、表30・31）

本跡はE－4グリッドに於いて検出された。平面形状は円に近い隅丸の方形を呈する。規模は4.09×4.02mで、確認面下の掘り込みは28cmを測る。覆土は自然堆積で15層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴が11本確認される。その配置は北壁際に集中する傾向がある。炉は検出されていない。

11号住居跡及び170号土坑と重複する。新旧関係はいずれも黒浜期の資料が出土しており不明である。

遺物は覆土中より出土し、総量は土器8.7kg、石器57点（10.2kg）である。この内土器12点、石器4点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表30の出土土器観察表にまとめ、石器は表31の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。



10号住居跡

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	炭化粒子	ローム	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量		極微量	極微量、ﾌﾞﾛｯｸ極々微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	極微量	少　量		有	弱
3	褐　色	微　量		極微量	多　量	有	弱
4	暗褐色	微　量		微　量		有	弱
5	暗褐色	極微量		極微量	微　量	有	弱
6	暗褐色	極微量	極々微量	極々微量	少量、ﾌﾞﾛｯｸ極微量	有	弱
7	暗褐色	極微量			少　量	有	弱
8	暗褐色	微　量	極々微量		少量、ブロック微量	有	弱
9	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	ブロック極々微量	有	弱
10	暗褐色	極微量			微　量	有	弱
11	暗褐色	極微量			少量、ブロック微量	有	弱
12	褐色	極微量			多　量	有	弱
13	暗褐色	微　量		極微量	微　量	有	弱
14	暗褐色	微　量			微量、ブロック微量	有	弱
15	暗褐色	微　量			極微量	有	弱

170号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	YP、細かいRBを2～3%
2	暗褐色	YP、ロームを主体とする（地山）
3	褐　色	RBを10～15%

第39図　10号住居跡・同住居跡出土遺物・170号土坑

表30　10号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/3	撚糸　繊維混入	
2	黒浜	小形深鉢	胴～底部	1/5	単節　羽状　RLの方向転じて施文　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/2	単節　羽状　LRの方向転じて施文　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁	破片	無節Lの撚糸　繊維混入	
5	大木2a	深鉢	口縁	破片	列点　沈線の交差に施文　繊維混入	
6	黒浜	深鉢	口縁	破片	平行沈線　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	胴部	破片	無節Lの撚糸　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁	破片	平行沈線　菱形文構成　波状口縁頂部　繊維混入	
9	有尾	深鉢	口縁	破片	3本1単位の平行沈線　繊維混入	
10	有尾	深鉢	胴部	破片	C爪形　繊維混入	
11	有尾	深鉢	胴部	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	底部	破片	無節L　繊維混入	

表31　10号住居跡出土石器組成表

	打斧	スクレイパー	凹石	軽石	多孔石															剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩			1		1																	2
砂岩																					12	12
凝灰質砂岩	1	2																			25	28
頁岩	1																				11	12
珪質頁岩																					1	1
軽石				2																		2
計	2	2	1	2	1																49	57

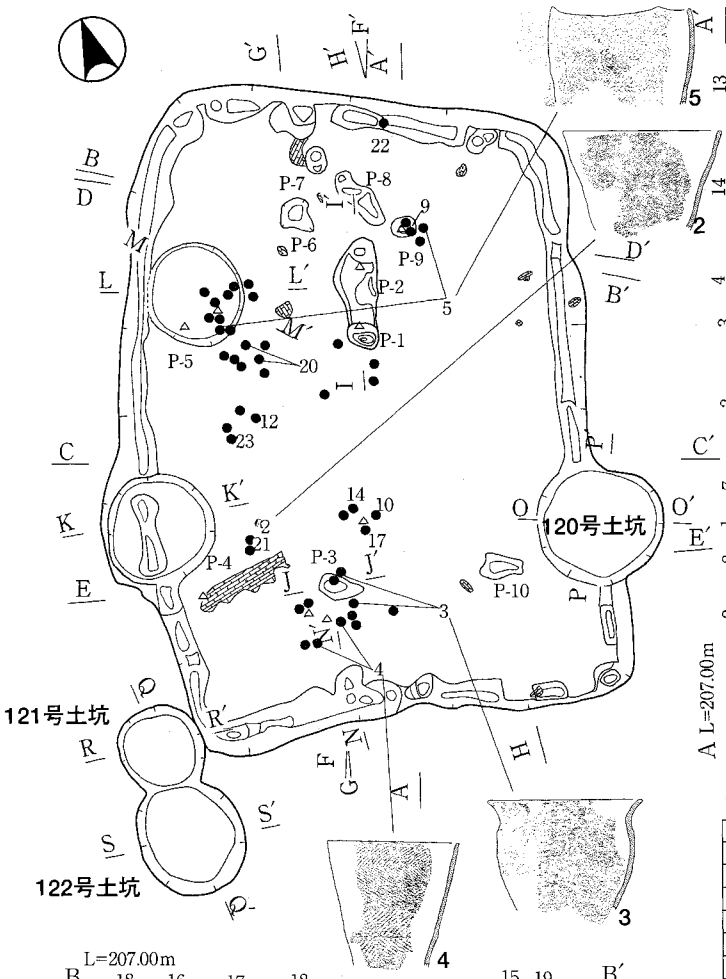
11号住居跡（第40～42図、図版16・66・67、表32・33）

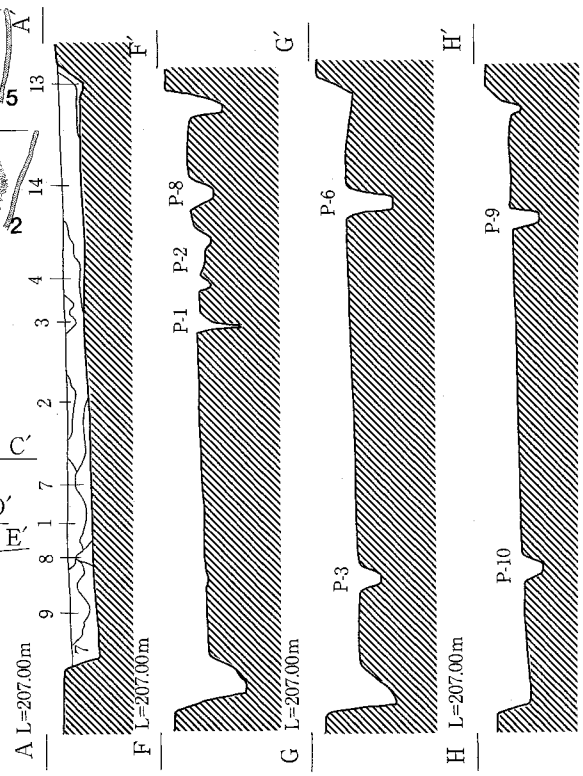
本跡はE－4・5グリッドに於いて検出された。平面形状は南北に長いややいびつな長方形を呈する。規模は6.65×4.59mで、確認面下の掘り込みは32cmを測る。覆土は自然堆積で19層に分層される。床面には炭化材の出土が見られ、火災住居跡の可能性がある。床面はほぼ平坦で、壁際が全周している。柱穴は10本確認されP－3・6・9・10が主柱穴になるものであろうが、深さはあるものの掘り形は小さい。炉は確認されなかった。

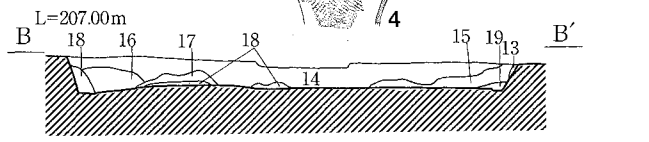
10号住居跡、120号土坑と重複するが新旧関係は不明。

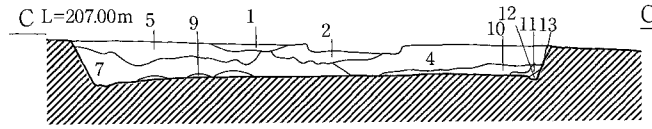
遺物は覆土中より大量に出土し、総量は土器34.7kg、石器162点（5.4kg）である。この内土器23点、石器10点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表32の出土土器観察表にまとめ、石器は表33の石器組成表で示した。

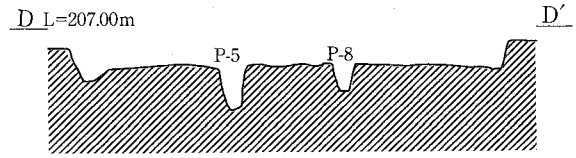
出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

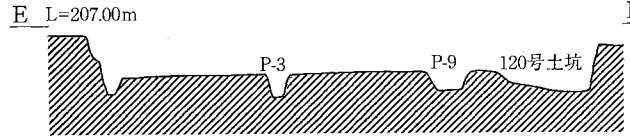


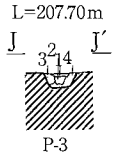






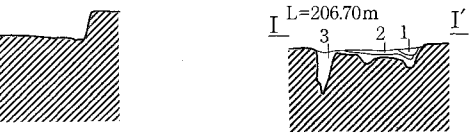






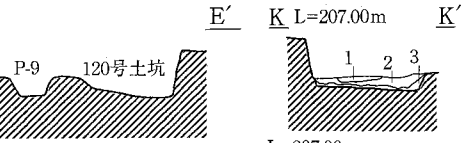
ピットNO.3

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			微量	弱	弱
2	暗褐色	少量		微量	弱	弱
3	褐色	密		極微量	有	弱
4	暗褐色	まばら	φ1～2cm少量	極微量	有	弱



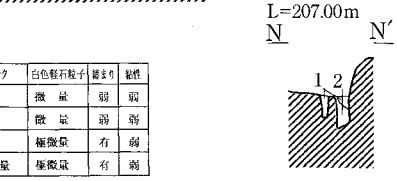
ピットNo.1.2

層位	色調	ローム粒	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	黒褐色		極微量	有	弱
2	暗褐色	少量	極微量	有	弱
3	暗黄褐色	少量		有	弱



ピットNo.4

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		極微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	φ0.5～1cm少量	極微量	有	弱
3	暗褐色	まばら	φ1～3cmまばら		有	弱



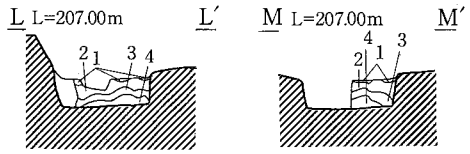
壁柱穴

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量				有	弱
2	暗褐色			極々微量	極微量	有	弱

11号住居跡

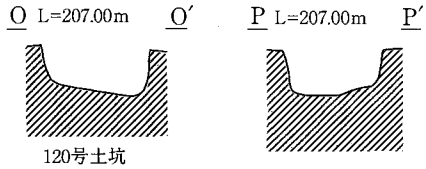
層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	黄褐色軽石粒子	焼土ブロック	礫	締まり	粘性
1	暗褐色		微量	少量		極々微量		多量	有	弱
2	黄褐色		極微量	密					有	弱
3	褐色		極微量	多量		微量			有	弱
4	暗褐色		微量	まばら	φ2～4cm微量	極微量			有	弱
5	暗褐色	極々微量	少量	まばら					有	弱
6	暗褐色	極微量	微量	極微量	φ1～2cm極微	極々微量		微量	有	弱
7	暗褐色	極々微量	微量	まばら	φ1～3cm少量	極々微量			有	弱
8	暗褐色	少量	極微量	微量		極微量			有	弱
9	暗褐色		極微量	まばら少量					有	弱
10	暗褐色		極微量	少量		極微量			有	弱
11	暗褐色		極微量	極微量			φ1cm極微量		有	弱
12	暗褐色		極微量	少量	φ1cm微量				有	弱
13	黄褐色		極微量		φ1～3cm密				有	弱
14	暗褐色	微量	微量	微量	φ1～3cm少量		φ1cm極微量		有	弱
15	暗褐色		極微量	微量	φ1～2cm微量	極微量	φ1cm極微量		有	弱
16	暗褐色		極微量	まばら	φ1cm微量	極微量			有	弱
17	暗褐色		微量	少量	φ1～5cmまばら	極微量			有	弱
18	極暗褐色	まばら	極微量	極微量	φ1～2cm微量	極微量			有	弱
19	暗褐色	微量	極微量	微量	φ1cm極微量	極微量			有	弱

第40図　11号住居跡・120～122号土坑

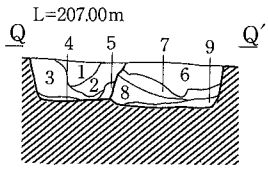


ピットNo.5

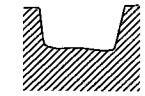
層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		φ2～8cmまばら	極微量			強	弱
2	暗褐色	少量	φ0.5cm微量	微量	極微量		有	弱
3	暗褐色	まばら	φ0.5cm少量	微量	極微量		有	弱
4	暗黄褐色	少量		極微量	極微量	極微量	有	弱



120号土坑



121・122号土坑

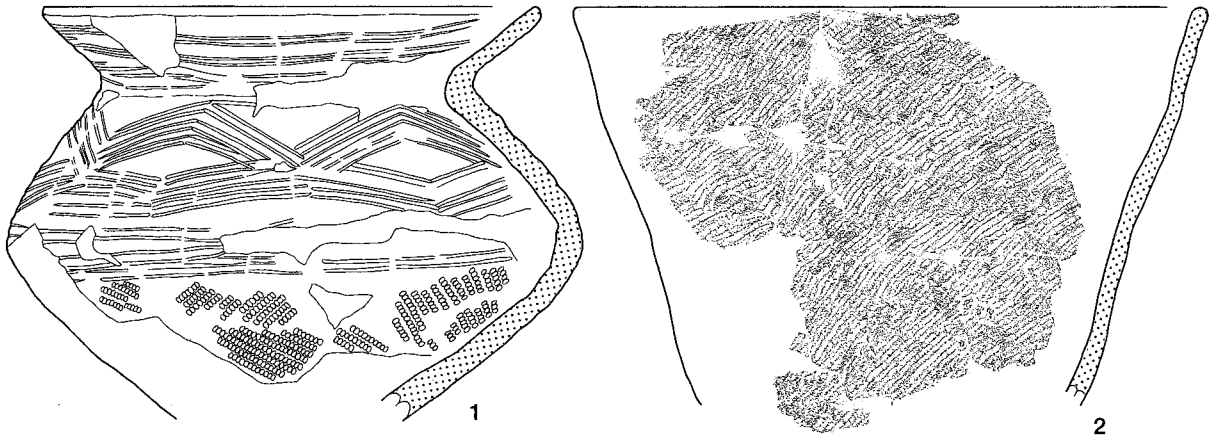


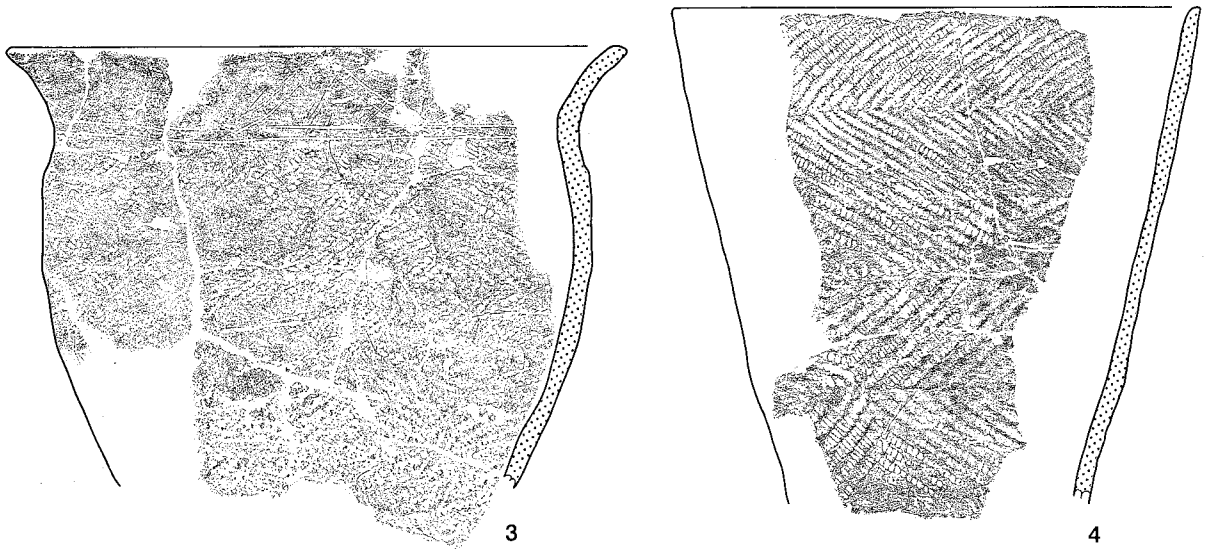
121号土坑

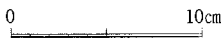
122号土坑

121、122号土坑

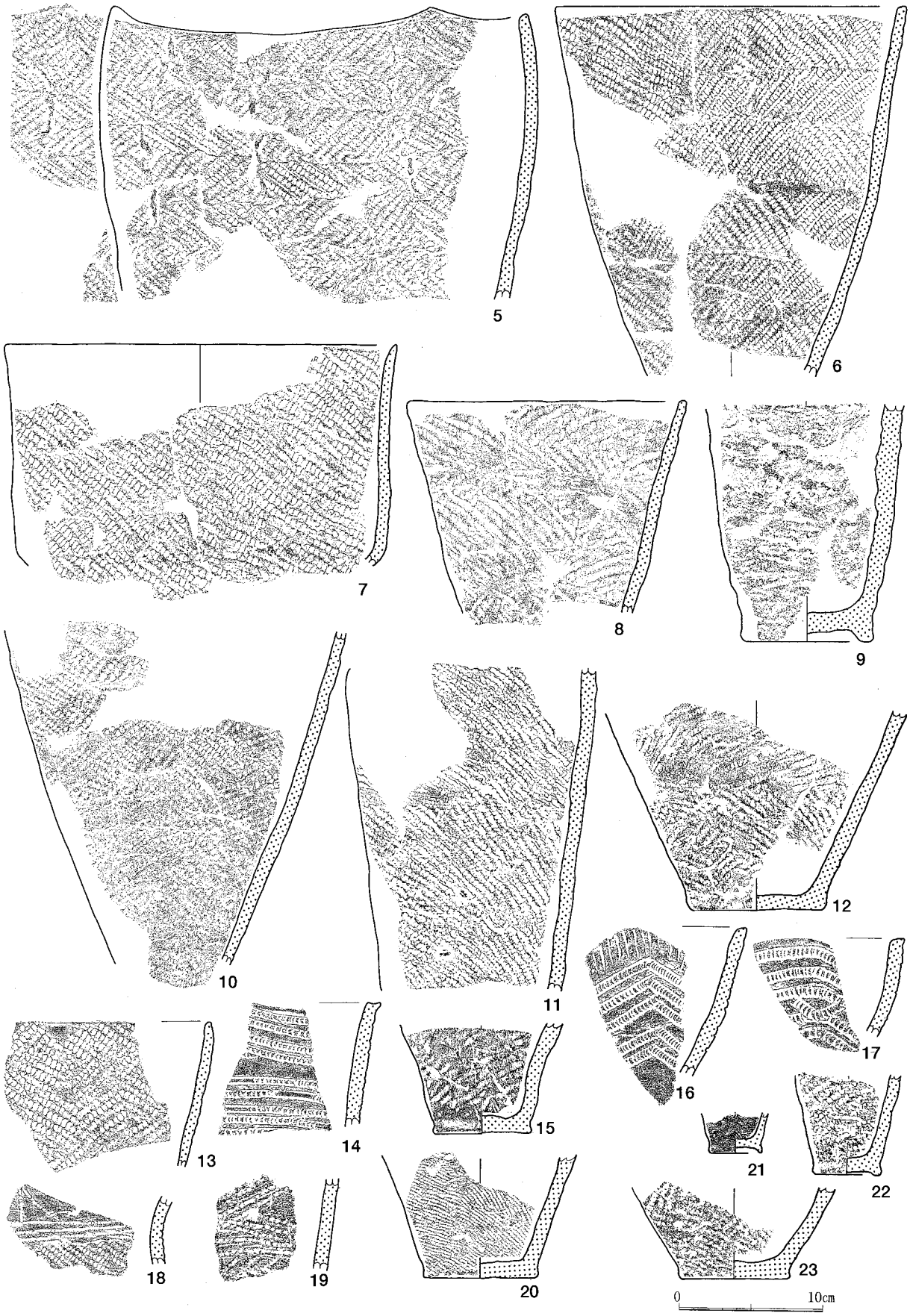
層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量				有	弱
2	暗褐色	極微量			まだらに少量入る	有	弱
3	暗褐色	極微量	極々微量	少量		有	弱
4	暗褐色		微量	少量		有	弱
5	暗褐色			まばら		有	弱
6	暗褐色	微量	極微量		まだらにまばら		
7	暗褐色	極微量			まだらに少量入る		
8	暗褐色	極々微量		微量	まだらにまばら		
9	暗褐色			まばら	まだらに微量		







第41図　11号住居跡・同住居跡出土遺物（1）



第42図　11号住居跡出土遺物（２）

表32　11号住居跡出土土器観察表

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
1	黒浜 有尾カ	深鉢	口縁～胴部	1/4	平行沈線　菱形構成　単節LR・RL羽状　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大型破片	無節L　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/3	単節LR　平行沈線　鋸歯状文　菱形構成　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁～胴下	大型破片	0段多条LR・単節RLで羽状構成　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	口縁～胴中	大型破片	単節LR・付加条第1種RLで羽状構成　繊維混入	
6	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/3	単節RL・付加条第1種LRで羽状構成　繊維混入	
7	黒浜	鉢カ	口縁～胴中	大型破片	単節RL　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁～胴中	大型破片	無節L・Rで羽状構成　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	胴部～底部	大型破片	無文　底部高台状　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	胴中～胴下	大型破片	単節RL・LRで羽状構成　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	胴中～胴下	大型破片	単節RL　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	胴部～底部	大型破片	単節RL・無節Lで羽状構成　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　方向転じ羽状構成　繊維混入	
14	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形構成　繊維混入	
15	黒浜	深鉢	胴中～胴下	破片	無節L　繊維混入	
16	有尾	深鉢	口縁	破片	口唇幅広の刻目　C爪形で菱形構成　繊維混入	
17	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形で菱形構成　繊維混入	
18	有尾	深鉢	胴部	破片	櫛歯刺突　単節RL　繊維混入	
19	有尾	深鉢	胴部	破片	櫛歯刺突　単節RL　繊維混入	
20	黒浜	深鉢	胴部～底部	大型破片	単節RL　繊維混入	
21	黒浜	ミニチュア	胴部～底部	大型破片	無文	
22	黒浜	ミニチュア	胴部～底部	大型破片	単節LR	
23	黒浜	深鉢	胴部～底部	大型破片	単節RL	

表33　11号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	錐	スクレイパー	磨石	凹石	軽石	原石										剥　片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安　山　岩							2	2													1	5
砂　　岩	2																				34	36
凝灰質砂岩	1			3	2															5	63	74
頁　　岩	2				1																23	26
チ　ャ　ー　ト				1		2															1	4
緑　色　岩		1																				1
黒　曜　石																					5	5
珪　質　頁　岩																					1	1
鉄　石　英			1																			1
片　　岩																					1	1
蛇　紋　岩		1																				1
軽　　石									5													5
赤　鉄　鉱										2												2
計	5	2	1	4	3	2	2	2	5	2										5	129	162

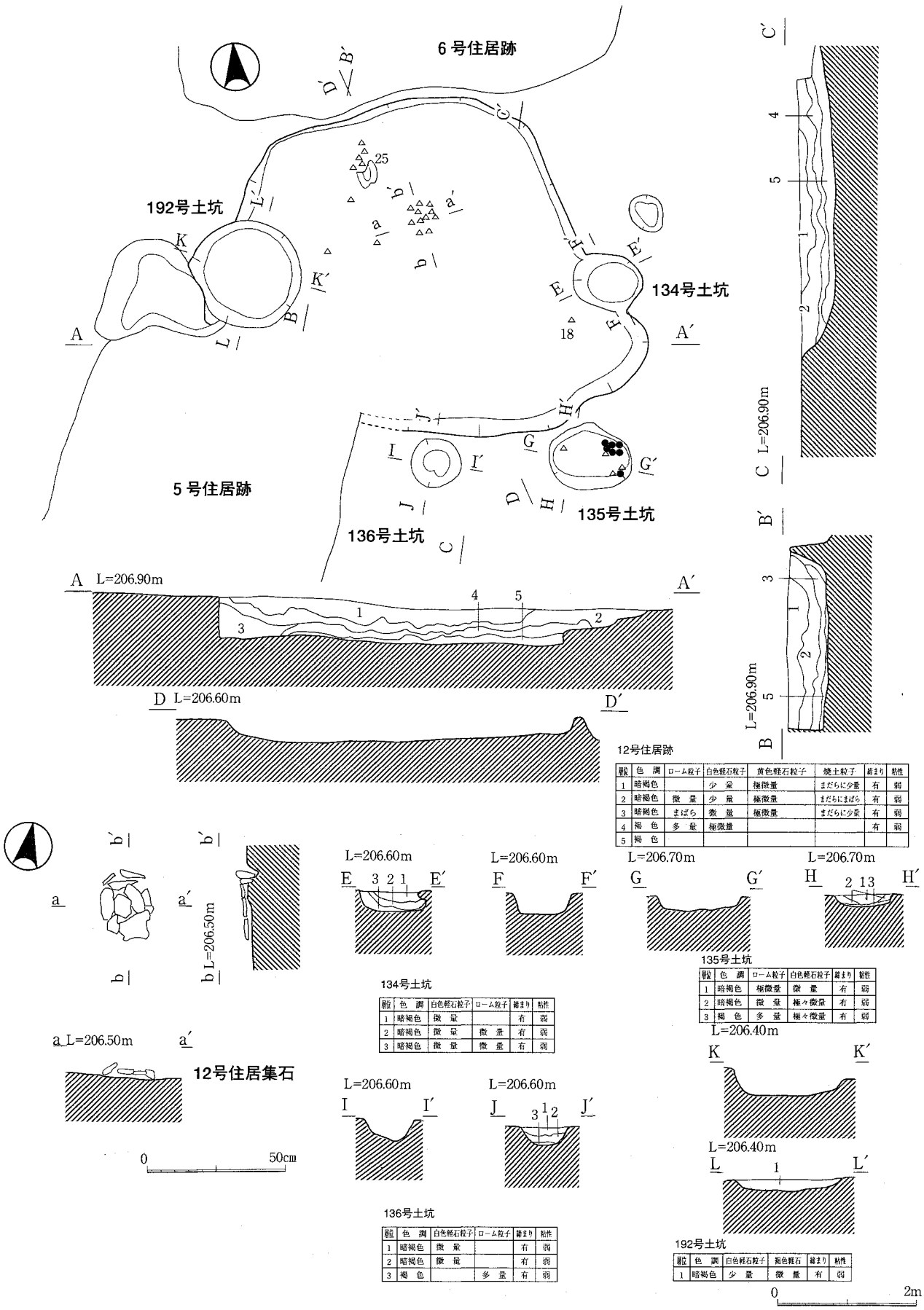
12号住居跡（第43・44図、図版17・67、表34・35）

本跡はD－5グリッドに於いて検出された。平面形状は不整形を呈する。規模は6.20×5.30mで、確認面下の掘り込みは50cmを測る。覆土は自然堆積で5層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴及び炉は確認されなかった。

5号住居跡、134・192号土坑と重複するがいずれも黒浜期の遺物が出土しており新旧関係は不明である。

遺物は覆土中より土器5.0kg、石器120点（5.2kg）が出土しており、土器12点、石器16点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表34の出土土器観察表にまとめ、石器は表35の石器組成表で示した。

本住居跡は有尾式土器を主体に出土するもので該期の所産と判断される。



層位	色調	ローム粒子	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	焼土粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		少量	極微量	まだらに少量	有	弱
2	暗褐色	微量	少量	極微量	まだらにまばら	有	弱
3	暗褐色	まばら	微量	極微量	まだらに少量	有	弱
4	褐色	多量	極微量			有	弱
5	褐色						

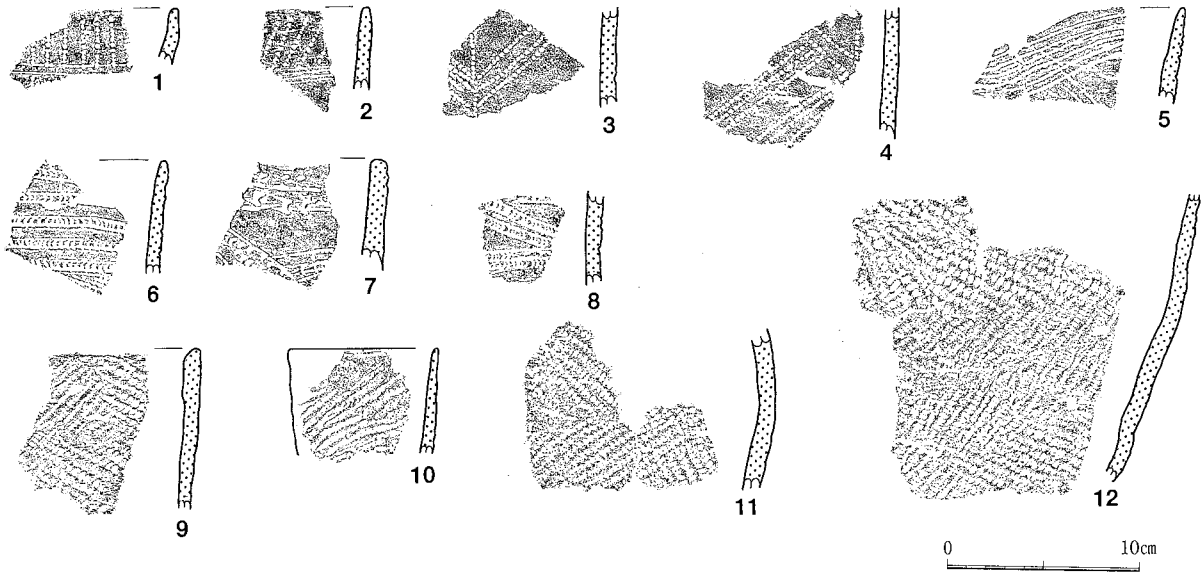
層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		有	弱
2	暗褐色	微量	微量	有	弱
3	暗褐色	微量	微量	有	弱

層位	色調	ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微量	有	弱
2	暗褐色	微量	極々微量	有	弱
3	褐色	多量	極々微量	有	弱

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		有	弱
2	暗褐色	微量		有	弱
3	褐色		多量	有	弱

層位	色調	白色軽石粒子	褐色軽石	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	微量	有	弱

第43図　12号住居跡・134～136・192号土坑



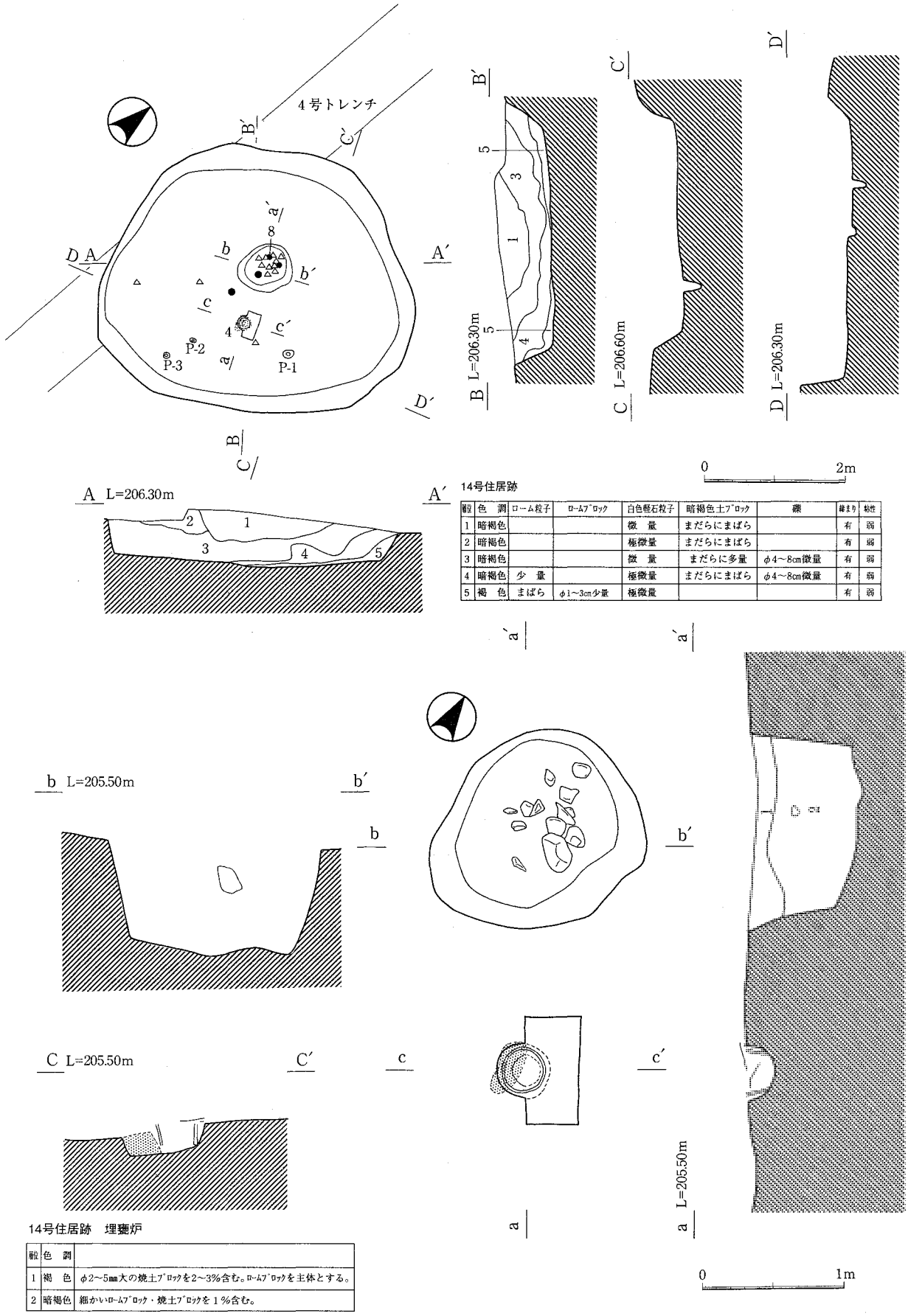
第44図　12号住居跡出土遺物

表34　12号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	有尾	深鉢	口縁	破片	櫛歯刺突　繊維混入	
2	有尾	深鉢	口縁	破片	櫛歯刺突　繊維混入	
3	有尾	深鉢	胴	破片	櫛歯刺突　肋骨文　繊維混入	
4	有尾	深鉢	胴	破片	櫛歯刺突　肋骨文　繊維混入	
5	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　平行沈線　繊維混入	
6	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
7	有尾	深鉢	口縁	破片	平行沈線　爪刺突　繊維混入	
8	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
9	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
10	黒浜	ミニチュア	口縁～胴	破片	無節L　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	胴	破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	胴下	大型破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	

表35　12号住居跡出土石器組成表

	打斧	石鏃	石匙	スタンプ	スクレイパー	ヘラ	楔	槍	磨石	凹石	石皿	軽石	ピエス	コア						剥片 使用アリ	剥片 使用ナシ	計
安山岩									3	1	1											5
黒色安山岩		1																			1	2
砂岩	1		1		1															4	14	21
凝灰質砂岩		1		2	4			1												1	24	33
頁岩			1		2	1	2													1	9	16
チャート																					8	8
黒曜石		3											2	2						4	20	31
珪質頁岩					1																2	3
軽石												1										1
計	1	5	2	2	8	1	2	1	3	1	1	1	2	2						10	78	120



14号住居跡

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	暗褐色土ブロック	礫	締まり	粘性
1	暗褐色			微量	まだらにまばら		有	弱
2	暗褐色			極微量	まだらにまばら		有	弱
3	暗褐色			微量	まだらに多量	φ4～8cm微量	有	弱
4	暗褐色	少量		極微量	まだらにまばら	φ4～8cm微量	有	弱
5	褐色	まばら	φ1～3cm少量	極微量			有	弱

14号住居跡　埋甕炉

層位	色調	
1	褐色	φ2～5mm大の焼土ブロックを2～3%含む。ロームブロックを主体とする。
2	暗褐色	細かいロームブロック・焼土ブロックを1%含む。

第45図　14号住居跡

14号住居跡（第45・46図、図版19・68・69、表36・37）

本跡は調査区東側のＦ－５グリッドに於いて検出された。平面形状は不整楕円形を呈する。規模は4.35×3.72ｍで、確認面下の掘り込みは74㎝を測る。覆土は自然堆積で５層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴が３本確認される。いずれも細い杭状のもので、その配置は南東壁側に集中している。炉は住居跡中央部に位置し、深鉢形土器の口縁と底部を切断したものを埋設した埋甕炉と、断面が鍋底状を呈する深い掘り形を持つ炉の２基が確認されている。いずれも覆土中に焼土の混入が認められる。

遺物総量は土器（9.7kg）、石器61点（0.8kg）であり、この内土器９点、石器９点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表36の出土土器観察表にまとめ、石器は表37の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は諸磯ｂ式期の所産と判断される。

第46図　14号住居跡出土遺物

表36　14号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特長	備考
1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/4	単節LR方向転じ羽状構成　繊維混入	
2	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線	
3	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線	
4	諸磯b	深鉢	胴下	1/4	浮線　単節RL	
5	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　平行沈線　波状口縁	
6	諸磯b	深鉢	胴上～下	1/3	平行沈線　単節RL	
7	諸磯b	深鉢	口縁	破片	単節LR　平行沈線	
8	諸磯b	深鉢	胴	破片	浮線	
9	諸磯b	深鉢	胴上	大型破片	平行沈線	

表37　14号住居跡出土石器組成表

	打斧	スクレイパー	石匙	磨石	凹石	コア													剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩				1	1	1														4	7
砂岩																				6	6
凝灰質砂岩	3	2																	8	19	32
頁岩																				7	7
チャート		1	1																	5	7
黒曜石																				1	1
石英片岩	1																				1
計	4	3	1	1	1	1													8	42	61

15号住居跡（第47・48図、図版20・69、表38・39）

本跡はF－5・6グリッドに於いて検出された。平面形状は円形であろうか遺存が悪く明瞭ではない。規模は南北軸側で4.5mを測るが東西軸側は確認できない。確認面下の掘り込みは最大で25cmを測る。覆土は自然堆積で4層に分層される。床面はやや起伏があり、東側に向かって傾斜している。柱穴は3本確認されている。その配置は南東側壁際に偏在している。炉は住居跡中央北壁よりに位置し、浅い皿状の掘り込みとなっている。覆土及び火床面には僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。

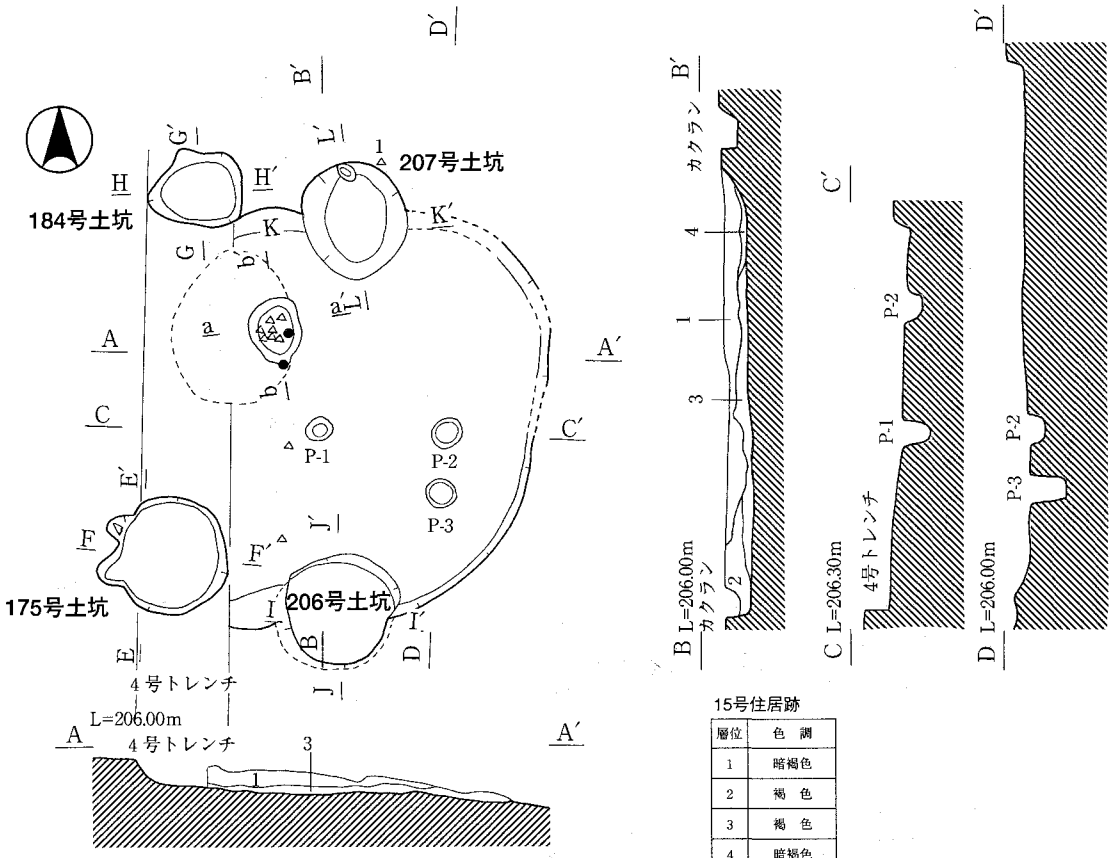
175・184・206・207号土坑と重複するが、いずれも黒浜期の遺物が出土しており新旧関係は不明である。

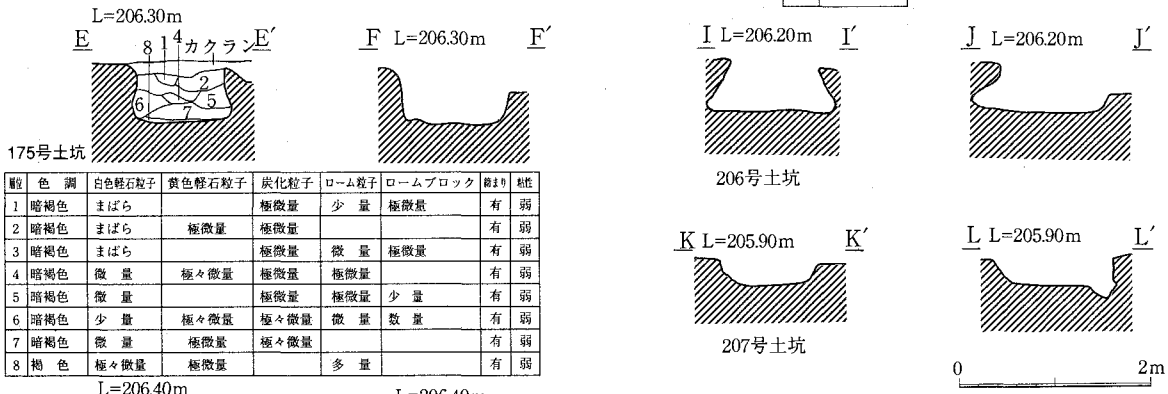
遺物は土器3.1kg、石器30点（0.4kg）が出土しており、掲載資料は土器7点のみである。尚遺物の観察結果は、土器は表38の出土土器観察表にまとめ、石器は表39の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表38　15号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特長	備考
1	諸磯a	深鉢	口縁～胴中	1/4	単節RL　繊維混入せず	
2	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　繊維混入	
3	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　平行沈線　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	口縁	破片	0段多条RL　繊維混入	
5	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
6	有尾	深鉢	口縁	破片	平行沈線　繊維混入	
7	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	





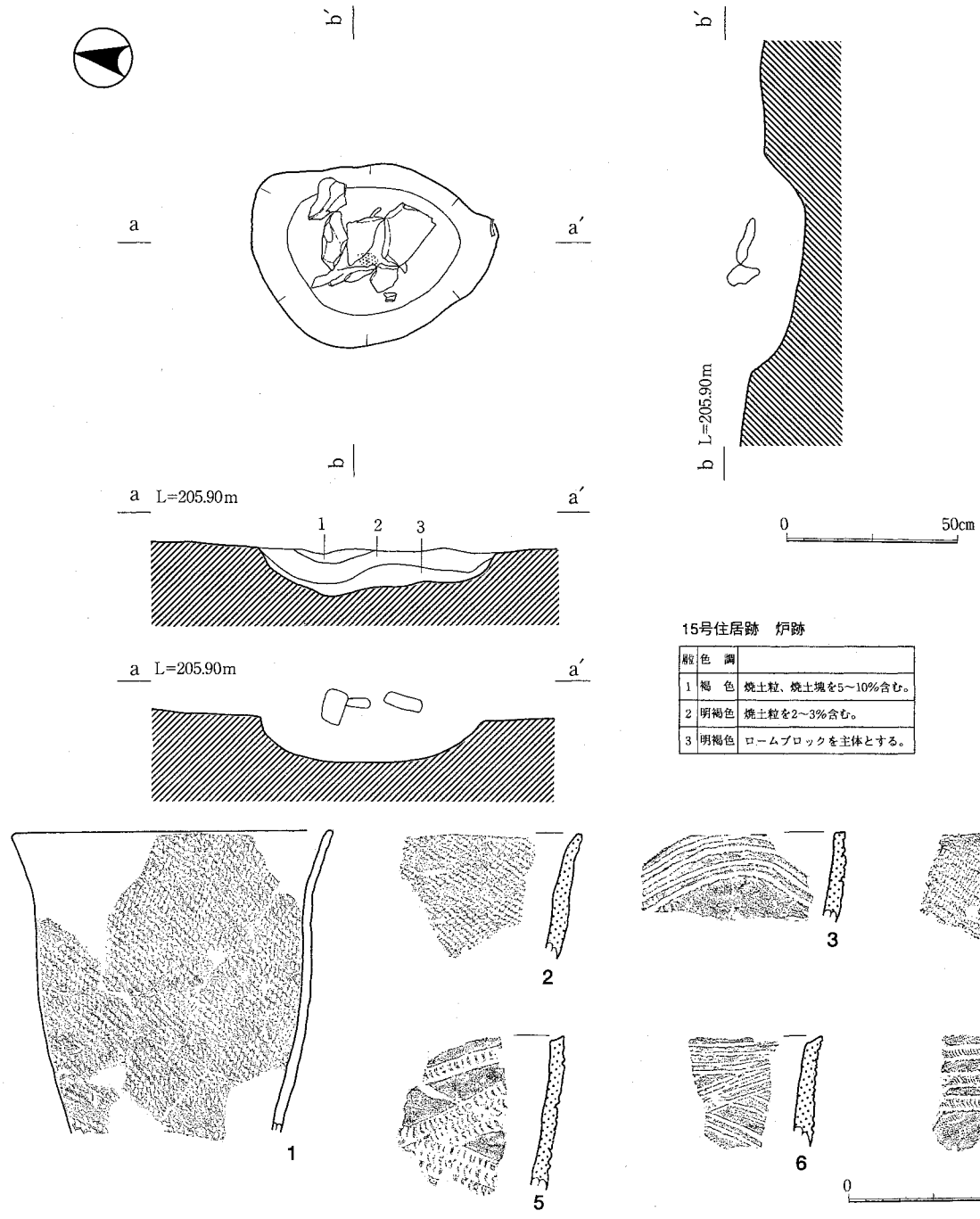
175号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		極微量	少量	極微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	極微量	極微量			有	弱
3	暗褐色	まばら		極微量	微量	極微量	有	弱
4	暗褐色	微量	極々微量	極微量	極微量		有	弱
5	暗褐色	微量		極微量	極微量	少量	有	弱
6	暗褐色	少量	極々微量	極々微量	微量	数量	有	弱
7	暗褐色	微量	極微量	極々微量			有	弱
8	褐色	極々微量	極微量		多量		有	弱

184号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	ローム粒、WPを2～3%
2	褐色	ローム粒、細かいロームを15~20%含む。やや締まり有り。
3	暗褐色	ロームブロックを2~3%含む。

第47図　15号住居跡・175・184・206・207号土坑

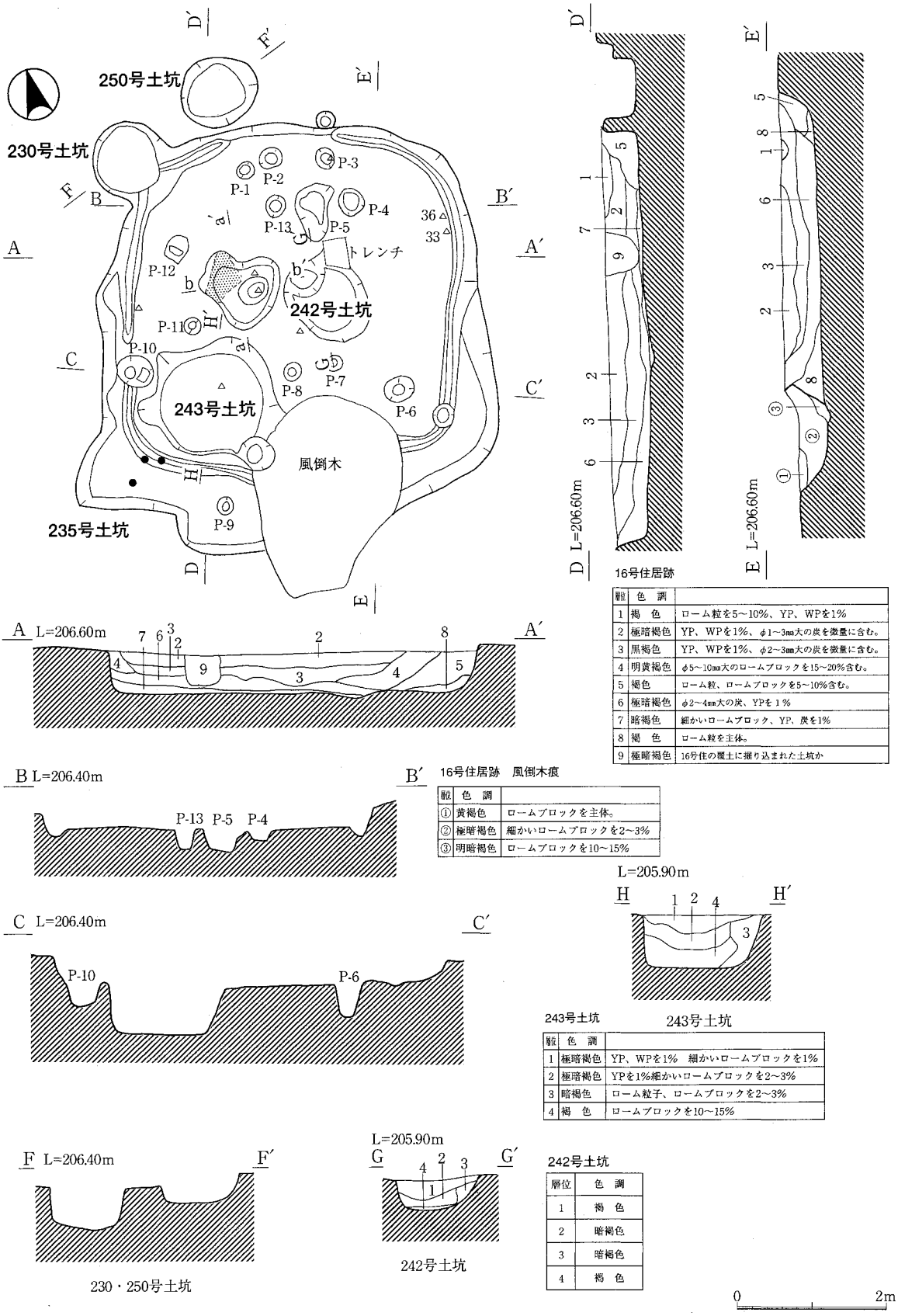


層位	色調	
1	褐色	焼土粒、焼土塊を5～10%含む。
2	明褐色	焼土粒を2～3%含む。
3	明褐色	ロームブロックを主体とする。

第48図　15号住居跡炉・同住居跡出土遺物

表39　15号住居跡出土石器組成表

																				剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩																					2	2
砂岩																				1	2	3
凝灰質砂岩																					16	16
頁岩																					5	5
チャート																					3	3
黒曜石																					1	1
計																				1	29	30



16号住居跡

層	色　調	
1	褐　色	ローム粒を5～10%、YP、WPを1%
2	極暗褐色	YP、WPを1%、φ1～3mm大の炭を微量に含む。
3	黒褐色	YP、WPを1%、φ2～3mm大の炭を微量に含む。
4	明黄褐色	φ5～10mm大のロームブロックを15～20%含む。
5	褐色	ローム粒、ロームブロックを5～10%含む。
6	極暗褐色	φ2～4mm大の炭、YPを１%
7	暗褐色	細かいロームブロック、YP、炭を1%
8	褐　色	ローム粒を主体。
9	極暗褐色	16号住の覆土に掘り込まれた土坑か

16号住居跡　風倒木痕

	色　調	
①	黄褐色	ロームブロックを主体。
②	極暗褐色	細かいロームブロックを2～3%
③	明暗褐色	ロームブロックを10～15%

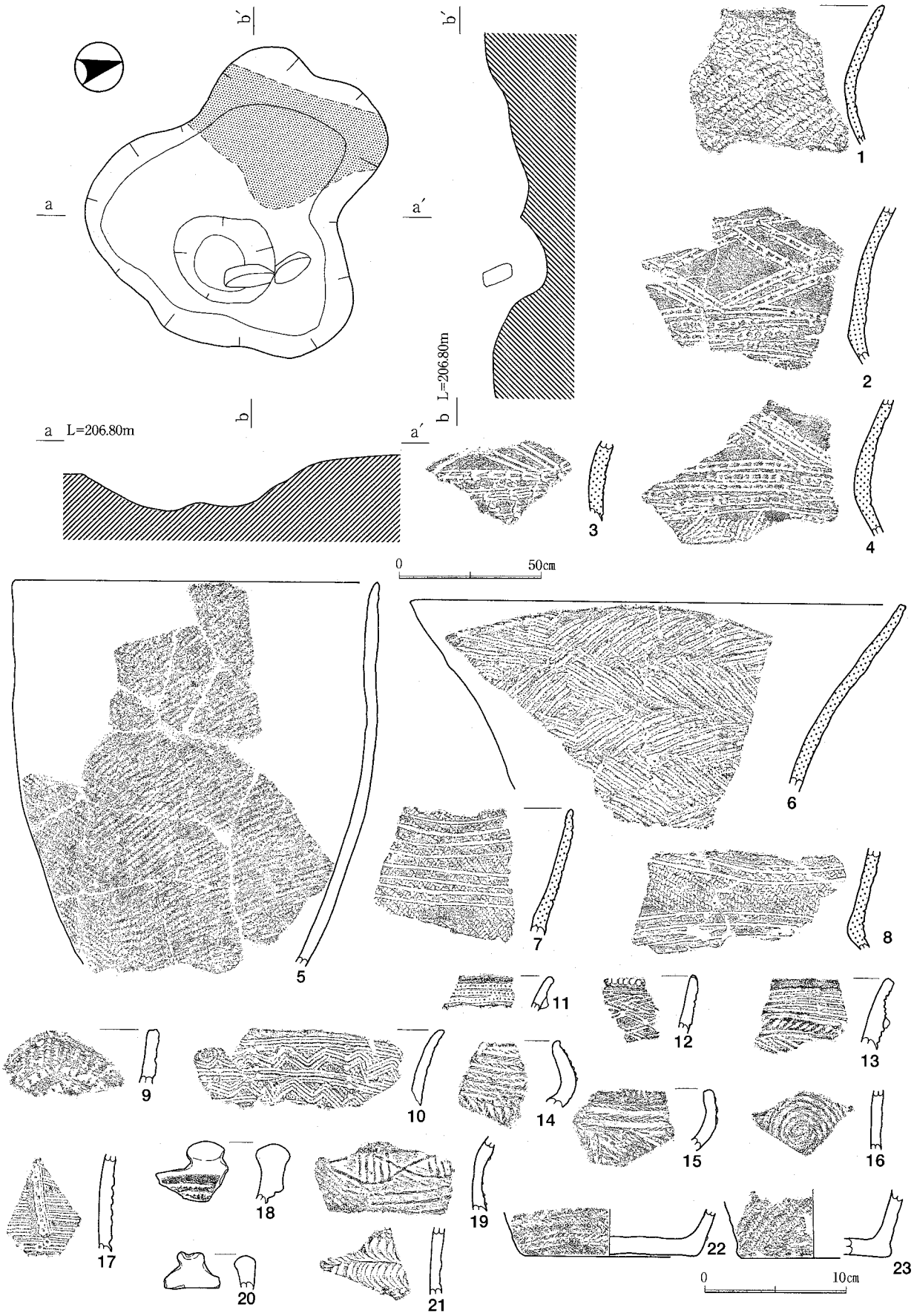
243号土坑

層	色　調	
1	極暗褐色	YP、WPを1%　細かいロームブロックを1%
2	極暗褐色	YPを1%細かいロームブロックを2～3%
3	暗褐色	ローム粒子、ロームブロックを2～3%
4	褐　色	ロームブロックを10～15%

242号土坑

層位	色　調
1	褐　色
2	暗褐色
3	暗褐色
4	褐　色

第49図　16号住居跡・230・235・242・243・250号土坑



第50図　16号住居跡炉・同住居跡出土遺物

16号住居跡（第49・50図、図版20・21・69・70、表40・41）

本跡はD－6グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の方形を呈する。規模は5.78×5.44mで、確認面下の掘り込みは60cmを測る。覆土は自然堆積で9層に分層される。床面はほぼ平坦で壁溝は北側の一部を除きほぼ全周する。柱穴は13本確認され、その配置は東側壁側では空白域となり、その他は全体に散在している。炉は住居跡中央東寄りに位置し、2基の土坑を連結するような形状を呈する。断面形は浅い皿状の掘り込みとなり北東側に火床部が偏在している。

230・235・242・243・250号土坑と重複するものであるが、いずれも黒浜期の遺物を出土しており、新旧関係は不明である。

遺物の総量は、土器45.7kg、石器494点（7.5kg）である。この内土器23点、石器22点について掲載してい

表40　16号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　繊維混入	
2	有尾	深鉢	胴部	大型破片	C爪形　平行沈線　菱形構成　繊維混入	
3	有尾	深鉢	胴部	大型破片	C爪形　平行沈線　菱形構成　繊維混入	
4	有尾	深鉢	胴部	大型破片	C爪形　平行沈線　菱形構成　繊維混入	
5	諸磯a	深鉢	口縁～胴部	大型破片	単節RL　繊維混入せず	
6	黒浜	深鉢	口縁	大型破片	正反合の縄による羽状構成　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　平行沈線　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節RL　平行沈線　繊維混入	
9	有尾	深鉢	口縁	破片	D爪形　櫛歯状の刺突列	
10	浮島Ⅰカ	深鉢	口縁	破片	円管刺突列　波状口縁　平行の条線	
11	浮島Ⅰカ	深鉢	口縁	細片	細かなC字の爪	
12	浮島Ⅰカ	深鉢	口縁	細片	口唇刻目　平行沈線　円管刺突	
13	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	細片	平行沈線	
14	諸磯b	深鉢	口縁	細片	浮線	
15	諸磯b	深鉢	口縁	細片	浮線	
16	諸磯b	深鉢	胴部	細片	浮線	
17	浮島Ⅰ	深鉢	胴部	細片	肋骨文　円管刺突　条線	
18	諸磯b	深鉢	把手	細片	C爪形	
19	諸磯b	深鉢	胴部	細片	浮線	
20	諸磯b	深鉢	把手	細片	無文	
21	北白川下層	深鉢	胴部	細片	連続する幅広のC爪形	
22	諸磯b	深鉢	底部	大型破片	浮線	
23	黒浜	深鉢	底部	破片	単節LR	

表41　16号住居跡出土石器組成表

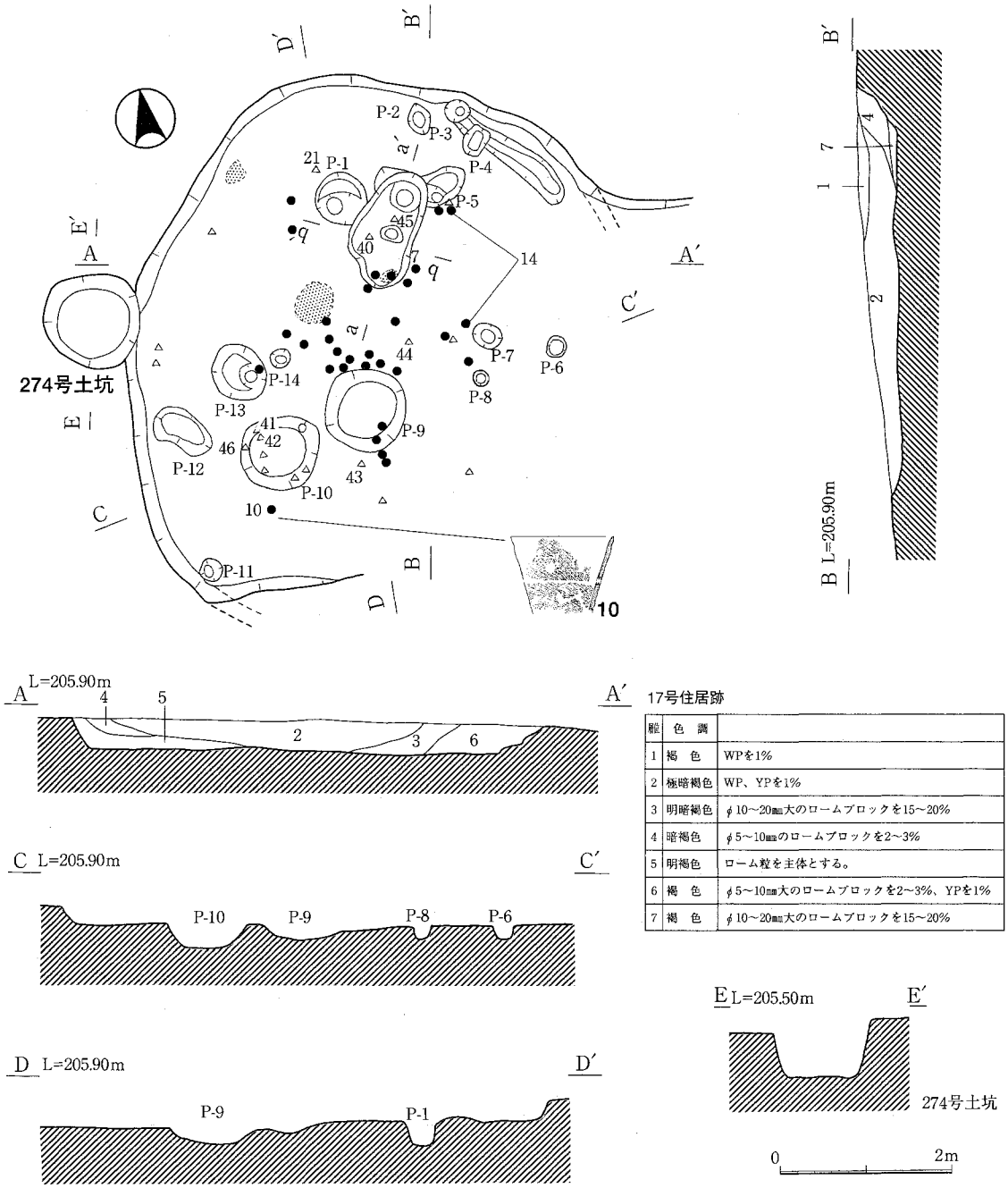
	打斧	磨斧	石鏃	錐	スクレイパー	磨石	凹石	石皿	軽石	叩石	コア									剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩						6	6	2		2											5	21
砂岩	6			1							1									7	93	108
凝灰質砂岩	4				2															9	148	163
頁岩	5				1															4	133	143
緑色岩		6																				6
チャート					3																15	18
黒曜石			1								5										11	17
軽石									13													13
不明			1																		4	5
計	15	6	2	1	6	6	6	2	13	2	6									20	409	494

る。尚遺物の観察結果は、土器は表40の出土土器観察表にまとめ、石器は表41の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は諸磯ｂ式期の所産の可能性があり、重複する黒浜・有尾期の土坑の遺物が混入したものと推測される。

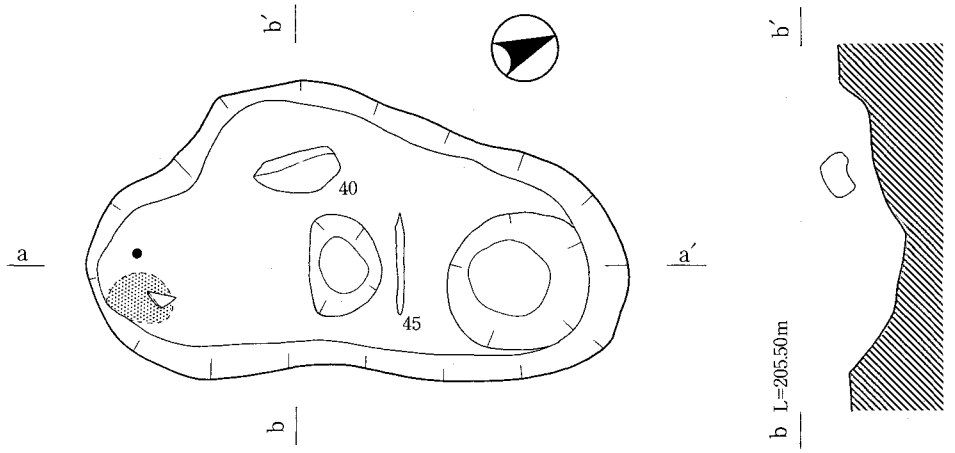
17号住居跡（第51～53図、図版20～22・70・71、表42・43）

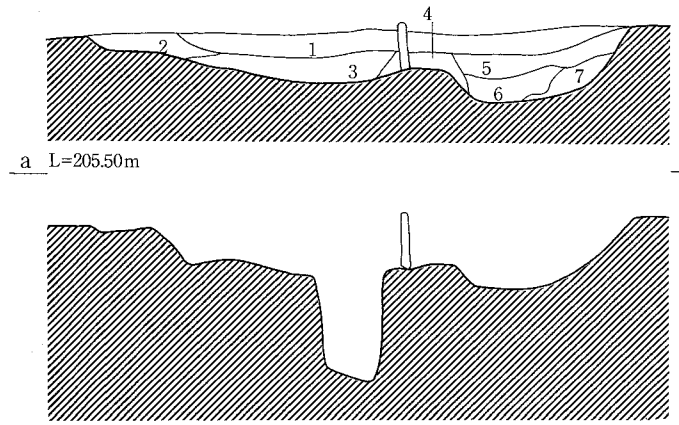
本跡はＤ・Ｅ－７・８グリッドに於いて検出された。平面形状は円形を呈するものと思われる。規模は遺存する部分で軸長6.85ｍを測る。確認面下の掘り込みは38cmを測る。覆土は自然堆積で７層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴は14本確認されている。その配置は住居の中央部で炉跡を取り囲むように配置され



層	色調	
1	褐色	WPを1%
2	極暗褐色	WP、YPを1%
3	明暗褐色	φ10～20㎜大のロームブロックを15～20%
4	暗褐色	φ5～10㎜のロームブロックを2～3%
5	明褐色	ローム粒を主体とする。
6	褐色	φ5～10㎜大のロームブロックを2～3%、YPを1%
7	褐色	φ10～20㎜大のロームブロックを15～20%

第51図　17号住居跡・274号土坑

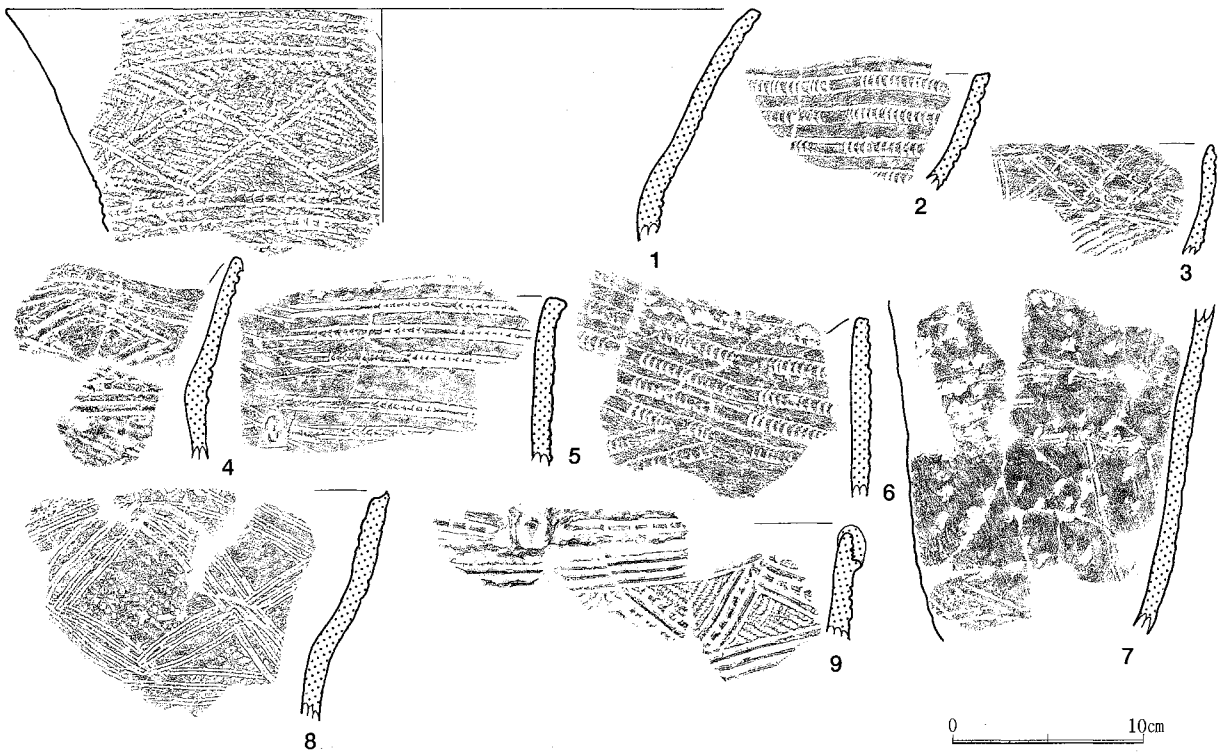




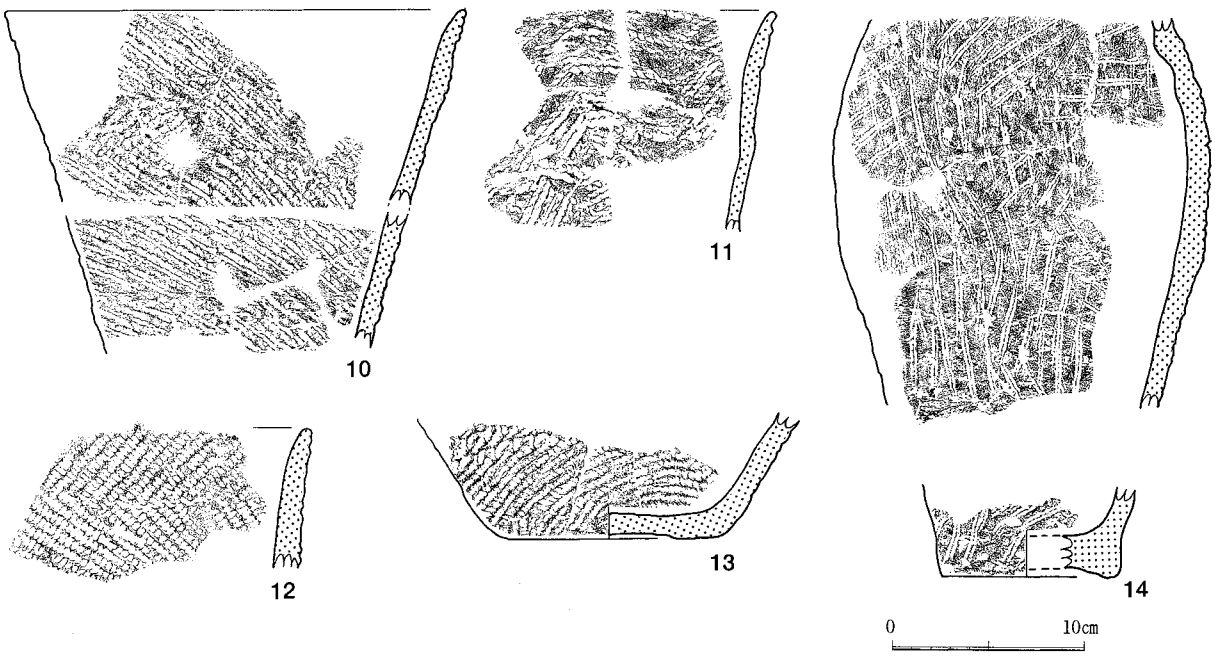
17号住居跡　炉跡

層	色　調	
1	暗褐色	焼土粒、φ5㎜大の焼土ブロックを2～3%
2	暗褐色	焼土粒、炭化粒を2～3%
3	褐　色	焼土粒、1%、ローム粒を10～15%
4	褐　色	ロームブロックを主体。
5	暗褐色	φ5～10㎜大のロームブロックを2～3%。
6	褐　色	ロームブロックを5～10%
7	明褐色	ロームブロックを主体。

0　50cm



第52図　17号住居跡炉・同住居跡出土遺物（1）



第53図　17号住居跡出土遺物（２）

る。炉は住居跡中央北よりに位置し、長楕円形の浅い皿状の掘り込みとなっている。火床面には南側に僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。その他北西側壁付近に２ヵ所の焼土の分布が確認されているがいずれにも掘り込みは認められない。

274号土坑と重複しいずれも黒浜期で新旧関係は不明である。

遺物は覆土中よりまとまって出土し、総量は土器26.2kg、石器416点（17.5kg）である。この内土器14点、石器44点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表42の出土土器観察表にまとめ、石器は表43の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表42　17号住居跡出土土器観察表

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　　考
1	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	まばらなC爪　平行沈線　斜格子文　単節RL　繊維混入	
2	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　C爪　繊維混入	
3	有尾	深鉢	口縁	破片	斜格子文　平行沈線　無節L　繊維混入	
4	有尾	深鉢	口縁	破片	平行沈線　菱形構成　無節Rカ　繊維混入	
5	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪　菱形構成　繊維混入	
6	有尾	深鉢	口縁	大形破片	C爪　菱形構成　波状口縁　繊維混入	
7	不明	深鉢	胴部	大形破片	刺突連続　平行沈線　繊維混入	
8	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	C爪　隆帯　半截竹管	
9	関山	深鉢	口縁	大形破片	C爪　隆帯　半截竹管	
10	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	付加条第１種　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	口縁	破片	撚糸　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRで羽状構成　繊維混入	
13	黒浜	深鉢	底	破片	LRループ	
14	黒浜	深鉢	底	破片	L　撚糸	

表43　17号住居跡出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	スクレイパー	コア	磨石	凹石	石皿	軽石	砥石	叩石	石匙								剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩						3	4	1													3	11
砂岩	2				1					1										20	97	121
凝灰質砂岩	6		5		2							5								18	146	182
頁岩	4																			14	31	49
緑色岩		4																				4
チャート			1																		20	21
黒曜石			2	1																	9	12
軽石									13													13
蛇紋岩		1																				1
不明											2											2
計	12	5	8	1	3	3	4	1	13	1	2	5								52	306	416

18号住居跡（第54図、図版22・23・71・72、表44・45）

本跡はＥ－７グリッドに於いて検出された。平面形状は東西方向に長い隅丸の長方形を呈する。規模は3.6×3.2mでやや小振りである。確認面下の掘り込みは20cmを測る。覆土は自然堆積で７層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴は７本確認されるがＰ－１・７は土坑状である。その配置には規則性は認められず散在する。炉は検出されていない。

遺物は土器2.8kg、石器48点（4.8kg）が出土しており、この内土器５点、石器７点について掲載した。尚遺物の観察結果は、土器は表44の出土土器観察表にまとめ、石器は表45の石器組成表で示した。

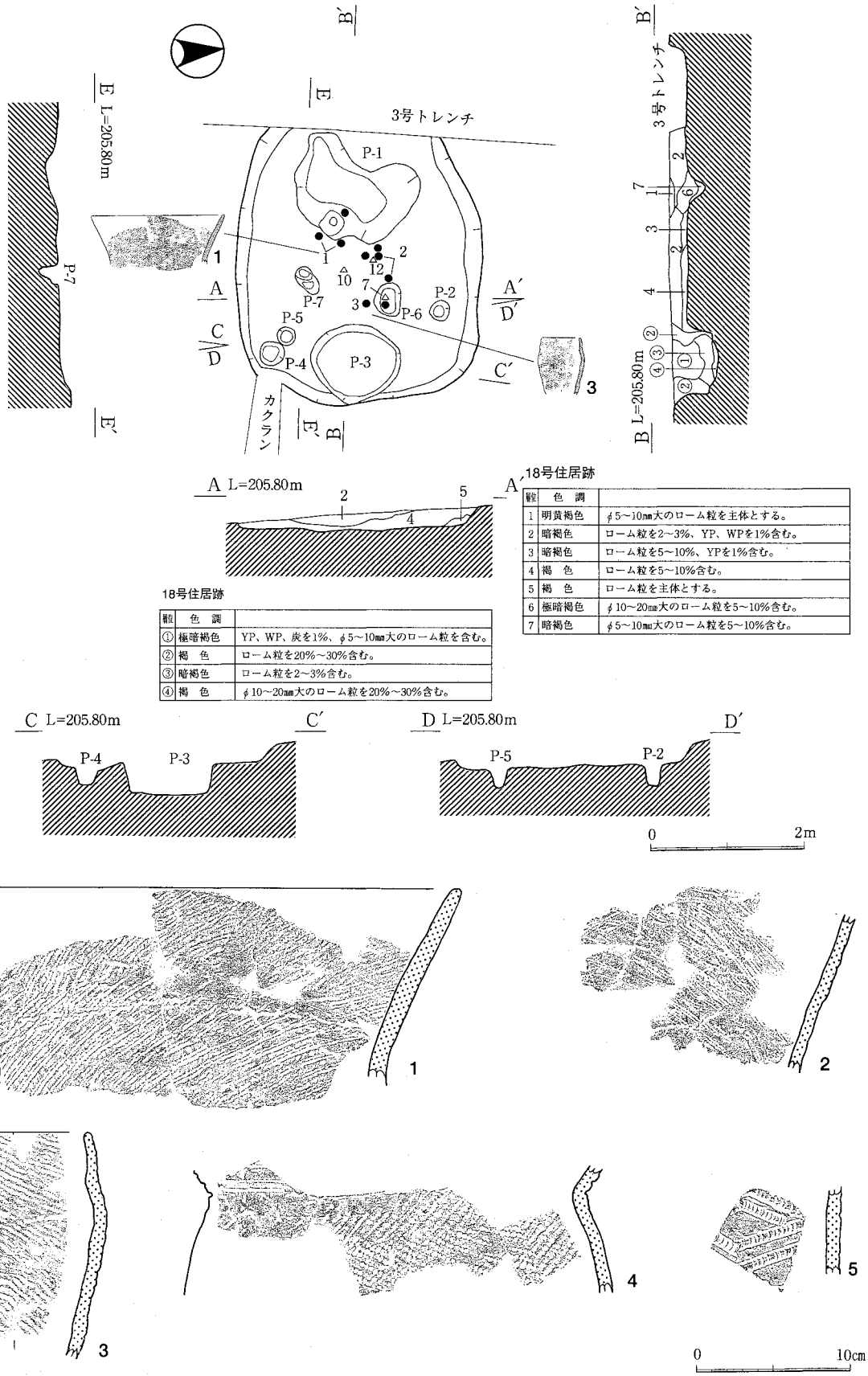
出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表44　18号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	付加条第１種カ　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	撚糸　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁～胴部	底欠損	無節Ｒ　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	胴部	大型破片	平行沈線　単節RL　付加条第１種　繊維混入	
5	有尾	深鉢	胴部	細片	Ｃ爪形　菱形構成	

表45　18号住居跡出土石器組成表

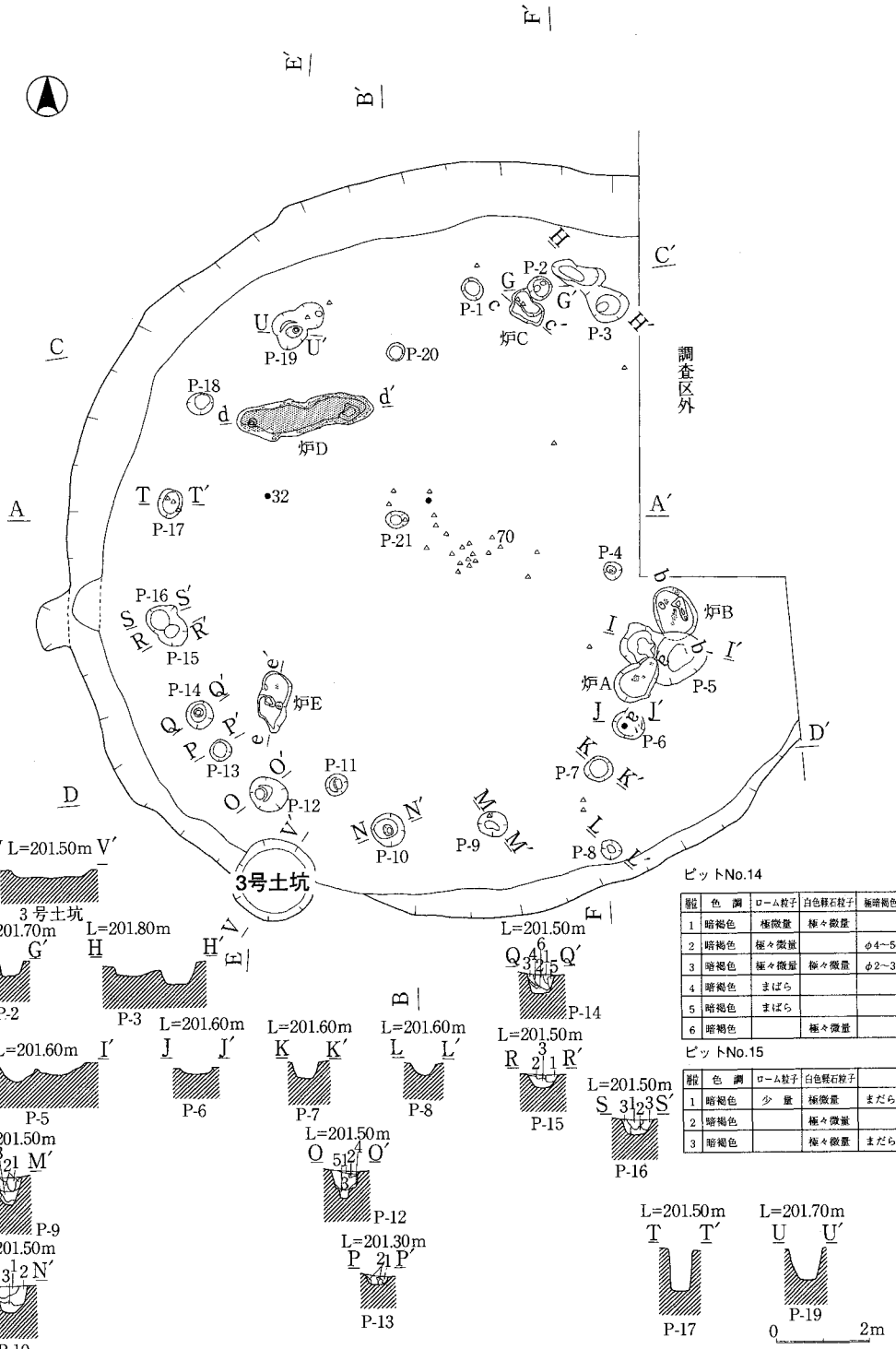
	打斧	スクレイパー	凹石	軽石	多孔石															剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩			1		1															2		4
砂岩		1																			10	11
凝灰質砂岩	2																				15	17
頁岩																				1	2	3
チャート																					4	4
黒曜石																					6	6
緑色岩																					1	1
軽石				2																		2
計	2	1	1	2	1															3	38	48



18号住居跡		
層	色調	
1	明黄褐色	φ5～10㎜大のローム粒を主体とする。
2	暗褐色	ローム粒を2～3%、YP、WPを1%含む。
3	暗褐色	ローム粒を5～10%、YPを1%含む。
4	褐　色	ローム粒を5～10%含む。
5	褐　色	ローム粒を主体とする。
6	極暗褐色	φ10～20㎜大のローム粒を5～10%含む。
7	暗褐色	φ5～10㎜大のローム粒を5～10%含む。

18号住居跡		
層	色調	
①	極暗褐色	YP、WP、炭を1%、φ5～10㎜大のローム粒を含む。
②	褐　色	ローム粒を20%～30%含む。
③	暗褐色	ローム粒を2～3%含む。
④	褐　色	φ10～20㎜大のローム粒を20%～30%含む。

第54図　18号住居跡・同住居跡出土遺物



ピットNo.14

層位	色　調	ローム粒子	白色軽石粒子	褐暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	極々微量			有	弱
2	暗褐色	極々微量		φ4～5cm少量		弱	弱
3	暗褐色	極々微量	極々微量	φ2～3cm微量		有	弱
4	暗褐色	まばら				有	弱
5	暗褐色	まばら			少　量	有	弱
6	暗褐色		極々微量			有	弱

ピットNo.15

層位	色　調	ローム粒子	白色軽石粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極微量	まだら状にまばらに入る。	有	弱
2	暗褐色		極々微量		有	弱
3	暗褐色		極々微量	まだら状に少量入る。	有	弱

ピットNo. 9

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	炭化粒子
1	暗褐色	極微量	微　量	極々微量	
2	暗褐色	極微量	まばら	少　量	
3	暗褐色	極々微量	微　量		
4	暗褐色		極微量	極々微量	

ピットNo.10

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土	炭化材	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微　量	まだら状にまばらに入る。		有	弱
2	暗褐色	極々微量		まだら状にまばらに入る。		有	弱
3	褐　色			まだら状に少量入る。	φ0.5～1cm微量	有	弱

ピットNo.12

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量			有	弱
2	暗褐色	極々微量			有	弱
3	暗褐色	微　量	極微量		有	弱
4	暗褐色	極微量		極微量	有	弱
5	暗褐色	極々微量			有	弱

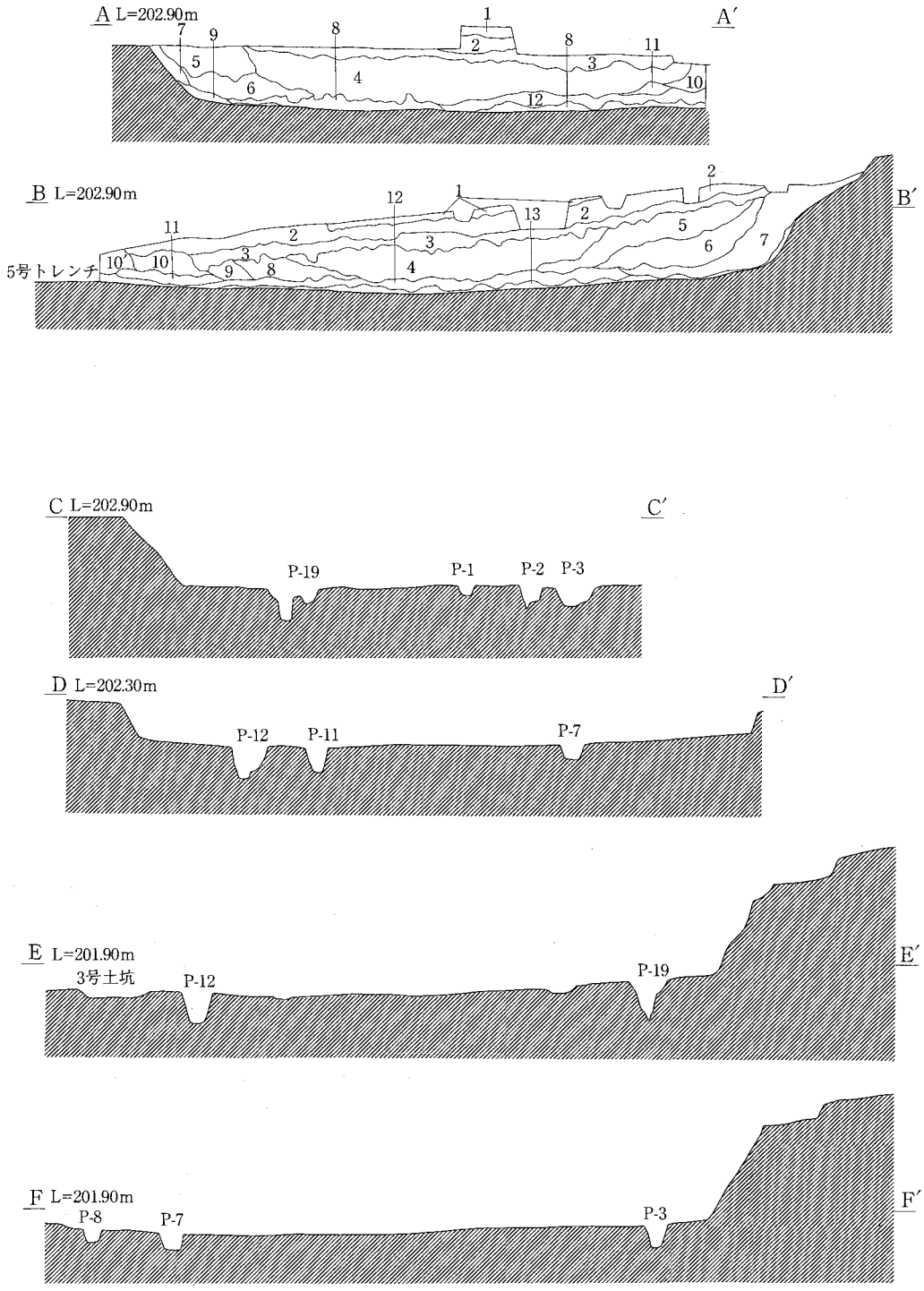
ピット13

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量		有	弱
2	暗褐色	極微量	微　量	有	弱

ピットNo.16

層位	色　調	ローム粒子	焼土粒子	炭化粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	極々微量		極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量		極々微量	極微量	有	弱
3	暗褐色	微　量			極々微量		弱

第55図　19号住居跡・3号土坑



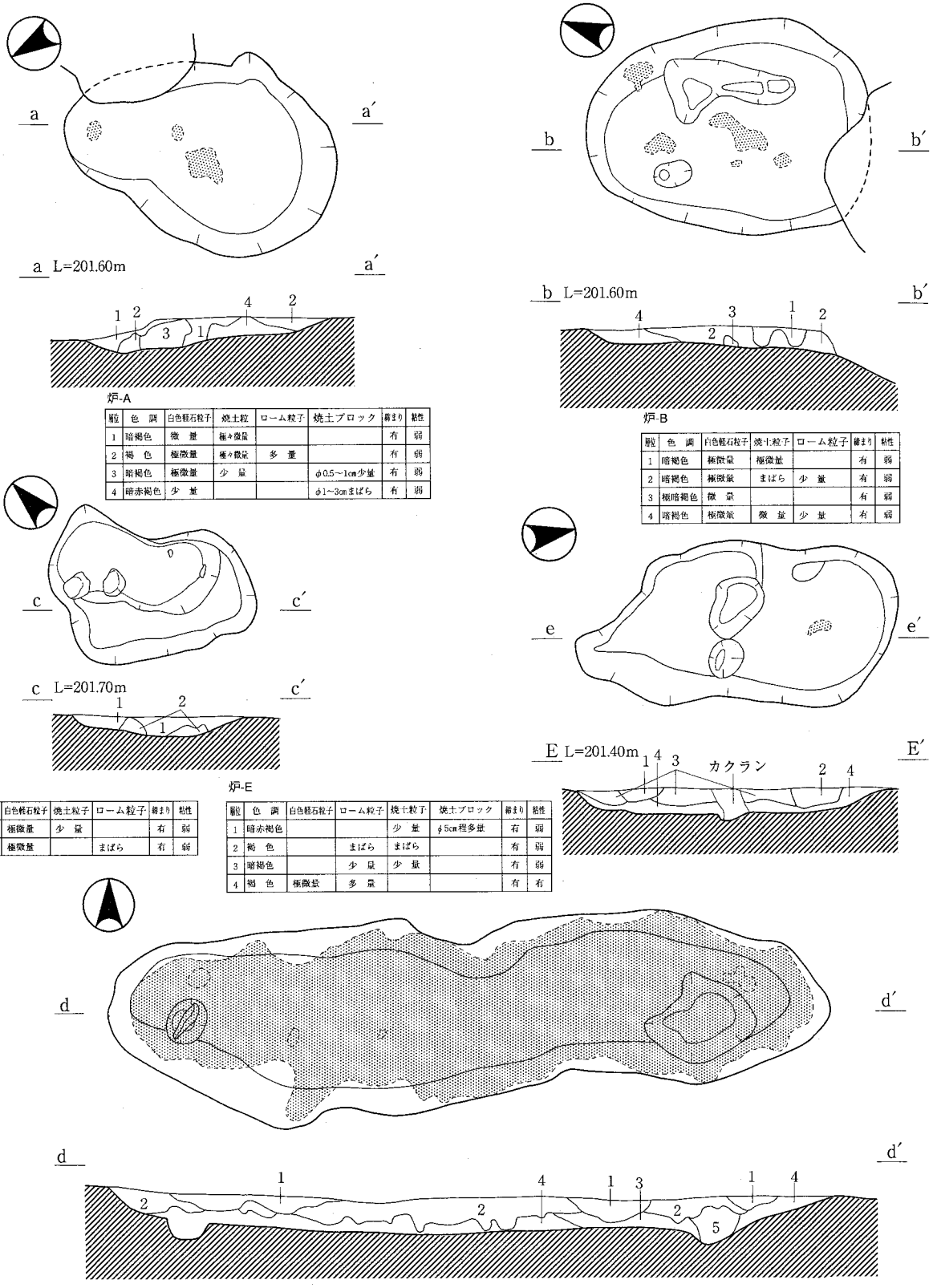
19号住居跡　東西セクション

層位	色調		炭化粒子	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	黄褐色軽石	礫又はローム	締まり	粘性
1									
2									
3	極暗褐色	暗褐色土まだらにまばら入る。		極微量			礫φ2～5cm極微量	有	弱
4	黒褐色	暗褐色土まだらにまばら入る。		微　量	極々微量	φ0.3cm極微量	礫φ2～20cm微量	有	弱
5	暗褐色	褐色土まだらにまばら入る。		極微量	極々微量		礫φ8cm1点	有	弱
6	暗褐色	褐色土まだらに少量入る。	極々微量	極微量	極々微量		礫φ5～10cm極微量	有	弱
7	褐色			極々微量			ローム粒多量	有	弱
8	暗褐色			極々微量			ローム粒多量φ3～5cm少量	有	弱
9	暗褐色			極々微量				有	弱
10	暗褐色	暗褐色土まだらに少量入る。	極微量	微　量	極々微量			有	弱
11	暗褐色	暗褐色土まだらに少量入る。	極微量	極微量				有	弱
12	暗褐色		極微量	極微量	極々微量		白軽石φ0.3cm極々微量	有	弱

19号住居跡　南北セクション

層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	明褐色土ブロック	白色軽白	締まり	粘性
1	黒褐色		少　量		φ0.5cm程、少量	有	弱
2	極暗褐色	極微量	微　量		φ0.5cm極微量	有	弱
3						有	弱
4						有	弱
5	極暗褐色		少量（1より多い）	φ3～10cmまばら	φ0.5～2cm、極微量	有	弱
6	暗褐色			φ1～8cmまばら	φ0.5～2cm、微量	有	弱
7	暗褐色	極々微量	微　量	φ1～10cmまばら		有	弱
8	極暗褐色	極々微量	極微量			有	弱
9	極暗褐色	極々微量	極微量	まだら状に少量入る		有	弱
10	暗褐色	極々微量	極微量	まだら状に多量入る		有	弱
11	暗褐色		極微量	φ2～5cmまばら		有	弱
12	暗褐色	微　量	微　量	ロームを含むもの、まだらにまばら	φ0.5～1cm、少量	有	弱
13	暗褐色	極微量	極微量	ロームを含むもの、まばらに多量	φ0.5～1cm、極微量	有	弱

第56図　19号住居跡断面図



炉-A

層	色調	白色軽石粒子	焼土粒	ローム粒子	焼土ブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	極々微量			有	弱
2	褐色	極微量	極々微量	多量		有	弱
3	暗褐色	極微量	少量		φ0.5～1cm少量	有	弱
4	暗赤褐色	少量			φ1～3cmまばら	有	弱

炉-B

層	色調	白色軽石粒子	焼土粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	極微量		有	弱
2	暗褐色	極微量	まばら	少量	有	弱
3	極暗褐色	微量			有	弱
4	暗褐色	極微量	微量	少量	有	弱

炉-C

層	色調	白色軽石粒子	焼土粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	少量		有	弱
2	暗褐色	極微量		まばら	有	弱

炉-E

層	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	焼土粒子	焼土ブロック	締まり	粘性
1	暗赤褐色			少量	φ5cm程多量	有	弱
2	褐色		まばら	まばら		有	弱
3	暗褐色		少量	少量		有	弱
4	褐色	極微量	多量			有	有

炉-D

層	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	焼土粒子	焼土ブロック	締まり	粘性
1	暗赤褐色	極々微量	少量	まばら	φ1～3cmまばら	有	弱
2	暗褐色	極微量	まばら	少量		有	弱
3	褐色	微量	多量	少量		有	弱
4	褐色	微量	密	極微量		有	弱

第57図　19号住居跡炉

19号住居跡（第55～59図、図版23・24・72～74、表46～48）

本跡はF・G－9・10グリッドに於いて検出された。北東側の一部が調査区域外になるが、平面形状は円形を呈するものと思われる。規模は13.5×12.35mで本遺跡最大の規模となる。確認面下の掘り込みは最大で170cmを測る。覆土は自然堆積で13層に分層される。床面はほぼ平坦で、柱穴は21本確認される。その配置は壁際に沿ってほぼ等間隔に配置される。炉はA～E炉の5基が確認されている。いずれも住居の壁よりに配置され、長い楕円形を呈する。断面の形状は浅い皿状の掘り込みとなっており、D炉を除き火床面には僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。D炉では全面に焼土が分布し、火床も明瞭な被熱が確認される。

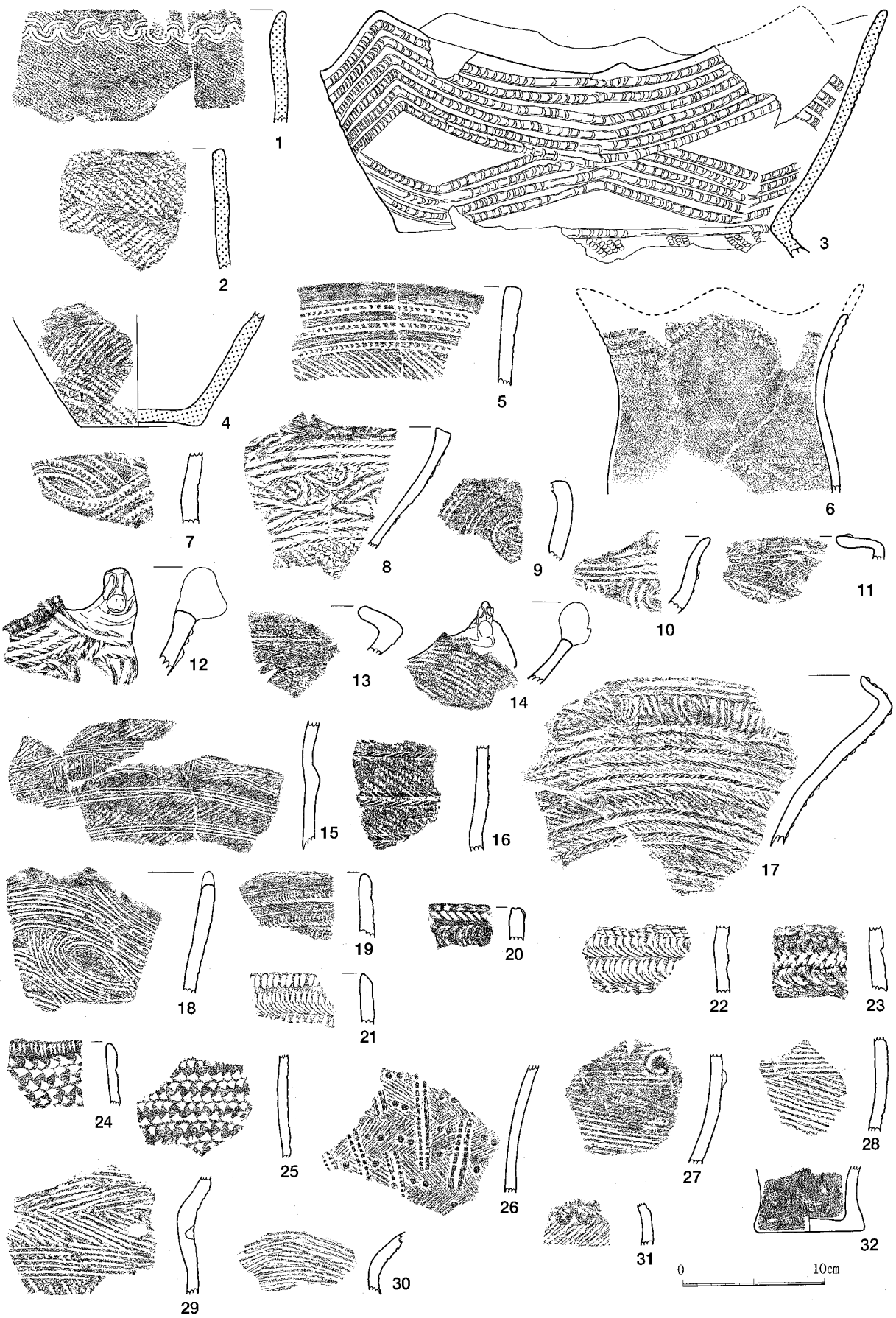
3号土坑と重複関係にあり、いずれからも諸磯b式土器が出土しており新旧関係は不明である。

遺物は覆土中より大量に出土し、総量は土器68.2kg、石器84点（5.6kg）である。この内土器45点、石器31点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表46・47の出土土器観察表（1）・（2）にまとめ、石器は表48の石器組成表で示した。

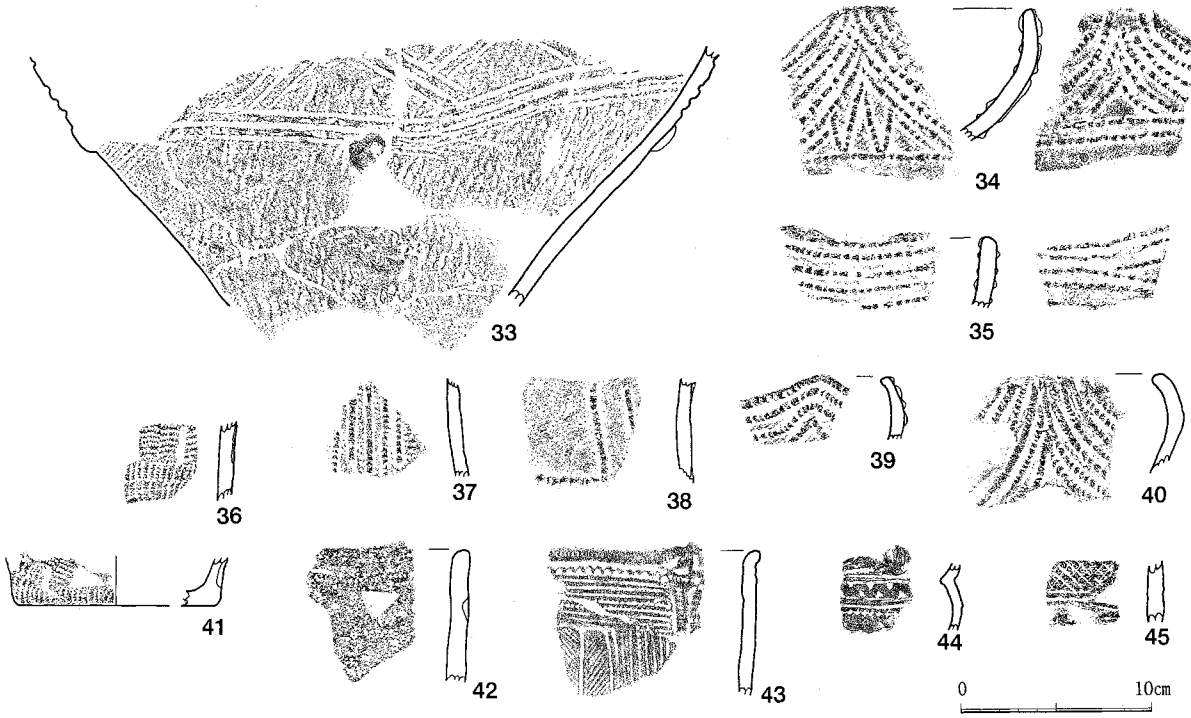
出土遺物より本住居跡は前期末葉から中期初頭までの遺物が混在している。時期不明。

表46　19号住居跡出土土器観察表(1)

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	関山	深鉢	口縁	破片	クランク　付加条第2種　繊維混入	
2	黒浜	深鉢	口縁	破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
3	有尾	深鉢	口縁	口全周	大形菱形構成　C爪形　単節RL　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	底部	大形破片	単節LR・RLで羽状構成　繊維混入	
5	諸磯a	深鉢	口縁	破片	肋骨文　C爪形	
6	諸磯a	深鉢	口縁～胴	大形破片	C爪形　単節RLの細縄文　木ノ葉状入組文	
7	諸磯b	深鉢	胴	破片	C爪形	
8	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線文	
9	諸磯b	深鉢	口直下	破片	浮線文	
10	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線文	
11	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線文	
12	諸磯b	深鉢	把手	破片	獣面把手　浮線文	
13	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線文	
14	諸磯b	深鉢	把手	破片	獣面把手　単節RL	
15	諸磯b	深鉢	胴上	破片	平行沈線　無節L	
16	諸磯b	深鉢	胴	破片	浮線文　単節RL	
17	諸磯b	深鉢	口縁	大形破片	浮線文	
18	諸磯bカ	浅鉢カ	口縁	破片	集合沈線　渦巻	
19	浮島カ	深鉢	口縁	破片	変形爪	
20	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪　C	
21	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪　C	
22	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	変形爪　C	
23	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	変形爪　C	
24	浮島Ⅲ	深鉢	口縁	破片	三角連続文	
25	浮島Ⅲ	深鉢	胴部	破片	三角連続文	
26	諸磯c	深鉢	胴部	破片	結節浮線　円形貼付　集合沈線	
27	諸磯c	深鉢	胴部	破片	集合沈線　円形貼付	
28	諸磯c	深鉢	胴部	破片	集合沈線	
29	諸磯c	深鉢	胴部	破片	集合沈線	
30	諸磯c	深鉢	胴部	破片	集合沈線	



第58図　19号住居跡出土遺物（1）



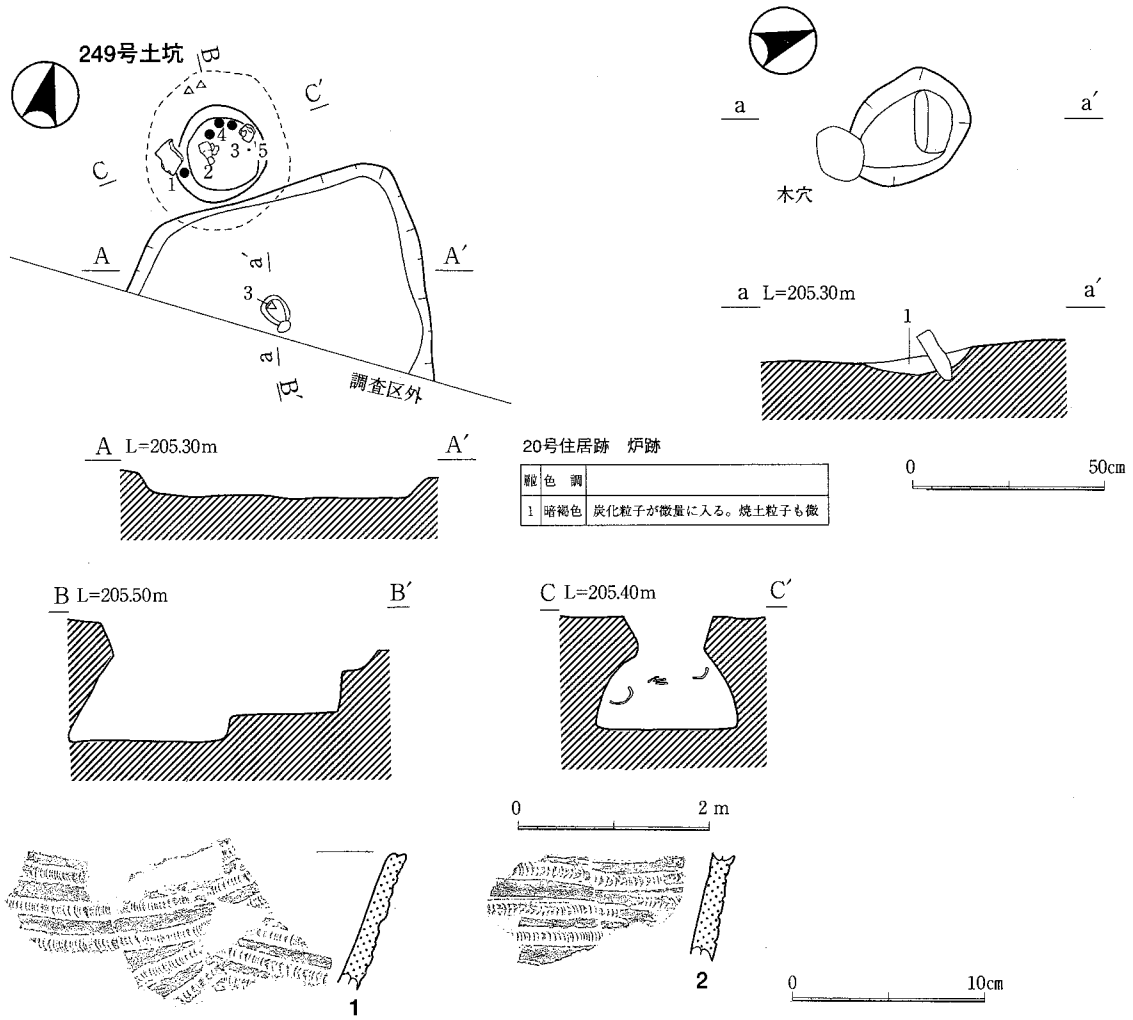
第59図　19号住居跡出土遺物（２）

表47　19号住居跡出土土器観察表（２）

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
31	諸磯ｃ	深鉢	胴部	細片	集合沈線　鋸歯状貼付文	
32	諸磯ｃ	深鉢	底部	破片	無文	
33	不明	深鉢	胴下	大形破片	平行沈線格子　円形貼付　地文撚糸	
34	十三菩提	浅鉢カ	口縁	破片	内外共に結節浮線文	
35	十三菩提	浅鉢カ	口直下	破片	内外共に結節浮線文　34と同一カ	
36	十三菩提	深鉢	胴下	破片	三角印刻文　楕歯状刺突	
37	十三菩提	深鉢	口縁	破片	結節浮線文	
38	十三菩提	深鉢	胴部	破片	結節浮線文　無節Ｌカ	
39	十三菩提	深鉢	口縁	細片	結節浮線文	
40	十三菩提	深鉢	胴部	破片	結節浮線文	
41	十三菩提	深鉢	底部	破片	三角印刻文　楕歯状刺突　36と同一カ	
42	十三菩提	深鉢	口縁	破片	三角印刻文　楕歯状刺突	
43	五領ケ台	深鉢	口縁	破片	小突起　沈線　クランク　充填縄文Ｒ	
44	五領ケ台	深鉢	胴部	細片	クランク	
45	五領ケ台	深鉢	胴部	細片	三角印刻文	

表48　19号住居跡出土石器組成表

	打斧	スクレイパー	コア	磨石	凹石	石皿	叩石	石匙	多孔石											剥　片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安　山　岩				3	6	2			1												7	19
砂　　岩	1	1																		3	14	19
凝灰質砂岩	4		2					1												1	16	24
頁　　岩	1						1													1	10	13
チ　ャ　ー　ト																					3	3
黒　曜　石			1																	1	4	6
計	6	1	3	3	6	2	1	1	1											6	54	84



第60図　20号住居跡・同住居跡出土遺物・249号土坑

20号住居跡（第60図、図版24・74、表49・50）

本跡はD－8グリッドに於いて検出された。南側が調査区域の外側となり明瞭ではないが、平面形状は隅丸の方形を呈するものと思われる。規模は東西軸側で3.0mを測る。確認面下の掘り込みは25cmを測る。床面はほぼ平坦で、柱穴は検出されていない。炉は住居跡中央部に位置し、浅い皿状の掘り込みとなっている。北側に板状の礫が1点設置されている。また、火床面には僅かながら焼土の分布が見られるものの、被熱は僅かである。

249号土坑が住居の床面下で検出されている。

遺物は覆土中より僅かに土器1.8kg、石器2点（1.7kg）が出土している。この内土器2点、石器1点について掲載した。尚遺物の観察結果は、土器は表49の出土土器観察表に、石器は表50の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表49　20号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪　菱形文構成　繊維混入	
2	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪　菱形文構成　繊維混入	

表50　20号住居跡出土石器組成表

	石皿																		剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩	1																		1		2
計	1																		1		2

21号住居跡（第61図、図版74、表51・52）

本跡はF－5・6グリッドに於いて14・15号住居跡に近接して検出された。柱穴2本と炉1基をもって住居跡と確認されたものである。平面形状及び規模は不明である。炉は2段の掘り込みとなっており、北側に板状の礫が設置され、火床面は円形に焼土の分布が見られ、被熱も明瞭である。

遺物は覆土中より僅かに土器0.8kg、石器3点（0.3kg）が出土している。この内土器4点について掲載した。尚遺物の観察結果は、土器は表51の出土土器観察表にまとめ、石器は表52の石器組成表で示した。

出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。

表51　21号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	有尾	深鉢	口縁	大形破片	C爪　菱形文構成　繊維混入	
2	有尾	深鉢	胴部	大形破片	C爪　単節RL・LR羽状構成　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	胴部	破片	撚糸無節L　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	底部	破片	単節LR　繊維混入	

表52　21号住居跡出土石器組成表

	凹石																		剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩	1																				1
砂岩																				2	2
計	1																			2	3

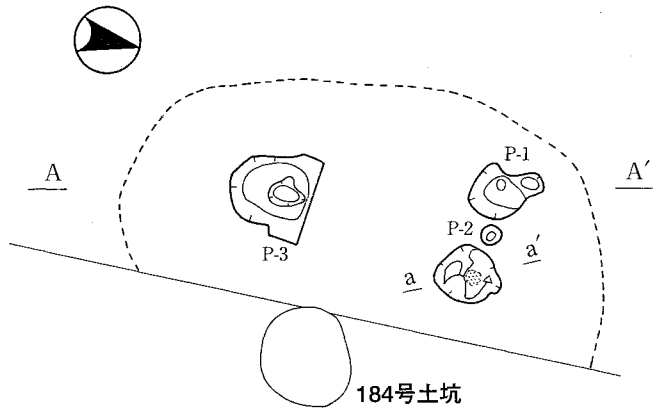
22号住居跡（第62図、図版24・25・74・75、表53・54）

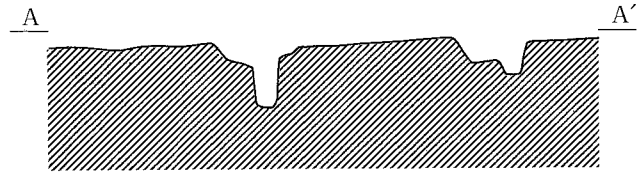
本跡はD－2・3グリッドに於いて検出された。平面形状は隅丸の長方形を呈する。規模は6.1×4.6mで、確認面下の掘り込みは25cmを測る。床面はほぼ平坦で、柱穴は19本確認される。杭状の小規模なものが多くその配置は壁際に位置するものと住居中央付近に配されるものの双方が見られる。炉は住居跡中央北寄りに位置し、楕円形の浅い皿状の掘り込みとなっている。火床面には焼土の分布が見られ被熱は明瞭である。

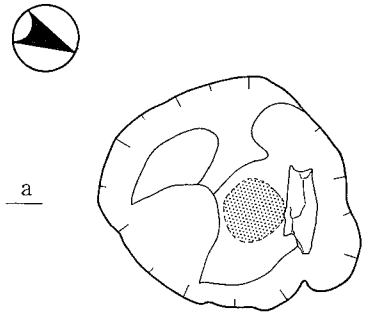
337号土坑と重複するが新旧関係は不明である。

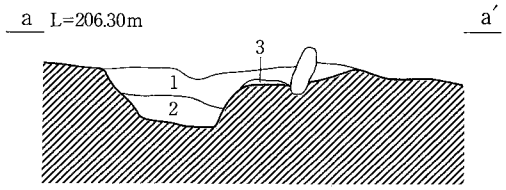
遺物は覆土中より土器8.9kg、石器61点（11.5kg）が出土している。この内土器12点、石器17点について掲載している。尚遺物の観察結果は、土器は表53の出土土器観察表にまとめ、石器は表54の石器組成表で示した。

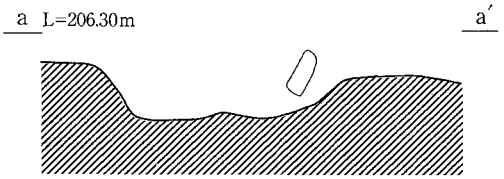
出土遺物より本住居跡は黒浜式期の所産と判断される。





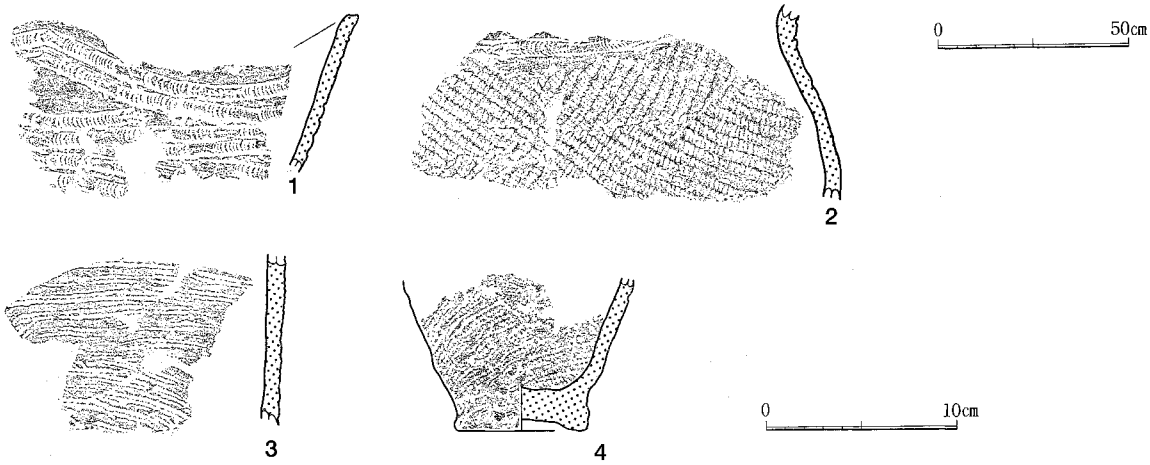




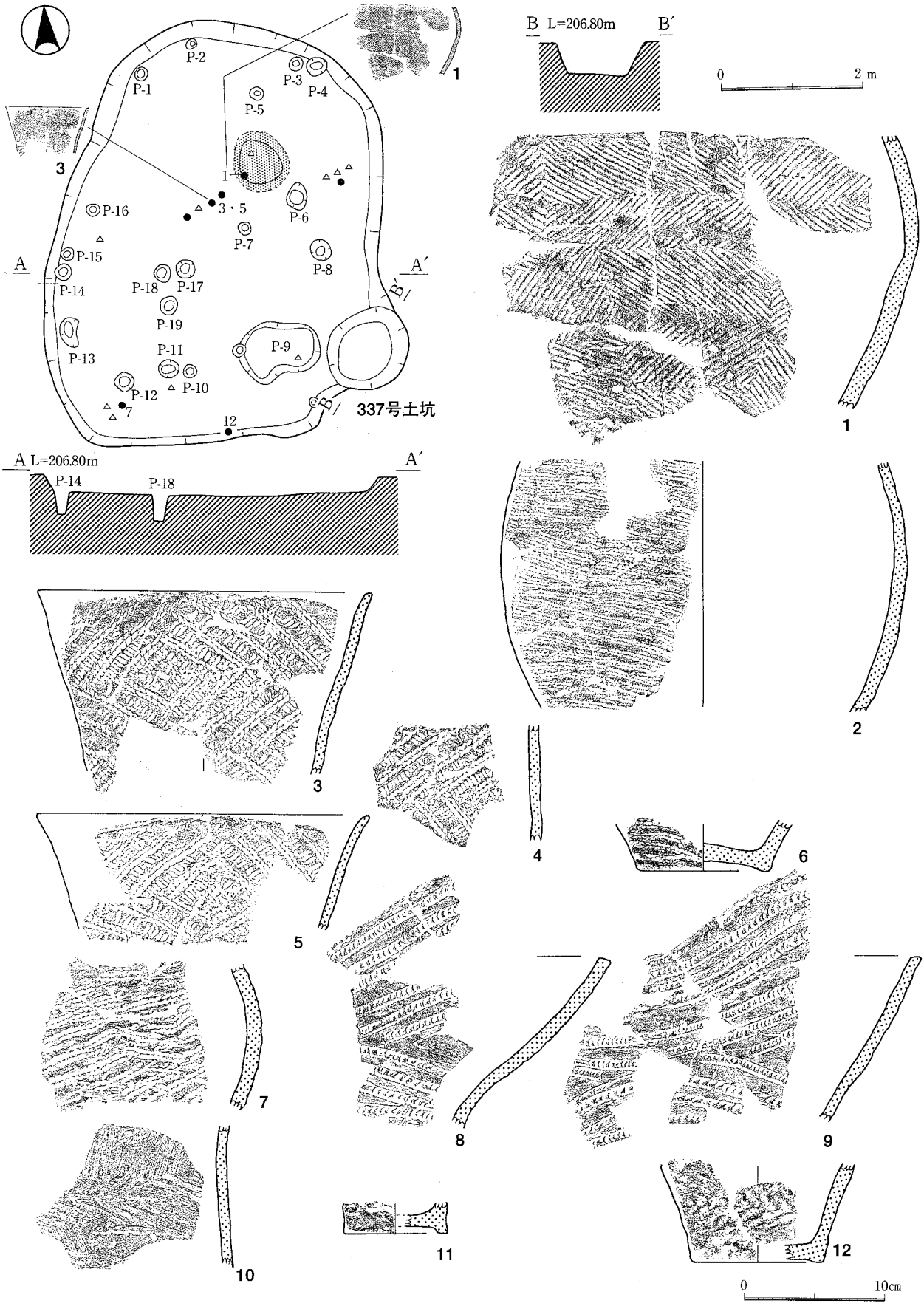


21号住居跡　炉跡

層	色　調	
1	暗褐色	ローム塊、焼土を少量含む。
2	暗褐色	φ5～10mm大のローム塊を2～3%
3	暗褐色	焼土



第61図　21号住居跡・同住居跡出土遺物



第62図　22号住居跡・同住居跡出土遺物・337号土坑

表53　22号住居跡出土土器観察表

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1	黒浜	深鉢	胴部	破片	無節Ｒ・Ｌで羽状構成	
2	黒浜	深鉢	胴下	大形破片	撚糸無節Ｌ　繊維混入	
3	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	平縁　付加条第２種　繊維混入	
4	黒浜	深鉢	胴部	破片	平縁　付加条第２種　繊維混入	
5	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	平縁　付加条第２種　繊維混入	
6	黒浜	深鉢	底部	破片	撚糸　無節Ｌ　繊維混入	
7	黒浜	深鉢	胴部	破片	撚糸　無節Ｒ　繊維混入	
8	有尾	深鉢	口縁	大形破片	大波状口縁　Ｃ爪　大形菱形文構成　繊維混入	
9	有尾	深鉢	口縁	大形破片	大波状口縁　Ｃ爪　大形菱形文構成　繊維混入	
10	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	細かな撚糸　無節Ｒ　繊維混入	
11	黒浜	深鉢	底部	破片	無文　繊維混入	
12	黒浜	深鉢	底部	破片	単節LR　繊維混入	

表54　22号住居跡出土石器組成表

	打斧	コア	磨石	凹石	石皿	軽石													剥片		計
																			使用アリ	使用ナシ	
安山岩			1	7	2															1	11
砂岩	1																		1	6	8
凝灰質砂岩		1																	2	20	23
頁岩																			2	5	7
珪質頁岩																				2	2
軽石						8															8
片岩																				2	2
計	1	1	1	7	2	8													5	36	61

表55　住居跡出土礫集計表

住居	礫	
	被熱アリ	被熱ナシ
1号住居跡	597	3
2号住居跡	174	3
3号住居跡	174	7
4号住居跡	38	4
5号住居跡	111	5
6号住居跡	26	9
8号住居跡	861	10

住居	礫	
	被熱アリ	被熱ナシ
9号住居跡	208	
10号住居跡	26	
11号住居跡	41	
12号住居跡	34	
13号住居跡	41	
14号住居跡	46	
15号住居跡	22	

住居	礫	
	被熱アリ	被熱ナシ
16号住居跡	153	
17号住居跡	62	5
18号住居跡	15	
19号住居跡	19	1
21号住居跡	3	1
22号住居跡	19	

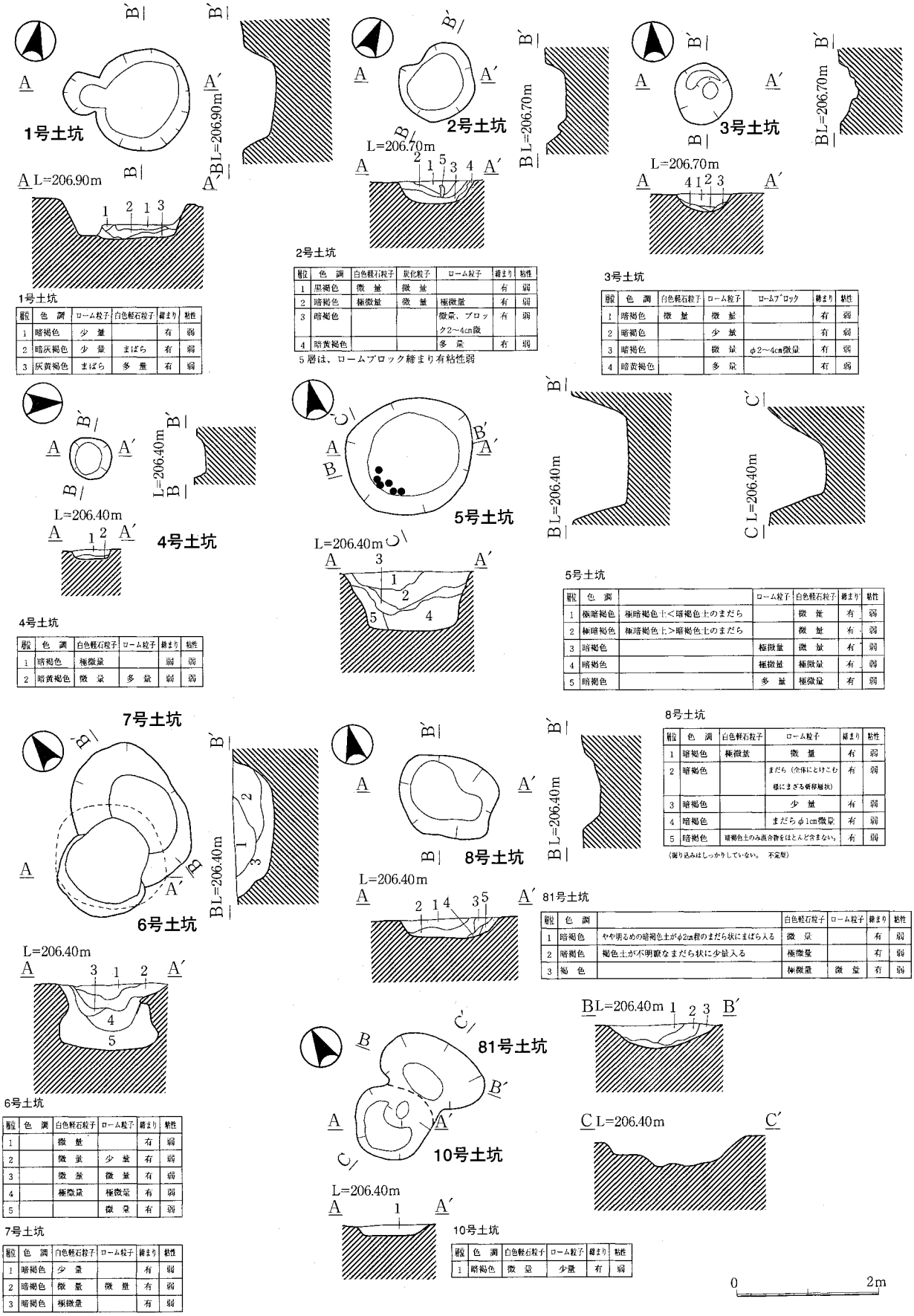
第2項　土坑（第63～104図、図版25～46・75～85、表56～69）

検出された土坑は339基を数える。その分布状況は調査区域の北西側と南東側で希薄になるが、北東側から南西側にかけて幅の広い帯状の分布が見られる。これは住居跡の分布とほぼ重なっている。平面的な形状では楕円形や円形のものがほとんどで、断面形も浅い皿状を呈するものが主体で、若干の袋状を呈するものが含まれている。明瞭に時期が判断できたものは237基で、型式別では前期花積下層式2基、関山式4基、黒浜式169基、有尾式3基、諸磯b式39基、浮島Ⅰ式1基、十三菩提式1基、中期では五領ヶ台式1基、阿玉台式1基、晩期では形式不明の1基であった。

各土坑の計測値は表56～62の土坑一覧表（1）～（7）に、また出土土器については表64～69の土坑出土土器一覧表（1）～（6）に、出土石器については土坑出土石器として表63の石器組成表に一括して掲載した。

表56　土坑一覧表（1）

番号	遺構（m）						遺物（kg）				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
1	C－4	不整形	逆台形	1.80	1.45	0.47	0.59	－	深鉢3点	諸磯b	
2	B－4	不整形	鍋底	1.10	1.05	0.28	0.26	－	深鉢1点	諸磯b	
3	B－5	円形	浅いU字	0.90	0.80	0.26	0.05	－		諸磯b	
4	A－5	円形	フラスコ	0.60	0.60	0.20	0.02	－		五領ヶ台	
5	B－5	楕円形	鍋底	1.80	1.60	0.80	0.86	－	深鉢5点	黒浜	
6	B－5・6	不整形	フラスコ	1.31	－	0.80	1.10	0.31	石鏃1点	黒浜	
7	B－5・6	楕円形	U字	2.00	－	0.45	0.20	0.59	剥片1点	諸磯b	
8	B－6	不整形	皿状	1.40	1.10	0.20	－	0.34	凹石1点	不明	
9	B－6	不整形	皿状	0.90	－	0.20	0.14	－	浅鉢1点	諸磯b	
10	B－6	円形	皿状	1.10	－	0.15	－	－		－	81土を切る
11	B－6	楕円形	逆台形	1.00	0.90	0.30	－	－		不明	
12	B－6・7	不整形	逆台形	1.30	0.90	0.40	0.10	－		黒浜カ	
13	B－6	楕円形	皿状	1.80	1.00	0.20	0.01	－		黒浜	ピット有り
14	A－5・6	楕円形	逆台形	2.28	1.56	1.00	0.30	－		黒浜	
15	B・C－4	不整形	U字	5.22	1.35	0.45	4.18	0.96	深鉢9点 円盤1点 打製石斧1点 軽石1点	諸磯a,b,c	ピット有り
16	B－7	楕円形	皿状	2.30	1.70	0.28	0.25	－		諸磯bカ	ピット有り
17	B－7	不整形	逆台形	2.70	1.30	0.39	1.39	－	深鉢4点	黒浜	ピット有り
18	B－7	不整形	皿状	2.53	2.03	0.30	0.95	－	深鉢1点	黒浜	ピット有り
19	C－2	円形	皿状	0.92	0.85	0.20	0.62	－	深鉢2点	晩期	
20	B－5	不整形	浅い鍋底	1.30	1.00	0.23	0.03	－		黒浜	
21	A－6・7	楕円形	U字	1.60	1.06	0.54	0.18	0.01		黒浜	
22	A－4	不整形	皿状	2.25	1.25	0.18	0.16	0.15		諸磯bカ	
23	A－4	不整形	鍋底	0.70	0.60	0.40	0.02	－		前期	
24	A－4	不整形	鍋底	1.30	1.00	0.40	0.14	－		黒浜	ピット有り
25	A－4・5	不整形	皿状	0.90	0.70	0.25	0.03	0.01		不明	
26	B－4	楕円形	逆台形	0.40	0.35	0.30	－	－		－	
27	A－6	不整形	逆台形	1.85	1.60	0.54	0.20	0.08		諸磯aカ	
28	A－6	不整形	逆台形	1.70	1.32	0.28	0.20	0.01		黒浜	
29	A－6	円形	逆台形	1.62	1.40	0.63	0.19	0.03	深鉢1点	黒浜	
30	A－6	楕円形	逆台形	1.48	1.09	0.23	0.04	－		不明	
31	A－7	楕円形	逆台形	2.65	1.69	0.73	0.42	8.32	スクレイパー2点	諸磯b	
32	B－7	不整形	皿状	－	－	0.18	0.29	0.04	スクレイパー2点	黒浜	33土に切られる
33	B－7	不整形	逆台形	2.63	1.72	0.80	0.24	－		黒浜	
34	A－6	不整形	逆台形	1.37	1.03	0.45	0.06	－	深鉢1点	諸磯a	
35	A－6・7	不整形	逆台形	2.27	1.96	0.45	1.25	0.07	深鉢6点 剥片1点 錐1点	黒浜	
36	A－6・7	楕円形	逆台形	1.61	1.04	2.27	－	－		－	
37	A－7	円形	皿状	1.11	1.10	0.22	0.19	－	深鉢1点	黒浜	



1号土坑

層位	色調	ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量		有	弱
2	暗灰褐色	少量	まばら	有	弱
3	灰黄褐色	まばら	多量	有	弱

2号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	黒褐色	微量	微量		有	弱
2	暗褐色	極微量	微量	極微量	有	弱
3	暗褐色			微量、ブロック2～4cm微	有	弱
4	暗黄褐色			多量	有	弱

5層は、ロームブロック締まり有粘性弱

3号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	微量		有	弱
2	暗褐色		少量		有	弱
3	暗褐色		微量	φ2～4cm微量	有	弱
4	暗黄褐色		多量		有	弱

4号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量		弱	弱
2	暗黄褐色	微量	多量	弱	弱

5号土坑

層位	色調		ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	極暗褐色土＜暗褐色土のまだら		微量	有	弱
2	極暗褐色	極暗褐色土＞暗褐色土のまだら		微量	有	弱
3	暗褐色		極微量	微量	有	弱
4	暗褐色		極微量	極微量	有	弱
5	暗褐色		多量	極微量	有	弱

8号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微量	有	弱
2	暗褐色		まだら（全体にとけこむ様にまざる斑状層状）	有	弱
3	暗褐色		少量	有	弱
4	暗褐色		まだらφ1cm微量	有	弱
5	暗褐色	暗褐色土のみ混合物をほとんど含まない。		有	弱

（掘り込みはしっかりしていない。 不定型）

81号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	やや明るめの暗褐色土がφ2cm程のまだら状にまばら入る	微量		有	弱
2	暗褐色	褐色土が不明瞭なまだら状に少量入る	極微量		有	弱
3	褐色		極微量	微量	有	弱

6号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1		微量		有	弱
2		微量	少量	有	弱
3		微量	微量	有	弱
4		極微量	極微量	有	弱
5			微量	有	弱

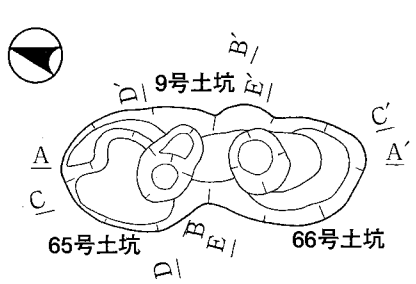
7号土坑

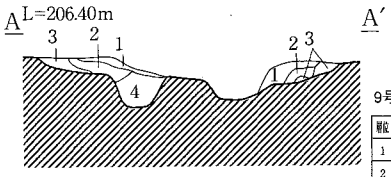
層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量		有	弱
2	暗褐色	微量	微量	有	弱
3	暗褐色	極微量		有	弱

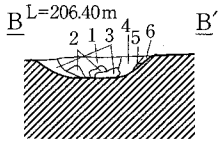
10号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	少量	有	弱

第63図　1～8・10・81号土坑

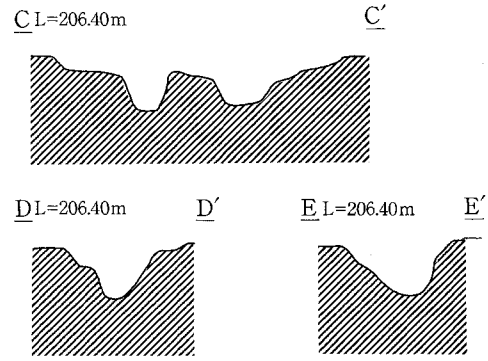






9号土坑

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微量			
2	褐色	まばら			
3	褐色	多量			
4	暗褐色	少量			
5	褐色	多量			
6	暗褐色	少量			

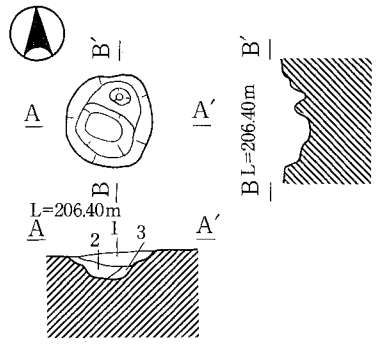


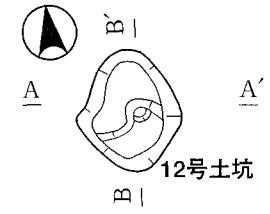
65号土坑

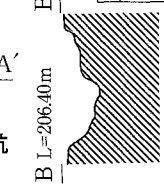
層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			極々微量		有	弱
2	暗褐色	まばら		極微量		有	弱
3	褐色	多量		極々微量		有	弱
4	暗褐色		φ1cm極々微量	極微量	極微量	有	弱

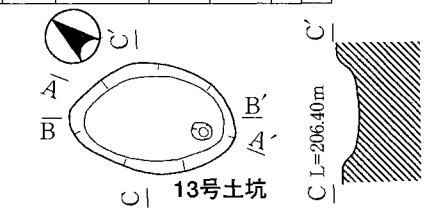
66号土坑

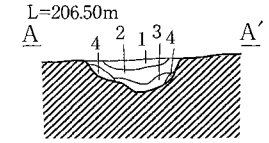
層位	色調	ローム粒子	褐色土粒子	白色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		まばら		極々微量	有	弱
2	暗褐色	少量		極々微量		有	弱
3	暗褐色	まばら		極々微量		有	弱

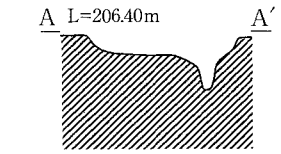










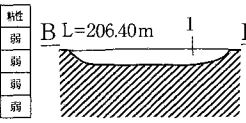


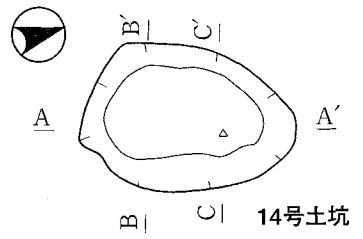
11号土坑

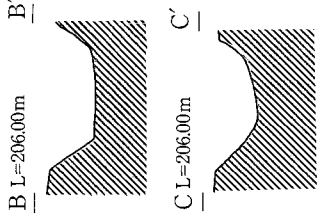
層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(黒褐色土>暗褐色土がまだらに入る。)	極微量		有	弱
2	暗褐色	(黒褐色土<暗褐色土がまだらに入る。)		極微量	有	弱
3	暗黄褐色			多量	有	弱

12号土坑

層位	色調		ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(黒褐色土>暗褐色土がまだらに入る。)	極微量	有	弱
2	暗褐色	(黒褐色土<暗褐色土がまだらに入る。暗褐色土の割合は、1より多い。)		有	弱
3	褐色	ロームブロックφ3~7cmまばら	少量	有	弱
4	褐色	ローム漸移層		強	弱

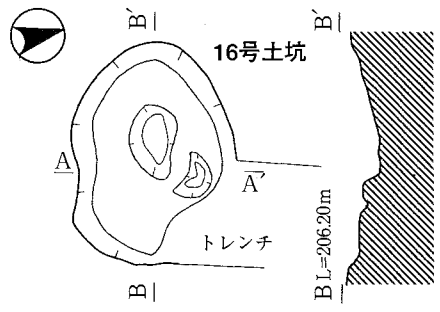


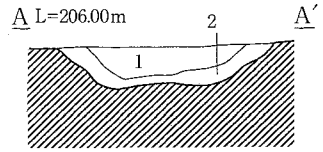




13号土坑

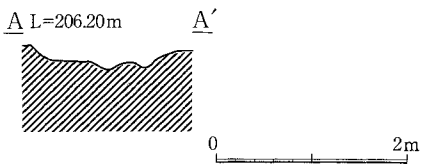
層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色土	(暗褐色土がまだらに入る。)	微量	極々微量	有	弱



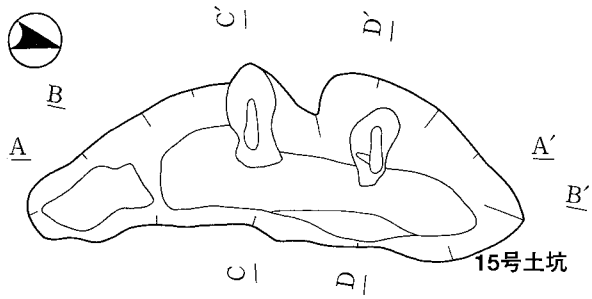


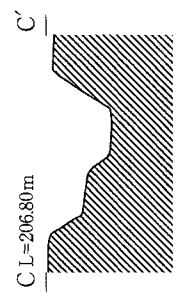
14号土坑

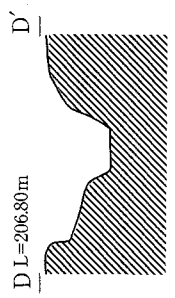
層位	色調		白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(褐色土が微量にまだらに入る。)	微量	極微量		有	弱
2	褐色		極微量		少量	有	弱

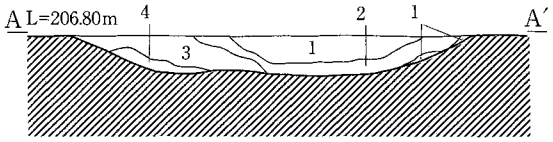


第64図　9・11～14・16・65・66号土坑



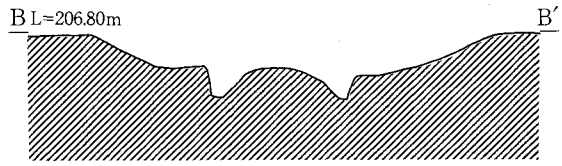


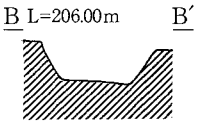


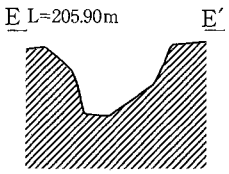


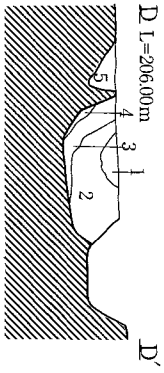
15号土坑

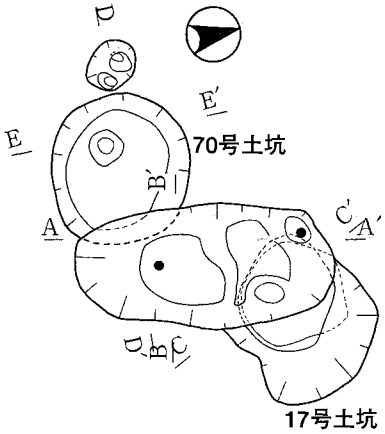
層	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	礫	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量			φ3～5cmの角礫、3点	有	弱
2	暗褐色	微　量				有	弱
3	極暗褐色	少　量			φ3～5cmの角礫、少量	有	弱
4	褐　色	極微量	まばら	φ1～3cmまばら		有	弱

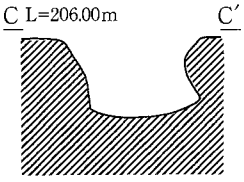






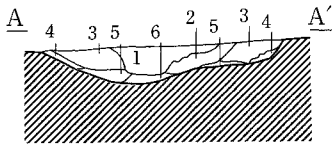






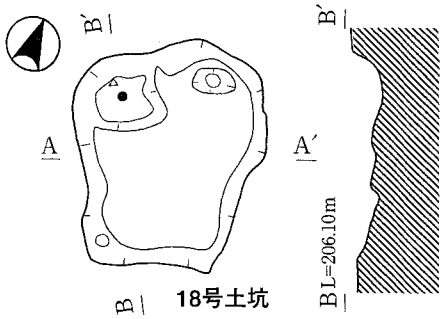
70号土坑

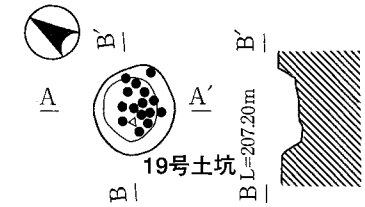
層	色　調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まだらに少量	極微量	暗褐色土中に入る少量	有	弱
2	暗褐色	φ2～4cm少量	微　量		有	弱
3	暗褐色	φ2～8cmまばら		暗褐色土中に入るまばら	有	弱
4	暗褐色			多量に含む	有	弱
5	暗褐色	φ1～4cm少量	極々微量		有	弱

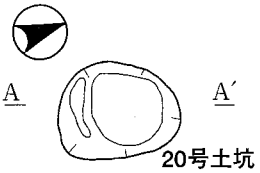


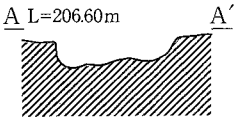
17号土坑

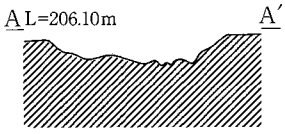
層	色　調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり
1	暗褐色	(黒色土く褐色土がまだらに入る)	微　量		有
2	暗黄褐色		極微量	多　量	有
3	暗褐色		微　量	微　量	有
4	暗褐色	3より明るい		まばら	有
5	暗褐色	4より暗い。均一にローム粒子が入る。	極々微量	微　量	有
6	暗黄褐色	地山よりしまりが弱いため堆積した土と思われる		密	有

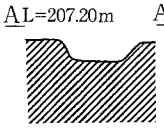




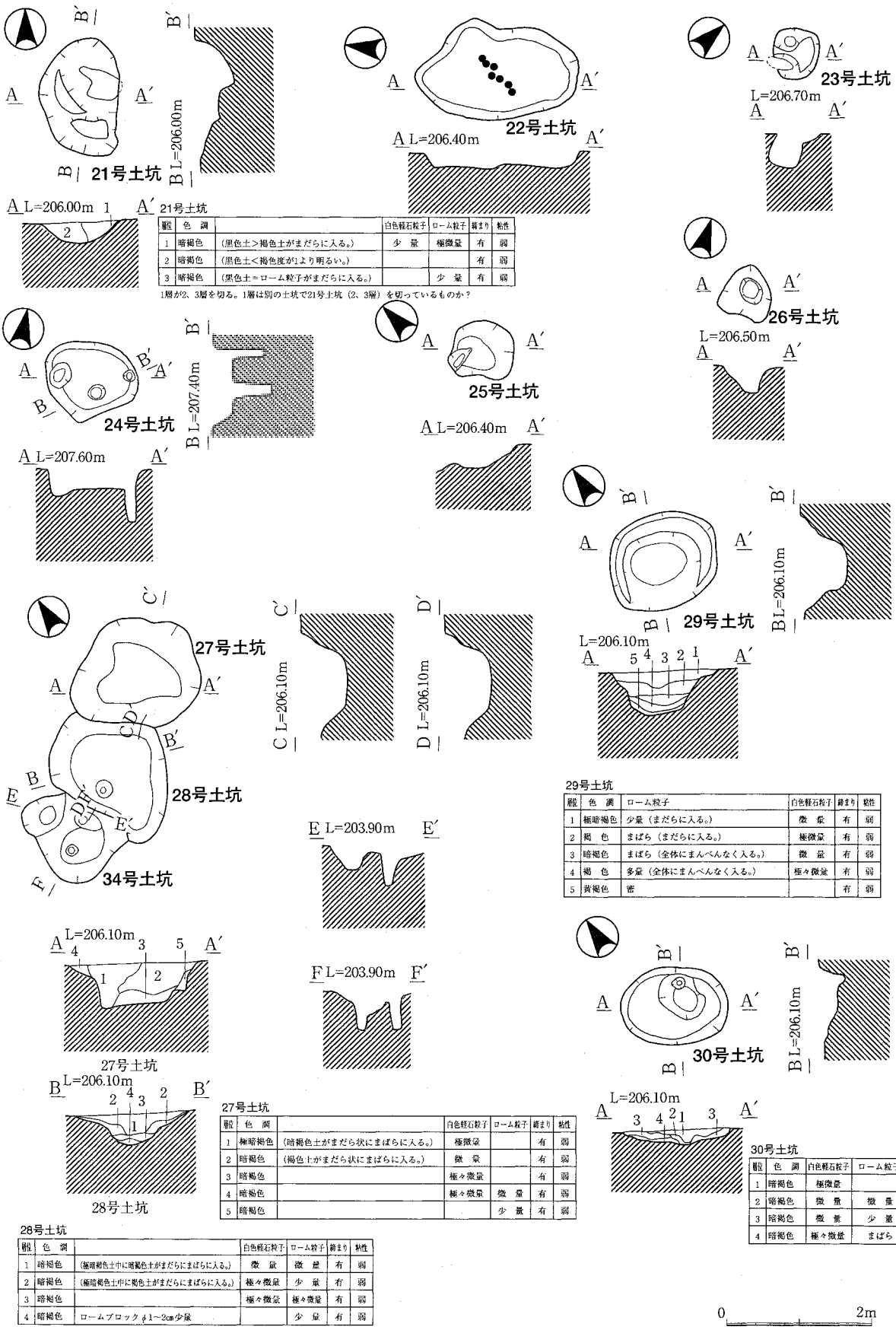








第65図　15・17～20・70号土坑



21号土坑

層	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(黒色土＞褐色土がまだらに入る。)	少量	極微量	有	弱
2	暗褐色	(黒色土＜褐色度が1より明るい。)			有	弱
3	暗褐色	(黒色土≒ローム粒子がまだらに入る。)		少量	有	弱

1層が2、3層を切る。1層は別の土坑で21号土坑（2、3層）を切っているものか？

29号土坑

層	色調	ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	少量（まだらに入る。）	微量	有	弱
2	褐色	まばら（まだらに入る。）	極微量	有	弱
3	暗褐色	まばら（全体にまんべんなく入る。）	微量	有	弱
4	褐色	多量（全体にまんべんなく入る。）	極々微量	有	弱
5	黄褐色	密		有	弱

27号土坑

層	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	(暗褐色土がまだら状にまばらに入る。)	極微量		有	弱
2	暗褐色	(褐色土がまだら状にまばらに入る。)	微量		有	弱
3	暗褐色		極々微量		有	弱
4	暗褐色		極々微量	微量	有	弱
5	暗褐色			少量	有	弱

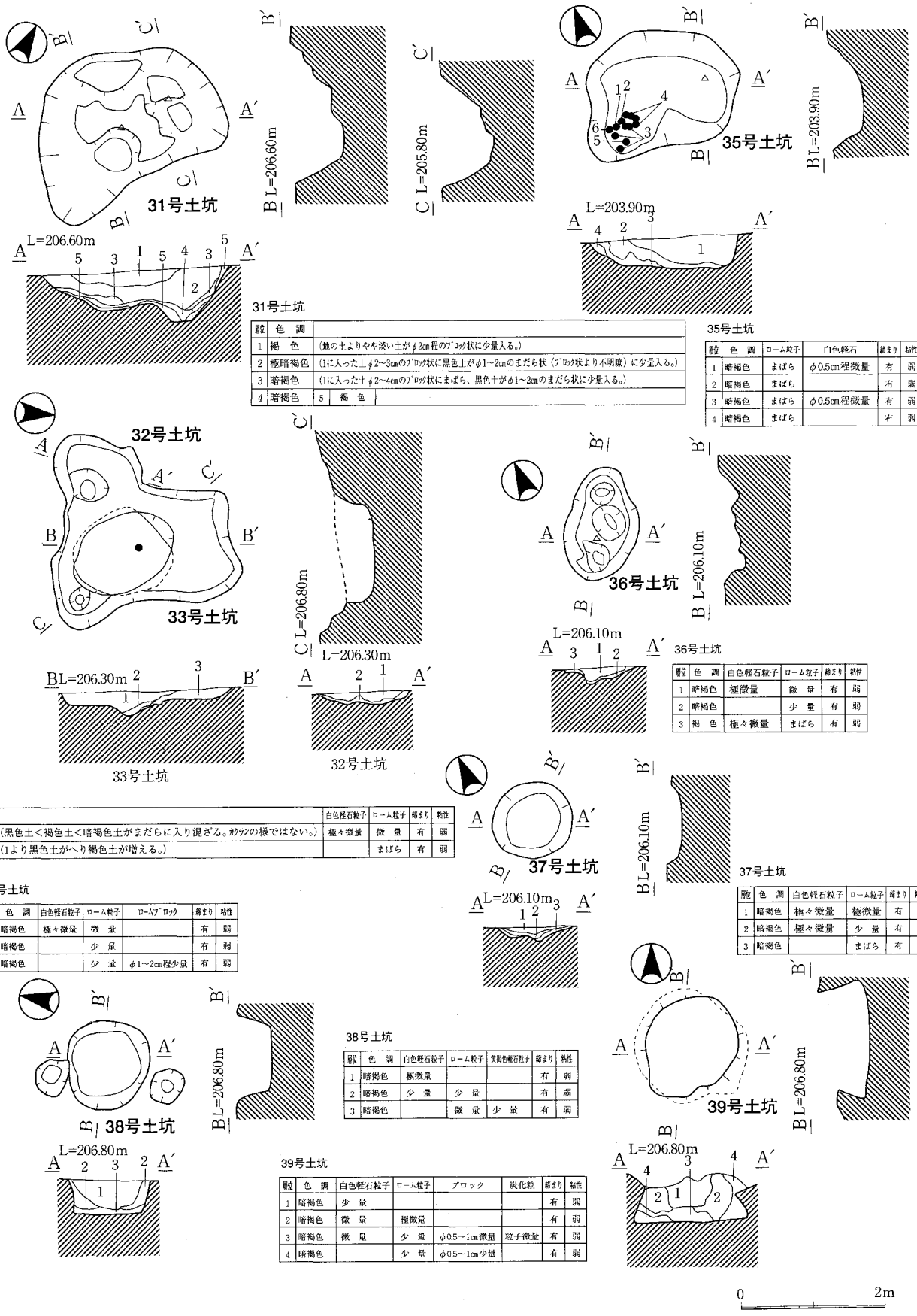
28号土坑

層	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(極暗褐色土中に暗褐色土がまだらにまばらに入る。)	微量	微量	有	弱
2	暗褐色	(極暗褐色土中に褐色土がまだらにまばらに入る。)	極々微量	少量	有	弱
3	暗褐色		極々微量	極々微量	有	弱
4	暗褐色	ロームブロックϕ1～2cm少量		少量	有	弱

30号土坑

層	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量		有	弱
2	暗褐色	微量	微量	有	弱
3	暗褐色	微量	少量	有	弱
4	暗褐色	極々微量	まばら	有	弱

第66図　21～30・34号土坑



31号土坑

層位	色調	
1	褐色	(地の土よりやや淡い土がφ2cm程のﾌﾞﾛｯｸ状に少量入る。)
2	極暗褐色	(1に入った土φ2～3cmのﾌﾞﾛｯｸ状に黒色土がφ1～2cmのまだら状（ﾌﾞﾛｯｸ状より不明瞭）に少量入る。)
3	暗褐色	(1に入った土φ2～4cmのﾌﾞﾛｯｸ状にまばら、黒色土がφ1～2cmのまだら状に少量入る。)
4	暗褐色	5 褐色

35号土坑

層位	色調	ローム粒子	白色軽石	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	φ0.5cm程微量	有	弱
2	暗褐色	まばら		有	弱
3	暗褐色	まばら	φ0.5cm程微量	有	弱
4	暗褐色	まばら		有	弱

32号住居跡

層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	(黒色土＜褐色土＜暗褐色土がまだらに入り混ざる。ｶｸﾗﾝの様ではない。)	極々微量	微量	有	弱
2	暗褐色	(1より黒色土がへり褐色土が増える。)		まばら	有	弱

33号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームﾌﾞﾛｯｸ	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量	微量		有	弱
2	暗褐色		少量		有	弱
3	暗褐色		少量	φ1～2cm程少量	有	弱

36号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微量	有	弱
2	暗褐色		少量	有	弱
3	褐色	極々微量	まばら	有	弱

37号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	極々微量	少量	有	弱
3	暗褐色		まばら	有	弱

38号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量			有	弱
2	暗褐色	少量	少量		有	弱
3	暗褐色		微量	少量	有	弱

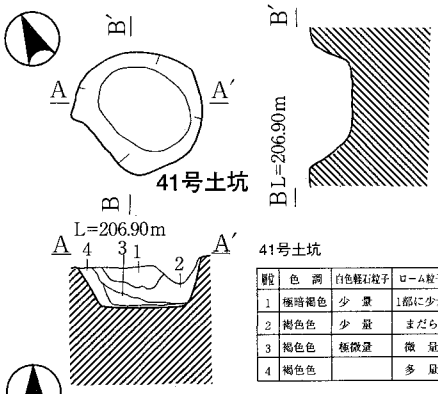
39号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	ブロック	炭化粒	締まり	粘性
1	暗褐色	少量				有	弱
2	暗褐色	微量	極微量			有	弱
3	暗褐色	微量	少量	φ0.5～1cm微量	粒子微量	有	弱
4	暗褐色		少量	φ0.5～1cm少量		有	弱

第67図　31～33・35～39号土坑

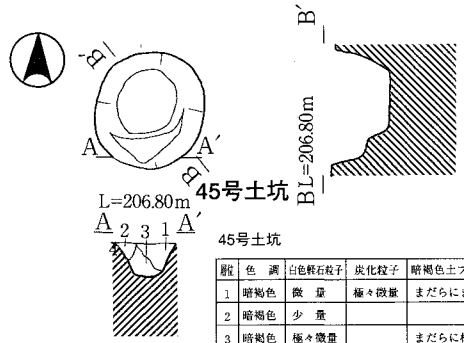
表57　土坑一覧表（２）

番号	遺構（m）						遺物（kg）				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
38	C－4	円形	鍋底	1.26	1.25	0.52	0.28	0.08		黒浜	
39	C－4	円形	フラスコ	1.33	1.30	0.63	0.93	0.11	深鉢３点　凹石１点	黒浜	
40	D－3	不整形	逆台形	1.40	－	0.60	2.61	0.05	深鉢６点	黒浜	
41	D－4	円形	逆台形	1.35	1.20	0.45	0.13	0.01		黒浜	
42	C・D－4	不整形	フラスコ	－	－	0.75	3.22	0.30	深鉢６点　スクレイパー１点　磨石１点　軽石１点	黒浜	
43	D－4	不整形	逆台形	2.70	1.10	0.45	1.47	23.6	深鉢３点　錐１点　石皿１点	黒浜	
44	D－3	楕円形	鍋底	1.72	1.15	0.87	0.65	0.84	深鉢３点	黒浜	
45	D－4	不整形	U字	1.22	－	0.25	0.64	0.41	深鉢２点　磨石１点	黒浜	
46	D－4	不整形	逆台形	2.70	1.88	0.70	1.55	1.27	深鉢５点	諸磯a	ピット有り
47	D－4	楕円形	U字	2.08	1.50	0.45	0.32	－		黒浜	ピット有り
48	D－4	楕円形	鍋底	1.53	1.25	0.55	1.91	0.18	深鉢３点	黒浜	
49	A－4	楕円形	U字	0.40	0.38	0.35	0.20	0.01		諸磯bカ	
50	A－5	円形	浅いU字	0.53	0.45	0.12	－	－		－	
51	E－3	不整形	鍋底	1.54	0.98	0.50	0.52	0.01	深鉢３点	諸磯b	
52	E－3・4	不整形	鍋底	1.45	1.20	0.70	0.88	0.85		諸磯a	
53	A－7	不整形	逆台形	1.85	1.69	0.62	3.57	－	深鉢２点	黒浜	ピット有り
54	A－7	楕円形	鍋底	1.34	1.07	0.70	0.60	0.04		黒浜	
55	A－7	不整形	浅いU字	2.65	1.59	0.48	0.05	0.04		黒浜	
56	A－7	不整形	鍋底	0.94	0.69	0.42	－	－		－	ピット有り
57	A－7	円形	フラスコ	1.06	1.00	0.56	0.06	－		諸磯aカ	
58	A－7	円形	フラスコ	1.04	0.92	0.60	1.80	－	深鉢２点	黒浜	
59	E－3・4	不整形	逆台形	1.30	－	0.53	0.07	－		黒浜	
60	B・C－4	楕円形	鍋底	0.85	0.70	0.35	0.22	0.06	深鉢２点	諸磯aカ	
61	B－4	不整形	鍋底	1.70	1.00	0.55	0.49	1.44	深鉢２点	黒浜	
62	B－4	不整形	鍋底	1.10	0.95	0.65	0.51	－	深鉢３点	黒浜	
63	B－4	不整形	フラスコ	1.60	1.05	0.75	0.07	0.01		諸磯カ	
64	A－5	楕円形	逆台形	－	1.08	0.80	0.04	－		諸磯カ	
65	B－6	不整形	皿状	1.28	－	0.18	－	0.10		不明	ピット有り
66	B－6	不整形	皿状	1.14	－	0.23	0.05	0.01		諸磯カ	ピット有り
67	E－3	不整形	逆台形	1.46	1.00	0.45	0.54	－		黒浜	
68	E－3	不整形	逆台形	0.85	－	－	－	－		－	
69	E－3・4	不整形	逆台形	1.15	0.95	0.40	0.18	0.01	軽石１点	諸磯b	
70	A－7	円形	逆台形	1.55	1.49	0.70	0.20	0.21		諸磯b	ピット有り
71	E－4	楕円形	逆台形	1.65	1.18	0.80	0.47	0.14	深鉢３点	諸磯a	
72	E－3・4	楕円形	－	1.90	1.00	－	0.02	－	深鉢１点	黒浜	
73	E－3・4	不整形	鍋底	0.90	－	0.35	0.02	－		－	
74	D－3	円形	逆台形	1.22	1.02	0.90	0.40	0.06	深鉢２点　円盤２点	黒浜	
75	D－4	不整形	逆台形	1.60	0.80	0.30	0.10	13.0	石皿１点	黒浜	
76	E－2	楕円形	逆台形	1.07	0.92	0.86	1.31	1.78	深鉢４点	諸磯b	ピット有り
77	F－2	円形	逆台形	1.20	1.15	0.30	1.11	0.22	深鉢４点	諸磯b	
78	F－2	円形	逆台形	1.20	1.00	0.29	0.48	0.26	有孔浅鉢１点　深鉢１点　打製石斧１点	諸磯b	
79	F－2	楕円形	皿状	1.55	1.28	0.30	1.37	0.01	深鉢10点　浅鉢１点　錐１点	諸磯a・b	
80	F－2	円形	皿状	1.35	1.24	0.26	0.30	0.01	深鉢２点	諸磯b	
81	B－6	楕円形	浅いU字	1.50	－	0.30	0.10	0.04		黒浜カ	
82	F－2	不整形	フラスコ	1.19	－	0.56	0.61	0.05	深鉢２点	諸磯b	
83	E・F－2	不整形	皿状	1.14	0.94	0.25	0.19	－	深鉢１点	諸磯aカ	
84	E－2	円形	鍋底	1.50	1.40	0.95	1.71	1.17	深鉢２点	黒浜	
85	E・F－3	円形	鍋底	0.73	0.66	0.42	0.09	－		黒浜カ	
86	F－2	円形	U字	1.06	0.96	0.40	0.39	0.81	深鉢１点　石皿１点	諸磯a	
87	F－2・3	楕円形	皿状	1.88	1.25	0.38	0.46	0.09		黒浜	
88	F－3	円形	皿状	0.82	0.80	0.26	0.40	0.01		諸磯aカ	



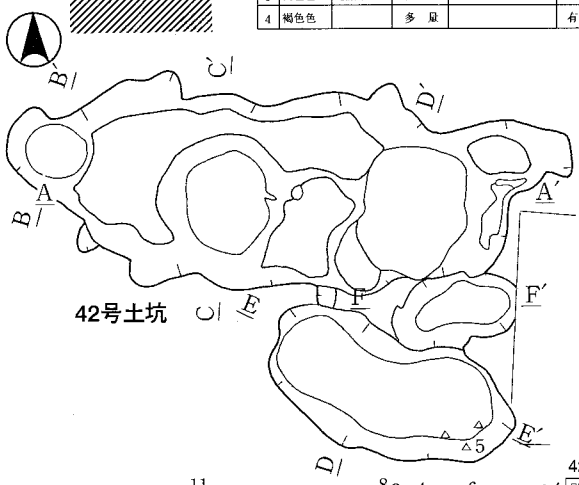
41号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子		締まり	粘性
1	極暗褐色	少量	1部に少量	暗褐色土がまだら	有	弱
2	褐色色	少量	まだら	褐色土がまだら	有	弱
3	褐色色	極微量	微量		有	弱
4	褐色色		多量		有	弱



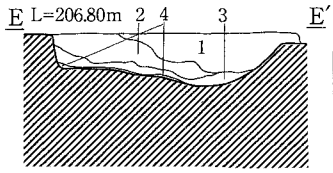
45号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	炭化粒子	暗褐色土ブロック	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	極々微量	まだらにまばら		有	弱
2	暗褐色	少量			少量	有	弱
3	暗褐色	極々微量		まだらに極微量		有	弱
4	暗褐色				まばら	有	弱



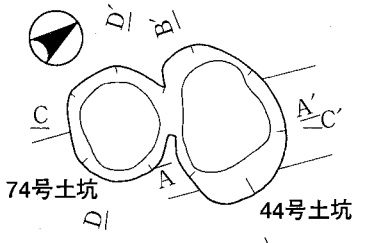
42号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	白色軽石	炭化物	ローム粒子	ロームブロック	ローム漸移層	礫	締まり	粘性
1	暗褐色	少量							有	弱
2	暗褐色	微量	φ0.5～1cm極微量						有	弱
3	暗褐色	少量		極微量			φ1～5cm微量		有	弱
4	暗褐色	極微量		極微量			φ2～5cm少量		有	弱
5	暗褐色	少量		極々微量	まばら		φ2～3cm少量		有	弱
6	暗褐色				まばら			角礫φ4cm1点	有	弱
7	褐色								有	弱
8	褐色	極微量			多量				有	弱
9	褐色	少量			多量	φ1～5cm少量			有	弱
10	暗褐色	極微量					φ1～5cm微量	礫φ2～5cm微	有	弱
11	暗褐色				まばら				有	弱



43号土坑

層位	色調		ローム粒子	白色軽石粒子	礫	炭化粒子	炭化材	締まり	粘性
1	極暗褐色	暗褐色土がまだらに微量	極々微量	少量	φ5cm1点	極微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	褐色土がまだらにまばら	まだらにまばら	微量	φ1～2cm2点	極々微量	極々微量	有	弱
3	暗褐色		微量					有	弱
4	褐色		まばら					有	弱



44号土坑

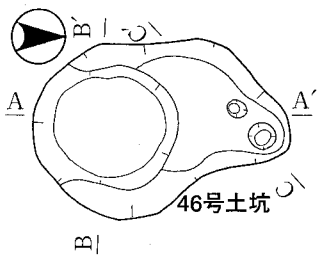
層位	色調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	φ2～3cm多量	極微量	極微量		有	弱
2	暗褐色	φ2～3cm少量	極々微量	極微量		有	弱
3	暗褐色	まだらに少量			微量	有	弱
4	極暗褐色	まだらにまばら	極々微量	極々微量		有	弱

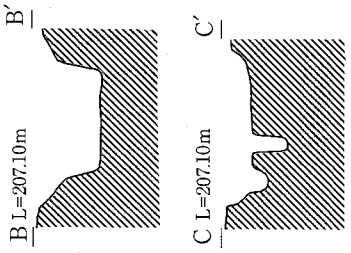
74号土坑

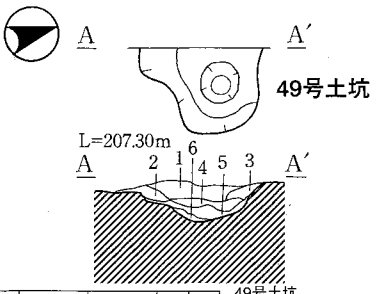
層位	色調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	φ5～8cm多量	極々微量		有	弱
2	暗褐色	まだらに少量	極微量		有	弱
3	暗褐色	まだらに極微量	微量	微量	有	弱
4	褐色		極々微量	多量	有	弱
5	暗黄褐色			密	有	弱

0 2m

第68図　41～45・74号土坑

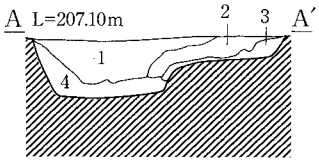






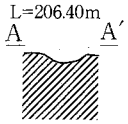
46号土坑

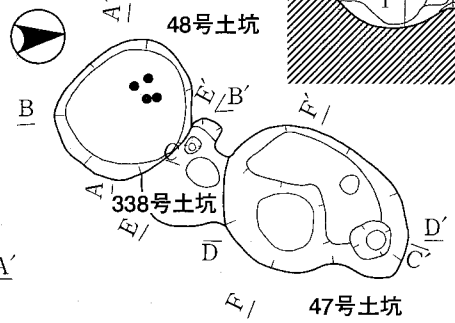
層位	色調		白色軽石粒子	白色軽石	ローム粒子	炭化材	締まり	粘性
1	暗褐色	やや明るめの暗褐色土がまだらにまばらに入る。	少量	φ0.5cm極々微量		粒子極々微量	有	弱
2	暗褐色	やや明るめの暗褐色土がまだらにまばらに入る。	少量	φ0.5cm極々微量		粒子極々微量	有	弱
3	褐色		極微量		粒子まばら		有	弱
4	暗褐色	やや明るめの暗褐色土がまだらにまばらに入る。			極微量		有	弱

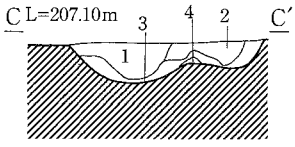


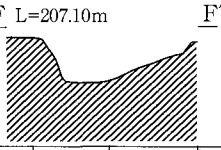
49号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘
1	暗褐色	少量	極々微量	微量		有	弱
2	暗褐色	微量				有	弱
3	暗褐色	微量				有	弱
4	暗褐色	極微量	極々微量	微量		有	弱
5	極褐色	極微量		微量	極微量	有	弱
6	褐色	極微量		少量	極微量	有	弱



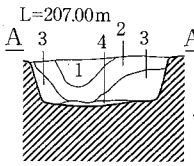






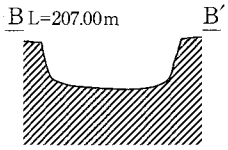
47号土坑

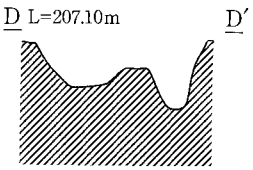
層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化材	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	微量		粒子極々微量	有	弱
2	暗褐色	微量	少量	φ2cm極微量		有	弱
3	暗褐色	極微量	まばら		粒子極々微量	有	弱
4	暗黄褐色	極微量	密に			有	弱

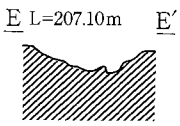


48号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘
1	暗褐色	明るめの暗褐色土がまだらに少量はいる。	微量	極微量	φ1cm程極微量	有	弱
2	暗褐色	明るめの暗褐色土がまだらに微量はいる。	多量	微量	φ1cm程極微量	有	弱
3	暗褐色		極々微量	φ0.5cm程の材極微	粒子極微量	有	弱
4	暗黄褐色				多量	有	弱

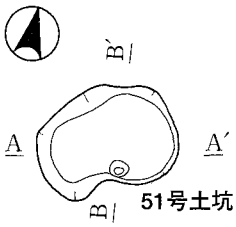


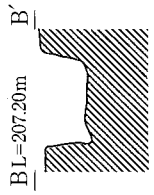


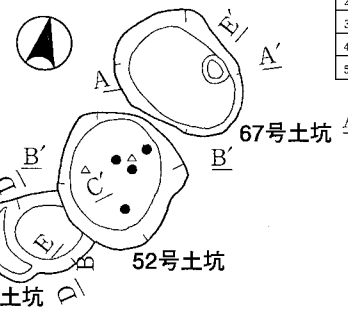


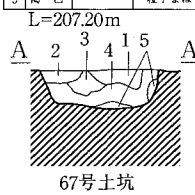
67号土坑

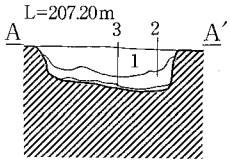
層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		ブロック状に少量φ2~3cm	有	弱
2	暗褐色	微量	粒子まばら		有	弱
3	暗褐色	極微量		まだらに微量	有	弱
4	暗褐色	極微量	ブロックφ2cm	ブロック状にまだらφ2~4cm	有	弱
5	褐色		粒子まばら		有	弱





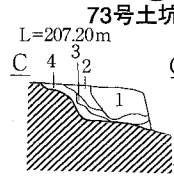


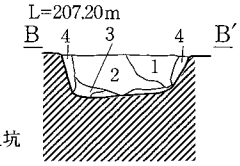


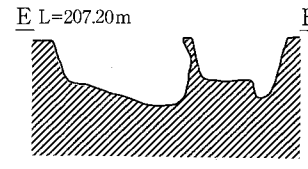


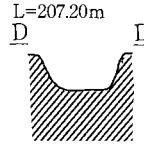
51号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	やや明るめの暗褐色土がまばらに多量	微量		有	弱
2	暗褐色				有	弱
3	暗褐色			極微量	有	弱









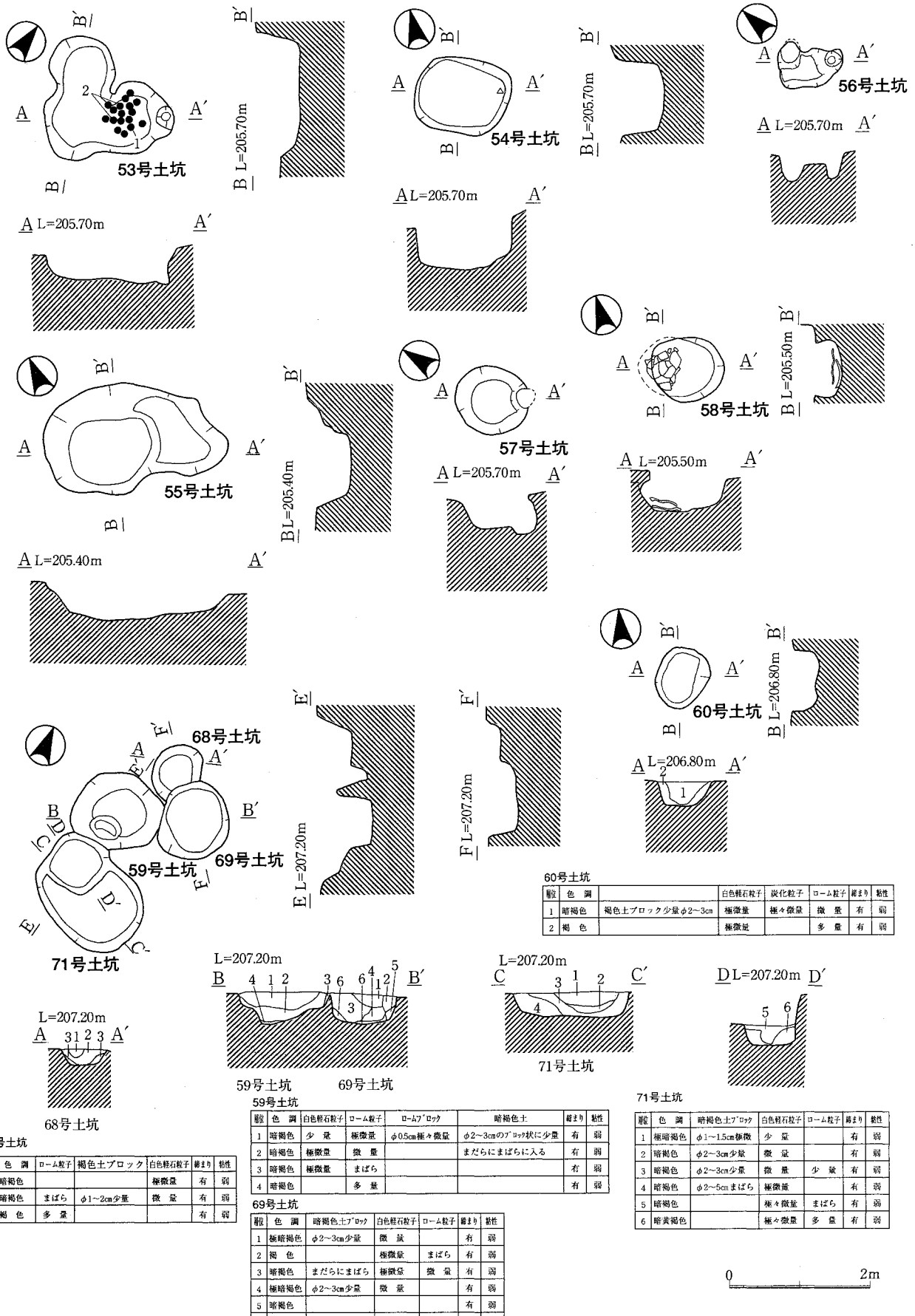
73号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	微量	有	弱
2	暗褐色	微量	少量	有	弱
3	褐色	極々微量	多量	有	弱
4	褐色		密	有	弱

52号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	暗褐色土中に明るめの暗褐色土がまだらにまばら	極微量	極微量	有	弱
2	暗褐色		少量	φ0.8の材も含み極微量	有	弱
3	暗褐色				有	弱
4	暗褐色	ローム粒少量、ブロックのφ1~3cm微量			有	弱

第69図　46～52・67・73・338号土坑



60号土坑

層位	色　調		白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	褐色土ブロック少量φ2～3cm	極微量	極々微量	微　量	有	弱
2	褐　色		極微量		多　量	有	弱

68号土坑

層位	色　調	ローム粒子	褐色土ブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			極微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	φ1～2cm少量	微　量	有	弱
3	褐　色	多　量			有	弱

59号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極微量	φ0.5cm極々微量	φ2～3cmのブロック状に少量	有	弱
2	暗褐色	極微量	微　量		まだらにまばらに入る	有	弱
3	暗褐色	極微量	まばら			有	弱
4	暗褐色		多　量			有	弱

69号土坑

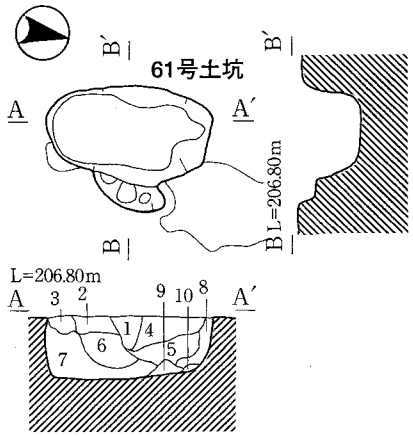
層位	色　調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	φ2～3cm少量	微　量		有	弱
2	褐　色		極微量	まばら	有	弱
3	暗褐色	まだらにまばら	極微量	微　量	有	弱
4	極暗褐色	φ2～3cm少量	微　量		有	弱
5	暗褐色				有	弱
6	褐　色			まばら	有	弱

71号土坑

層位	色　調	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	φ1～1.5cm極微	少　量		有	弱
2	暗褐色	φ2～3cm少量	微　量		有	弱
3	暗褐色	φ2～3cm少量	微　量	少　量	有	弱
4	暗褐色	φ2～5cmまばら	極微量		有	弱
5	暗褐色		極々微量	まばら	有	弱
6	暗黄褐色		極々微量	多　量	有	弱

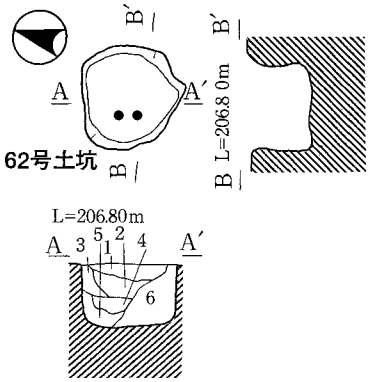
0　2m

第70図　53～60・68・69・71号土坑



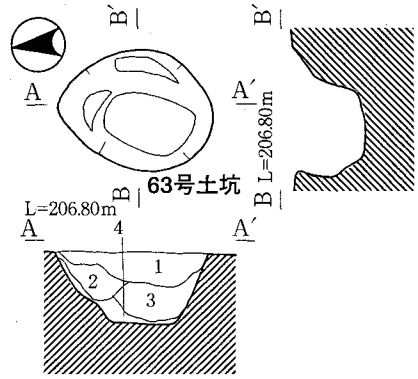
61号土坑

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	褐色	密			極々微量			有	弱
2	暗褐色	微量		少量φ2～3cm	極微量	極々微量		有	弱
3	褐色	多量	まばらφ2～3cm		極々微量			有	弱
4	暗褐色	少量	微量φ1cm	少量φ2～4cm	極微量	極々微量		有	弱
5	暗褐色	微量			微量	極々微量		有	弱
6	暗褐色	少量		微量φ1cm	極微量	極々微量		有	弱
7	暗褐色	微量				極微量		有	弱
8	暗褐色	まばら						有	弱
9	暗褐色	まばら					まばら	有	弱
10	褐色	多量	少量φ1cm					有	弱



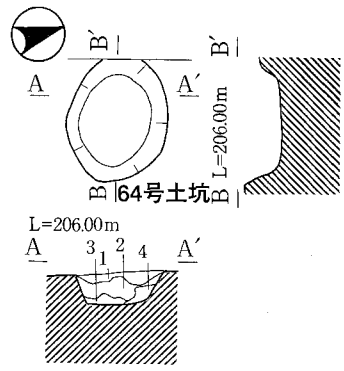
62号土坑

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			微量φ1～2cm	微量		有	弱
2	暗褐色			微量φ1～2cm	極微量		有	弱
3	暗褐色	まばら	φ2cm少量		極々微量		有	弱
4	暗褐色			まだらに微量			有	弱
5	暗褐色					極々微量	有	弱
6	暗褐色	礫φ6～26cmまだらに入る					有	弱



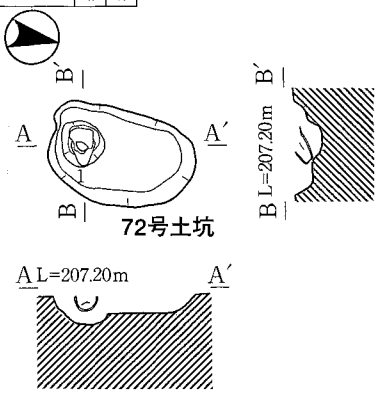
63号土坑

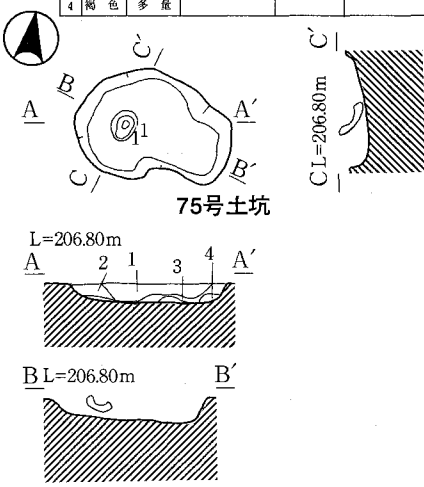
層位	色調	ローム粒子	暗褐色土ブロック	白色軽石粒子	炭化材	締まり	粘性
1	暗褐色		φ2～8cmまばら	極微量	φ0.3～1cm極微量	有	弱
2	暗褐色	微量		極々微量		有	弱
3	暗褐色		φ2～3cm少量			有	弱
4	褐色	多量				有	弱



64号土坑

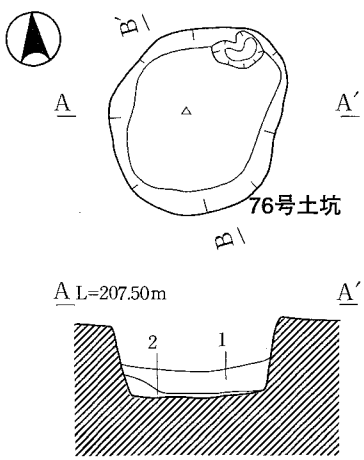
層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	極暗褐色	極微量	φ1cm極々微量	まばら	有	弱
2	暗褐色	微量		少量	有	弱
3	暗褐色	極微量		極微量	有	弱
4	褐色	極微量		極微量	有	弱





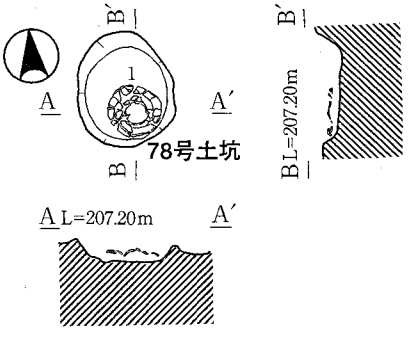
75号土坑

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量		少量	有	弱
2	暗褐色	まばら		微量	有	弱
3	暗褐色	少量	φ0.5～1.5cm少量	微量	有	弱
4	暗褐色	まばら	φ0.5～1.5cm少量	極微量	有	弱



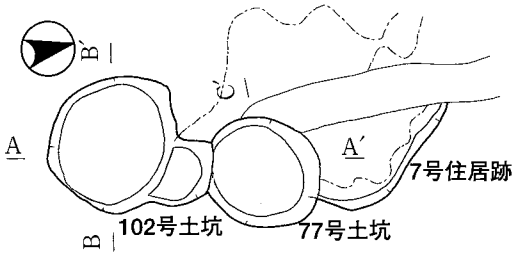
76号土坑

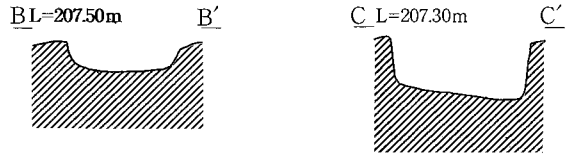
層位	色調	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	有	弱
2	褐色	多量	有	弱



0 2m

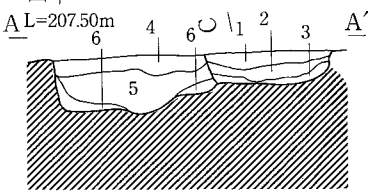
第71図　61～64・72・75・76・78号土坑

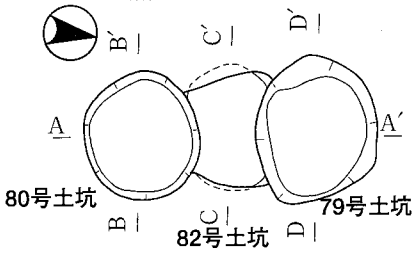


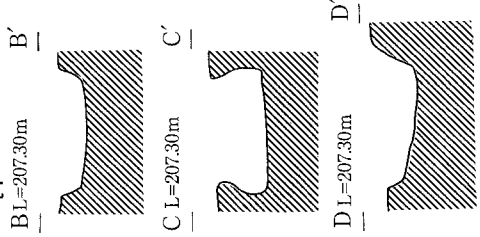


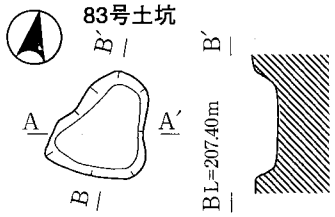
77、102号土坑

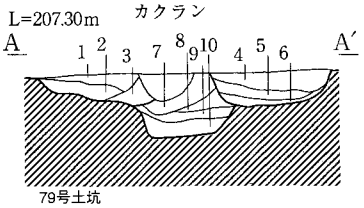
層位	色調	白色軽石粒子	白色軽石	ローム粒子	ロームブロック	黄褐色軽石粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色								
2	暗褐色								
3	暗褐色								
4	暗褐色	極々微量		少量			まだらにまばら	有	弱
5	暗褐色	少量	φ0.8cm極々微量	少量	φ1～2cm極々微量	極々微量	まだらに少量	有	弱
6	暗褐色							有	弱











80号土坑　79、82に比べ全体に良く締まっている。

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	多量	有	弱
3	暗褐色		少量	有	弱

82号土坑　79、80に比べ全体に締まりが弱め

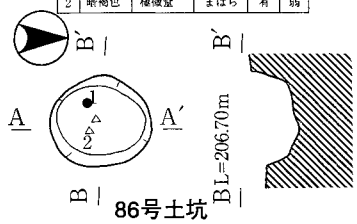
層位	色調	白色軽石粒子	暗褐色土ブロック	角礫	締まり	粘性
7	暗褐色	微量	φ1～3cm少量	φ3cm程1点	有	弱
8	暗褐色	極微量	φ1～3cmまばら		有	弱
9	暗褐色	極々微量	φ1～3cmまばら		有	弱
10	暗褐色	極々微量	ローム粒子密　炭化粒子極微量		弱	弱

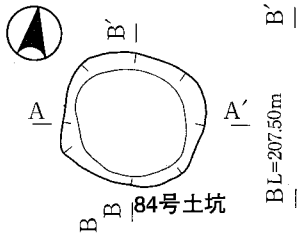
79号土坑

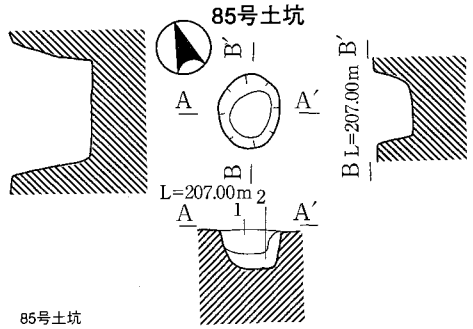
層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
4	暗褐色	少量	少量	有	弱
5	暗褐色	極微量	微量	有	弱
6	暗褐色		まばら	有	弱

83号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	まばら	有	弱





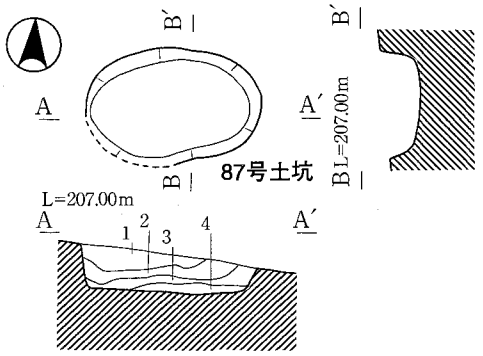


85号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	極々微量	微量	有	弱
2	暗褐色		極々微量	多量	有	弱

84号土坑

層位	色調	ローム粒子	ロームブロック	白色軽石粒子	暗褐色土	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	φ2cm極々微量	少量		極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量		極微量	まだらにまばら		有	弱
3	暗褐色				まだらに多量	極々微量	有	弱



86号土坑

層位	色調	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色		まだらに少量	φ1cm程1点	まだらに少量	有	弱
2	暗褐色		まばら	φ0.5cm極微量		有	弱
3	暗褐色	極々微量	微量			有	弱
4	暗褐色		多量			有	弱

87号土坑

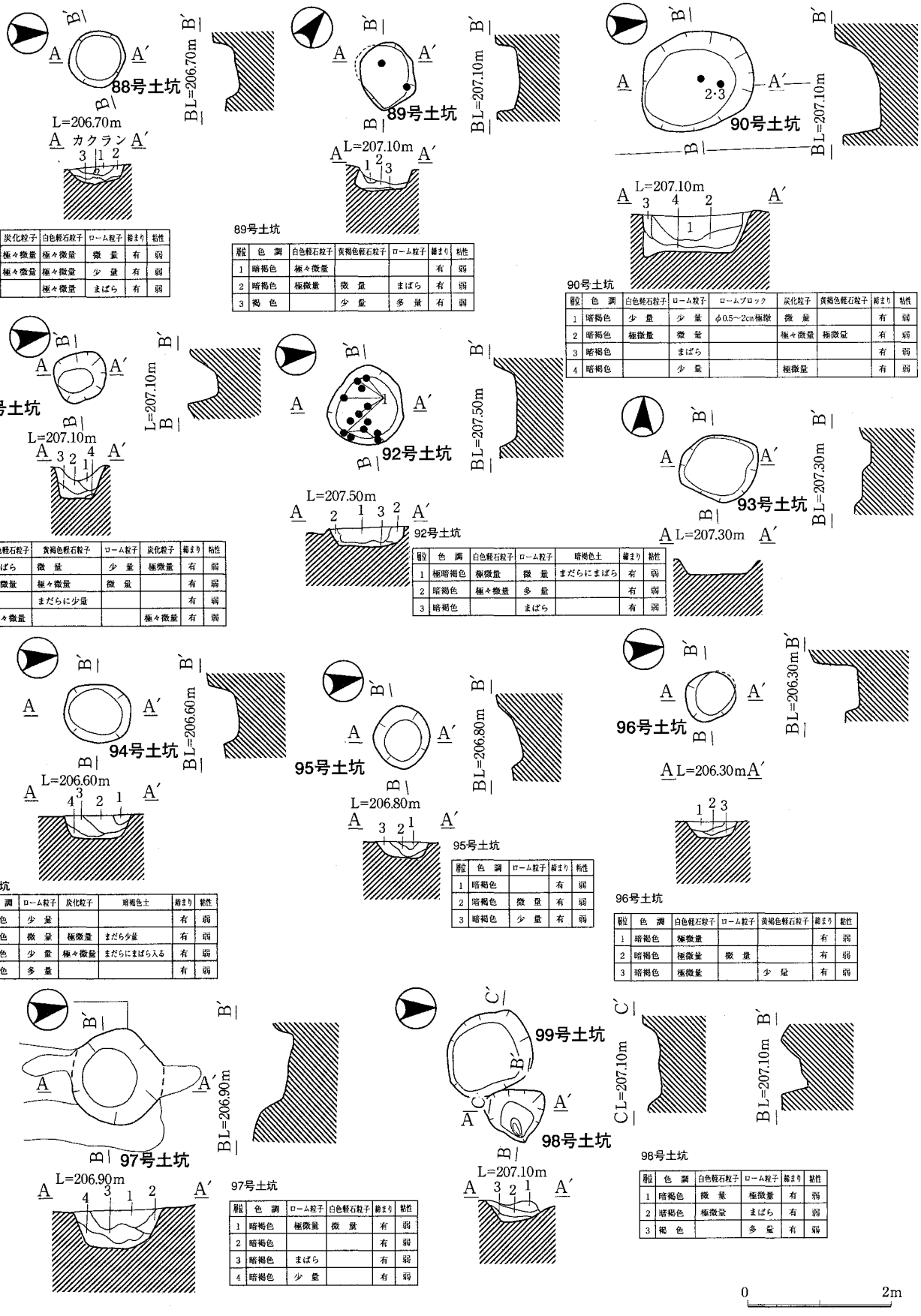
層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	褐色土	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	少量	極微量	まだらに少量		有	弱
2	暗褐色		少量		まだらにまばら		有	弱
3	暗褐色		極微量		まだらに微量	まばら	有	弱
4	暗褐色					多量	有	弱

0　2m

第72図　77・79・80・82～87・102号土坑

表58　土坑一覧表（３）

番号	遺構 (m)						遺物 (kg)				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
89	E－3	円形	鍋底	0.92	0.84	0.30	0.30	－	深鉢３点	黒浜	
90	E－3	楕円形	鍋底	1.53	1.40	0.58	1.53	0.05	深鉢４点	黒浜	
91	E－3	円形	逆台形	0.73	0.69	0.43	0.08	0.01		黒浜	
92	F－2	円形	鍋底	1.12	1.03	0.25	1.91	0.02	深鉢１点	黒浜	
93	E・F－2	円形	皿状	0.69	0.59	0.20	－	－		－	
94	F－3	円形	皿状	0.95	0.84	0.30	0.12	－		黒浜	
95	F－3	円形	皿状	0.92	0.82	0.20	0.08	－		黒浜	
96	F－3	円形	鍋底	0.70	0.68	0.62	0.16	－		黒浜	
97	B－3	円形	逆台形	1.35	1.30	0.40	0.13	0.08	浅鉢１点　深鉢１点	諸磯ｂ	
98	E－3	不整形	逆台形	0.87	0.74	0.29	－	－		－	ピット有り
99	E－3	円形	皿状	1.20	1.16	0.23	0.03	0.01		諸磯カ	
100	D－3	楕円形	皿状	0.80	0.60	1.50	0.02	－		諸磯ａカ	
101	B－2	円形	皿状	1.10	1.10	0.28	－	－		－	
102	F－2	円形	鍋底	1.50	1.33	0.60	－	－		－	
103	欠番										
104	欠番										
105	C－4	楕円形	U字	1.20	－	0.30	0.33	0.02		諸磯ｂ	125→105→106
106	C－4	不整形	皿状	1.20	－	0.32	1.34	0.04	深鉢２点	黒浜	４基重複　最も古
107	C－5	楕円形	逆台形	1.50	1.30	0.40	－	－		－	
108	B・C－5	不整形	逆台形	1.60	1.00	0.50	0.02	0.01		黒浜	
109	C－5	楕円形	逆台形	0.62	0.50	0.23	0.05	0.02	深鉢１点	黒浜	
110	C－4	不整形	逆台形	1.30	－	0.38	0.15	0.04	深鉢１点	諸磯ａ	
111	C－5	不整形	フラスコ	1.05	0.87	0.60	0.10	－	深鉢１点	有尾	
112	C－4	不整形	－	0.95	0.95	－	－	－		－	
113	D-1 E-1·2	円形	鍋底	3.40	3.35	0.53	1.25	0.31	軽石１点	諸磯ｂ	ピット有り
114	E－2	楕円形	皿状	1.90	1.65	0.27	－	－		－	
115	E－1	楕円形	鍋底	1.95	0.70	0.32	－	0.01		－	
116	F－3	楕円形	皿状	1.45	1.12	0.40	0.25	0.05		黒浜	
117	F－3	不整形	鍋底	0.95	0.75	0.52	0.45	0.07	深鉢２点	黒浜	
118	E－4	円形	浅い鍋底	1.10	－	0.20	0.29	0.01	深鉢１点	黒浜	
119	E－4	円形	フラスコ	0.70	－	0.90	0.19	0.09	深鉢１点	諸磯カ	
120	E・F－4	円形	鍋底	1.35	－	0.49	0.37	0.01	石鏃１点	諸磯ｂ	
121	E－5	円形	鍋底	0.90	－	0.43	0.20	0.78		諸磯カ	
122	E－5	楕円形	鍋底	1.16	1.04	0.49	0.16	0.07		黒浜	
123	D－5	楕円形	鍋底	1.10	－	0.39	0.07	－		黒浜	
124	F－3	不整形	皿状	0.73	0.72	0.20	－	－		－	
125	C－4	不整形	浅い鍋底	1.30	－	0.30	0.21	0.02		黒浜	
126	C－4	楕円形	逆台形	－	1.06	0.70	0.21	－	深鉢１点	関山後半	
127	A・B－3	不整形	U字	1.70	1.50	0.80	0.68	－	深鉢４点	諸磯ａ	
128	D－7	円形	鍋底	1.03	0.95	0.16	0.59	0.03	深鉢３点　スクレイパー１点	黒浜	
129	C－4・5	楕円形	鍋底	1.40	1.13	0.60	0.01	－		黒浜	
130	C－4・5	円形	U字	1.20	1.15	0.33	0.12	－	深鉢１点	黒浜	
131	C－4・5	楕円形	U字	1.25	1.10	0.55	0.01	－		－	
132	C－5	円形	鍋底	0.87	0.75	0.60	0.11	－	深鉢１点	黒浜	
133	C－4	楕円形	フラスコ	1.60	0.72	0.65	0.14	－	深鉢１点	黒浜	
134	D・E－5	円形	鍋底	1.00	0.82	0.30	0.09	－		黒浜	
135	D－5	楕円形	皿状	1.20	0.95	0.20	1.26	－	深鉢２点	黒浜	
136	D－5	円形	U字	0.72	0.71	0.30	0.20	0.02		黒浜	
137	C－4	楕円形	フラスコ	1.20	0.87	0.63	0.30	0.06	深鉢２点	黒浜	
138	C－4	楕円形	フラスコ	1.10	0.85	0.75	0.45	0.11	打製石斧１点　石匙１点	諸磯ａ	
139	C－5	楕円形	U字	0.95	0.80	0.45	0.05	－		諸磯カ	



88号土坑

層位	色調	炭化粒子	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量	極々微量	微量	有	弱
2	暗褐色	極々微量	極々微量	少量	有	弱
3	暗褐色		極々微量	まばら	有	弱

89号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量			有	弱
2	暗褐色	極微量	微量	まばら	有	弱
3	褐色		少量	多量	有	弱

90号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	少量	φ0.5～2cm極微	微量		有	弱
2	暗褐色	極微量	微量		極々微量	極微量	有	弱
3	暗褐色		まばら				有	弱
4	暗褐色		少量		極微量		有	弱

91号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	微量	少量	極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	極々微量	微量		有	弱
3	暗褐色		まだらに少量			有	弱
4	暗褐色	極々微量			極々微量	有	弱

92号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	極暗褐色	極微量	微量	まだらにまばら	有	弱
2	暗褐色	極々微量	多量		有	弱
3	暗褐色		まばら		有	弱

94号土坑

層位	色調	ローム粒子	炭化粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	少量			有	弱
2	暗褐色	微量	極微量	まだら少量	有	弱
3	暗褐色	少量	極々微量	まだらにまばら入る	有	弱
4	褐色	多量			有	弱

95号土坑

層位	色調	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		有	弱
2	暗褐色	微量	有	弱
3	暗褐色	少量	有	弱

96号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量			有	弱
2	暗褐色	極微量	微量		有	弱
3	暗褐色	極微量		少量	有	弱

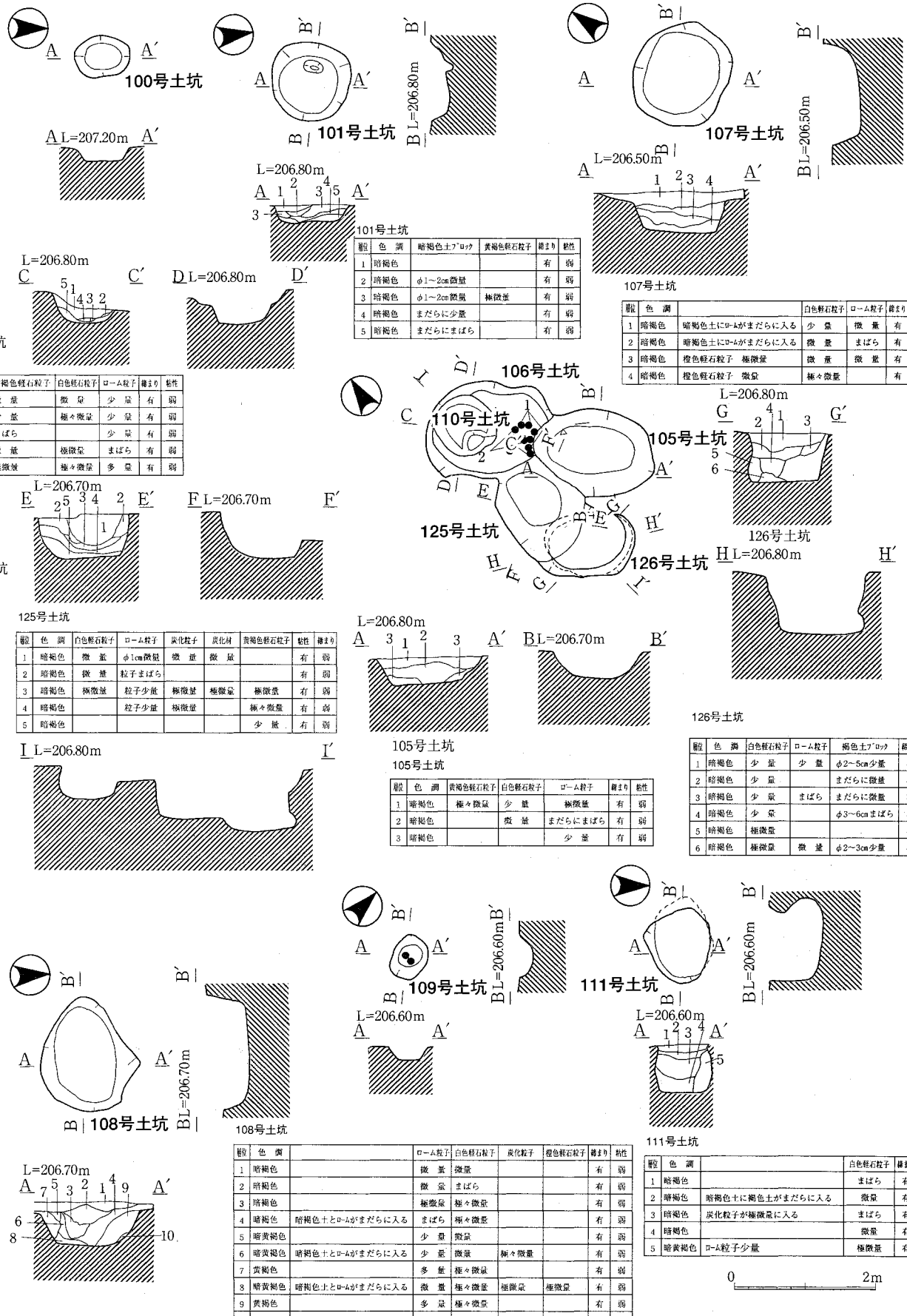
97号土坑

層位	色調	ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微量	有	弱
2	暗褐色			有	弱
3	暗褐色	まばら		有	弱
4	暗褐色	少量		有	弱

98号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	まばら	有	弱
3	褐色		多量	有	弱

第73図　88～99号土坑



層位	色調	暗褐色土ブロック	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色			有	弱
2	暗褐色	φ1～2cm微量		有	弱
3	暗褐色	φ1～2cm微量	極微量	有	弱
4	暗褐色	まだらに少量		有	弱
5	暗褐色	まだらにまばら		有	弱

101号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	暗褐色土にロームがまだらに入る	少量	微量	有	弱
2	暗褐色	暗褐色土にロームがまだらに入る	微量	まばら	有	弱
3	暗褐色	橙色軽石粒子 極微量	微量	微量	有	弱
4	暗褐色	橙色軽石粒子 微量	極々微量		有	弱

107号土坑

層位	色調	黄褐色軽石粒子	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微量	微量	少量	有	弱
2	褐色	少量	極々微量	少量	有	弱
3	褐色	まばら		少量	有	弱
4	褐色	微量	極微量	まばら	有	弱
5	褐色	極微量	極々微量	多量	有	弱

110号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	炭化材	黄褐色軽石粒子	粘性	締まり
1	暗褐色	微量	φ1cm微量	微量	微量		有	弱
2	暗褐色	微量	粒子まばら				有	弱
3	暗褐色	極微量	粒子少量	極微量	極微量	極微量	有	弱
4	暗褐色		粒子少量	極微量		極々微量	有	弱
5	暗褐色					少量	有	弱

125号土坑

層位	色調	黄褐色軽石粒子	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量	少量	極微量	有	弱
2	暗褐色		微量	まだらにまばら	有	弱
3	暗褐色			少量	有	弱

105号土坑

層位	色調	白色軽石粒子	ローム粒子	褐色土ブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	少量	少量	φ2～5cm少量	有	弱
2	暗褐色	少量		まだらに微量	有	弱
3	暗褐色	少量	まばら	まだらに微量	有	弱
4	暗褐色	少量		φ3～6cmまばら	有	弱
5	暗褐色	極微量			有	弱
6	暗褐色	極微量	微量	φ2～3cm少量	有	弱

126号土坑

層位	色調		ローム粒子	白色軽石粒子	炭化粒子	橙色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		微量	微量			有	弱
2	暗褐色		微量	まばら			有	弱
3	暗褐色		極微量	極々微量			有	弱
4	暗褐色	暗褐色土とロームがまだらに入る	まばら	極々微量			有	弱
5	暗黄褐色		少量	微量			有	弱
6	暗黄褐色	暗褐色土とロームがまだらに入る	少量	微量	極々微量		有	弱
7	黄褐色		多量	極々微量			有	弱
8	暗黄褐色	暗褐色土とロームがまだらに入る	微量	極々微量	極微量	極微量	有	弱
9	黄褐色		多量	極々微量			有	弱
10	黄褐色					密	有	弱

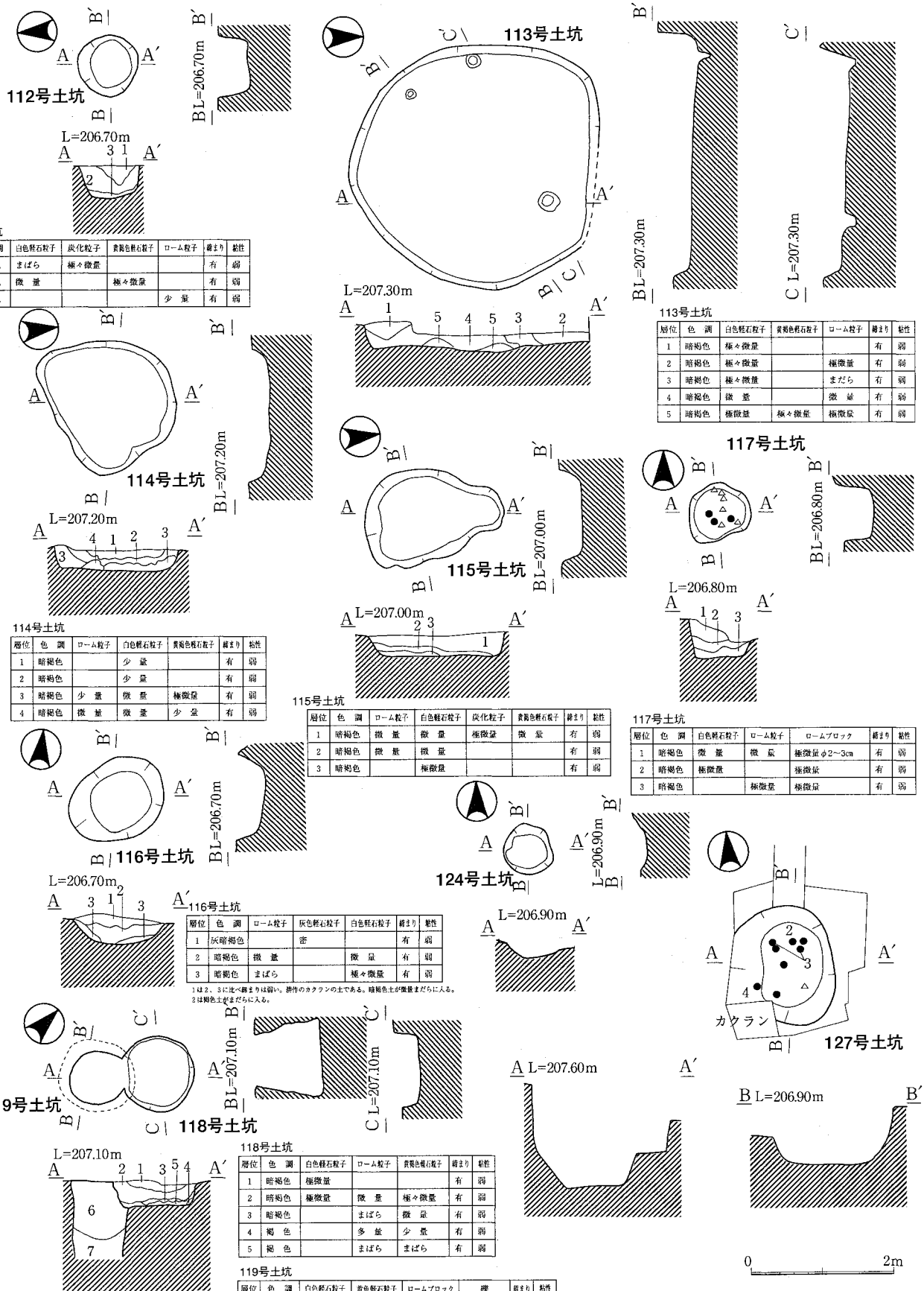
108号土坑

層位	色調		白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		まばら	有	弱
2	暗褐色	暗褐色土に褐色土がまだらに入る	微量	有	弱
3	暗褐色	炭化粒子が極微量に入る	まばら	有	弱
4	暗褐色		微量	有	弱
5	暗黄褐色	ローム粒子少量	極微量	有	弱

111号土坑

0 2m

第74図　100・101・105～111・125・126号土坑



112号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極々微量			有	弱
2	暗褐色	微　量		極々微量		有	弱
3	暗褐色				少　量	有	弱

113号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極々微量			有	弱
2	暗褐色	極々微量		極微量	有	弱
3	暗褐色	極々微量		まだら	有	弱
4	暗褐色	微　量		微　量	有	弱
5	暗褐色	極微量	極々微量	極微量	有	弱

114号土坑

層位	色　調	ローム粒子	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		少　量		有	弱
2	暗褐色		少　量		有	弱
3	暗褐色	少　量	微　量	極微量	有	弱
4	暗褐色	微　量	微　量	少　量	有	弱

115号土坑

層位	色　調	ローム粒子	白色軽石粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	微　量	極微量	微　量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量			有	弱
3	暗褐色		極微量			有	弱

117号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	微　量	極微量 ϕ2～3cm	有	弱
2	暗褐色	極微量		極微量	有	弱
3	暗褐色		極微量	極微量	有	弱

116号土坑

層位	色　調	ローム粒子	灰色軽石粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	灰暗褐色		密		有	弱
2	暗褐色	微　量		微　量	有	弱
3	暗褐色	まばら		極々微量	有	弱

1は2、3に比べ締まりは弱い。耕作のカクランの土である。暗褐色土が微量まだらに入る。
2は褐色土がまだらに入る。

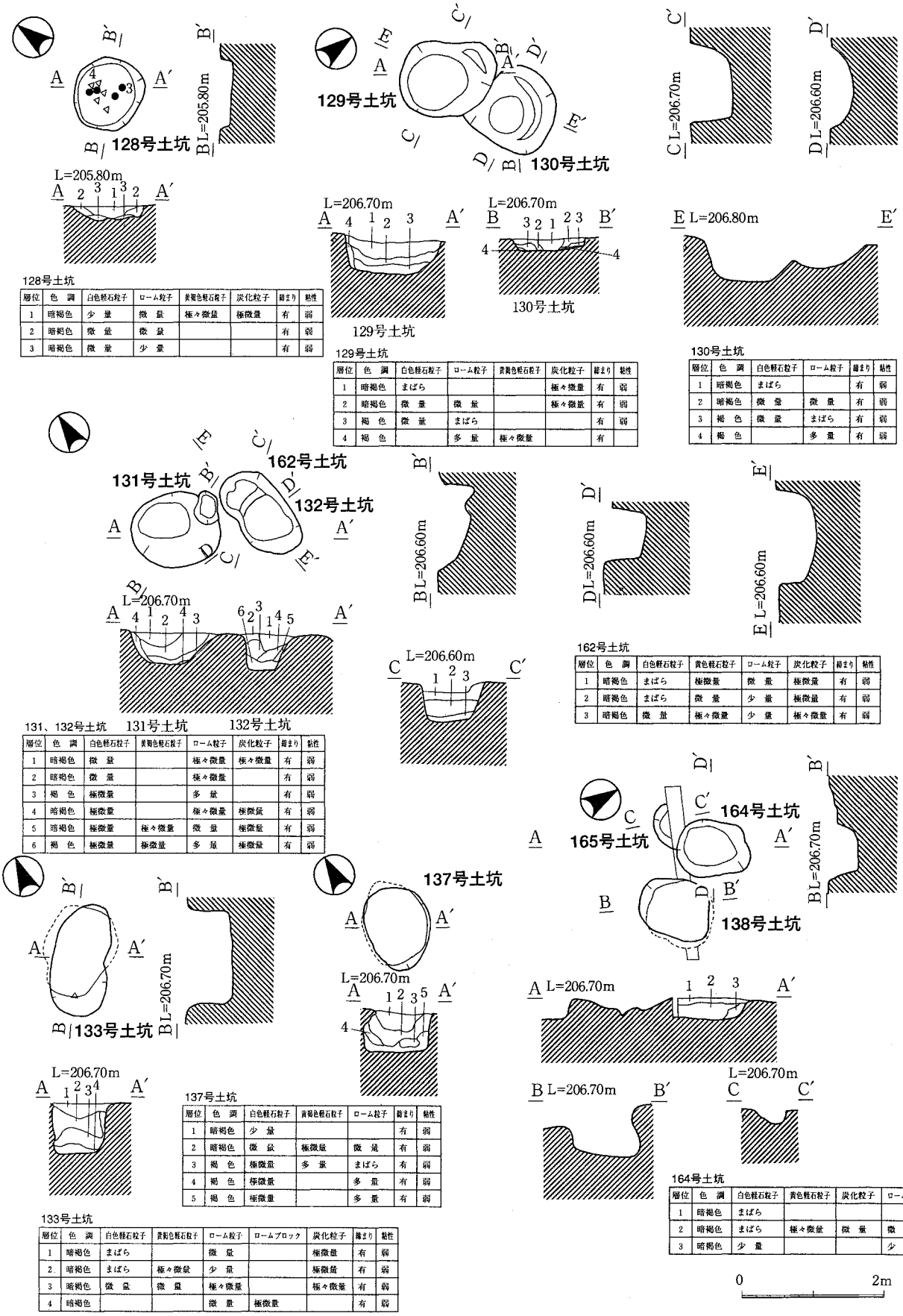
118号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量			有	弱
2	暗褐色	極微量	微　量	極々微量	有	弱
3	暗褐色		まばら	微　量	有	弱
4	褐　色		多　量	少　量	有	弱
5	褐　色		まばら	まばら	有	弱

119号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ロームブロック	礫	締まり	粘性
6	暗褐色	微　量	極々微量	ϕ1cm微量	ϕ2～3cm	有	弱
7	暗褐色	微　量	極々微量	ϕ2～3cm微量	微量	有	弱

第75図　112～119・124・127号土坑



128号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	微　量	極々微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量			有	弱
3	暗褐色	微　量	少　量			有	弱

129号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	黄褐色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら			極々微量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量		極々微量	有	弱
3	褐　色	微　量	まばら			有	弱
4	褐　色		多　量	極々微量		有	

130号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量	有	弱
3	褐　色	微　量	まばら	有	弱
4	褐　色		多　量	有	弱

131、132号土坑　131号土坑　132号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量		極々微量	極々微量	有	弱
2	暗褐色	微　量		極々微量		有	弱
3	褐　色	極微量		多　量		有	弱
4	暗褐色	極微量		極々微量	極微量	有	弱
5	暗褐色	極微量	極々微量	微　量	極微量	有	弱
6	褐　色	極微量	極微量	多　量	極微量	有	弱

162号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極微量	微　量	極微量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量	少　量	極微量	有	弱
3	暗褐色	微　量	極々微量	少　量	極々微量	有	弱

137号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量			有	弱
2	暗褐色	微　量	極微量	微　量	有	弱
3	褐　色	極微量	多　量	まばら	有	弱
4	褐　色	極微量		多　量	有	弱
5	褐　色	極微量		多　量	有	弱

133号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		微　量		極微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	極々微量	少　量		極微量	有	弱
3	暗褐色	微　量	微　量	極々微量		極々微量	有	弱
4	暗褐色			微　量	極微量		有	弱

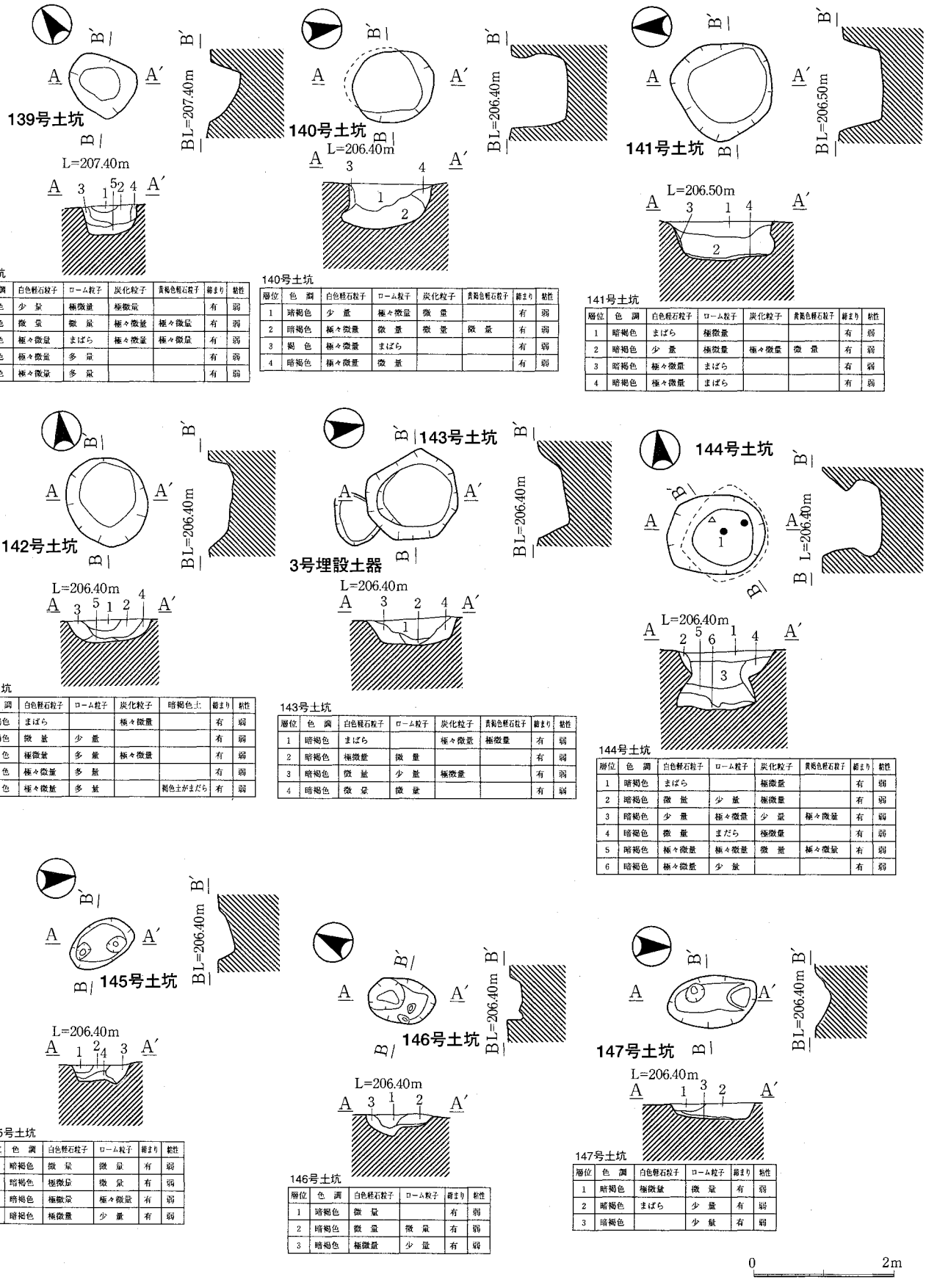
164号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら				有	弱
2	暗褐色	まばら	極々微量	微　量	微　量	有	弱
3	暗褐色	少　量			少　量	有	弱

第76図　128～133・137・138・162・164・165号土坑

表59　土坑一覧表（4）

番号	遺構 (m)						遺物 (kg)				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
140	C－5	楕円形	フラスコ	1.18	1.02	0.62	0.28	0.01	深鉢1点	黒浜	
141	C－5	不整形	鍋底	1.46	1.41	0.58	0.33	0.66		黒浜	
142	C－5	楕円形	逆台形	1.28	1.15	0.37	0.52	0.12		黒浜	
143	C－5	不整形	逆台形	1.77	1.24	0.43	－	－		－	
144	C－6	楕円形	フラスコ	1.42	1.13	0.87	2.06	0.04	深鉢3点	黒浜	
145	C－6	楕円形	U字	0.94	0.60	0.24	－	－		－	ピット有り
146	C－6	楕円形	逆台形	0.97	0.63	0.23	0.05	0.01		黒浜	ピット有り
147	C－6	楕円形	逆台形	1.30	0.78	0.22	0.04	0.01		十三菩提	ピット有り
148	C－6	不整形	鍋底	1.95	－	0.73	0.43	0.04	深鉢3点	黒浜	163土を切る
149	C－6	楕円形	フラスコ	1.36	1.26	0.82	0.55	1.78		黒浜	
150	C・D－6	円形	逆台形	0.92	0.85	0.45	0.01	0.01		－	
151	C－6	不整形	逆台形	2.42	1.93	0.63	1.28	0.05	深鉢2点	黒浜	
152	C－6	不整形	皿状	1.55	－	0.28	3.26	2.16	深鉢2点　打製石斧1点　石皿1点	黒浜	ピット有り
153	D－6・7	円形	逆台形	1.35	1.13	0.32	0.80	0.39		黒浜	ピット有り
154	D－7	円形	フラスコ	1.25	1.20	0.65	0.81	－	深鉢2点	黒浜	ピット有り
155	D－7	楕円形	逆台形	1.79	1.29	0.28	0.01	－		－	ピット有り
156	D－7	円形	鍋底	1.10	0.99	0.67	0.06	0.95	石匙1点	－	
157	D－7	円形	皿状	0.52	0.48	0.17	－	－		－	
158	D－7	円形	皿状	0.90	0.80	0.35	1.32	0.90	深鉢3点	黒浜	
159	D－6・7	不整形	フラスコ	2.48	1.24	0.54	1.16	0.12	深鉢2点	黒浜or関山	ピット有り
160	C－5	不整形	U字	2.00	1.33	0.48	－	－		－	
161	C－5	不整形	逆台形	1.04	0.90	0.52	0.11	0.76		黒浜カ	
162	C－5	円形	－	0.75	0.35	0.53	0.30	0.04	深鉢1点	黒浜	
163	C－6	不整形	逆台形	1.24	－	0.57	1.31	0.08	深鉢2点　錐1点	花積下層カ	ピット有り　148土新
164	C－4	楕円形	逆台形	1.05	0.82	0.45	0.77	0.04	深鉢1点	黒浜	
165	C－4	不整形	U字	－	－	0.20	0.79	－	深鉢2点	諸磯a・b	
166	E・F－5	円形	フラスコ	0.85	0.80	0.60	0.04	0.05		黒浜	
167	E・F－5	円形	皿状	0.67	0.60	0.18	－	－		－	
168	F－5	円形	逆台形	1.40	1.30	0.40	2.16	－	深鉢1点	浮島Ⅰ	
169	E－4	不整形	皿状	1.66	－	0.17	3.69	0.02	深鉢2点	黒浜	
170	E－4	楕円形	鍋底	1.53	1.28	0.42	0.64	0.01	深鉢1点	黒浜	10号住居内
171	C－7	円形	逆台形	1.33	1.31	0.30	0.09	0.01		諸磯b	ピット有り
172	C－7・8	楕円形	鍋底	1.30	－	0.76	0.33	0.01		黒浜	
173	B－7	不整形	逆台形	1.21	1.00	0.21	－	0.01		－	ピット有り
174	C－7	楕円形	逆台形	1.52	1.16	0.40	0.11	0.07		諸磯b	ピット有り
175	F－6	不整形	鍋底	1.38	1.25	0.52	0.54	0.41	砥石1点	黒浜	
176	C－7	不整形	逆台形	0.77	0.37	0.19	－	－		－	ピット有り
177	C－7	楕円形	鍋底	1.90	－	0.45	0.10	2.30		黒浜	
178	C－7	楕円形	鍋底	1.80	－	0.68	1.05	0.25	深鉢2点　打製石斧1点	有尾	
179	C－7	円形	鍋底	1.40	－	0.75	1.08	11.4	打製石斧1点　凹石1点	黒浜	
180	C－7	円形	フラスコ	1.10	1.10	0.80	0.25	0.10	打製石斧1点	諸磯b	
181	C－7	円形	フラスコ	1.10	0.95	0.81	0.18	0.18		黒浜	
182	C・D－6	不整形	逆台形	3.44	1.00	0.42	0.06	0.50		諸磯カ	
183	F－6	楕円形	鍋底	1.79	1.23	0.44	0.88	0.04	深鉢2点　石鏃1点	諸磯a	
184	F－5	不整形	鍋底	0.90	0.82	0.74	0.16	0.01		黒浜	
185	F－6	円形	フラスコ	1.02	1.00	0.50	1.06	0.08	深鉢4点	黒浜	
186	D－6	楕円形	U字	1.00	0.72	0.30	0.84	－	深鉢1点	黒浜	
187	D－6・7	円形	逆台形	1.41	1.32	0.42	0.23	－		黒浜	
188	C－6	楕円形	逆台形	1.60	－	0.60	0.18	0.03		諸磯カ	
189	C－6	楕円形	鍋底	1.20	1.10	0.70	0.95	0.22	深鉢1点	黒浜	
190	C－6	楕円形	鍋底	1.65	1.50	0.50	0.21	0.39		黒浜	



139号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極微量	極微量		有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	極々微量	有	弱
3	褐　色	極々微量	まばら	極々微量	極々微量	有	弱
4	褐　色	極々微量	多　量			有	弱
5	褐　色	極々微量	多　量			有	弱

140号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極々微量	微　量		有	弱
2	暗褐色	極々微量	微　量	微　量	微　量	有	弱
3	褐　色	極々微量	まばら			有	弱
4	暗褐色	極々微量	微　量			有	弱

141号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極微量			有	弱
2	暗褐色	少　量	極微量	極々微量	微　量	有	弱
3	暗褐色	極々微量	まばら			有	弱
4	暗褐色	極々微量	まばら			有	弱

142号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	暗褐色土	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		極々微量		有	弱
2	暗褐色	微　量	少　量			有	弱
3	褐　色	極微量	多　量	極々微量		有	弱
4	褐　色	極々微量	多　量			有	弱
5	褐　色	極々微量	多　量		褐色土がまだら	有	弱

143号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		極々微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	極微量	微　量			有	弱
3	暗褐色	微　量	少　量	極微量		有	弱
4	暗褐色	微　量	微　量			有	弱

144号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	黄褐色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら		極微量		有	弱
2	暗褐色	微　量	少　量	極微量		有	弱
3	暗褐色	少　量	極々微量	少　量	極々微量	有	弱
4	暗褐色	微　量	まだら	極微量		有	弱
5	暗褐色	極々微量	極々微量	微　量	極々微量	有	弱
6	暗褐色	極々微量	少　量			有	弱

145号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	微　量	有	弱
2	暗褐色	極微量	微　量	有	弱
3	暗褐色	極微量	極々微量	有	弱
4	暗褐色	極微量	少　量	有	弱

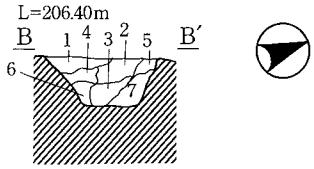
146号土坑

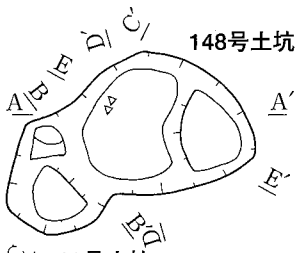
層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量		有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量	有	弱
3	暗褐色	極微量	少　量	有	弱

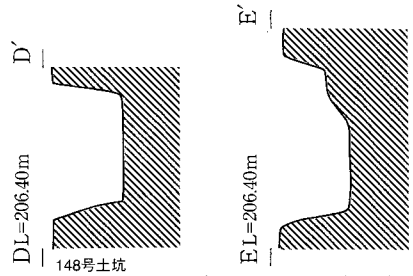
147号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	微　量	有	弱
2	暗褐色	まばら	少　量	有	弱
3	暗褐色		少　量	有	弱

第77図　139～147号土坑

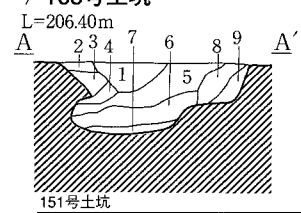






148号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	黄色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極微量		極微量		有	弱
2	暗褐色	少　量					有	弱
3	暗褐色	微　量	まだら	極々微量	極微量		有	弱
4	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	極微量	極々微量	有	弱
5	暗褐色	微　量	極微量		極々微量	極々微量	有	弱
6	暗褐色	極々微量		極微量	極々微量	微　量	有	弱
7	暗褐色		少　量				有	弱
8	暗褐色	微　量	微　量		極々微量	微　量	有	弱
9	暗褐色	微　量	まだら		極々微量	微　量	有	弱

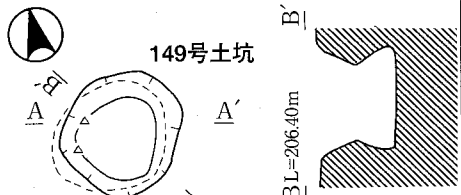


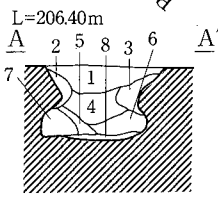
163号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極々微量	極微量	微　量	有	弱
2	暗褐色	少　量				有	弱
3	暗褐色	微　量		極々微量		有	弱
4	暗褐色	少　量			少　量	有	弱
5	暗褐色	少　量		極々微量	少　量	有	弱
6	褐　色	極微量			多　量	有	弱
7	暗褐色	微　量	極々微量		微　量	有	弱

151号土坑

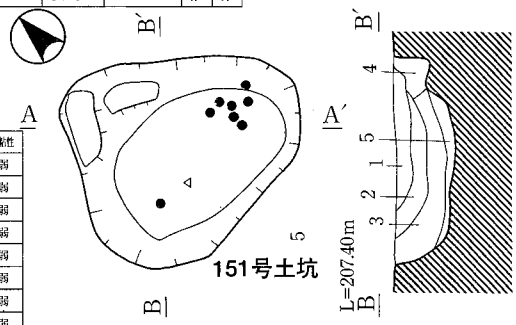
層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量		微　量			有	弱
2	暗褐色	まばら	極微量	微　量	微　量	極微量	有	弱
3	暗褐色	少　量		極々微量	微　量		有	弱
4	褐　色	微　量		極々微量	まばら		有	弱
5	暗褐色	微　量		極々微量			有	弱
6	暗褐色	極微量	多　量		まばら		有	弱

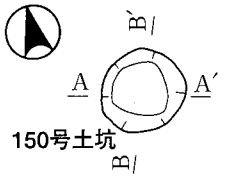




149号土坑

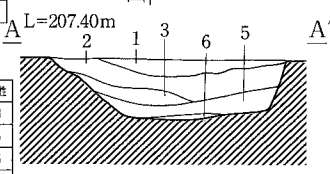
層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極微量	極微量	極々微量		有	弱
2	暗褐色	極微量		極々微量	少　量	微　量	有	弱
3	暗褐色	微量	微　量	微　量	少　量	微　量	有	弱
4	暗褐色	微量	微　量	微　量		極微量	有	弱
5	暗褐色				極微量	極微量	有	弱
6	暗褐色	極微量				極微量	有	弱
7	暗褐色	極微量					有	弱
8	暗褐色	極微量			まばら	微　量	有	弱

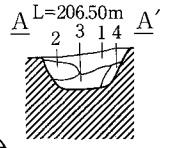


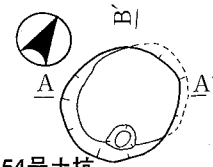


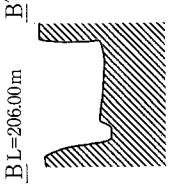
150号土坑

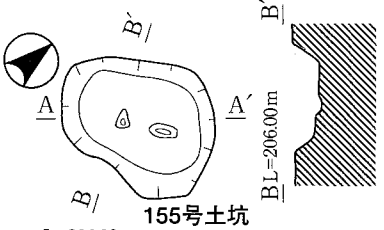
層位	色　調	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極々微量	極微量	有	弱
2	褐　色	微　量	極々微量	まばら	有	弱
3	暗褐色	微　量		極々微量	有	弱
4	褐　色	極微量		多　量	有	弱

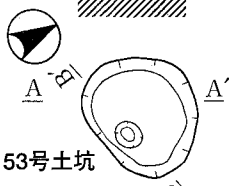


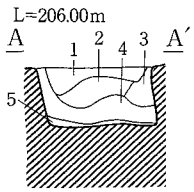


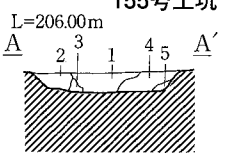


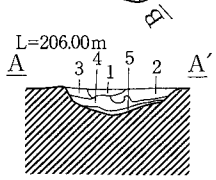












155号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極微量			極微量	有	弱
2	暗褐色	まばら	極々微量				有	弱
3	暗褐色	少　量	極微量	少　量	極微量		有	弱
4	暗褐色	微　量	極微量	微　量		極微量	有	弱
5	暗褐色	微　量					有	弱

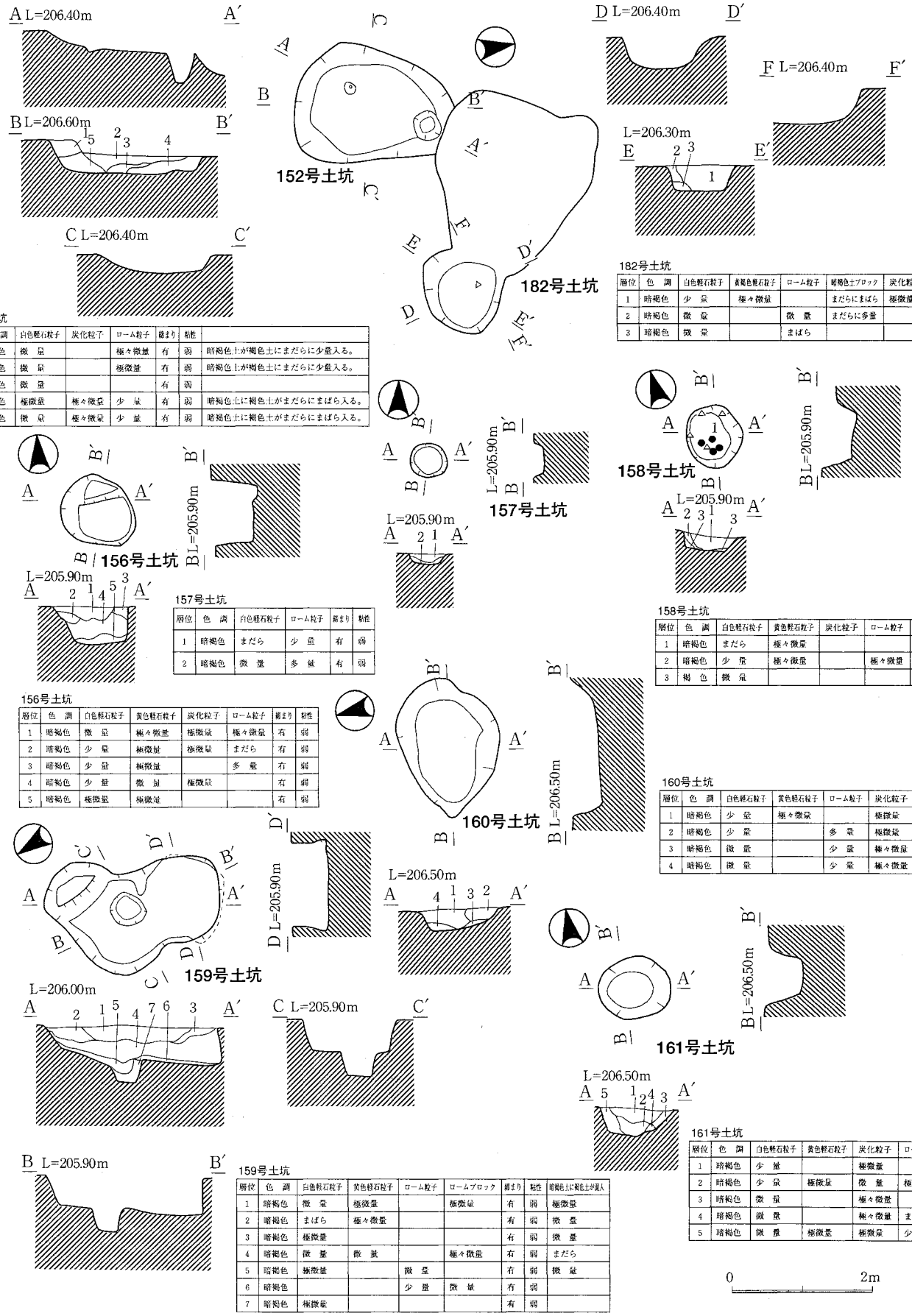
154号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	極々微量	極々微量	極々微量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量		極微量	有	弱
3	暗褐色	少　量	微　量	微　量	極微量	有	弱
4	暗褐色	微　量	極微量		極微量	有	弱
5	暗褐色	極々微量	極微量	まばら		有	弱

53号土坑

位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら			微　量		有	弱
2	暗褐色	まばら	極々微量	極々微量	極微量		有	弱
3	暗褐色	微　量	極々微量				有	弱
4	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	まばら	少　量	有	弱
5	褐　色	極々微量		極々微量	多　量	まばら	有	弱

第78図　148～151・153～155・163号土坑



152号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性	
1	暗褐色	微　量		極々微量	有	弱	暗褐色土が褐色土にまだらに少量入る。
2	暗褐色	微　量		極微量	有	弱	暗褐色土が褐色土にまだらに少量入る。
3	暗褐色	微　量			有	弱	
4	暗褐色	極微量	極々微量	少　量	有	弱	暗褐色土に褐色土がまだらにまばら入る。
5	暗褐色	微　量	極々微量	少　量	有	弱	暗褐色土に褐色土がまだらにまばら入る。

182号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	ローム粒子	暗褐色土ブロック	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極々微量		まだらにまばら	極微量	有	弱
2	暗褐色	微　量		微　量	まだらに多量		有	弱
3	暗褐色	微　量		まばら			有	弱

157号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まだら	少　量	有	弱
2	暗褐色	微　量	多　量	有	弱

158号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	まだら	極々微量				有	
2	暗褐色	少　量	極々微量		極々微量	極々微量	有	
3	褐　色	微　量					有	

156号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	極々微量	極微量	極々微量	有	弱
2	暗褐色	少　量	極微量	極微量	まだら	有	弱
3	暗褐色	少　量	極微量		多　量	有	弱
4	暗褐色	少　量	微　量	極微量		有	弱
5	暗褐色	極微量	極微量			有	弱

160号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極々微量		極微量	有	弱
2	暗褐色	少　量		多　量	極微量	有	弱
3	暗褐色	微　量		少　量	極々微量	有	弱
4	暗褐色	微　量		少　量	極々微量	有	弱

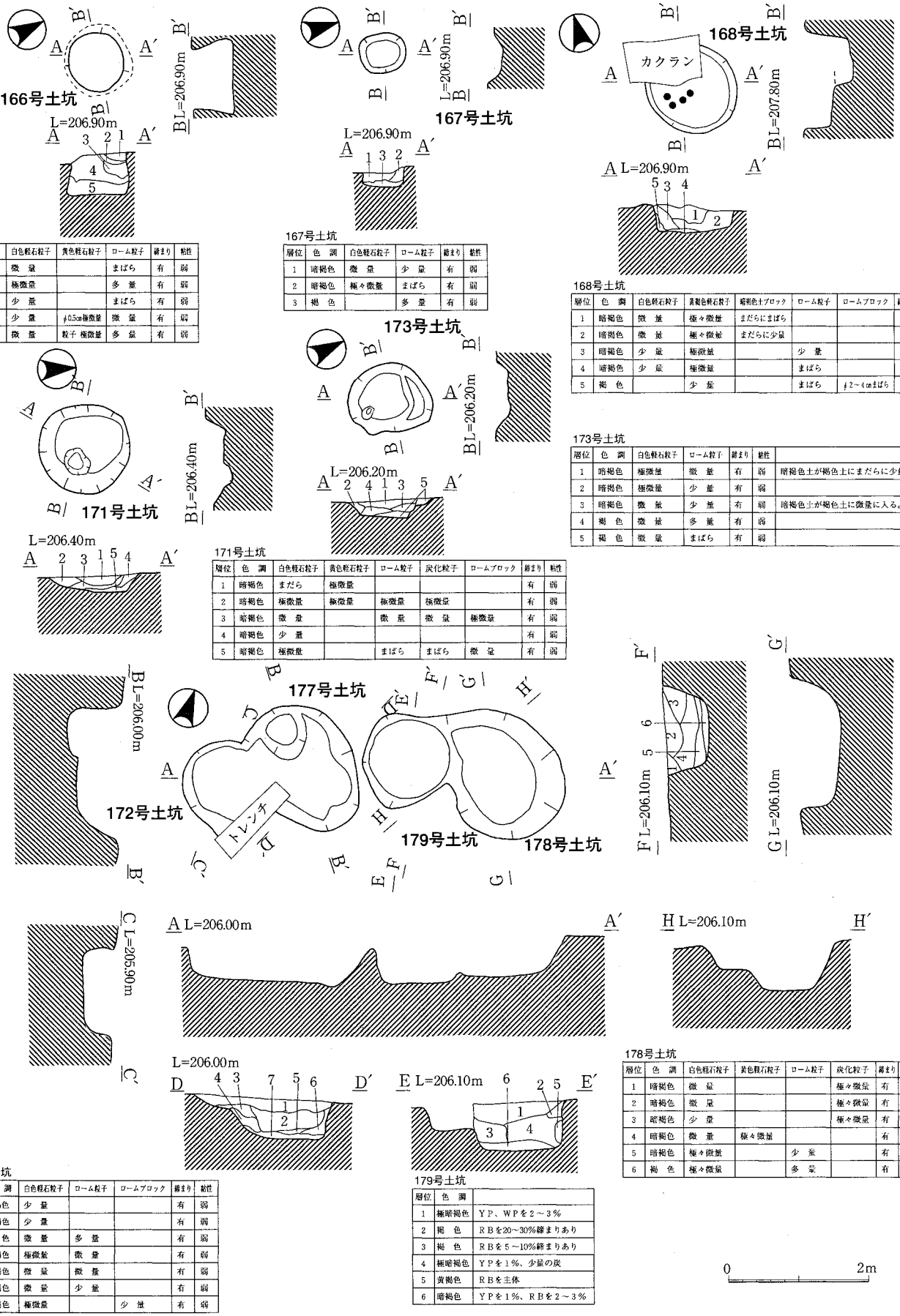
161号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量		極微量		有	弱
2	暗褐色	少　量	極微量	微　量	極微量	有	弱
3	暗褐色	微　量		極々微量		有	弱
4	暗褐色	微　量		極々微量	まばら	有	弱
5	暗褐色	微　量	極微量	極微量	少　量	有	弱

159号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性	暗褐色土に褐色土が混入
1	暗褐色	微　量	極微量		極微量	有	弱	極微量
2	暗褐色	まばら	極々微量			有	弱	微　量
3	暗褐色	極微量				有	弱	微　量
4	暗褐色	微　量	微　量		極々微量	有	弱	まだら
5	暗褐色	極微量		微　量		有	弱	微　量
6	暗褐色			少　量	微　量	有	弱	
7	暗褐色	極微量				有	弱	

第79図　152・156～161・182号土坑



166号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量		まばら	有	弱
2	褐　色	極微量		多　量	有	弱
3	暗褐色	少　量		まばら	有	弱
4	暗褐色	少　量	φ0.5cm極微量	微　量	有	弱
5	褐　色	微　量	粒子 極微量	多　量	有	弱

167号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	少　量	有	弱
2	暗褐色	極々微量	まばら	有	弱
3	褐　色		多　量	有	弱

168号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄褐色軽石粒子	暗褐色土ブロック	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量	極々微量	まだらにまばら			有	弱
2	暗褐色	微　量	極々微量	まだらに少量			有	弱
3	暗褐色	少　量	極微量		少　量		有	弱
4	暗褐色	少　量	極微量		まばら		有	弱
5	褐　色		少　量		まばら	φ2～4cmまばら	有	弱

173号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	締まり	粘性	
1	暗褐色	極微量	微　量	有	弱	暗褐色土が褐色土にまだらに少量入る。
2	暗褐色	極微量	少　量	有	弱	
3	暗褐色	微　量	少　量	有	弱	暗褐色土が褐色土に微量に入る。
4	褐　色	微　量	多　量	有	弱	
5	褐　色	微　量	まばら	有	弱	

171号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	まだら	極微量				有	弱
2	暗褐色	極微量	極微量	極微量	極微量		有	弱
3	暗褐色	微　量		微　量	微　量	極微量	有	弱
4	暗褐色	少　量					有	弱
5	暗褐色	極微量		まばら	まばら	微　量	有	弱

178号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	微　量			極々微量	有	弱
2	暗褐色	微　量			極々微量	有	弱
3	暗褐色	少　量			極々微量	有	弱
4	暗褐色	微　量	極々微量			有	弱
5	暗褐色	極々微量		少　量		有	弱
6	褐　色	極々微量		多　量		有	弱

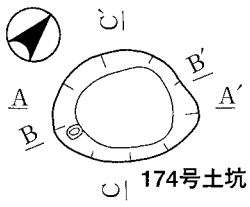
177号土坑

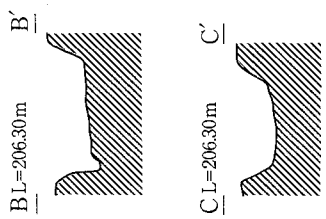
層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量			有	弱
2	暗褐色	少　量			有	弱
3	褐　色	微　量	多　量		有	弱
4	暗褐色	極微量	微　量		有	弱
5	暗褐色	微　量	微　量		有	弱
6	暗褐色	微　量	少　量		有	弱
7	暗褐色	極微量		少　量	有	弱

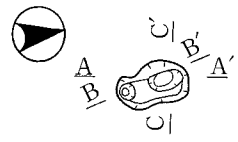
179号土坑

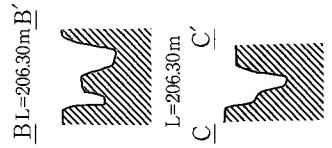
層位	色　調	
1	極暗褐色	YP、WPを2～3%
2	褐　色	RBを20～30%締まりあり
3	褐　色	RBを5～10%締まりあり
4	極暗褐色	YPを1%、少量の炭
5	黄褐色	RBを主体
6	暗褐色	YPを1%、RBを2～3%

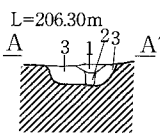
第80図　166～168・171～173・177～179号土坑





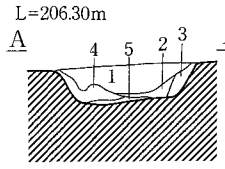






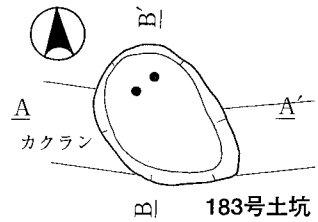
176号土坑

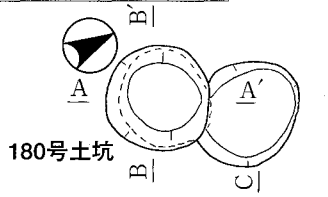
層位	色　調	白色軽石粒子	褐色土ブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	極微量	まだらにまばら	有	弱
2	暗褐色	極微量		有	弱
3	暗褐色		まだらに多量	有	弱

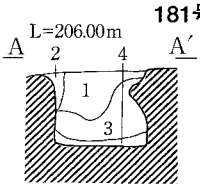


174号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	炭化粒子	黄色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	まばら	微　量		極微量	極々微量	有	弱
2	暗褐色	少　量	微　量		極々微量		有	弱
3	暗褐色	少　量	少　量			極々微量	有	弱
4	暗褐色	極微量	まばら	微　量			有	弱
5	暗褐色	極々微量	まばら	少　量	極微量		有	弱

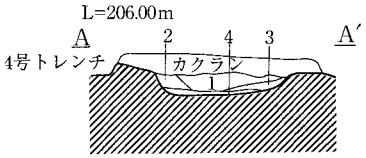






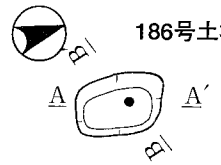
180号土坑

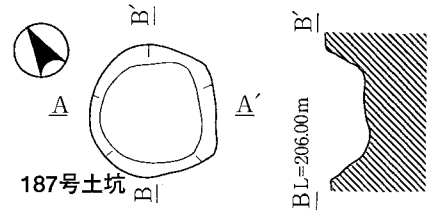
層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量		極々微量	有	弱
2	暗褐色	微　量	微　量		有	弱
3	暗褐色	微　量			有	弱
4	暗褐色	微　量	少　量		有	弱

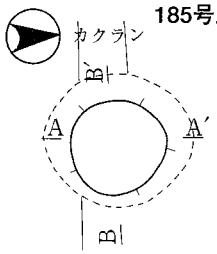


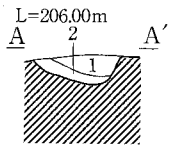
183号土坑

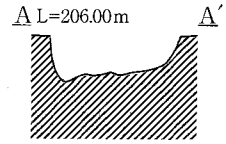
層位	色　調	白色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	微　量			有	弱
2	暗褐色	微　量	極々微量	微　量	少　量	有	弱
3	暗褐色	極微量		微　量	極微量	有	弱
4	褐　色	極々微量		多　量		有	弱





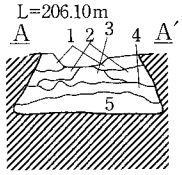


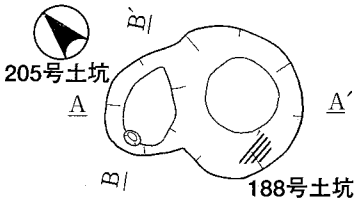


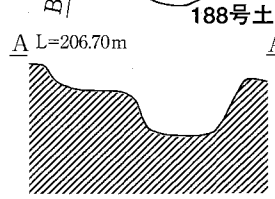


186号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	WPを1％
2	褐　色	φ5～10cm大のロームブロックを5～10%







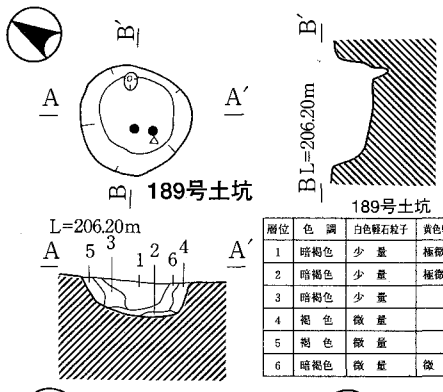
185号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック	黄色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	褐　色	微　量	多　量		極々微量		有	弱
2	暗褐色	微　量	少　量		少　量		有	弱
3	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	少　量	微　量	有	弱
4	暗褐色	微　量	極微量		極微量	極微量	有	弱
5	暗褐色	極微量	微　量		極微量	極々微量	有	弱

第81図　174・176・180・181・183・185～188・205号土坑

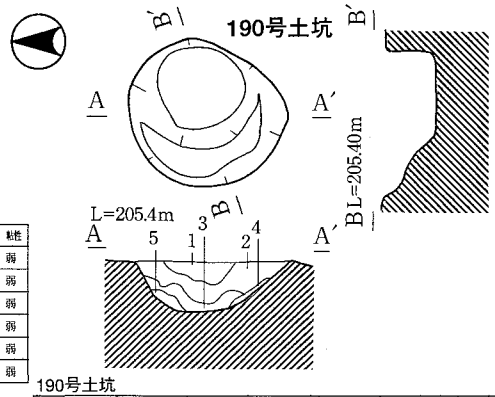
表60　土坑一覧表（5）

番号	遺構 (m)						遺物 (kg)				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
191	D・E－4	円形	逆台形	0.80	0.75	0.47	0.04	－		黒浜	
192	D－5	円形	鍋底	1.67	1.56	0.40	0.17	0.54	錐1点	黒浜	
193	E－4	不整形	皿状	－	1.02	0.16	－	－		－	
194	G－7	円形	鍋底	1.50	1.40	0.43	0.10	0.05		黒浜	
195	F－7	円形	フラスコ	1.10	0.97	0.62	0.04	－		黒浜	
196	F－7	円形	フラスコ	0.95	0.85	0.60	0.53	0.01	深鉢2点	花積下層	
197	F－7	楕円形	U字	1.00	0.55	0.25	－	－		－	
198	F－5	楕円形	U字	2.35	2.20	0.56	－	－		－	
199	F・G－7	楕円形	鍋底	1.80	1.78	0.50	0.09	－		不明	
200	F－7	円形	鍋底	1.20	1.13	0.30	0.05	0.02		黒浜	
201	G－7・8	不整形	鍋底	1.15	0.85	0.36	0.05	－		不明	
202	F－7・8	円形	鍋底	0.82	0.75	0.33	0.05	－		－	
203	F－8	円形	鍋底	0.31	1.29	0.24	－	－		－	
204	F・G－8	楕円形	フラスコ	1.43	1.40	0.65	0.30	0.14	軽石1点	諸磯カ	
205	C－6	楕円形	浅いU字	1.10	－	0.28	0.04	－		黒浜カ	
206	F－6	円形	鍋底	1.20	1.11	0.47	0.26	0.01		黒浜	
207	F－5・6	円形	逆台形	1.24	1.10	0.27	0.10	0.02	石鏃1点	黒浜	ピット有り
208	F－6	円形	逆台形	0.95	0.89	0.25	0.10	0.22		黒浜	
209	F－6・7	円形	逆台形	0.94	0.83	0.48	0.03	0.02	石鏃1点	黒浜	
210	F－6・7	円形	フラスコ	0.80	0.70	0.42	－	－		－	
211	E・F－7	楕円形	皿状	0.86	0.84	0.34	0.06	－		黒浜	ピット有り
212	F－7	不整形	鍋底	1.00	－	0.42	0.10	－		黒浜	
213	E－7	円形	皿状	1.10	1.05	0.16	－	－		－	
214	F－7	円形	皿状	0.96	0.90	0.14	－	－		－	
215	F－7	円形	皿状	0.78	0.78	0.14	－	－		－	
216	F－7・8	円形	逆台形	1.56	1.47	0.42	－	－		－	
217	C－6	不整形	フラスコ	1.52	1.18	0.62	0.32	0.02		諸磯b	
218	C－6・7	不整形	逆台形	1.70	－	0.63	0.77	0.07	深鉢1点　軽石1点	黒浜	236土を切る
219	C－7	不整形	逆台形	1.45	－	0.45	0.05	－		諸磯カ	221土と重複
220	C－7	楕円形	フラスコ	1.72	1.24	0.66	0.51	0.13	深鉢1点	黒浜	ピット有り221が古
221	C－7	不整形	逆台形	1.27	－	0.41	0.08	0.12		諸磯カ	ピット有り219重複
222	C－7	円形	フラスコ	1.33	1.21	0.44	0.24	－		黒浜	173を切る
223	E－6・7	円形	逆台形	0.90	0.76	0.18	－	－		－	
224	E－7・8	円形	逆台形	1.21	1.15	0.30	0.06	－		－	
225	F－8	不整形	皿状	1.17	0.80	0.20	0.07	0.02		黒浜	ピット有り
226	F－6	楕円形	皿状	1.62	1.30	0.20	0.13	－		黒浜	
227	F－8	楕円形	逆台形	1.62	1.27	0.46	0.04	－		黒浜	
228	F－8	楕円形	逆台形	0.69	0.54	0.28	－	－		－	
229	F－8	不整形	鍋底	1.45	1.25	0.70	－	－		－	
230	D－6	円形	鍋底	1.25	1.11	0.55	0.10	－		黒浜	
231	E－7	円形	鍋底	1.55	1.55	0.60	0.42	0.12	スクレイパー1点　軽石1点	黒浜	
232	D－8	不整形	逆台形	1.25	1.10	0.54	0.27	0.03	深鉢3点　石鏃1点	関山	
233	E－6	円形	皿状	1.40	1.35	0.15	0.25	0.55		黒浜	
234	E－6	円形	鍋底	1.13	1.10	0.40	0.40	0.02	深鉢1点	諸磯bカ	掲載遺物は黒浜
235	D－6	不整形	－	－	－	－	1.14	0.07	深鉢4点	黒浜	16号住居内
236	C－7	不整形	逆台形	0.92	－	0.34	0.43	0.01	深鉢3点	黒浜	
237	C－7	不整形	皿状	1.23	－	0.17	1.13	－	深鉢2点	黒浜	
238	E－6	円形	皿状	1.32	1.25	0.28	0.05	0.31		黒浜	
239	E－6	円形	U字	0.75	0.60	0.36	－	－		－	
240	E－7	円形	U字	0.70	0.68	0.40	0.06	0.03	剥片1点	黒浜	
241	E－7	円形	皿状	1.42	1.25	0.18	0.12	0.02		黒浜	



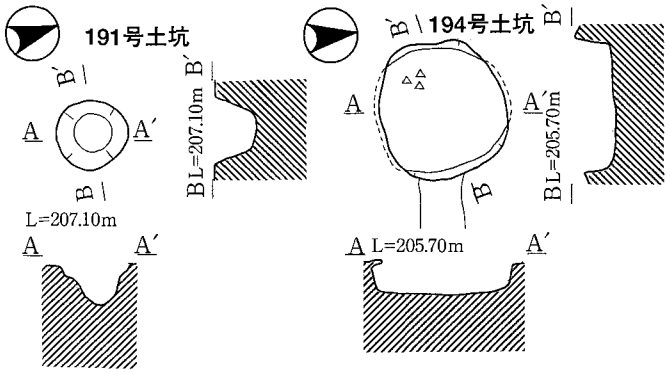
189号土坑

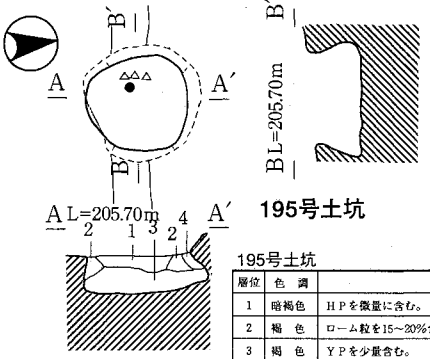
層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性
1	暗褐色	少　量	極微量	微　量	極微量	極微量	有	弱
2	暗褐色	少　量	極微量	極微量	微　量	極微量	有	弱
3	暗褐色	少　量		極微量	微　量		有	弱
4	褐　色	微　量		極々微量	多　量		有	弱
5	褐　色	微　量			多　量		有	弱
6	暗褐色	微　量	微　量	極々微量	少　量		有	弱



190号土坑

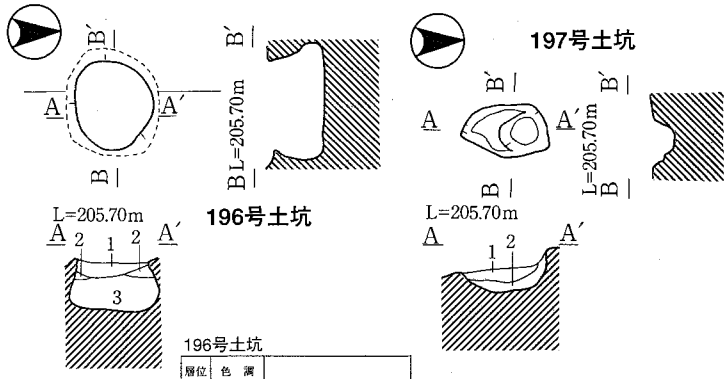
層位	色　調	白色軽石粒子	黄色軽石粒子	炭化粒子	ローム粒子	ロームブロック	締まり	粘性	
1	暗褐色	まばら		極々微量			有	弱	褐色土がまだらに微量
2	暗褐色	まばら	極々微量	極微量	極々微量		有	弱	褐色土がまだらに少量
3	暗褐色	微　量	極々微量		極々微量	極々微量	有	弱	
4	暗褐色	極微量			少　量		有	弱	
5	暗褐色	極微量			少　量		有	弱	





195号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＨＰを微量に含む。
2	褐　色	ローム粒を15～20%含む。
3	褐　色	ＹＰを少量含む。
4	明褐色	細かいロームブロックを主体とする。

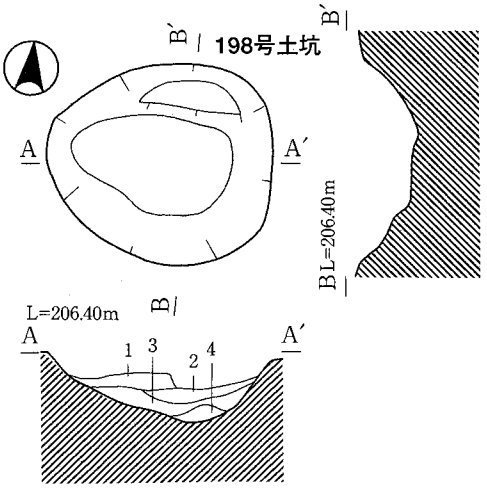


196号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＨＰを微量に含む。
2	褐　色	ローム粒を15～20%含む。
3	褐　色	ＹＰを少量含む。

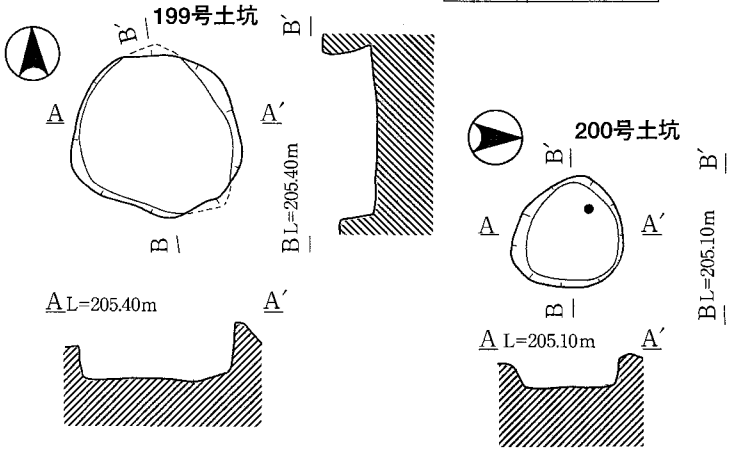
197号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを少量含む。
2	褐　色	ローム粒を含む。

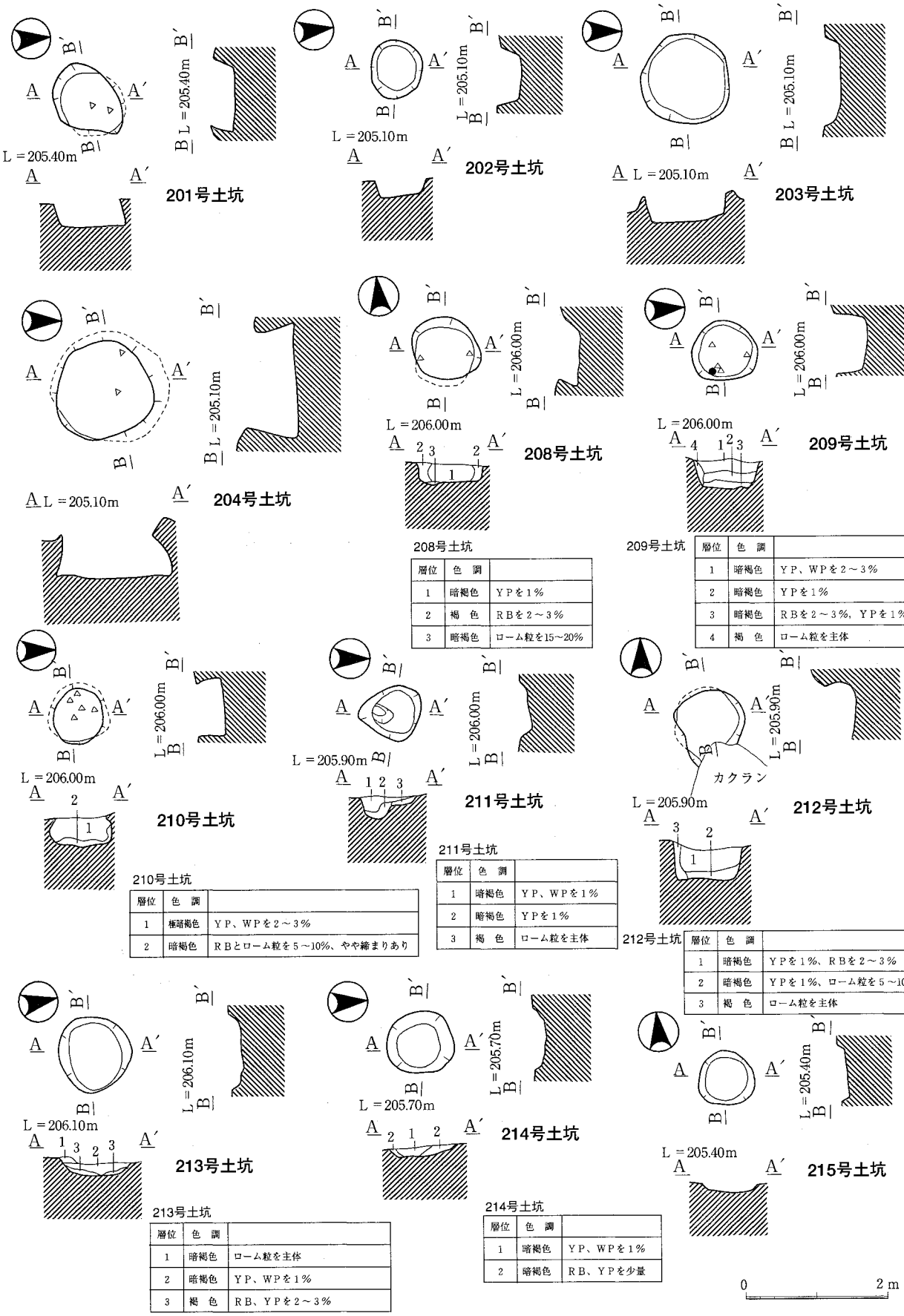


198号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	φ10mm大のロームブロックを２～３%含む。
2	褐　色	φ10～20mm大のロームブロックを15～20%含む。
3	暗褐色	φ10～20mm大のロームブロックを２～３%
4	褐　色	ローム粒を主体とする。



第82図　189～191・194～200号土坑



208号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	YPを1%
2	褐色	RBを2～3%
3	暗褐色	ローム粒を15～20%

209号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	YP、WPを2～3%
2	暗褐色	YPを1%
3	暗褐色	RBを2～3%，YPを1%
4	褐色	ローム粒を主体

210号土坑

層位	色調	
1	極暗褐色	YP、WPを2～3%
2	暗褐色	RBとローム粒を5～10%、やや締まりあり

211号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	YP、WPを1%
2	暗褐色	YPを1%
3	褐色	ローム粒を主体

212号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	YPを1%、RBを2～3%
2	暗褐色	YPを1%、ローム粒を5～10%
3	褐色	ローム粒を主体

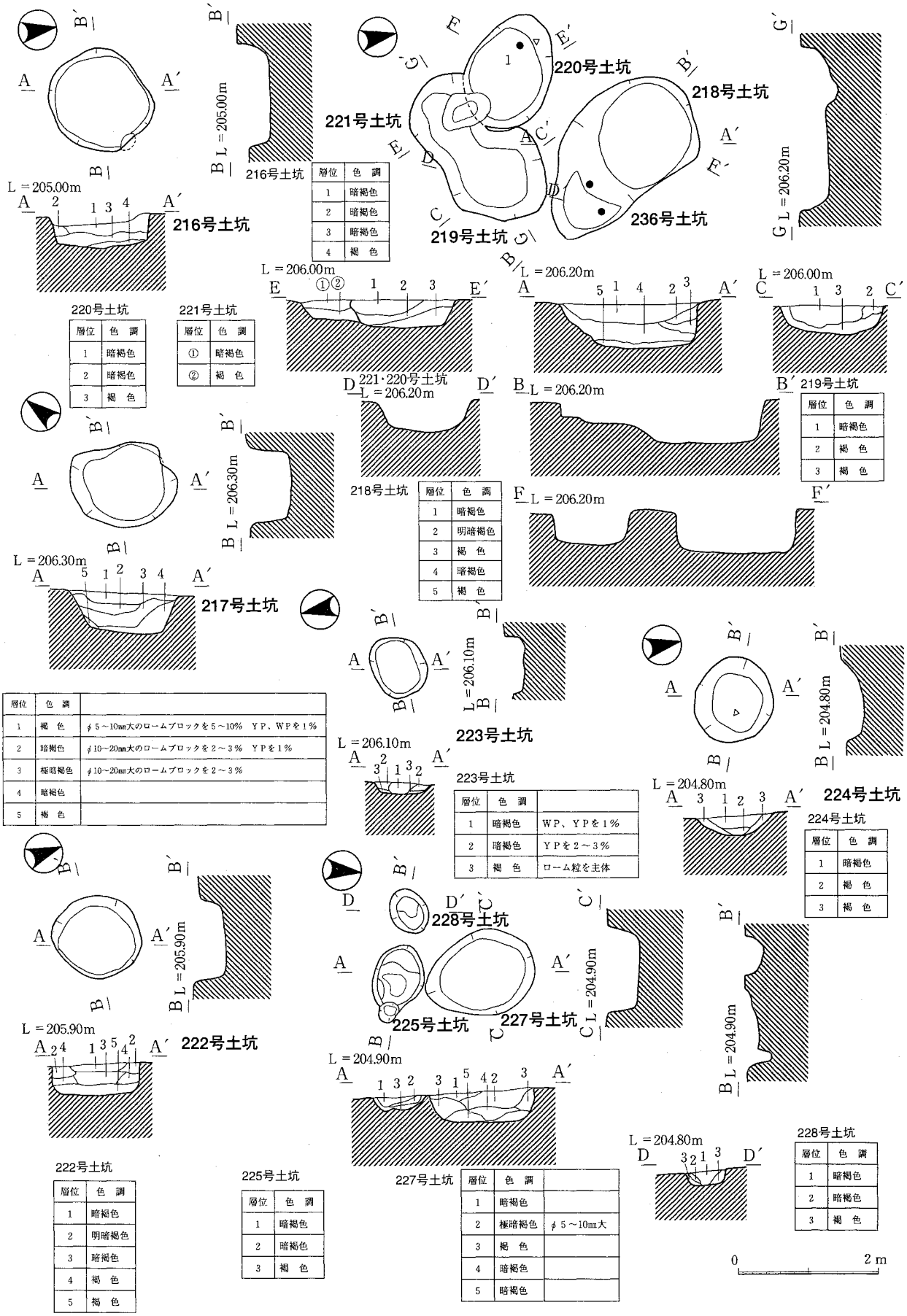
213号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	ローム粒を主体
2	暗褐色	YP、WPを1%
3	褐色	RB、YPを2～3%

214号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	YP、WPを1%
2	暗褐色	RB、YPを少量

第83図　201～204・208～215号土坑



層位	色調
1	暗褐色
2	暗褐色
3	暗褐色
4	褐色

220号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	暗褐色
3	褐色

221号土坑

層位	色調
①	暗褐色
②	褐色

218号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	明暗褐色
3	褐色
4	暗褐色
5	褐色

219号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色
3	褐色

層位	色調	
1	褐色	φ5～10mm大のロームブロックを5～10% YP、WPを1%
2	暗褐色	φ10～20mm大のロームブロックを2～3% YPを1%
3	極暗褐色	φ10～20mm大のロームブロックを2～3%
4	暗褐色	
5	褐色	

223号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	WP、YPを1%
2	暗褐色	YPを2～3%
3	褐色	ローム粒を主体

224号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	褐色
3	褐色

222号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	明暗褐色
3	暗褐色
4	褐色
5	褐色

225号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	暗褐色
3	褐色

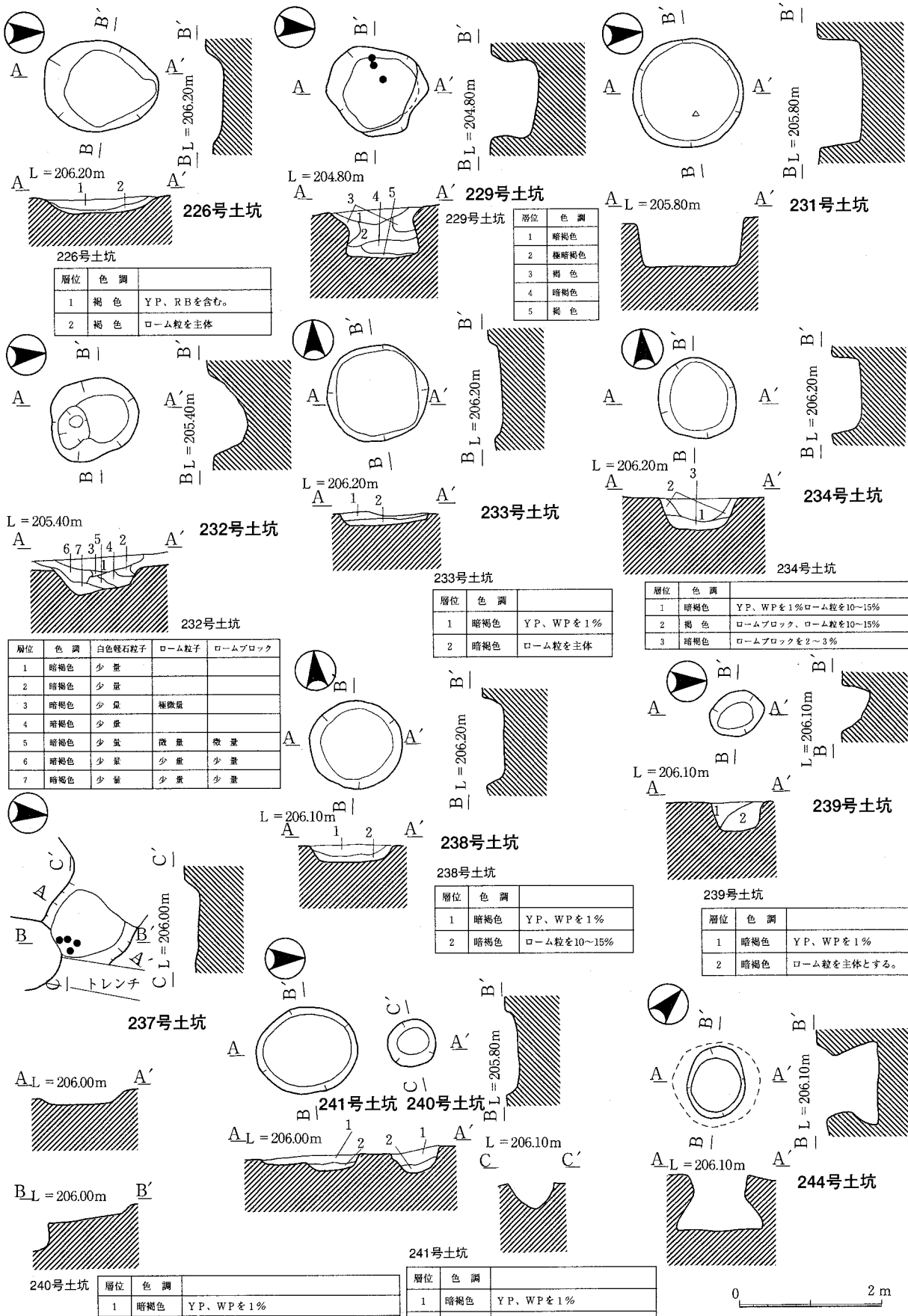
227号土坑

層位	色調	
1	暗褐色	
2	極暗褐色	φ5～10mm大
3	褐色	
4	暗褐色	
5	暗褐色	

228号土坑

層位	色調
1	暗褐色
2	暗褐色
3	褐色

第84図　216～225・227・228・236号土坑



226号土坑

層位	色　調	
1	褐　色	ＹＰ、ＲＢを含む。
2	褐　色	ローム粒を主体

229号土坑

層位	色　調
1	暗褐色
2	極暗褐色
3	褐　色
4	暗褐色
5	褐　色

232号土坑

層位	色　調	白色軽石粒子	ローム粒子	ロームブロック
1	暗褐色	少　量		
2	暗褐色	少　量		
3	暗褐色	少　量	極微量	
4	暗褐色	少　量		
5	暗褐色	少　量	微　量	微　量
6	暗褐色	少　量	少　量	少　量
7	暗褐色	少　量	少　量	少　量

233号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％
2	暗褐色	ローム粒を主体

234号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％ローム粒を10～15％
2	褐　色	ロームブロック、ローム粒を10～15％
3	暗褐色	ロームブロックを２～３％

238号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％
2	暗褐色	ローム粒を10～15％

239号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％
2	暗褐色	ローム粒を主体とする。

240号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％
2	暗褐色	細かいロームブロック、ローム粒を10～15％

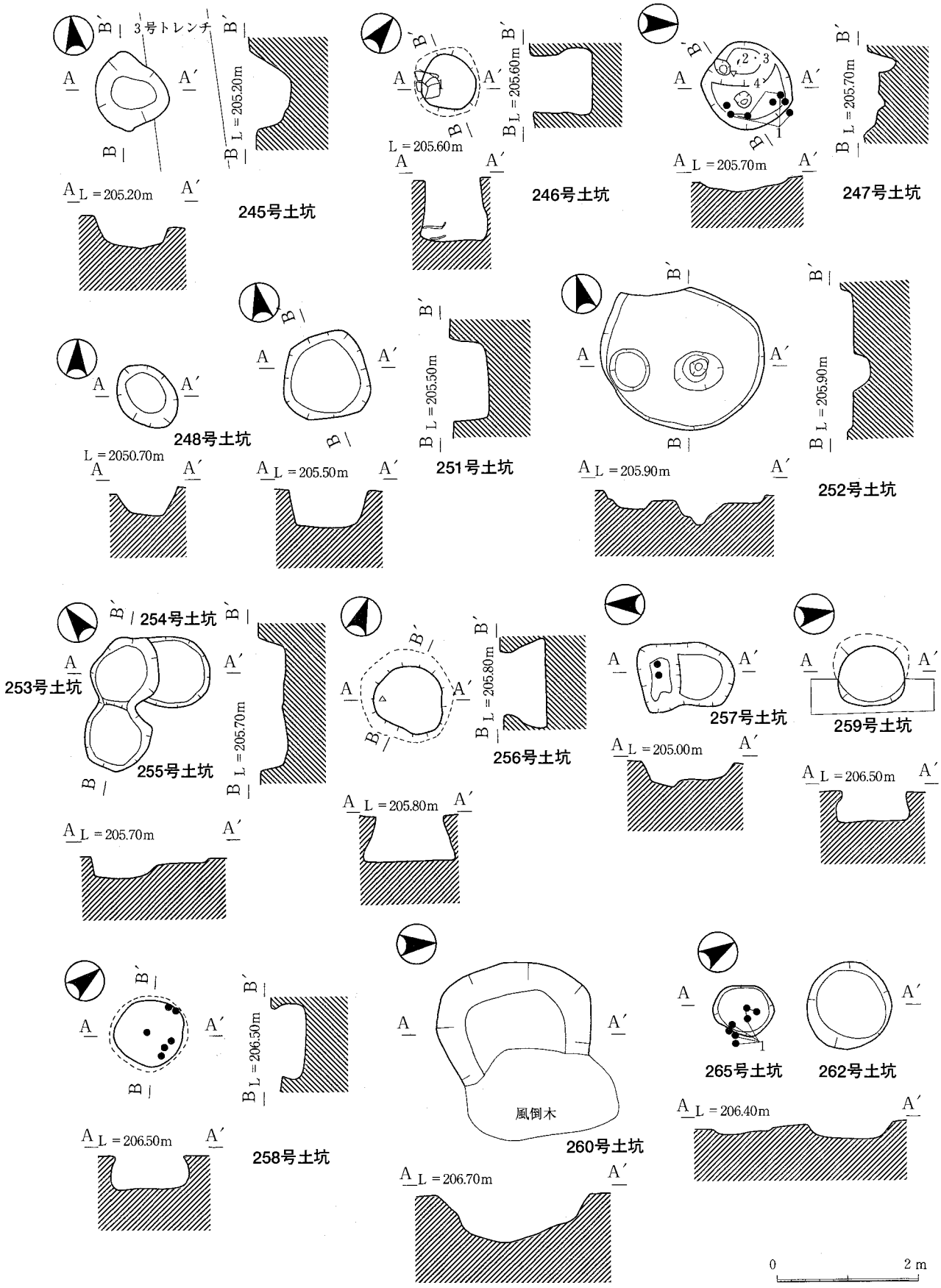
241号土坑

層位	色　調	
1	暗褐色	ＹＰ、ＷＰを１％
2	褐　色	細かいロームブロックを２～３％

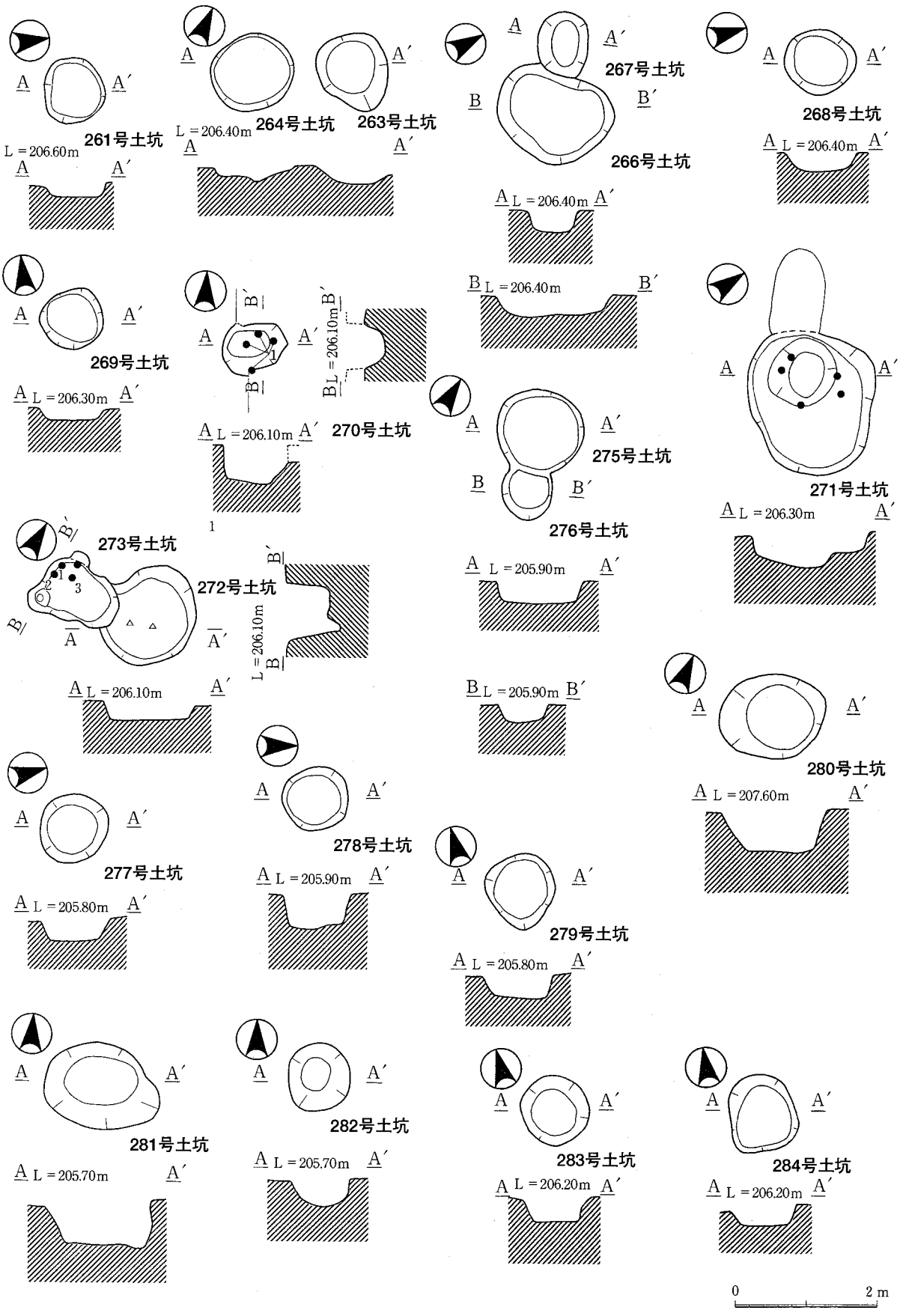
第85図　226・229・231～234・237～241・244号土坑

表61　土坑一覧表（6）

番号	遺構（m）						遺物（kg）				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
242	D－6	楕円形	鍋底	1.27	0.95	0.30	－	－		－	
243	D－6	不整形	鍋底	1.85	1.44		1.93	0.56	深鉢4点　スクレイパー1点　凹石1点	黒浜	
244	E・F－6	楕円形	フラスコ	1.00	0.80	0.60	－	0.02		－	
245	E－8	不整形	逆台形	1.10	1.00	0.45	－	－		－	
246	D－8	円形	フラスコ	0.83	0.80	0.87	2.49	0.06	深鉢2点	黒浜	
247	D－7・8	円形	逆台形	1.27	1.22	0.17	1.85	0.08	深鉢4点	黒浜	ピット有り
248	D－8	楕円形	逆台形	1.05	0.79	0.39	0.12	0.01		黒浜	
249	D－8	円形	フラスコ	1.01	1.00	1.18	4.84	1.00	深鉢4点　小型深鉢1点　スクレイパー1点　打製石斧1点	黒浜	
250	D－6	円形	鍋底	0.95	0.90	0.35	0.48	0.08		黒浜	
251	C－7	円形	逆台形	1.36	1.26	0.54	0.26	－		黒浜	
252	C－7	円形	皿状	1.18	1.03	0.10	0.36	0.29	錐1点	諸磯b	
253	C－8	不整形		1.00	－	0.38	0.31	0.03	浅鉢2点	黒浜	255土と重複
254	C－8	不整形		1.02	－	0.09	－	－		－	253土に切られる
255	C－8	不整形		0.98	－	0.40	－	－		－	253土と重複
256	C－8	不整形	フラスコ	1.04	0.96	0.64	－	－		－	
257	B・C－7	不整形		1.36	0.90	0.37	0.62	－	深鉢1点	黒浜	
258	F－5	円形	フラスコ	1.00	0.96	0.46	0.41	8.35	深鉢1点　石皿1点	黒浜	
259	E－5	不整形	フラスコ	0.92	0.84	0.45	－	0.30		－	
260	E－5	不整形	U字	2.20	－	0.70	0.80	16.6	石匙1点　多孔石1点	阿玉台カ	風倒木有り
261	E－5	円形	皿状	0.90	0.90	0.23	1.43	－	深鉢5点	黒浜	
262	D・E－6	円形	皿状	1.20	1.20	0.25	－	－		－	
263	E－6	不整形	皿状	1.10	1.00	0.20	－	0.04		－	
264	E－6	楕円形	皿状	1.20	1.10	0.10	－	－		－	
265	D・E－6	楕円形	皿状	0.90	0.70	0.10	0.43	0.06	深鉢1点	黒浜	
266	D－6	不整形	皿状	1.70	1.20	0.30	0.03	－		黒浜	
267	D－6	楕円形	浅い鍋底	0.90	0.75	0.30	1.49	1.63	深鉢1点	黒浜カ	
268	D－5・6	円形	皿状	1.00	0.90	0.30	－	－		－	
269	D－6	円形	皿状	0.95	0.85	0.26	－	－		－	
270	D－6	不整形	鍋底	0.85	0.65	0.55	0.50	－	深鉢1点	関山カ	
271	D－6	不整形	逆台形	2.05	1.80	0.40	2.16	6.04	深鉢3点	有尾	
272	C－6	楕円形	逆台形	1.50	－	0.25	0.04	－		黒浜	
273	C－6	不整形	鍋底	1.14	0.74	0.56	1.36	－	深鉢2点　小形深鉢1点	黒浜	
274	D－7	円形	鍋底	1.14	1.12	0.68	0.43	0.01		黒浜	17号住居内
275	B－7	円形	鍋底	1.22	1.22	0.33	0.06	－		黒浜	
276	B－7	円形	鍋底	0.80	0.72	0.27	－	－		－	
277	B－7	円形	逆台形	1.00	0.98	0.33	0.05	－		諸磯b	
278	B－7	円形	鍋底	0.94	0.90	0.50	0.03	－		黒浜	
279	B－7	円形	逆台形	1.10	1.00	0.30	－	－		－	
280	A－7	楕円形	逆台形	1.50	1.18	0.60	0.50	0.10		黒浜	
281	B－6	楕円形	鍋底	1.68	1.23	0.70	0.06	－		黒浜	
282	B－6	円形	U字	1.00	0.95	0.40	0.26	－		黒浜	
283	B－6	円形	逆台形	1.00	1.00	0.32	－	－		－	
284	B－6	円形	逆台形	1.15	1.10	0.24	0.05	－		黒浜	
285	B－5	楕円形	鍋底	0.48	0.40	0.40	0.05	0.02		黒浜	
286	B－5	不整形	鍋底	0.60	0.40	0.40	－	－		－	
287	B－5	不整形	フラスコ	0.95	0.70	0.50	0.08	－		黒浜カ	
288	B－5	楕円形	鍋底	0.98	0.80	0.48	0.03	0.02		黒浜	
289	B－5	円形	逆台形	0.86	0.80	0.40	0.06	0.02		黒浜カ	
290	B－5	楕円形	鍋底	1.00	0.70	0.50	0.20	－		黒浜	
291	C－5	不整形	逆台形	0.76	－	0.33	0.20	0.46		不明	
292	C－5	円形	逆台形	1.08	1.07	0.46	0.35	0.23	深鉢1点	黒浜	



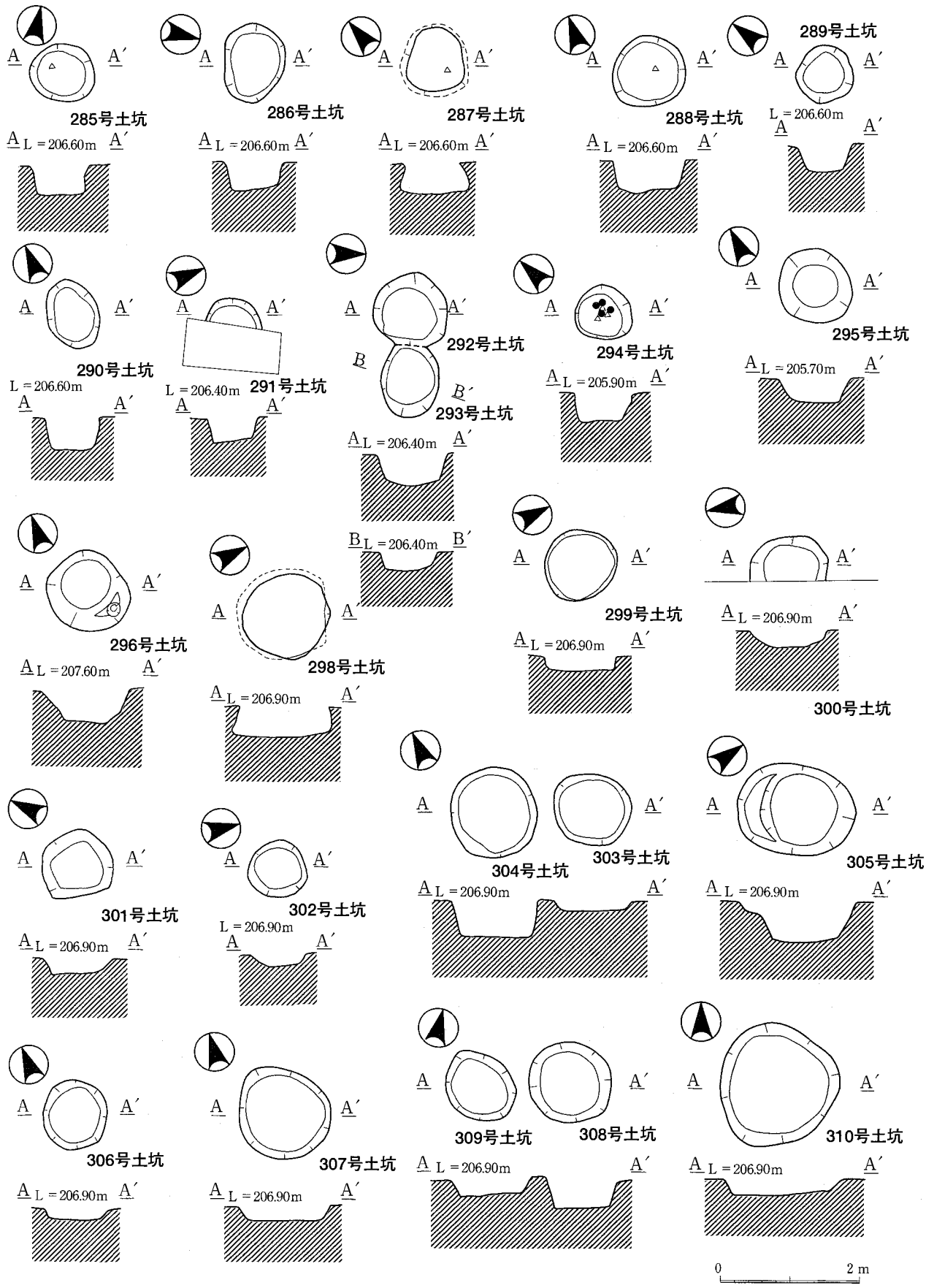
第86図　245～248・251～260・262・265号土坑



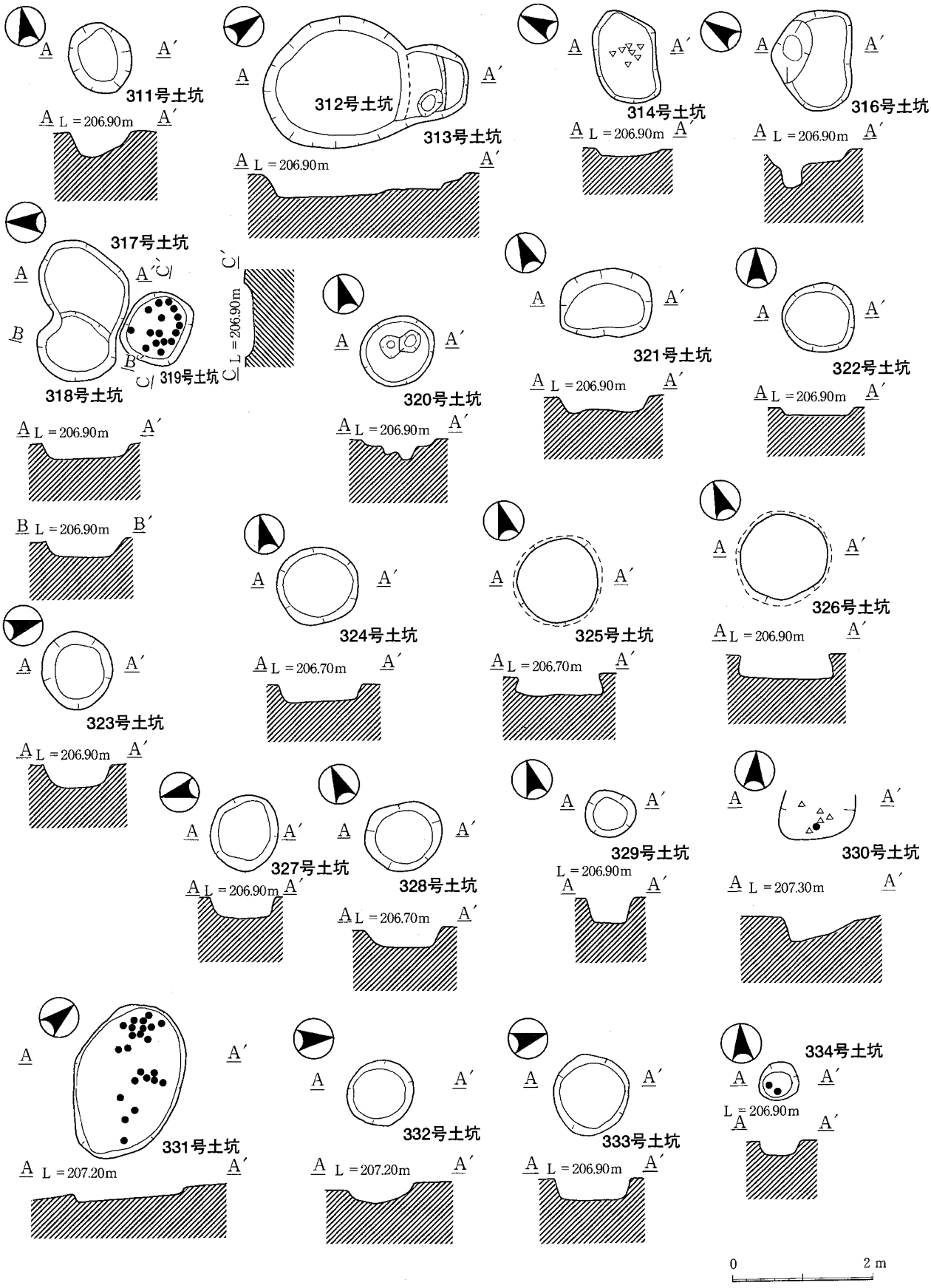
第87図　261・263・264・266～273・275～284号土坑

表62　土坑一覧表（7）

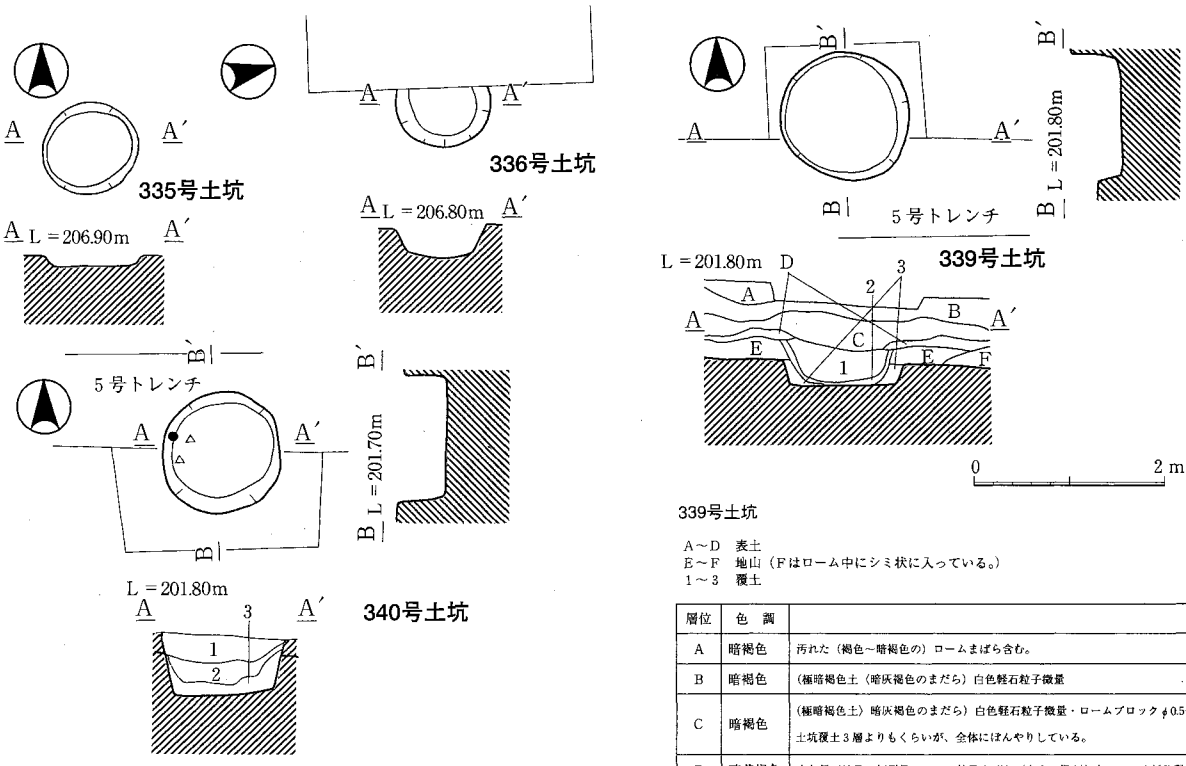
番号	遺構（m）						遺物（kg）				備考
	検出グリッド	平面形状	断面形状	長軸	短軸	深さ	土器	石器	掲載遺物	時期	
293	C－5	円形	逆台形	1.06	0.83	0.27	0.03	0.02		黒浜	
294	A・B－6	円形	鍋底	0.82	0.78	0.44	1.28	2.20	深鉢3点	黒浜	
295	C－6	円形	鍋底	1.18	1.05	0.38	0.10	0.06	深鉢1点　軽石1点	黒浜	
296	A－7	円形	逆台形	1.18	1.14	0.46	－	－		－	
297	D－6	－	－	－	－	－	－	－		－	
298	E－3	円形	フラスコ	1.30	1.21	0.45	0.64	0.02	深鉢1点	黒浜	
299	E－3	円形	鍋底	1.10	1.10	0.20	－	－		－	
300	E－3	不整形	逆台形	－	－	0.24	0.05	－		黒浜	
301	E－3	円形	逆台形	1.05	0.95	0.24	0.08	0.02		黒浜	
302	D－2・3	円形	皿状	0.85	0.81	0.18	－	－		－	
303	E－2・3	円形	皿状	1.13	1.03	0.13	－	－		－	
304	E－2・3	円形	逆台形	1.35	1.32	0.55	0.33	0.01	深鉢1点	関山	
305	E－2	楕円形	逆台形	1.73	1.31	0.59	2.27	0.02	深鉢5点	諸磯bカ	
306	D－2	円形	皿状	1.02	1.00	0.18	0.23	0.01		黒浜	
307	D・E－2	円形	皿状	1.45	1.29	0.23	0.36	0.52	浅鉢2点　深鉢1点	諸磯b	
308	D・E－2	円形	逆台形	1.27	1.15	0.46	1.95	0.11	深鉢4点	諸磯b	
309	D－2	円形	逆台形	1.15	0.95	0.27	－	－		－	
310	D・E－2	円形	皿状	1.75	1.69	0.33	0.04	－		黒浜	
311	D－1	円形	U字	1.07	0.88	0.37	0.14	0.01	ピエス1点	諸磯b	
312	D－2	不整形	皿状	2.91	1.89	0.34	0.14	0.03		黒浜	
313	D－2	－	－	－	－	－	1.35	0.13	軽石3点　錐1点	黒浜	
314	D－2	楕円形	皿状	1.35	0.89	0.10	0.03	1.90	ピエス1点　凹石1点	黒浜	
315	D－4	－	－	－	－	－	0.58	0.28	磨製石斧1点	諸磯b	
316	D－3	不整形	浅い鍋底	1.50	0.90	0.20	0.70	0.04	軽石1点	－	
317	D－2	不整形	皿状	1.27	1.03	0.26	0.19	0.21	深鉢2点　石匙1点　軽石1点	諸磯b	浮島Ⅱ
318	D－2	楕円形	皿状	1.13	0.96	0.26	－	－		－	
319	D－2	円形	皿状	1.04	0.96	0.12	0.16	0.01	軽石1点	諸磯b	
320	D－2	円形	皿状	1.05	0.99	0.30	0.10	0.04		黒浜	
321	D－2	楕円形	皿状	1.31	0.96	0.24	－	－		－	
322	D－2	円形	皿状	1.03	0.97	0.12	－	－		－	
323	D－2	円形	鍋底	1.10	1.03	0.34	0.07	－		諸磯bカ	
324	D－3・4	円形	浅い鍋底	1.20	1.10	0.27	0.73	0.01	深鉢1点	黒浜	
325	D－3・4	円形	浅い鍋底	1.20	1.15	0.28	0.52	0.01	深鉢1点	黒浜	
326	D・E－4	円形	浅い鍋底	1.20	1.20	0.32	1.10	0.02	深鉢2点	黒浜	
327	E－4	円形	逆台形	1.07	0.98	0.30	－	－		－	
328	D－3	楕円形	浅い鍋底	1.10	0.90	0.80	－	0.02		－	
329	D－2	円形	逆台形	0.72	0.70	0.38	0.05	－		黒浜	
330	C－1	不整形	－	－	－	0.35	0.11	0.14	深鉢1点	諸磯b	
331	C－1	楕円形	皿状	2.30	1.60	0.10	1.23	0.04	深鉢1点	諸磯bカ	
332	C－2	円形	皿状	0.98	0.93	0.20	0.03	0.04		黒浜	
333	C－2	円形	鍋底	1.15	1.10	0.36	0.28	0.06		黒浜	
334	C－2	円形	鍋底	0.60	0.55	0.20	0.03	－		諸磯b	
335	C－2・3	円形	皿状	1.50	0.98	0.60	－	－		－	
336	D－3	不整形	逆台形	0.97	－	0.36	－	－		－	
337	D－3	円形	逆台形	1.23	1.14	0.49	－	－		－	
338	D－4	不整形	逆台形	1.22	－	0.25	－	－		－	
339	F－10	円形	鍋底	1.40	1.33	0.55	－	－		－	
340	E・F－10	円形	逆台形	1.33	1.27	0.50	－	－		－	
341	A－6	－	－	－	－	－	0.05	－		－	



第88図　285～296・298～310号土坑



第89図　311～314・316～334号土坑



339号土坑

A～D　表土
E～F　地山（Fはローム中にシミ状に入っている。）
1～3　覆土

層位	色調		締まり	
A	暗褐色	汚れた（褐色～暗褐色の）ロームまばら含む。	有	弱
B	暗褐色	（極暗褐色土（暗灰褐色のまだら）白色軽石粒子微量	有	弱
C	暗褐色	（極暗褐色土）暗灰褐色のまだら）白色軽石粒子微量・ロームブロックφ0.5～1cm極微量 土坑覆土3層よりもくらいが、全体にほんやりしている。	有	弱
D	暗黄褐色	白色軽石粒子、極微量・ローム粒子まばら（完全に混ざり合っている新移層に似ている。）	有	弱
E	黄褐色	ローム層	有	弱
F	極暗褐色	白色軽石粒子、極微量（抜根か？）	有	弱

層位	色調	ロームブロック	ローム粒子	白色軽石粒子	炭化粒子	締まり	粘性
1	暗褐色	φ0.5mm程、極微量	極微量	レモン色含少量	極微量	有	弱
2	暗褐色		少量	少量		有	弱
3	極暗褐色	φ1～3cm程、微量	少量			有	弱

340号土坑

層位	色調	ロームブロック	ローム粒子	白色軽石粒子	締まり	粘性
1	暗褐色		少量	少量	有	弱
2	暗褐色	φ1cm程、極微量	少量	微量	有	弱
3	暗褐色	φ1cm程、微量	少量	微量	有	弱

遺物は、3層から多く検出されている。
〈しっかりと掘り込まれている。床、立ち上がりともに明瞭である。〉

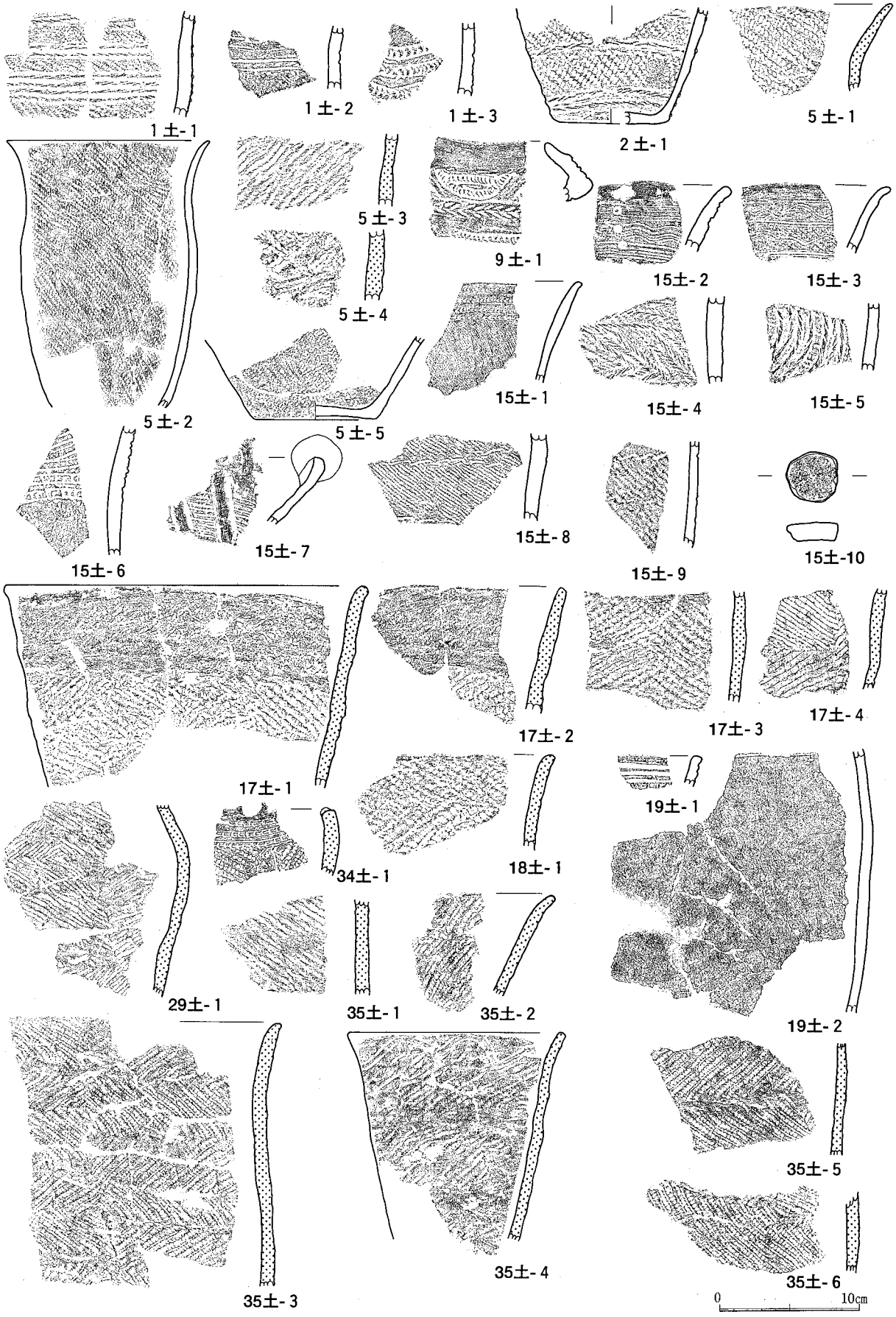
第90図　335・336・339・340号土坑

表63　土坑出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	錐	スクレイパー	楔	コア	磨石	凹石	石皿	軽石	砥石	多孔石	台石	ピエス				剥片		計
																				使用アリ	使用ナシ	
安山岩				1					13	32	9			4	4					2	18	83
砂岩	6					2		1	1				1							17	91	119
凝灰質砂岩	5	1	1		3	8		2												34	215	269
頁岩	6			2	3	5		6												25	109	156
緑色岩		4																		1		5
チャート			2			1		1												1	23	28
黒曜石			2				1	2								2				6	48	61
珪質頁岩				1		1														2		4
緑泥岩																				1		1
凝灰岩																				2		2
絹雲母頁岩																				1		1
花崗岩										1												1
鉄石英					1																	1
軽石												20										20
不明	1																					1
計	18	5	5	4	7	17	1	12	14	33	9	20	1	4	4	2				92	504	752

表64　土坑出土土器観察表（1）

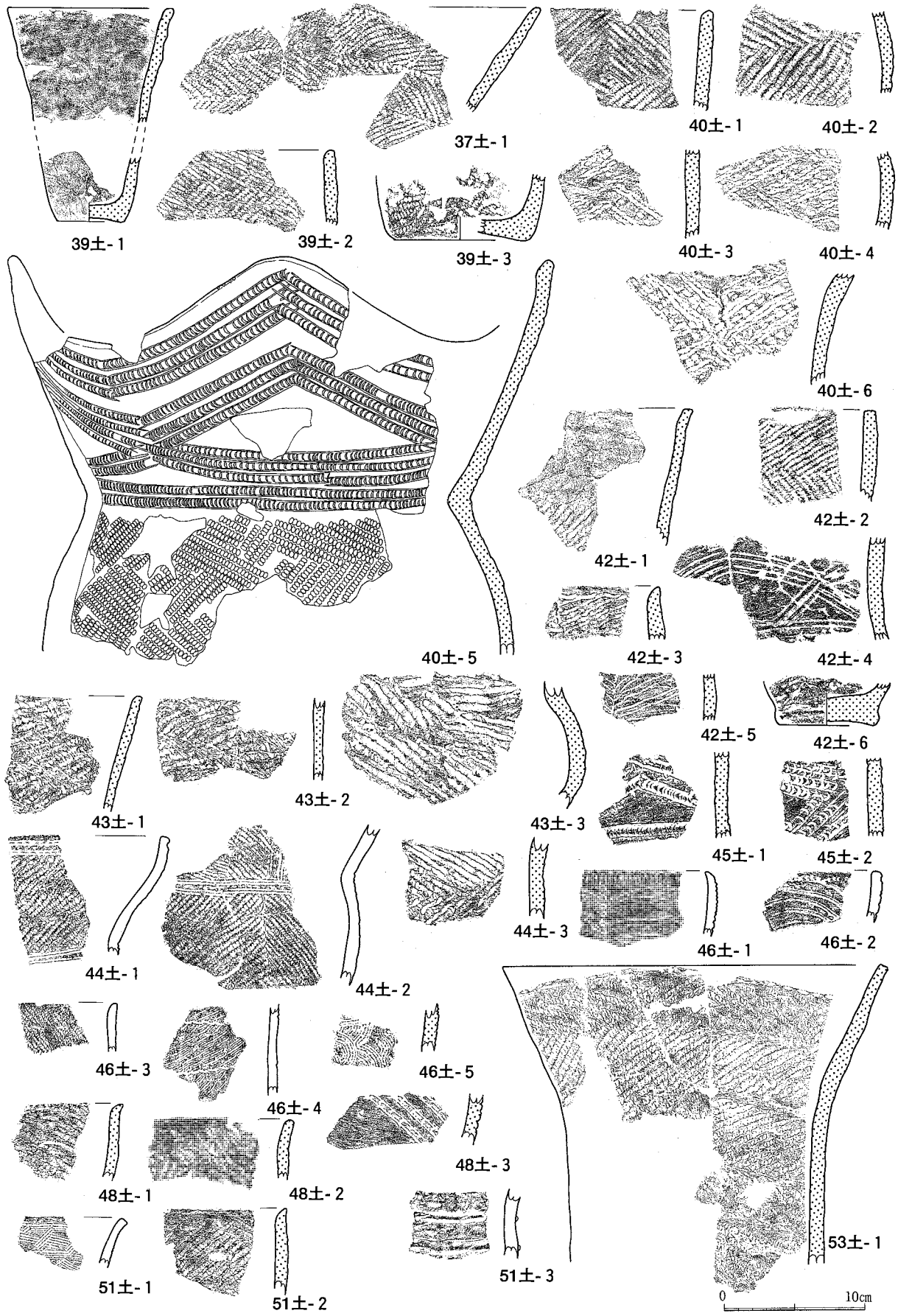
番号		型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1号土坑	1	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線RL	
	2	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
	3	諸磯b	深鉢	胴部	破片	C爪形	
2土－1		諸磯b	深鉢	底部	破片	浮線RL	
5号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL　繊維混入	
	2	諸磯aカ	深鉢	口縁～胴下	2/3	RL　繊維含まず	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	L　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	胴部	破片	格子の撚糸　繊維混入	
	5	諸磯aカ	深鉢	底部	破片	RL　繊維含まず	
9土－1		諸磯b	深鉢	口縁	破片	木の葉文　C爪形	
15号土坑	1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	RL　D爪形	
	2	諸磯a	深鉢	口縁	破片	集合沈線　円管刺突	
	3	諸磯a	深鉢	口縁	破片	集合沈線R	
	4	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線	
	5	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線	
	6	諸磯b	深鉢	胴部	破片	C爪形	
	7	諸磯c	深鉢	口縁	破片	耳たぶ状突起　集合沈線　棒状貼付	
	8	中期初頭	深鉢	胴下	破片	RL　S字結節	
	9	中期初頭	深鉢	胴部	破片	RL　S字結節	
	10	不明	円盤			土器片再利用　無文	
17号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・Lの羽状構成　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大形破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
18土－1		黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
19号土	1	晩期カ	深鉢	口縁	破片	無文で器面はナデ	
	2	晩期カ	深鉢	口縁～胴部	大形破片	口唇直下に太い沈線が3条以上めぐる	
29土－1		黒浜	深鉢	胴部	破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
34土－1		諸磯aカ	深鉢	口縁	破片	小突起　RL・LR C爪形　微量繊維混入	
35号土坑	1	黒浜	深鉢	胴部	破片	R　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	L　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大形破片	付加条第1種　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	口縁～胴部	破片	L　繊維混入	
	5	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第1種　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	6	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第1種　RL　繊維混入	
37土－1		黒浜	深鉢	口縁	大形破片	RL・LR　端部ループ　繊維混入	
39号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁～底部	大形破片	無文　無節の縄一部に見える　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	R・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	底部	破片	RL　繊維混入	
40号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第2種　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第2種　繊維混入	
	5	有尾	深鉢	口縁～胴中	1/2	C爪形　大形菱形文構成　RL・LRの羽状構成　4単位の波状口縁　繊維	
	6	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第2種　繊維混入	
42号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	L　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	破片	L　繊維混入	
	4	有尾	深鉢	胴部	破片	平行沈線　格子文様　繊維混入	
	5	黒浜	深鉢	胴部	破片	平行沈線　肋骨文　繊維混入	
	6	黒浜	深鉢	底部	破片	無文　繊維混入	



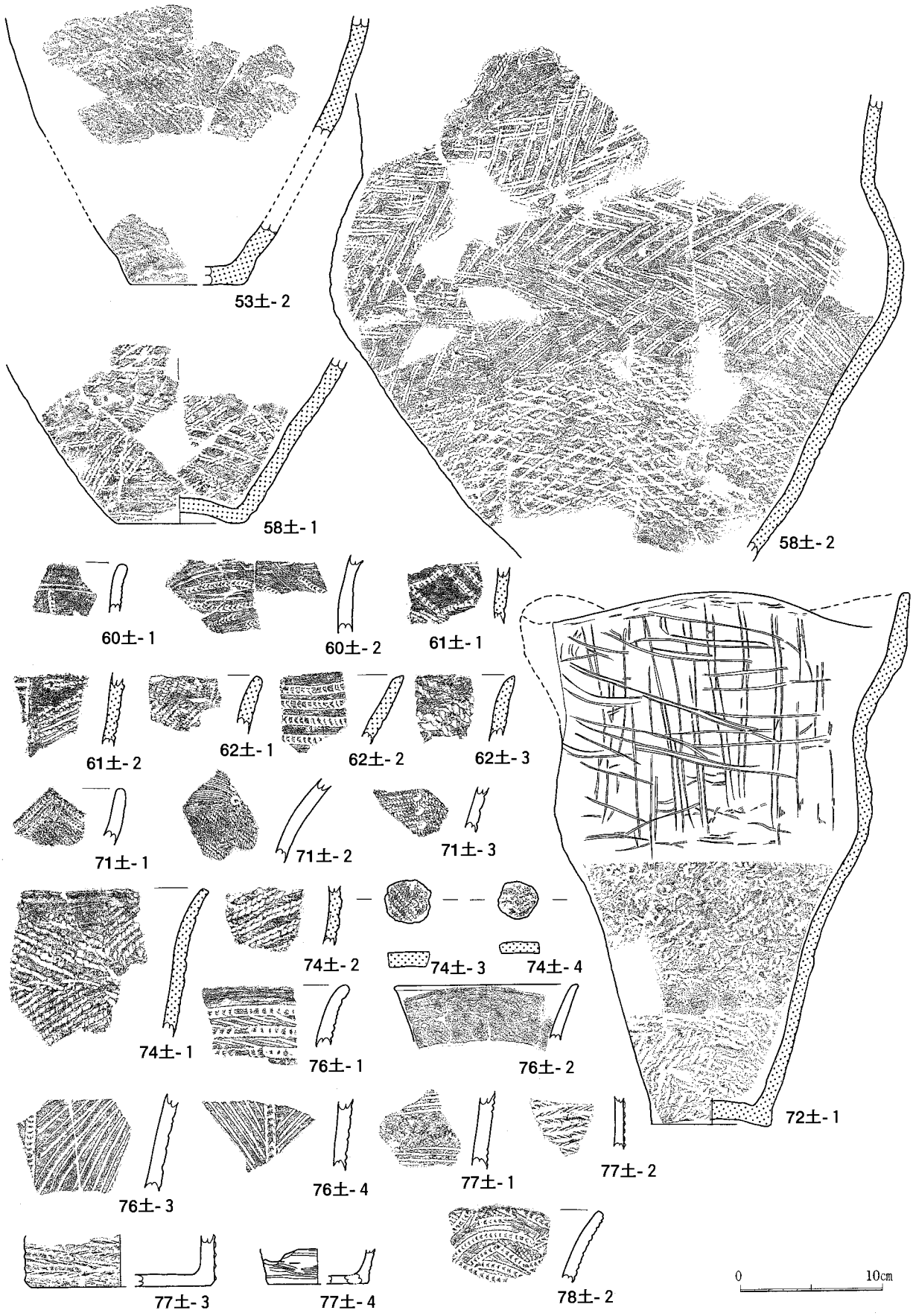
第91図　土坑出土遺物１（１～35号土坑）

表65　土坑出土土器観察表（２）

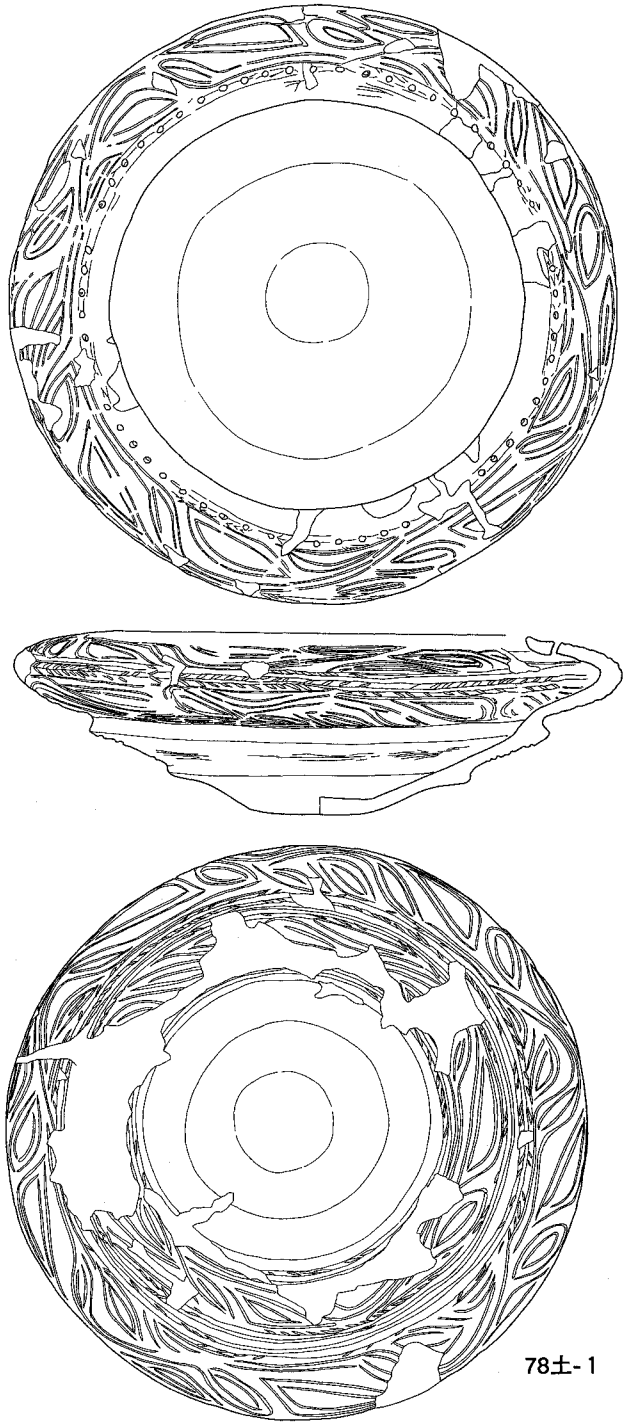
番号		型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
43号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	LR　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	LR　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	R　繊維混入	
44号土坑	1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	口唇直下C爪形　L	
	2	諸磯a	深鉢	胴部	大形破片	LR・RLの羽状構成　平行沈線　肋骨文	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
45号土	1	有尾	深鉢	胴部	細片	C爪形　菱形構成　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	胴部	細片	C爪形　菱形構成　繊維混入	
46号土坑	1	浮島カ	深鉢	口縁	破片	口唇撚糸圧痕　円管刺突　肋骨文	
	2	諸磯aカ	深鉢	口縁	細片	肋骨文　C爪形	
	3	諸磯a	深鉢	口縁	細片	RL	
	4	諸磯aカ	深鉢	胴部	細片	L　S字結節	
	5	関山カ	深鉢	胴部	細片	櫛歯による流水文（コンパス）　繊維混入	
48号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	細片	Lカ　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	細片	L　繊維混入	
	3	有尾	深鉢	胴部	細片	C爪形　繊維混入	
51号土坑	1	諸磯a	深鉢	口縁	細片	集合沈線	
	2	黒浜	深鉢	口縁	細片	Lカ　繊維混入	
	3	諸磯b	深鉢	胴部	細片	LR　浮線	
53号土	1	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部～底部	大形破片	R　繊維混入	
58号土	1	黒浜	深鉢	底部	大形破片	付加条第２種・３種　繊維混入	
	2	大木２a	深鉢	胴部	大形破片	付加条第２種・３種　下半網目状撚糸　繊維混入	
60号土	1	諸磯a	深鉢	胴部上半	細片	C爪形　平行沈線　木の葉状入組文	
	2	諸磯a	深鉢	口縁	細片	C爪形　平行沈線　木の葉状入組文	
61号土	1	有尾	深鉢	胴部	細片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	胴部	細片	櫛歯状刺突　繊維混入	
62号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	細片	LR　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	口縁	細片	C爪形　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	細片	RLカ　繊維混入	
71号土坑	1	諸磯a	深鉢	口縁	細片	C爪形　波状口縁	
	2	諸磯a	深鉢	胴部	細片	集合沈線　肋骨文　RL　円管刺突	
	3	諸磯a	深鉢	胴部	細片	LR　円管刺突　肋骨文	
72土－1		黒浜	深鉢	口縁～底部	4/5	３単位波状口縁　平行沈線格子　RLカ　繊維混入	
74号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・Lの羽状構成　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	撚糸カ　繊維混入	
	3	黒浜	円盤	胴部	完形	LR　土器片再利用　繊維混入	
	4	黒浜	円盤	胴部	完形	不明　繊維混入	
76号土坑	1	諸磯b	深鉢	口縁	破片	C爪形	
	2	諸磯b	深鉢	口縁	破片	無文	
	3	諸磯a	深鉢	胴部	破片	C爪形　平行沈線　肋骨文	
	4	諸磯a	深鉢	胴部	破片	C爪形　平行沈線　肋骨文	
77号土坑	1	諸磯b	深鉢	胴部	細片	平行沈線	
	2	諸磯b	深鉢	胴部	細片	浮線	
	3	諸磯b	深鉢	底部	破片	浮線	
	4	諸磯b	深鉢	底部	破片	平行沈線	
78号土	1	諸磯b	有孔浅鉢		完形	平行沈線　木の葉状入組文	
	2	諸磯b	深鉢	口縁	破片	RL　C爪形　入組文	
79号土坑	1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	C爪形	
	2	諸磯a	深鉢	胴部上半	破片	集合沈線　円管刺突　C爪形　肋骨文	
	3	諸磯aカ	深鉢	胴部	破片	平行沈線　円管刺突　C爪形　RL	
	4	諸磯b	深鉢	胴部	破片	口唇刻目　浮線　地文縄	



第92図　土坑出土遺物２（37～53号土坑）



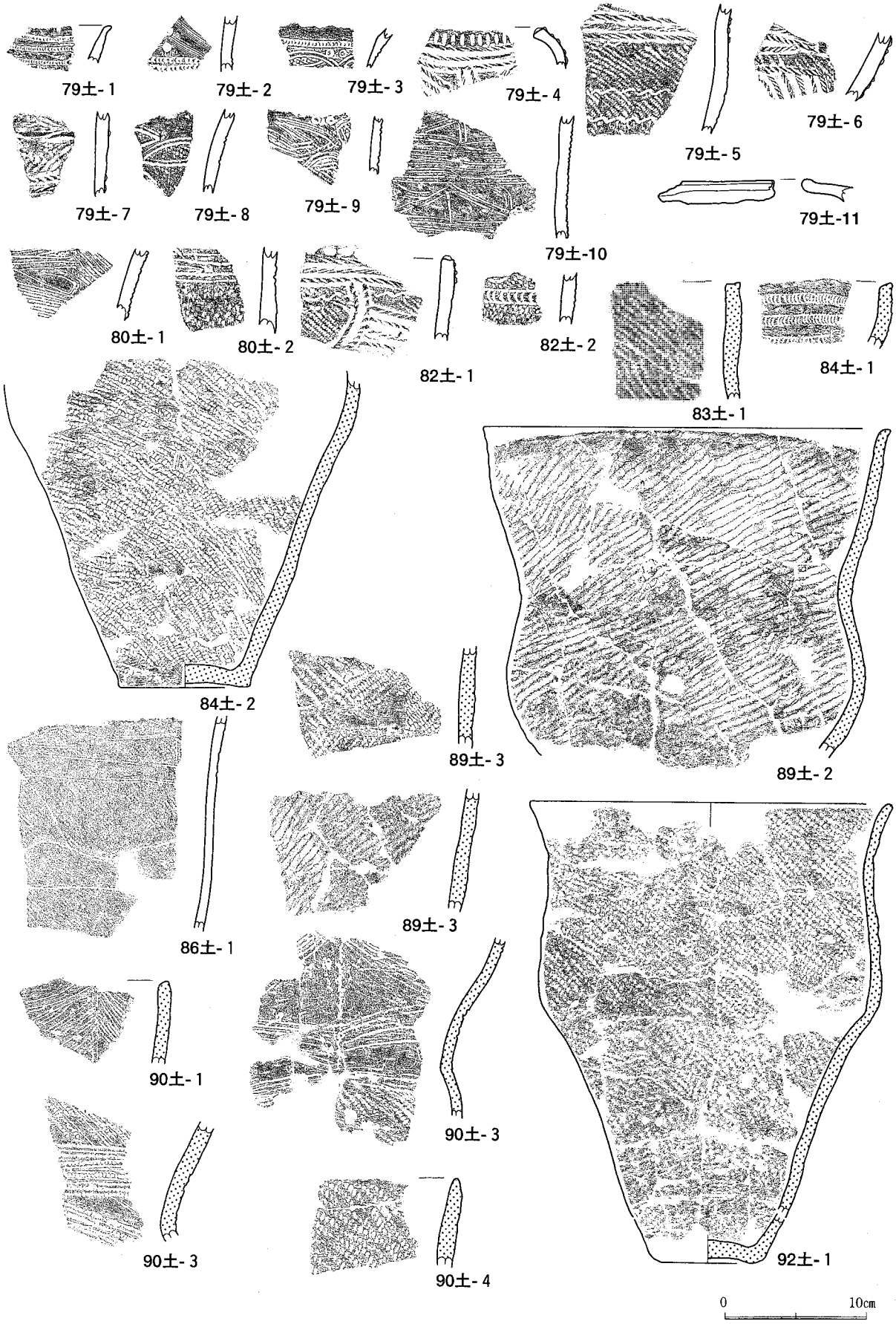
第93図　土坑出土遺物３（53～78号土坑）



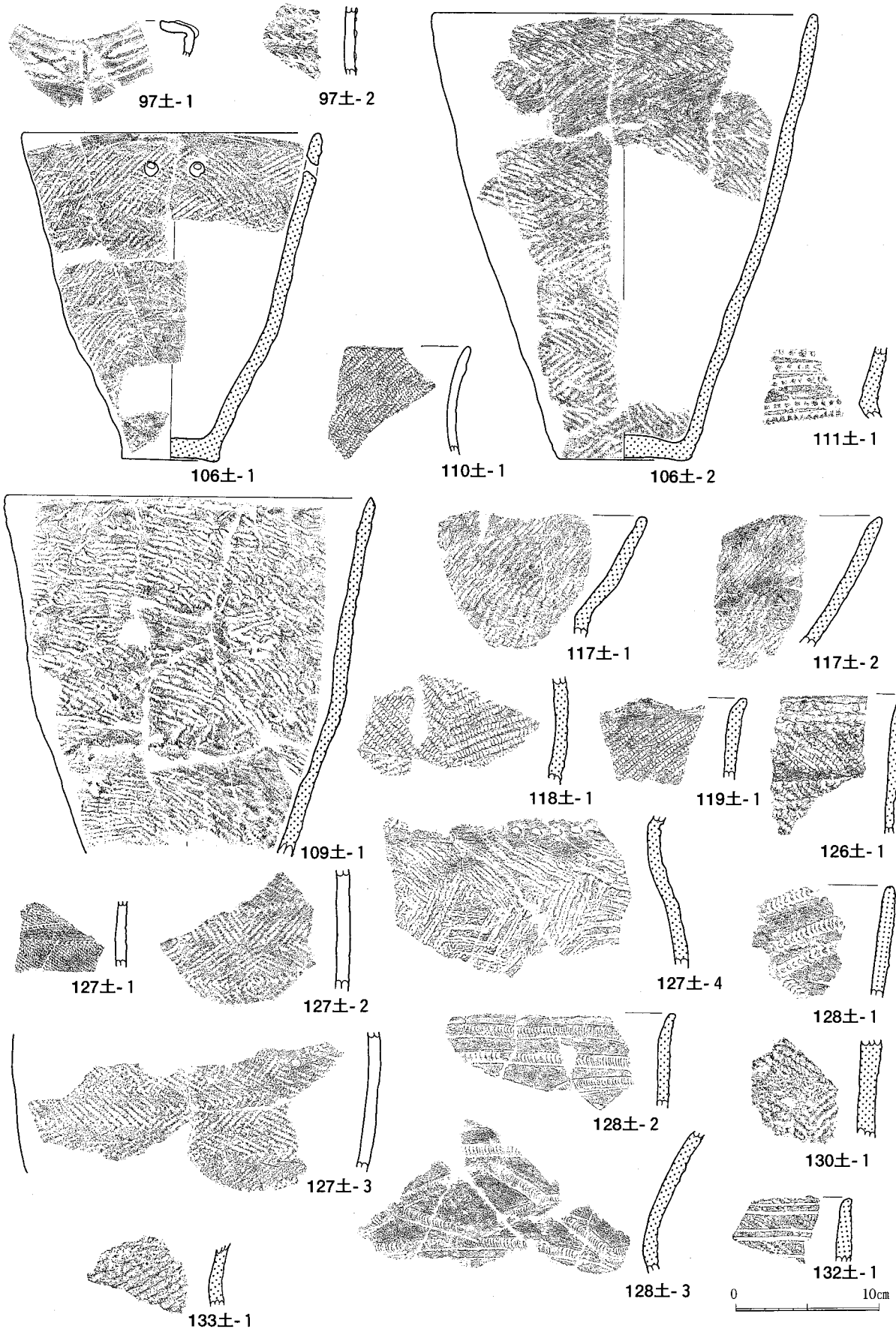
第94図　土坑出土遺物４（78号土坑）

表66　土坑出土土器観察表（3）

番号	型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
79号土坑 5	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線　RL　S字結節	
79号土坑 6	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線　RL	
79号土坑 7	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線　結束羽状	
79号土坑 8	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線による木の葉状入組文RL	
79号土坑 9	諸磯b	深鉢	胴部	破片	円管刺突　平行沈線　入組文　RLカ	
79号土坑 10	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
79号土坑 11	諸磯b	深鉢	口縁	破片	無文	
80号土 1	諸磯b	深鉢	胴部	細片	平行沈線	
80号土 2	諸磯b	深鉢	胴部	細片	平行沈線　RLカ	
82号土 1	諸磯b	深鉢	胴部	細片	口唇刻目　浮線　RL　S字結節文	
82号土 2	諸磯b	深鉢	胴部	破片	C爪形　RL	
83土－1	諸磯aカ	深鉢	口縁	破片	波状口縁突起　微量繊維混入	
84号土 1	有尾	深鉢	胴部～底部	大形破片	C爪形　繊維混入	
84号土 2	黒浜	深鉢	口縁	細片	付加条第1種　繊維混入	
86土－1	諸磯a	深鉢	胴部	破片	RL　平行沈線	
89号土坑 1	黒浜	深鉢	胴部	破片	LR・Rの羽状構成　繊維混入	
89号土坑 2	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/2	L　繊維混入	
89号土坑 3	黒浜	深鉢	胴部	破片	L　繊維混入	
90号土坑 1	黒浜	深鉢	口縁	破片	平行沈線　肋骨文　繊維混入	
90号土坑 2	有尾	深鉢	胴部	破片	大形菱形文　RL　繊維混入	
90号土坑 3	有尾	深鉢	胴部	破片	櫛歯刺突　平行沈線　繊維混入	
90号土坑 4	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL　繊維混入	
92土－1	黒浜	深鉢	口縁～底部	2/3	RL　繊維混入	
97号土 1	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線文	
97号土 2	諸磯b	深鉢	胴部	破片	浮線文　地文RL	
106号土 1	黒浜	深鉢	口縁～底部	大形破片	L・Rの羽状構成　補修孔　繊維混入	
106号土 2	黒浜	深鉢	口縁～底部	大形破片	L・Rの羽状構成　繊維混入	
109土－1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/3	端部未処理のRカ　繊維混入	
110土－1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	LR	
111土－1	有尾	深鉢	胴部上半	破片	C爪形　繊維混入	
117号土 1	黒浜	深鉢	口縁	破片	L　繊維混入	
117号土 2	黒浜	深鉢	口縁	破片	L　繊維混入	
118土－1	黒浜	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
119土－1	諸磯b	深鉢	口縁	破片	波状口縁　頂部LR　微量繊維混入	
126土－1	関山	深鉢	口縁	破片	ループ多段　RL　繊維混入	
127号土坑 1	諸磯a	深鉢	胴部	破片	C爪形　RL　入組文カ	
127号土坑 2	不明	深鉢	胴部	破片	RL・LRの結束羽状	
127号土坑 3	不明	深鉢	胴部	破片	RL・LRの結束羽状	
127号土坑 4	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第2種カ繊維混入	
128号土坑 1	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
128号土坑 2	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　繊維混入	
128号土坑 3	有尾	深鉢	胴部上半	破片	C爪形　格子状文構成繊維混入	
130土－1	黒浜	深鉢	胴部	破片	R　繊維混入	
132土－1	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL　平行沈線　繊維混入	
133土－1	黒浜	深鉢	胴部	破片	L　繊維混入	
135号土 1	有尾	深鉢	口縁	破片	C爪形　菱形文構成　胴下はRL　繊維混入	
135号土 2	黒浜	深鉢	胴部	破片	波状口縁　繊維混入	
137号土 1	黒浜	深鉢	胴部	破片	LR・RLの羽状構成　有節平行沈線　繊維混入	
137号土 2	黒浜	円盤		完形	土器片再利用　繊維混入	
140土－1	黒浜カ	深鉢	口縁	破片	S字結節　LR　繊維混入	



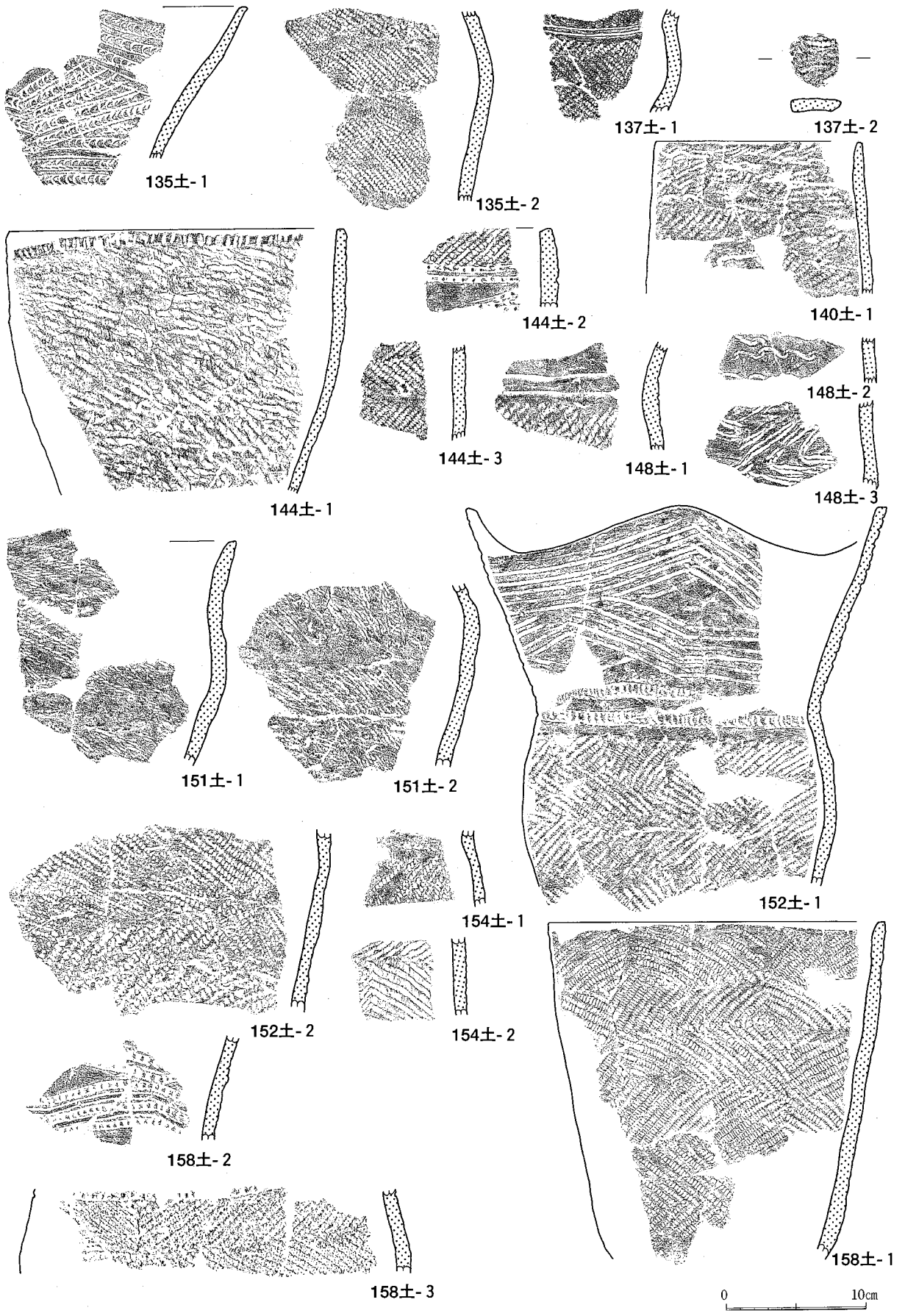
第95図　土坑出土遺物５（79～92号土坑）



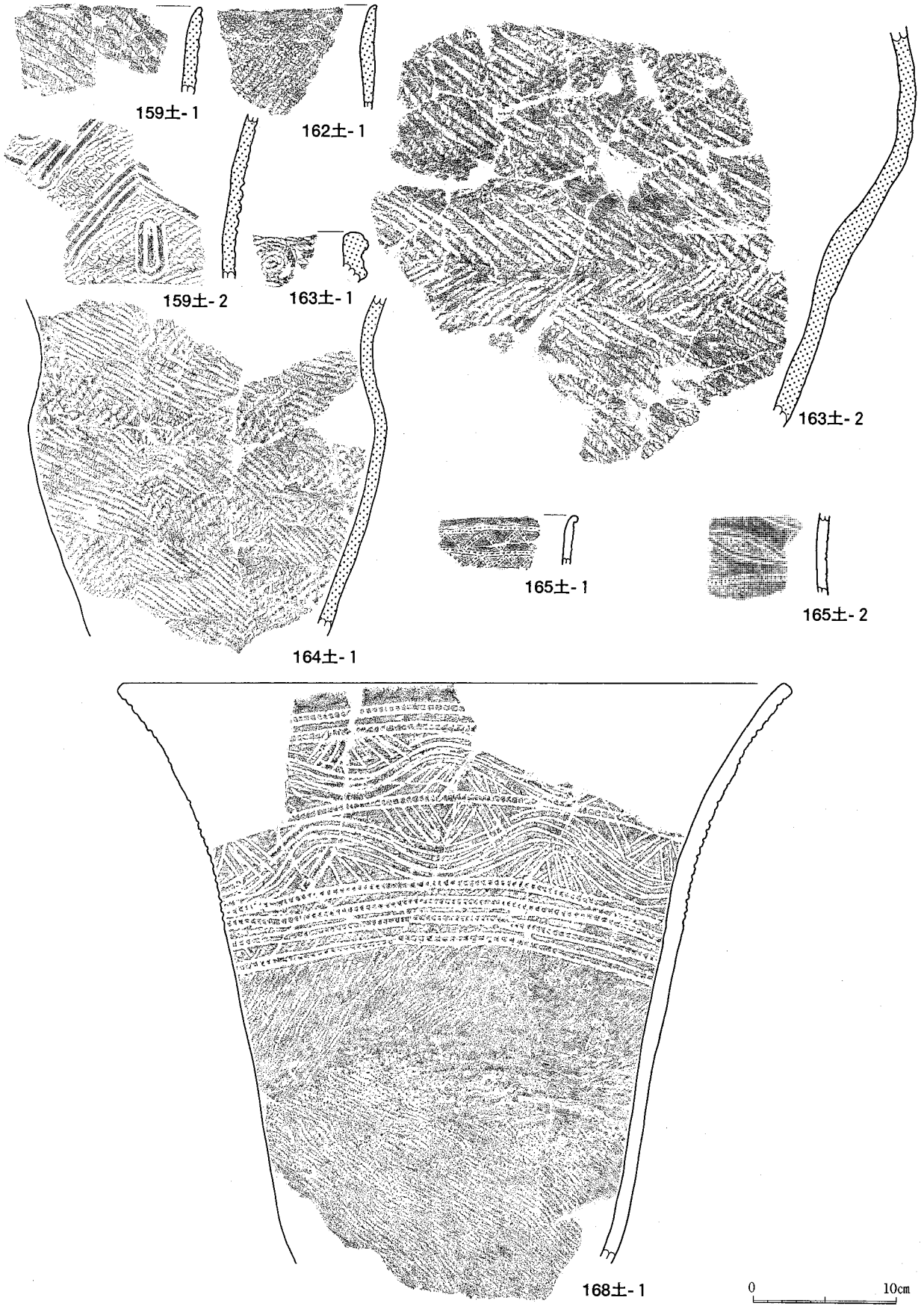
第96図　土坑出土遺物 6 （97～133号土坑）

表67　土坑出土土器観察表（４）

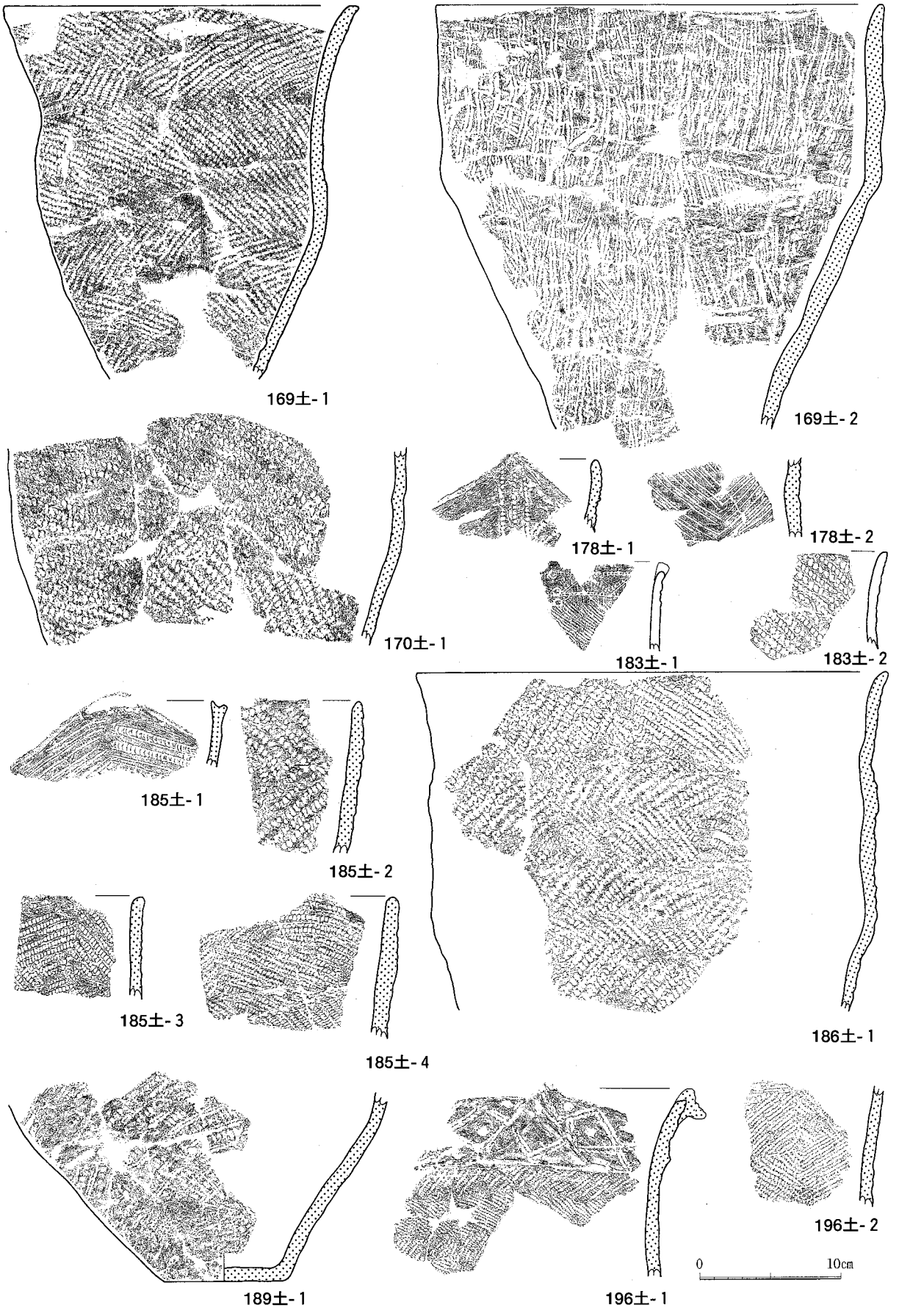
番　号		型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
144号土坑	1	黒浜カ	深鉢	口縁	大形破片	口唇部刻目　R　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	口縁	破片	LR　C爪形　繊維混入	
	3	黒浜カ	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
148号土坑	1	黒浜	深鉢	胴部	破片	平行沈線　L　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	S字結節　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	相状撚糸カ　繊維混入	
151号土	1	黒浜カ	深鉢	口縁	大形破片	波状口縁　撚糸　繊維混入	
	2	黒浜カ	深鉢	胴部	大形破片	波状口縁　撚糸　繊維混入	
152号土	1	有尾	深鉢	口縁～胴下	2/3	平行沈線　菱形構成　RL・LRの羽状構成　C爪形　4単位波状口縁　繊維	
	2	黒浜カ	深鉢	胴部	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
154号土	1	黒浜	深鉢	胴部	破片	LR　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	L・Rの羽状構成　繊維混入	
158号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/4	RL・LRの羽状構成　一部結束カ　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	胴部	破片	前々段半撚の縄カ　C爪形　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴部上半	破片	C爪形　菱形構成　繊維混入	
159号土	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	R　繊維混入	
	2	関山	深鉢	胴部	破片	半裁竹管　平行沈線　刺突　LR　繊維混入	
162土－1		黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
163号土	1	花積下層	深鉢	口縁	細片	円形隆帯　原体圧痕　微量繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
164土－1		黒浜	深鉢	胴部	大形破片	前々段半撚　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
165号土	1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	C爪形　鋸歯状文	
	2	諸磯a	深鉢	胴部	破片	C爪形　半裁竹管　平行沈線　円管刺突	
168土－1		浮島Ⅰ	深鉢	口縁～胴下	1/3	C爪形　平行沈線　地文撚糸　R	
169号土	1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	3/4底部欠損	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	2	黒浜カ	深鉢	口縁～胴下	1/2	撚糸　繊維混入	
170土－1		黒浜	深鉢	胴部	大形破片	RL　繊維混入	
178号土	1	有尾	深鉢	口縁	破片	波頂部　櫛歯刺突　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	肋骨文　平行沈線　繊維混入	
183号土	1	諸磯a	深鉢	口縁	破片	RL	
	2	諸磯a	深鉢	口縁	破片	小突起　C爪形　円管刺突　RL	
185号土坑	1	有尾	深鉢	口縁	破片	半裁竹管　平行沈線　C爪形　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	口縁	破片	付加条第1種　波頂部　繊維混入	
186土－1		黒浜カ	深鉢	口縁	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
189土－1		黒浜	深鉢	底部	大形破片	付加条第2種　繊維混入	
196号土	1	花積下層	深鉢	口縁	大形破片	隆帯による口縁部文様帯　原体圧痕　円管刺突　RL・LRの羽状構成　繊維	
	2	花積下層	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
218土－1		有尾	深鉢	口縁～胴部	1/3	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
220土－1		黒浜	深鉢	胴部	大形破片	平行沈線　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
232土－1		関山カ	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　端部ループ　繊維混入	
234土－1		黒浜カ	深鉢	口縁	大形破片	付加条第2種　C爪形　繊維混入	
235号土坑	1	有尾	深鉢	胴部	破片	平行沈線　櫛歯状刺突　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	付加条第1種　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	底部	大形破片	R　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	付加条第1種　繊維混入	
236号土坑	1	有尾	深鉢	胴部	破片	C爪形　菱形構成カ　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部	破片	格子沈線　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴部	破片	付加条第2種　繊維混入	
237号土	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	変形爪形　平行沈線　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部～底部	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	



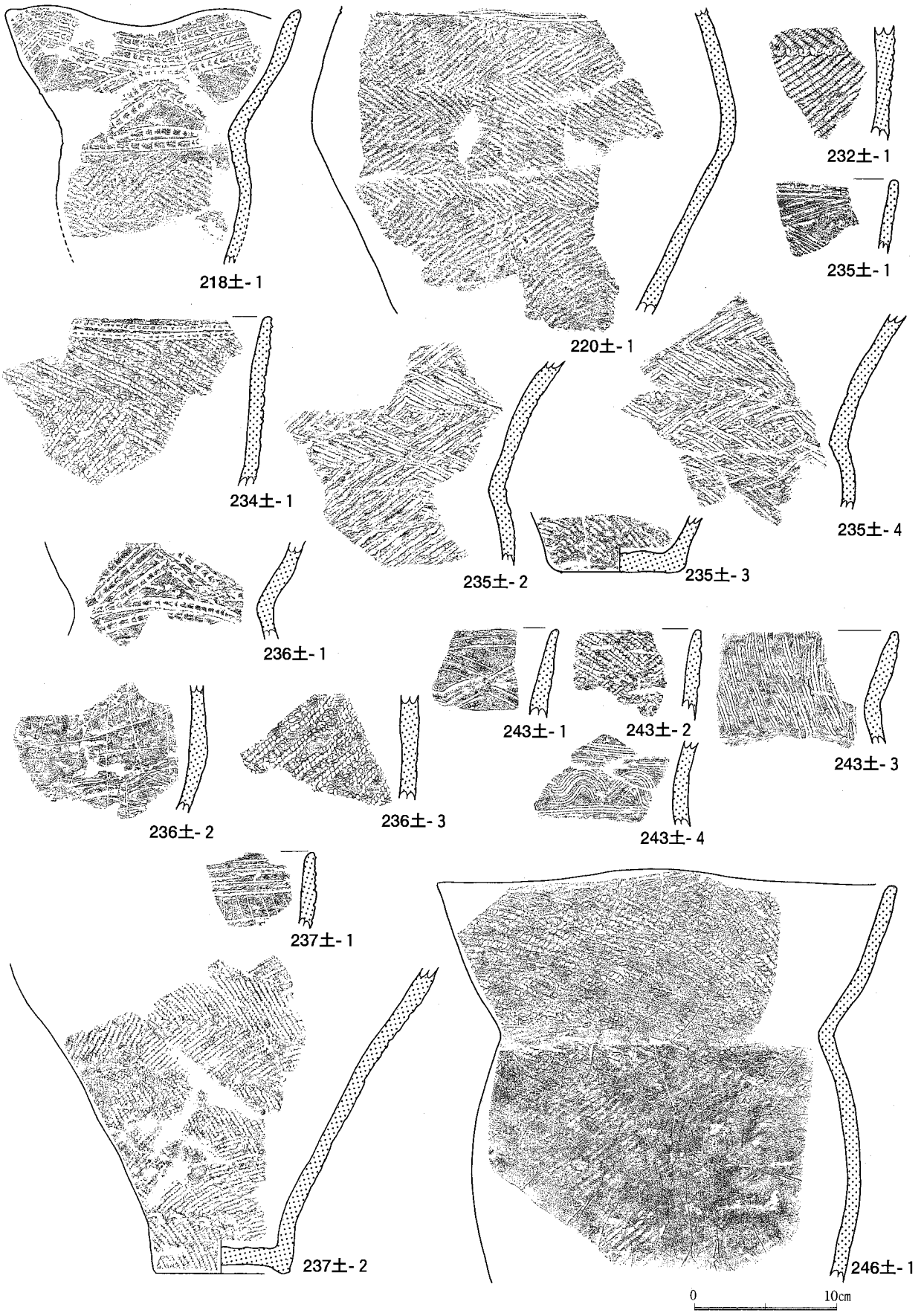
第97図　土坑出土遺物７（135～158号土坑）



第98図　土坑出土遺物８（159～168号土坑）



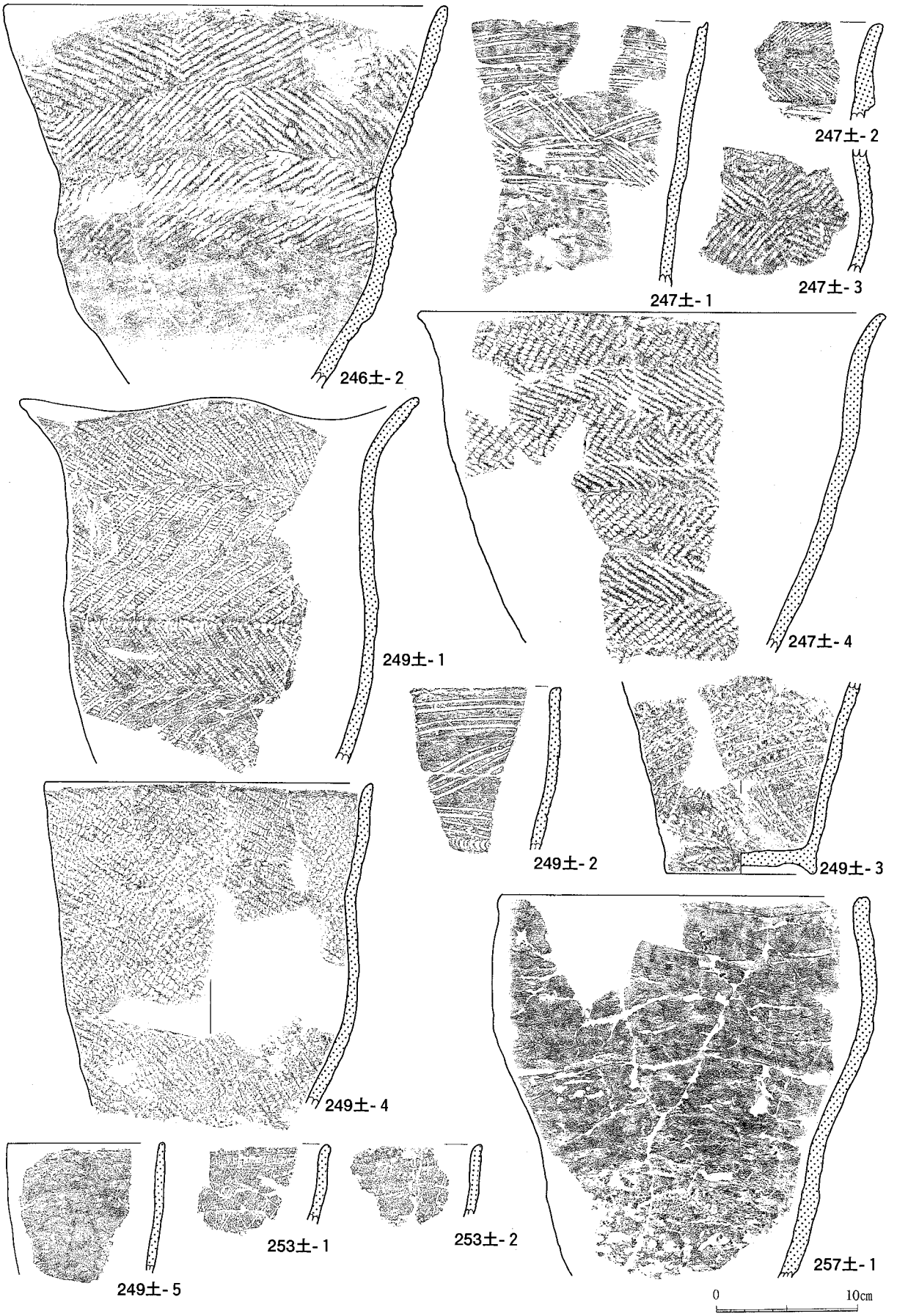
第99図　土坑出土遺物９（169～196号土坑）



第100図　土坑出土遺物10（218～246号土坑）

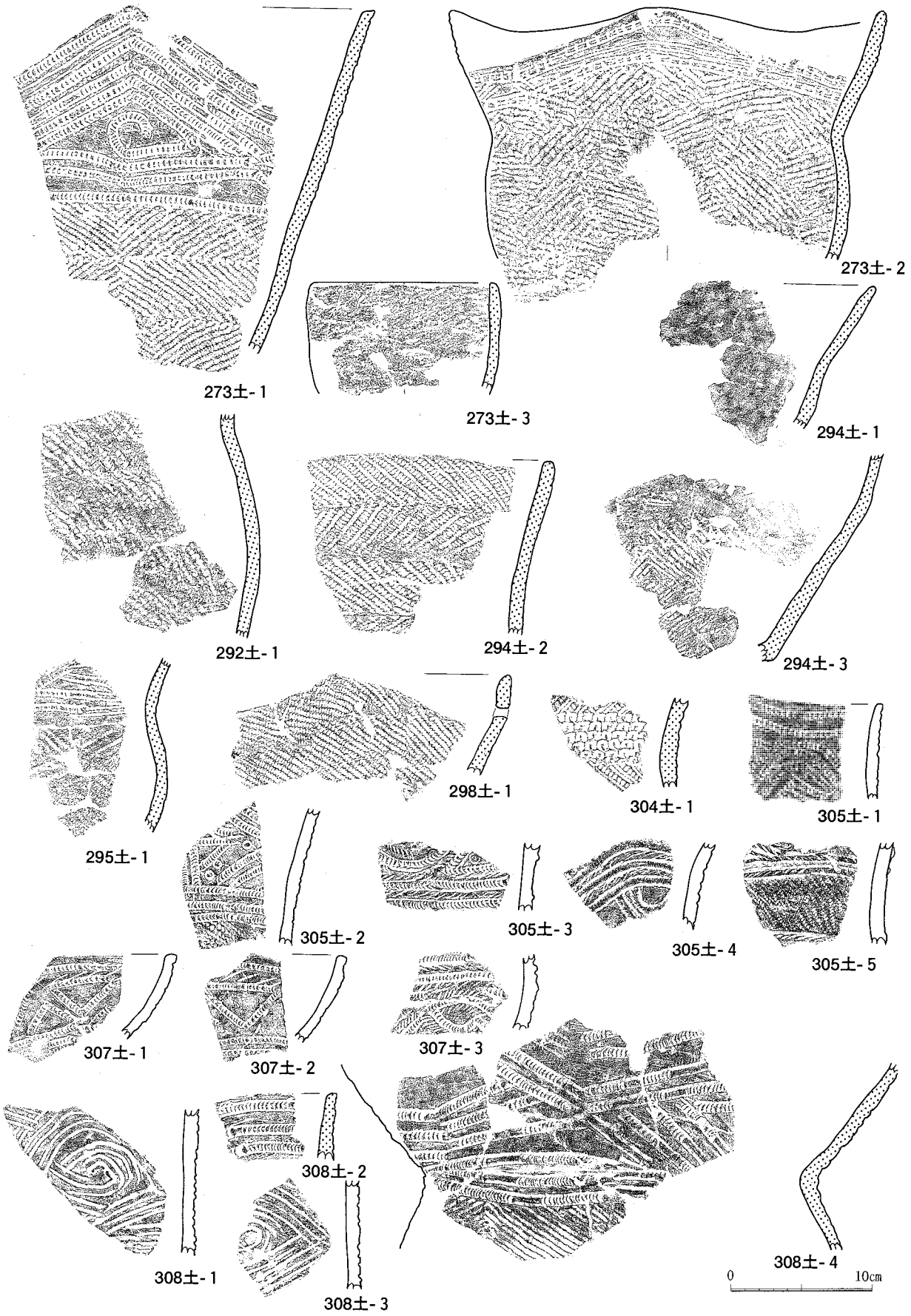
表68　土坑出土土器観察表（５）

番号		型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
243号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	平行沈線　格子　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	付加条第１種　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	破片	付加条第１種カ　繊維混入	
	4	関山カ	深鉢	胴部上半	破片	集合沈線　波状　繊維混入	
246号土	1	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/4	RL・Lの縄　波状口縁　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/4	R・Lの縄　平縁　繊維混入	
247号土坑	1	黒浜カ	深鉢	口縁～胴上	大形破片	平行沈線　菱形構成　繊維混入	
	2	花積下層カ	深鉢	口縁	破片	折返し口縁　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜カ	深鉢	胴部	破片	０段多条　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	4	黒浜カ	深鉢	口縁～胴上	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
249号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁～胴部	1/4	正反合RLと付加条第２種LRで羽状構成　波状口縁　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	半截竹管　Ｃ爪形　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	底部	大形破片	直前段合撚カ　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	口縁～胴部	1/2	前々段半撚　LRRとRLの羽状構成　繊維混入	
	5	黒浜	小形深鉢	口縁～胴部	破片	無文　繊維混入	
253号土	1	黒浜カ	浅鉢	口縁	破片	口唇部瓜状の刻目　斜格子沈線　繊維混入	
	2	黒浜カ	浅鉢	口縁	破片	口唇部瓜状の刻目　斜格子沈線　繊維混入	
257土－1		黒浜カ	深鉢	口縁～胴部	1/4	無文　繊維混入	
258土－1		黒浜カ	深鉢	口縁	破片	Lの方向転じ羽状構成　繊維混入	
261号土坑	1	有尾	深鉢	口縁	破片	大波状口縁　波頂部　Ｃ爪形　菱形構成　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	口縁	破片	大波状口縁　Ｃ爪形　菱形構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	4	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　補修孔　繊維混入	
	5	黒浜	深鉢	胴部	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
265土－1		黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/2	口縁～胴上半は無文　下半は０段多条LRとRLの羽状構成　繊維混入	
267土－1		黒浜	深鉢	口縁～胴下	1/3	４単位波状　正反合の縄を方向を転じ羽状構成させる　繊維混入	
270土－1		黒浜	深鉢	口縁～胴下	2/3	４単位波状　RL・LRの羽状構成　端部ループ　繊維混入	
271号土坑	1	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　大波状の間に小突起　Ｄ爪形　櫛歯状刺突　LR・０段多条RL羽状構成　端部ループ　繊維混入	
	2	有尾	深鉢	胴部	大形破片	波状口縁　大波状の間に小突起　Ｄ爪形　櫛歯状刺突　LR・０段多条RL羽状構成　端部ループ　繊維混入	
	3	有尾	深鉢	胴部	大形破片	波状口縁　大波状の間に小突起　Ｄ爪形　櫛歯状刺突　LR・０段多条RL羽状構成　端部ループ　繊維混入	
273号土坑	1	有尾	深鉢	口縁～胴部	大形破片	波状口縁　Ｃ爪形　菱形文構成　渦巻　RL・LRの羽状構成　端部ループ	繊維混入
	2	黒浜	深鉢	口縁～胴部	大形破片	波状口縁　Ｃ爪形　平行沈線　R・Lの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	小形深鉢	口縁～胴部	大形破片	無文　繊維混入	
292土－1		黒浜	深鉢	胴部	破片	RL　繊維混入	
294号土坑	1	黒浜	深鉢	口縁	破片	無文　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	口縁	破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
	3	黒浜	深鉢	胴下～底部	大形破片	R・Lの羽状構成　繊維混入	
295土－1		有尾	深鉢	胴部	破片	菱形文構成　Ｃ爪形　０段多条RLとLRで羽状構成　繊維混入	
298土－1		黒浜	深鉢	口縁	破片	波状口縁　波頂部円孔　RL　繊維混入	
304土－1		関山	深鉢	胴部	破片	多段ループ　直前段合撚　羽状　繊維混入	
305号土坑	1	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　波状口縁	
	2	諸磯ｂ	深鉢	胴部	破片	Ｃ爪形　円管刺突　RL	
	3	諸磯ｂ	深鉢	胴部	破片	Ｃ爪形　円管刺突	
	4	諸磯ｂ	深鉢	胴部	破片	Ｃ爪形　やや変形爪形的	
	5	諸磯ｂ	深鉢	胴部	破片	浮線　RL	
307号土坑	1	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　三角文	
	2	諸磯ｂ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　三角文	
	3	諸磯ｂ	深鉢	胴部	破片	Ｃ爪形	

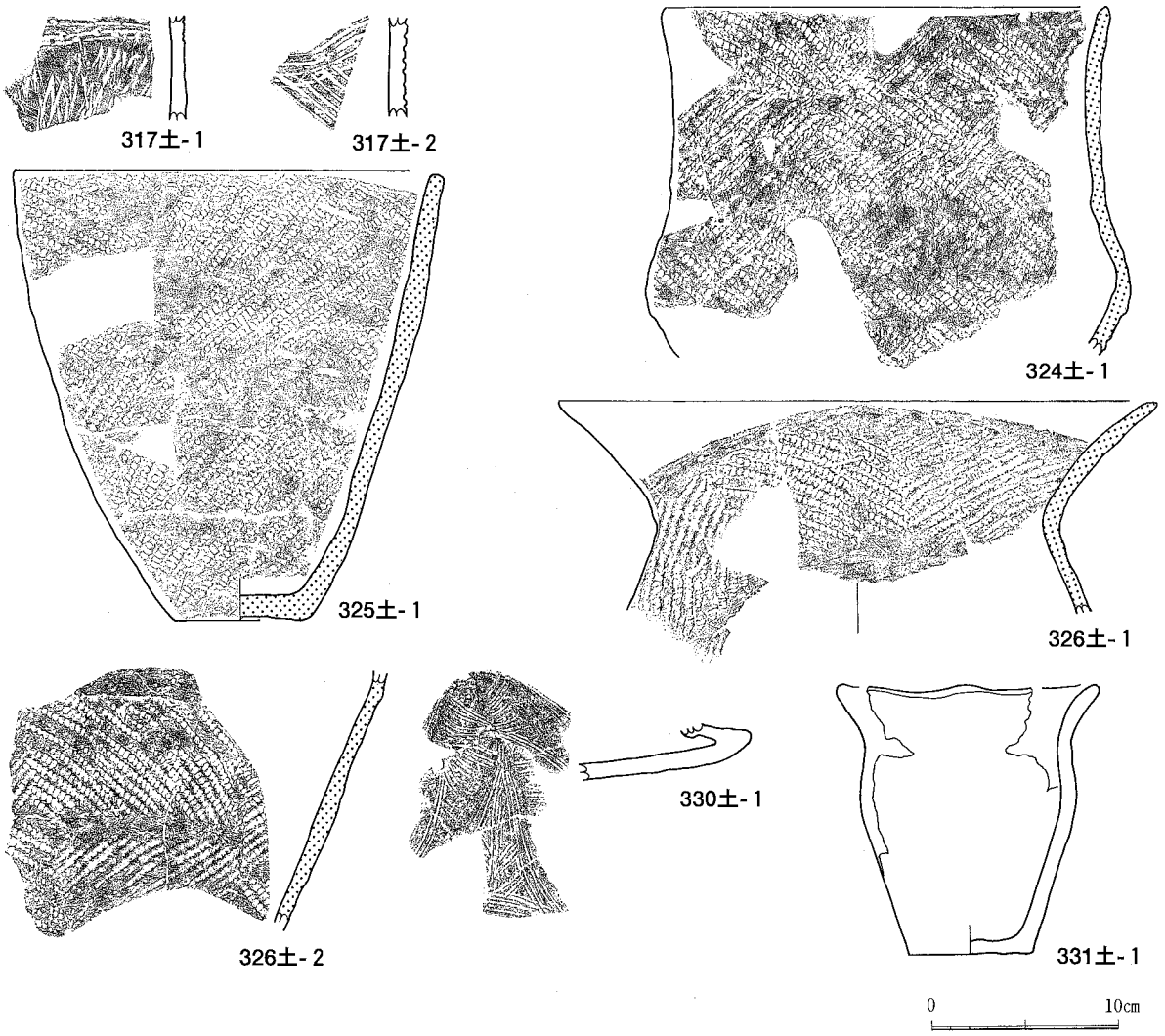


第101図　土坑出土遺物11（246～257号土坑）

第102図　土坑出土遺物12（258～271号土坑）



第103図　土坑出土遺物13（273～308号土坑）

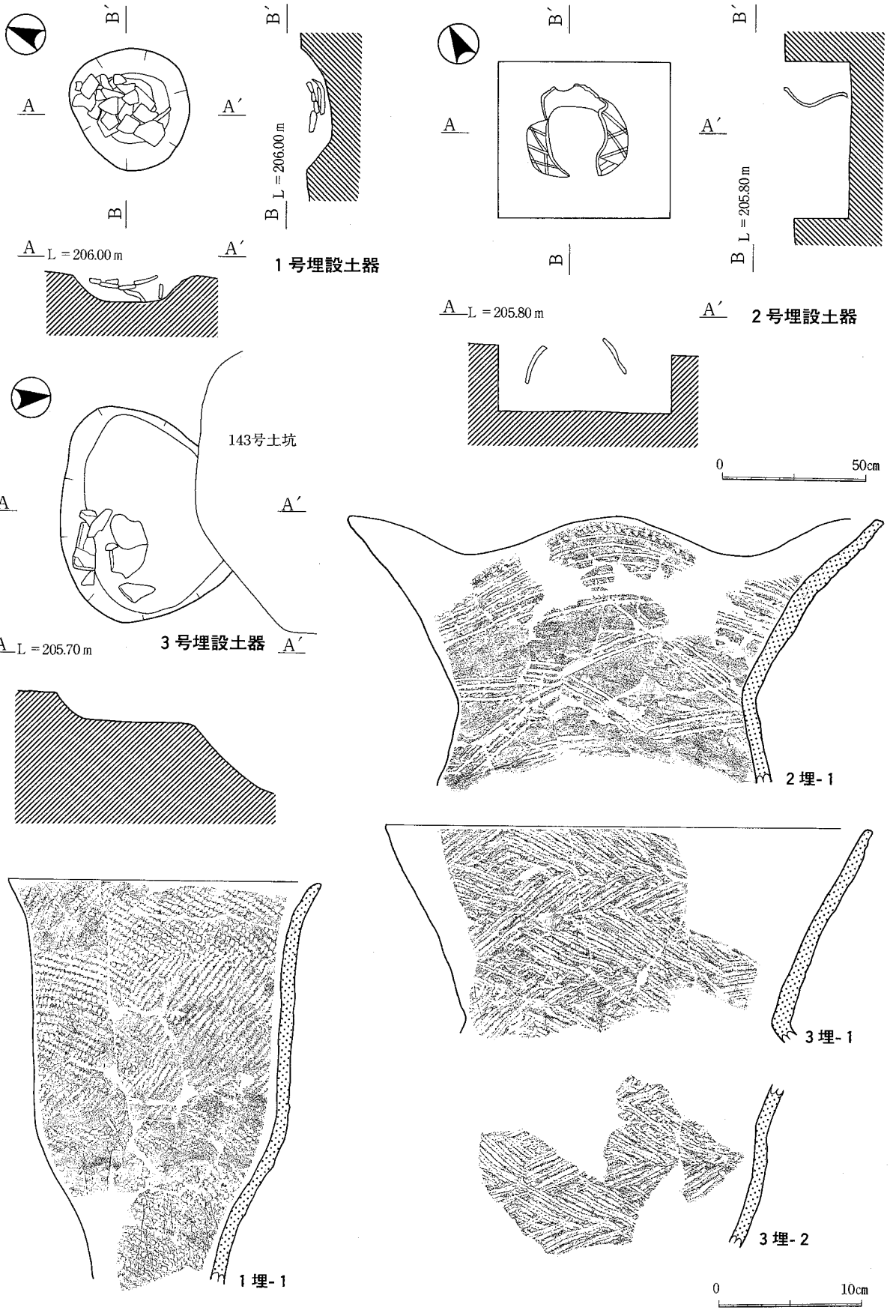


第104図　土坑出土遺物14（317～331号土坑）

表69　土坑出土土器観察表（6）

番号		型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
308号土坑	1	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線　渦巻文	
	2	有尾	深鉢	口縁	破片	波状口縁　C爪形　繊維混入	
	3	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線　渦巻文	
	4	有尾	深鉢	胴部上半	大形破片	C爪形　菱形文構成　R・Lの羽状構成　繊維混入	
317号土	1	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	平行沈線　C爪形　支点転換　鋸歯文	
	2	諸磯b	深鉢	胴部	破片	平行沈線	
324土－1		黒浜	深鉢	口縁～胴部	1/5	直前段合撚　繊維混入	
325土－1		黒浜	深鉢	口縁～底部	完形	LR　平縁　繊維混入	
326号土	1	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	く字に開く口縁　平縁　Lカ　繊維混入	
	2	黒浜	深鉢	胴部下半	大形破片	L・RLの羽状構成　繊維混入	
330土－1		諸磯b	深鉢	口縁	破片	角状に突がる波頂部　平行沈線	
331土－1		不明	小形深鉢	口縁～底部	1/2	小波状口縁　無文	

第104図　土坑出土遺物14（317～331号土坑）



第105図　1～3号埋設土器

第３項　埋設土器（第105図）

検出された埋設土器は３基である。出土遺物は表70に観察結果まとめた。

１号埋設土器

本埋設土器はＢ－７グリッドに於て検出されたものである。浅い皿状の掘り込みの中に遺物は底部を打ち欠き横位に埋設されている。遺物は黒浜式土器で器面には胴上半部にRLとLRの単節縄文が羽状に施文される。

２号埋設土器

本埋設土器はＢ－８グリッドに於て検出されたものである。明瞭な掘り込みは確認できておらず口縁部を下にして倒位で出土している。遺物は４単位の波状口縁で、口頸部には平行沈線による大形菱形文構成を描く有尾式である。

３号埋設土器

本埋設土器はＣ－６グリッドに於て検出されたものである。楕円形を呈する土坑状の掘り込みより出土したもので、同一個体の口縁部と胴部の大破片である。本来は倒位に埋設されていた可能性が高い。遺物は正反合わせ撚った縄を羽状に施文するもので、口縁部から胴部に至るまで同様の原体が施文される。黒浜式土器である。

表70　埋設土器観察表

番号		型式	器種	部位	残存	模様の特徴	備考
1号埋－1		有尾	深鉢	口縁～胴下	2/3	RL・LRの羽状構成	
2号埋－1		黒浜	深鉢	口縁～胴部	大形破片	口唇刻目　平行沈線　菱形文構成　無節Ｒ・Ｌで羽状	
3号埋	1	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	正反合の撚糸カ　羽状構成	
	2	黒浜	深鉢	胴部	大形破片	正反合の撚糸カ　羽状構成	

第４項　集石（第106図）

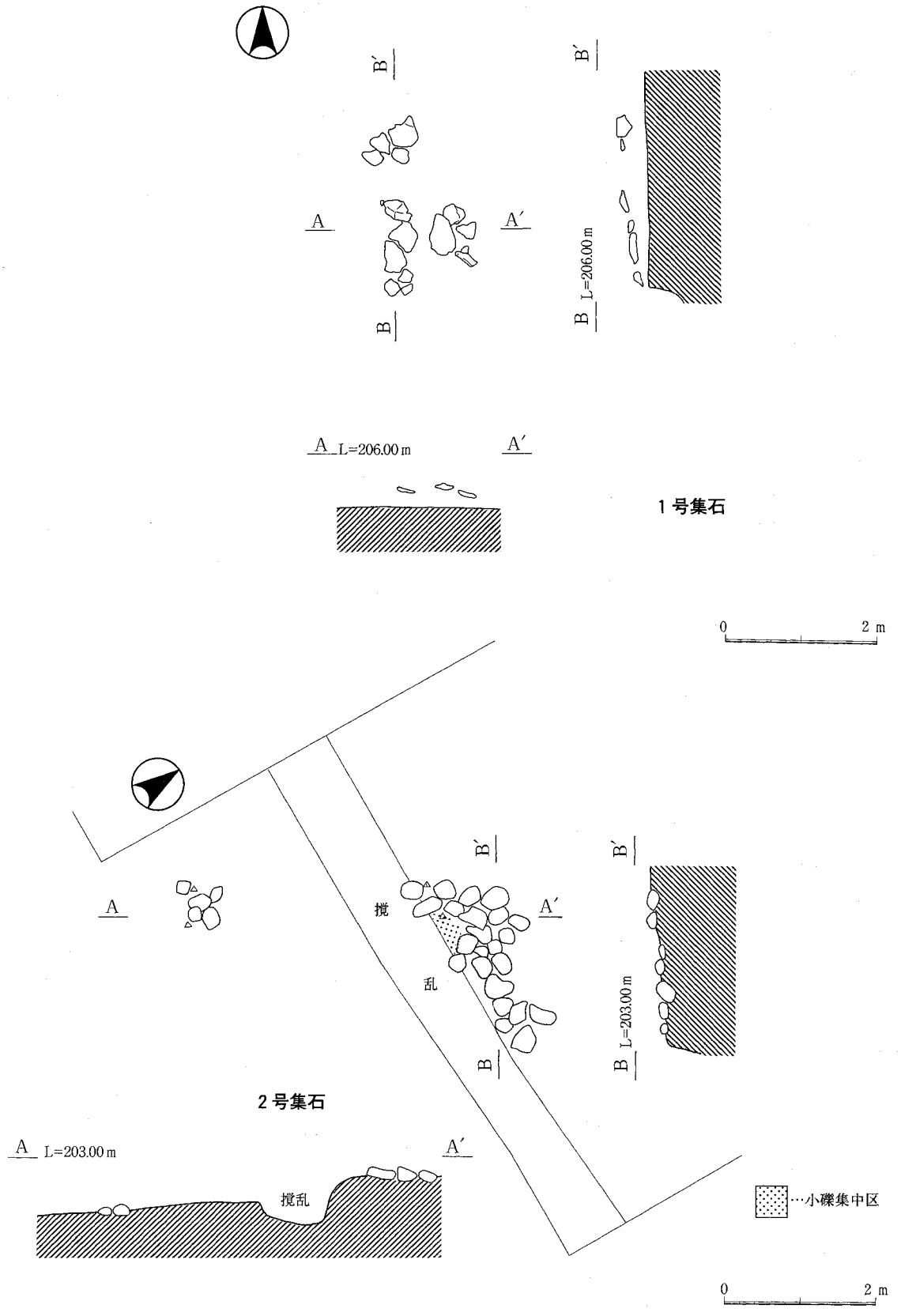
２基が検出されている。このうち１号は19号住居跡の覆土中に於て確認されたもので、住居埋没段階での何らかの行為が行われた事を示すもので、住居跡と別遺構として取り扱っている。

１号集石

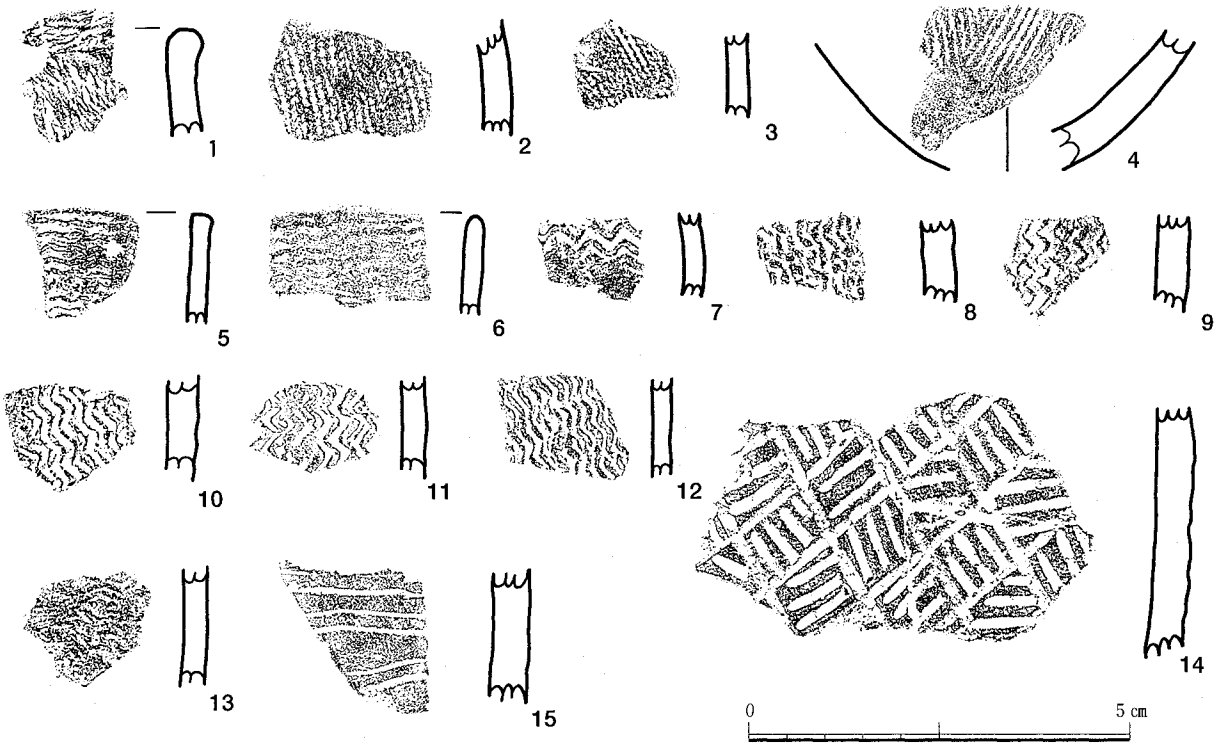
本遺構は、Ｄ－７グリッドに於て17号住居跡の北側に近接して検出されたものである。15個の人頭大から拳大の礫が、南北1.25m東西0.6mの範囲に３つのブロックに分かれ配置されている。礫はいずれも未加工の輝石安山岩で被熱を受けている。

２号集石

本遺構は、Ｆ－９グリッドに於いて検出された。長さ２m、幅１mで弧状に38個の拳大の自然礫を中心に検出されている。南側を一部撹乱に破壊されているが、本来環状に配されていた可能性がある。環状の中央付近では３cm未満の細かな礫の集中する部分も確認されている。礫以外の伴出遺物はない。


B′
A
A′
B
B′
B L=206.00m
A L=206.00m A′
1号集石
0 2m
B′
A
搅
A′
乱
B
B′
B L=203.00m
2号集石
A L=203.00m
A′
搅乱
…小礫集中区
0 2m

第106図　1・2号集石



第107図　遺構外出土縄文土器（１）

第５項　遺構外出土土器・土製品（第107～109図、図版86～88）

本節では遺構外の遺物についてまとめ、遺構としては残されなかった遺跡の一面を捉えるものである。

遺物は土器及び土製品で、時期別に５群に大別し更に型式別に類別した。

第１群　縄文時代早期

第１類　（１）

口縁部が緩やかに外反肥厚する小形の深鉢形土器である。口唇部には横方向の胴部には斜め若しくは縦方向の撚糸が施文される。早期撚糸文大丸式に比定される。

第２類　（２～４）

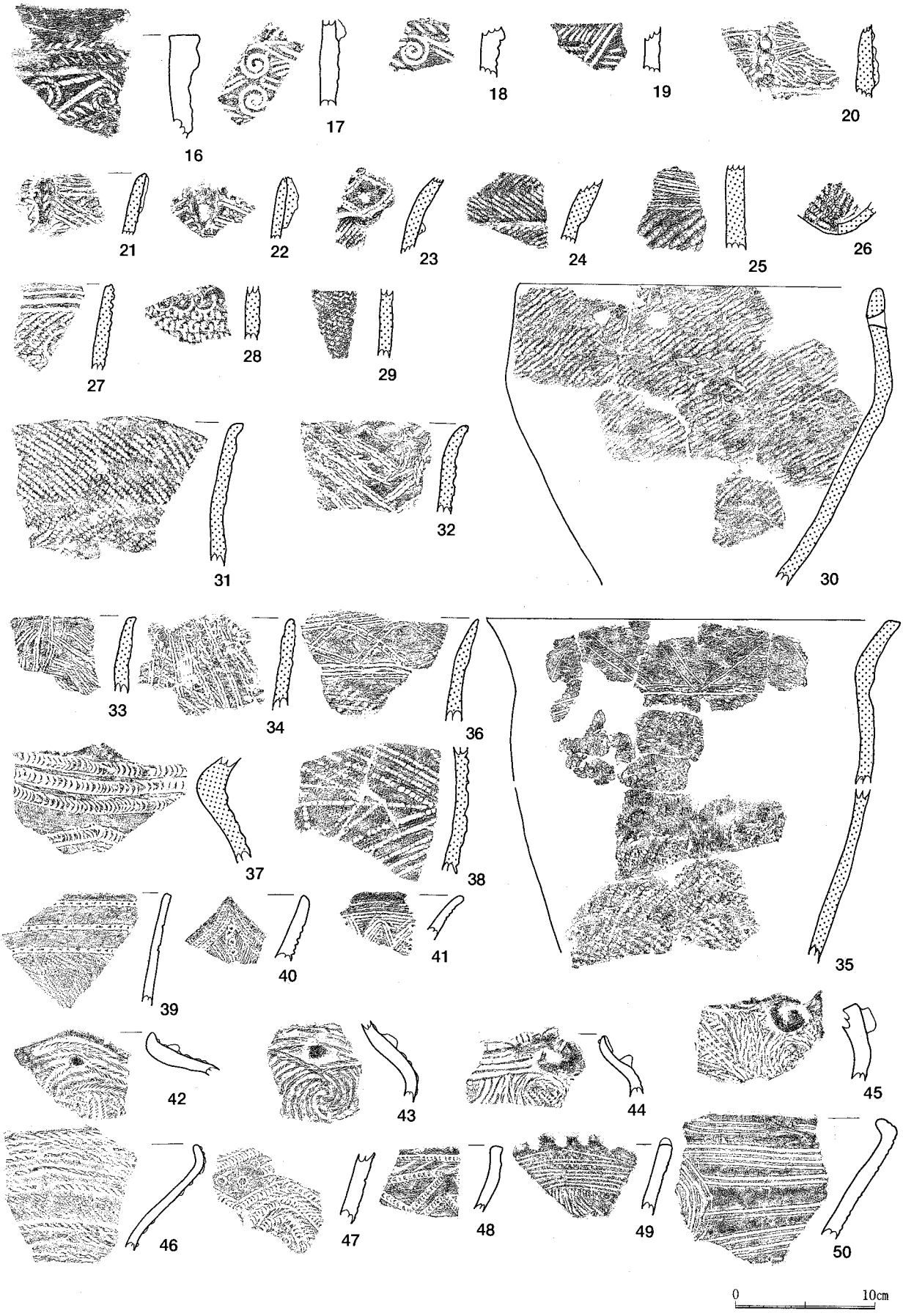
２・３で胴部、４は胴下半より底部に至る破片である。撚糸は縦方向を基調にやや疎に施文される。撚糸文末期の稲荷台式に比定される。

第３類　（５～13）

５・６は口縁部、その他は胴部の細片である。いずれも山形押型文が施文される資料で５～７には横方向の回転、８～13では縦方向の施文が行われる。樋沢式の可能性があるものの、楕円押形が検出されず時期的にはやや古い可能性もある。しかしながら、格子目は検出されていない。

第４類　（14・15）

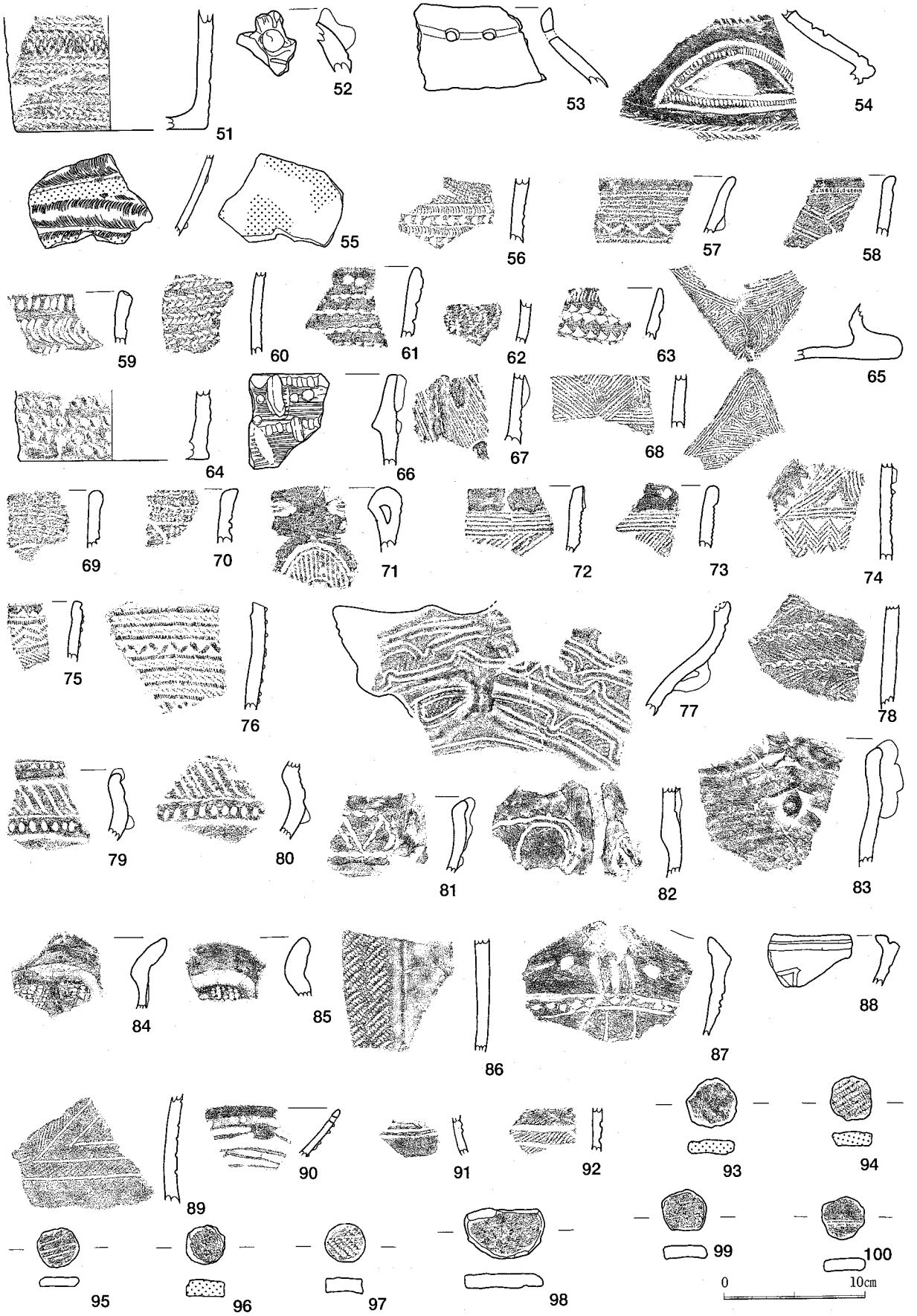
14・15の２点のみの検出である。沈線文系の土器で14は田戸下層式期の資料と考えられる。15は細沈線による平行線が描かれるもので胴下半部の破片であろう。田戸下層式の範疇で捉えた。



第108図　遺構外出土縄文土器（２）

表71　遺構外出土土器・土製品観察表（1）

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
1	大丸	深鉢	口縁	破片	口唇横　胴縦　撚糸	
2	不明	深鉢	胴部	破片	撚糸（縦方向）	
3	稲荷台	深鉢	胴部	破片	撚糸（縦方向）	
4	稲荷台	深鉢	胴下底	破片	撚糸（縦方向）	
5	押型文	深鉢	口縁	破片	山形押型文　横	
6	押型文	深鉢	口縁	破片	山形押型文　横	
7	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　横	
8	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
9	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
10	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
11	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
12	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
13	押型文	深鉢	胴部	破片	山形押型文　縦	
14	田戸下層カ	深鉢	胴部	破片	沈線による格子状区画の内部に短沈線を方向変えて充填	
15	田戸下層カ	深鉢	胴部	破片	細沈線	
16	花積下層	深鉢	口縁	破片	平縁口縁　隆帯刻目　渦巻　原体圧痕　繊維なし	
17	花積下層	深鉢	胴部	破片	隆帯刻目　渦巻　原体圧痕　繊維なし	
18	花積下層	深鉢	胴部	破片	隆帯刻目　渦巻　原体圧痕　繊維なし	
19	花積下層	深鉢	胴部	破片	原体圧痕　繊維なし	
20	花積下層	深鉢	胴部	破片	棒状貼付　口縁部文様帯　平行沈線　繊維混入	
21	花積下層	深鉢	口縁	破片	棒状貼付　口縁部文様帯　平行沈線　繊維混入	
22	花積下層	深鉢	口縁	破片	棒状貼付　口縁部文様帯　平行沈線　繊維混入	
23	花積下層	深鉢	口縁直下	破片	隆帯　原体圧痕　円形刺突　繊維混入	
24	花積下層	深鉢	口縁直下	破片	口縁折り返し　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
25	花積下層	深鉢	胴部	破片	原体圧痕　LR　繊維混入	
26	花積下層	深鉢	底部	破片	0段多条　尖底　繊維混入	
27	関山	深鉢	口縁	破片	半截竹管　平行沈線　刺突　LR　波状口縁　繊維混入	
28	関山	深鉢	胴部	破片	コンパス文　多段ループ　繊維混入	
29	関山	深鉢	胴部	破片	組紐　繊維混入	
30	黒浜	深鉢	口縁～胴下	大形破片	L　補修孔　平縁　繊維混入	
31	黒浜	深鉢	口縁	大形破片	RL・LRの羽状構成　繊維混入	
32	黒浜	深鉢	口縁	破片	付加条第1種カ　繊維混入	
33	黒浜	深鉢	口縁	破片	撚糸　繊維混入	
34	黒浜	深鉢	口縁	破片	撚糸　繊維混入	
35	黒浜	深鉢	口縁～胴下	大形破片	平行沈線　鋸歯文　RL・LRの羽状構成　繊維混入	
36	有尾	深鉢	口縁	破片	平行沈線　C爪形　菱形連続文　L　繊維混入	
37	有尾	深鉢	胴部	破片	C爪形　菱形文構成　繊維混入	
38	有尾	深鉢	胴部	破片	櫛歯状刺突　肋骨文的　繊維微量混入	
39	諸磯a	深鉢	口縁	破片	C爪形　R	
40	諸磯a	深鉢	口縁	破片	波状口縁波頂部　肋骨文　C爪形　円管刺突	
41	諸磯a浮島カ	深鉢	口縁	破片	4本1単位集合沈線　波状　円管刺突	
42	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　地文RL　円形貼付	
43	諸磯b	深鉢	口縁直下	破片	浮線　地文RL　円形貼付	
44	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　地文RL　C字貼付	
45	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　C字貼付	
46	諸磯b	深鉢	口縁	破片	浮線　地文RL	
47	諸磯b	深鉢	胴部	破片	C爪形　円管刺突	
48	諸磯b	深鉢	口縁	破片	C爪形	
49	諸磯b	深鉢	口縁	破片	口唇刻目　平行沈線　地文RL	
50	諸磯b	深鉢	口縁	破片	平行沈線	
51	諸磯b	深鉢	底部	破片	浮線　地文RL	
52	諸磯b	深鉢	把手	破片	イノシシ獣面把手	



第109図　遺構外出土縄文土器（３）

表72　遺構外出土土器・土製品観察表（２）

番号	型　式	器　種	部　位	残　存	模　様　の　特　徴	備　考
53	諸磯ｂ	浅鉢	口縁	破片	有孔　無文	
54	諸磯ｂ	浅鉢	胴部	破片	有孔　Ｄ爪形　平行沈線　木の葉状文	
55	北白川下層	浅鉢	胴部	破片	内外赤彩　幅広のＣ爪形薄手隆帯	
56	北白川下層ｶ	深鉢	胴部	破片	RL　Ｃ爪形密に施文	
57	浮島Ⅰ	深鉢	口縁	破片	Ｃ爪形　胎土白色	
58	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	Ｃ爪形　平行沈線　胎土白色	
59	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	口唇刻目　変形爪形文	
60	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪形文　円管刺突	
61	浮島Ⅱ	深鉢	口縁	破片	変形爪形文	
62	浮島Ⅱ	深鉢	胴部	破片	貝殻腹縁支点変換鋸歯文	
63	浮島Ⅲ	深鉢	口縁	破片	三角文	
64	浮島Ⅲ	深鉢	底部	破片	円形刺突文	
65	諸磯ｂ～ｃ	深鉢	口縁	破片	角状に突がる波頂部　平行沈線集合化	
66	諸磯ｃ	深鉢	口縁	破片	棒状及び円形貼付文　集合沈線	
67	諸磯ｃ	深鉢	胴部	破片	棒状及び円形貼付文　集合沈線	
68	諸磯ｃ	深鉢	胴部	破片	集合沈線（５本１単位）	
69	興津	深鉢	口縁	破片	沈線で区画し内部に貝殻腹縁連続刺突	
70	興津	深鉢	口縁	破片	沈線で区画し内部に貝殻腹縁連続刺突	
71	十三菩提	深鉢	口縁	破片	三角印刻文　集合沈線	
72	十三菩提	深鉢	口縁	破片	三角印刻文　集合沈線	
73	十三菩提	深鉢	口縁	破片	三角印刻文　集合沈線	
74	十三菩提	深鉢	胴部	破片	三角印刻文　集合沈線	
75	吹浦	深鉢	口縁	破片	結節浮線文　地文RL	
76	吹浦	深鉢	胴部	破片	結節浮線文　地文RL	
77	五領ヶ台	深鉢	口縁	大形破片	小波状突起　平行沈線　橋状把手　LR	
78	五領ヶ台	深鉢	胴部	破片	Ｒ・Ｌの羽状構成　Ｓ字結節	
79	狢沢	深鉢	口縁	破片	横帯区画内に斜の角押列	
80	狢沢	深鉢	口縁	破片	横帯区画内に斜の角押列	
81	阿玉台Ⅰｂ	深鉢	口縁	破片	横帯区画　隆帯に沿って一列の角押	
82	阿玉台Ⅰｂ	深鉢	口縁	破片	横帯区画　隆帯に沿って一列の角押	
83	阿玉台Ⅰｂｶ	深鉢	口縁	破片	ヒダ状の小突起	
84	加曽利Ｅ３	深鉢	口縁	破片	波頂部　区画内に縄文充填	
85	加曽利Ｅ３	深鉢	口縁	破片	波頂部　区画内に縄文充填	
86	加曽利Ｅ４	深鉢	胴部	破片	微隆線による懸垂文　RL縄文充填	
87	堀之内	浅鉢カ	口縁	破片	小波状突起　沈線・刺突列　内面沈線１条	
88	堀之内	深鉢	口縁	破片	沈線	
89	堀之内	深鉢	口縁	破片	幾何学文内にLR充填	
90	千網	浅鉢	口縁	破片	浮線網状文	
91	千網	壷	頸部	破片	太い沈線	
92	晩期不明	鉢カ	胴部	破片	太い沈線　地文Ｌ	
93	不明	円盤		完形	土器片再利用　繊維混入	
94	不明	円盤		完形	土器片再利用　RLカ　繊維混入	
95	不明	円盤		完形	土器片再利用　平行沈線	
96	不明	円盤		完形	土器片再利用　繊維混入	
97	不明	円盤		完形	土器片再利用　RLカ	
98	不明	円盤		1/2	土器片再利用	
99	不明	円盤		完形	土器片再利用	
100	不明	円盤		完形	土器片再利用　平行沈線	

第2群　縄文時代前期

第1類

a種　(16～19・26)

いずれも繊維は混入せず同一個体の可能性がある。口唇部は平坦で口唇直下には刻み目を有する隆帯が廻り、原体圧痕による渦巻文と綾杉状の沈線が施文される。26は0段多条の縄文が施文される。花積下層式中葉段階に比定されよう。

b種　(20～25)

胎土中には多量の繊維が混入される。20～22は口唇部の破片で沈線による綾杉文様に棒状の流線が貼付される。23では格子目状の原体圧痕が施され隆帯によって口縁部文様帯と胴部の区画が行われる。24では折り返し口縁で口縁部には羽状の縄文が施文される。25は原体圧痕とLRの縄文が施文される。花積下層新段階の資料であろう。

第2類　(27～28)

胎土中に多量の繊維が混入され、27で竹管、28で多段のループ・コンパス文、29では組紐の回転施文が施される。関山式に比定される。

第3類

a種　(30～35)

いずれも胎土中に繊維を混入する深鉢で、30で無節・31では単節羽状・32では付加条第1種の縄文が、33・34では撚糸文が施文される。35では口縁部に平行沈線が描かれるもので、胴部には31同様の単節羽状を施文する。黒浜式に比定される。

b種　(36～38)

36では平行沈線、37ではC字の爪形、38では櫛歯状工具による刺突列による菱形文の構成が行われるもので、いずれにも繊維の混入が見られる。有尾式に比定されるものであるが、38でやや古い段階になる。

第4類　(39～41)

胎土中の繊維混入は認められず、細かな平行沈線とC字の爪形文が口縁部に施文される。40は波状口縁で波頂部は鋭く尖り胴部には肋骨文が施文される。41では集合沈線が平行及び波状に描かれるものでやや浮島式的である。諸磯a式を本類にまとめた。

第5類　(42～54)

42～46は浮線、47・48はC字爪形、49～51では平行沈線が描かれる。52は深鉢形土器の獣面把手部分の破片である、53は口縁部に円孔が穿たれる、54は爪形文による木の葉文が描かれる浅鉢である。諸磯b式に比定されるものを本類にまとめた。

第6類　(55・56)

55では幅広のC字爪形文が細かに連続刺突され、内外面に赤彩による文様が描かれる。56ではやや幅の狭い爪形になる北白川下層Ⅱb式に比定されるものであろう。搬入土器の可能性が高い。

第7類

a種　(57・58)

外反して大きく開く平縁の口縁で口縁直下には刻みを有する隆帯が廻る。爪形は幅が狭くややまばらである。浮島Ⅰ式に比定されよう。

b種　(59～62)

変形爪形文を施文するものと、62ではアナダラ属の貝殻腹縁を用いた支点転換による鋸歯状の文様が施文される。浮島Ⅱ式に比定される。

c種　(63・64)

63では三角形の連続文、64では棒状の刺突文が施文されるもので、浮島Ⅲ式に比定される。

第8類　(65～68)

集合沈線による文様構成を行うもので、66・67には耳たぶ状の貼付文が施され、諸磯c式に比定される。

第9類　(69・70)

幅広の平行沈線により区画された内部に、アナダラ属の貝殻腹縁を連続刺突する。興津式に比定される。

第10類　(71～74)

集合沈線と三角形の印刻文を特徴とする十三菩提式に比定される。

第11類　(75・76)

有節浮線を横位または鋸歯状に配するもので、北陸地方吹浦式に比定されるものであろう。

第3群　縄文時代中期

本群に含まれる資料は極めて僅かで、その大半について資料提示を行っている。

第1類　(77・78)

78では大きくキャリパー形に開く口縁部の資料で、括れ部分に橋状の把手が付されている。口縁部より頸部にかけて半截竹管により波状の文様が描かれる。地文にはLRの縄文が施文される。79では細かな羽状縄文とS字状の結節文が横位に施文される。五領ヶ台式に比定されるものであろう。

第2類　(79・80)

口縁部の窓枠状の区画内部に、斜方向の平行する角押列を充填させるもので、貉沢式に比定される。

第3類　(81～83)

隆帯により区画された内部に山形の角押文が施文されるもので、阿玉台Ⅰb式に比定される。

第4類　(84～86)

わずかに3片のみの出土であった。84・85で口縁部、86で胴部の資料である。加曽利E3式に比定される。

第4群　縄文時代後期

第1類　(87～89)

本群に含まれる遺物は遺跡全体で3点のみの出土であった。堀之内Ⅰ式に比定されるものである。

第5群　縄文時代晩期

第1類　(90～92)

本群に含まれる遺物は遺跡全体で第4群同様3点のみの出土であった。90・91では千網式に比定され、92はやや古くなる可能性もある。19号土坑出土遺物が本群の遺物に含まれるものであろう。

第6群　土製品　(93～100)

8点について掲載したがいずれも土器片再利用の円盤である。94・97でRLの縄文がまた、95・100で平行沈線が描かれる胴部の破片である。93・94・97の3点で胎土中に繊維を混入する。

第6項　遺構内外出土石器・石製品

出土した石器・石製品は一部の軽石製品を除き実測図は割愛し、写真図版のみの掲載にとどめた。

検出された石器・石製品の総数は、被熱礫を除いて遺跡全体で7616点にのぼる。種類別では打製石斧・ヘラ状石器・磨製石斧・石鏃・石匙・スクレーパー・楔・錐・ピエスエスキューユ・石皿・磨石・特殊磨石・凹石・砥石・台石・多孔石・叩石・軽石製石製品・石核・剥片・原石・玦状耳飾・玉類がある。

本項では遺構出土遺物を含め遺跡全体での石器・石製品について概略するものである。各遺構別及び遺構外出土の石器・石製品については各組成表にまとめている。

打製石斧

288点が出土している。形状では短冊形・分銅形・撥形・先端がやや尖る形状のもの等に分けられ、材質では安山岩・凝灰質砂岩・頁岩・砂岩・結晶片岩等が確認されている。特筆されるものには、8号住居跡に於ける製作跡の確認がある。同跡では114点の未製品及び製作途中での欠損品を含めた資料及び製作に伴い剥離された調整剥片が多数出土している。製作の工程は円礫を打割して大形の剥片を採取し、これに側面からの打撃を順次加えて整形を行っている。製作途上での欠損資料は基部・中央部・刃部の3種類に分けられる。さらに、石材では凝灰質砂岩と頁岩が用いられている。

磨製石斧

56点が出土している。形状では乳棒状と定角式がある。石材では緑色岩45点・蛇紋岩8点・砂岩1点・凝灰質砂岩1点・不明1点があり、乳棒状を呈する緑色岩製の資料が全体の8割を占める。この石材は鏑川流域での石材に類似しており、同地域からの搬入が予想される。一方で蛇紋岩製のものについては、小形の定角式の資料が多く北陸方面にその産地が求められる可能性が高い。製作技法では緑色岩には敲打痕を残すものが多く、蛇紋岩製では製作工程の痕跡を残す資料は少ない。11号住居跡26の資料は欠損品を擦り切りによる切断を行い、再生を試みる資料である。

石皿

粉食にかかわる資料としては石皿・磨石が出土しているが、特に石皿が多く出土している。各遺構出土資料としては37点、遺構外では12点の出土がある。安山岩・結晶片岩・緑泥片岩製のものが見られ、安山岩製が42点で最も多い。

軽石製石製品

273点が出土している。本遺物については第6章第2節で詳述したい。

玦状耳飾り

遺物は8・9号住居跡及び遺構外から各1点づつの3点が出土している。いずれも滑石製で、形状では円形で孔が中央に穿たれ切り目がやや幅の広いもの（8号・グリッド出土）と、方形に近い形状で日本鉄に近い形状のもの（9号住居跡）の2種類に分かれる。前者は前期中葉以降の後者は前期末葉の資料とされるものである。伴出遺物ではいずれも諸磯b式期に伴っている。

玉

遺跡内で3点が出土している。黒浜期の4号住居跡出土の資料は扁平で円形を呈し、中央に両面からの穿孔が行われている。また側面には縦方向の細かな刻みが施される。石材は黒色の滑石と考えられる。グリッド出土資料として2点の管状玉がある。棗玉状で穿孔は両面から行われている。石材はやはり滑石である。形状より判断して前期初頭から前半の資料の可能性が考えられる。

表73　遺構外出土石器組成表

	打斧	磨斧	石鏃	石匙	スタンプ	錐	スクレイパー	楔	コア	特殊磨石	磨石	凹石	石皿	軽石	砥石	叩石	多孔石	台石	玦状耳飾	玉	剥片		計
																					使用アリ	使用ナシ	
安山岩	1		2		1				6		28	53	9			2	3	1			12	73	191
蛇紋岩		6																					6
砂岩	14					1			9						1						45	228	298
凝灰質砂岩	30			4		2	2	1	10												126	639	814
頁岩	19		5			3	1		3												43	146	220
緑色岩		14				1															6		21
チャート			10	1		1	1		9												4	73	99
黒曜石			10				1		13												12	218	254
石英																						1	1
珪質頁岩									1												2	16	19
滑石																			1	2			3
緑泥片岩													3		1						2		6
珪化木																						2	2
メノウ																						2	2
鉄石英	1																				3		4
軽石														29									29
蛇紋岩																						4	4
不明						1				1													2
計	65	20	27	5	1	9	5	1	51	1	28	53	12	29	2	2	3	1	1	2	255	1402	1975

第2節　近世以降

第1項　井戸（第110・111図）

検出された井戸は3基である。1・2号が調査区北西側の台地平坦部分に近接して位置し、3号は南側の斜面部分に位置している。

1号井戸

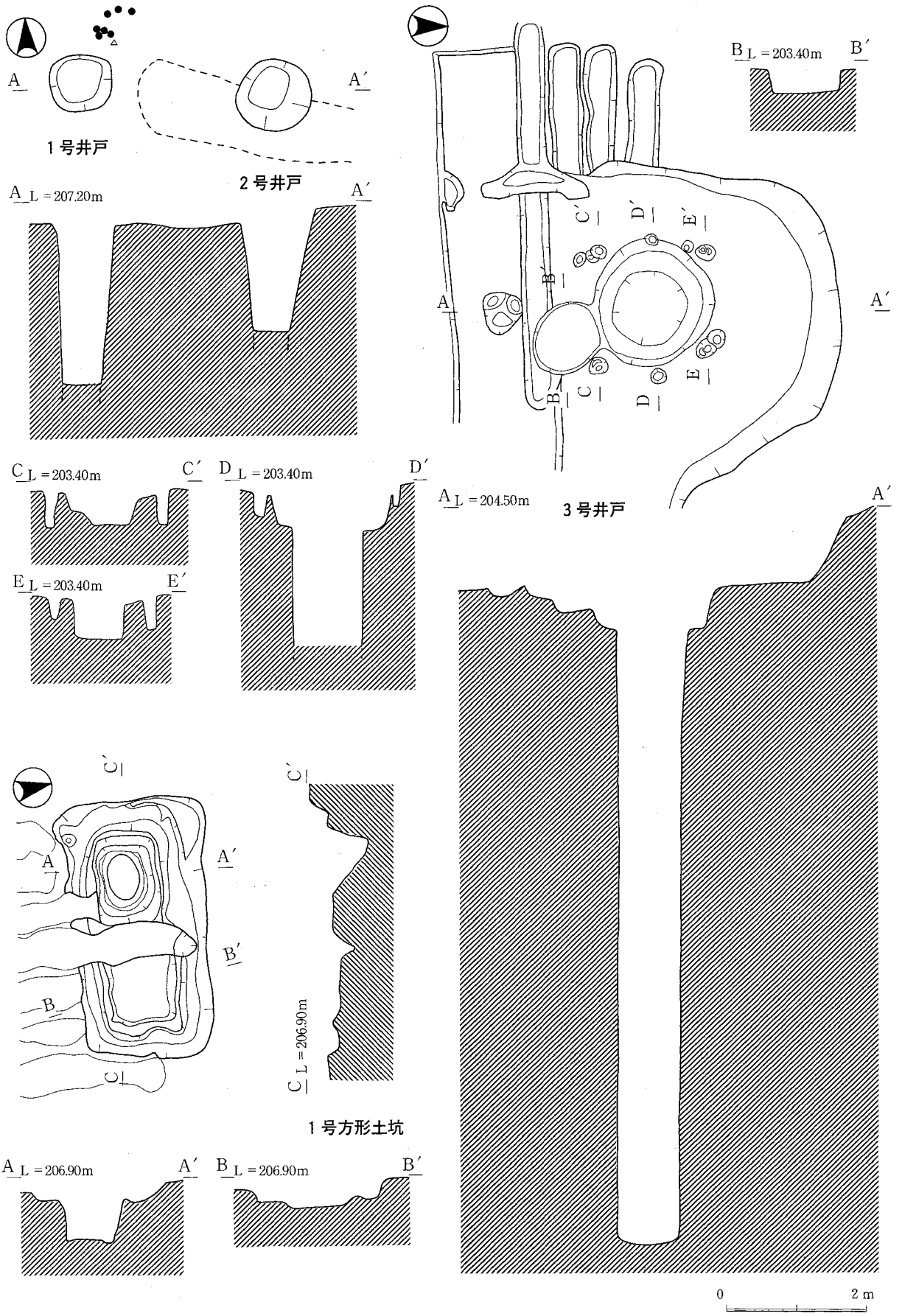
B－2グリッドに於て2号井戸の西側1.8mに近接して検出された。平面形状は0.9×8.4mの東西方向にやや長い隅丸の方形を呈する。掘り込みはほぼ円筒状で深さ凡そ2.2mまで掘り下げたが、底部を検出するには至っていない。覆土中には浅間A軽石の混入が認められることより近世以降の所産と判断されるが遺物は検出されていない。

2号井戸

B－2グリッドに於て1号井戸の東1.8mに近接して検出された。平面形状は1.1×1.05mのほぼ円形を呈する。掘り込みはほぼ開口部側がやや広がり底部に向かいすぼまるロート状を呈し、深さ凡そ1.8mまで掘り下げたが、1号同様底部を検出するには至っていない。覆土中には浅間A軽石の混入が認められることより近世以降の所産と判断されるが遺物は検出されていない。

3号井戸

E・F－8・9グリッドに於いて検出された。確認初頭大量の焼土が検出された事から、炭窯と考えていたものが、調査の結果井戸と判明したものである。同地区は南側に向かい緩やかに傾斜する部分に位置している。



第110図　1～3号井戸・1号方形土坑

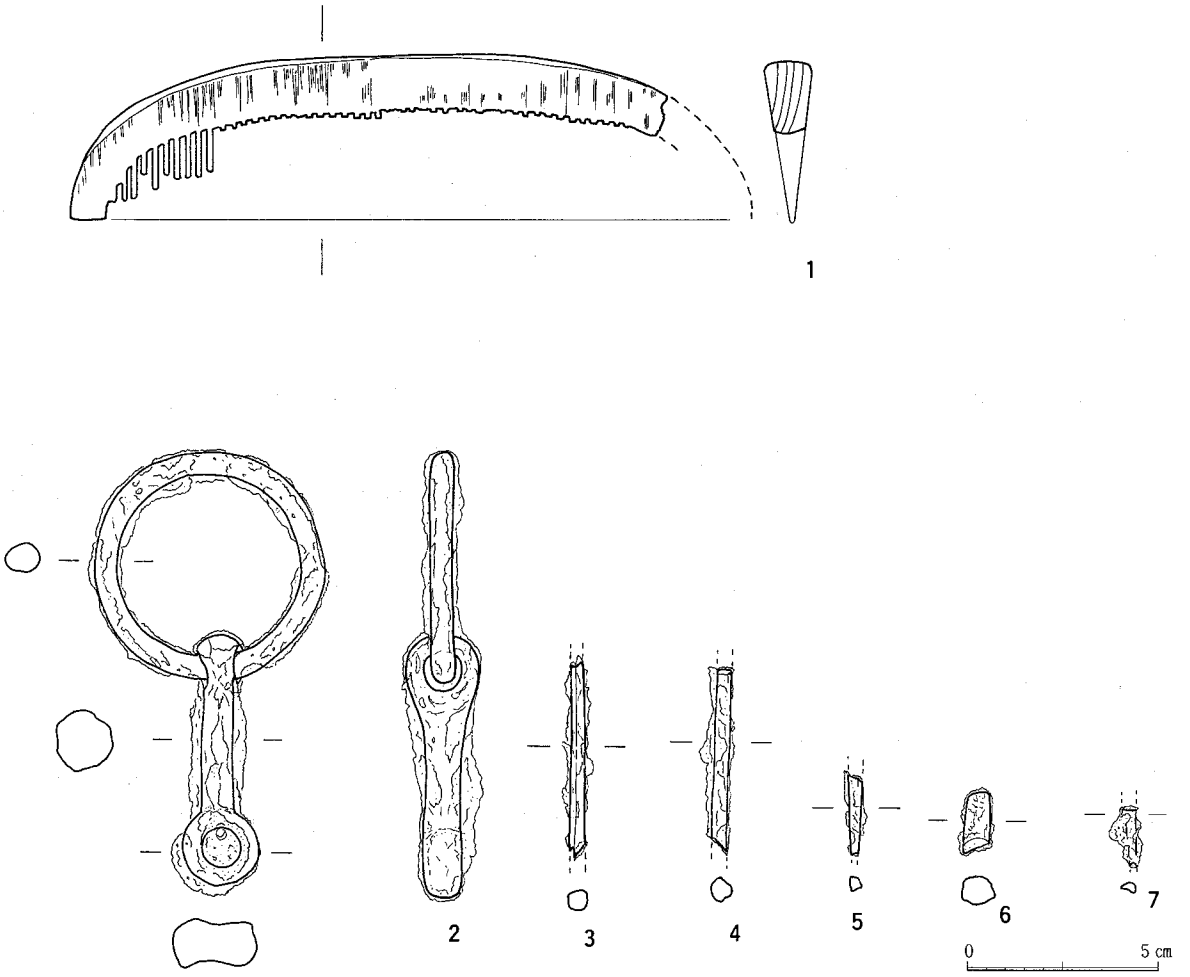
井戸の掘削は、まずこの斜面に東西4.6m、南北５m、深さ最大90cmに馬蹄形の開削を行い平坦面を確保している。その後、中央部分に直径0.9mの円形の掘り込みを行うもので、安全対策を施しながら機械による掘り下げを実施した結果最下面は9.2mの深さを確認できた。開削部分の床面上には薄い炭化物の層が確認され、床面は硬く踏み固められている。覆土は自然堆積を示す。

井筒を取り囲むように６本（１軒×２軒）の柱が確認されており、井戸に覆屋が設置されていたことが判る。各柱には複数の重複があり、覆屋は建て替えが行われたものと考えられる。この覆屋は井戸廃棄時に於ける井戸祭祀に係わる儀礼であるのかは不明であるが、火災を受けて倒壊したものと推測される。さらに、井戸の最下層からは、櫛や丸太材の他につるべに使用されていたものと考えられる環状の鉄製品、及び釘状の鉄製品が出土しており、井戸の構造を窺い知る良好な事例である。

遺構の所属する時期は、覆土中に混入するＡ軽石から近世以降の所産と判断される。

３号井戸出土遺物

出土遺物は櫛１点鉄製品６点である。１は背の丸いやや厚みのある木製の櫛で、握り部分が厚く歯先は細く尖るもので、断面形状は鋭いＶ字を呈する。歯の根元の切り込みはほぼ水平である。２は直径６cmの環に長さ６cmの両端に方向を変えた孔が穿たれる金具が取りつけられるもので、つるべの滑車等を吊す為に用いられた金具と判断される。３～７の鉄製品は覆屋に用いられていた断面方形の釘と考えられる。その他丸太材等の覆屋の建築部材と考えられる木製品が出土したが遺存状況が悪く掲載は行えていない。



第111図　３号井戸出土遺物

第2項　土坑

近世以降の所産と判断された土坑には1号方形土坑と100号土坑がある。共に北西側で検出されている。

1号方形土坑（第110図）

本遺構はC－3グリッドに於て検出された。東西3.6m、南北0.98m、深さは最深部で80㎝を測る方形の掘り込みで、西側に一段深い掘り込みを有し、壁際にはやや幅の広い壁溝が廻る。覆土中には浅間A軽石の混入が認められる。

100号土坑（第74図）

本遺構はD－3グリッドに於て検出された。時期不明の遺構として取り扱っていたが、国立歴史民俗博物館西本豊弘助教授の鑑定によって、覆土中より出土した獣骨の分析結果が小形の偶蹄類（羊）である事が判明し、遺構は近世以降の所産と判断した。形状は楕円形を呈し浅い皿状の掘り込みであるが、病死した家畜を埋葬したものと判断された。尚、遺構の計測値は表58に示した。

第3項　溝（第112図）

2条検出されている。いずれも伴出する遺物はないが、覆土中に浅間A軽石の混入が認められる。

1号溝

本遺構は調査区域の南側、3号井戸・19号住居跡と重複して検出されている。遺構の立ち上がりは北側で比較的明瞭であるが南側は僅かな立ち上がりが一部で確認できたにとどまっている。走行方向は南北方向で、等高線に平行する。重複遺構との新旧関係は住居跡を切り、井戸とは判然としない。覆土の状況からの時間差は感じられなかった。確認された最大幅は3.18m、深さ30㎝である。

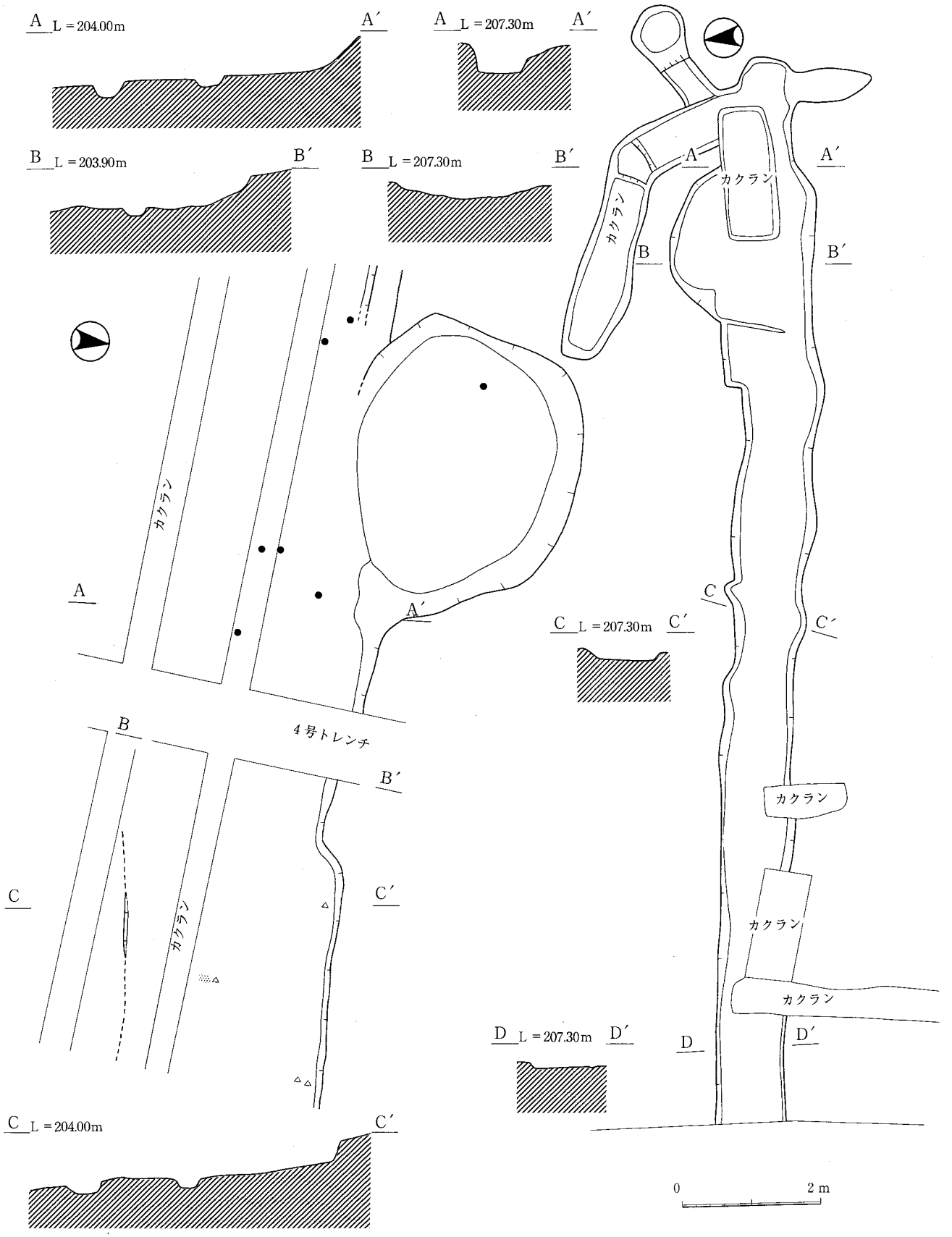
2号溝

本遺構は調査区域の北側に於いて検出された。走行方向は東西で、東側はD－2グリッドで止まり、西側は調査区域の外へと延びている。複数の撹乱坑と重複関係にあるがいずれよりも古い。断面形は浅い皿状で壁は南北両側ともに緩やかな傾斜をもって立ち上がる。溝の幅は1m程、確認面下の掘り込みは10㎝前後と浅い。

1・2号井戸と近接した関係にあり、何らかの関連施設の可能性が考えられる。

第4項　畑跡（図版　47－5）

耕作に伴うものと考えられる畝状の掘り込みが、調査区域の北側並びに3号井戸周辺に於いて検出されている。これらの遺構は現在の地割とほぼ一致した方向性が見られる事より、現代に近い時期の所産と考えられ、図については割愛した。


A L=204.00m
A′
A L=207.30m
A′
B L=203.90m
B′
B L=207.30m
B′
A
A′
カクラン
カクラン
B
B′
カクラン
A
A′
C
C′
C L=207.30m C′
B
4号トレンチ
B′
C
C′
カクラン
カクラン
カクラン
D L=207.30m D′
D
D′
C L=204.00m
C′
0
2 m

第112図　1・2号溝

第５項　遺構外出土近世遺物（第113図）

遺構外出土遺物については５点を提示した。

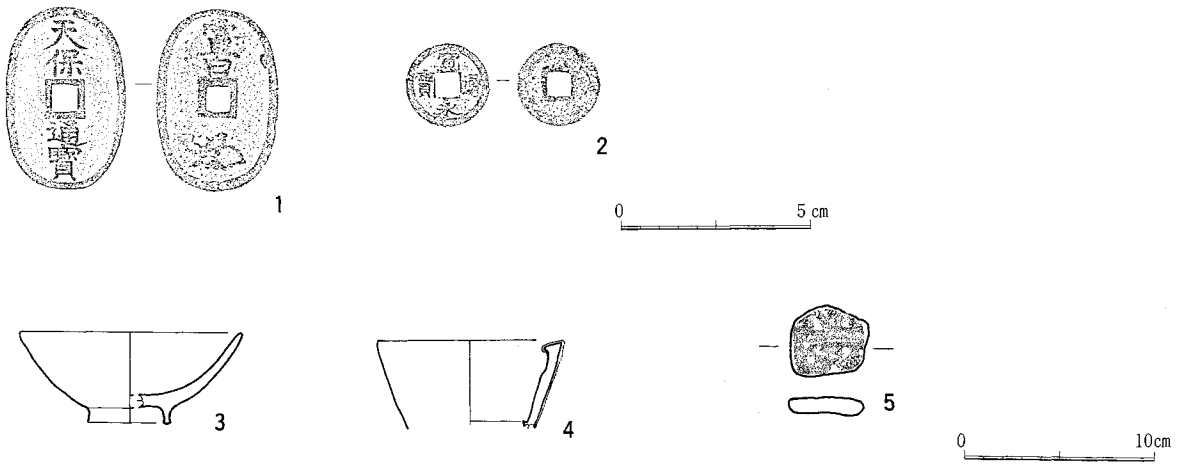
１は天保通宝である。素材は銅で初鋳年は天保６年、遺存状況は良好である。

２は寛永通宝である。素材は銅で初鋳年は寛永３年。背文はない。遺存状況は良好である。

３は磁器の碗である。呉須による染付が行われるもので紙刷りによる文様が描かれる。近世の所産。

４は香炉か有蓋の陶器細片である。外面には鉄釉がかけてある。口縁部は蓋受部がある。近世の所産。

５は円盤状の素焼きの土製品である。焼成前の整形で泥メンコの可能性があるが、表面への意匠は認められない。時期不明であるが、縄文土器とは明らかに焼成が事なり近世の所産と判断した。



第113図　その他の近世出土遺物

第6章　まとめ

第1節　前期集落と出土土器

本遺跡に残された人類の足跡は、縄文時代早期撚糸文後半段階にまでさかのぼる。該期の遺構については検出に至っていないが、遺構外出土遺物として提示した僅かに残された資料から窺い知る事ができる。人々が集落を形成するのは縄文時代前期中葉の黒浜期に至ってからである。そして、前期終末から中期初頭に至って集落は忽然と姿を消し、中期・後期・晩期では数片の土器片を確認したにとどまっている。続いて、足跡が現れるのは近世以降に至ってである。換言すれば本遺跡の中心をなすのは縄文前期の中葉から後半にかけての時期に限定される。これらの資料は、近接する芳賀団地遺跡群の東部団地遺跡と西部団地遺跡に於いて検出された該期の遺構・遺物と類似している。

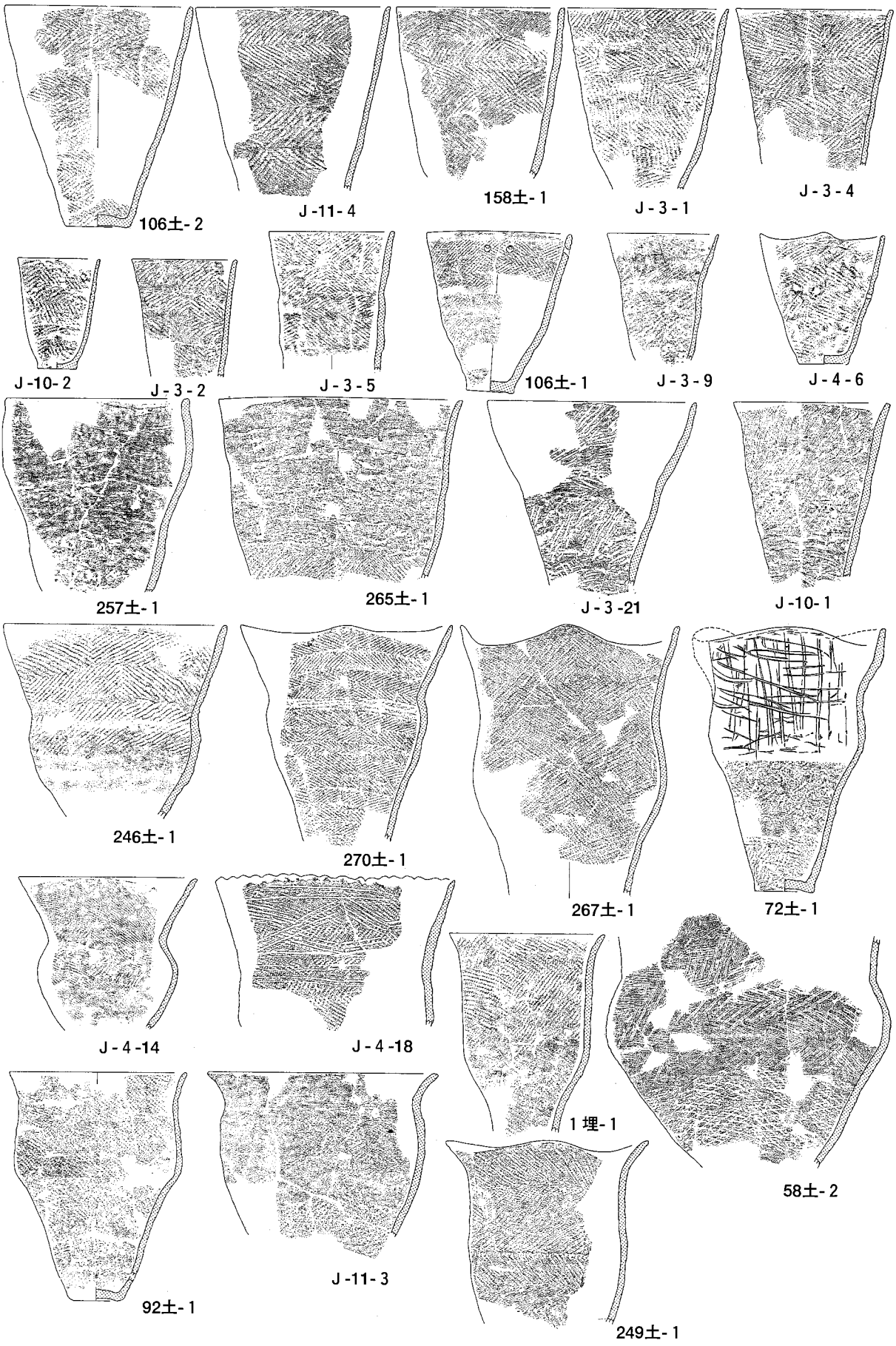
検出された遺構で住居跡は22軒であった。伴出した土器より判断される住居跡の所属時期は、黒浜式期が2・3・4・6・7・10・11・12・13・15・17・19・20・21・22号の15軒、諸磯a式期が1号の1軒、諸磯b式期が8・9・14・16の4軒である。平面プランでは黒浜期の住居跡でも神之木式に近い段階の有尾式土器を伴出した6・11号では大形の長方形のプランを有し、同じ黒浜期でも有尾の後半段階の資料を伴出した住居では正方形に近いプランとなっている。諸磯a式土器を出土した1号住居跡では黒浜後半段階の遺物を出土した住居跡と形状的に共通し、諸磯b式段階の8号では大形の円形、同じく9・14・16号では不整形若しくは小形の円形となっている。黒浜式の古い段階では関山期に見られる様な大形の長方形住居跡が作られ、後半段階で小形の方形住居が出現し、やがて諸磯b期の円形住居へとの変化が捉えられる。諸磯b期に於ける円形住居跡の分布は赤城南麓でも東側に向かい数を減らすようである。

出土土器では、第114・115図に完形品を中心に器形のわかる遺物について時期別及び器形別に集成した。これで見るとおり、黒浜期を中心に極めて良好な資料が出土している。

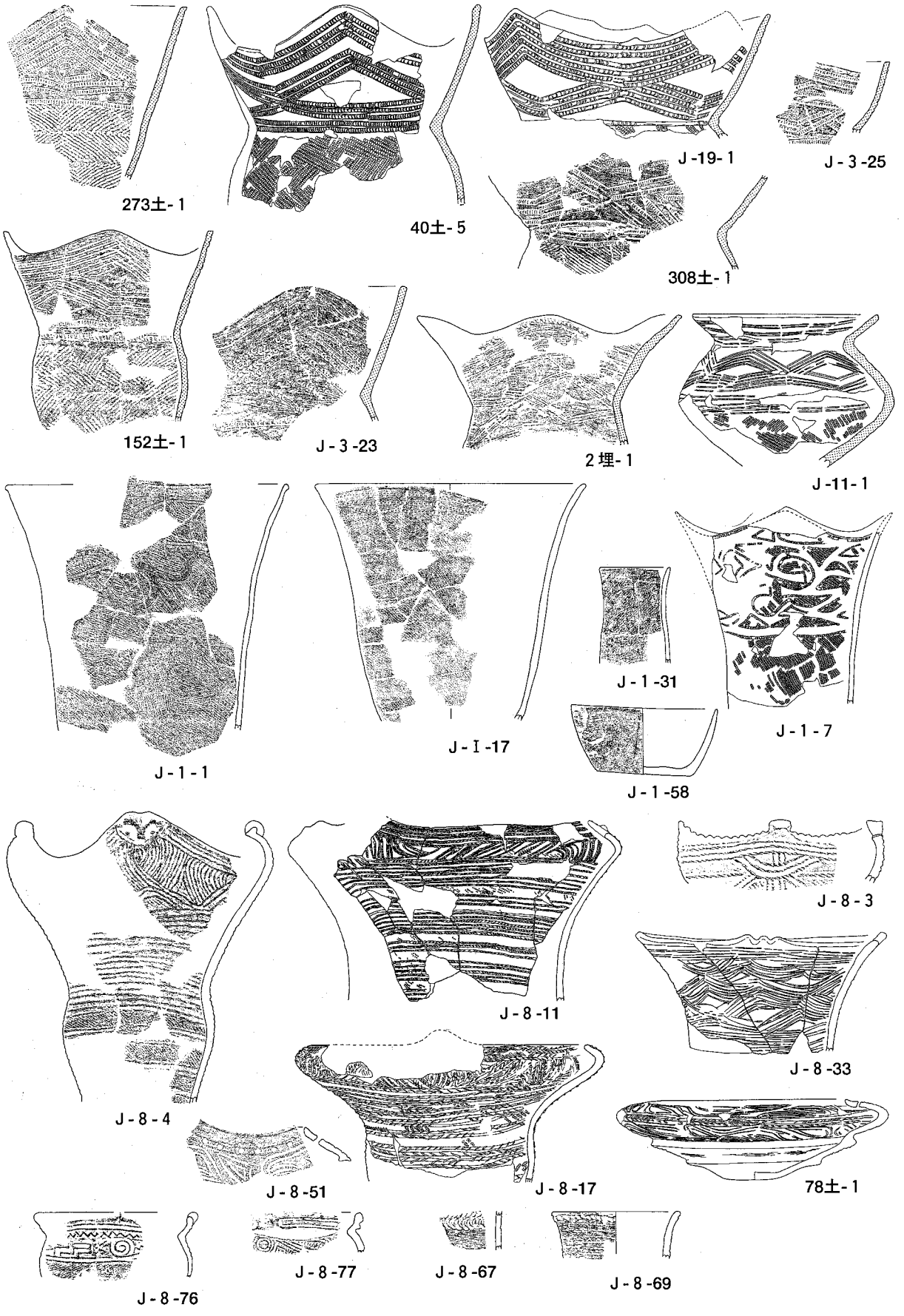
黒浜期（第114図）では地文に粗雑な縄文を施文する該期の遺物よりも、羽状構成を行う縄文施文の土器が、高い比率での出土していることがわかる。一方で、肋骨文等の平行沈線を多用する資料については少ない。このことをただちに、黒浜期でも新しい段階の資料が少ない為と判断してもよいのか検討を要する。また、大形菱形文様構成の有尾式土器（第115図上）が黒浜式土器と供伴した遺構が複数確認されている。この有尾式土器は神ノ木式期に近い段階と有尾期中葉の段階に分かれ、細分が可能である。また、58号土坑より出土した網目状撚糸を施文する大木2a式土器（第114図右下）の供伴もあるが、この大木2a式土器は古い段階の有尾式と供伴する傾向が見られる。該期に於けるこれらの状況は、本遺跡を包括する赤城南麓の他の遺跡の傾向と一致する。その他、72号土坑出土遺物は3単位の波状口縁でありこの時期では類例の少ない資料である。尚、県内の利根川の西側に於て知られる2単位の波状口縁は本遺跡では検出されていない。

諸磯a期では1号住居跡で該期の資料では良好なセットが検出されている。

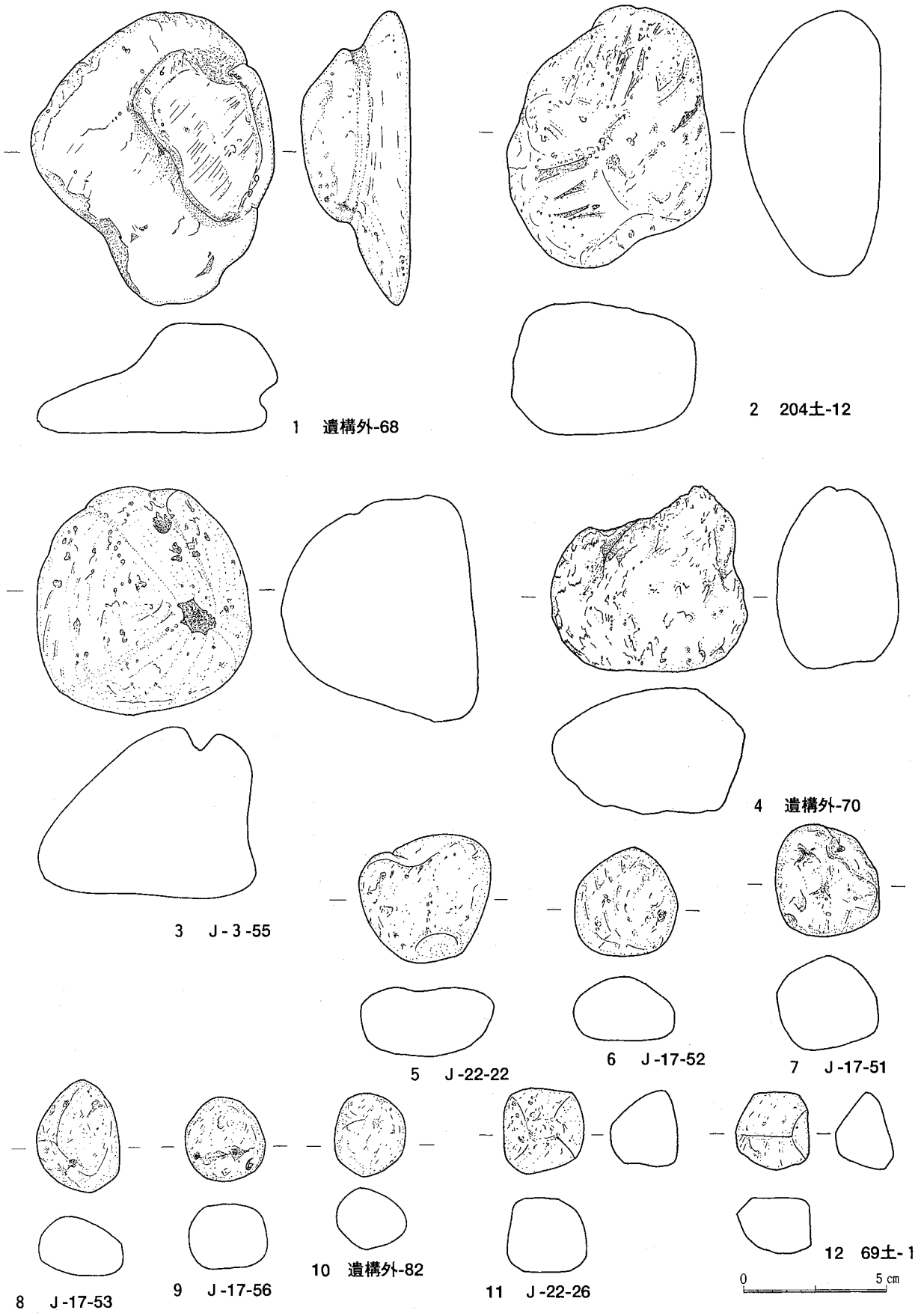
続く諸磯b式期では浮島Ⅱ式土器（第115図下右）の供伴が捉えられる。遺跡全体では浮島Ⅰ式からⅢ式までの遺物が出土しており、少量ながら供伴関係が認められる。8号住居跡では諸磯b式に浮島Ⅱ式が供伴している。さらに、同住居跡では東北地方からの搬入と判断される吹浦式土器若しくは大木6式土器（第115図下左）が少量出土している。これには型式的にずれがあり同遺構に伴う遺物と判断するべきかは疑問である。同じく北白川下層2c式土器についても、供伴関係は明瞭ではないものの僅かながらの出土が確認されている。おそらく該期に於ける搬入土器であろう。



第114図　黒浜式土器集成図



第115図　有尾、諸磯ａ・ｂ、吹浦・浮島式土器集成図



第116図　遺構外出土軽石製石製品(1)

第２節　軽石製石製品について

１．はじめに

本遺跡の遺物として特筆されるものに軽石製石製品がある。出土した遺物の総点数は275点を数える。検出遺構別では８号住居跡が150点と最大で、16・17号住居跡では各13点、５号住居跡では８点である。本節ではこれらの遺物に対し観察を行い若干の考察を行うものである。尚、実測図は第33～36・114～116図観察及び計測値は表25・26・74に示した。

本遺跡における軽石製石製品の所属時期は８号住居跡の資料は諸磯ｂ式に伴うものであり、16号が黒浜式から諸磯ｂ式の資料、５号では黒浜式に供伴している。また遺構外の資料についても、伴出遺物の大半が黒浜式期より諸磯式期であり、加曽利Ｅ３式以降後・晩期の資料は細片が10片程度と極めて微量である。しかもこれらの時期で遺構を伴うものは晩期と判断される19号土坑１基にとどまっている。したがって、本遺跡検出の軽石製品の大半は前期中葉から後半に伴う資料と判断される。

石材は輝石を多量に混入する軽石で、全体に発泡が弱いものが多く比較的比重が大きい。真水に於ける浮沈実験では大半が沈んでいる。遺物の大きさでは、遺跡内検出軽石中最大がＪ－８－216で12×12.8×5.0㎝、重さ382ｇである。製品と判断される資料での最小は円板状のＪ－11－33で2.2×2.2×0.5㎝、重さ1.4ｇである。重量別の分布では５ｇ未満のものが86点で最も多く、40ｇ未満までが全体の92%以上を占めるもので、素材として持ち込まれた軽石の原石もさほど大きなものではなかったと考えられる。

表74　軽石製石製品重量別分布表

（ｇ）

5ｇ未満	10ｇ未満	20ｇ未満	30ｇ未満	40ｇ未満	50ｇ未満	60ｇ未満	70ｇ未満	80ｇ未満	90ｇ未満	100ｇ未満	110ｇ未満	120ｇ未満	130ｇ未満	140ｇ未満	140ｇ以上
86	42	47	13	10	8	2	3	0	2	0	0	1	1	0	1

※　計測を行った216点について集計

２．形状から見た軽石の分類

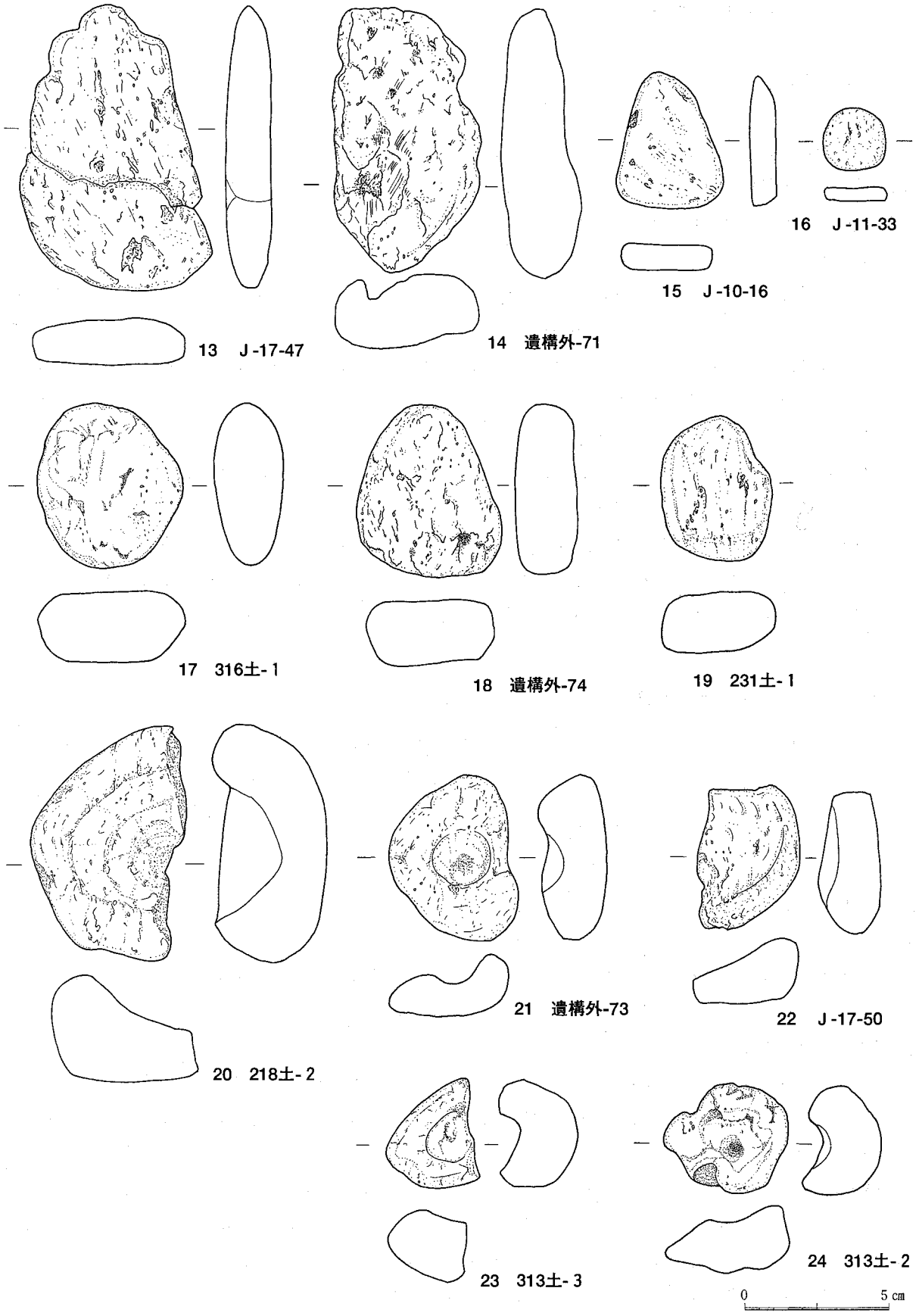
遺物は形状により以下のように10タイプに分類した。形状別の分類については第119図に示した。

スタンプ状　外68

Ｄ－６グリッド出土の１点のみであった。全体に研磨され、つまみ状の突起部は括れ部をもって表出されるもので、その位置は下端面の中心からやや偏心している。下端面は平坦でつまみ部分とは異なった研磨状況がうかがえる。

半球状　Ｊ－３－55、Ｊ－８－223・226・227・231・246・275、204土－１

球体を平面で切り落としたような形状で上端が丸く、下端が平坦になるものである。全面に研磨による整形が行われており、本来球形を呈していたものの一面を集中的に研磨した結果、このような形状になったものと考えられる。紐掛けの突起は付されないことよりスタンプ状とは区別される。



第117図　遺構外出土軽石製石製品(2)

モチ状　J－8－217・218・230・316、316土－1、外74、231土－1　他51点

平面形が円形若しくは楕円形で、断面が厚手の板状を呈するものと楕円形を呈するものをモチ状とした。やはり全体に良く研磨されるもので、球形の上下両端を研磨した結果このような形状になったものと想定される。不明瞭なものを含め58点が確認されている。

球塊状　J－8－219・220・225・233・234・247、J－17－52・56、他40点

球形・卵形・楕円形・不整形を呈するもので、全面が良く研磨されている。大きさでは小球塊が多く、全面を丹念に研磨した結果このような形状になったものと考えられる。48点が確認されている。

多面体状　J－8－235・250・253・254・261、J－22－26、69土－1、317土－4　他7点

多面体状は研磨を徐々に回転させながら方向を変えて行う事により、磨り減った平坦面を複数有する形状のものである。小形のものが多く、三角柱状を呈するものJ－8－235・250・254もこれに含め15点が出土している。

乳鉢状　J－8－216・271・277・304・319・320、外－33、J－17－50、218土－2　他2点

内面が大きく乳鉢状に抉られるものである。大形の216では内面が荒い刺突によって削り取られているが、その他の小形のものは全面が研磨によって整形された後、孔は回転運動による削り取りが行われたものと観察される。320では上面にやや大きめの乳鉢状の抉りが施され、下面には2～3孔の小孔（未貫通）が穿たれる。11点が検出されている。

棒状片面穿孔　J－8－318

棒状で片面に揺り鉢状の穿孔が行われるもので、孔の深さは8㎜程度で貫通していない。両下端及び側面は良く研磨されている。1点のみの検出である。

板状　J－8－230・268・279・284・305・309・314・315、J－11－33・J－10－15　他4点

板状を呈するもので、側面を研磨し円形（J－11－33）若しくは隅丸の三角形（J－10－15）に形状を整えたものもある。一端に孔を穿つものは検出されていない。

板状両面穿孔・楕円球状両面穿孔（未貫通）

板状（外80・113土－1）、楕円球状（J－4－50）の3点が検出されている。孔の径は2.5㎜、7㎜、12㎜とばらつきがあり、断面形状も円筒状となるJ－4－50の他は、揺り鉢状に開口部側に向かって開いている。いずれも貫通しておらず、外80とJ－4－50では表裏の穿孔位置が大きくずれる上、極めて軟質の軽石を貫通するまで穿孔を継続していない。これは、穿孔の目的が貫通孔の獲得にないことを示しているものと判断される。

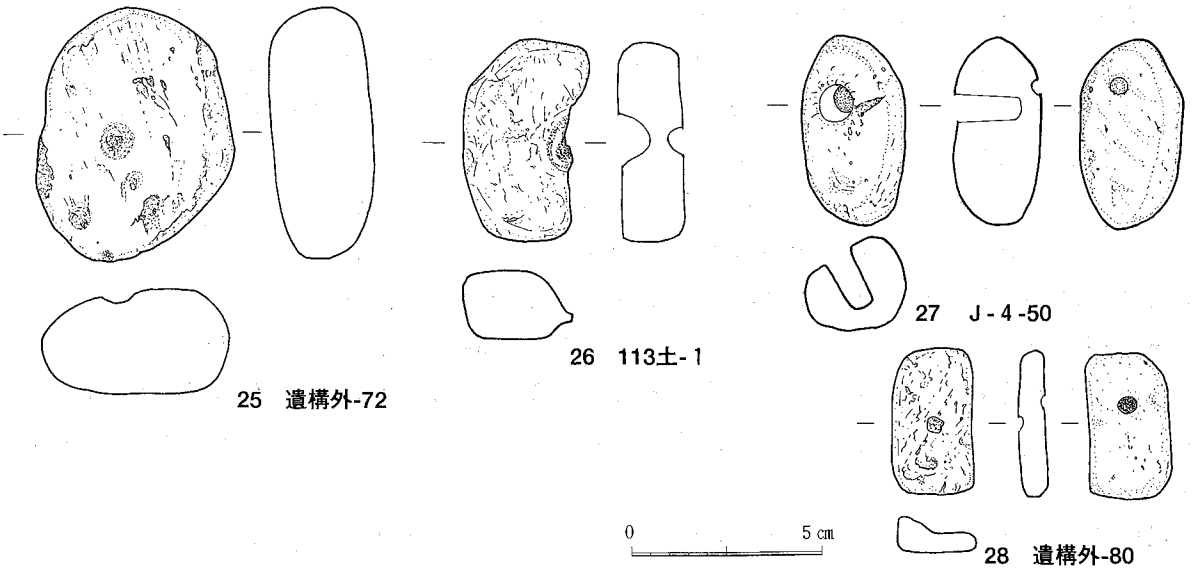
モチ状片面穿孔　外72

1点のみ確認されている。全面研磨された楕円形を呈するモチ状の上面に4㎜程度の深さで、直径8㎜程度の孔が穿孔途中で中止されている。

3．まとめ

軽石製品の研究では1978年の米田耕之助の論攷がある。[註1]同論攷では、軽石製石製品の分類をAからEまでの5種類に分類し、このうちスタンプ形の形状となるもの（A類）と板状になるもの（B類）の2種類について、前者は前期を主体に、後者は後期以降に供半するとし、その性格としては浮子を主体とする考えを示している。

また、加藤秀行は貫井2丁目遺跡の報告[註2]で穿孔された軽石製品に着目し、全国的な分布状況を示すと



第118図　遺構外出土軽石製石製品(3)

表75　遺構内外出土軽石製石製品一覧表

（g・cm）

挿図・番号	注記番号	形状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備考	挿図・番号	注記番号	形状	重量	長さ	幅	厚	浮沈	備考
1 外 68	D-6G	スタンプ	115	10.3	8.5	3.8	沈	下端平坦	なし 114	J-1	小球塊	4.1	3.2	2.0	1.6	沈	
2 12	D-204	紡錘	127	9.0	7.0	4.7	浮		なし 115	J-17B下トレンチ	小球塊	4.8	2.5	2.9	1.3	沈	穿孔カ
3 55	J-3 1B	紡錘	49.3	8.0	7.4	6.0	浮	被熱痕	なし 116	J-1	小球塊	3.2	2.3	2.1	2.0	沈	
4 外 70	F-5G	モチ	81.9	6.0	6.8	4.3	沈		なし 117	J-1	乳鉢	4.4	2.9	2.7	1.1	沈	
5 22	J-22	モチ	19.2	4.3	4.2	2.3	沈		なし 51	J-9	不整モチ	18.8	5.0	3.5	2.2	沈	下端平坦
6 52	J-17	モチ	15.8	2.7	3.4	2.2	沈		なし 15	J-10	板	1.0	2.6	1.2	0.7	沈	破損
7 51	J-17	小球塊	20.9	3.9	3.6	3.3	沈		なし 48	J-17	板	19.1	5.4	3.6	1.7	沈	
8 53	J-17	モチ	8.5	3.9	3.0	2.0	沈		なし 49	J-17	小球塊	21.3	4.9	3.1	2.2	沈	
9 56	J-17	小球塊	8.1	3.0	2.6	2.3	沈		なし 53	J-17	小球塊	12.3	3.8	2.9	1.8	沈	
10 外 82	C-5G	小球塊	6.5	2.9	2.5	2.1	沈		なし 54	J-17	小球塊	15.1	3.3	3.2	2.0	沈	
11 26	J-22	多面体	9.8	3.0	2.8	2.6	沈		なし 57	J-17	小球塊	4.5	2.5	2.4	1.2	沈	
12 1	D-69	多面体	6.1	2.7	2.5	2.0	沈		なし 58	J-17	小球塊 カ	2.2	2.9	1.7	1.0	沈	破損
13 47	J-17 13B下2	板	45.8	10.0	5.5	1.5	沈	被熱痕	なし 11	J-18	モチ カ	23.1	4.8	4.4	2.6	沈	破損
14 外 71	F-5G	薄手モチ	44.0	9.2	5.0	2.4	沈		なし 12	J-18S-2	不整	2.6	2.6	1.8	1.3	沈	破損
15 16	J-10 3B-2	板 三角	6.6	4.7	3.5	0.8	沈		なし 23	J-22	不整球	9.2	4.0	2.9	1.8	沈	破損
16 33	J-11	板 円	1.4	2.2	2.2	0.5	沈		なし 24	J-22	不整球	17.6	4.3	3.1	2.5	沈	
17 1	D-316	モチ	30.8	5.5	5.1	2.4	沈		なし 25	J-22	乳鉢 カ	8.4	3.1	2.5	1.2	沈	破損
18 外 74	D-6G	モチ	32.9	6.0	4.5	2.2	沈		なし 27	J-22	乳鉢 カ	6.4	3.0	1.7	1.9	沈	破損
19 1	D-231	モチ	15.4	4.9	3.7	1.9	沈		なし 28	J-22	破砕片	2.1	2.5	1.9	1.2	沈	
20 2	D-218	乳鉢	67.5	9.0	5.0	3.5	沈	内面凹凸	なし 29	J-22	破砕片	0.6	1.2	1.4	1.0	沈	
21 外 73	B-5G	乳鉢	18.4	5.5	4.2	1.5	沈	内面平滑	なし 2	D-295	モチ カ	4.9	3.8	2.6	1.1	沈	破損
22 50	J-17 7B上	乳鉢	16.6	4.8	3.4	2.0	沈	破損後研磨	なし 1	D-313	モチ楕円	34.1	7.4	4.7	2.5	沈	
23 3	D-313	乳鉢	13.0	3.8	3.1	2.1	浮	破損	なし 4	D-317	多面体	24.9	4.7	3.2	3.3	沈	
24 2	D-313	乳鉢	13.0	3.8	4.2	1.8	沈	2孔	なし 1	D-319	紡錘 カ	51.3	6.8	5.0	3.9	沈	破損・被熱
25 外 72	表採	片面穿孔	45.7	6.4	5.0	2.8	沈	未貫通	なし 9	D-42	板(円カ)	0.9	2.1	1.7	0.6	沈	破損
26 1	D-113	両面穿孔	18.0	5.4	3.0	1.8	沈	未貫通破損	なし外 76	B-6G	モチ	21.6	4.0	4.5	2.9	沈	
27 50	J-4 4B-6	両面穿孔	14.9	4.8	2.8	2.3	沈	未貫通	なし外 79	B-6G	不整球	10.7	3.7	3.0	2.2	沈	
28 外 80	C-6G	両面穿孔	3.9	3.9	2.1	0.9	沈	未貫通	なし外 81	B-6G	モチ	5.6	3.2	3.4	1.4	沈	
なし 109	J-1	楕円モチ	14.5	5.7	2.9	2.1	浮		なし外 75	C-5G	多面体	43.3	5.7	4.0	3.5	沈	
なし 110	J-19B上	小球塊	14.3	4.1	3.1	2.1	沈		なし外 82	C-5G	小球塊	6.5	2.8	2.3	2.1	沈	
なし 111	J-1	小球塊	9.8	3.9	2.6	2.3	沈		なし外 78	E-7G	両面穿孔カ	20.1	4.8	3.5	2.6	沈	
なし 112	J-1	小球塊	9.7	4.4	2.8	2.1	沈		なし外 77	F-3G	不整球	13.6	4.9	3.6	2.4	沈	
なし 113	J-1 4B上	小球塊	6.1	3.4	2.3	1.6	沈	欠損	なし外 83	F-3G	モチ カ	4.3	2.9	2.3	1.6	沈	破損

ともに機能面から再検討の必要性を指摘している。

一方、群馬県内では松井田町『仁田・暮井遺跡』の資料を基にした巾隆之の論攷註3があり、同論攷では米田の分類に従い、後期以降の資料としての扁平な形状の資料の分類・分析を行っている。そして、その性格には垂飾の可能性を指摘している。

本遺跡出土の軽石製石製品は、スタンプ形や、半球形のものは下端部が平坦に研磨され、この下端の平坦面は、つまみ部分や側面の整形状況と異なった状況が見られる。また、球状の小さく磨り減った資料で多面体を呈するものは、研磨具として軽石を用いた作業を行った結果、道具としての軽石がチョークのかけらのように磨り減ったものと想定できる。さらに、板状・棒状のもので孔が穿たれるが貫通しておらず、意識的に表裏ずらした位置に孔を穿っている例が3例検出されているが、これは穿孔して垂下させる事を目的とした行動とは明らかに異なるものである。一方で垂飾状に孔が貫通している資料は検出されてない。そして、乳鉢状を呈するものについては、先端の幅がやや広いものの研磨に用いたものと想定すれば片面穿孔形の範疇に含めることができる。

これらを総合的に判断すれば、本遺跡出土の軽石製石製品の機能が研磨具である可能性を指摘したい。すなわち、貫通していない孔や乳鉢状のものは内部に木製品や骨角器等の先端の尖ったものを差し込み、先端部を研磨する目的に、又、スタンプ形や下端がレンズ状の曲面を有するものさらに多面体を呈するものは、土器の器面や板状を呈する木製品の表面等、平坦なものの研磨に用いられたのではないかと想定するものである。当然、研磨具としての機能を想定するならば、研磨の対象となるものが何であったのかを特定するべきであろうが、現時点ではおそらく柔らかい物質であろうという推測はできるものの、具体的に研磨の対象となったものが何であったのかの結論は見いだせていない。他の遺跡に於ける同様の事例で管見に触れたものがなく、本遺跡に限る一事象であるのか更に検討を加えていく必要がある。

8号住居跡出土の320は裏面に小孔が3孔程穿たれており、形状は石皿のミニチュア的な様相である。これを実際の道具としてではなく仮に模造品として想定するならば、垂飾状の軽石製石製品を玉類の模造の可能性を指摘する外山註4の説にも通じる。貝塚等より出土している特徴的な遺物については、従来言われてきた「浮子」としての機能を持つものもあろう。寺村光晴氏からは、攻玉に於ける管状錐による穿孔の媒材として軽石の粉末が使えないであろうかとのご指摘を頂いている。本遺跡に於ては攻玉関連の資料は出土していないが、縄文人の石とのかかわり方は、あらゆる石器がさまざまな石材をもとに製作・使用されてきたことを考えれば、軽石製石製品が浮子・垂飾にとどまることなく多種多様な目的に使用されていたことは、ごく当然なことと推測できる。

米田分類のBタイプの板状の軽石製品の類例（B1）が、本遺跡の資料から縄文前期にまでさかのぼることになるが、A・Bいずれのタイプも従来の検出例では1遺跡からの出土点数が1～2点であるものが大半で、250点を越す軽石の出土は他に例を見ない。加藤の言う機能を想定する出土例として本遺跡の出土資料の重要性が指摘できる。

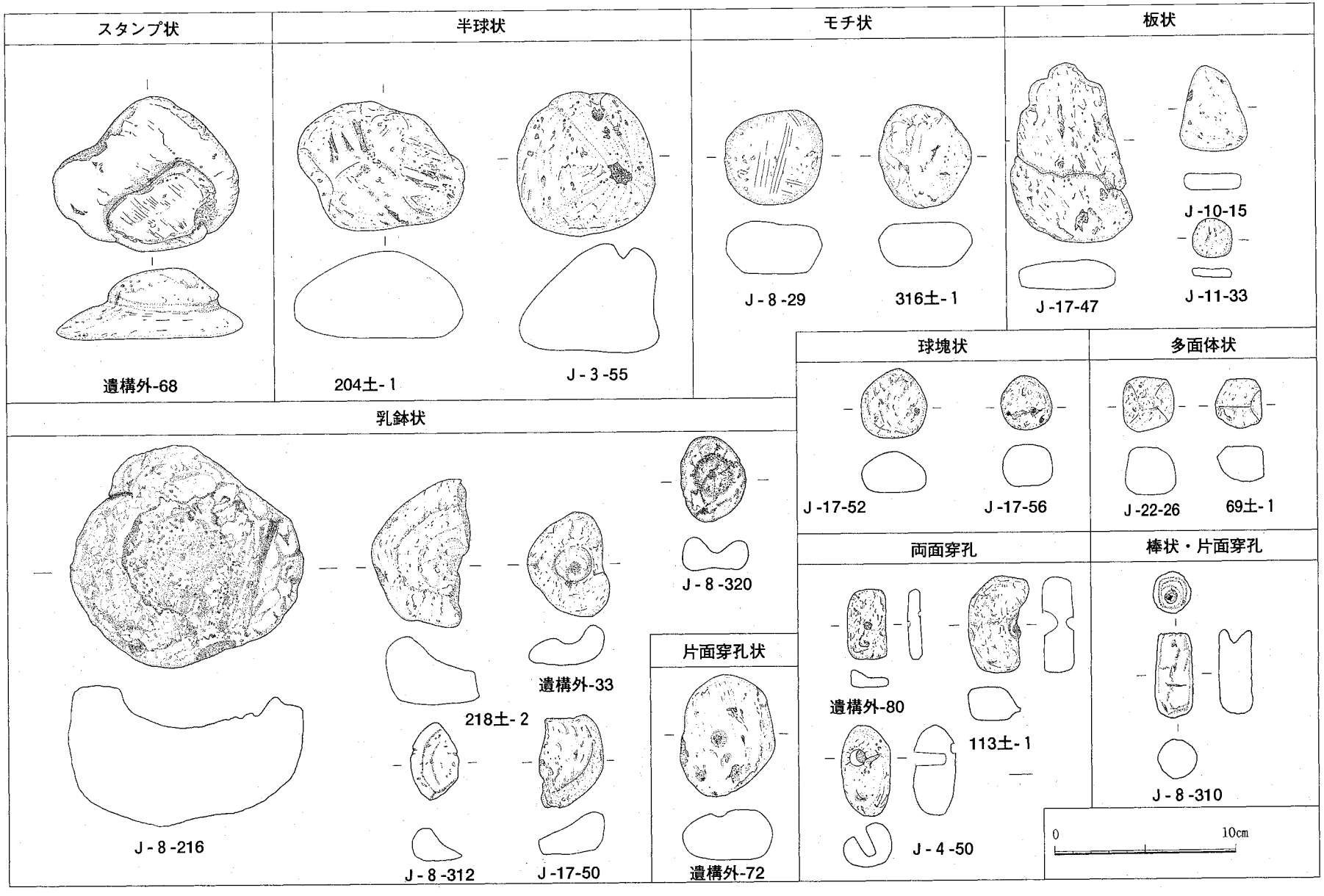
註

註1　米田耕之助「所謂“軽石製浮子”について」『古代』第64号　早稲田大学考古学会　1978

註2　加藤秀之「有孔軽石製石製品について」『貫井2丁目遺跡』東京都住宅局　練馬区遺跡調査会　1985

註3　巾　隆之「出土石器の様相と軽石製石製品について」『仁田遺跡・暮井遺跡』群馬県教育委員会1990

註4　外山和夫「縄文社会の信仰遺物3」－身につける祈り－『群馬県史通史編1』1990群馬県史編纂委員会



第119図　軽石製石製品形態別分類図

参考引用文献

井野誠一『沼西Ⅰ遺跡・沼西Ⅱ遺跡』前橋市教育委員会　1992
井野誠一・前原豊『芳賀西部団地遺跡』芳賀団地遺跡群　第4巻　前橋市教育委員会　1991
林喜久夫・前原照子・井野誠一『芳賀東部団地遺跡Ⅱ』芳賀団地遺跡群　第2巻　前橋市教育委員会1988
松村親樹『端気遺跡群Ⅰ』前橋市教育委員会　1983
中澤充裕・唐沢保之・中束彰子『芳賀東部団地遺跡Ⅰ』芳賀団地遺跡群　第1巻　前橋市教育委員会1984
黒済和夫・市川隆之　他『旧芝離宮庭園』旧芝離宮庭園調査団　1998
『群馬県の中世城館跡』群馬県教育委員会　1988
山内清男『日本先史土器の縄紋』先史考古学会　1979
鈴木道之助『図録石器の基礎知識Ⅲ』縄文　柏書房　1981
秋池武・西田健彦『川曲遺跡・東公田古墳』群馬県教育委員会　1982
原　雅信　他『清水山遺跡』群馬県教育委員会1985
井野誠一『谷端遺跡発掘調査報告書』前橋市教育委員会1991
藤田富士夫『玉とヒスイ』同朋舎出版　1992
長井正欣『清水Ⅰ遺跡』山武考古学研究所　1996
『群馬県史』資料編3　原始古代3　群馬県
新井和之「黒浜式土器」『縄文文化の研究』第3巻縄文土器Ⅰ　雄山閣　1982
網谷克彦「北白川下層式土器」『縄文文化の研究』第3巻縄文土器Ⅰ雄山閣　1982
今村啓爾「諸磯式土器」『縄文文化の研究』第3巻縄文土器Ⅰ雄山閣　1982
井野誠一・綿貫綾子『芳賀東部団地遺跡Ⅲ』芳賀団地遺跡群　第3巻　前橋市教育委員会1990
『群馬県文化財地図』群馬県文化財保護協会　1981
山下歳信『上大屋・樋越地区遺跡群』群馬県勢多郡大胡町教育委員会　1986

第７章　自然化学分析「川白田遺跡の火山灰分析」

株式会社　古環境研究所

１．はじめに

赤城山南麓に位置する川白田遺跡の発掘調査により検出された井戸壁面では、本遺跡の基本的な土層の断面をよく観察することができた。そこで地質調査と屈折率測定を合わせて行って、基本土層の記載を試みた。調査分析の試料となった地点は、３号井戸およびテストピット３の２地点である。なお土層の記載は、榛名八崎軽石（Hr-HP，後述）を境に、下部と上部に２分して行う。

２．土層の層序

（１）３号井戸

ここでは、榛名八崎軽石（Hr-HP）以下の層準についての記載を行う。本地点では、下位より白色軽石（最大径4.9㎜）に富む褐色土（層厚59㎝）、褐色土（層厚16㎝）、黄白色軽石混じり桃灰色火砕流堆積物（層厚515㎝、軽石の最大径78㎜）、褐色土（層厚42㎝）、褐色スコリア層（層厚４㎝、スコリアの最大径４㎜、石質岩片の最大径２㎜）、褐色土（層厚92㎝）、黄色砂質土（層厚４㎝）、黄白色軽石層（層厚56㎝、軽石の最大径39㎜、石質岩片のの最大径22㎜）の連続が認められた（第120図）。

これらの土層のうち、厚い火砕流堆積物は層相から約６万年前に赤城火山から噴出したと推定される大胡火砕流堆積物（新井、1962、早田、1991）に同定される。なおこの堆積物の最下部11㎝は比較的細粒で、粗粒の軽石は認められない。また褐色スコリア層は、層位や層相から北橘スコリア（HKS、早田、1991）に同定される。さらに最上位の軽石層は、層相から約4.1-4.4万年前に榛名火山から噴出した榛名八崎軽石（Hr-HP、新井、1962、鈴木、1976、大島、1986）に同定される。

（２）南地区１号井戸およびテストピット３

ここでは、榛名八崎軽石（Hr-HP）より上位の層準についての記載を行う。これらの地点では、Hr-HPの上位に下位より橙褐色スコリアをごく少量含む褐色土（層厚31㎝、スコリアの最大径５㎜）、橙褐色スコリアまじり褐色土（層厚16㎝、スコリアの最大径３㎜）、褐色土（層厚21㎝）、灰色石質岩片混じり褐色土（層厚41㎝、石質岩片の最大径７㎜）、黄色軽石混じり褐色土（層厚23㎝、軽石の最大径３㎜）、橙色細粒軽石層（層厚16㎝、軽石の最大径６㎜、石質岩片の最大径２㎜）、褐色砂質土（層厚12㎝）、橙色粗粒軽石層（層厚３㎝、軽石の最大径７㎜）、褐色土（層厚21㎝）の連続が認められた（第120図）。

これらの土層のうち、褐色土中に多く含まれる灰色石質岩片は、層位や岩相から約2.5-3万年前に榛名火山から噴出したと推定される榛名八崎火山灰（早田、1991）あるいは、約2.5万年前に赤城火山から噴出した赤城小沼ラピリ（KLP、守屋、1968）に由来すると考えられる。またその上位の褐色土中の黄色軽石、さらにその上位の２層の軽石層は、層位や層相などから約1.8-2.2万年前に浅間火山から噴出した浅間板鼻褐色軽石群（As-BP Group、新井、1962、早田、1994）に由来すると考えられる。

３．屈折率測定

（１）測定試料と測定方法

分析の対象となった試料は大胡火砕流の下位の褐色土中の軽石（試料２）および広域テフラ、大山倉吉軽石（DKP、町田、新井、1979）に同定される可能性のあった黄色砂質土（試料１）の２点である。測定は、位相差法（新井、1972）による。

（2）測定結果

測定結果を表76に示す。試料番号2には、斜方輝石のほか単斜輝石や磁鉄鉱が含まれている。斜方輝石の屈折率（γ）は、1.708-1.712である。この軽石については、大胡火砕流より下位にあることや重鉱物の組み合わせや斜方輝石の屈折率などから、赤城水沼テフラ群（Ag-Mz Group、鈴木、1990）に由来するものと考えられる。

また試料番号1には、斜方輝石のほか磁鉄鉱や角閃石さらに単斜輝石などが認められた。斜方輝石は、DKP特有の100面の発達した扁平なものではなくDKPに同定される可能性がないことから、屈折率の測定は行われなかった。層相から試料番号1については、水流によって運搬堆積した可能性が大きいと考えられる。

4．小結

川白田遺跡において、地質調査および屈折率測定を合わせて行った。その結果、下位より赤城水沼テフラ群起源の軽石、大胡火砕流堆積物、北橘スコリア（HkS）、榛名八崎軽石（Hr-HP、約4.1-4.4万年前）、榛名八崎火山灰（Hr-HA、約3万年前）あるいは赤城小沼ラピリ（Ag-KLP、約2.8万年前）、浅間板鼻褐色軽石群（As-BPGroup、4世紀中葉）などを検出することができた。

文献

新井房夫（1962）関東盆地北西部地域の第四紀編年．群馬大学紀要自然科学編，10，p.1-79.

新井房夫（1972）斜方輝石・角閃石の屈折率によるテフラの同定－テフロクロノロジーの基礎的研究．第四紀研究，11，p.254-269.

町田　洋・新井房夫（1979）大山倉吉軽石層－分布の広域性と第四紀編年上の意義．地学雑誌，88，p.313-330.

町田　洋・新井房夫（1992）火山灰アトラス．東京大学出版会，276p.

守屋以智雄（1968）赤城火山の地形及び地質．前橋営林局，65p.

大島　治（1986）榛名火山．日本の地質「関東地方」編集委員会編「関東地方」，p.222-224.

鈴木正男（1976）過去をさぐる科学．講談社，234p.

鈴木毅彦（1990）テフロクロノロジーからみた赤城火山最近20万年間の噴火史．地学雑誌，99，p.60-75.

早田　勉（1991）群馬県の自然と風土．群馬県史通史編，1，p.37-129.

早田　勉（1994）群馬の示標テフラと自然環境．笠懸野岩宿文化資料館・岩宿フォーラム実行委員会編「群馬の岩宿時代の変遷と特色」，p.20-24.

表76　川白田遺跡の屈折率測定結果

試　料	重鉱物	斜方輝石の屈折率（γ）
1	opx>mt,ho,cpx	－
2	opx>cpx,mt	1.708-1.712

opx：斜方輝石，cpx：単斜輝石，ho：角閃石，mt：磁鉄鉱．

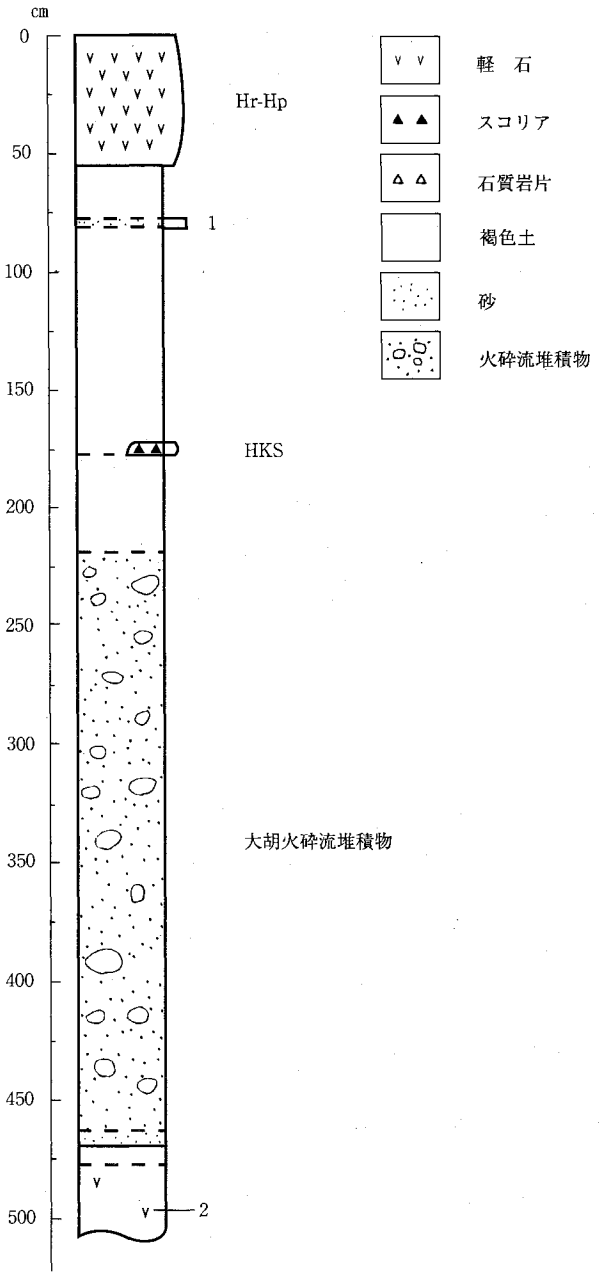


図1　川白田遺跡南地区3号井戸の土層柱状図
数字はテフラ分析の試料番号

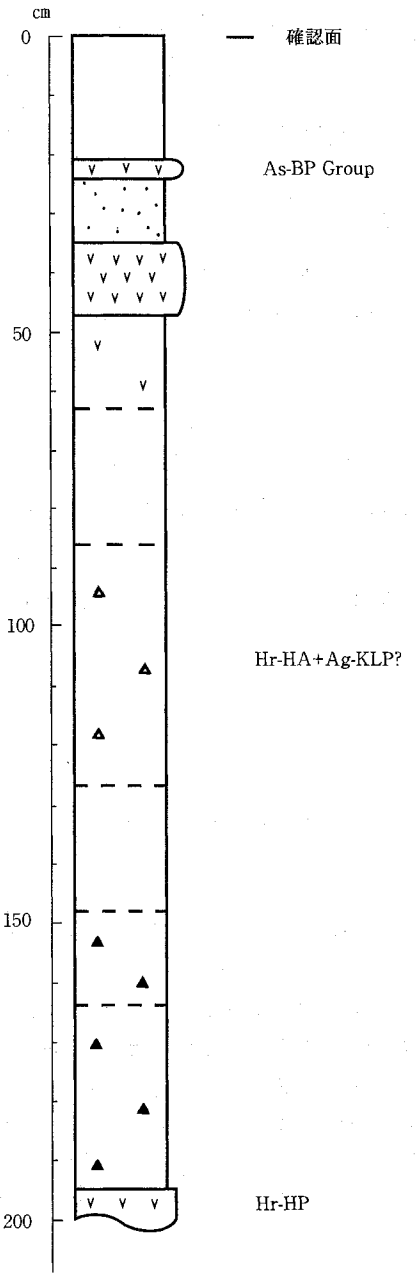
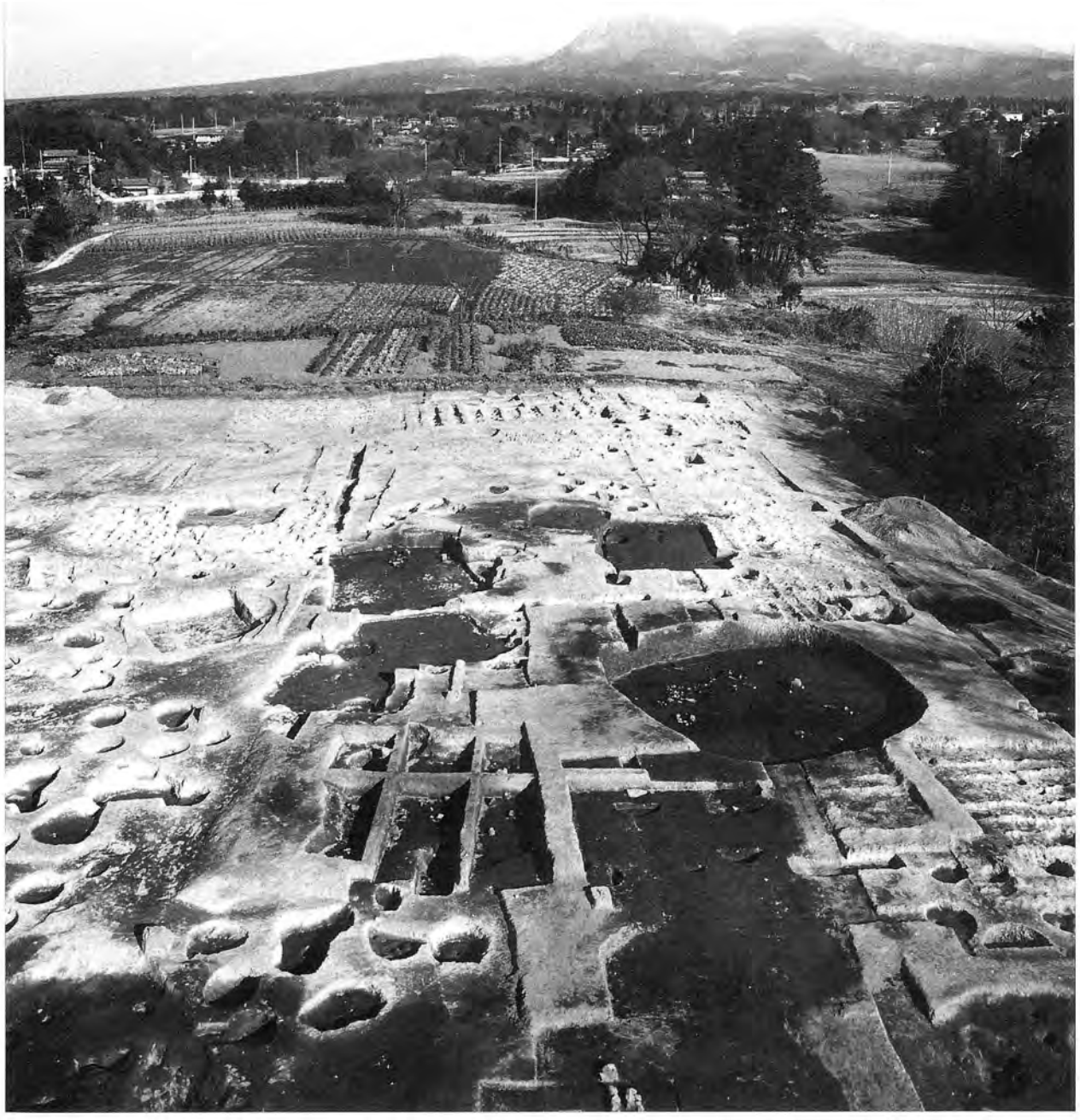


図2　南地区3号井戸・テストピット3の土層柱状

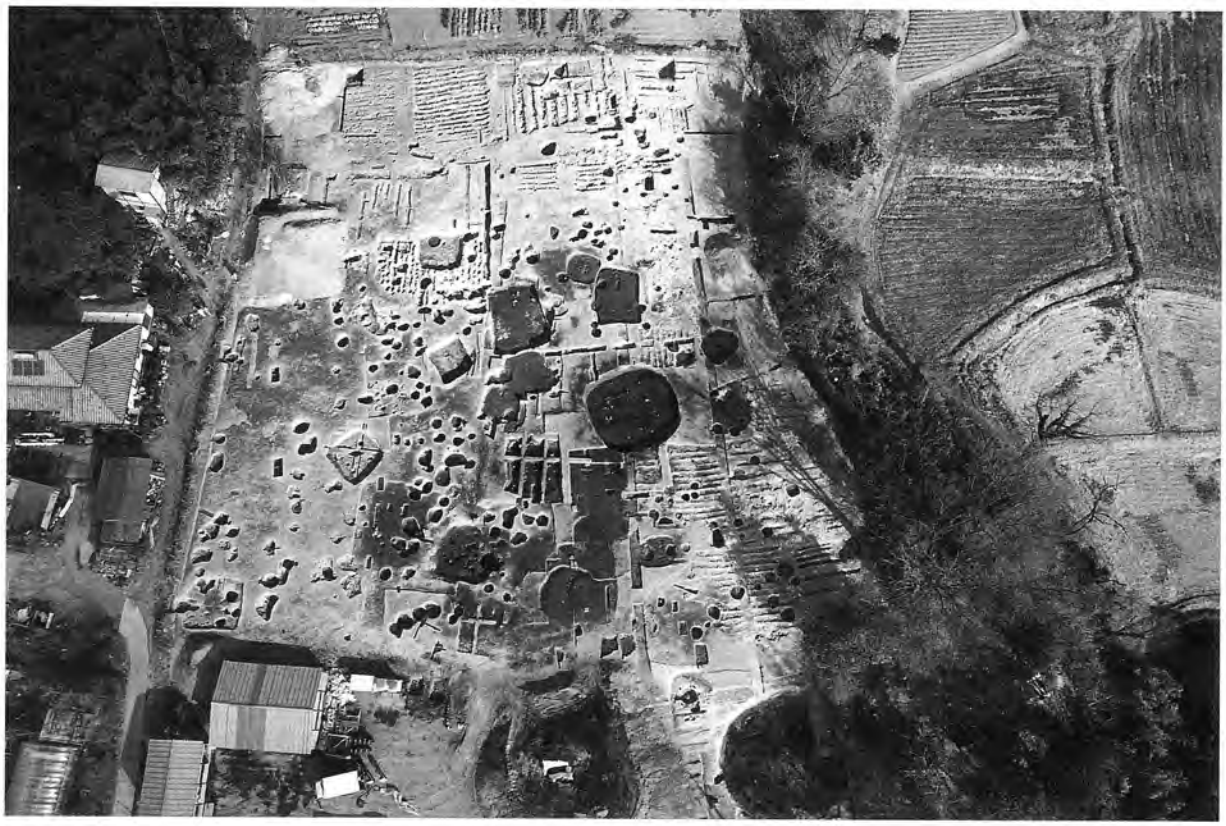
第120図　川白田遺跡3号井戸・テストピット3土層柱状図



航空写真（赤城山を望む）

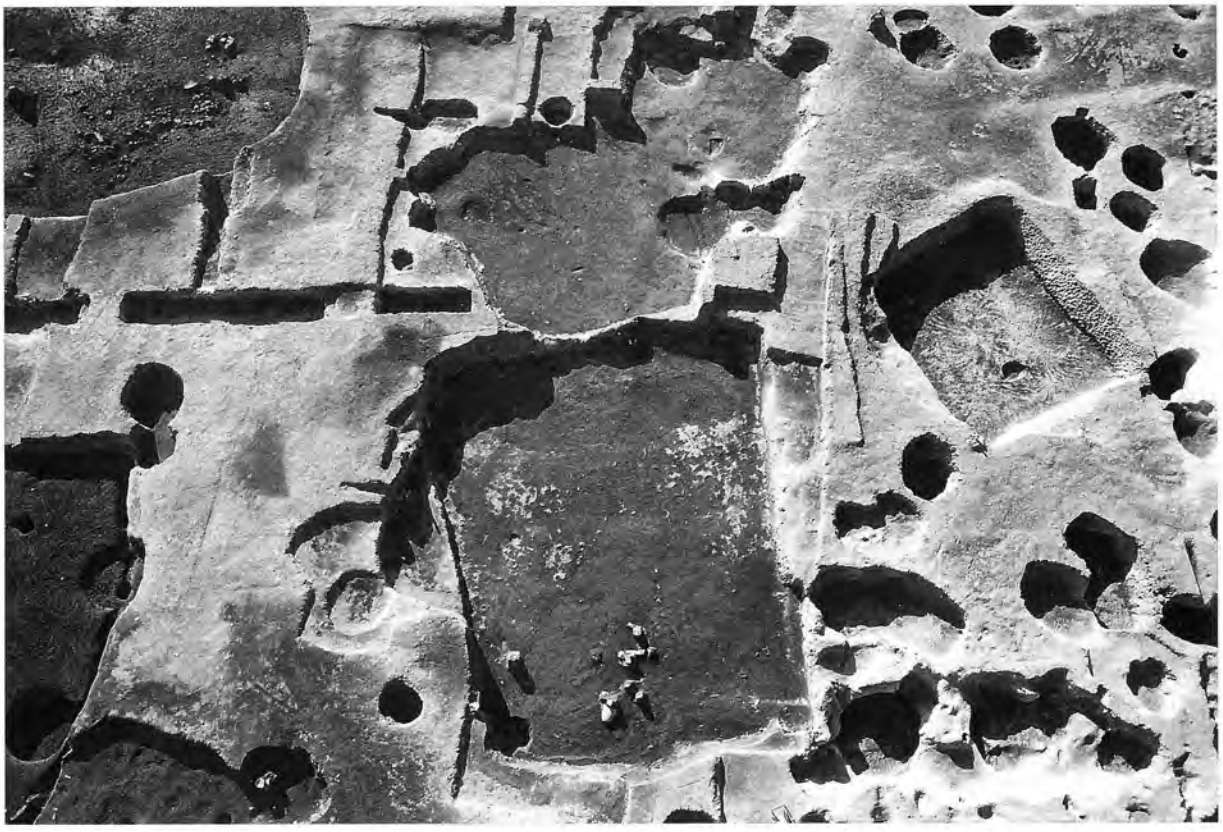
図版 2

1．航空写真（遺跡東方より西方を望む）



2．同（遺跡全景）

1．航空写真（8号住居跡周辺）



2．同（4・6号住居跡周辺）

図版 4

1．北側調査状況（赤城山を望む）

2．土層断面（1号テストピット）

3．同（2号テストピット）

4．同（3号テストピット）

5．同（4号テストピット）

図版5

1．土層断面（6号テストピット）

2．同（C－3グリッド）

3．1号住居跡全景

4．同　出土遺物近景

5．同

図版 6

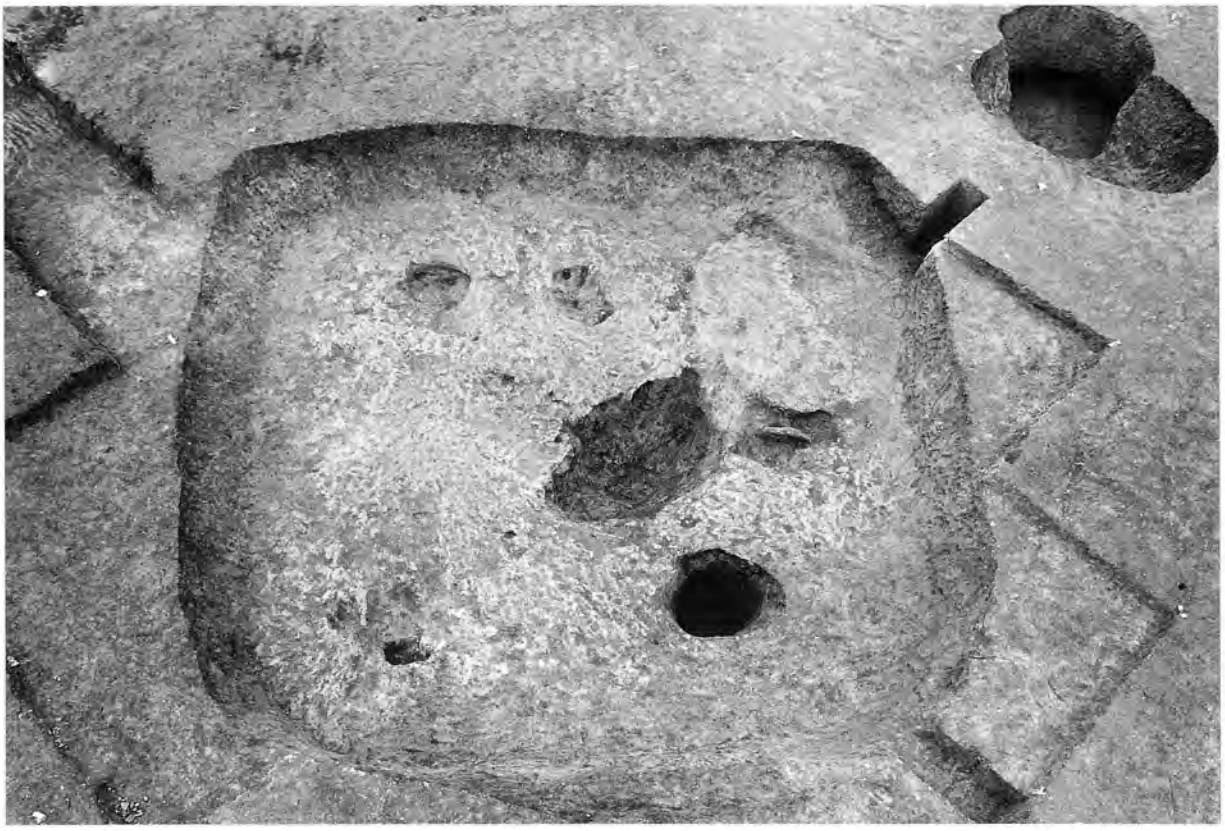
1．1号住居跡遺物出土状況

2．同　出土遺物近景

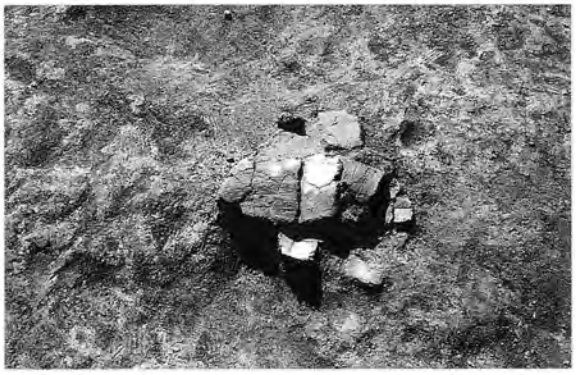
3．同

4．同

5．同



1．2号住居跡全景



2．同　出土遺物近景

3．同

4．同　炉跡近景

5．3号住居跡遺物出土状況

図版 8

1．3号住居跡全景

2．同　出土遺物近景

3．同

4．同　炉跡土層断面

5．4号住居跡出土遺物近景

1．4号住居跡全景

2．同　遺物出土状況

図版10

1．4号住居跡出土遺物近景

2．5号住居跡P-2完掘全景

3．同　全景

4．同　出土遺物近景

5．同

1．5号住居跡出土遺物近景

2．同

3．同

4．同

5．6号住居跡全景

図版12

1．6号住居跡遺物出土状況

2．同　出土遺物近景

3．同　炉跡

4．8号住居跡遺物出土状況

5．同　土層断面

1．8号住居跡全景

2．同　遺物出土状況

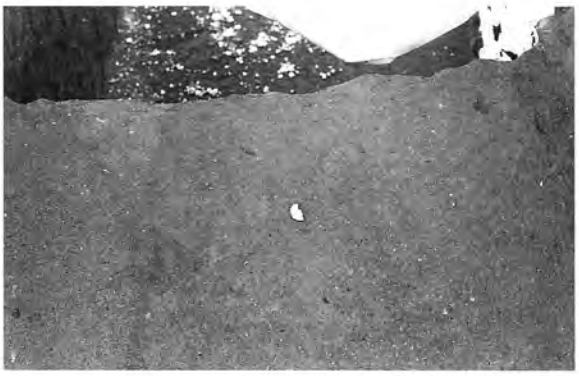
3．同　出土遺物近景

4．同

5．同

図版14

1．8号住居跡出土遺物近景



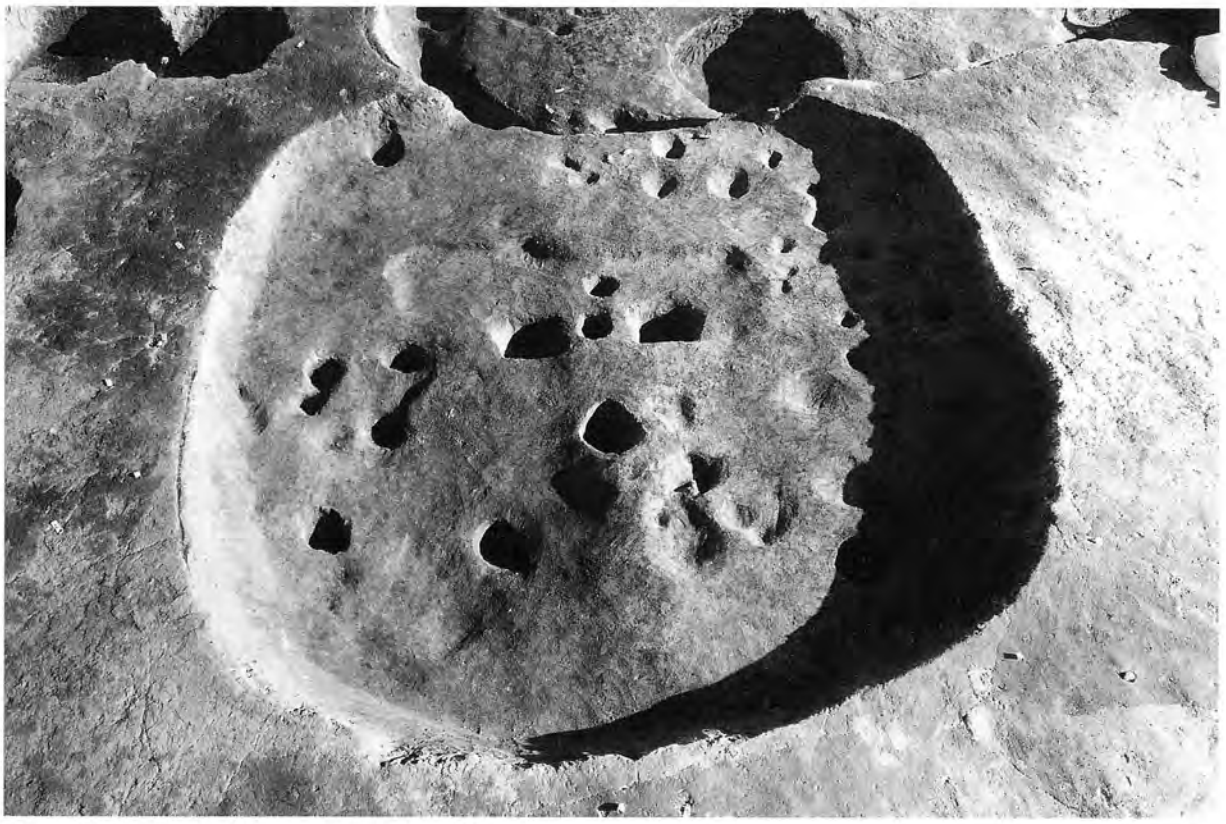
2．同

3．9号住居跡全景

4．同　土層断面

5．同　出土遺物近景

1．9号住居跡遺物出土状況

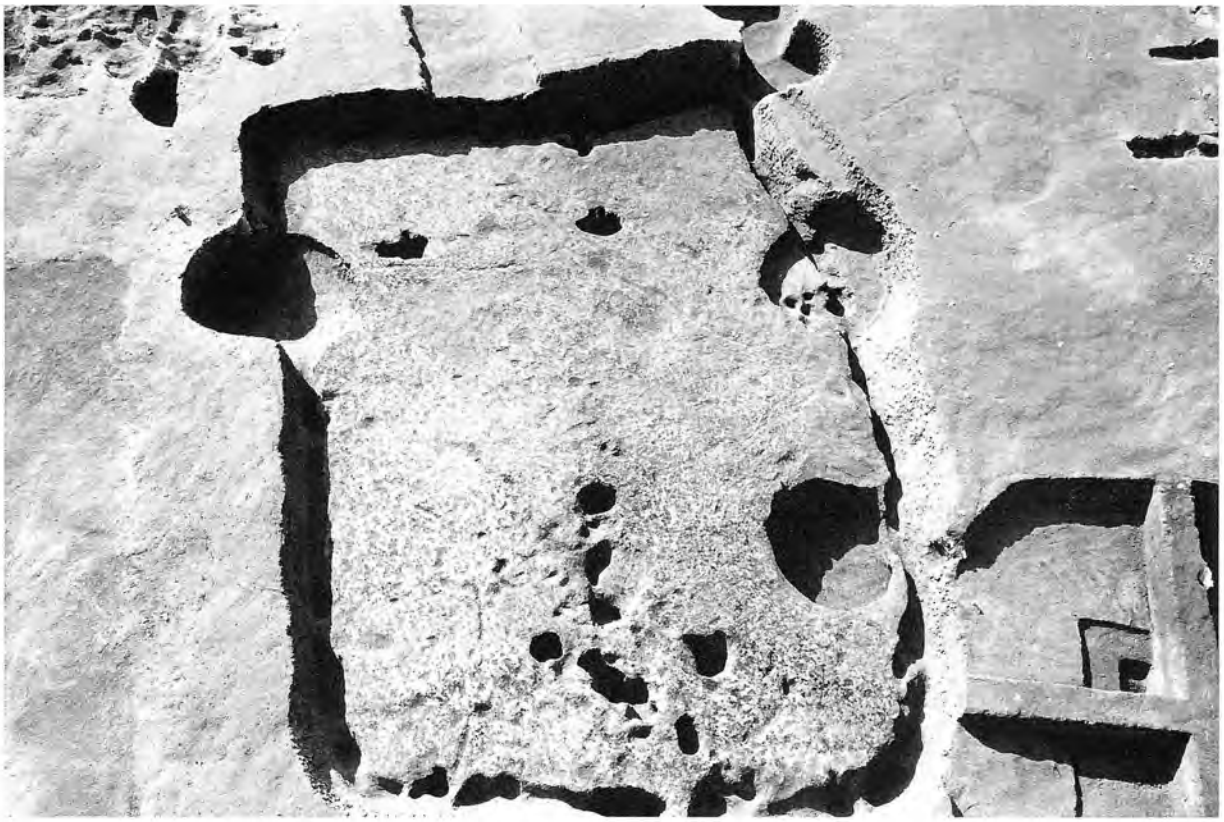


2．10号住居跡全景

図版16

1．10号住居跡遺物出土状況

2．同　出土遺物近景



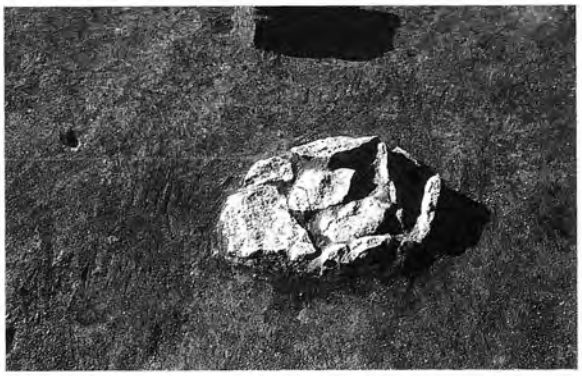
3．11号住居跡全景

4．同　P-1・2調査状況

5．同　出土遺物近景

1．12号住居跡全景

2．同　遺物出土状況



3．同　出土遺物近景

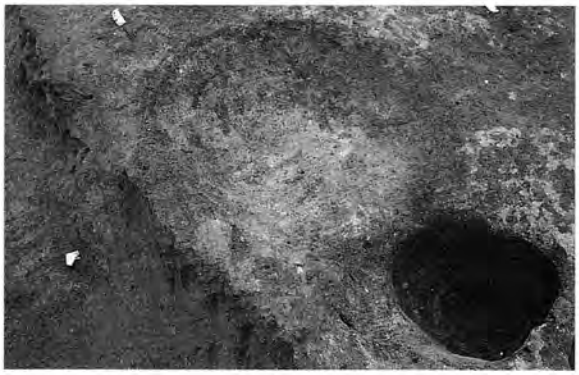
4．同

5．同

図版18

1．13号住居跡全景

2．同　遺物出土状況



3．同　炉跡

4．同　炉跡確認状況

5．同　出土遺物近景

1．14号住居跡全景

2．同

3．同　遺物出土状況

4．同　埋設土器調査状況

5．同　出土遺物近景

図版20

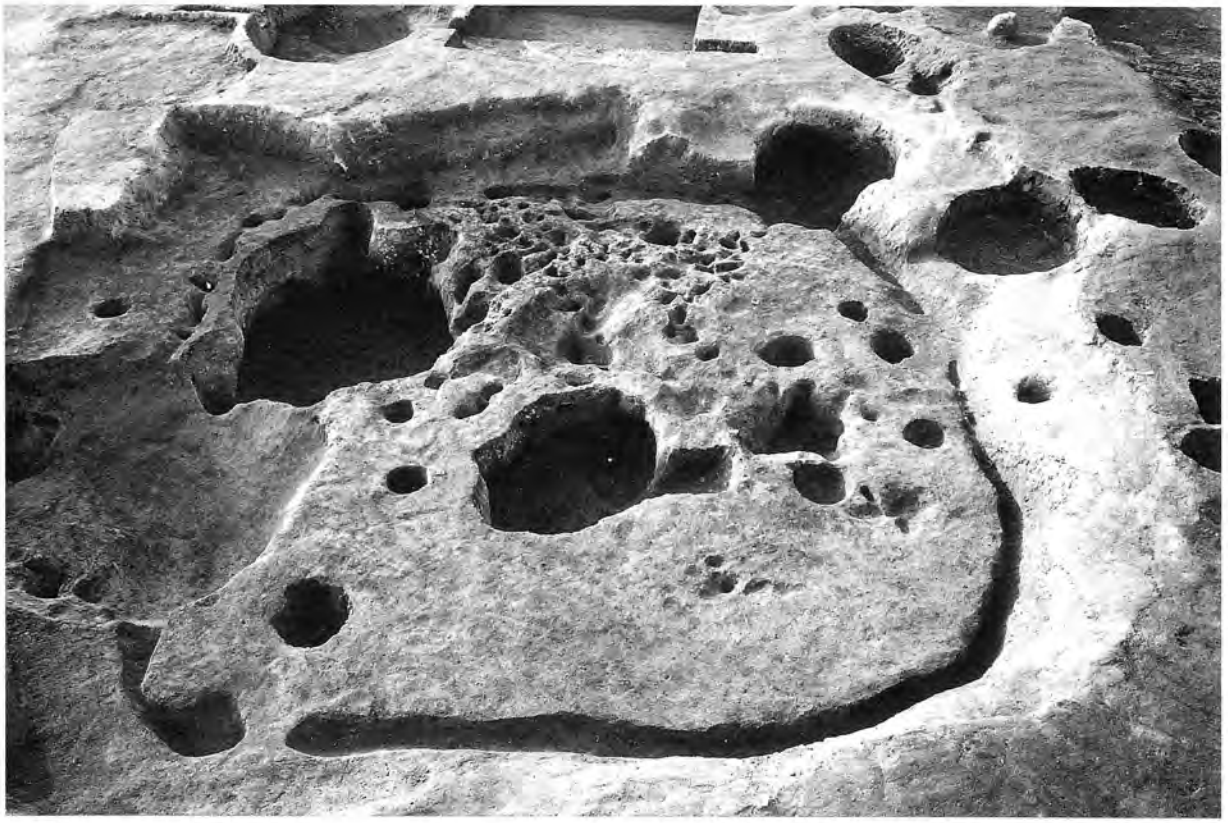
1．15号住居跡全景

2．同　土層断面

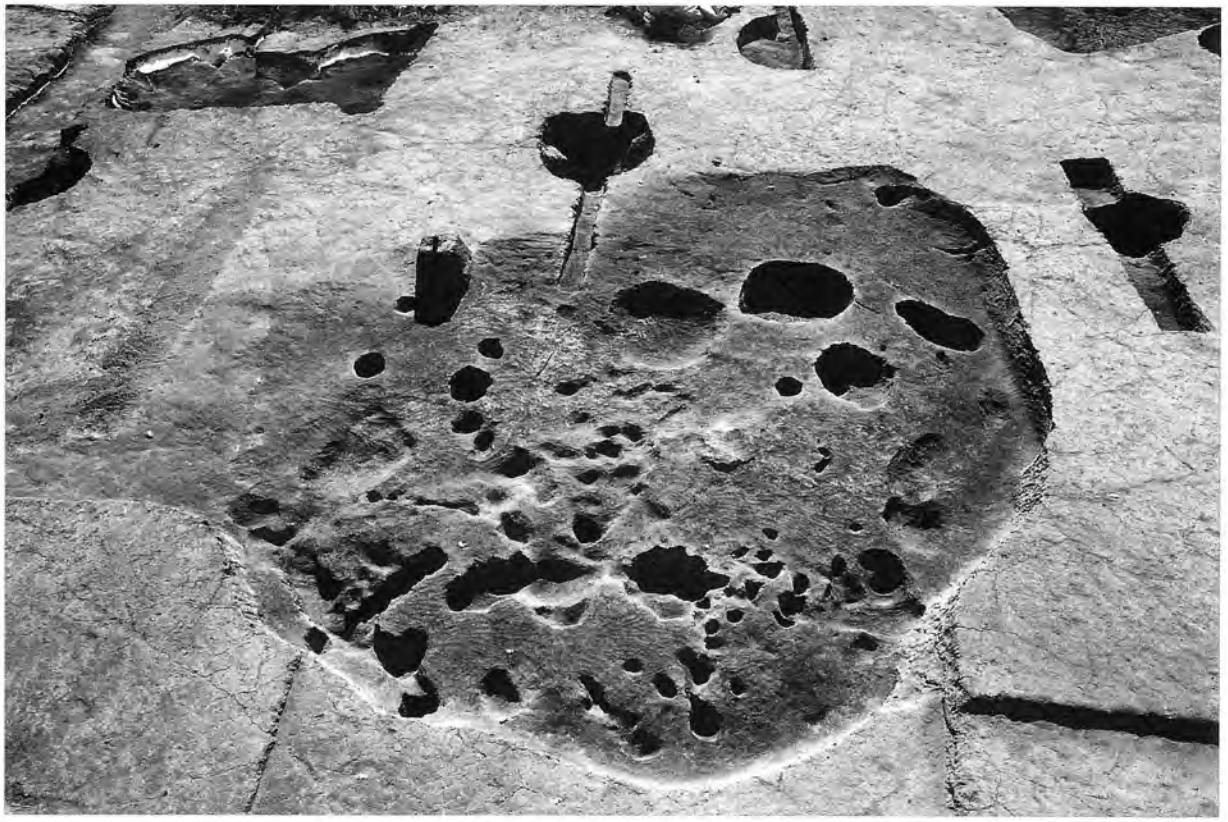
3．同　出土遺物近景

4．16号住居跡遺物出土状況

5．17号住居跡遺物出土状況



1．16号住居跡全景



2．17号住居跡全景

図版22

1．17号住居跡炉跡

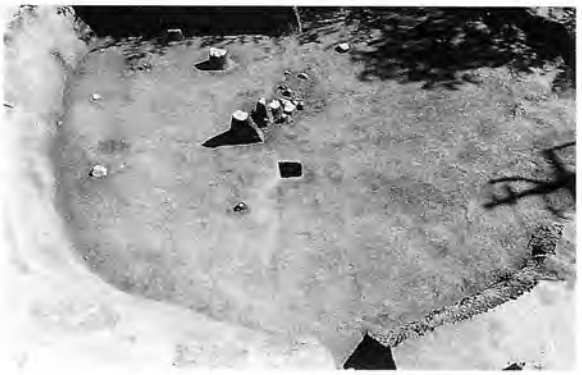
2．同　出土遺物近景

3．同

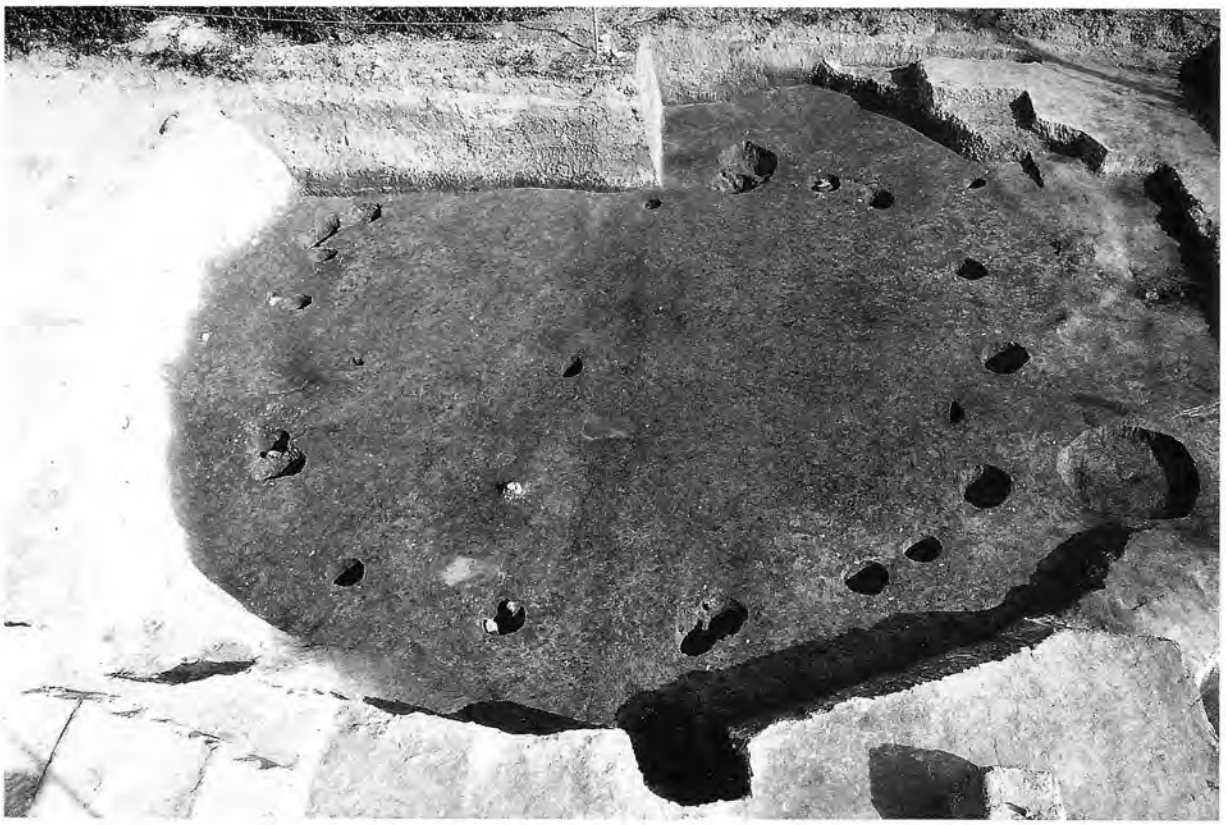
4．同

5．18号住居跡全景

1．18号住居跡遺物出土状況



2．19号住居跡遺物出土状況



3．同　全景

4．同　土層断面

5．同　炉跡

図版24

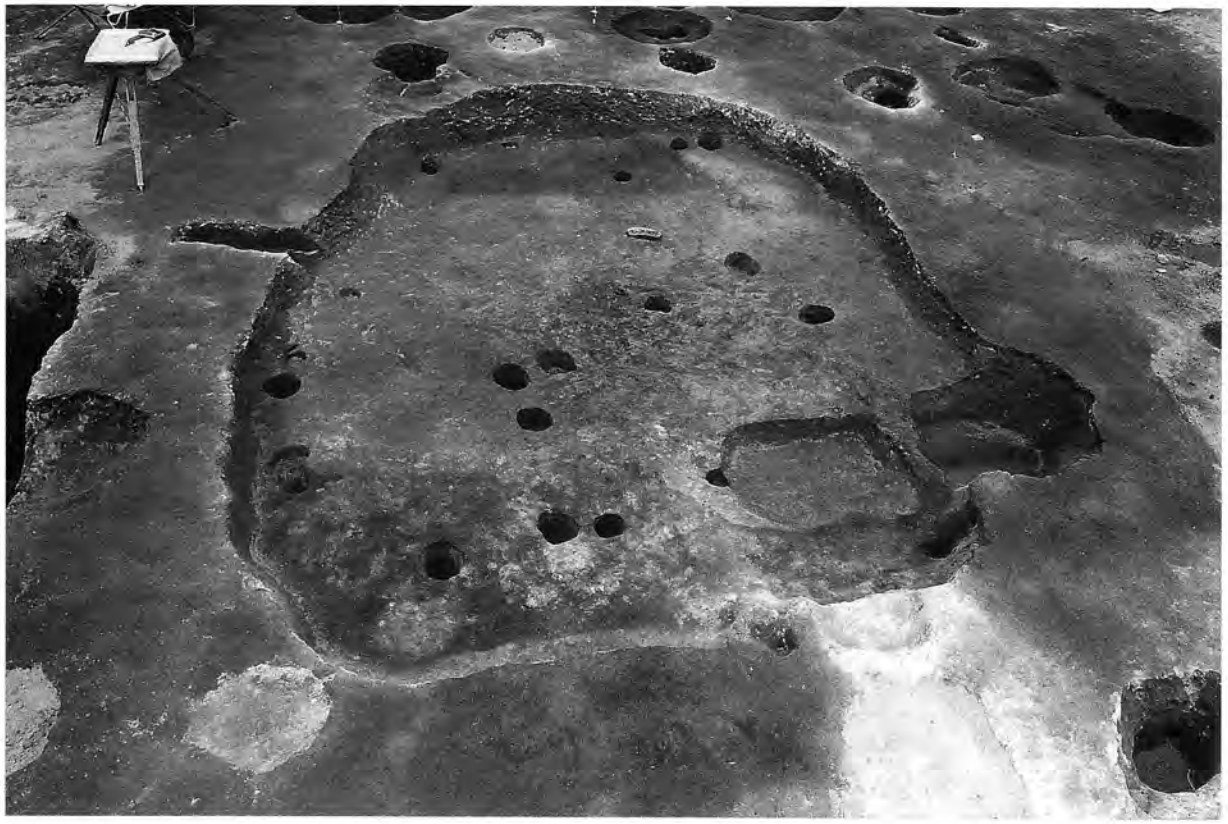
1．19号住居跡出土遺物近景

2．同　遺物出土状況

3．20号住居跡全景

4．同　遺物出土状況

5．22号住居跡遺物出土状況



1．22号住居跡全景

2．同　出土遺物近景

3．同

4．1号土坑

5．2号土坑

図版26

1．5号土坑

2．同　出土遺物近景

3．6・7号土坑

4．11号土坑

5．14号土坑土層断面

6．同　土坑

7．15号土坑

8．16号土坑

1．17号土坑

2．18号土坑

3．同　出土遺物近景

4．20号土坑

5．24号土坑

6．31号土坑土層断面

7．同　土坑

8．38号土坑

図版28

1．39号土坑

2．40号土坑遺物出土状況

3．41号土坑

4．43号土坑土層断面

5．47号土坑

6．48号土坑

7．53号土坑遺物出土状況

8．54号土坑

1．58号土坑

2．63号土坑

3．72号土坑

4．73号土坑

5．75号土坑

6．78号土坑

7．86号土坑

8．87号土坑土層断面

図版30

1．89号土坑

2．90号土坑

3．92号土坑

4．100号土坑獣骨検出状況

5．106号土坑

6．同　出土遺物近景

7．107号土坑

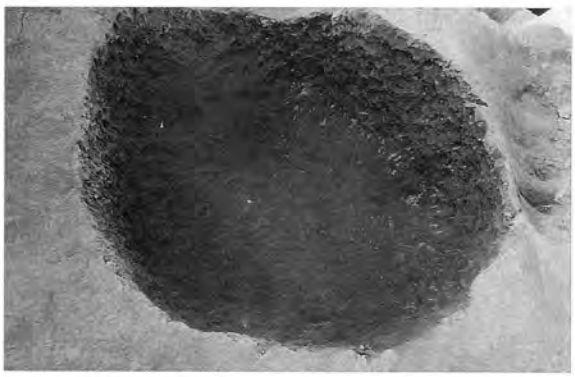
8．108号土坑

1．112号土坑

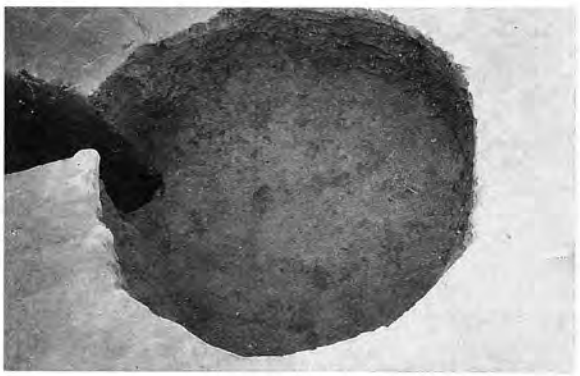
2．113号土坑

3．114号土坑

4．115号土坑



5．116号土坑



6．118号土坑

7．121号土坑

8．122号土坑

図版32

1．129・130号土坑

2．131号土坑

3．133号土坑

4．134号土坑

5．135号土坑

6．136号土坑

7．137号土坑

8．138号土坑

1．141号土坑

2．142号土坑

3．143号土坑

4．144号土坑

5．145号土坑

6．146号土坑

7．147号土坑

8．148号土坑

図版34

1．148号土坑出土遺物近景

2．149号土坑

3．150号土坑

4．151号土坑

5．152号土坑

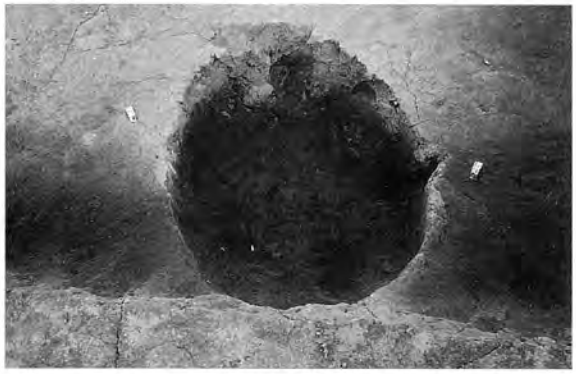
6．153号土坑

7．154号土坑

8．155号土坑

1．156号土坑

2．157号土坑



3．158号土坑

4．159号土坑

5．160号土坑

6．161号土坑

7．163号土坑

8．167号土坑

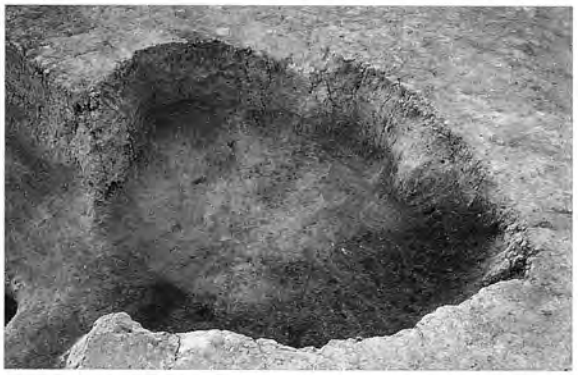
図版36

1．168号土坑土層断面

2．同　土坑

3．同　出土遺物近景

4．169号土坑



5．170号土坑

6．172号土坑

7．173号土坑

8．174号土坑

1．175号土坑

2．176号土坑

3．177号土坑

4．178号土坑

5．179号土坑

6．180号土坑

7．183号土坑

8．185号土坑

図版38

1．186号土坑土層断面

2．同　土坑

3．187号土坑

4．188号土坑

5．189号土坑

6．190号土坑

7．191号土坑

8．192号土坑

1．193号土坑

2．194号土坑

3．195号土坑

4．199号土坑

5．200号土坑

6．201号土坑

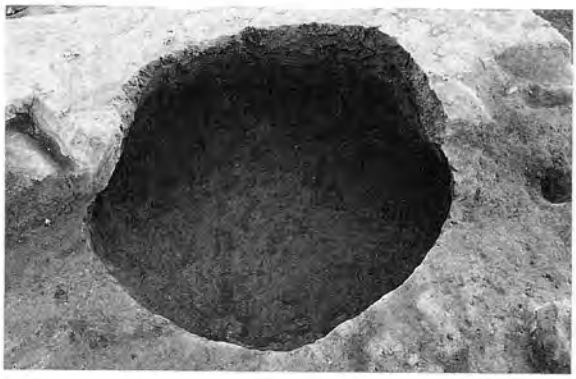
7．202号土坑

8．203号土坑

図版40

1．204号土坑

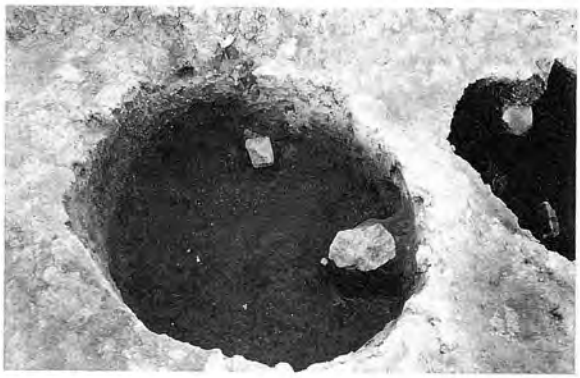
2．205号土坑



3．206号土坑

4．207号土坑

5．208号土坑



6．209号土坑

7．210号土坑

8．211号土坑

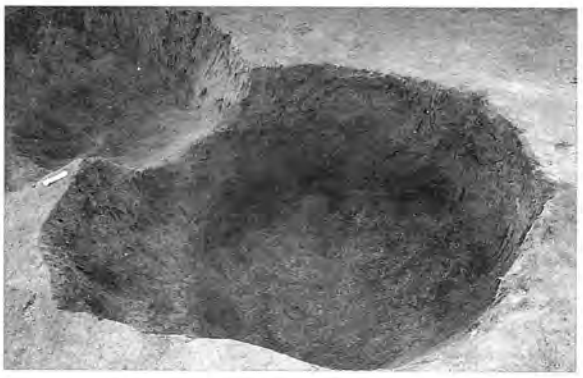
1．212号土坑

2．213号土坑

3．214号土坑

4．215号土坑

5．216号土坑



6．217号土坑

7．218号土坑

8．219号土坑

図版42

1．220号土坑

2．221号土坑

3．222号土坑

4．233号土坑

5．234号土坑

6．238号土坑

7．241号土坑

8．245号土坑

1．246号土坑

2．247号土坑土層断面

3．249号土坑調査状況

4．同　土坑

5．250号土坑

6．251号土坑

7．253・254・255号土坑

8．258号土坑

図版44

1．265号土坑

2．266号土坑

3．270号土坑

4．272号土坑

5．273号土坑

6．274号土坑

7．277号土坑

8．278号土坑

1．281号土坑

2．294号土坑

3．304号土坑

4．307号土坑

5．308号土坑

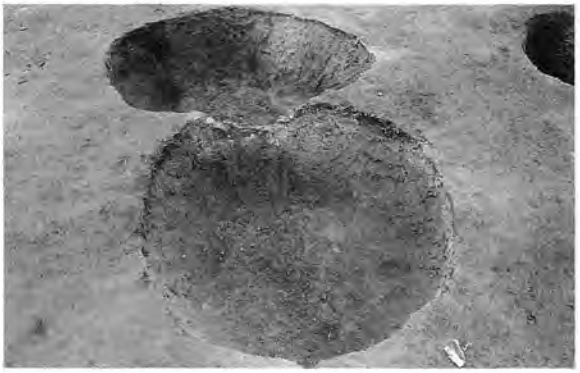
6．314号土坑

7．319号土坑遺物出土状況

8．321号土坑

図版46

1．322号土坑



2．323号土坑

3．325号土坑

4．331号土坑

5．334号土坑

6．339号土坑

7．340号土坑

8．１号集石

1．2号集石

2．3号井戸

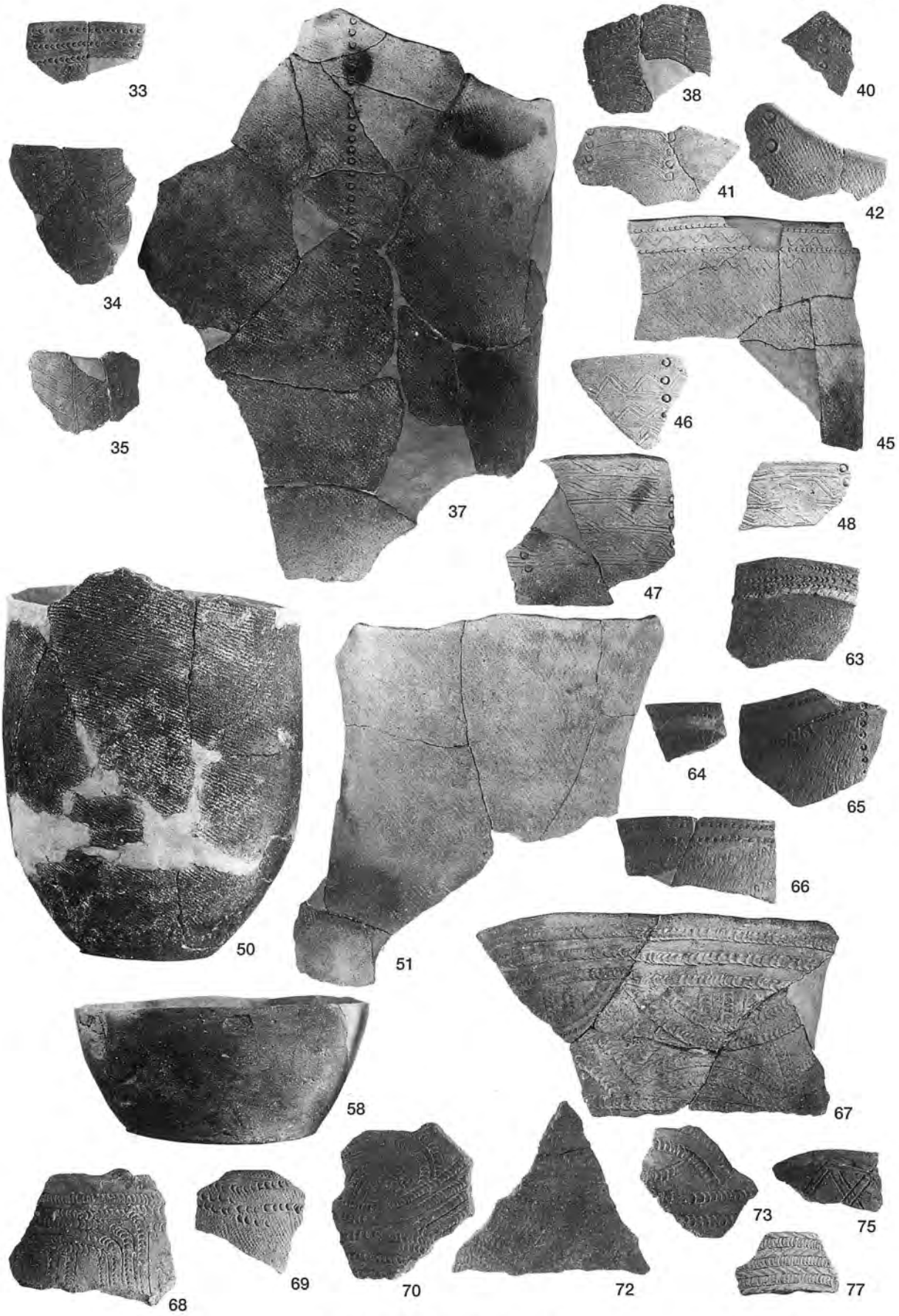
3．方形土坑

4．1号溝全景

5．畑跡

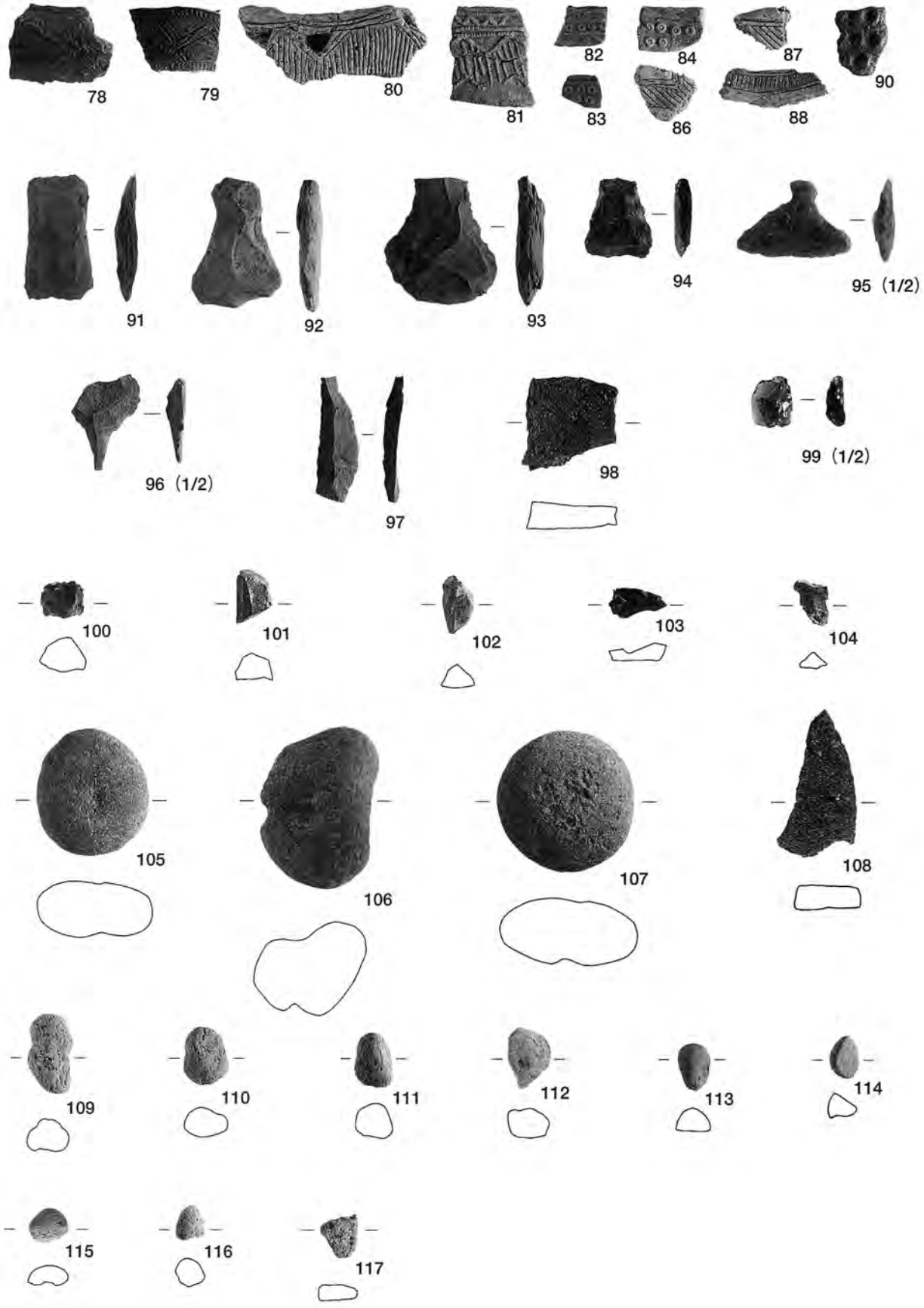
図版48

1号住居跡出土遺物（1）（1/4）

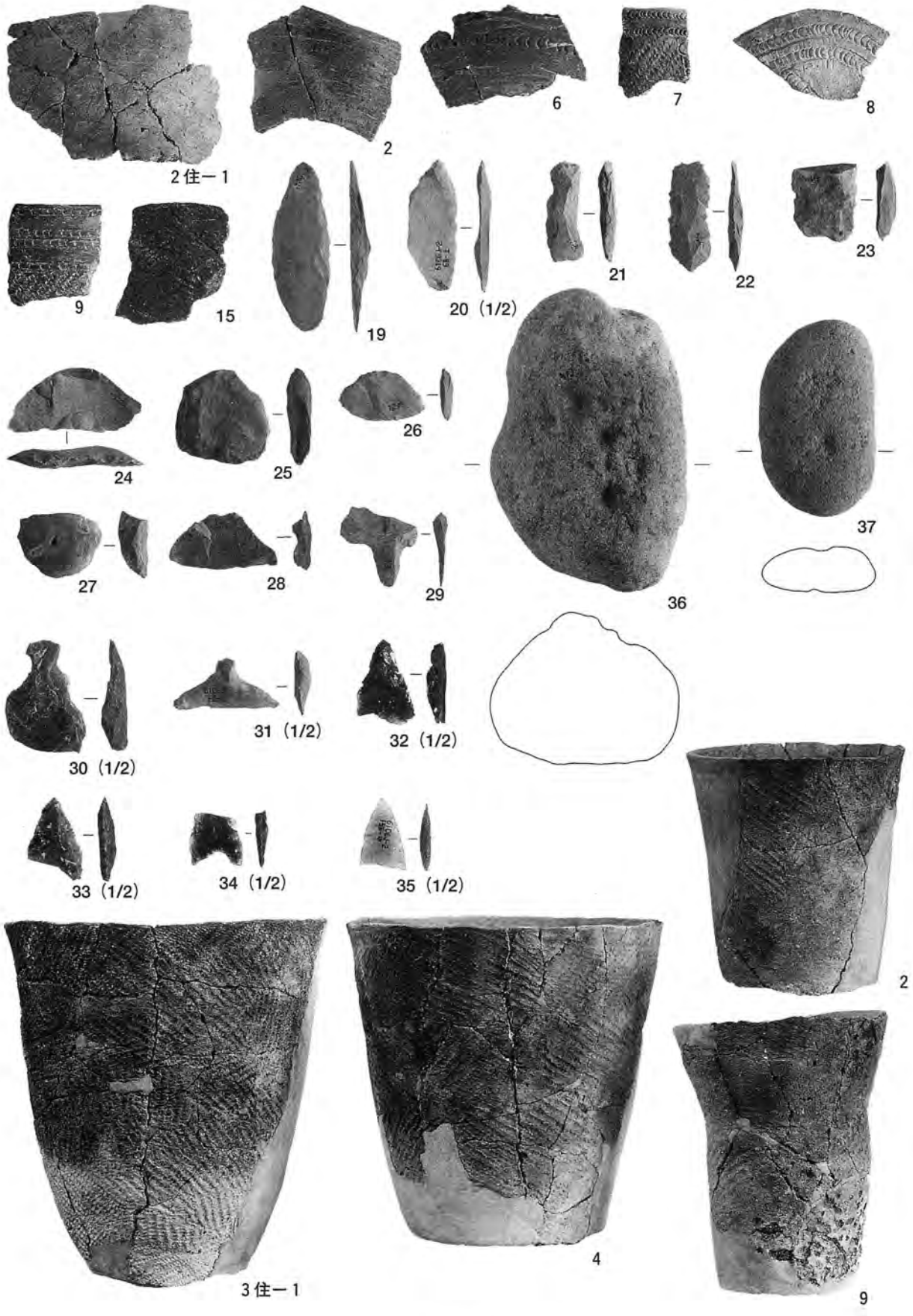


1 号住居跡出土遺物（2）（1/4）

図版　50

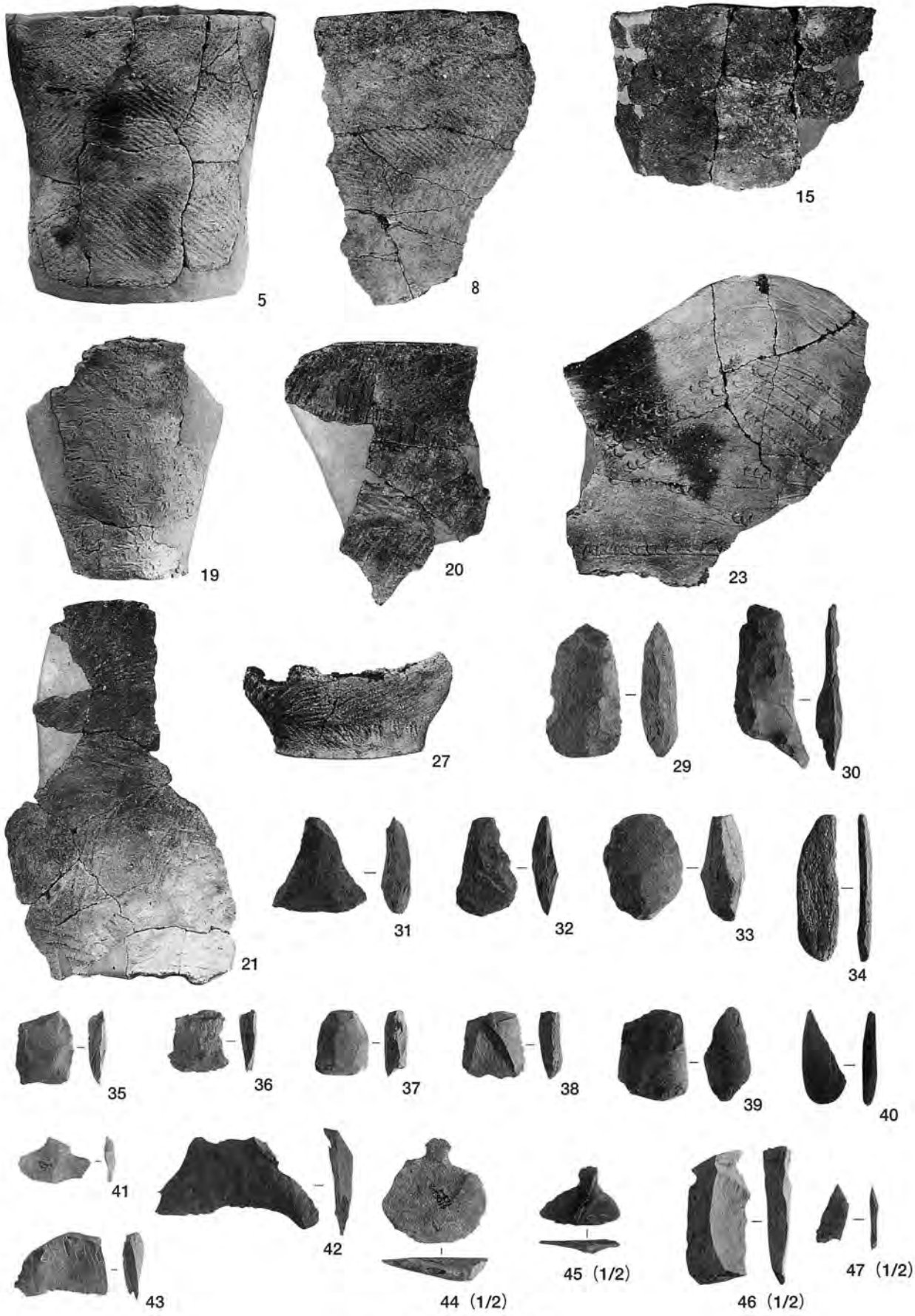


1 号住居跡出土遺物（３）（1/4）

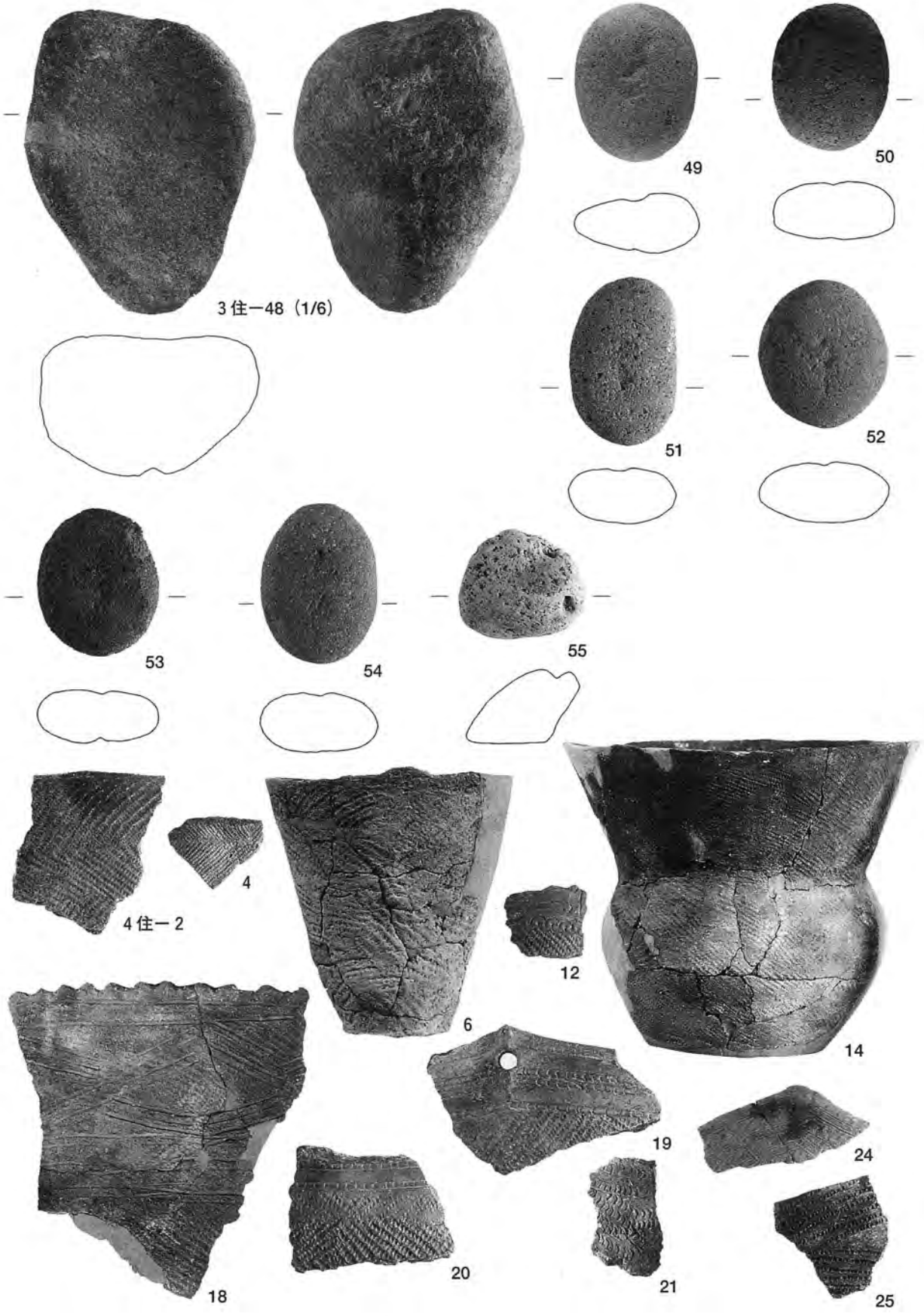


2・3号住居跡出土遺物（1/4）

図版　52

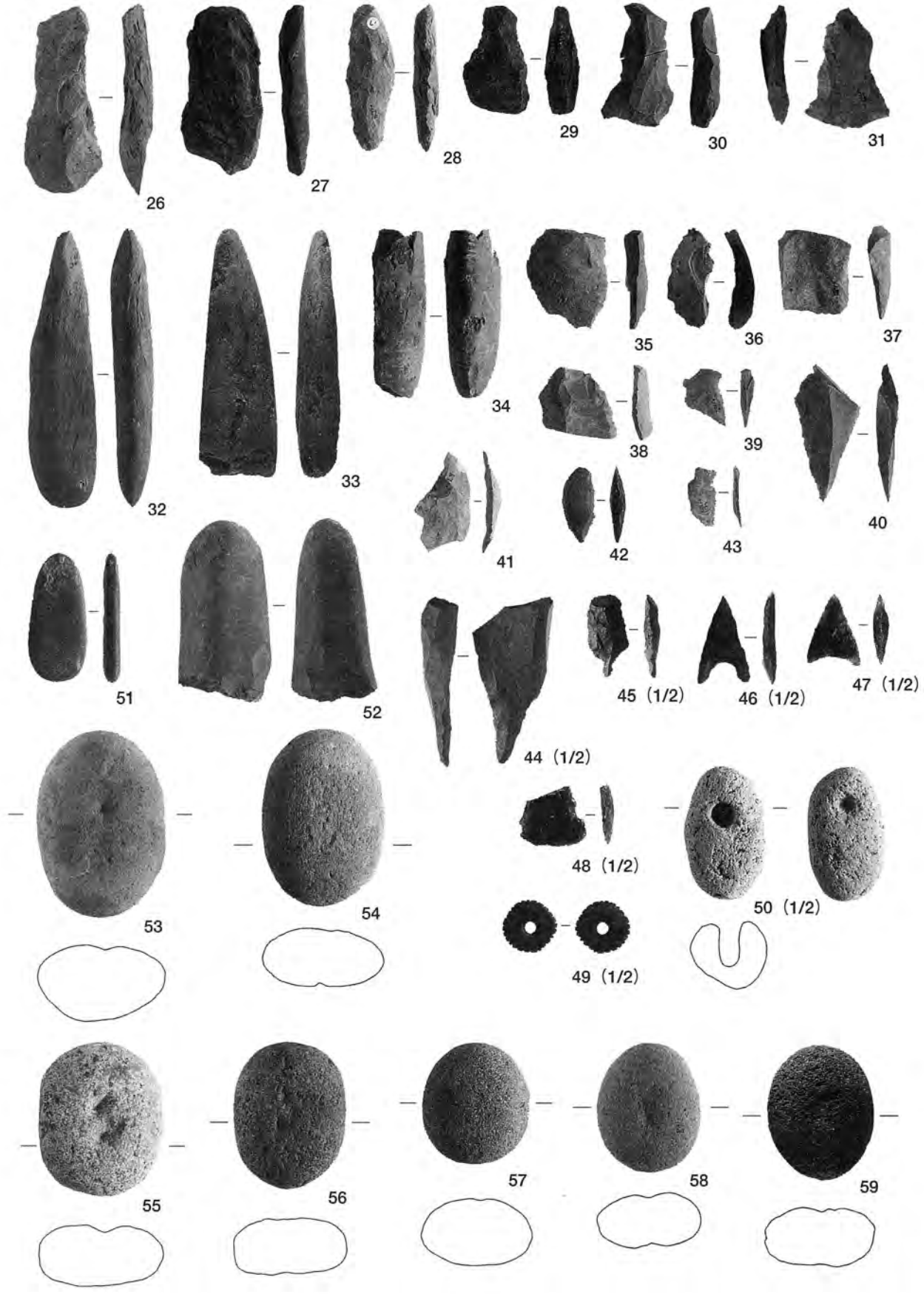


3 号住居跡出土遺物（1/4）

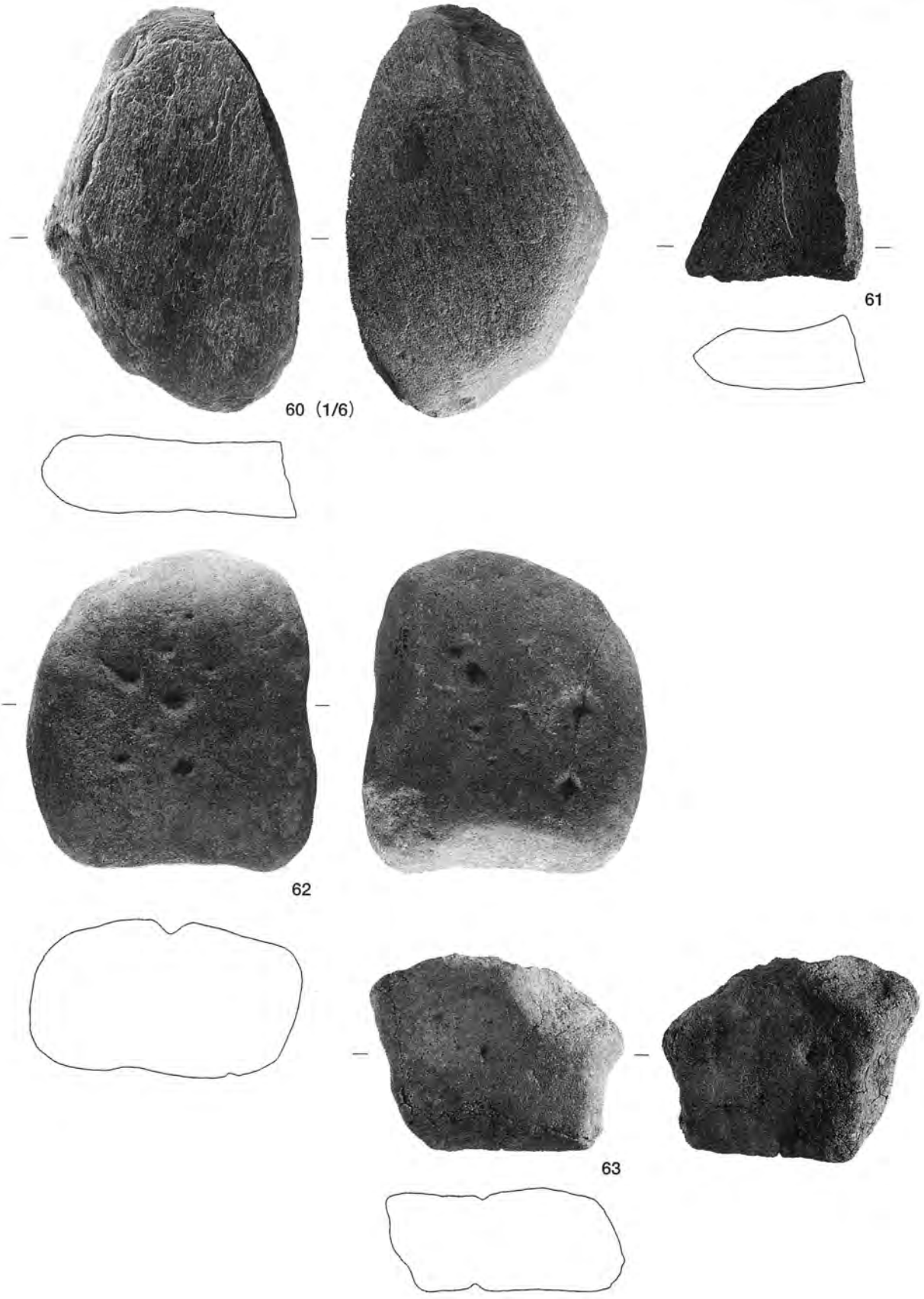


3・4号住居跡出土遺物（1/4）

図版　54

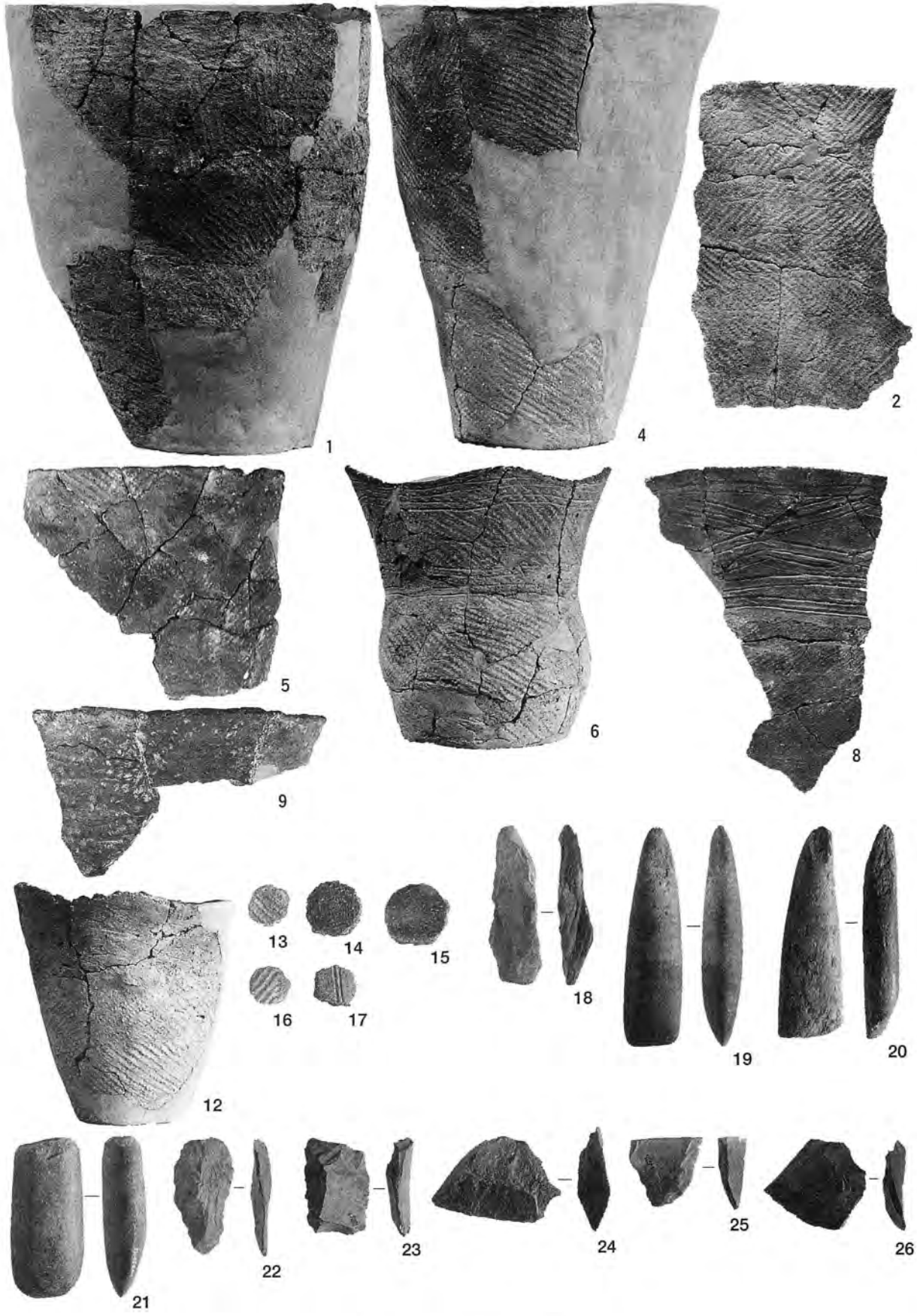


4号住居跡出土遺物（1）（1/4）

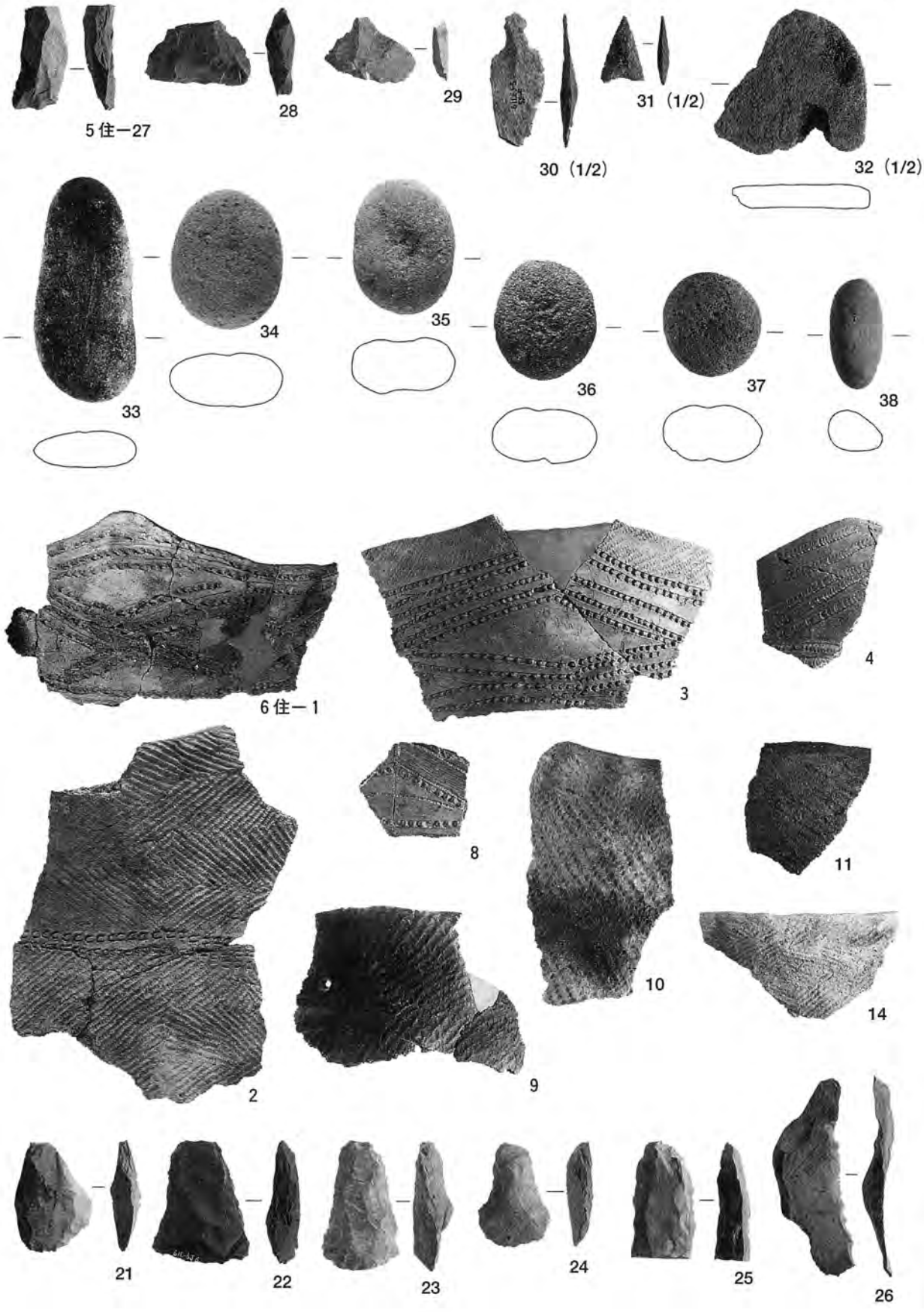


4 号住居跡出土遺物（２）（1/4）

図版　56

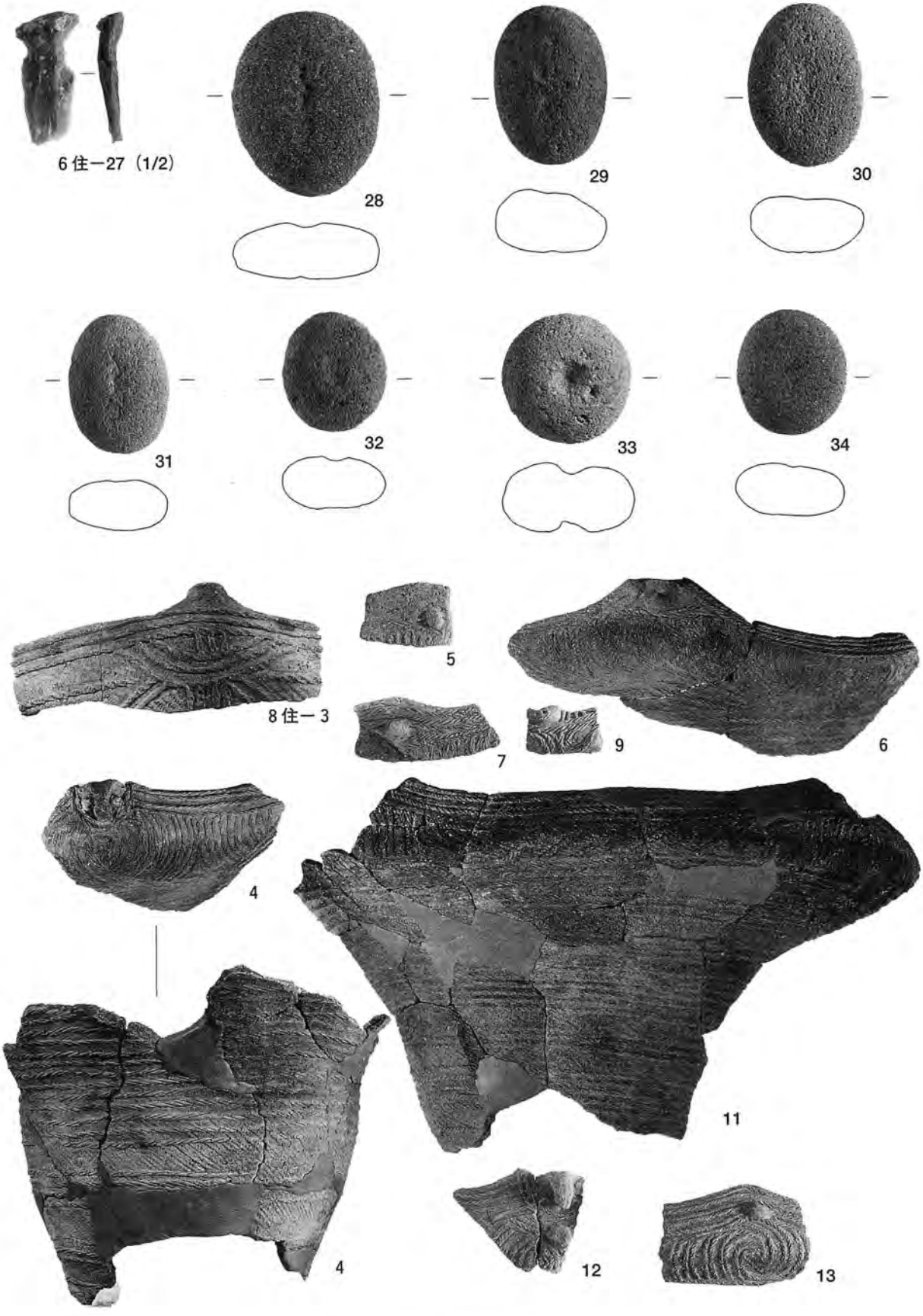


5 号住居跡出土遺物（1/4）

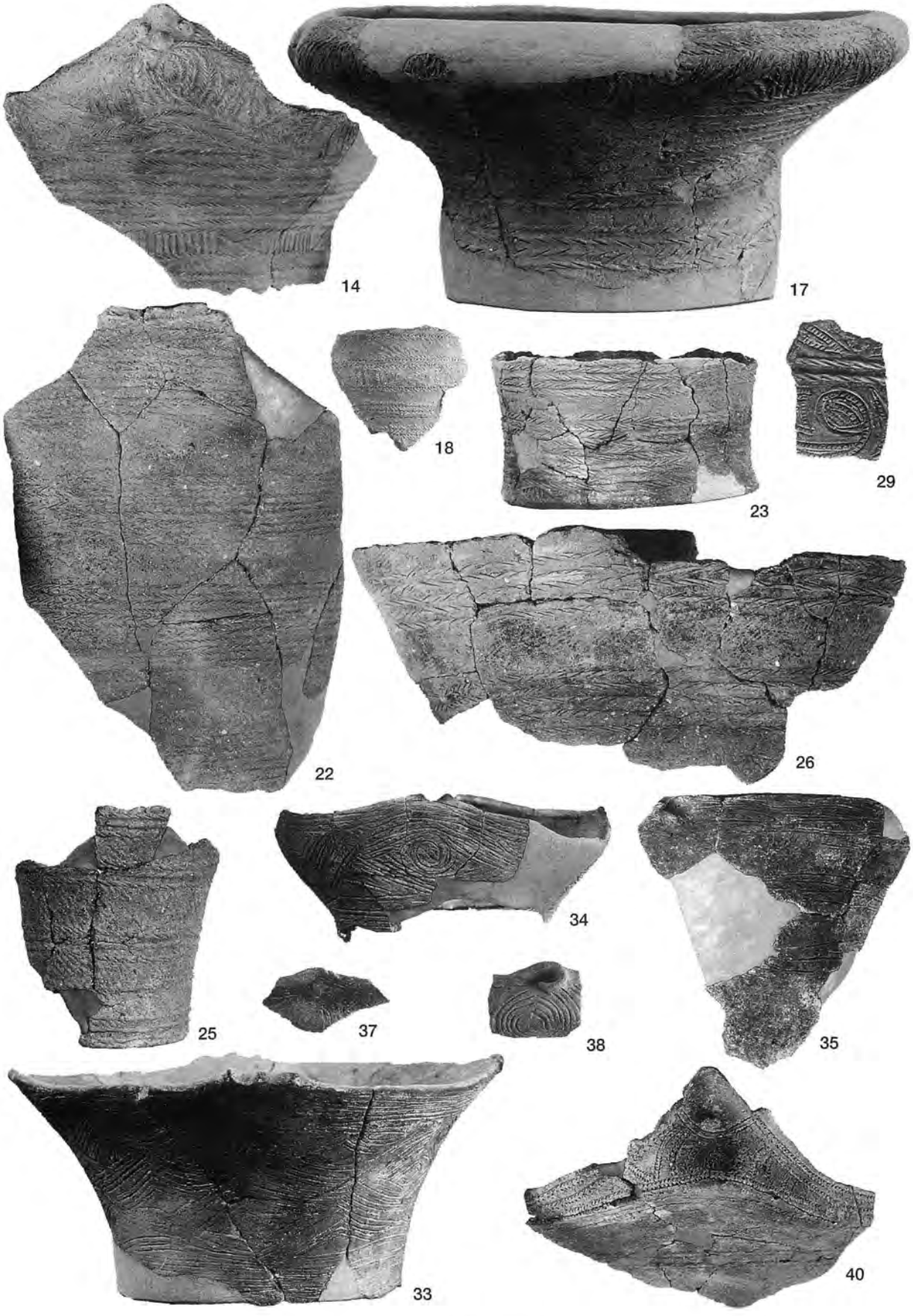


5・6号住居跡出土遺物（1/4）

図版　58

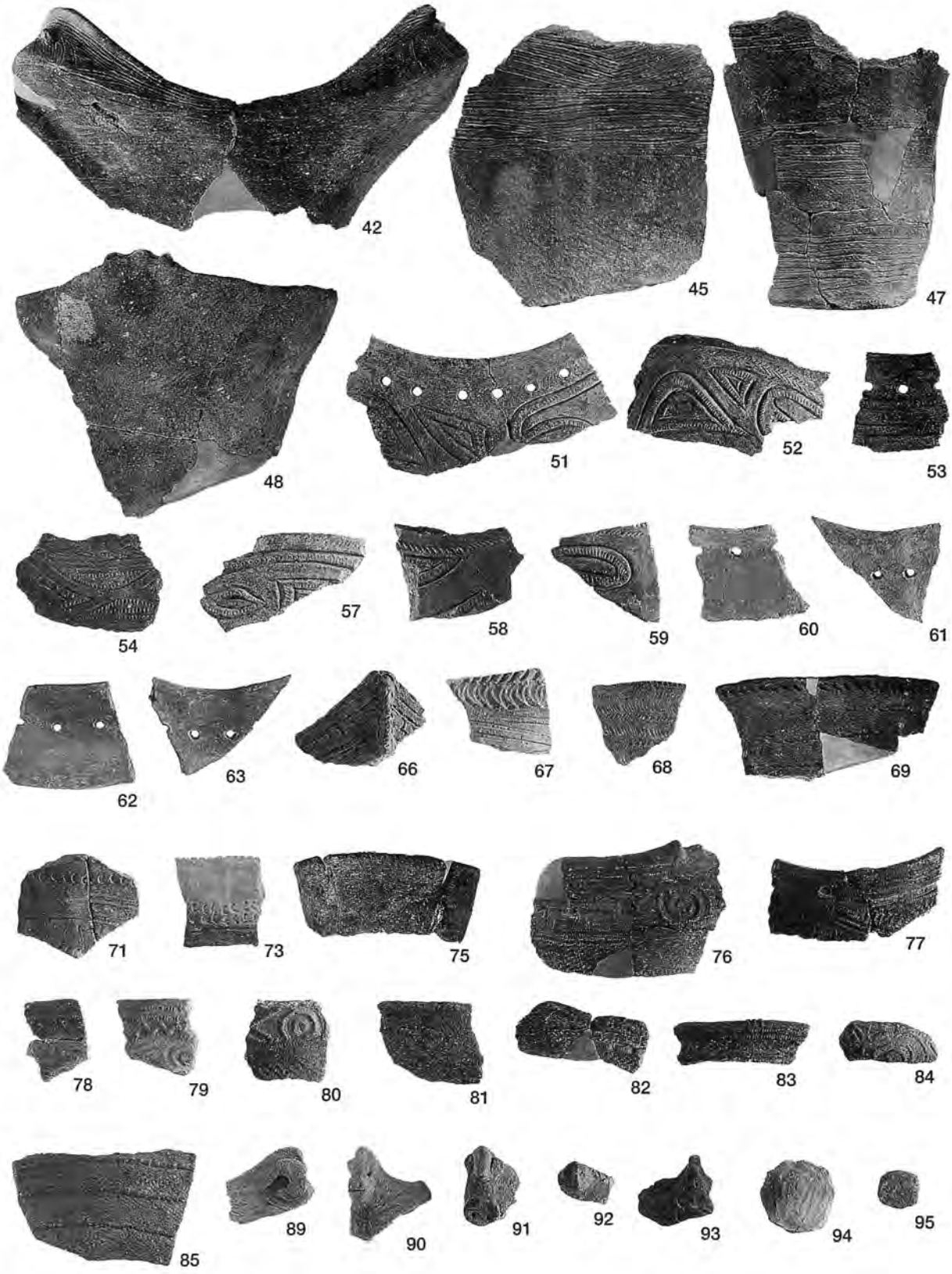


6・8号住居跡出土遺物（1/4）

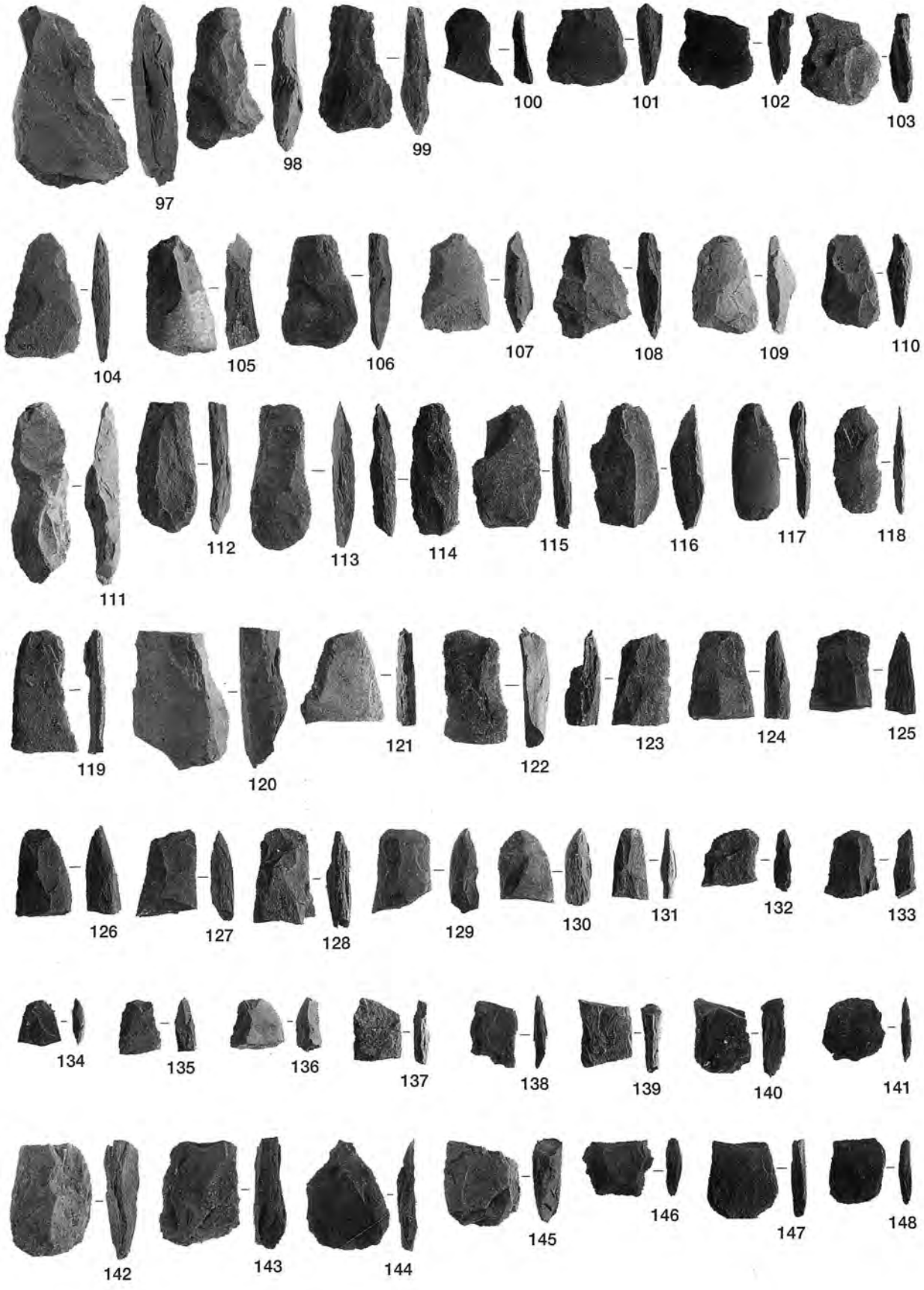


8 号住居跡出土遺物（1）（1/4）

図版　60

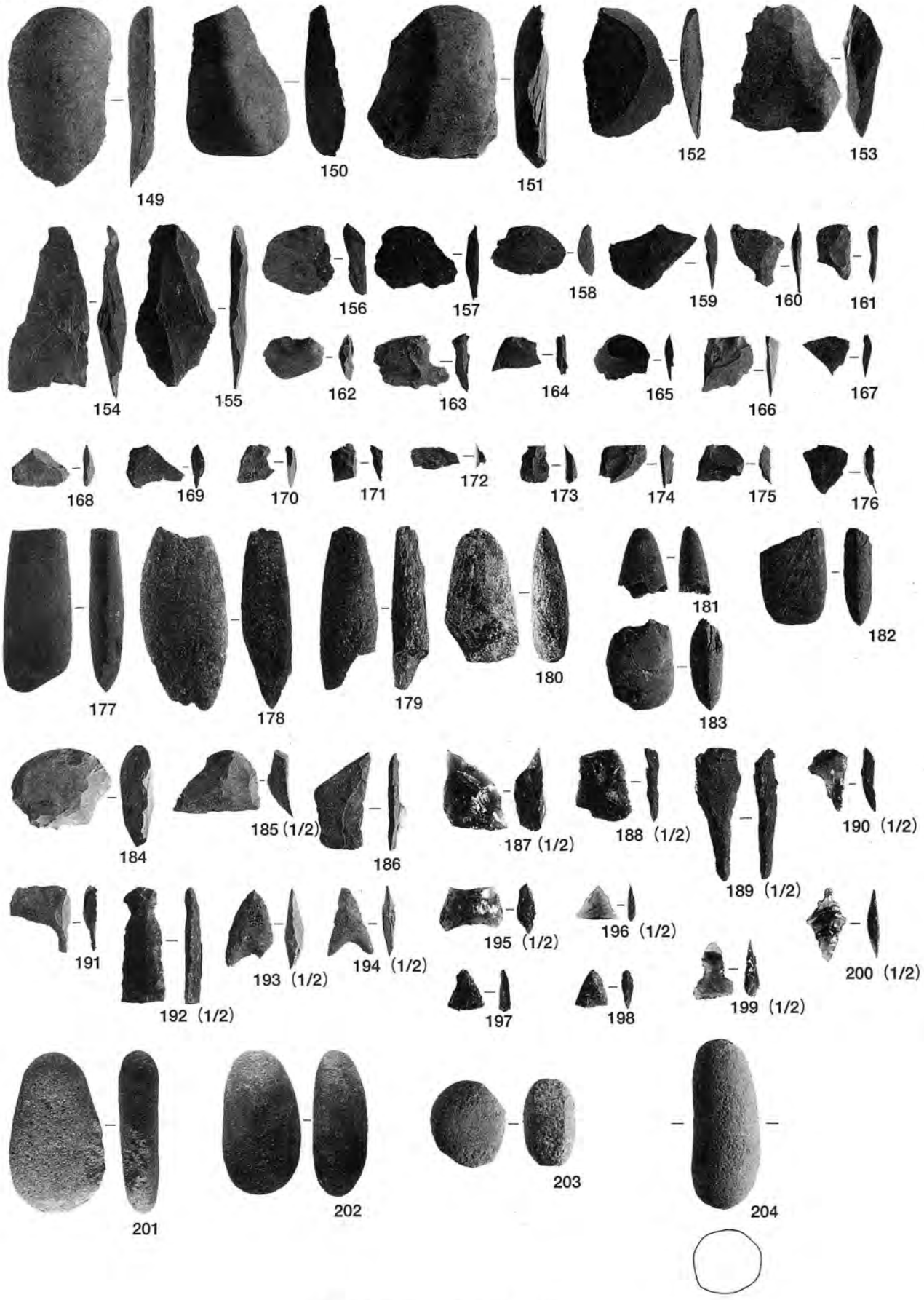


8 号住居跡出土遺物（２）(1/4)

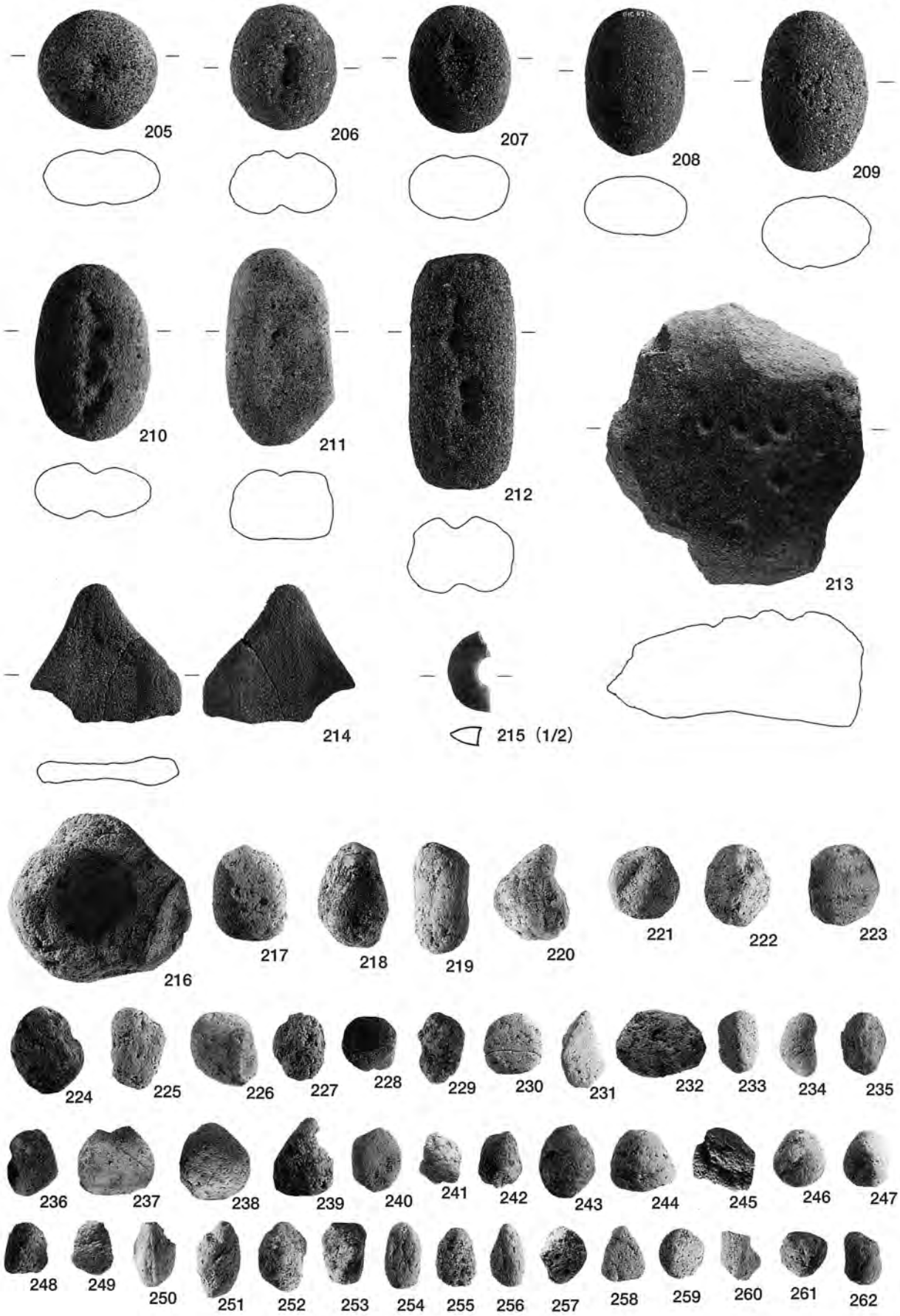


8号住居跡出土遺物（3）（1/4）

図版　62

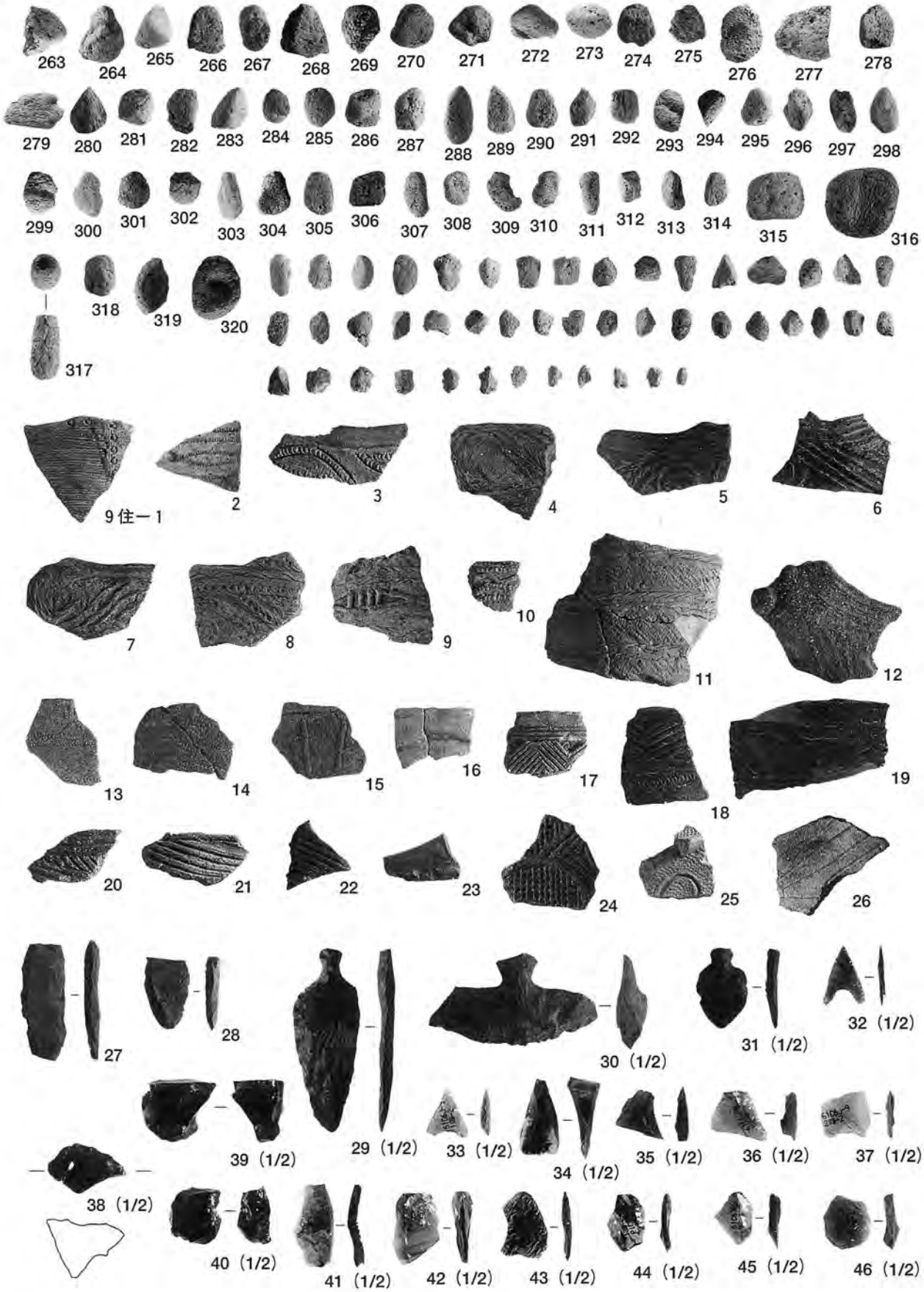


8号住居跡出土遺物（4）(1/4)

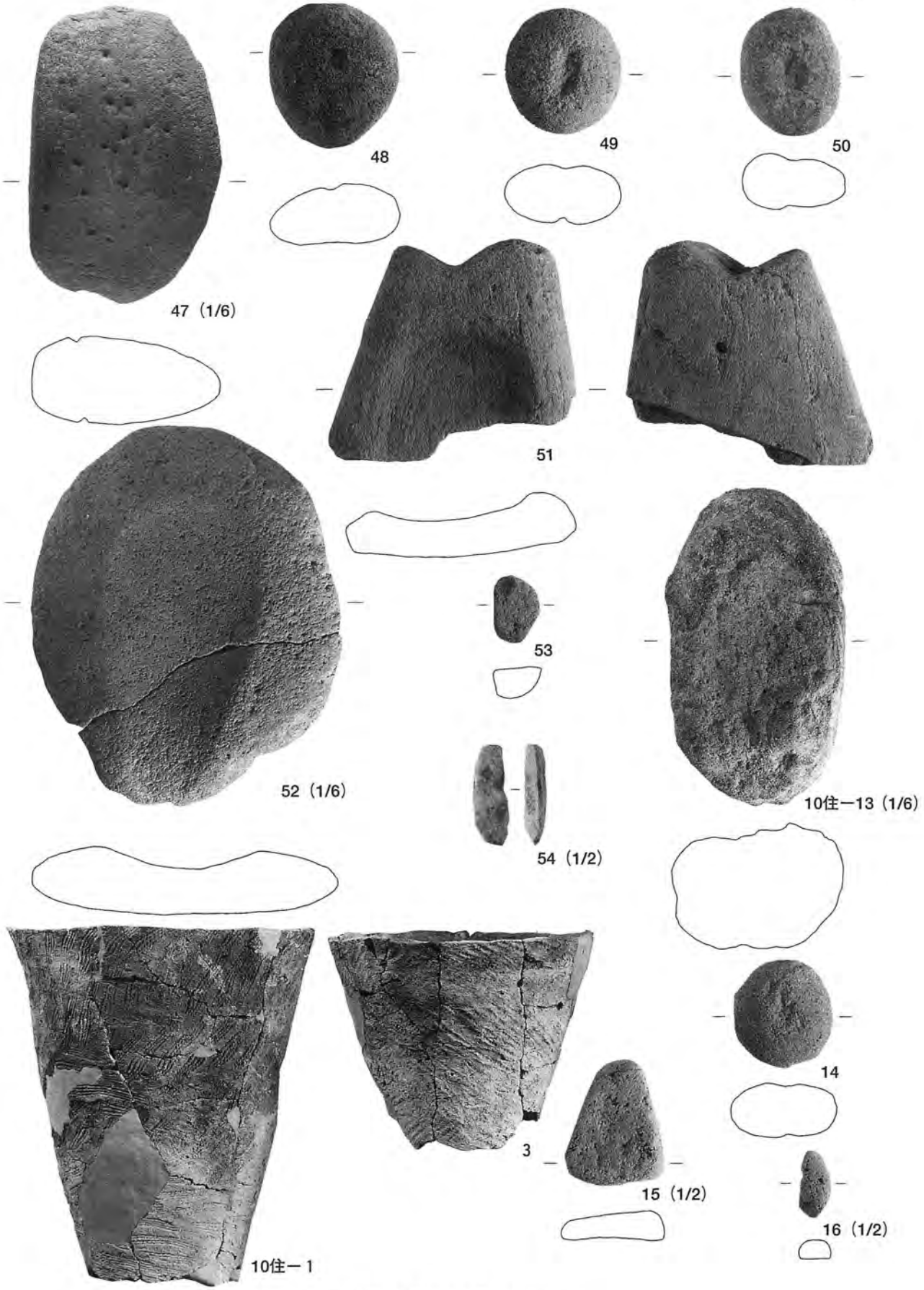


8号住居跡出土遺物（5）（1/4）

図版　64



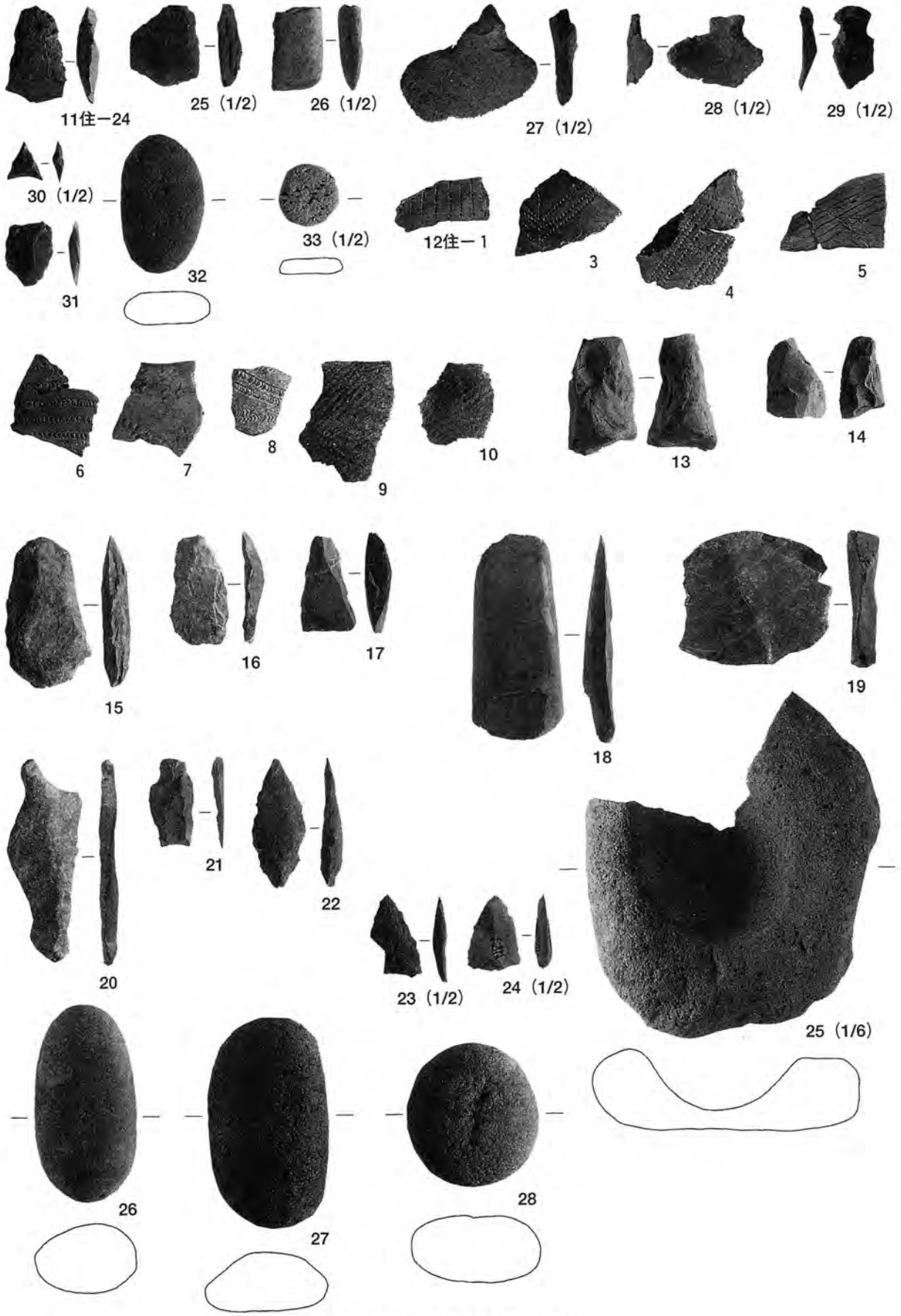
8・9号住居跡出土遺物（1/4）



9・10号住居跡出土遺物（1/4）

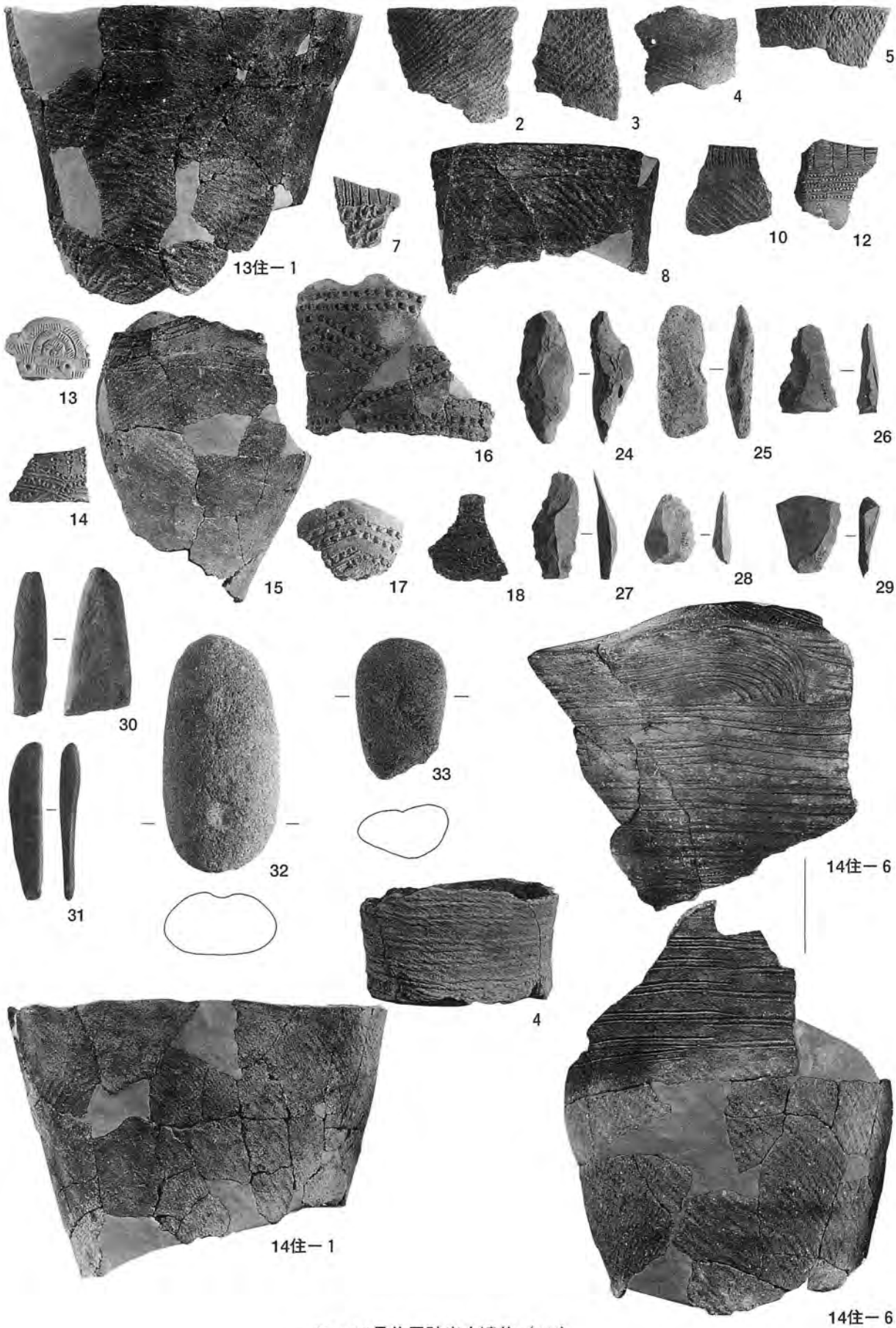
図版　66

11号住居跡出土遺物（1/4）

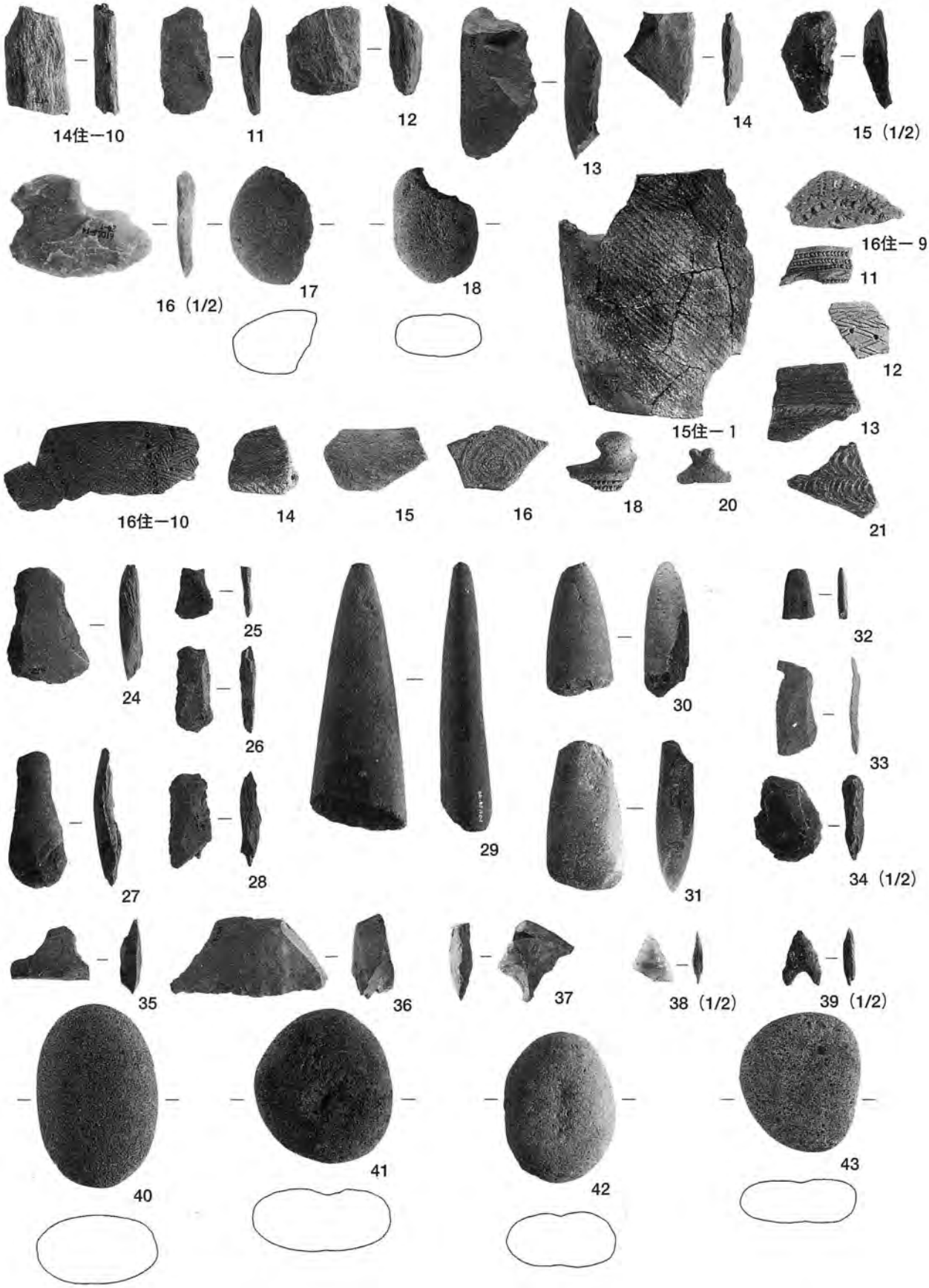


11・12号住居跡出土遺物（1/4）

図版　68

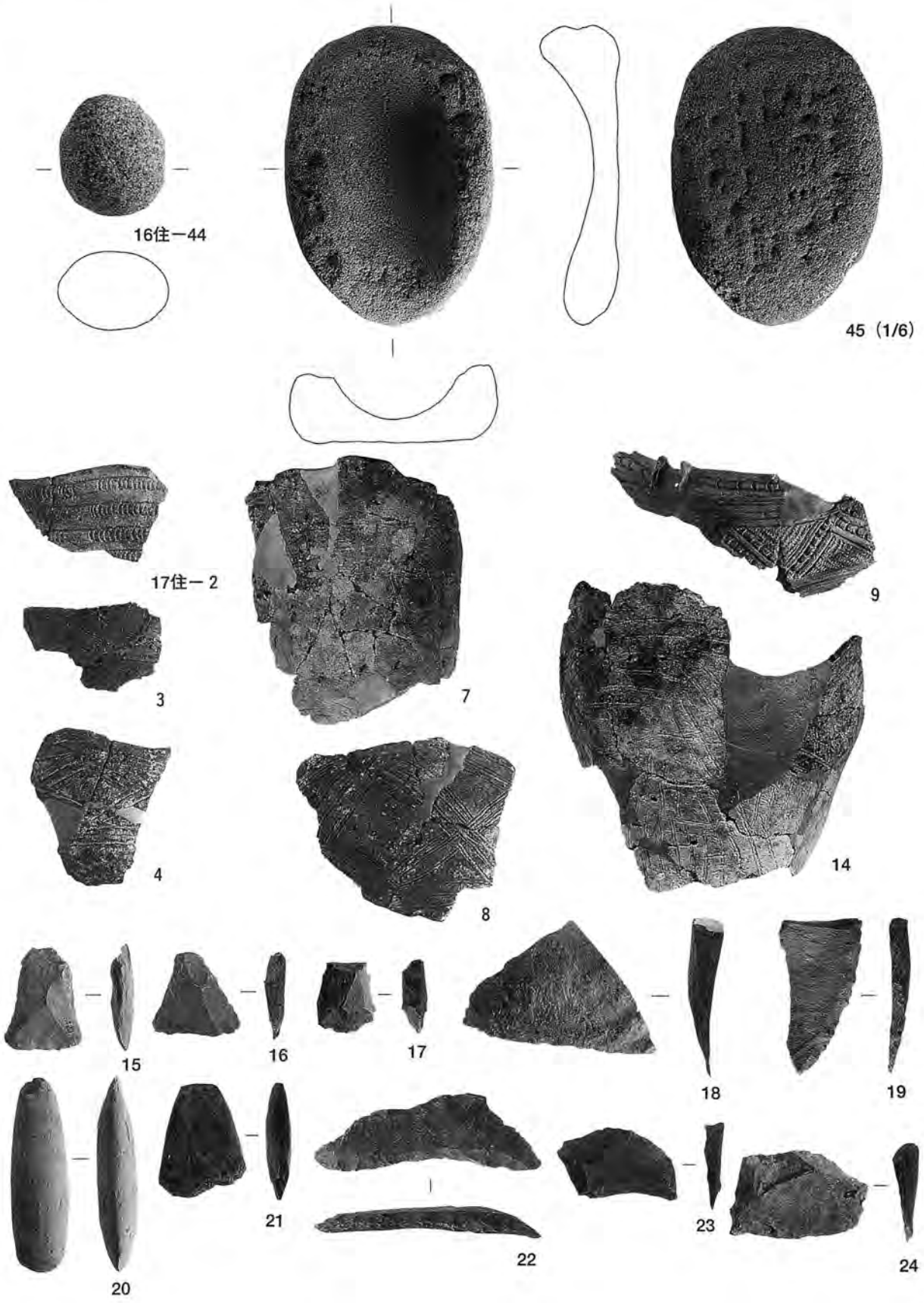


13・14号住居跡出土遺物（1/4）

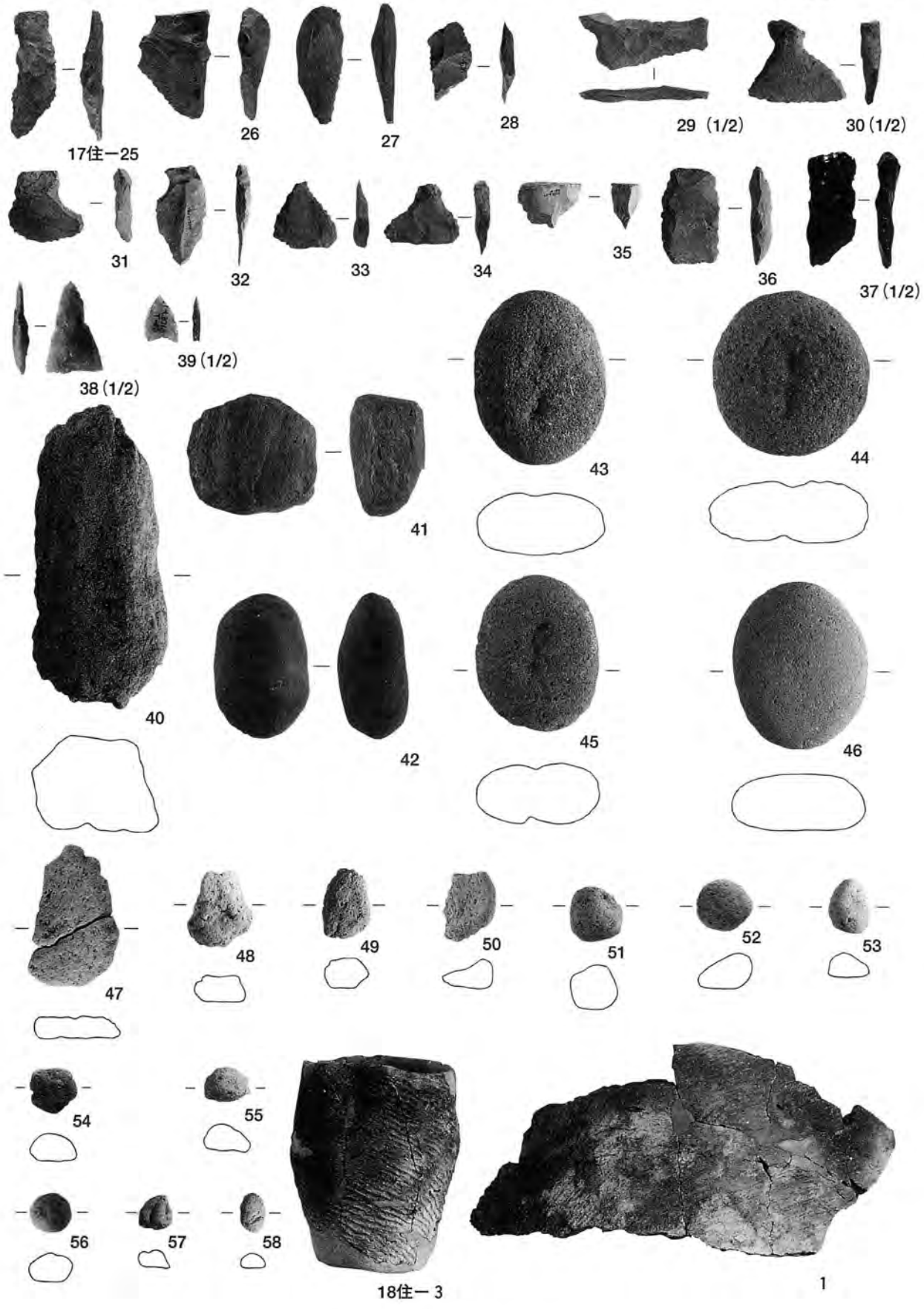


14～16号住居跡出土遺物（1/4）

図版　70

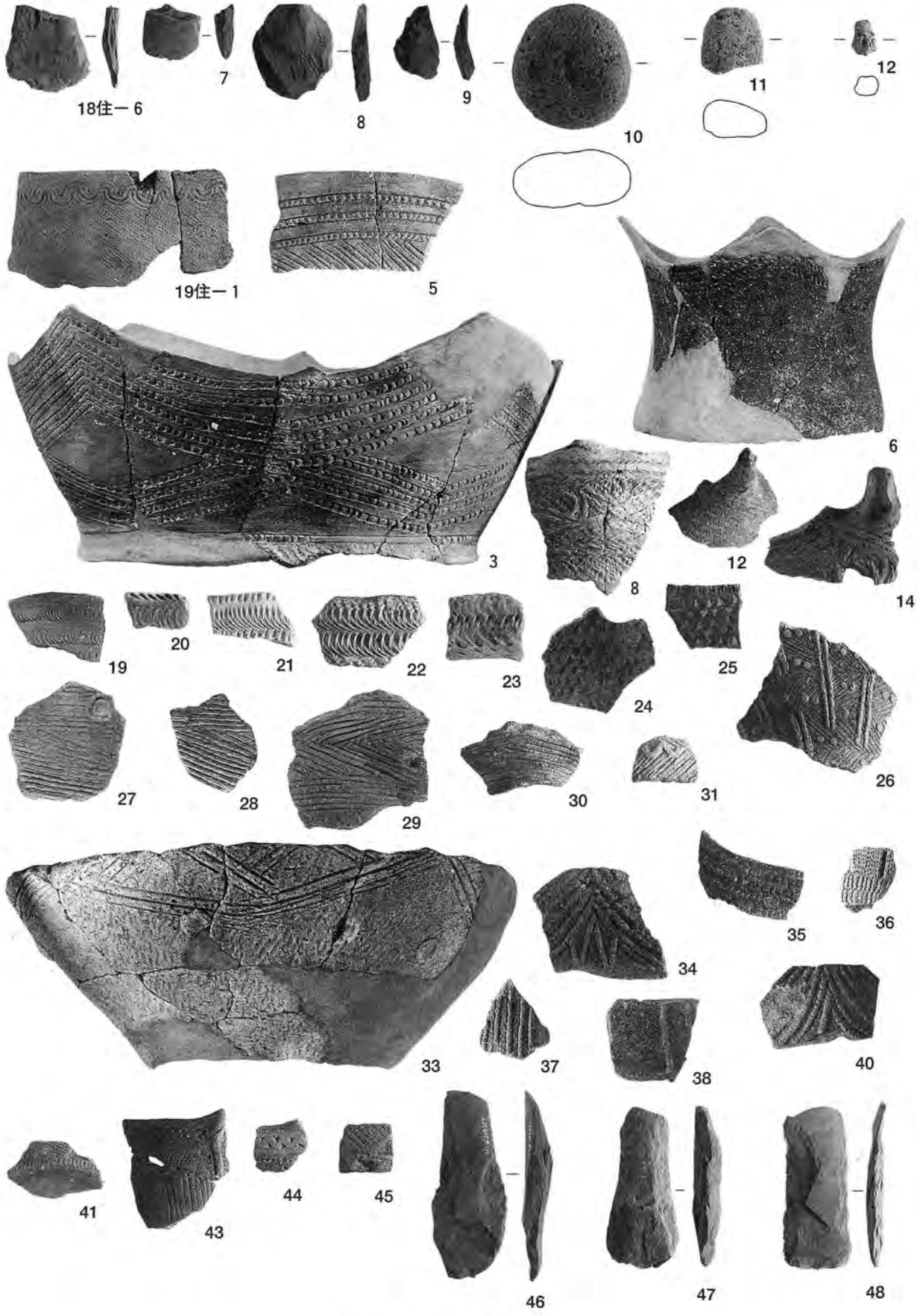


16・17号住居跡出土遺物（1/4）

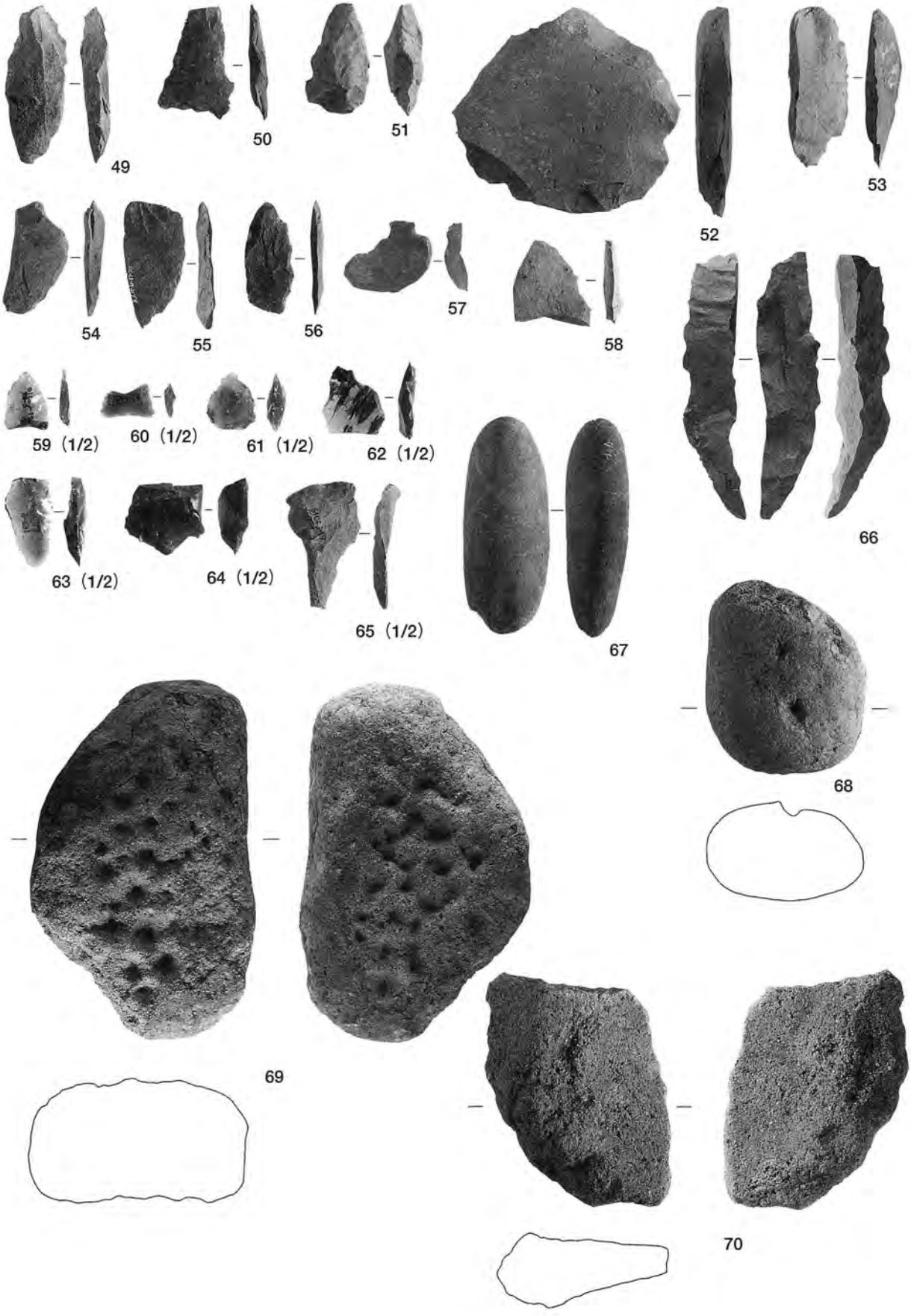


17・18号住居跡出土遺物（1/4）

図版　72

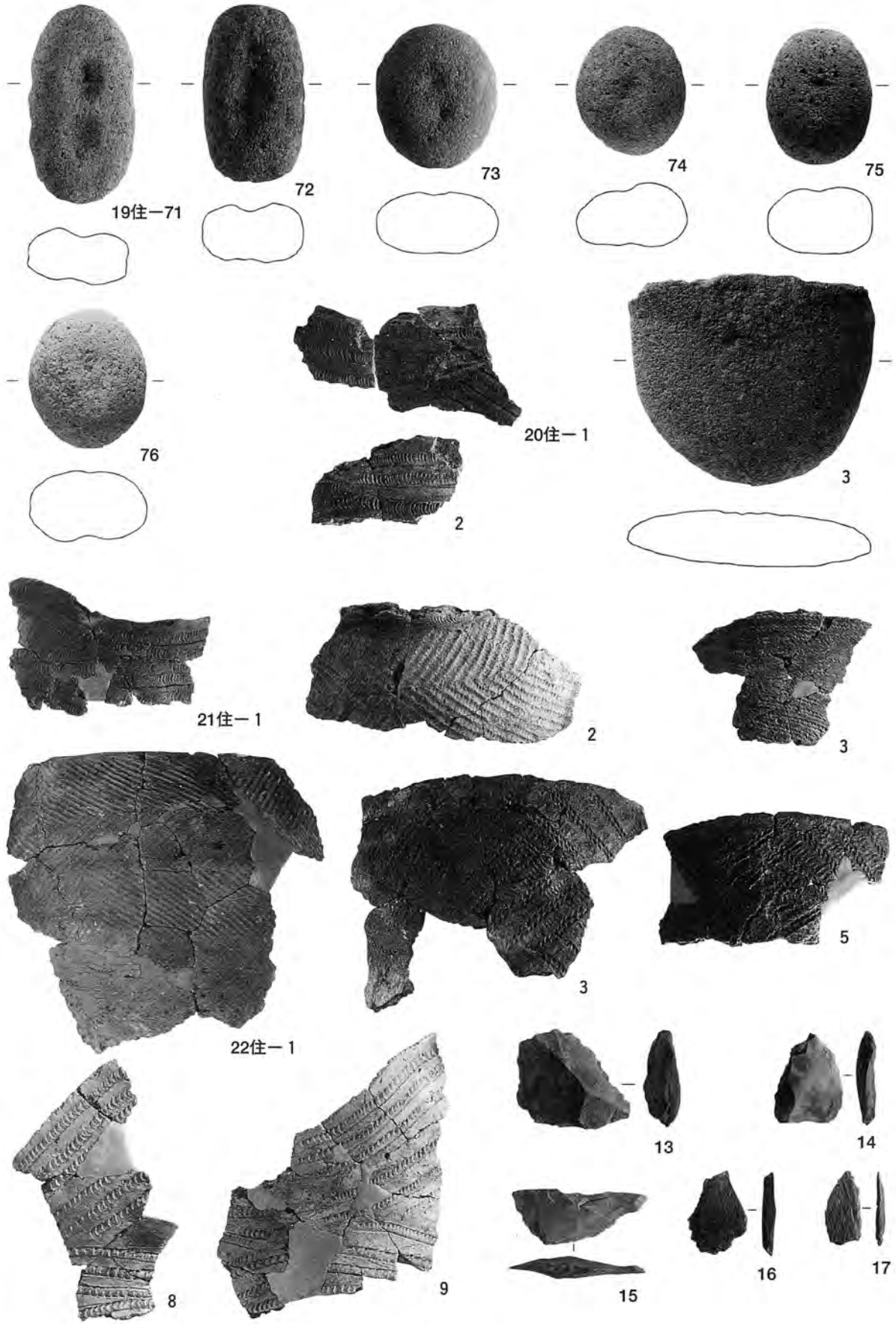


18・19号住居跡出土遺物（1/4）

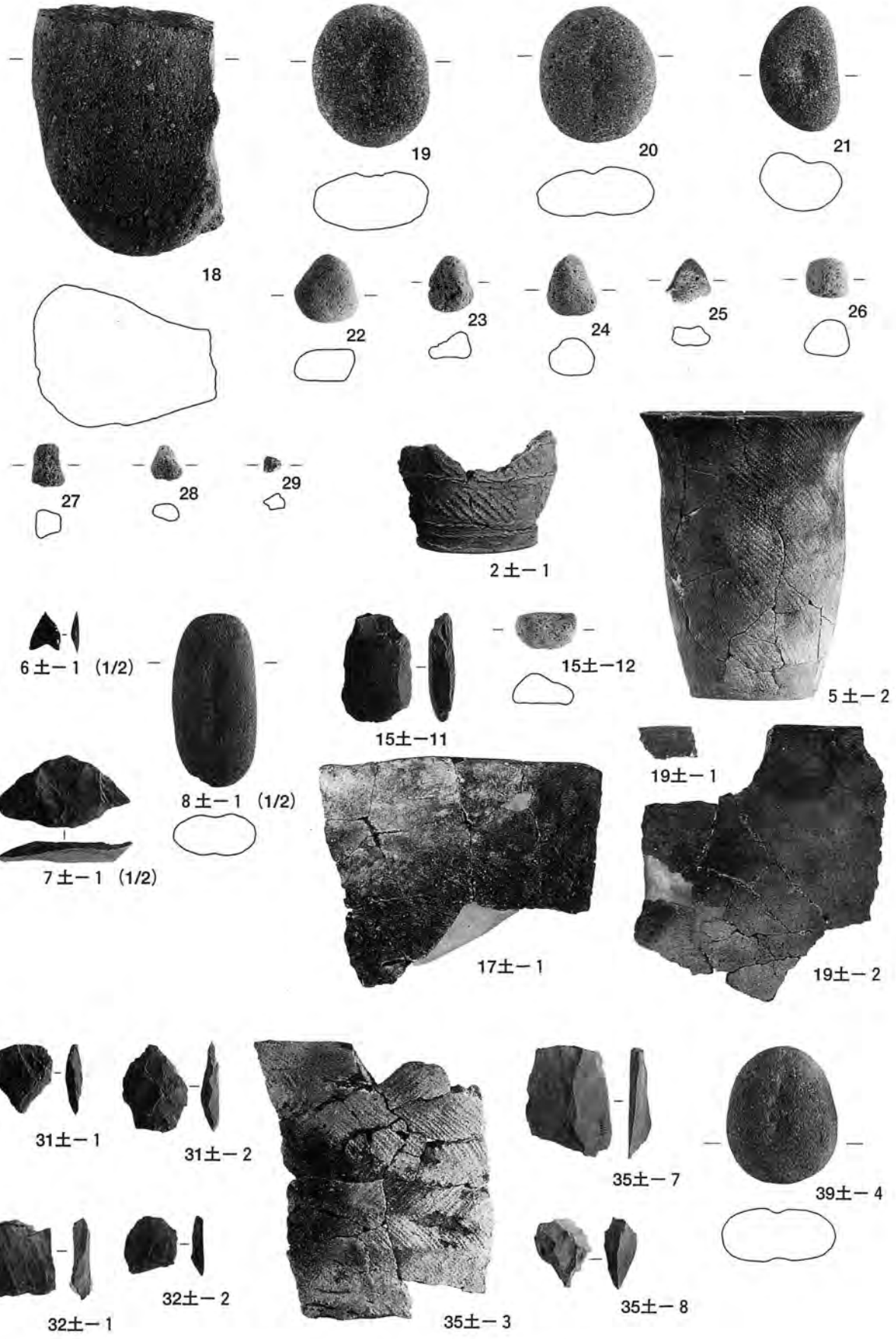


19号住居跡出土遺物（1/4）

図版　74

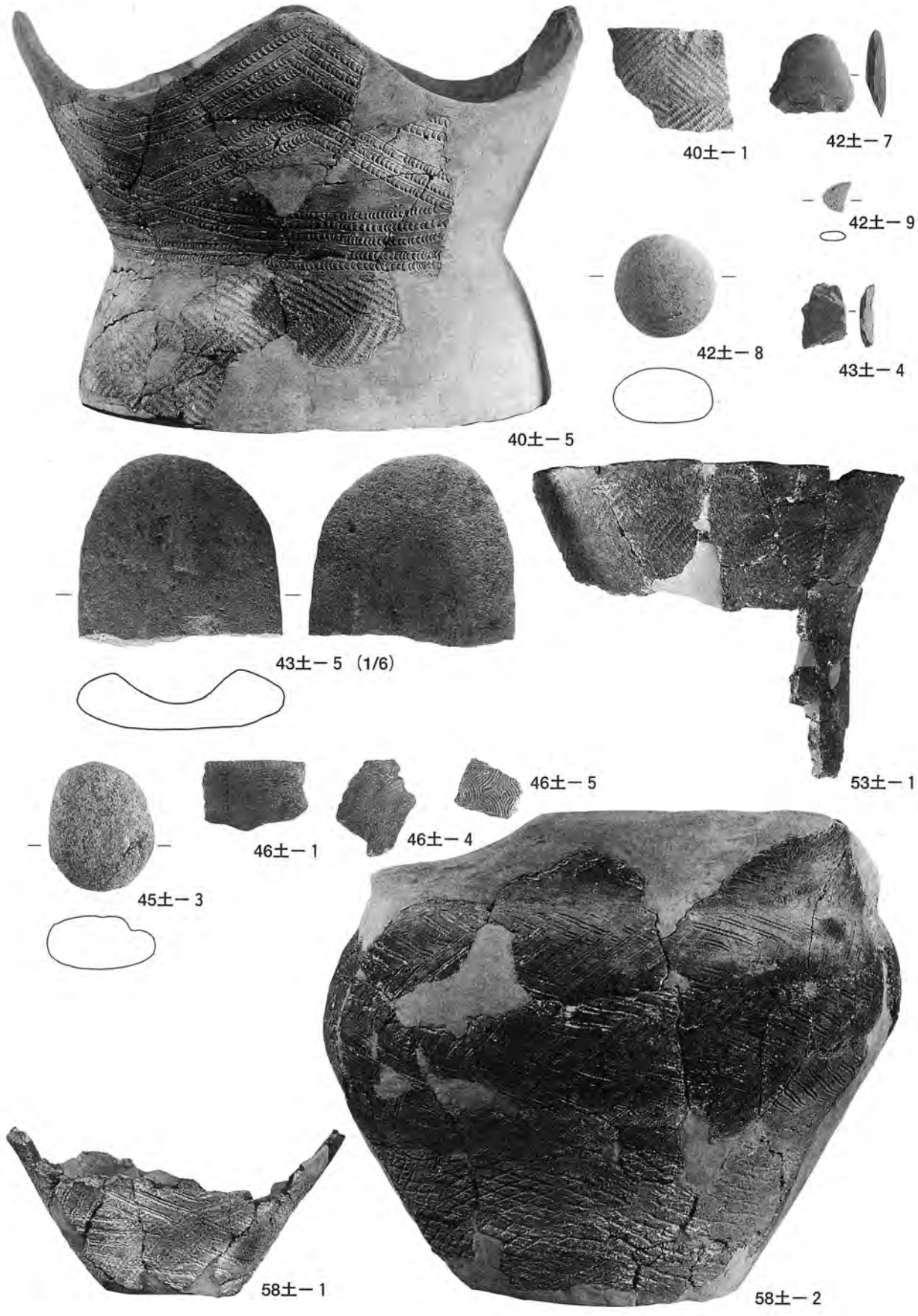


19～22号住居跡出土遺物（1/4）

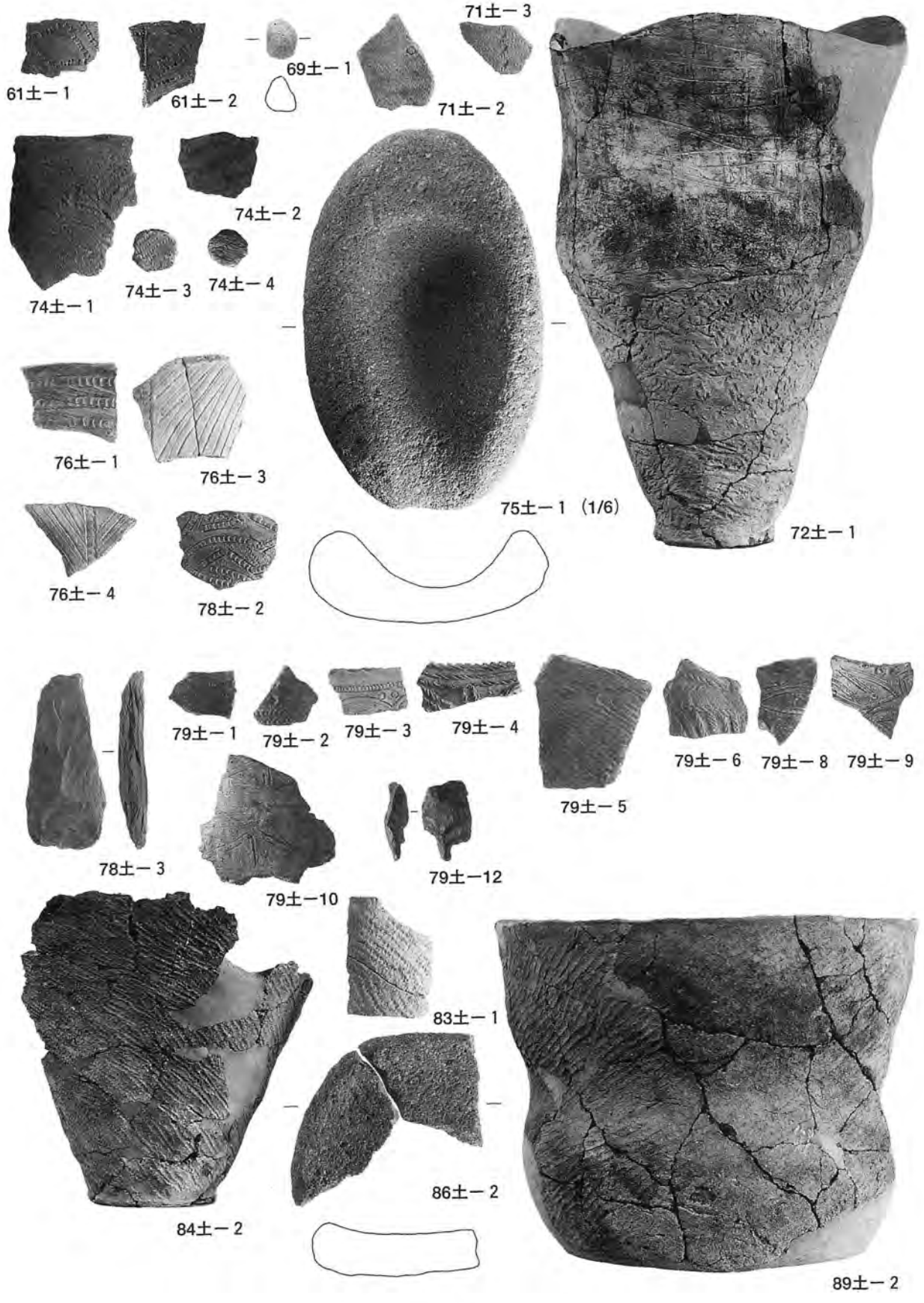


22号住居跡・２～39号土坑出土遺物（1/4）

図版　76



40～58号土坑出土遺物（1/4）

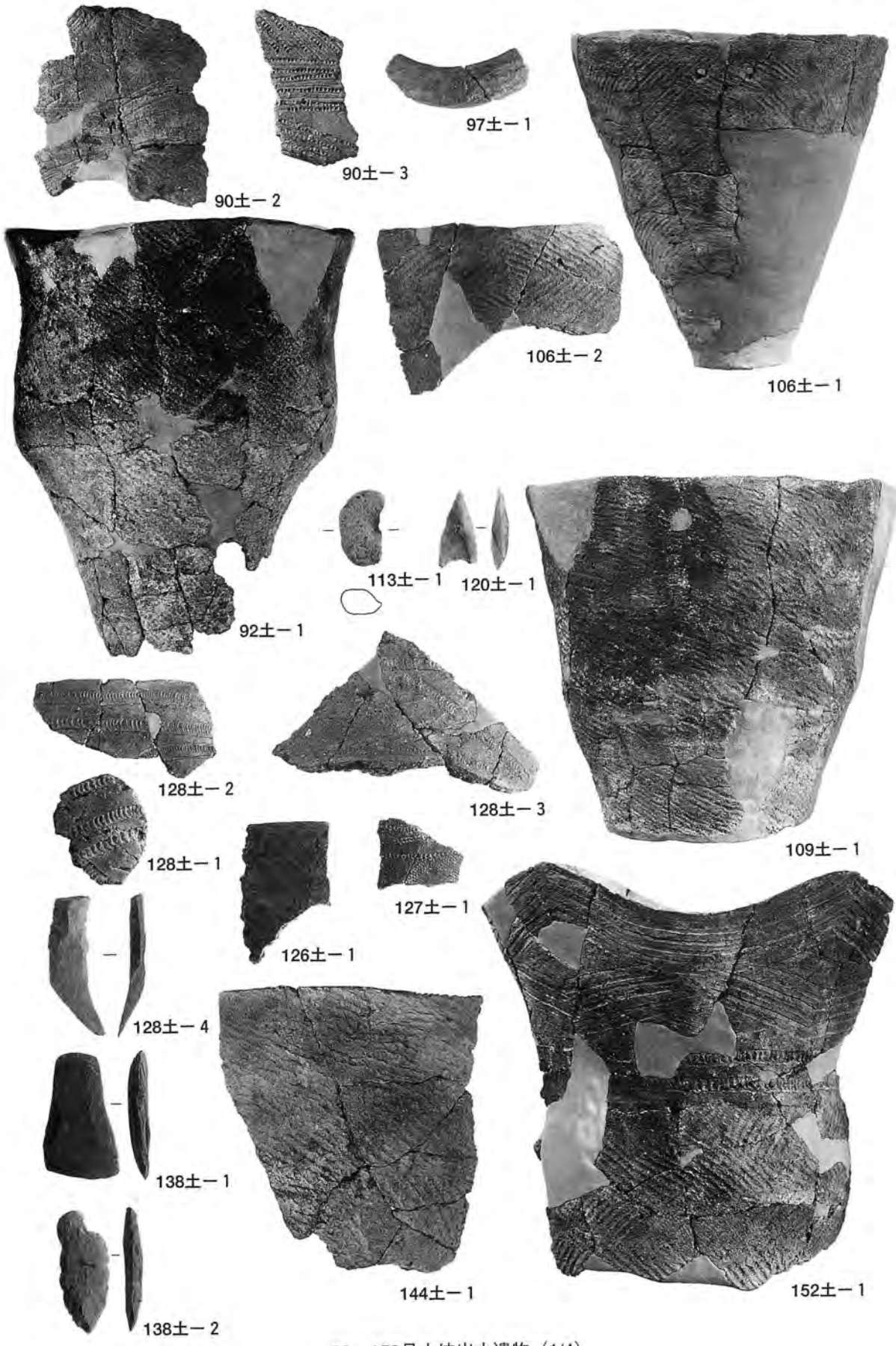


61～89号土坑出土遺物（1/4）

図版　78

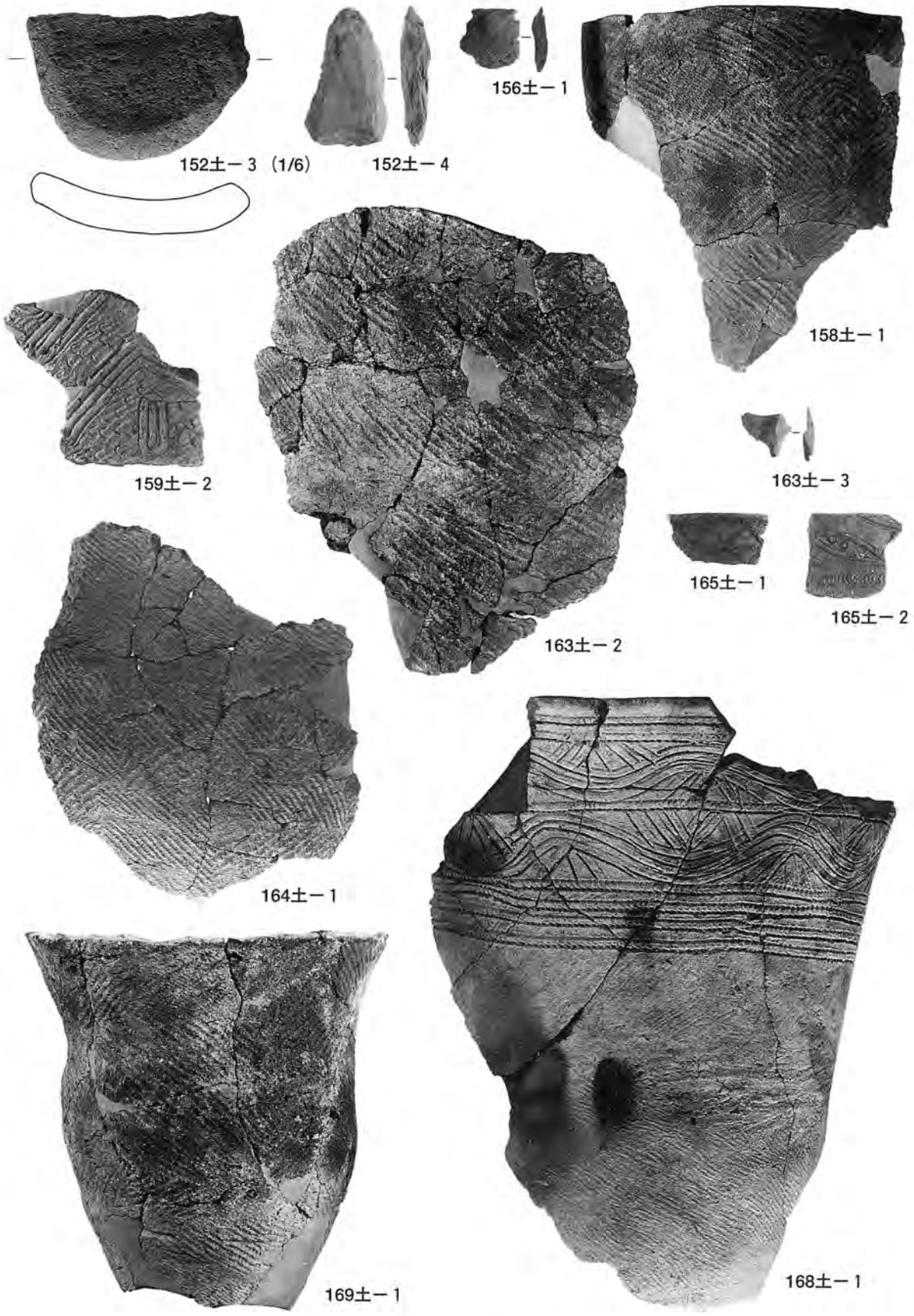
78土－1

78号土坑出土遺物（1/4）

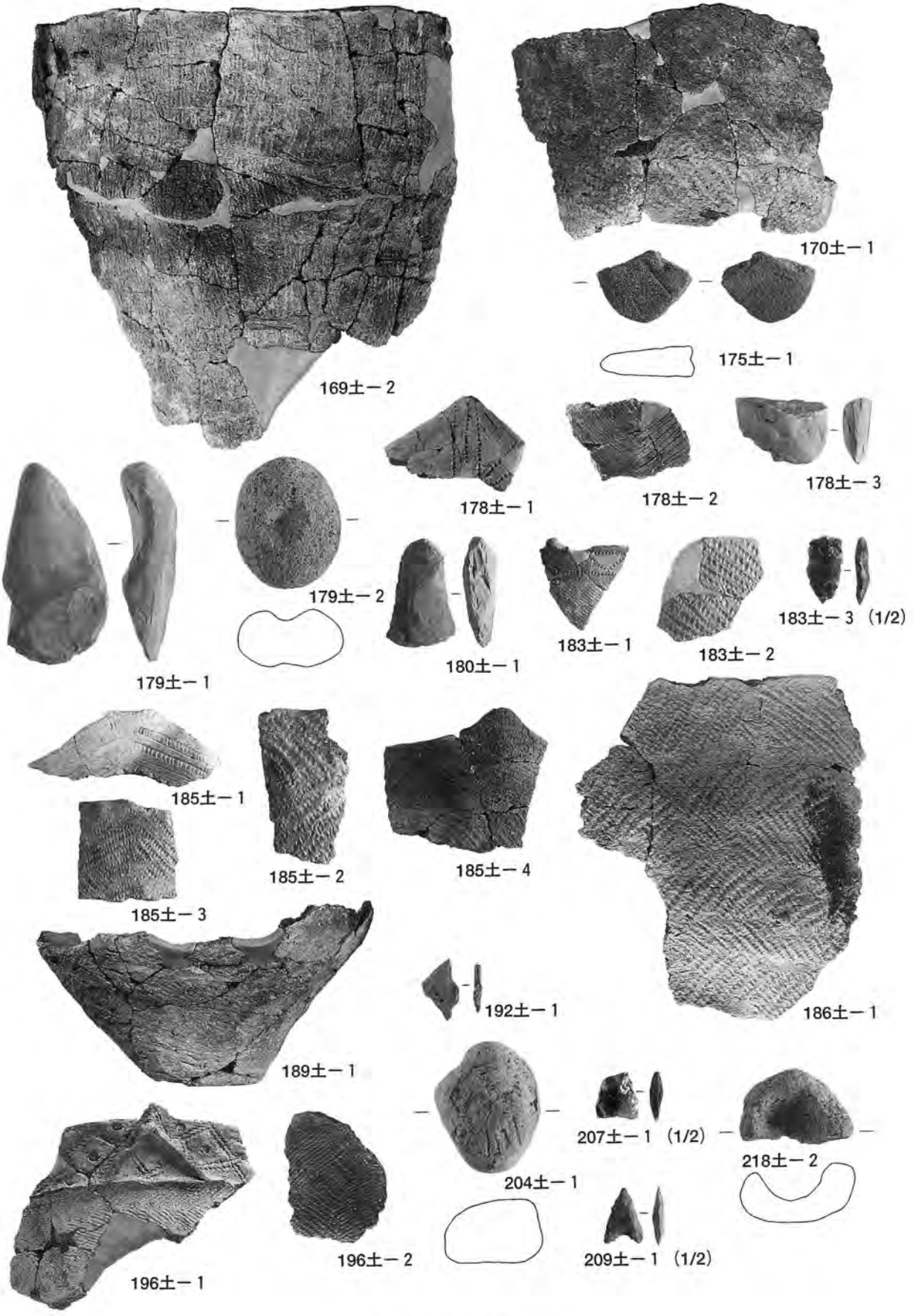


90～152号土坑出土遺物（1/4）

図版　80

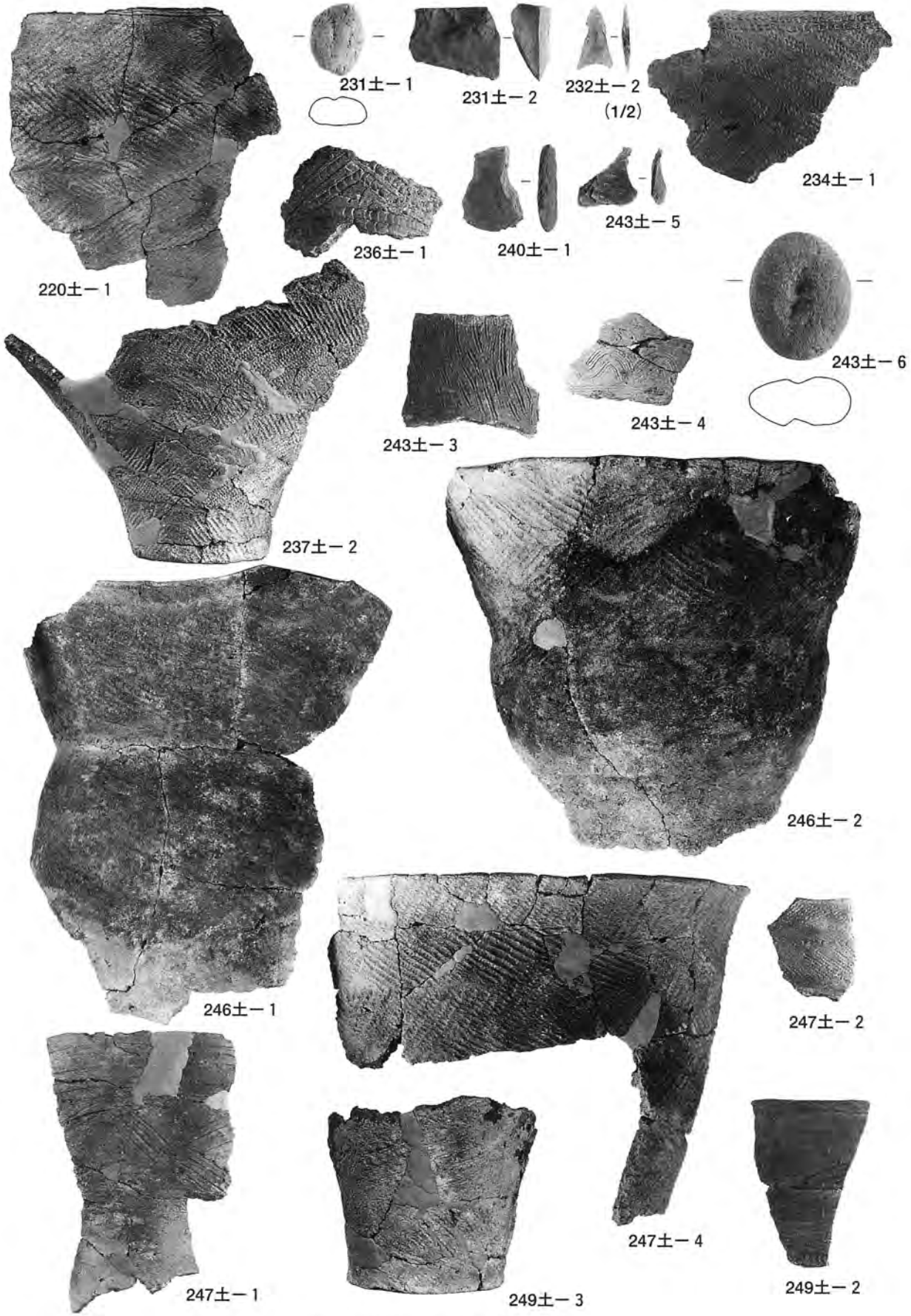


152～169号土坑出土遺物（1/4）



169～218号土坑出土遺物（1/4）

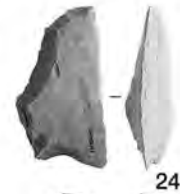
図版　82



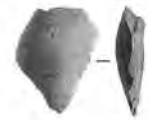
220～249号土坑出土遺物（1/4）

249土－1

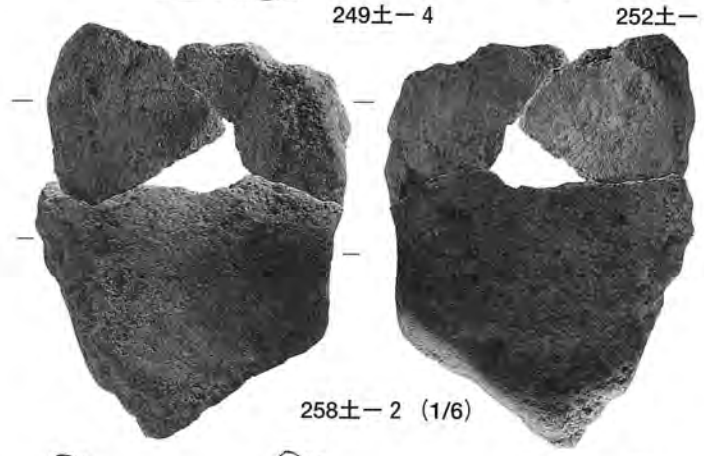
249土－4

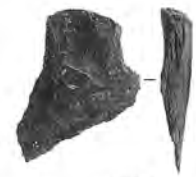

249土－6

249土－7


252土－1

257土－1

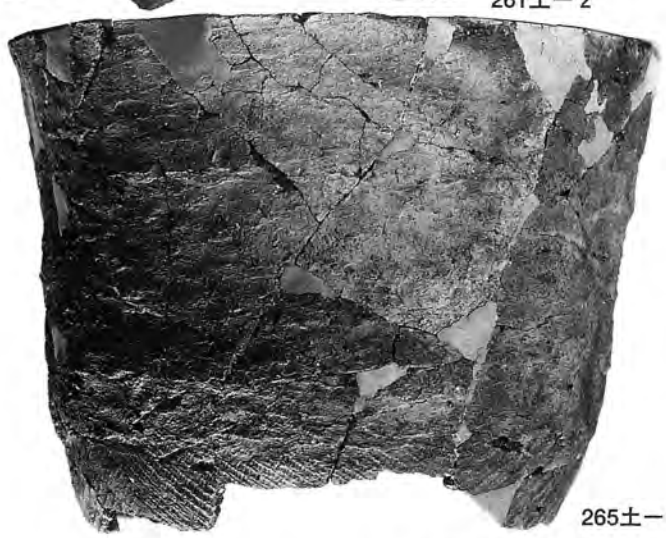

258土－2（1/6）


260土－1

261土－1

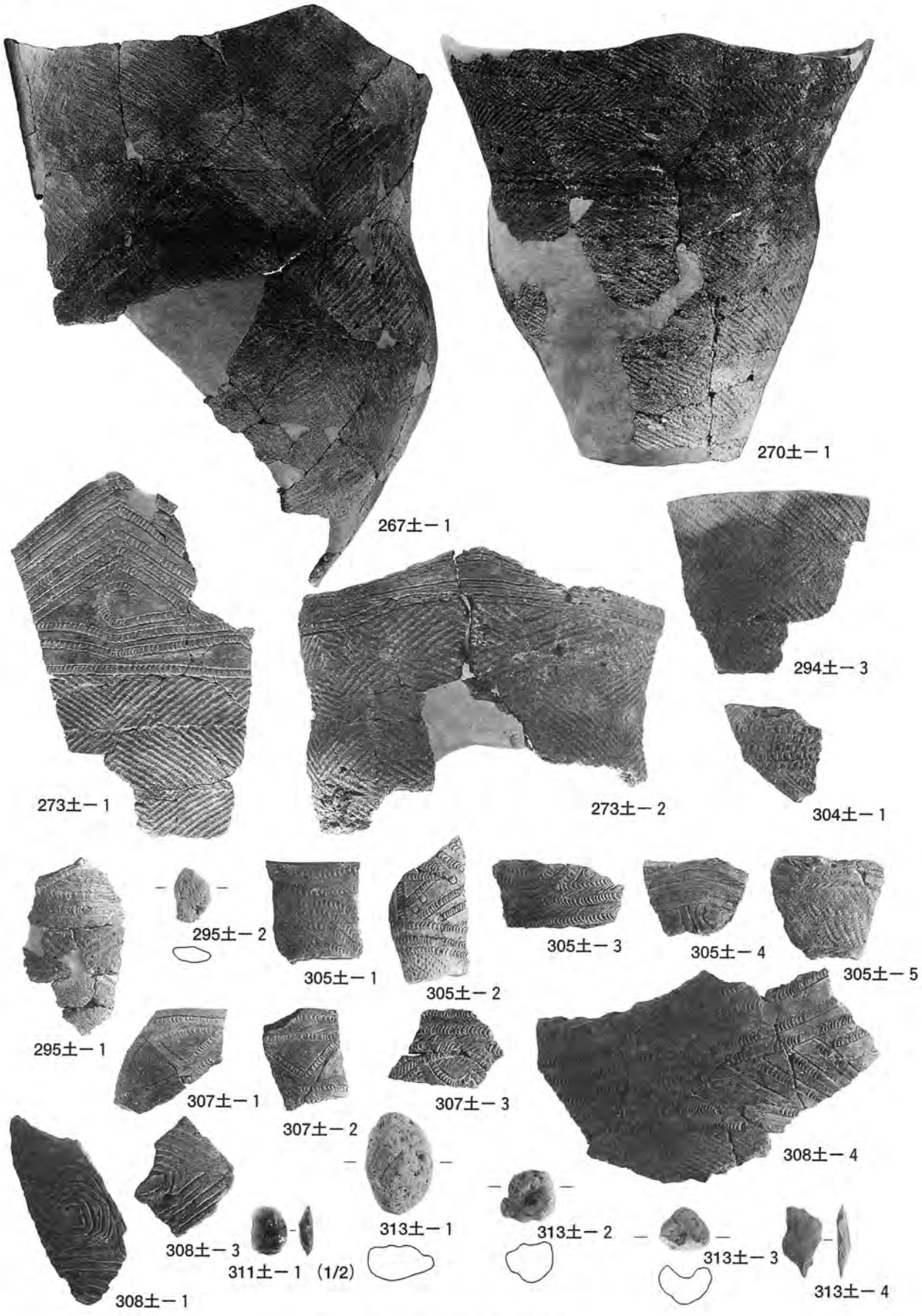
261土－2

260土－2（1/6）

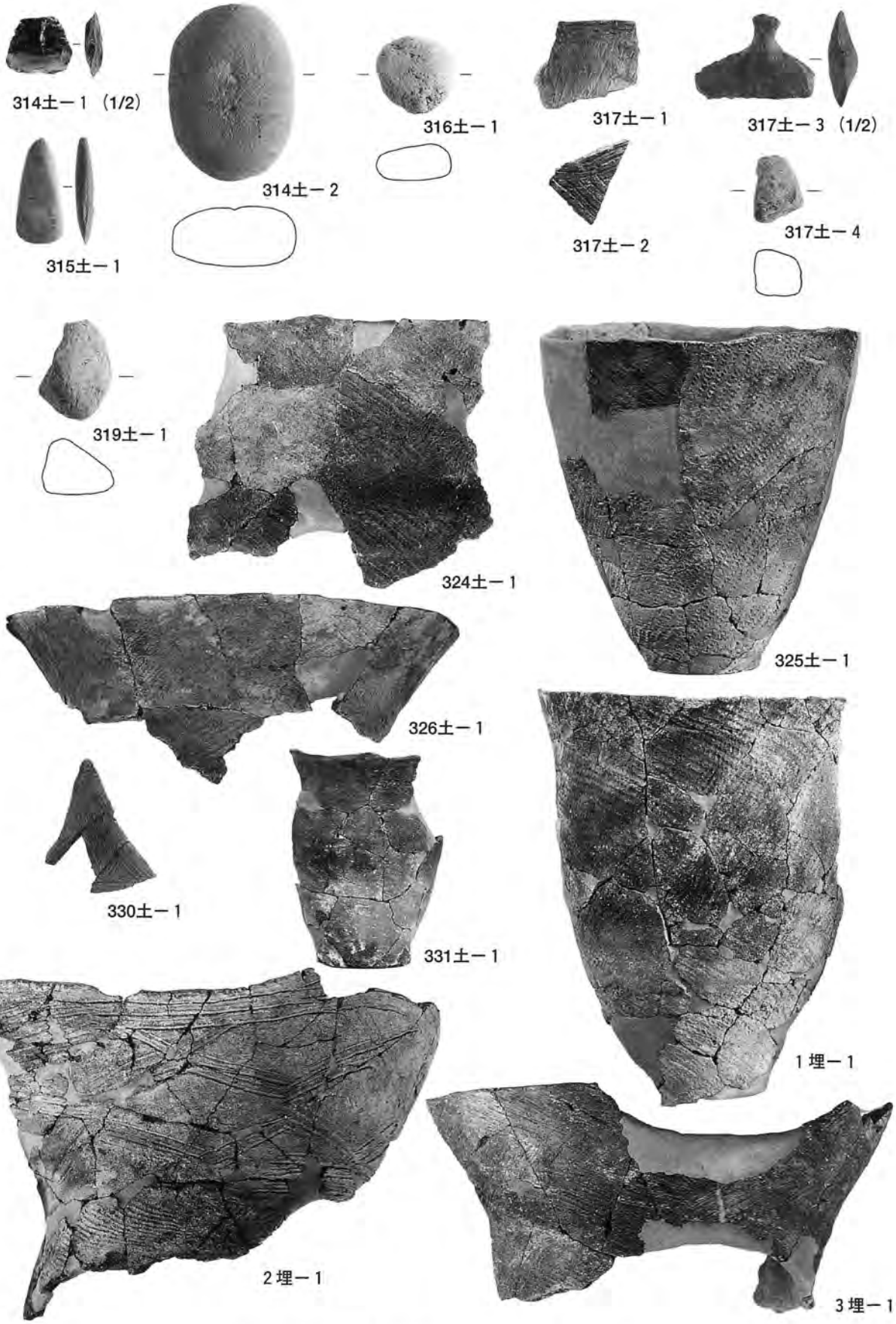

265土－1

249～265号土坑出土遺物（1/4）

図版　84

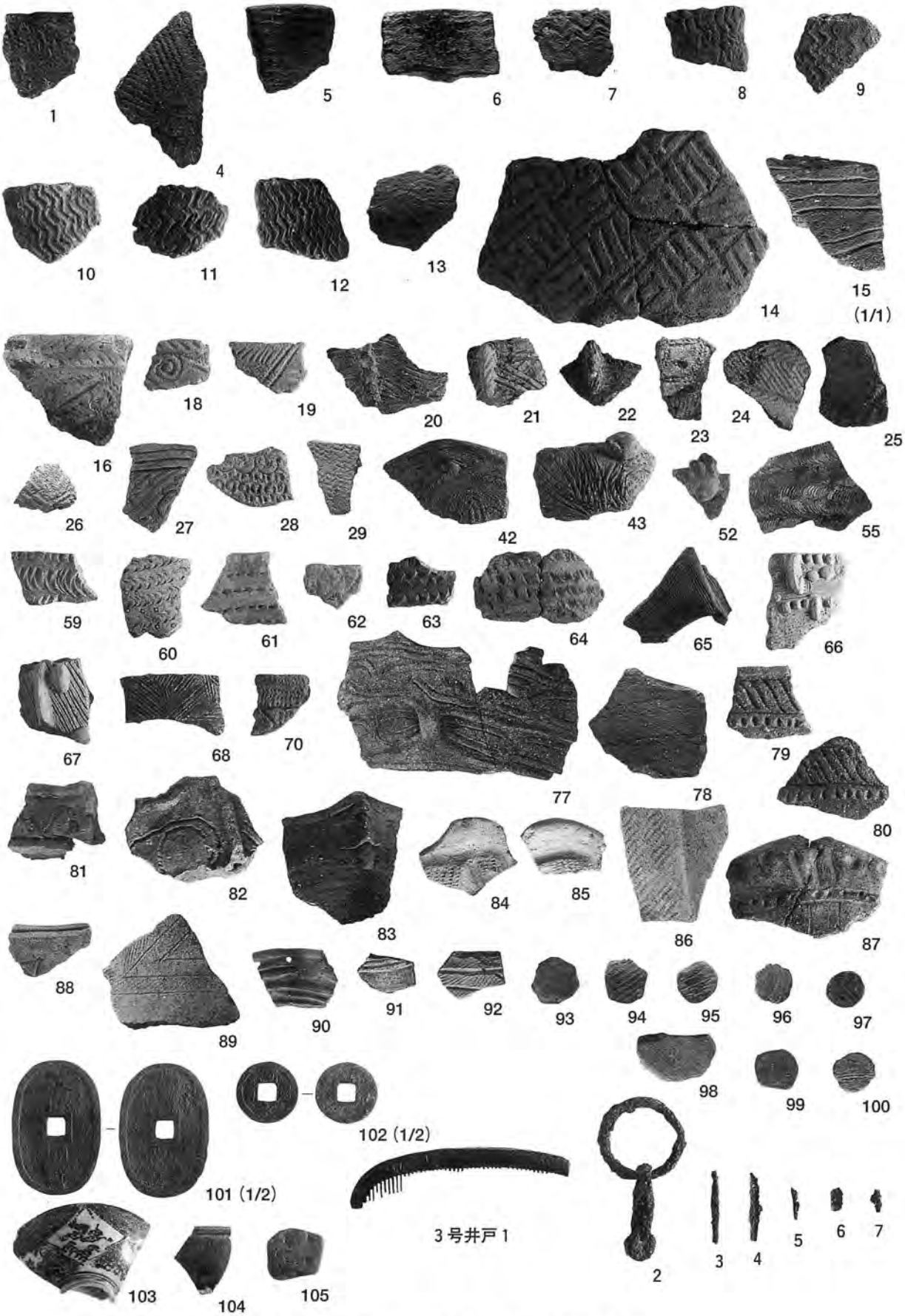


267～313号土坑出土遺物（1/4）

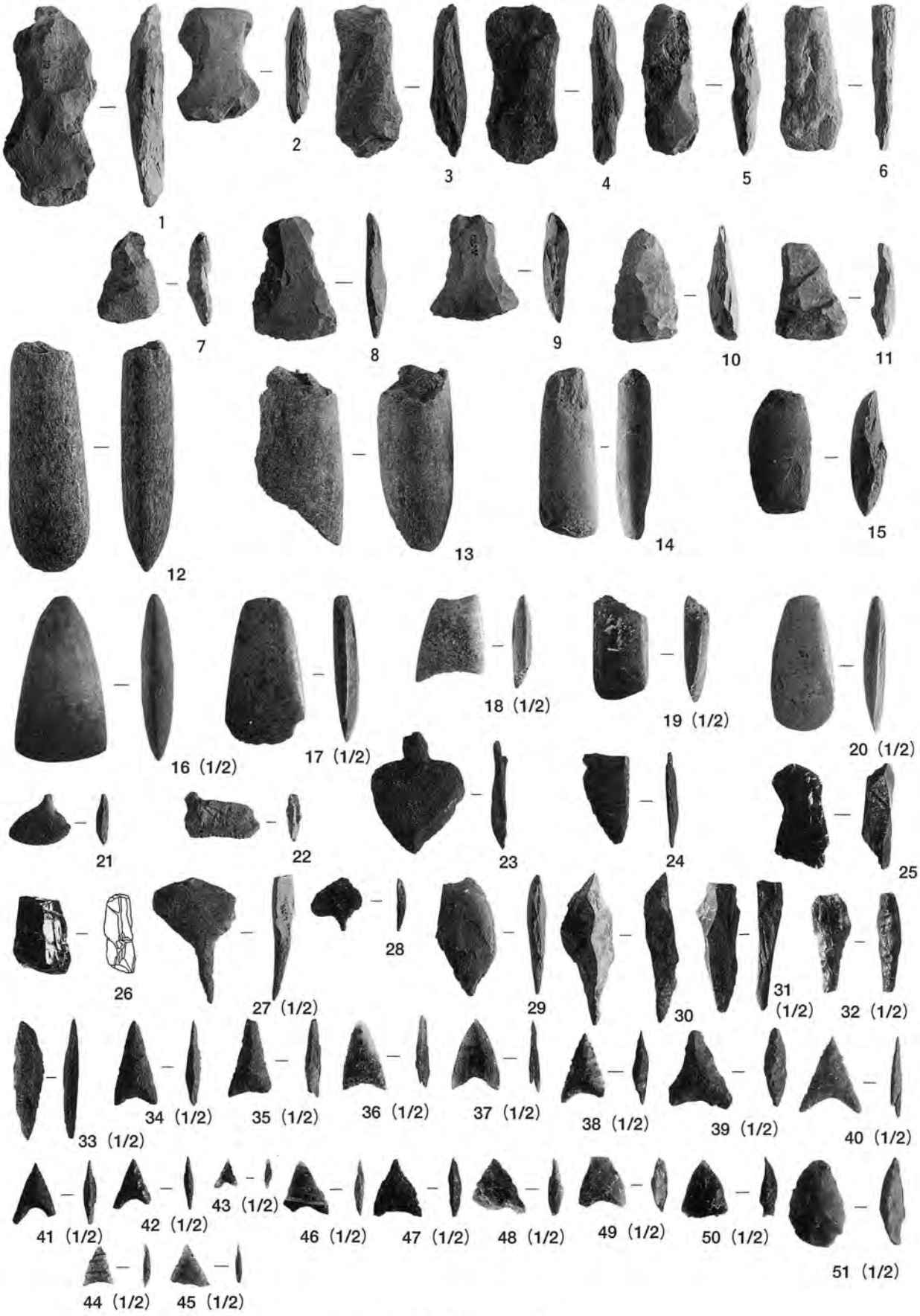


314～331号土坑・1～3号埋甕出土遺物（1/4）

図版　86

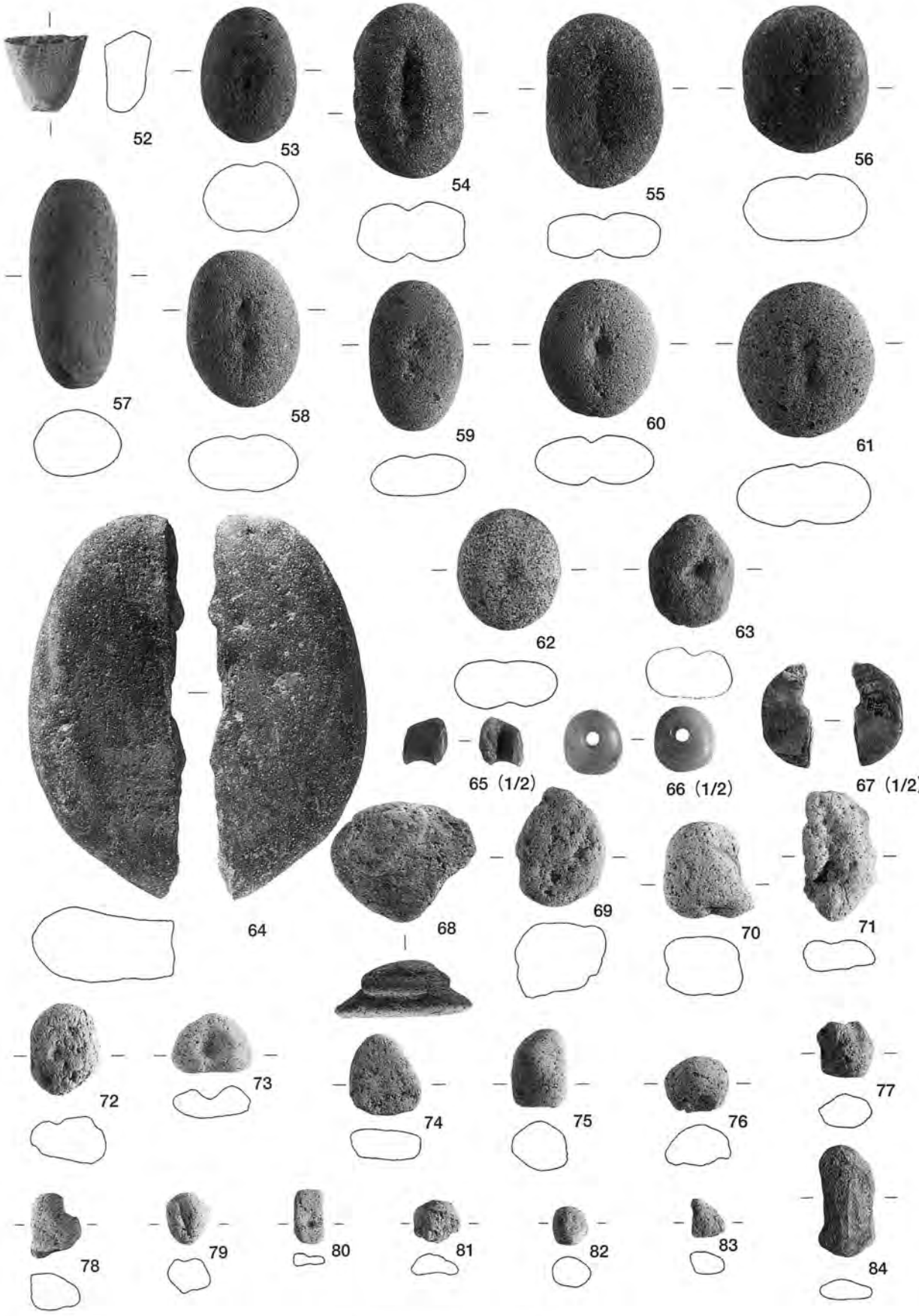


遺構外出土遺物（１）・３号井戸出土遺物（1/4）


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16 (1/2)
17 (1/2)
18 (1/2)
19 (1/2)
20 (1/2)
21
22
23
24
25
26
27 (1/2)
28
29
30
31 (1/2)
32 (1/2)
33 (1/2)
34 (1/2)
35 (1/2)
36 (1/2)
37 (1/2)
38 (1/2)
39 (1/2)
40 (1/2)
41 (1/2)
42 (1/2)
43 (1/2)
46 (1/2)
47 (1/2)
48 (1/2)
49 (1/2)
50 (1/2)
51 (1/2)
44 (1/2)
45 (1/2)

遺構外出土遺物（2）(1/4)

図版　88



遺構外出土遺物（３）（1/4）

抄　　録

フリガナ	カワシロタ　イセキ
書名	川白田遺跡
副書名	
編著者名	大賀　健　斉藤和之　奥冨雅之　矢島博文　古環境研究所
編集機関	山武考古学研究所／〒286-0045　千葉県成田市並木町221　☎0476－24－0536
発行機関	川白田遺跡調査会／〒371-0026　群馬県前橋市大手町１丁目１番地１号
発行年月日	西暦1998年３月25日

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
川白田遺跡	群馬県前橋市小坂子町1,330	10201		36°25′32″	139°07′24″	19960801 19970205	4,850㎡	低区調整池建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
川白田遺跡	集落	縄文時代前期	竪穴住居跡　22軒 土坑　338基 埋設土器　３基 集石　２基	土器・石器 土器・石器 土器 石器	縄文時代前期を中心とする集落で、黒浜式・有尾式の資料良好。また、同時代の軽石製石製品の好資料出土。
		近世	土坑　２基 井戸　３基 畑跡　１面 溝　２条	獣骨（羊） 櫛・鉄製品・磁器 －－－ －－－	

群馬県前橋市
川白田遺跡

印刷　平成10年3月20日
発行　平成10年3月25日

編集　山武考古学研究所
発行　川白田遺跡調査会
印刷　㈱文化総合企画
千葉県印旛郡富里町日吉台1-23-12
☎(0476)93－0593